

藤沢市
高齢者の保健・福祉に関する
調査報告書

令和8年3月

藤沢市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の対象者及び調査方法等	3
3. 回収結果	3
4. 調査項目	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	4
第2章 調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
(1) 回答者の属性	7
2. 健康状態について	18
(1) 主体的健康観	18
(2) かかりつけ医等の有無	23
(3) フレイルの認知度	24
(4) 食事を食べる時の状況	26
(5) 転倒の経験・不安	27
3. 住まいの状況について	29
(1) 住居状況	29
(2) 住まいについて困っていること	31
(3) 要介護認定を受けた時の生活についての希望	34
(4) 住み慣れたご自宅で暮らし続けるために必要なこと	37
4. 外出等の状況について	39
(1) 移動状況	39
(2) 外出頻度	41
(3) 外出しない理由	45
5. 買い物の状況について	51
(1) 買い物で不便に感じること	51
(2) 買い物で不便を感じる理由	55
(3) 買い物で必要とする（希望する）支援やサービス	58
6. 周りの方とのコミュニケーションについて	61
(1) 同居の家族以外で付き合いや連絡を取り合う人の有無	61
(2) 近隣や地域の方とコミュニケーションをとる機会	64
(3) コミュニケーションをとる機会がない理由	66

7. 情報通信機器・ICTの利用状況	68
(1) 情報通信機器の利用状況	68
8. 経済状況について	74
(1) 経済状況	74
9. 就労の状況について	77
(1) 現在の就労状況	77
(2) 仕事をしている（または探している）理由	80
(3) 今後の就労希望	83
(4) 就労するうえで重視すること	88
10. 地域で参加している活動について	91
(1) 地域で参加している活動の有無	91
(2) 活動の参加状況	93
(3) 地域の活動に参加した理由	95
(4) 今後、地域で参加したい活動	98
(5) 地域の活動に参加する上で支障となることや問題点	101
11. 普段の生活の中での不安や心配ごとについて	107
(1) 手助けできること	107
(2) 現在のお住まいで生活を続けていく上で、あれば助かる地域の手助け	110
(3) 家事援助の具体的な内容	113
(4) 移動支援の具体的な内容	115
(5) 入浴についての具体的な内容	117
12. 相談先について	120
(1) 健康や福祉、介護のことなどで困った時の相談先	120
(2) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）の認知度	123
(3) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）を知ったきっかけ	125
13. 認知症について	128
(1) 認知症に対する意識	128
14. ケアラー支援について	138
(1) 家族などの介護の状況	138
15. 人生最期のとき（終活）について	140
(1) 人生最期のとき（終活）について家族との共有状況	140
(2) あなたの人生最期を迎えたい場所	142
16. 権利擁護について	143
(1) 判断能力が不安になったときに利用したい支援やサービス	143
(2) 成年後見人の希望	145
(3) 「ふじさわ あんしんセンター」の認知度	147

17. 介護予防事業について	149
(1) 介護予防実施の場の参加経験	149
(2) 参加したことのある介護予防に関する講座や講演会、事業	151
(3) 介護予防・フレイル予防に関して、力を入れてほしいこと	153
(4) 普段の介護予防の取り組み状況	155
(5) 介護予防の具体的な取り組み	157
(6) 介護予防に取り組むことになった主なきっかけ	159
18. 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用助成、ふれあい入浴事業について	161
(1) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用状況	161
(2) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券を利用していない理由	162
(3) ふれあい入浴事業の利用状況	165
(4) ふれあい入浴事業を利用しない理由	166
19. いきいきシニアセンター（老人福祉センター）について	169
(1) いきいきシニアセンター（老人福祉センター）の利用状況	169
(2) いきいきシニアセンター（老人福祉センター）を利用していない理由	170
20. 高齢者に対する施策（サービスや事業など）について	179
(1) 今後優先すべき施策（サービスや事業など）	179
(2) 高齢者に対するサービスの利用者負担	184
21. 移動について	186
(1) 外出の際の移動手段	186
(2) 移動手段の利用頻度	189
(3) 移動手段別の外出の目的	190
(4) バスに乗る時間帯	191
(5) 路線バスの運賃負担	192
(6) 路線バスを利用して外出するために重要視する項目	194
(7) 徒歩での移動時間	196
(8) 運転免許証の自主返納	202
(9) 自主返納を考えた理由	206
(10) 自主返納をためらう理由	208
22. 今後の高齢者保健福祉施策に対するご意見	210
【高齢者保健福祉施策について】	211
【移動手段の整備や交通費補助について】	219
【アンケートについて】	225
【サービス・生活支援について】	229
【介護保険制度等について】	233
【行政に対する期待・要望について】	236

【広報・PRについて】	240
【介護予防・健康づくりについて】	243
【相談体制について】	245
【施設整備について】	247
【将来の不安や安心した暮らしについて】	249
【認知症について】	251
【終活について】	252
【街づくりについて】	254
【医療体制について】	255
【デジタルについて】	255
【独居高齢者について】	256
【就労について】	256
【自治会・町内会・民生委員について】	257
【住まいについて】	257
【その他】	258
第3章 調査票	263

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本市の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画である「いきいき長寿プランふじさわ2026～藤沢市高齢者保健福祉計画・第9期藤沢市介護保険事業計画・藤沢市認知症施策推進計画（藤沢おれんじプラン）～」について、見直しを行い、新たな計画を策定するにあたり、本市の高齢者の生活実態や意識・意向、課題等を把握し、施策の計画的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2. 調査の対象者及び調査方法等

調査地域	藤沢市全域
調査対象	市内在住の65歳以上(令和7年10月1日現在)で、介護保険の要介護・要支援の認定を受けていない方
対象者数	4,000人
抽出法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調査方法	郵送によるアンケート調査（お礼兼督促ハガキ1回）
調査期間	令和7年11月17日（月）～12月12日（金）

3. 回収結果

対象者数	4,000
有効回収数	2,954(Web回答は510)
有効回収率	73.9%

4. 調査項目

<ul style="list-style-type: none"> ○回答者の属性（性・年齢・居住地域 など） ○健康状態について ○お住まいの状況について ○外出等の状況について ○買い物の状況について ○周りの方とのコミュニケーションについて ○情報通信機器・ICTの利用状況について ○経済状況について ○就労の状況について ○地域で参加している活動について ○普段の生活の中での不安や心配ごとについて 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談先について ○認知症について ○ケアラー支援について ○人生最期のとき（終活）について ○権利擁護について ○介護予防事業について ○高齢者はり・きゅう・マッサージ利用助成、ふれあい入浴事業について ○いきいきシニアセンター（老人福祉センター）について ○高齢者に対する施策（サービスや事業など）について ○移動について 等
--	--

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・表、グラフ中の「n」は、各設問に対する「回答者数（調査数）」を示している。
- ・百分率（%）の計算は、「n」を分母とし、小数第2位を四捨五入して表示している。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフ中は、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・経年比較については、令和4年度調査とは質問の対象者または選択肢が異なるため、参考値としての掲載である。

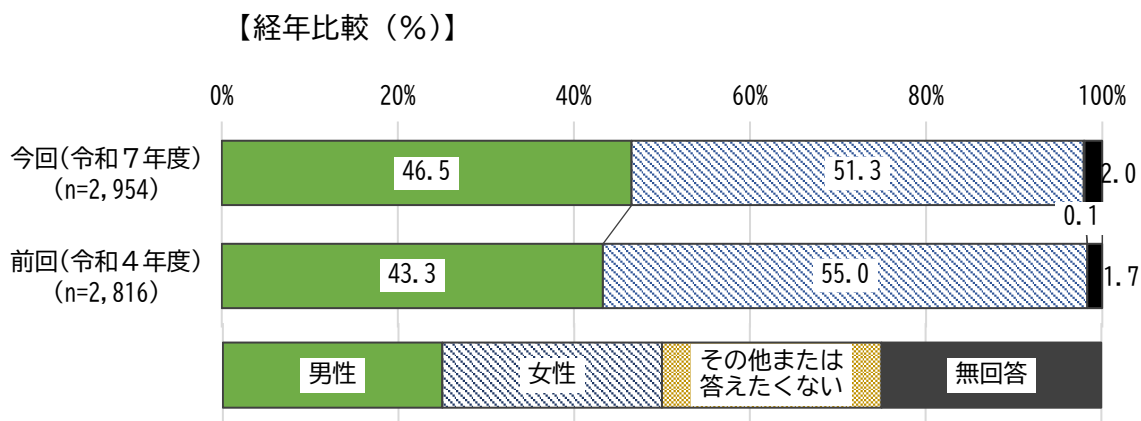
第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

(1) 回答者の属性

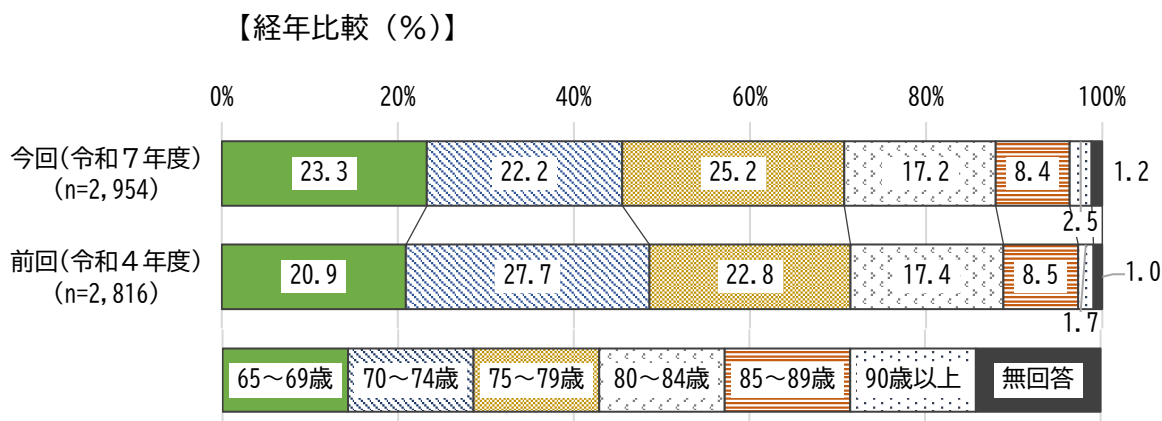
問1 性別をお答えください。(1つに○)

性別構成は、女性 51.3%、男性 46.5%となっています。



問2 年齢は何歳ですか。(2025年(令和7年)11月1日現在の満年齢)(1つに○)

年齢構成は、前期高齢者(65~74歳)は45.5%、後期高齢者(75歳以上)は53.3%となっています。また85歳以上は10.9%となっています。

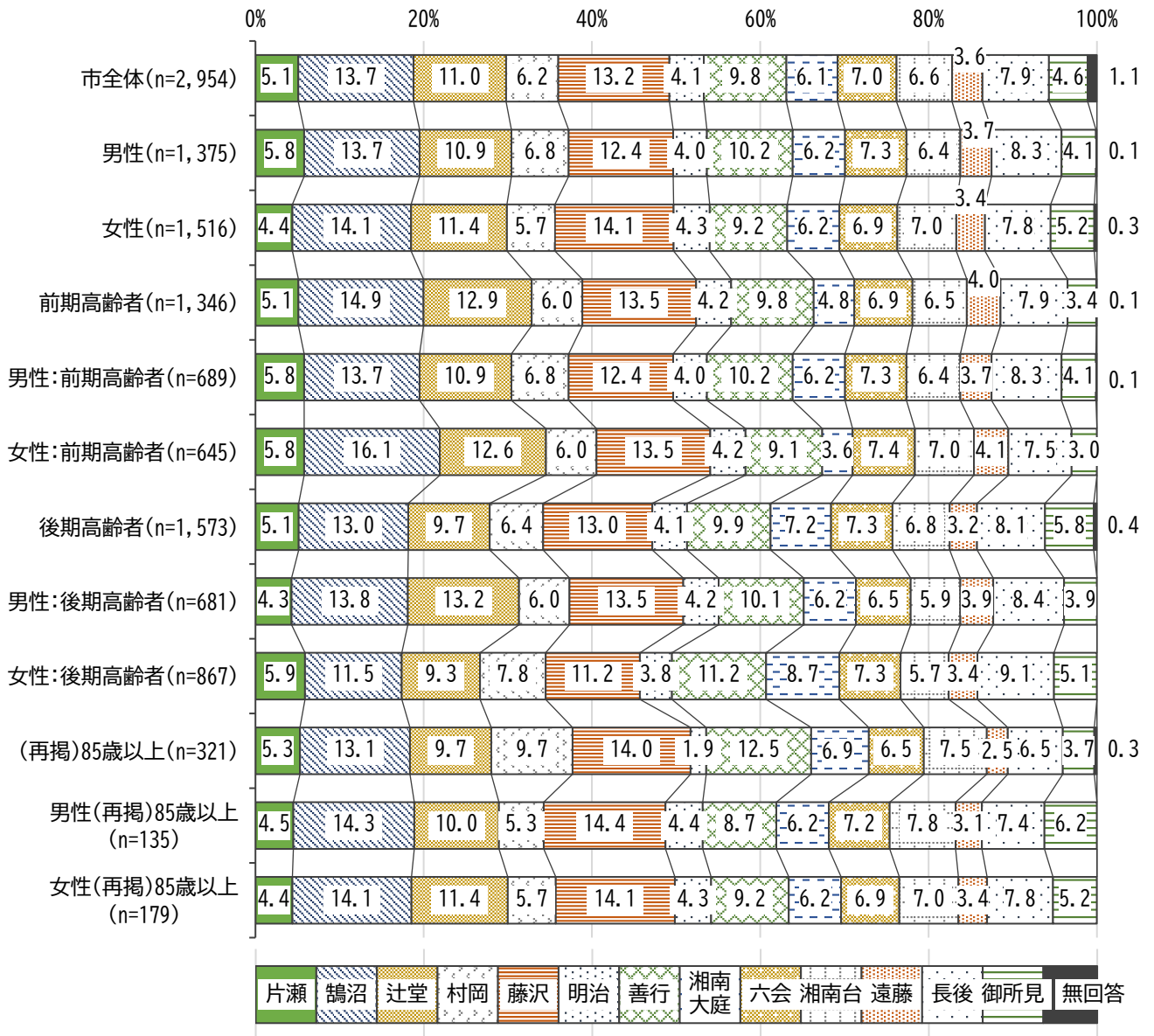


第2章 調査結果の詳細

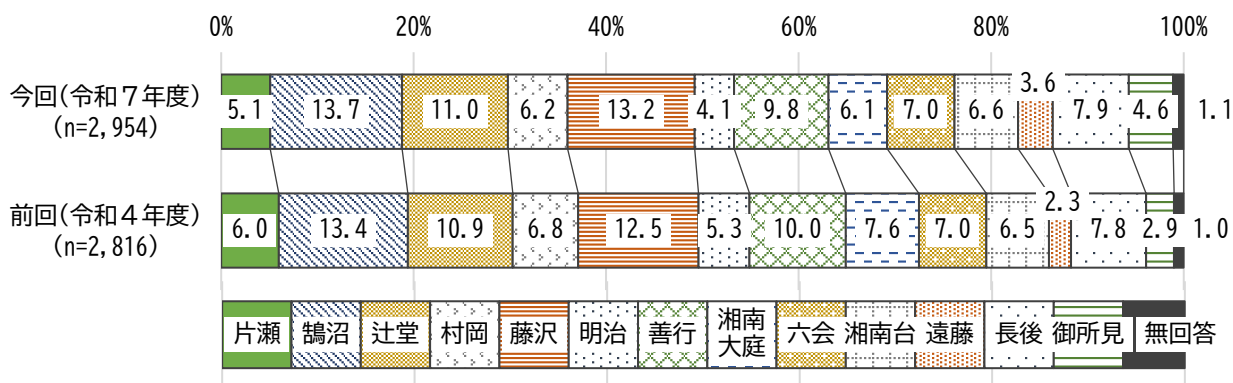
問3 お住まいの地域をお答えください。(1つに○)

居住地域については、「鶴沼」地域が13.7%で最も高く、次いで「藤沢」地域が13.2%、「辻堂」地域が11.0%の順となっています。

【基本属性別 (%)】



【経年比較 (%)】



【基本属性別 (上段：人数、下段：%)】

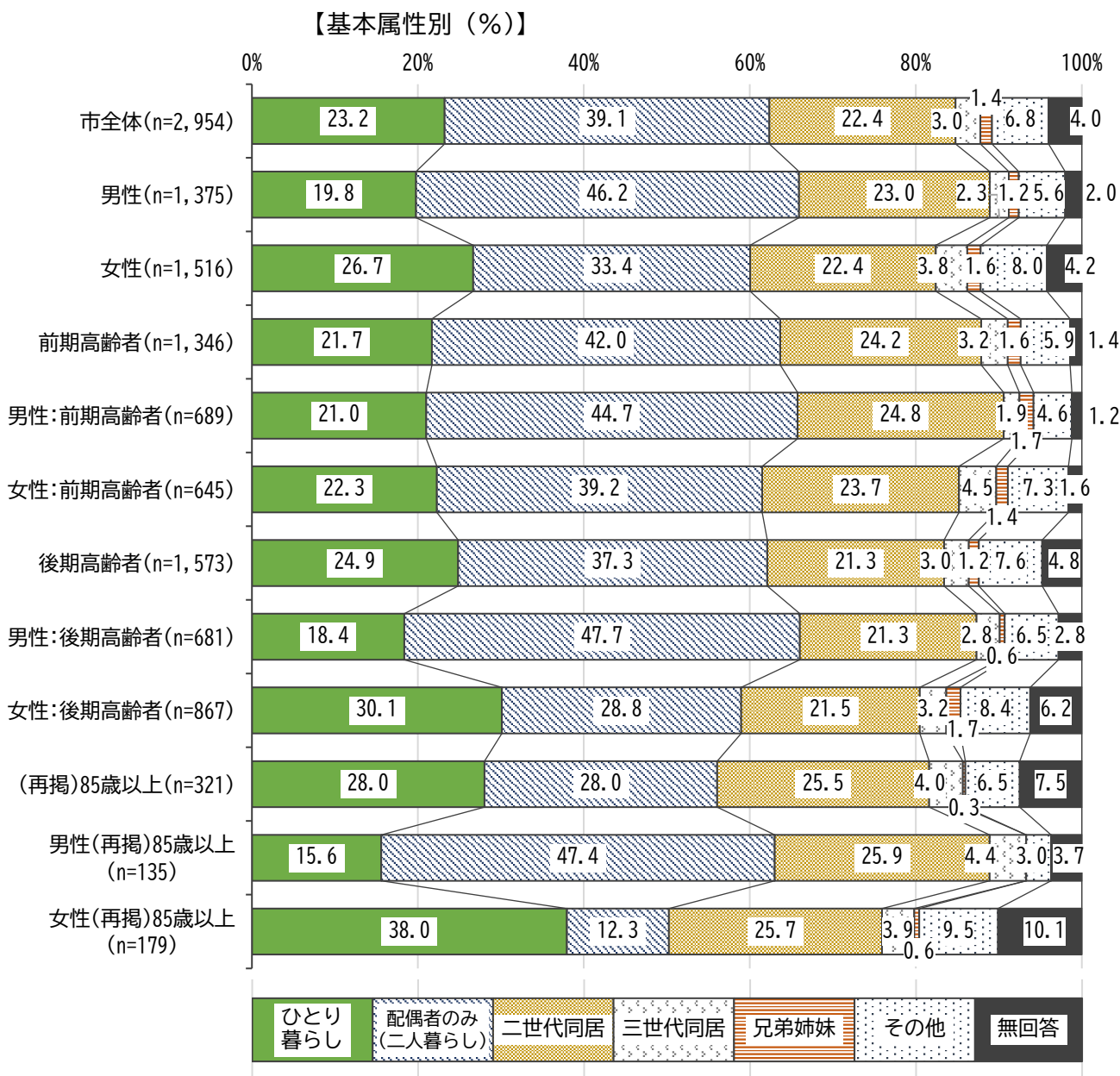
	片瀬	鶴沼	辻堂	村岡	藤沢	明治	善行	湘南大庭	六会	湘南台	遠藤	長後	御所見	無回答	
n =															
市全体	2,954	150	406	326	182	389	121	289	179	208	195	106	234	137	32
	100.0	5.1	13.7	11.0	6.2	13.2	4.1	9.8	6.1	7.0	6.6	3.6	7.9	4.6	1.1
男性	1,375	80	189	150	94	171	55	140	85	101	88	51	114	56	1
	100.0	5.8	13.7	10.9	6.8	12.4	4.0	10.2	6.2	7.3	6.4	3.7	8.3	4.1	0.1
女性	1,516	67	214	173	86	213	65	140	94	104	106	52	118	79	5
	100.0	4.4	14.1	11.4	5.7	14.1	4.3	9.2	6.2	6.9	7.0	3.4	7.8	5.2	0.3
前期高齢者	1,346	69	200	173	81	182	56	132	65	93	87	54	107	46	1
	100.0	5.1	14.9	12.9	6.0	13.5	4.2	9.8	4.8	6.9	6.5	4.0	7.9	3.4	0.1
男性前期高齢者	689	40	111	87	41	93	29	63	25	51	48	28	52	21	0
	100.0	5.8	16.1	12.6	6.0	13.5	4.2	9.1	3.6	7.4	7.0	4.1	7.5	3.0	0.0
女性前期高齢者	645	28	89	85	39	87	27	65	40	42	38	25	54	25	0
	100.0	4.3	13.8	13.2	6.0	13.5	4.2	10.1	6.2	6.5	5.9	3.9	8.4	3.9	0.0
後期高齢者	1,573	81	205	152	100	204	65	156	113	115	107	51	127	91	6
	100.0	5.1	13.0	9.7	6.4	13.0	4.1	9.9	7.2	7.3	6.8	3.2	8.1	5.8	0.4
男性後期高齢者	681	40	78	63	53	76	26	76	59	50	39	23	62	35	0
	100.0	5.9	11.5	9.3	7.8	11.2	3.8	11.2	8.7	7.3	5.7	3.4	9.1	5.1	0.0
女性後期高齢者	867	39	124	87	46	125	38	75	54	62	68	27	64	54	0
	100.0	4.5	14.3	10.0	5.3	14.4	4.4	8.7	6.2	7.2	7.8	3.1	7.4	6.2	0.0
(再掲) 85歳以上	321	17	42	31	31	45	6	40	22	21	24	8	21	12	1
	100.0	5.3	13.1	9.7	9.7	14.0	1.9	12.5	6.9	6.5	7.5	2.5	6.5	3.7	0.3
男性(再掲) 85歳以上	135	9	17	10	15	12	2	18	14	8	13	5	9	3	0
	100.0	6.7	12.6	7.4	11.1	8.9	1.5	13.3	10.4	5.9	9.6	3.7	6.7	2.2	0.0
女性(再掲) 85歳以上	179	7	25	21	16	31	4	20	8	12	11	3	11	9	1
	100.0	3.9	14.0	11.7	8.9	17.3	2.2	11.2	4.5	6.7	6.1	1.7	6.1	5.0	0.6

問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

家族構成については、「配偶者のみ(二人暮らし)」が 39.1%で最も高く、次いで「ひとり暮らし」が 23.2%、「二世世代同居」が 22.4%の順となっています。

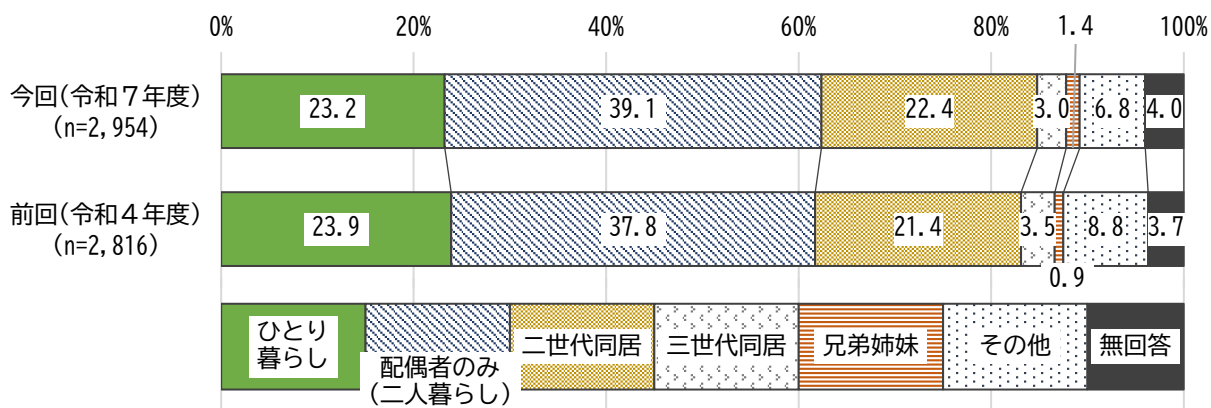
性別でみると、男性では「配偶者のみ(二人暮らし)」が、女性では「ひとり暮らし」が全体より高くなっています。

年齢別でみると、「85歳以上」では「ひとり暮らし」が全体の割合に対して高くなっています。



「その他」の主な内容：「3人で暮らしていて、介護してます」、「知人と同居」

【経年比較 (%)】



【基本属性別 (上段：人数、下段：%)】

	n =	ひとり暮らし	配偶者のみ(二人暮らし)	二世帯同居	三世帯同居	兄弟姉妹	その他	無回答
市全体	2,954	686	1,156	661	90	40	202	119
	100.0	23.2	39.1	22.4	3.0	1.4	6.8	4.0
男性	1,375	272	635	316	32	16	77	27
	100.0	19.8	46.2	23.0	2.3	1.2	5.6	2.0
女性	1,516	405	506	339	57	24	121	64
	100.0	26.7	33.4	22.4	3.8	1.6	8.0	4.2
前期高齢者	1,346	292	565	326	43	21	80	19
	100.0	21.7	42.0	24.2	3.2	1.6	5.9	1.4
男性前期高齢者	689	145	308	171	13	12	32	8
	100.0	21.0	44.7	24.8	1.9	1.7	4.6	1.2
女性前期高齢者	645	144	253	153	29	9	47	10
	100.0	22.3	39.2	23.7	4.5	1.4	7.3	1.6
後期高齢者	1,573	391	586	335	47	19	120	75
	100.0	24.9	37.3	21.3	3.0	1.2	7.6	4.8
男性後期高齢者	681	125	325	145	19	4	44	19
	100.0	18.4	47.7	21.3	2.8	0.6	6.5	2.8
女性後期高齢者	867	261	250	186	28	15	73	54
	100.0	30.1	28.8	21.5	3.2	1.7	8.4	6.2
(再掲) 85歳以上	321	90	90	82	13	1	21	24
	100.0	28.0	28.0	25.5	4.0	0.3	6.5	7.5
男性(再掲) 85歳以上	135	21	64	35	6	0	4	5
	100.0	15.6	47.4	25.9	4.4	0.0	3.0	3.7
女性(再掲) 85歳以上	179	68	22	46	7	1	17	18
	100.0	38.0	12.3	25.7	3.9	0.6	9.5	10.1

第2章 調査結果の詳細

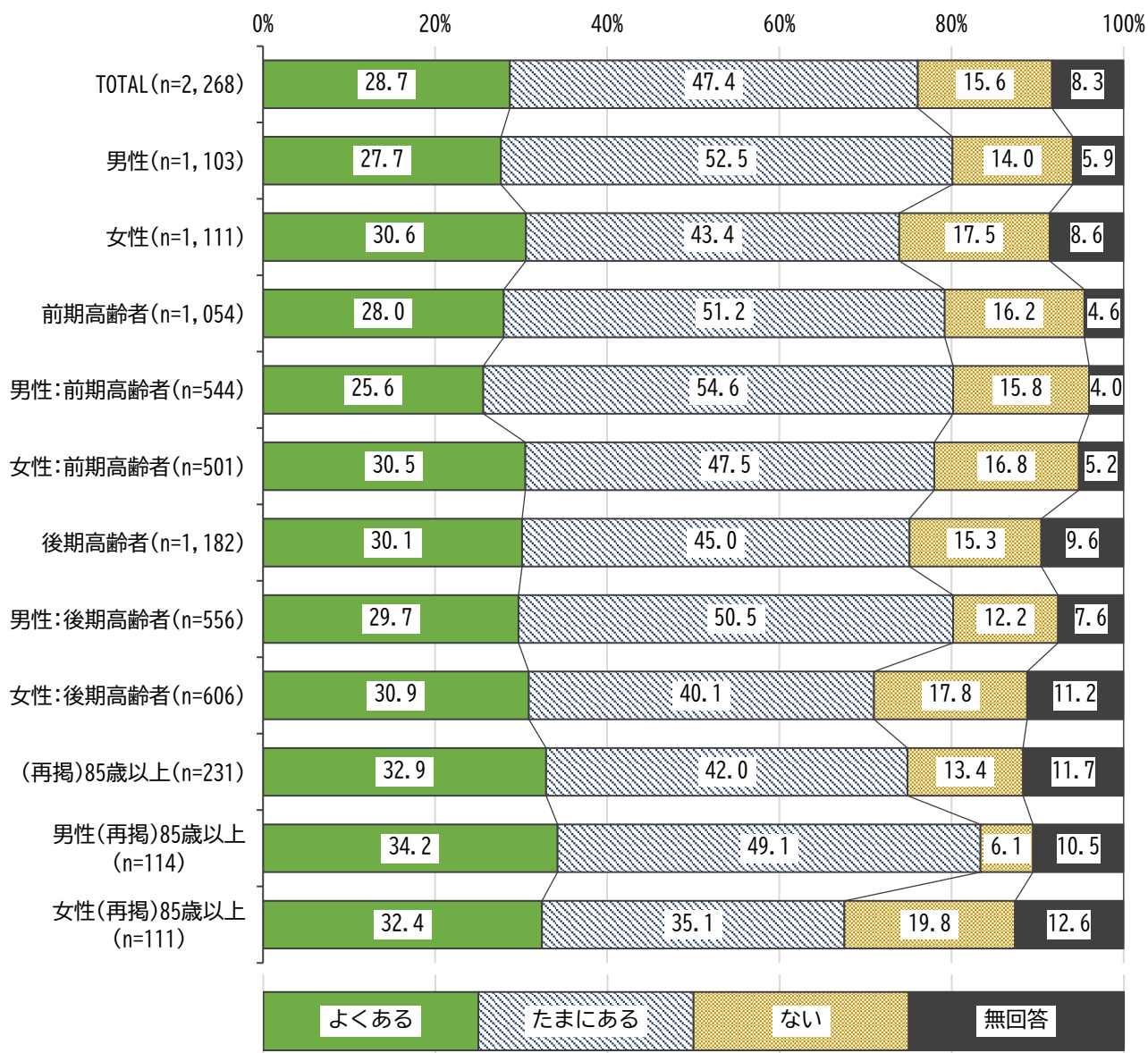
問4-1 《問4で「2. 配偶者のみ（二人暮らし）」～「6. その他」のいずれかを回答した方
にうかがいます。》

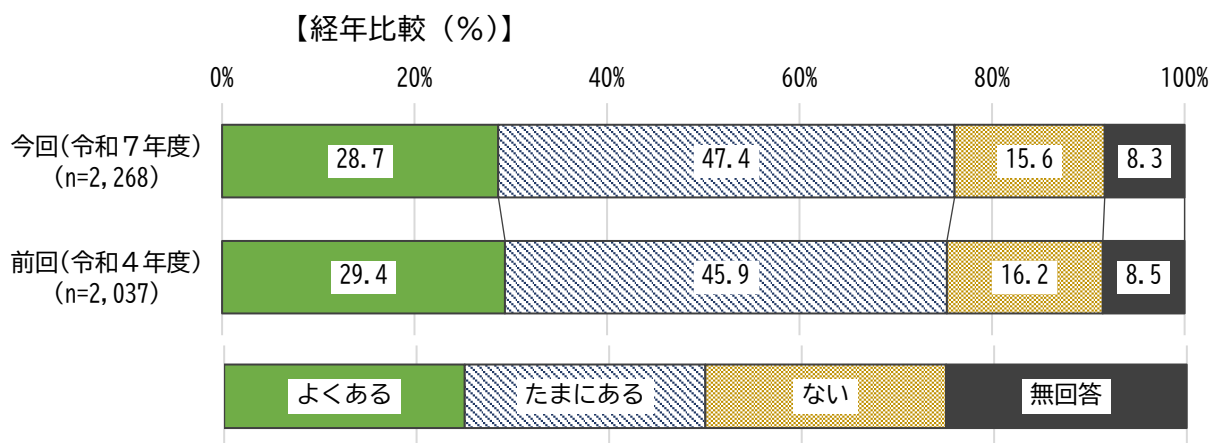
日中、ご自宅などで一人になることはありますか。（1つに○）

ひとり暮らし以外の方で、日中、一人になる状況については、「たまにある」（47.4%）、「よくある」（28.7%）を合わせて、76.1%が『（日中、一人になることが）ある』となっています。

性別で見ると、男性は「たまにある」が全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別（%）】



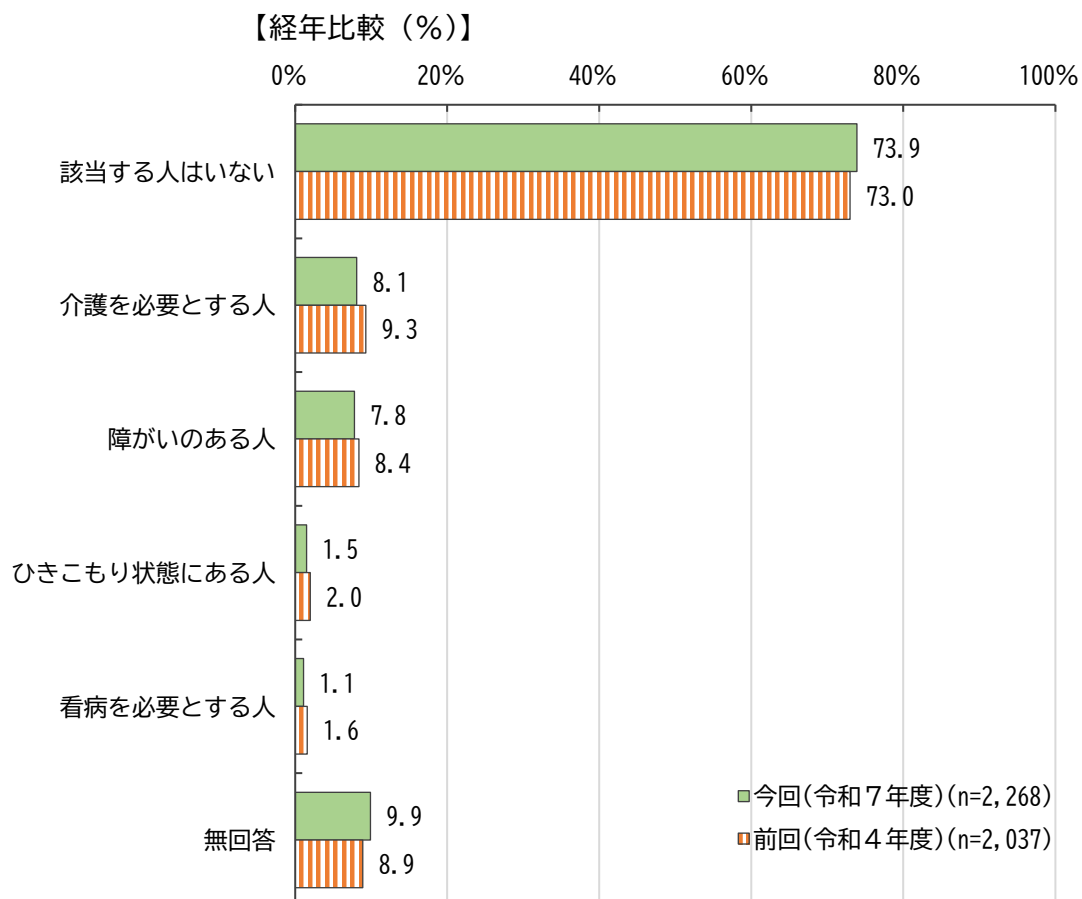


【基本属性別 (上段：人数、下段：%)】

	n =	よくある	ときどきある	ない	無回答
市全体	2,268	652	1074	354	188
	100.0	28.7	47.4	15.6	8.3
男性	1,103	305	579	154	65
	100.0	27.7	52.5	14.0	5.9
女性	1,111	340	482	194	95
	100.0	30.6	43.4	17.5	8.6
前期高齢者	1,054	295	540	171	48
	100.0	28.0	51.2	16.2	4.6
男性 前期高齢者	544	139	297	86	22
	100.0	25.6	54.6	15.8	4.0
女性 前期高齢者	501	153	238	84	26
	100.0	30.5	47.5	16.8	5.2
後期高齢者	1,182	356	532	181	113
	100.0	30.1	45.0	15.3	9.6
男性 後期高齢者	556	165	281	68	42
	100.0	29.7	50.5	12.2	7.6
女性 後期高齢者	606	187	243	108	68
	100.0	30.9	40.1	17.8	11.2
(再掲) 85歳以上	231	76	97	31	27
	100.0	32.9	42.0	13.4	11.7
男性 (再掲) 85歳以上	114	39	56	7	12
	100.0	34.2	49.1	6.1	10.5
女性 (再掲) 85歳以上	111	36	39	22	14
	100.0	32.4	35.1	19.8	12.6

問4-2 《問4で「2. 配偶者のみ（二人暮らし）」～「6. その他」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
同居のご家族の中に、次のような方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

「ひとり暮らし」ではない方（問4で「2」～「6」のいずれかを回答）の、何らかの支援を要する人との同居の有無については、「該当する人はいない」が73.9%で最も高くなっています。「介護を必要とする人」（8.1%）、「障がいのある人」（7.8%）がそれぞれ1割未満となっています。



性別で見ると、男性では「障がいのある人」、「該当する人はいない」が、女性では「介護を必要とする人」、「看病を必要とする人」、「ひきこもり状態にある人」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「障がいのある人」、「ひきこもり状態にある人」、「該当する人はいない」の割合が全体に対して高くなっています。一方、後期高齢者では「介護を必要とする人」、「看病を必要とする人」の割合が全体に対して高く、家族内でケアを必要とする方がいる割合が増えていることが分かります。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

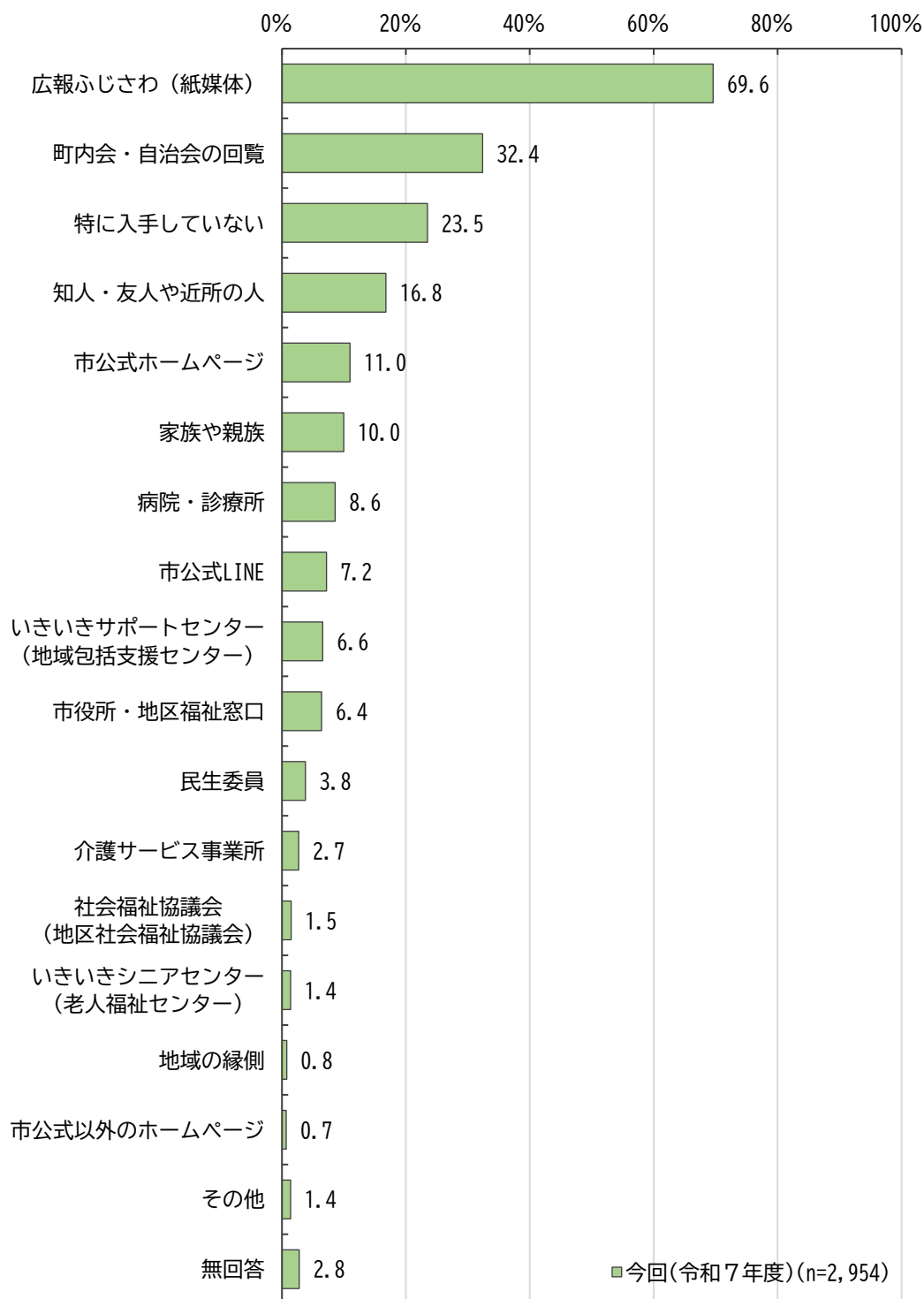
	n =	介護を必要とする人	看病を必要とする人	障がいのある人	ひきこもり状態にある人	該当する人はいない	無回答
市全体	2,268	183	26	178	34	1675	225
	100.0	8.1	1.1	7.8	1.5	73.9	9.9
男性	1,103	70	9	95	15	865	68
	100.0	6.3	0.8	8.6	1.4	78.4	6.2
女性	1,111	111	16	80	19	792	127
	100.0	10.0	1.4	7.2	1.7	71.3	11.4
前期高齢者	1,054	62	6	87	20	854	42
	100.0	5.9	0.6	8.3	1.9	81.0	4.0
男性 前期高齢者	544	22	1	48	7	457	13
	100.0	4.0	0.2	8.8	1.3	84.0	2.4
女性 前期高齢者	501	39	5	37	13	392	28
	100.0	7.8	1.0	7.4	2.6	78.2	5.6
後期高齢者	1,182	120	20	91	14	816	157
	100.0	10.2	1.7	7.7	1.2	69.0	13.3
男性 後期高齢者	556	47	8	47	8	407	54
	100.0	8.5	1.4	8.5	1.4	73.2	9.7
女性 後期高齢者	606	72	11	43	6	396	99
	100.0	11.9	1.8	7.1	1.0	65.3	16.3
（再掲）85歳以上	231	30	5	19	3	145	35
	100.0	13.0	2.2	8.2	1.3	62.8	15.2
男性（再掲）85歳以上	114	16	4	9	2	73	11
	100.0	14.0	3.5	7.9	1.8	64.0	9.6
女性（再掲）85歳以上	111	14	1	9	1	68	23
	100.0	12.6	0.9	8.1	0.9	61.3	20.7

第2章 調査結果の詳細

問5 市が実施している高齢者に対する施策(サービスや事業など)に関する情報をどのような方法で入手していますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

市の施策に関する情報入手方法については、「広報ふじさわ(紙媒体)」が69.6%で最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧」(32.4%)、「特に入手していない」(23.5%)、「知人・友人や近所の人」(16.8%)、「市公式ホームページ」(11.0%)と続いています。

【単純集計(%)】



「その他」の主な内容:「掲示板」、「いきいき長寿プランふじさわ」

性別でみると、男性では「市公式ホームページ」、「家族や親族」など、女性では「広報ふじさわ（紙媒体）」、「町内会・自治会の回覧」、「知人・友人や近所の人」などの割合が、全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「市公式ホームページ」、「病院・診療所」、「市公式LINE」、後期高齢者では「広報ふじさわ（紙媒体）」、「町内会・自治会の回覧」などの割合が全体に対して高くなっています。

一方「特に入手していない」は23.5%となっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	広報ふじさわ（紙媒体）	町内会・自治会の回覧	特に入手していない	知人・友人や近所の人	市公式ホームページ	家族や親族	病院・診療所	市公式LINE	いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）	市役所・地区福祉窓口	民生委員	介護サービス事業所	社会福祉協議会（地区社会福祉協議会）	いきいきシニアセンター（老人福祉センター）	地域の縁側	市公式以外のホームページ	その他	無回答
市全体	2,954	2,055	958	695	496	325	294	253	214	196	188	113	80	45	42	23	22	41	83
	100.0	69.6	32.4	23.5	16.8	11.0	10.0	8.6	7.2	6.6	6.4	3.8	2.7	1.5	1.4	0.8	0.7	1.4	2.8
男性	1,375	947	439	349	161	220	150	127	119	61	89	42	30	22	16	8	14	23	21
	100.0	68.9	31.9	25.4	11.7	16.0	10.9	9.2	8.7	4.4	6.5	3.1	2.2	1.6	1.2	0.6	1.0	1.7	1.5
女性	1,516	1,082	514	335	330	102	142	120	94	134	98	71	49	23	26	14	8	18	37
	100.0	71.4	33.9	22.1	21.8	6.7	9.4	7.9	6.2	8.8	6.5	4.7	3.2	1.5	1.7	0.9	0.5	1.2	2.4
前期高齢者	1,346	870	375	384	168	203	92	125	126	70	80	9	32	13	13	5	13	14	21
	100.0	64.6	27.9	28.5	12.5	15.1	6.8	9.3	9.4	5.2	5.9	0.7	2.4	1.0	1.0	0.4	1.0	1.0	1.6
男性 前期高齢者	689	428	190	216	126	59	53	60	69	38	18	2	12	6	4	1	10	7	11
	100.0	62.1	27.6	31.3	18.3	8.6	7.7	8.7	10.0	5.5	2.6	0.3	1.7	0.9	0.6	0.1	1.5	1.0	1.6
女性 前期高齢者	645	433	182	166	75	107	39	62	56	42	52	7	20	7	9	3	3	7	9
	100.0	67.1	28.2	25.7	11.6	16.6	6.0	9.6	8.7	6.5	8.1	1.1	3.1	1.1	1.4	0.5	0.5	1.1	1.4
後期高齢者	1,573	1,174	582	309	327	120	201	127	88	125	107	104	48	32	29	18	9	27	40
	100.0	74.6	37.0	19.6	20.8	7.6	12.8	8.1	5.6	7.9	6.8	6.6	3.1	2.0	1.8	1.1	0.6	1.7	2.5
男性 後期高齢者	681	514	248	133	93	102	96	67	50	50	43	40	18	16	12	7	4	16	10
	100.0	75.5	36.4	19.5	13.7	15.0	14.1	9.8	7.3	7.3	6.3	5.9	2.6	2.3	1.8	1.0	0.6	2.3	1.5
女性 後期高齢者	867	645	332	168	26	223	103	58	38	56	81	64	29	16	17	11	5	11	28
	100.0	74.4	38.3	19.4	3.0	25.7	11.9	6.7	4.4	6.5	9.3	7.4	3.3	1.8	2.0	1.3	0.6	1.3	3.2
（再掲）85歳以上	321	239	114	60	74	17	47	27	8	30	28	35	12	5	6	5	1	4	11
	100.0	74.5	35.5	18.7	23.1	5.3	14.6	8.4	2.5	9.3	8.7	10.9	3.7	1.6	1.9	1.6	0.3	1.2	3.4
男性（再掲）85歳以上	135	101	50	28	15	21	22	11	5	12	9	13	9	2	0	1	0	3	3
	100.0	74.8	37.0	20.7	11.1	15.6	16.3	8.1	3.7	8.9	6.7	9.6	6.7	1.5	0.0	0.7	0.0	2.2	2.2
女性（再掲）85歳以上	179	134	63	30	1	51	23	16	3	15	21	22	2	3	6	4	1	1	8
	100.0	74.9	35.2	16.8	0.6	28.5	12.8	8.9	1.7	8.4	11.7	12.3	1.1	1.7	3.4	2.2	0.6	0.6	4.5

2. 健康状態について

(1) 主体的健康観

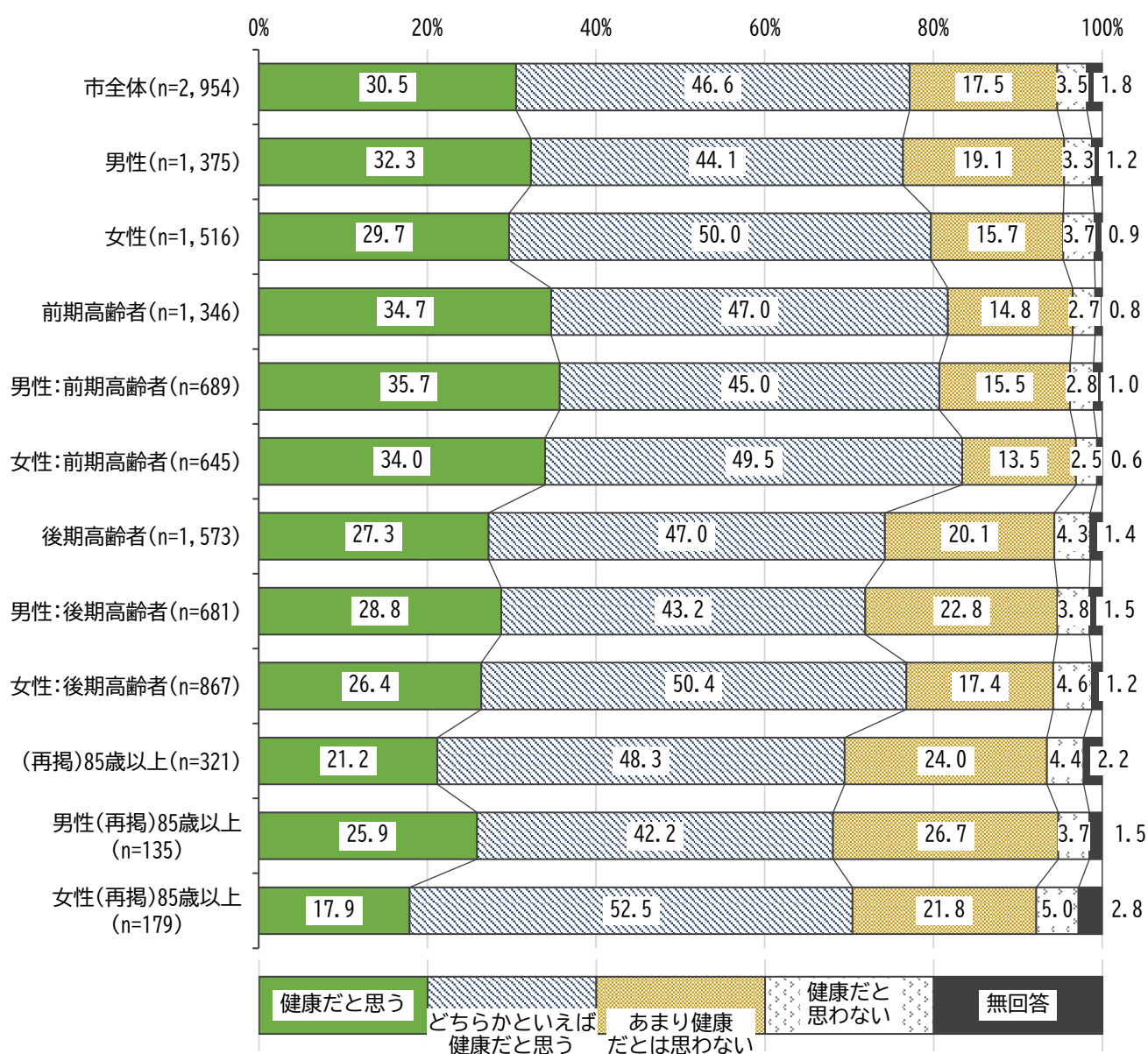
問6 あなたの心身の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

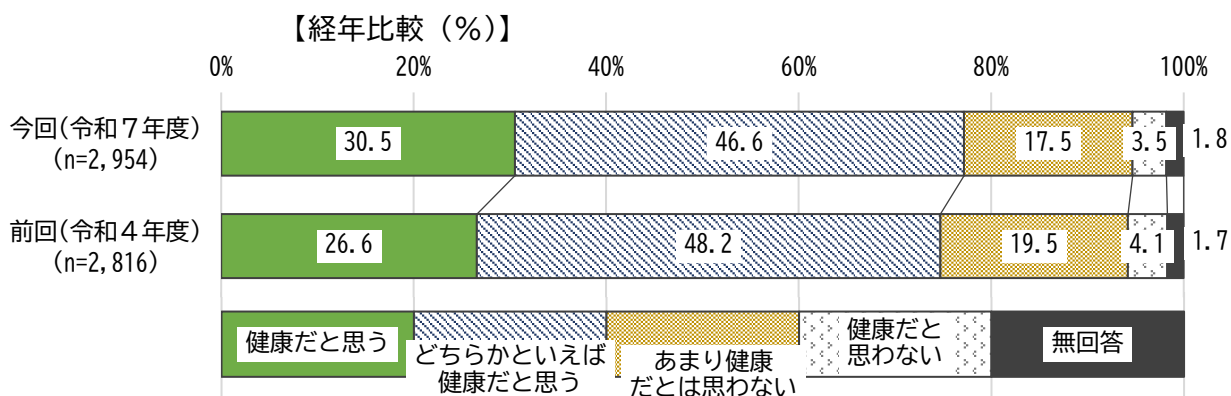
自身の健康状態については「健康だと思う」(30.5%)、「どちらかといえば健康だと思う」(46.6%)を合わせて、『健康』とする割合は77.1%となっています。

一方、「あまり健康だとは思わない」(17.5%)、「健康だと思わない」(3.5%)を合わせて『健康と思わない』とする割合は21.0%となっています。

性別でみると、「健康だと思う」の割合はいずれの年齢においても男性の方が女性より高くなっています。

【基本属性別 (%)】





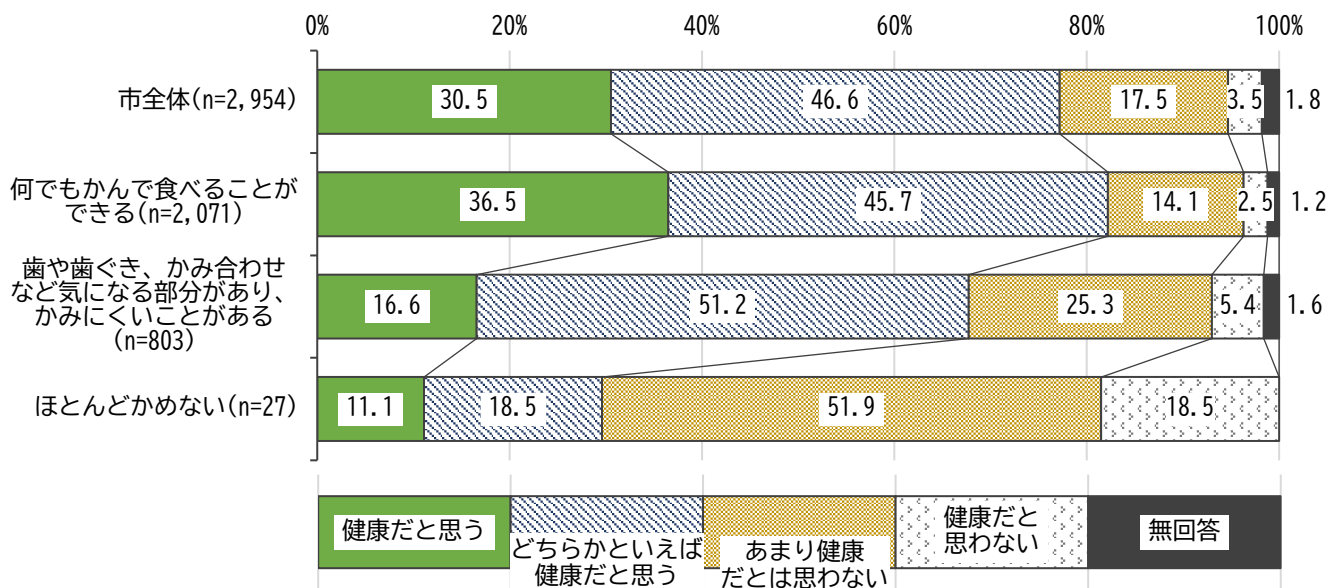
【基本属性別（上段：人数、下段：%）】

	n =	健康だと思う	どちらかといえば健康だと思う	あまり健康だとは思わない	健康だと思わない	無回答
市全体	2,954	901	1,378	517	104	54
	100.0	30.5	46.6	17.5	3.5	1.8
男性	1,375	444	607	262	45	17
	100.0	32.3	44.1	19.1	3.3	1.2
女性	1,516	450	758	238	56	14
	100.0	29.7	50.0	15.7	3.7	0.9
前期高齢者	1,346	467	633	199	36	11
	100.0	34.7	47.0	14.8	2.7	0.8
男性前期高齢者	689	246	310	107	19	7
	100.0	35.7	45.0	15.5	2.8	1.0
女性前期高齢者	645	219	319	87	16	4
	100.0	34.0	49.5	13.5	2.5	0.6
後期高齢者	1,573	429	739	316	67	22
	100.0	27.3	47.0	20.1	4.3	1.4
男性後期高齢者	681	196	294	155	26	10
	100.0	28.8	43.2	22.8	3.8	1.5
女性後期高齢者	867	229	437	151	40	10
	100.0	26.4	50.4	17.4	4.6	1.2
(再掲) 85歳以上	321	68	155	77	14	7
	100.0	21.2	48.3	24.0	4.4	2.2
男性(再掲) 85歳以上	135	35	57	36	5	2
	100.0	25.9	42.2	26.7	3.7	1.5
女性(再掲) 85歳以上	179	32	94	39	9	5
	100.0	17.9	52.5	21.8	5.0	2.8

第2章 調査結果の詳細

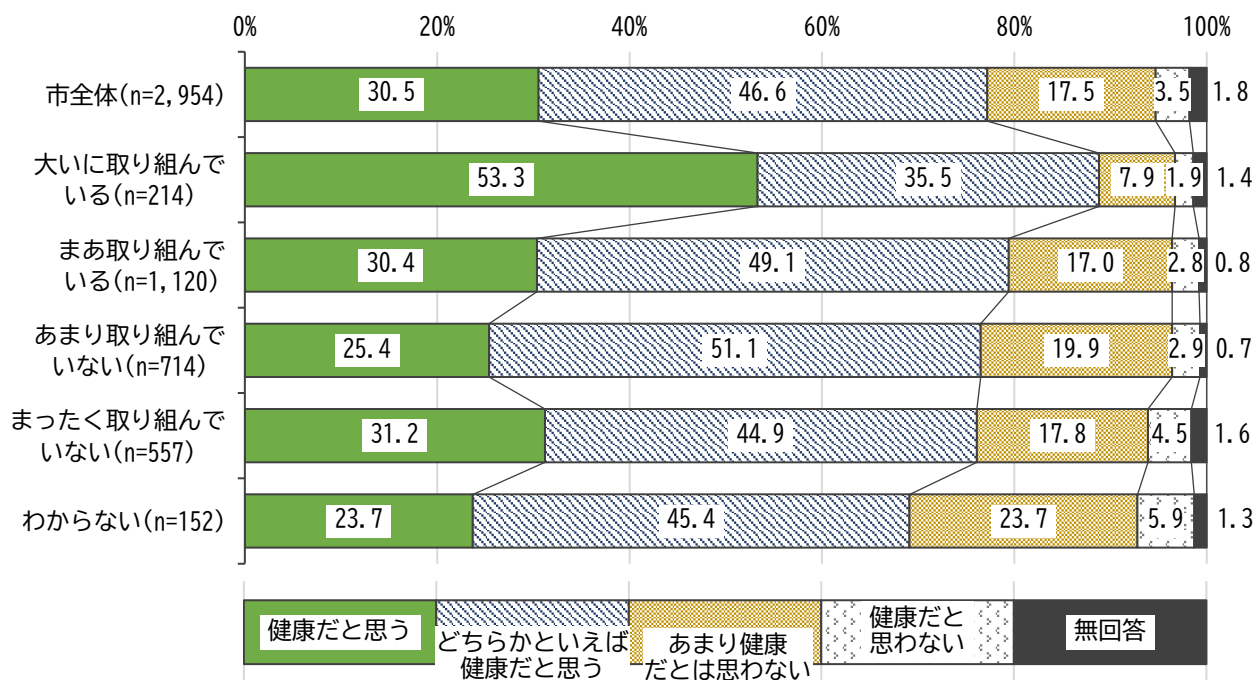
食事を食べる時の状況（問9）別にみると、「何でもかんで食べることができる」方は「健康だと思う」が全体の割合に対して高くなっています。

【食事を食べる時の状況別（％）】



介護予防の取り組み状況（問46）別にみると、取り組み方が熱心なほど健康状態もよいと回答する割合が高い傾向にあります。

【介護予防の取り組み状況別（％）】

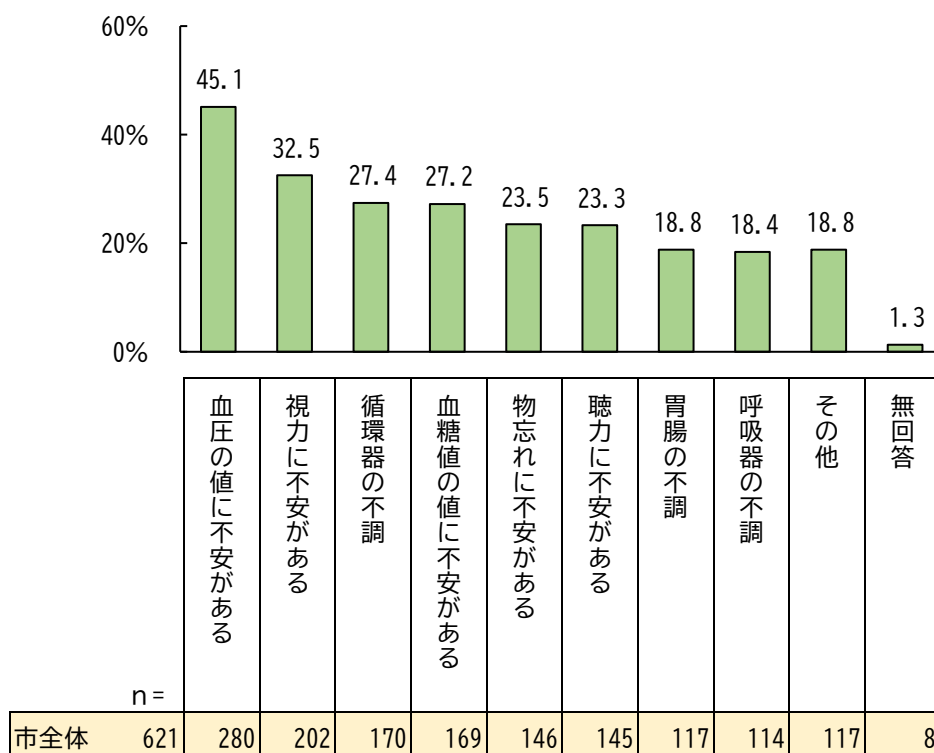


問6-1 《問6で「3. あまり健康だとは思わない」、「4. 健康だと思わない」のいずれかを回答した方にかがいます。》

どのような心身の不調を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「血圧の値に不安がある」(45.1%)が最も高く、次いで「視力に不安がある」(32.5%)、「循環器の不調」(27.4%)、「血糖値の値に不安がある」(27.2%)、「物忘れに不安がある」(23.5%)、「聴力に不安がある」(23.3%)、「胃腸の不調」(18.8%)、「呼吸器の不調」(18.4%)、「その他」(18.8%)となっています。

【単純集計 (%)】



「その他」の主な内容：「がんの病気」、「オストメイトである」

第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	血圧の値に不安がある	視力に不安がある	循環器の不調	血糖値の値に不安がある	物忘れに不安がある	聴力に不安がある	胃腸の不調	呼吸器の不調	その他	無回答
市全体	621	280	202	170	169	146	145	117	114	117	8
	100.0	45.1	32.5	27.4	27.2	23.5	23.3	18.8	18.4	18.8	1.3
男性	307	137	110	97	93	66	77	54	60	45	3
	100.0	44.6	35.8	31.6	30.3	21.5	25.1	17.6	19.5	14.7	1.0
女性	294	136	83	65	71	75	63	61	53	69	4
	100.0	46.3	28.2	22.1	24.1	25.5	21.4	20.7	18.0	23.5	1.4
前期高齢者	235	114	76	51	72	38	45	34	45	48	0
	100.0	48.5	32.3	21.7	30.6	16.2	19.1	14.5	19.1	20.4	0.0
男性 前期高齢者	126	69	47	31	43	20	25	16	24	20	0
	100.0	54.8	37.3	24.6	34.1	15.9	19.8	12.7	19.0	15.9	0.0
女性 前期高齢者	103	41	27	17	26	16	19	18	21	26	0
	100.0	39.8	26.2	16.5	25.2	15.5	18.4	17.5	20.4	25.2	0.0
後期高齢者	383	166	126	118	96	107	99	83	69	69	7
	100.0	43.3	32.9	30.8	25.1	27.9	25.8	21.7	18.0	18.0	1.8
男性 後期高齢者	181	68	63	66	50	46	52	38	36	25	3
	100.0	37.6	34.8	36.5	27.6	25.4	28.7	21.0	19.9	13.8	1.7
女性 後期高齢者	191	95	56	48	45	59	44	43	32	43	4
	100.0	49.7	29.3	25.1	23.6	30.9	23.0	22.5	16.8	22.5	2.1
(再掲) 85歳以上	91	48	31	28	16	25	30	24	14	19	1
	100.0	52.7	34.1	30.8	17.6	27.5	33.0	26.4	15.4	20.9	1.1
男性 (再掲) 85歳以上	41	20	15	15	9	10	16	10	6	10	0
	100.0	48.8	36.6	36.6	22.0	24.4	39.0	24.4	14.6	24.4	0.0
女性 (再掲) 85歳以上	48	28	15	11	7	15	14	14	8	9	1
	100.0	58.3	31.3	22.9	14.6	31.3	29.2	29.2	16.7	18.8	2.1

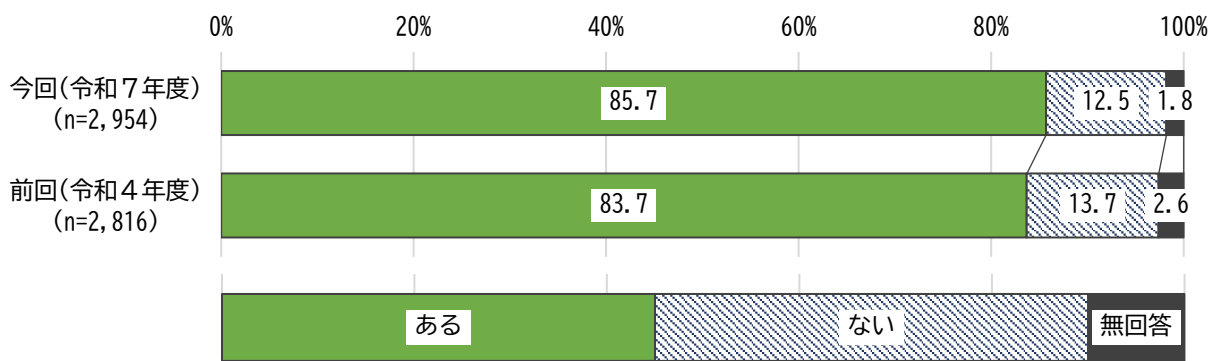
(2) かかりつけ医等の有無

問7 治療や健康について相談する、かかりつけの医師、歯科医師、薬局がありますか。
(それぞれ1つに○)

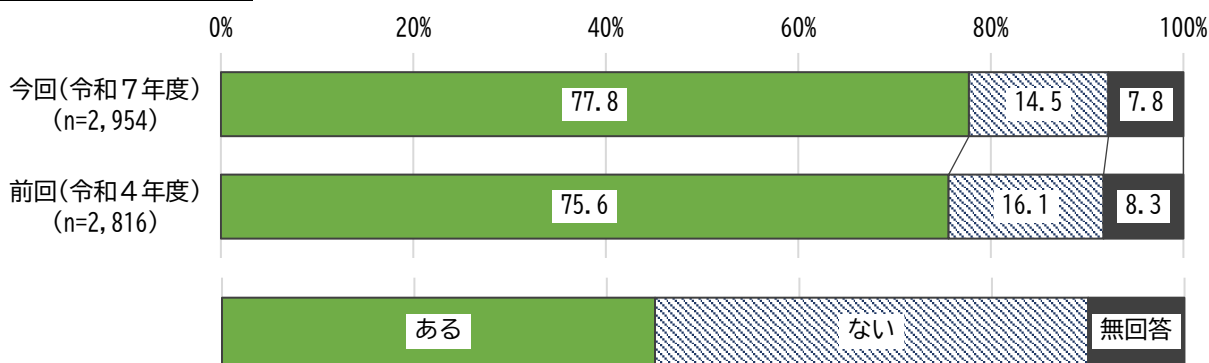
かかりつけ医等の有無については、「ア. かかりつけ医がある」は85.7%、「イ. かかりつけ歯科医がある」は77.8%、「ウ. かかりつけ薬局がある」は68.5%となっています。

【経年比較 (%)】

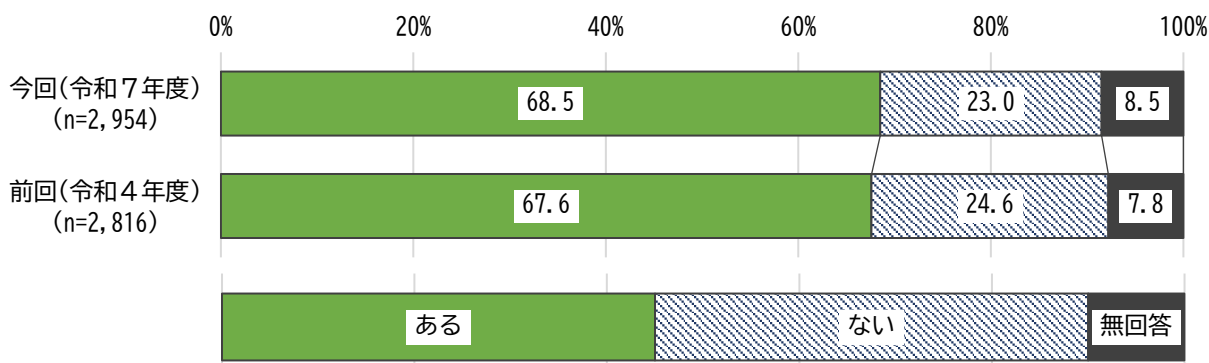
ア. かかりつけ医



イ. かかりつけ歯科医



ウ. かかりつけ薬局

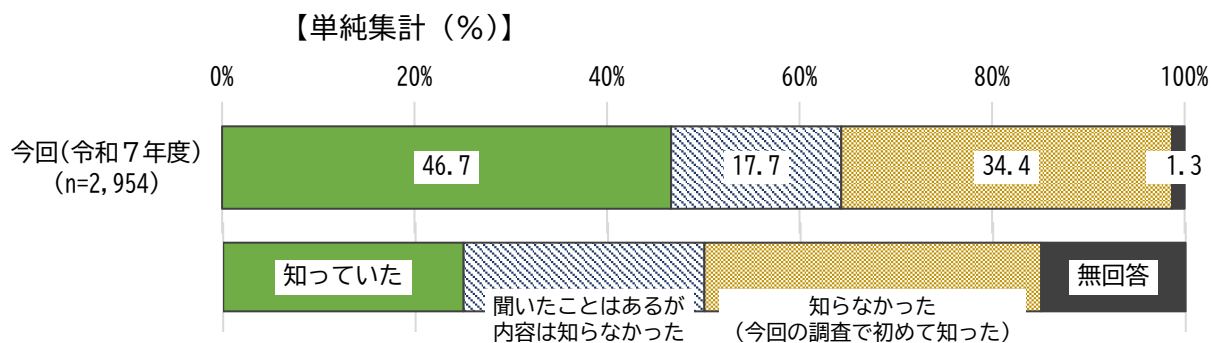


第2章 調査結果の詳細

(3) フレイルの認知度

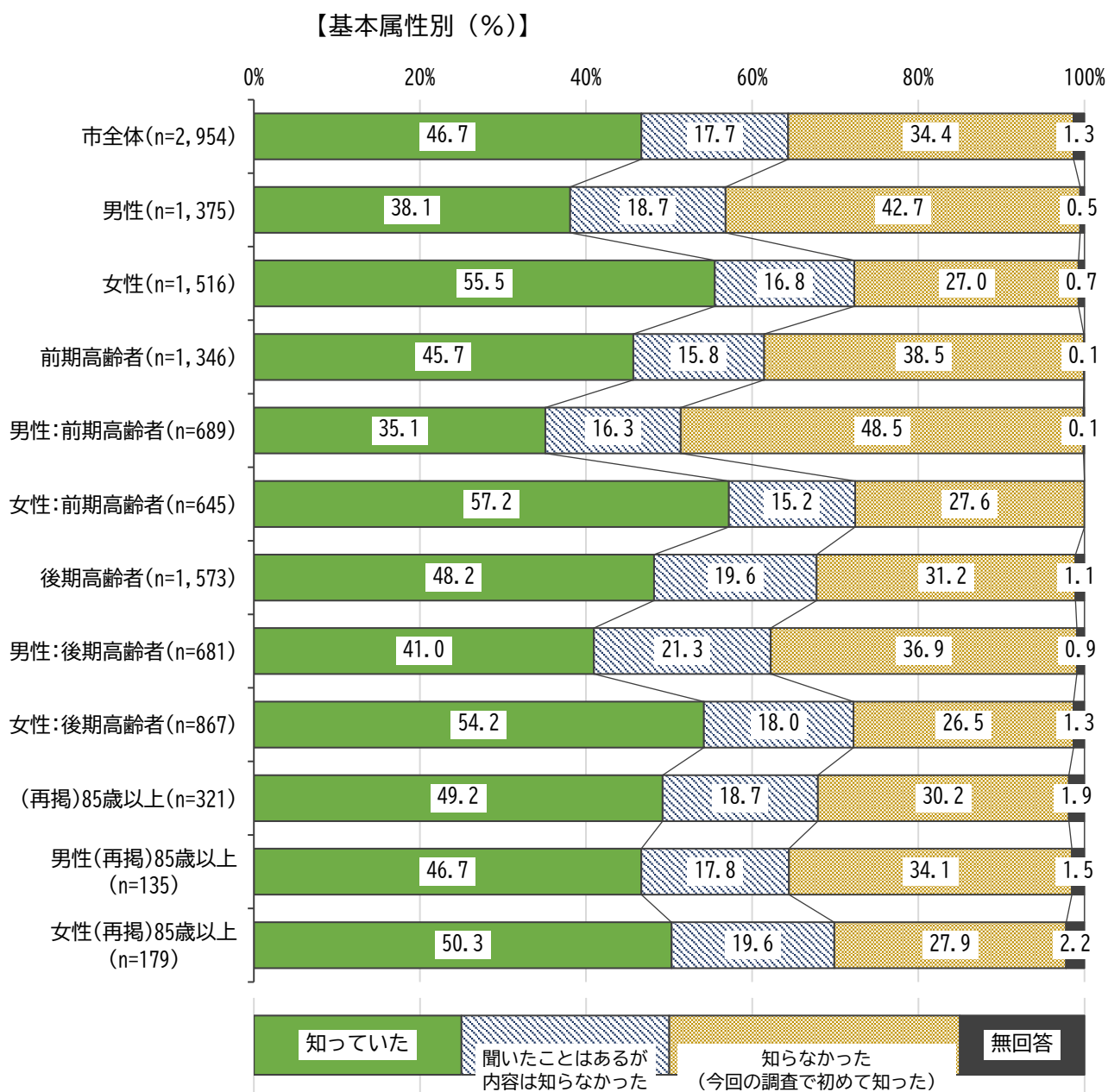
問8 「フレイル」※¹という言葉を知っていますか。(1つに○)

フレイルという言葉を知っているかについては、「知っていた」が46.7%で最も高く、次いで「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」(34.4%)、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」(17.7%)となっています。



※1 フレイルとは、高齢になり、筋力の低下、活動の低下、認知機能の低下、精神活動の低下など、要介護状態に近づくおそれのある虚弱の状態のことです。

性別・年齢別で見ると、「知っていた」はすべての年齢において女性の方が高くなっています。「知らなかった（今回の調査で初めて知った）」は男性の前期高齢者、後期高齢者ともに全体と比べて高くなっています。



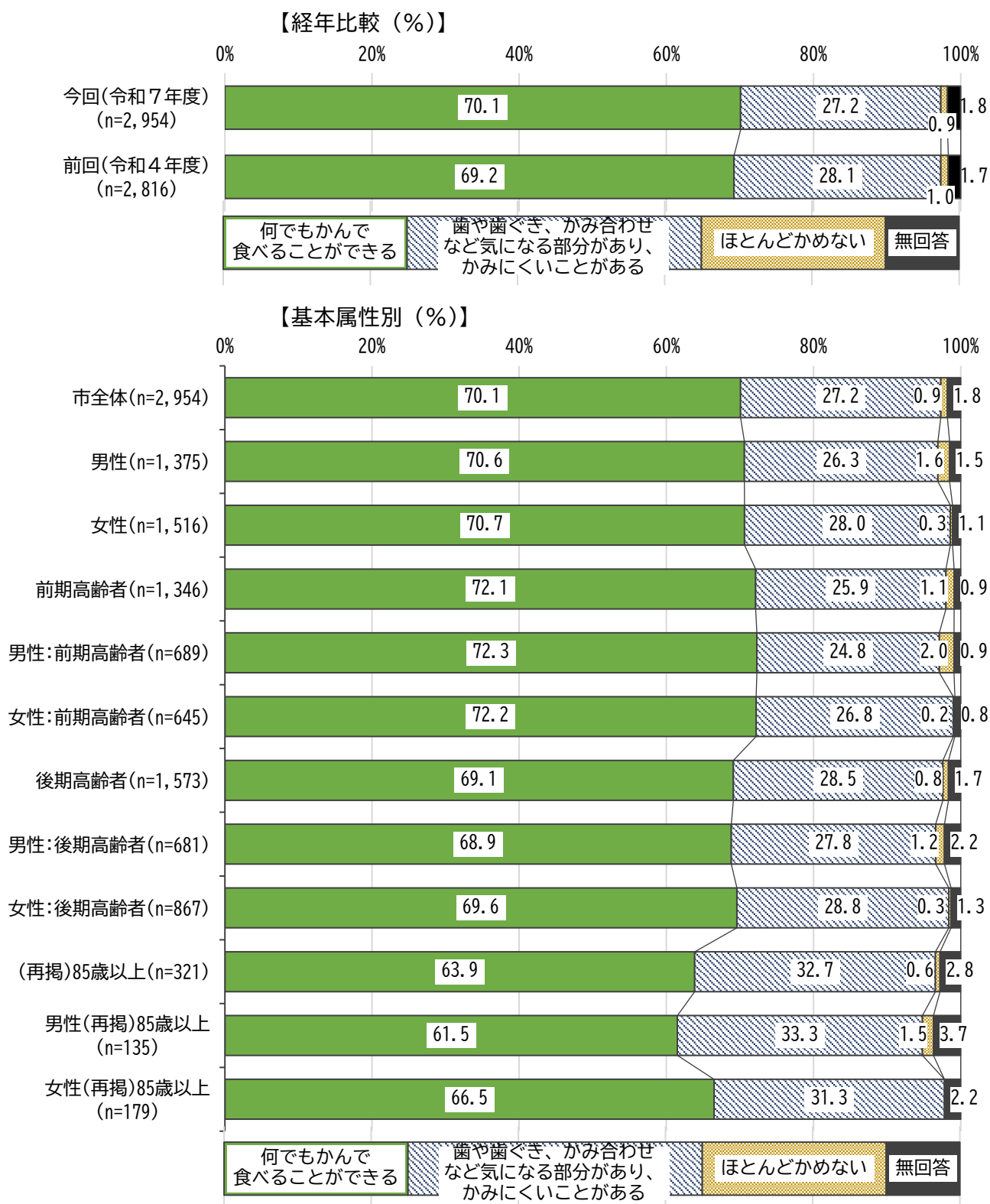
第2章 調査結果の詳細

(4) 食事を食べる時の状況

問9 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。(1つに○)

食事をかんで食べる時の状態については、「何でもかんで食べることができる」が70.1%、「歯や歯ぐき、かみ合わせなど気になる部分があり、かみにくいことがある」が27.2%となっています。

性別・年齢別で見ると、「歯や歯ぐき、かみ合わせなど気になる部分があり、かみにくいことがある」では、後期高齢者では男女とも全体の割合に対して高くなっています。

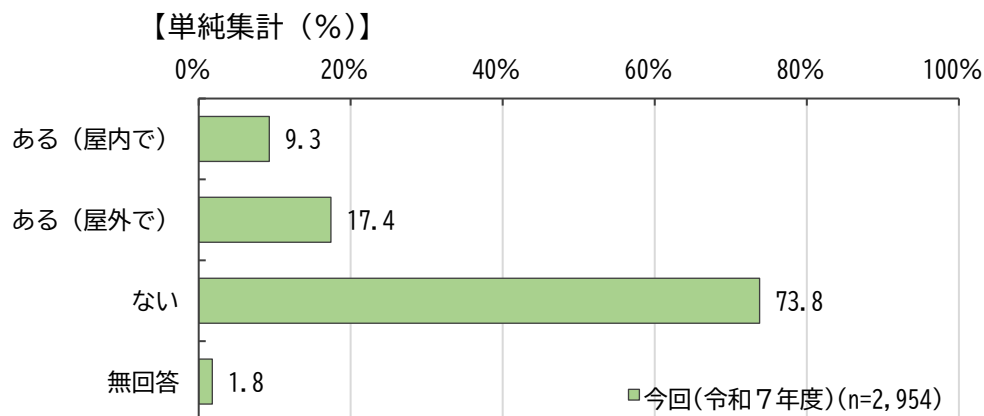


(5) 転倒の経験・不安

問10 この1年間に転んだことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

この1年間の転倒経験については、「ない」が73.8%、「ある（屋外で）」が17.4%、「ある（屋内で）」が9.3%となっています。

性別・年齢別でみると、「ある（屋内で）」、「ある（屋外で）」ともに、後期高齢者と85歳以上で男女とも、全体の割合に対して高くなっています。



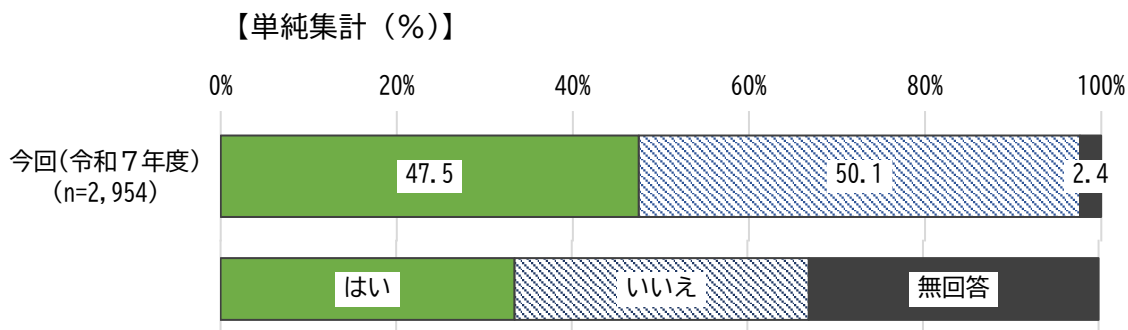
【基本属性別（上段：人数、下段：%）】

	n =	ある（屋内で）	ある（屋外で）	ない	無回答
市全体	2,954	276	513	2,181	52
	100.0	9.3	17.4	73.8	1.8
男性	1,375	131	240	1,023	15
	100.0	9.5	17.5	74.4	1.1
女性	1,516	139	263	1,126	22
	100.0	9.2	17.3	74.3	1.5
前期高齢者	1,346	107	226	1,040	6
	100.0	7.9	16.8	77.3	0.4
男性前期高齢者	689	51	117	535	3
	100.0	7.4	17.0	77.6	0.4
女性前期高齢者	645	54	107	497	3
	100.0	8.4	16.6	77.1	0.5
後期高齢者	1,573	169	284	1,124	31
	100.0	10.7	18.1	71.5	2.0
男性後期高齢者	681	80	121	485	12
	100.0	11.7	17.8	71.2	1.8
女性後期高齢者	867	85	156	625	19
	100.0	9.8	18.0	72.1	2.2
(再掲) 85歳以上	321	54	63	207	10
	100.0	16.8	19.6	64.5	3.1
男性(再掲) 85歳以上	135	26	26	83	4
	100.0	19.3	19.3	61.5	3.0
女性(再掲) 85歳以上	179	27	36	119	6
	100.0	15.1	20.1	66.5	3.4

第2章 調査結果の詳細

問11 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

転倒に対する不安については、「はい」が47.5%、「いいえ」が50.1%となっています。
性別・年齢別でみると、「はい」は、女性がすべての年齢で全体の割合に対して高くなっています。



【基本属性別 (上段：人数、下段：%)】

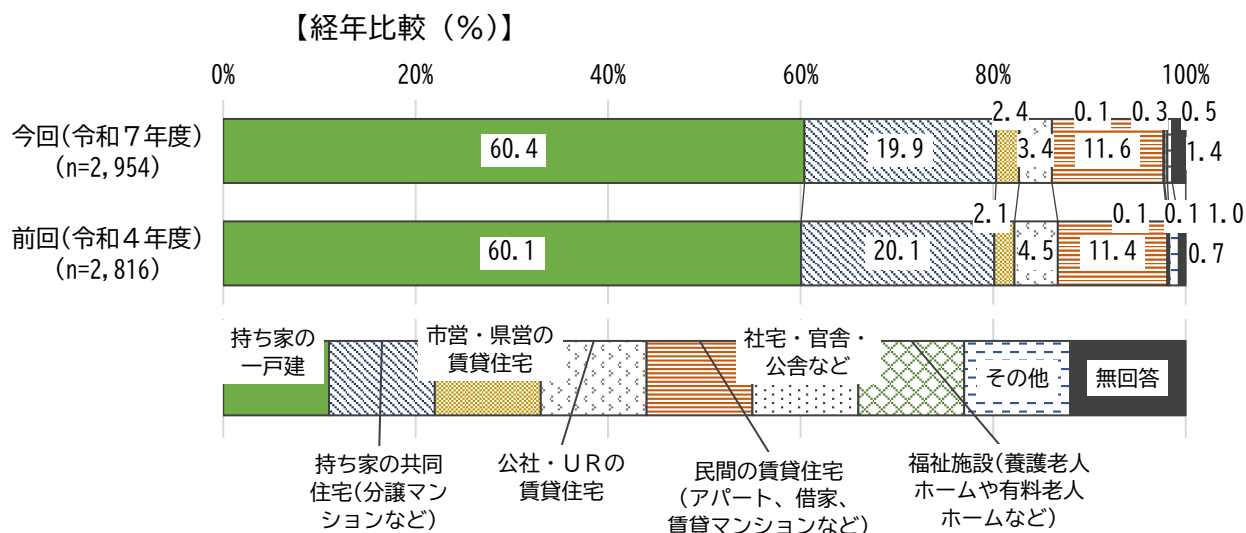
	n =	はい	いいえ	無回答
		人数	人数	人数
市全体	2,954	1,404	1,479	71
	100.0	47.5	50.1	2.4
男性	1,375	509	837	29
	100.0	37.0	60.9	2.1
女性	1,516	870	620	26
	100.0	57.4	40.9	1.7
前期高齢者	1,346	544	786	16
	100.0	40.4	58.4	1.2
男性 前期高齢者	689	216	464	9
	100.0	31.3	67.3	1.3
女性 前期高齢者	645	322	317	6
	100.0	49.9	49.1	0.9
後期高齢者	1,573	849	684	40
	100.0	54.0	43.5	2.5
男性 後期高齢者	681	289	372	20
	100.0	42.4	54.6	2.9
女性 後期高齢者	867	547	300	20
	100.0	63.1	34.6	2.3
(再掲) 85歳以上	321	195	108	18
	100.0	60.7	33.6	5.6
男性 (再掲) 85歳以上	135	68	59	8
	100.0	50.4	43.7	5.9
女性 (再掲) 85歳以上	179	125	44	10
	100.0	69.8	24.6	5.6

3. 住まいの状況について

(1) 住居状況

問 12 どのような住宅にお住まいですか。(1つに○)

住居形態については、「持ち家の一戸建」が 60.4%で最も高く、次いで「持ち家の共同住宅(分譲マンションなど)」(19.9%)、「民間の賃貸住宅(アパート、借家、賃貸マンションなど)」(11.6%) の順となっています。

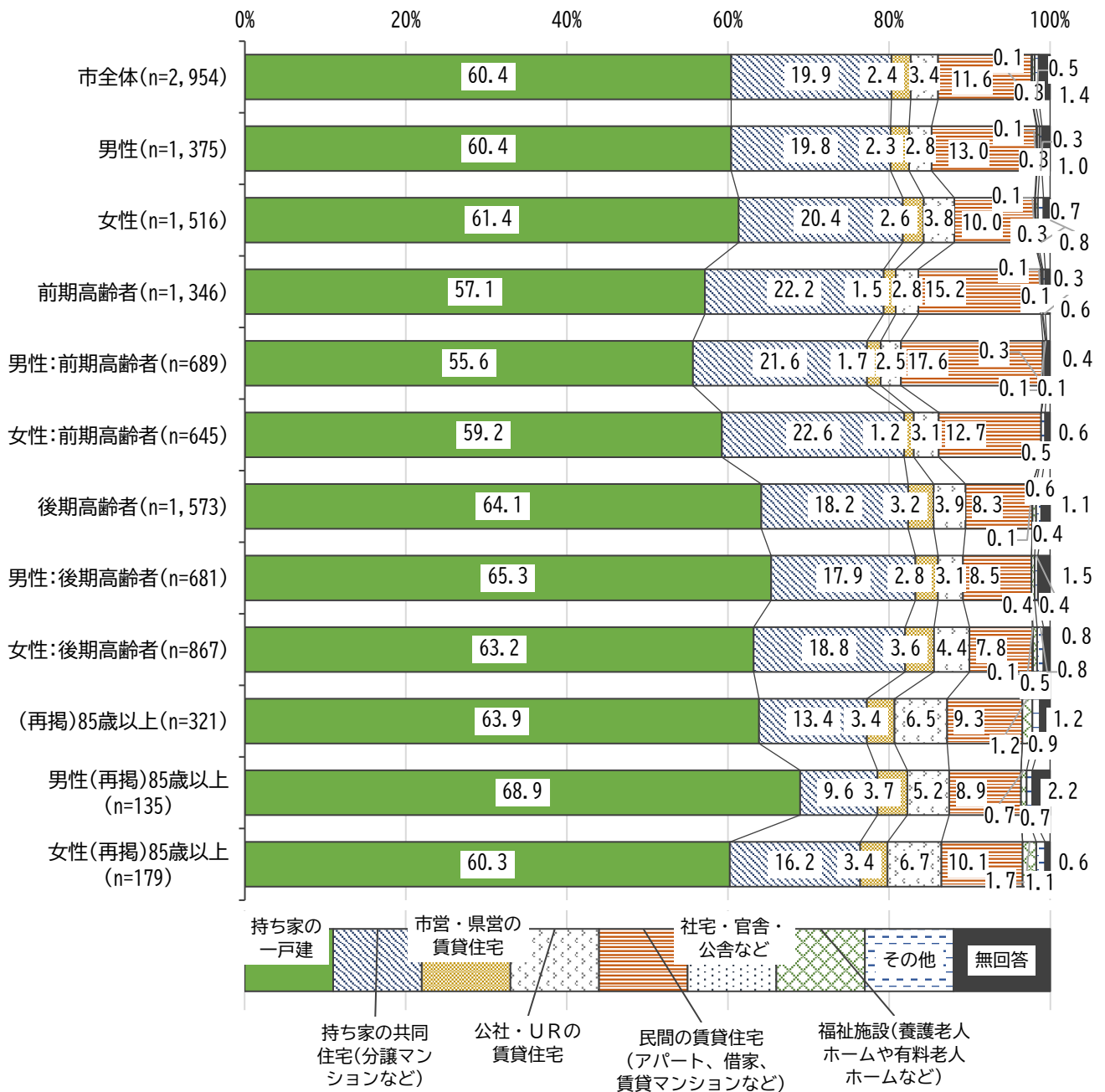


「その他」の主な内容：「アパート所有」、「娘の持ち家」

第2章 調査結果の詳細

性別・年齢別で見ると、男女ともに前期高齢者より後期高齢者で「持ち家の一戸建」の割合が多くなっています。

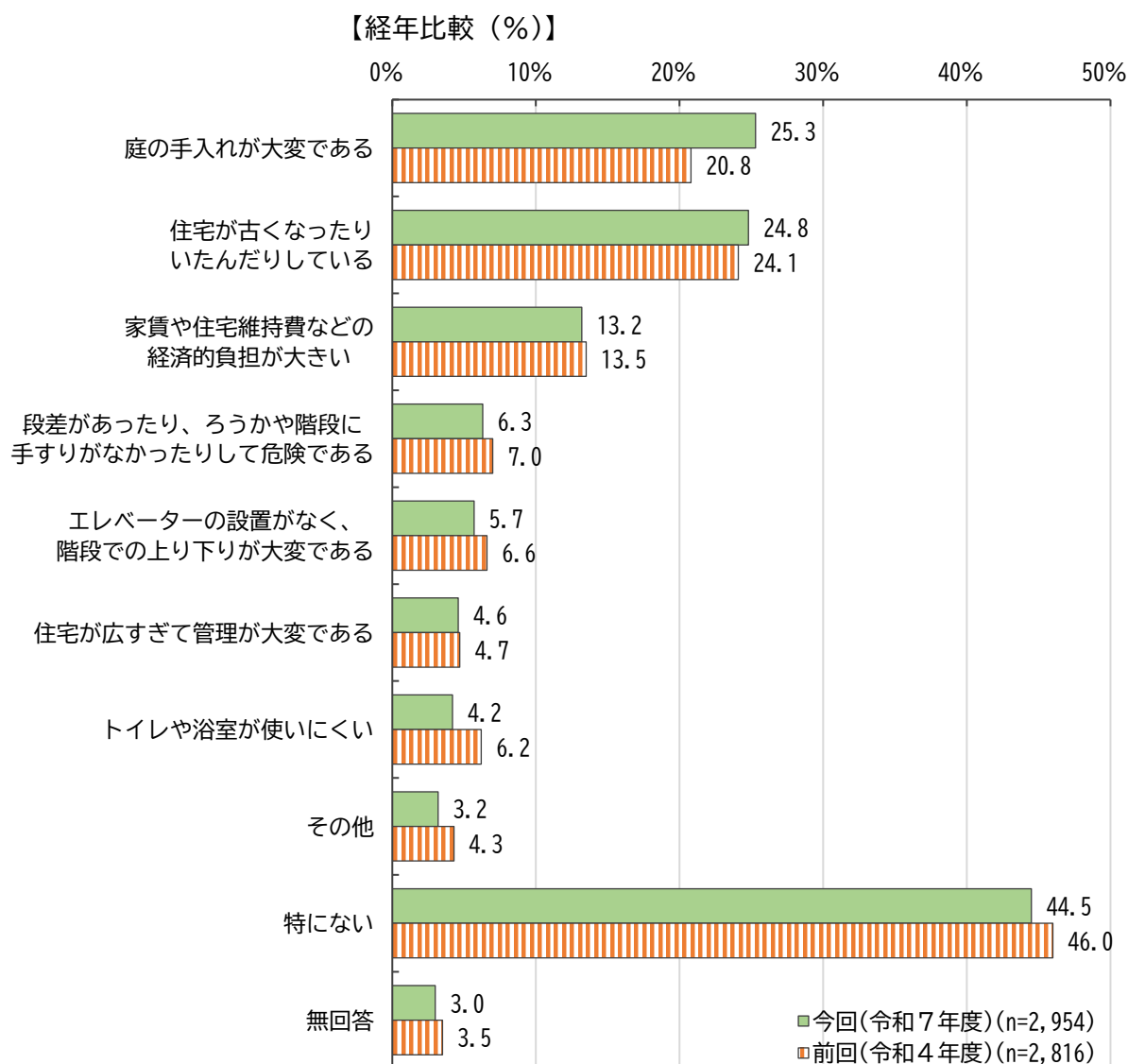
【基本属性別 (%)】



(2) 住まいについて困っていること

問13 現在のお住まいについて、困っていることはありますか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

現在のお住まいについて、困っていることについては、「特にない」と「無回答」を除いた52.5%が何らかの困りごとがあると回答し、「庭の手入れが大変である」(25.3%)、「住宅が古くなったりいたんだりしている」(24.8%)がそれぞれ2割台となっています。次いで「家賃や住宅維持費などの経済的負担が大きい」が13.2%となっています。



「その他」の主な内容：「もう少し広いと良い」、「雨漏りが止まらない」

第2章 調査結果の詳細

年齢別で見ると、後期高齢者では「庭の手入れが大変である」の割合が、全体と比較して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =										
	庭の手入れが大変である	住宅が古くなったりいたんだりしている	家賃や住宅維持費などの経済的負担が大きい	段差があったり、ろうかや階段に手すりがなかったりして危険である	エレベーターの設置がなく、階段の上り下りが大変である	住宅が広すぎて管理が大変である	トイレや浴室が使いにくい	その他	特にない	無回答	
市全体	2,954	746	734	391	187	169	136	123	96	1,316	89
	100.0	25.3	24.8	13.2	6.3	5.7	4.6	4.2	3.2	44.5	3.0
男性	1,375	330	354	199	97	70	77	54	52	620	29
	100.0	24.0	25.7	14.5	7.1	5.1	5.6	3.9	3.8	45.1	2.1
女性	1,516	408	367	180	89	94	58	66	44	676	45
	100.0	26.9	24.2	11.9	5.9	6.2	3.8	4.4	2.9	44.6	3.0
前期高齢者	1,346	311	337	232	80	73	58	57	43	607	20
	100.0	23.1	25.0	17.2	5.9	5.4	4.3	4.2	3.2	45.1	1.5
男性前期高齢者	689	151	172	117	46	34	31	28	24	321	10
	100.0	21.9	25.0	17.0	6.7	4.9	4.5	4.1	3.5	46.6	1.5
女性前期高齢者	645	157	161	110	34	38	27	28	19	283	10
	100.0	24.3	25.0	17.1	5.3	5.9	4.2	4.3	2.9	43.9	1.6
後期高齢者	1,573	432	392	155	106	94	78	65	52	701	54
	100.0	27.5	24.9	9.9	6.7	6.0	5.0	4.1	3.3	44.6	3.4
男性後期高齢者	681	178	182	80	51	36	46	26	28	298	18
	100.0	26.1	26.7	11.7	7.5	5.3	6.8	3.8	4.1	43.8	2.6
女性後期高齢者	867	251	205	70	54	56	31	38	24	390	35
	100.0	29.0	23.6	8.1	6.2	6.5	3.6	4.4	2.8	45.0	4.0
（再掲）85歳以上	321	91	78	24	26	22	15	15	12	147	14
	100.0	28.3	24.3	7.5	8.1	6.9	4.7	4.7	3.7	45.8	4.4
男性（再掲）85歳以上	135	41	36	10	13	7	9	4	10	62	4
	100.0	30.4	26.7	7.4	9.6	5.2	6.7	3.0	7.4	45.9	3.0
女性（再掲）85歳以上	179	50	41	13	13	13	6	10	2	82	10
	100.0	27.9	22.9	7.3	7.3	7.3	3.4	5.6	1.1	45.8	5.6

住居形態別にみると、持ち家の一戸建では「庭の手入れが大変である」、「住宅が古くなったりいたんだりしている」の割合が高く、「公社・URの賃貸住宅」、「民間の賃貸住宅（アパート、借家、賃貸マンションなど）」では「家賃や住宅維持費などの経済的負担が大きい」の割合が最も高く、「市営・県営の賃貸住宅」では「特にない」を除くと「住宅が古くなったりいたんだりしている」の割合が最も高くなっています。

また、「持ち家の共同住宅（分譲マンションなど）」では、「特にない」の割合が、「社宅・官舎・公舎など」と「福祉施設（養護老人ホームや有料老人ホームなど）」を除く他の住宅形態と比べて高くなっています。

【住居形態別（上段：人数、下段：％）】

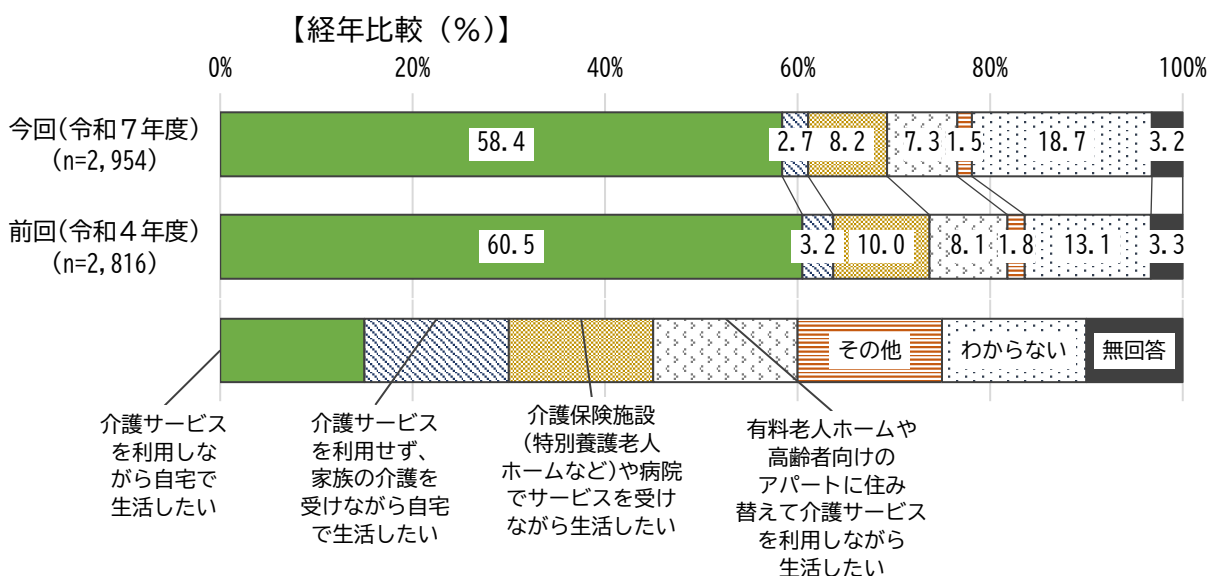
	n =	庭の手入れが大変である	住宅が古くなったりいたんだりしている	段差があったり、ろうかや階段に手すりがなかったりして危険である	エレベーターの設置がなく、階段での上り下りが大変である	トイレや浴室が使いにくい	住宅が広すぎて管理が大変である	家賃や住宅維持費などの経済的負担が大きい	その他	特にない	無回答
市全体	2,954	746	734	187	169	123	136	391	96	1,316	89
	100.0	25.3	24.8	6.3	5.7	4.2	4.6	13.2	3.2	44.5	3.0
持ち家の一戸建	1,785	700	551	131	39	49	129	91	47	754	31
	100.0	39.2	30.9	7.3	2.2	2.7	7.2	5.1	2.6	42.2	1.7
持ち家の共同住宅（分譲マンションなど）	589	23	76	24	63	13	2	91	21	348	13
	100.0	3.9	12.9	4.1	10.7	2.2	0.3	15.4	3.6	59.1	2.2
市営・県営の賃貸住宅	70	5	23	5	19	12	2	13	2	28	1
	100.0	7.1	32.9	7.1	27.1	17.1	2.9	18.6	2.9	40.0	1.4
公社・URの賃貸住宅	101	0	17	3	25	17	0	38	8	37	0
	100.0	0.0	16.8	3.0	24.8	16.8	0.0	37.6	7.9	36.6	0.0
民間の賃貸住宅（アパート、借家、賃貸マンションなど）	342	15	63	24	22	30	1	153	17	131	6
	100.0	4.4	18.4	7.0	6.4	8.8	0.3	44.7	5.0	38.3	1.8
社宅・官舎・公舎など	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
福祉施設（養護老人ホームや有料老人ホームなど）	8	0	0	0	0	1	0	2	0	5	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	62.5	0.0
その他	14	3	2	0	1	0	2	2	0	8	1
	100.0	21.4	14.3	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3	0.0	57.1	7.1

第2章 調査結果の詳細

(3) 要介護認定を受けた時の生活についての希望

問 14 介護保険制度の要介護認定を受けた場合の生活について、どのような希望をお持ちですか。(1つに○)

要介護認定を受けた場合の生活については、「介護サービスを利用しながら自宅で生活したい」が58.4%で約6割となっています。次いで「介護保険施設(特別養護老人ホームなど)や病院でサービスを受けながら生活したい」が8.2%、「有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい」が7.3%の順となっています。

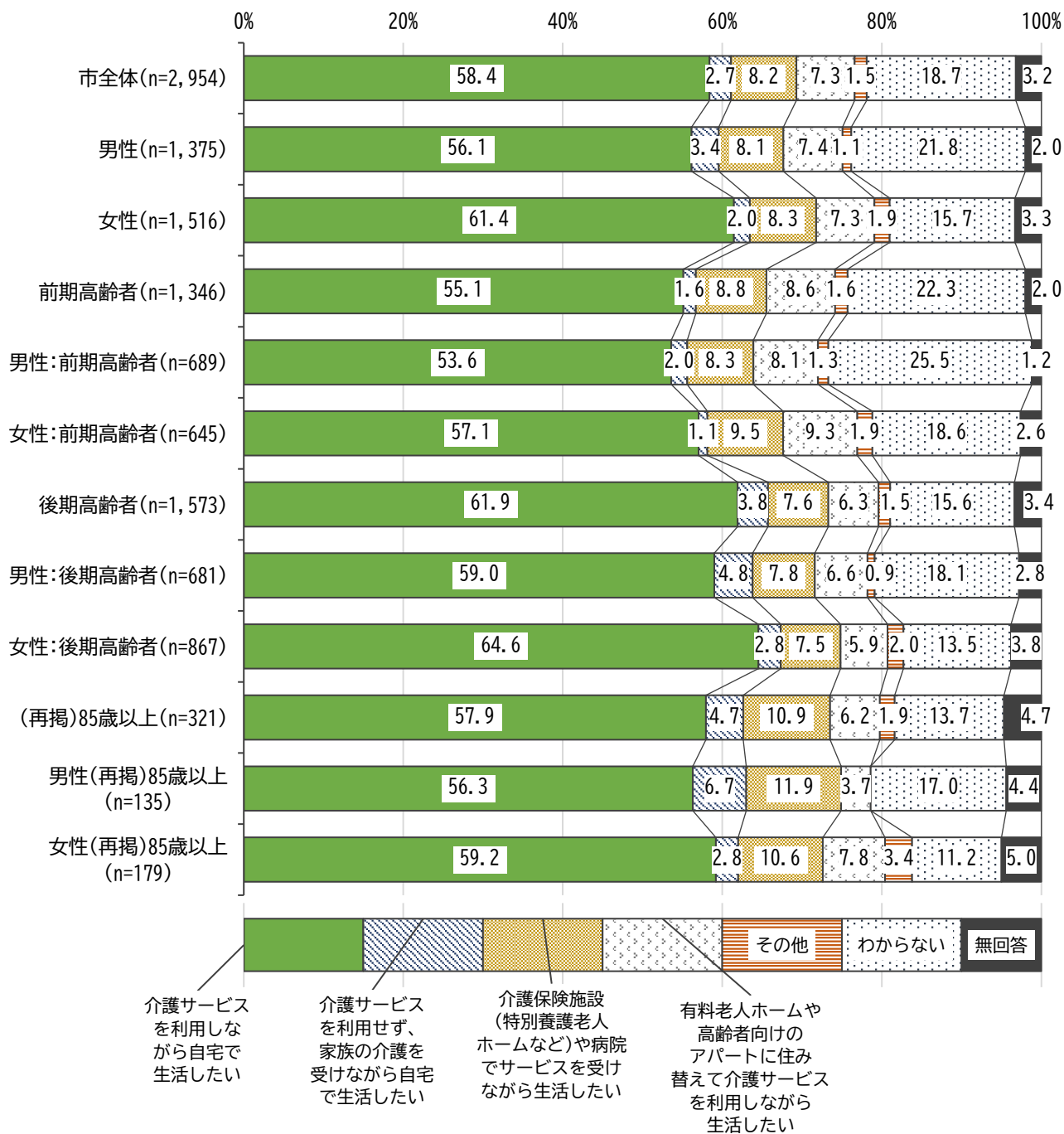


「その他」の主な内容：「その時の状況により判断したい」、「今の処考えた事がない」

性別で見ると、「介護サービスを利用しながら自宅で生活したい」割合は、男性より女性の方が高くなっています。

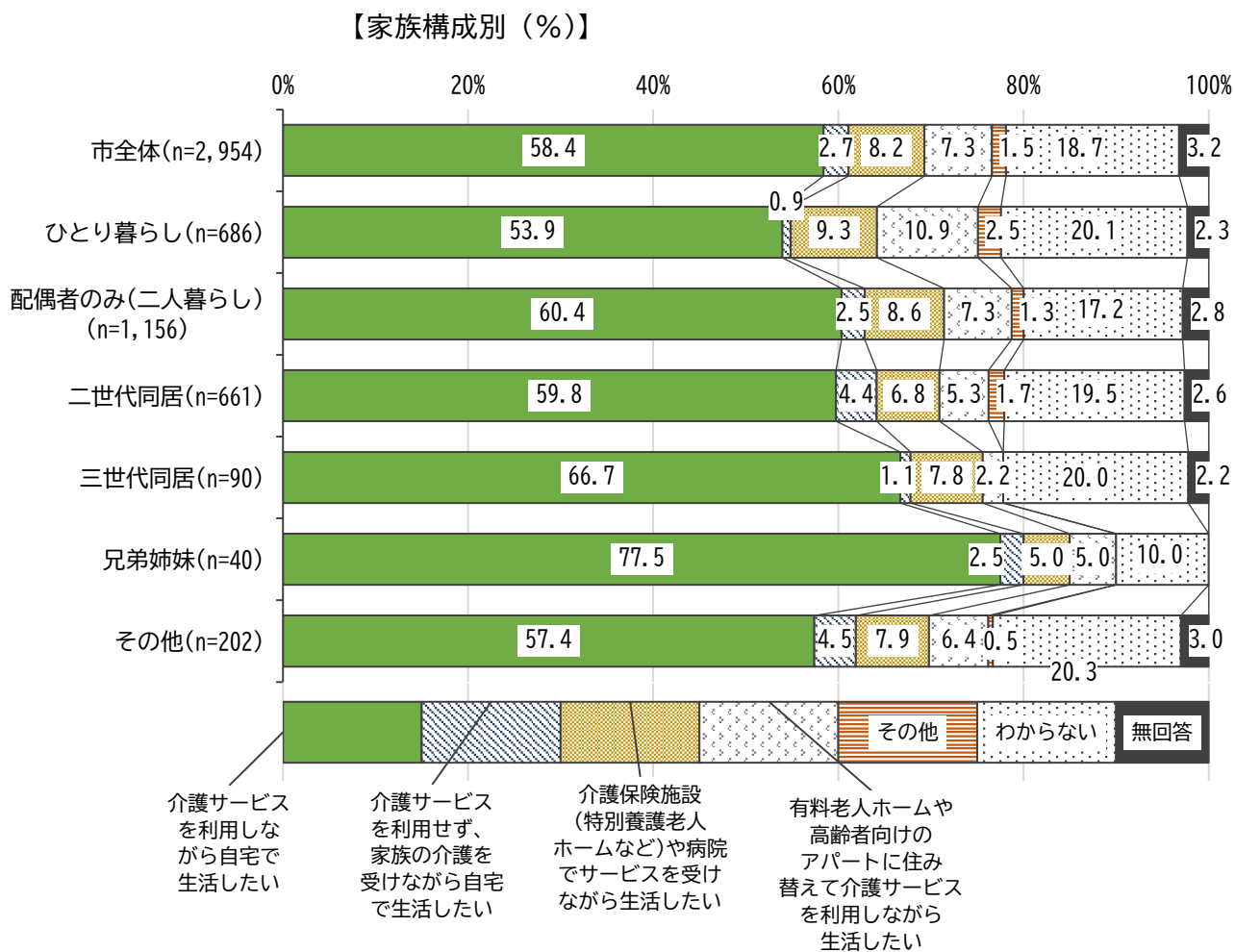
年齢別で見ると、前期高齢者・後期高齢者いずれも全体の割合と大きな差はありません。

【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

家族構成別（問4）にみると、ひとり暮らしでは、「有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい」が全体の割合に対して多くなっています。

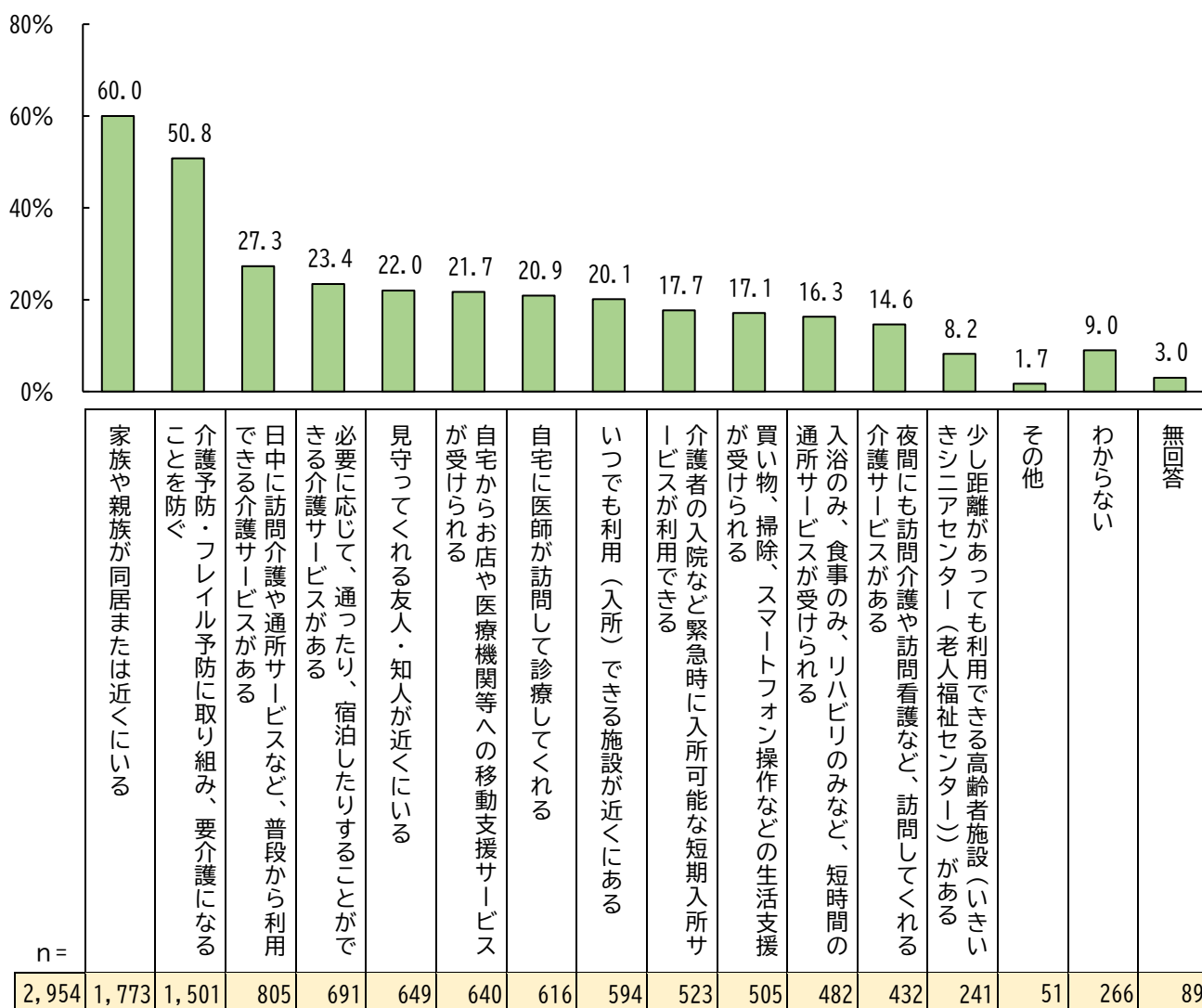


(4) 住み慣れたご自宅で暮らし続けるために必要なこと

問 15 住み慣れたご自宅で暮らし続けるために、どのようなことが必要と思われますか。
(特にあてはまるもの5つまでに○)

住み慣れたご自宅で暮らし続けるために必要なことについては、「家族や親族が同居または近くにいる」が60.0%と半数を超え最も高く、次いで「介護予防・フレイル予防に取り組み、要介護になることを防ぐ」(50.8%)、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」(27.3%)、「必要に応じて、通ったり、宿泊したりすることができるような介護サービスがある」(23.4%)、「見守ってくれる友人・知人が近くにいる」(22.0%)と続いています。

【単純集計 (%)】



「その他」の主な内容：「高齢者が借りられる賃貸アパートが必要」、「ひとり暮らしの為緊急時24時間連絡が取れる119番にしにくいから」

第2章 調査結果の詳細

年齢別でみると、前期高齢者では「介護予防・フレイル予防に取り組み、要介護になることを防ぐ」、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」、「必要に応じて、通ったり、宿泊したりすることができるような介護サービスがある」、「自宅からお店や医療機関等への移動支援サービスが受けられる」、「いつでも利用（入所）できる施設が近くにある」、「介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる」など多くの項目で全体の割合を上回っています。一方、後期高齢者では「家族や親族が同居または近くにいる」、「見守ってくれる友人・知人が近くにいる」などが全体の割合を上回っています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

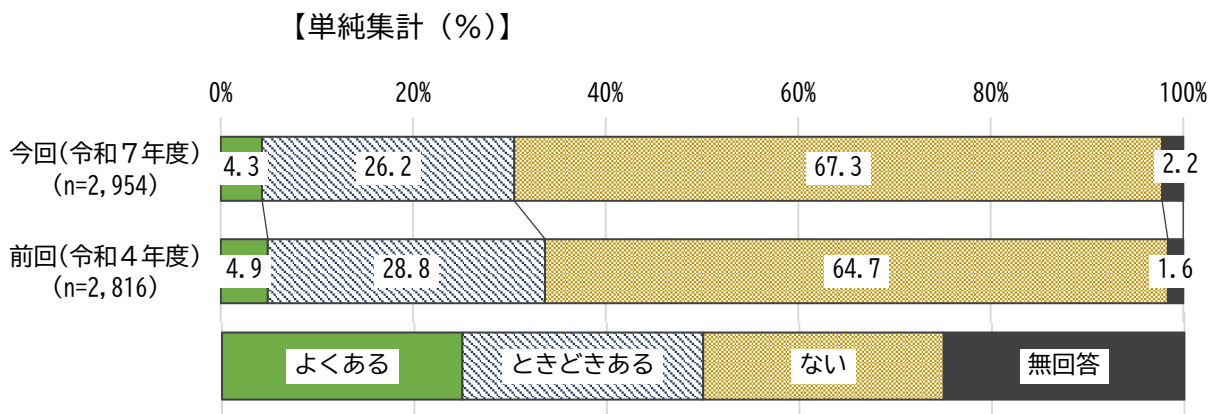
	n =	家族や親族が同居または近くにいる	介護予防・フレイル予防に取り組み、要介護になることを防ぐ	日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	必要に応じて、通ったり、宿泊したりすることができる介護サービスがある	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	自宅からお店や医療機関等への移動支援サービスが受けられる	自宅に医師が訪問して診療してくれる	いつでも利用（入所）できる施設が近くにある	介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる	支障が受けられる	買物、掃除、スマートフォン操作などの生活	入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスが受けられる	夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある	少し距離があっても利用できる高齢者施設（いきいきシニアセンター（老人福祉センター））	その他	わからない	無回答
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
市全体	2,954	1,773	1,501	805	691	649	640	616	594	523	505	482	432	241	51	266	89	
	100.0	60.0	50.8	27.3	23.4	22.0	21.7	20.9	20.1	17.7	17.1	16.3	14.6	8.2	1.7	9.0	3.0	
男性	1,375	840	645	398	299	247	283	277	249	235	217	204	202	124	23	137	32	
	100.0	61.1	46.9	28.9	21.7	18.0	20.6	20.1	18.1	17.1	15.8	14.8	14.7	9.0	1.7	10.0	2.3	
女性	1,516	909	839	400	385	390	346	333	338	280	280	274	225	111	28	119	38	
	100.0	60.0	55.3	26.4	25.4	25.7	22.8	22.0	22.3	18.5	18.5	18.1	14.8	7.3	1.8	7.8	2.5	
前期高齢者	1,346	779	751	395	374	286	308	272	273	252	252	232	224	92	15	118	20	
	100.0	57.9	55.8	29.3	27.8	21.2	22.9	20.2	20.3	18.7	18.7	17.2	16.6	6.8	1.1	8.8	1.5	
男性前期高齢者	689	414	344	195	169	123	143	127	124	119	115	112	107	49	5	73	8	
	100.0	60.1	49.9	28.3	24.5	17.9	20.8	18.4	18.0	17.3	16.7	16.3	15.5	7.1	0.7	10.6	1.2	
女性前期高齢者	645	361	403	198	203	161	161	143	146	131	135	120	116	41	10	43	10	
	100.0	56.0	62.5	30.7	31.5	25.0	25.0	22.2	22.6	20.3	20.9	18.6	18.0	6.4	1.6	6.7	1.6	
後期高齢者	1,573	985	742	407	314	360	328	342	315	266	251	247	205	147	36	143	52	
	100.0	62.6	47.2	25.9	20.0	22.9	20.9	21.7	20.0	16.9	16.0	15.7	13.0	9.3	2.3	9.1	3.3	
男性後期高齢者	681	425	300	202	129	123	140	149	123	114	102	91	93	75	18	64	23	
	100.0	62.4	44.1	29.7	18.9	18.1	20.6	21.9	18.1	16.7	15.0	13.4	13.7	11.0	2.6	9.4	3.4	
女性後期高齢者	867	545	434	201	182	229	184	190	191	149	145	154	109	70	18	74	28	
	100.0	62.9	50.1	23.2	21.0	26.4	21.2	21.9	22.0	17.2	16.7	17.8	12.6	8.1	2.1	8.5	3.2	
（再掲）85歳以上	321	208	127	64	51	55	63	75	60	48	43	52	33	39	9	33	14	
	100.0	64.8	39.6	19.9	15.9	17.1	19.6	23.4	18.7	15.0	13.4	16.2	10.3	12.1	2.8	10.3	4.4	
男性（再掲）85歳以上	135	83	53	33	23	17	28	35	27	23	20	22	17	20	7	18	4	
	100.0	61.5	39.3	24.4	17.0	12.6	20.7	25.9	20.0	17.0	14.8	16.3	12.6	14.8	5.2	13.3	3.0	
女性（再掲）85歳以上	179	120	70	30	27	34	35	40	33	24	22	29	15	19	2	15	10	
	100.0	67.0	39.1	16.8	15.1	19.0	19.6	22.3	18.4	13.4	12.3	16.2	8.4	10.6	1.1	8.4	5.6	

4. 外出等の状況について

(1) 移動状況

問16 外出が「むずかしい」、「おっくうである」と感じることはありますか。(1つに○)

外出の難しさやおっくうさについては、「ない」が67.3%と最も高く、次いで「ときどきある」(26.2%)となっています。



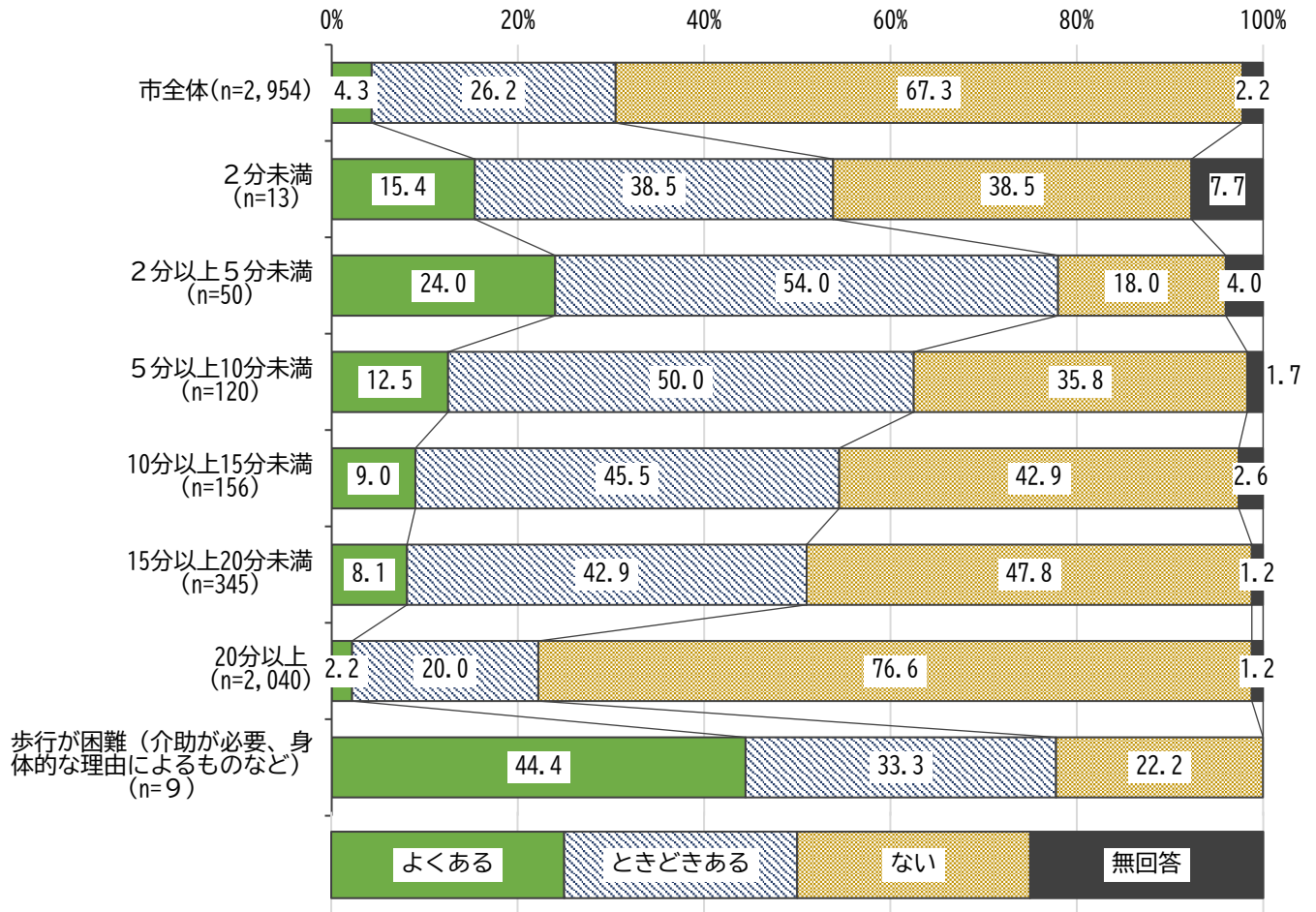
【基本属性別 (上段：人数、下段：%)】

	n =	よくある	ときどきある	ない	無回答
市全体	2,954	127	774	1,988	65
	100.0	4.3	26.2	67.3	2.2
男性	1,375	52	280	1,019	24
	100.0	3.8	20.4	74.1	1.7
女性	1,516	72	473	947	24
	100.0	4.7	31.2	62.5	1.6
前期高齢者	1,346	36	281	1,020	9
	100.0	2.7	20.9	75.8	0.7
男性前期高齢者	689	18	111	556	4
	100.0	2.6	16.1	80.7	0.6
女性前期高齢者	645	17	165	459	4
	100.0	2.6	25.6	71.2	0.6
後期高齢者	1,573	91	485	955	42
	100.0	5.8	30.8	60.7	2.7
男性後期高齢者	681	34	169	458	20
	100.0	5.0	24.8	67.3	2.9
女性後期高齢者	867	55	306	486	20
	100.0	6.3	35.3	56.1	2.3
(再掲) 85歳以上	321	27	118	164	12
	100.0	8.4	36.8	51.1	3.7
男性(再掲) 85歳以上	135	8	40	81	6
	100.0	5.9	29.6	60.0	4.4
女性(再掲) 85歳以上	179	19	76	78	6
	100.0	10.6	42.5	43.6	3.4

第2章 調査結果の詳細

休まず歩ける時間(問 56)別にみると、「2分以上5分未満」で「ときどきある」が最も高くなっています。また、「20分以上」では「ない」が76.6%と高くなっています。

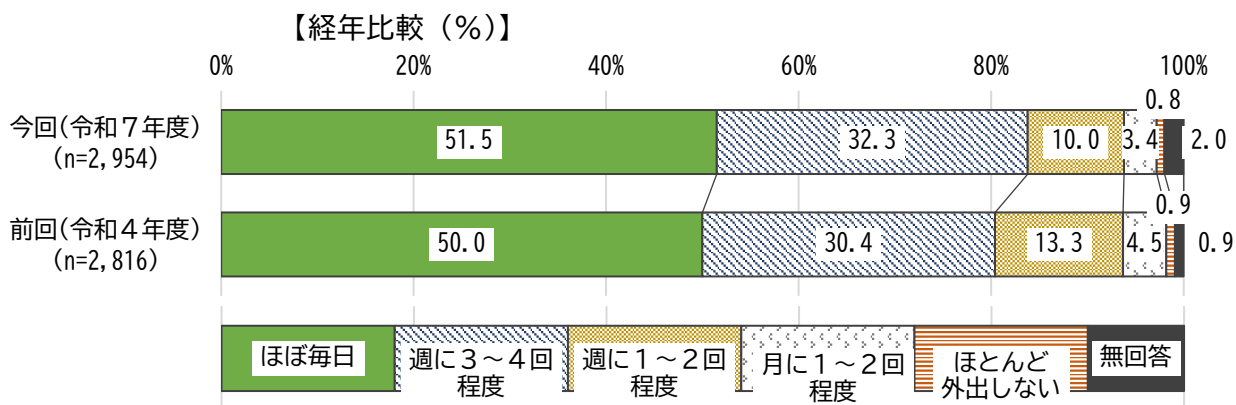
【休まず歩ける時間別 (%)】



(2) 外出頻度

問 17 外出（散歩や通院も含む）はどのくらいの頻度で行っていますか。（1つに○）

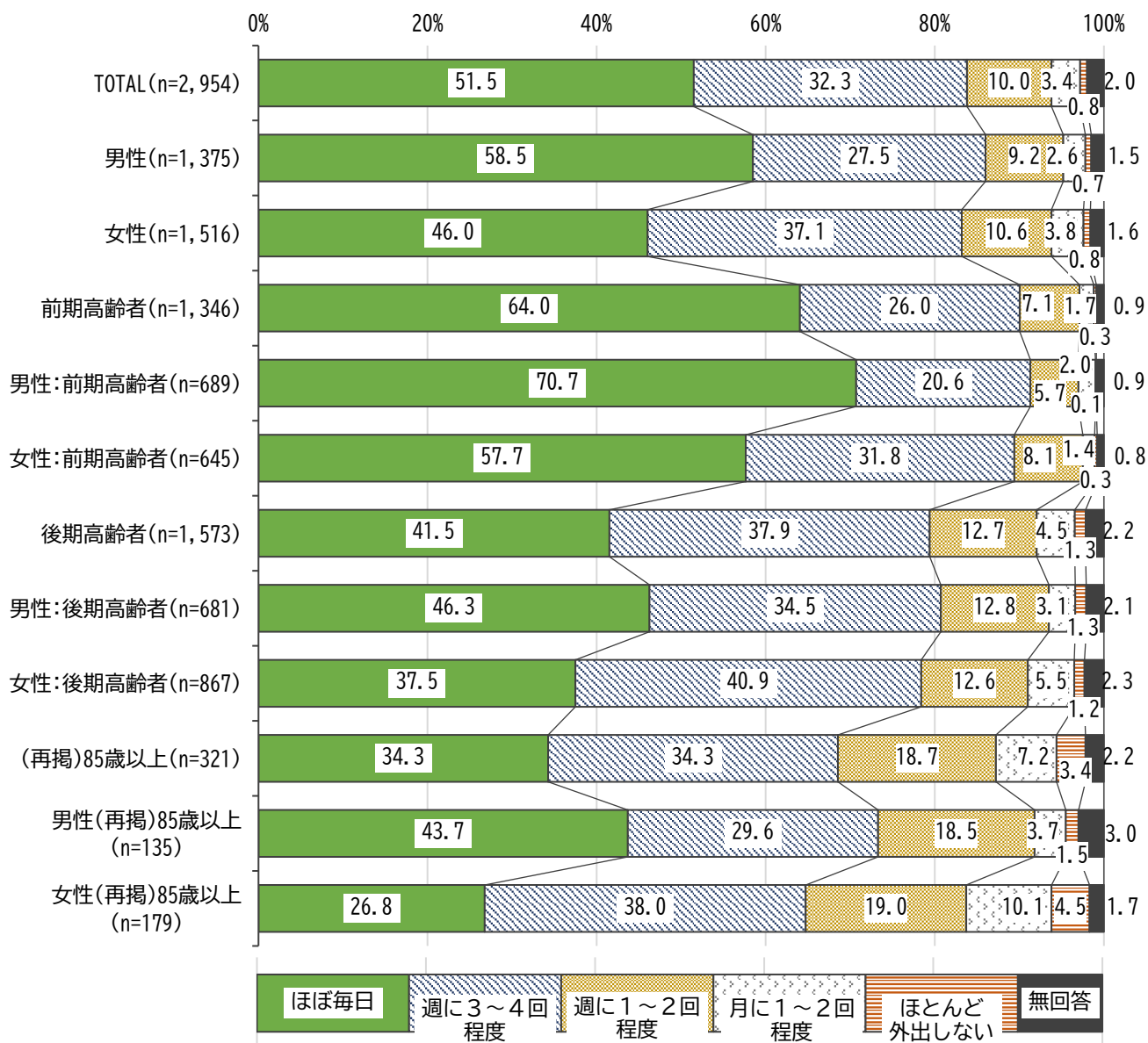
外出頻度については、「ほぼ毎日」が 51.5%、「週に3～4回程度」が 32.3%、「週1～2回程度」が 10.0%、「月に1～2回程度」が 3.4%、「ほとんど外出しない」が 0.8%となっています。週に1回以上外出している割合は 93.8%となっています。



第2章 調査結果の詳細

性別・年齢別で見ると、年齢の上昇とともに「ほぼ毎日」の割合は減少しています。また、「ほぼ毎日」の割合は、年代区分いづれも男性が女性を上回っています。

【基本属性別 (%)】

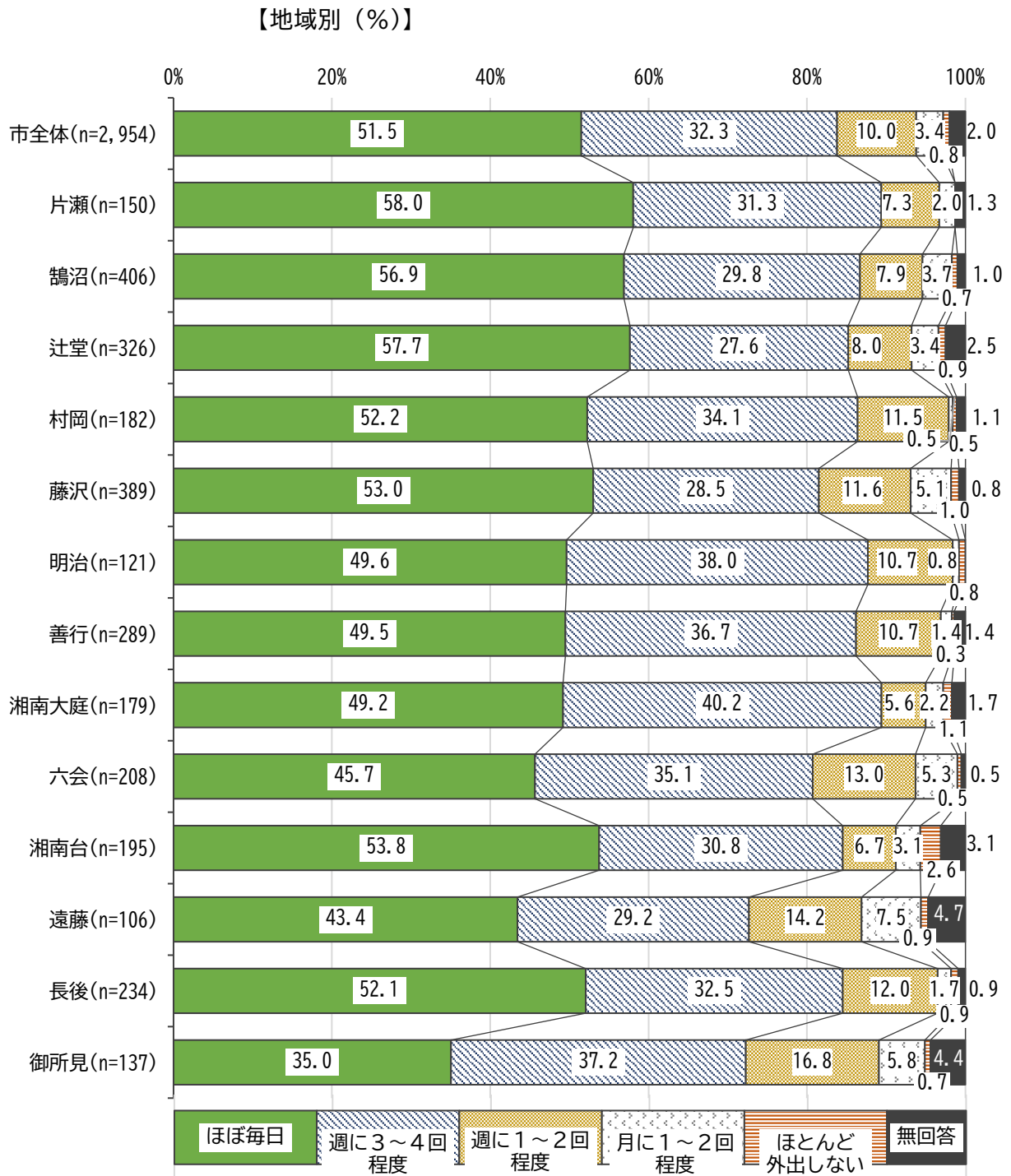


【基本属性別・健康状態別（上段：人数、下段：％）】

		n=	ほぼ毎日	週に3〜4回程度	週に1〜2回程度	月に1〜2回程度	ほとんど外出しない	無回答
市全体		2,954	1,521	953	296	99	25	60
		100.0	51.5	32.3	10.0	3.4	0.8	2.0
基本属性別	男性	1,375	804	378	127	36	10	20
		100.0	58.5	27.5	9.2	2.6	0.7	1.5
	女性	1,516	698	562	161	58	12	25
		100.0	46.0	37.1	10.6	3.8	0.8	1.6
	前期高齢者	1,346	862	350	95	23	4	12
		100.0	64.0	26.0	7.1	1.7	0.3	0.9
	男性前期高齢者	689	487	142	39	14	1	6
		100.0	70.7	20.6	5.7	2.0	0.1	0.9
	女性前期高齢者	645	372	205	52	9	2	5
		100.0	57.7	31.8	8.1	1.4	0.3	0.8
	後期高齢者	1,573	653	596	199	71	20	34
		100.0	41.5	37.9	12.7	4.5	1.3	2.2
	男性後期高齢者	681	315	235	87	21	9	14
		100.0	46.3	34.5	12.8	3.1	1.3	2.1
女性後期高齢者	867	325	355	109	48	10	20	
	100.0	37.5	40.9	12.6	5.5	1.2	2.3	
(再掲) 85歳以上	321	110	110	60	23	11	7	
	100.0	34.3	34.3	18.7	7.2	3.4	2.2	
男性(再掲) 85歳以上	135	59	40	25	5	2	4	
	100.0	43.7	29.6	18.5	3.7	1.5	3.0	
女性(再掲) 85歳以上	179	48	68	34	18	8	3	
	100.0	26.8	38.0	19.0	10.1	4.5	1.7	
健康状態別	健康だと思う	901	585	234	48	13	2	19
		100.0	64.9	26.0	5.3	1.4	0.2	2.1
	どちらかといえば健康だと思う	1,378	714	482	119	39	11	13
		100.0	51.8	35.0	8.6	2.8	0.8	0.9
	あまり健康だと思わない	517	181	191	99	28	6	12
	100.0	35.0	36.9	19.1	5.4	1.2	2.3	
健康だと思わない	104	24	36	24	14	5	1	
	100.0	23.1	34.6	23.1	13.5	4.8	1.0	

第2章 調査結果の詳細

地域別でみると、「ほぼ毎日」の割合はほとんどの地域で最も高くなっています。

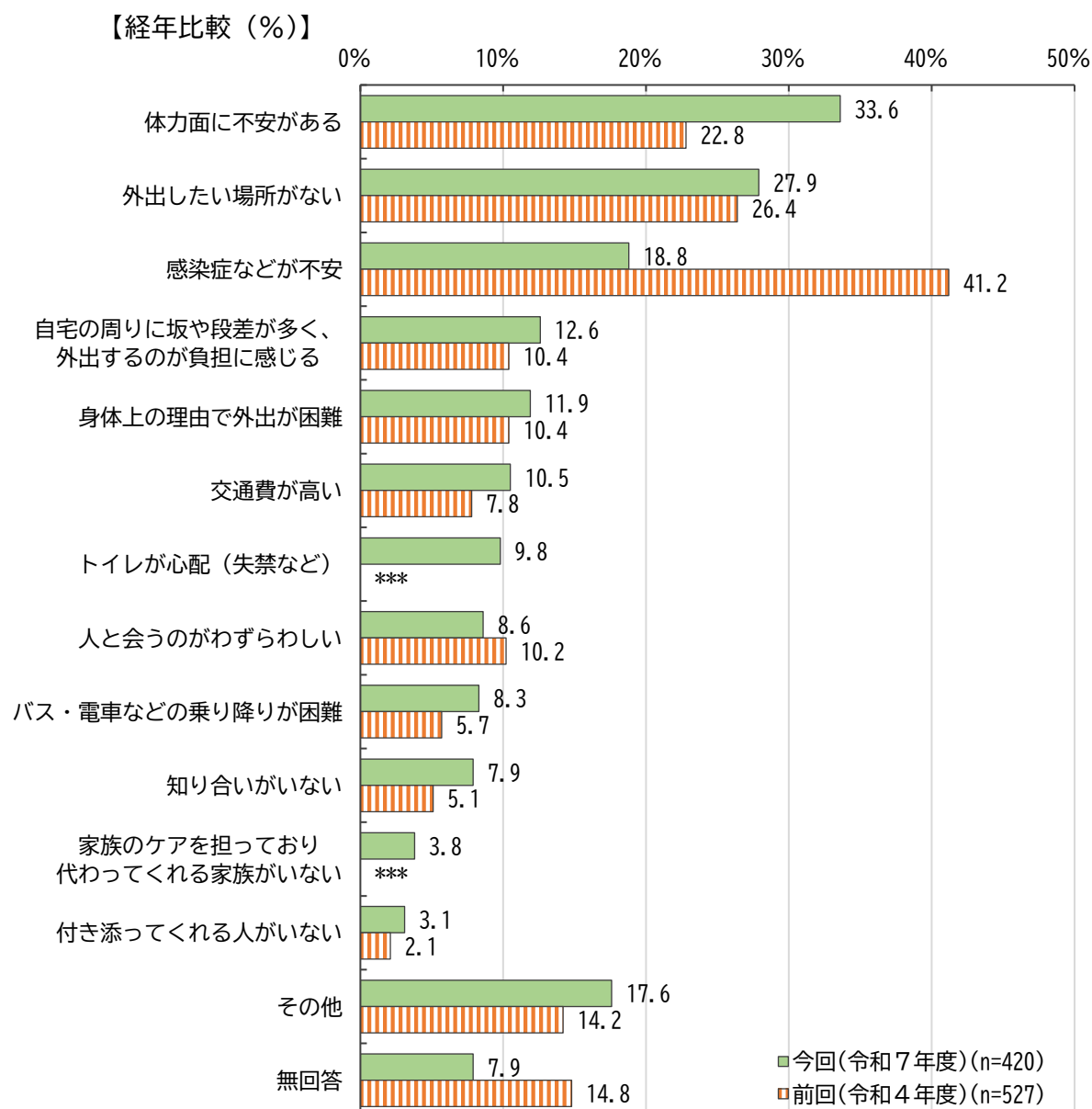


(3) 外出しない理由

問 17-1 《問 17 で「3. 週に1～2回程度」「4. 月に1～2回程度」「5. ほとんど外出しない」のいずれかを回答した方にうかがいます。》

外出しない・外出が少ない理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

外出頻度の少ない方(「3. 週に1～2回程度」「4. 月に1～2回程度」「5. ほとんど外出しない」14.2%、計420人)の外出頻度の少ない理由については、「体力面に不安がある」(33.6%)が最も高く、次いで「外出したい場所がない」(27.9%)、「感染症などが不安」(18.8%)、「自宅の周りに坂や段差が多く、外出するのが負担に感じる」(12.6%)、「身体上の理由で外出が困難」(11.9%)、「交通費が高い」(10.5%)となっています。



※令和4年度は「トイレが心配(失禁など)」、「家族のケアを担っており代わってくれる家族がいない」の選択肢がないため、***表記としている。

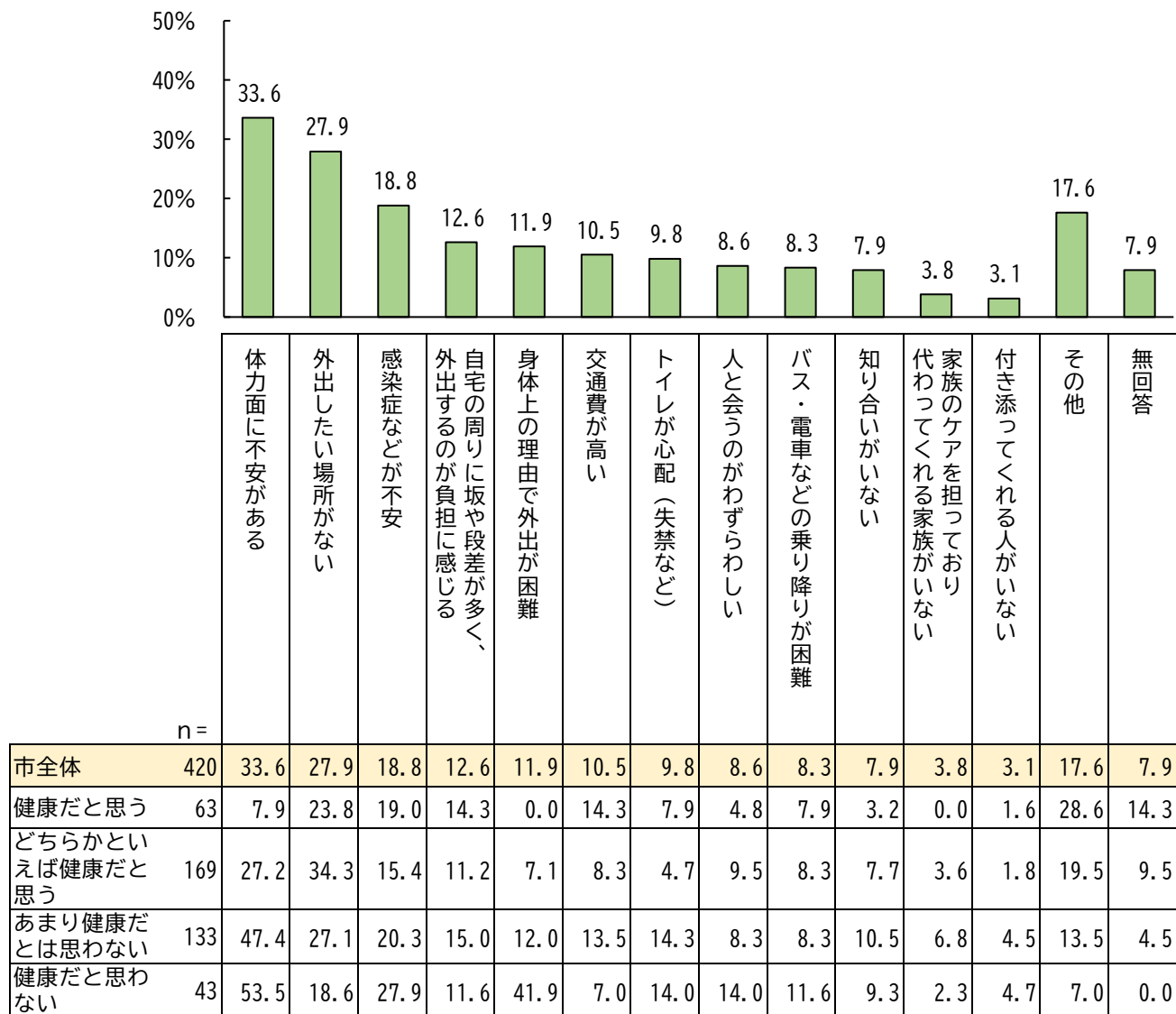
「その他」の主な内容:「外出する必要が無い」、「コロナ以降気力、体力衰え、毎日計画性無く気分生活している。銀行、買物等外出する時ウォーキングを心がけている」

第2章 調査結果の詳細

健康状態（問6）別でみると、「健康だと思う」方は、「自宅の周りに坂や段差が多く、外出するのが負担に感じる」、「交通費が高い」などが全体の割合に対して高くなっています。

一方、「あまり健康だとは思わない」、「健康だとは思わない」方は、「体力面に不安がある」、「感染症などが不安」、「トイレが心配（失禁など）」などが全体の割合に対して高くなっています。

【単純集計、健康状態別（%）】



性別で見ると、男性では「外出したい場所がない」、「身体上の理由で外出が困難」、「交通費が高い」、「トイレが心配（失禁など）」、「知り合いがいない」、女性では「体力面に不安がある」、「感染症などが不安」、「人と会うのがわずらわしい」、「バス・電車などの乗り降りが困難」、「家族のケアを担っており代わってくれる家族がいない」が全体の割合に対して多くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「外出したい場所がない」、後期高齢者では「体力面に不安がある」、「自宅の周りに坂や段差が多く、外出するのが負担に感じる」、「身体上の理由で外出が困難」、「バス・電車などの乗り降りが困難」が全体の割合に対して多くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n=	体力面に不安がある	外出したい場所がない	感染症などが不安	自宅の周りに坂や段差が多く、外出するのが負担に感じる	身体上の理由で外出が困難	交通費が高い	トイレが心配（失禁など）	人と会うのがわずらわしい	バス・電車などの乗り降りが困難	知り合いがいない	家族のケアを担っており代わってくれる家族がいない	付き添ってくれる人がいない	その他	無回答
市全体	420	141	117	79	53	50	44	41	36	35	33	16	13	74	33
	100.0	33.6	27.9	18.8	12.6	11.9	10.5	9.8	8.6	8.3	7.9	3.8	3.1	17.6	7.9
男性	173	57	56	29	20	22	25	24	13	10	15	4	5	24	15
	100.0	32.9	32.4	16.8	11.6	12.7	14.5	13.9	7.5	5.8	8.7	2.3	2.9	13.9	8.7
女性	231	78	58	45	27	26	16	13	20	25	17	12	7	48	17
	100.0	33.8	25.1	19.5	11.7	11.3	6.9	5.6	8.7	10.8	7.4	5.2	3.0	20.8	7.4
前期高齢者	122	28	47	18	11	9	14	14	17	7	15	2	2	28	7
	100.0	23.0	38.5	14.8	9.0	7.4	11.5	11.5	13.9	5.7	12.3	1.6	1.6	23.0	5.7
男性 前期高齢者	54	12	22	8	3	6	8	7	5	3	6	0	1	8	4
	100.0	22.2	40.7	14.8	5.6	11.1	14.8	13.0	9.3	5.6	11.1	0.0	1.9	14.8	7.4
女性 前期高齢者	63	14	24	9	6	3	5	5	10	4	8	2	1	20	3
	100.0	22.2	38.1	14.3	9.5	4.8	7.9	7.9	15.9	6.3	12.7	3.2	1.6	31.7	4.8
後期高齢者	290	111	68	59	41	41	29	25	19	28	17	14	10	45	24
	100.0	38.3	23.4	20.3	14.1	14.1	10.0	8.6	6.6	9.7	5.9	4.8	3.4	15.5	8.3
男性 後期高齢者	117	45	33	21	17	16	17	16	8	7	8	4	4	16	10
	100.0	38.5	28.2	17.9	14.5	13.7	14.5	13.7	6.8	6.0	6.8	3.4	3.4	13.7	8.5
女性 後期高齢者	167	64	33	36	21	23	11	8	10	21	9	10	6	28	14
	100.0	38.3	19.8	21.6	12.6	13.8	6.6	4.8	6.0	12.6	5.4	6.0	3.6	16.8	8.4
(再掲) 85歳以上	94	48	17	14	15	18	8	8	7	13	5	3	2	12	7
	100.0	51.1	18.1	14.9	16.0	19.1	8.5	8.5	7.4	13.8	5.3	3.2	2.1	12.8	7.4
男性 (再掲) 85歳以上	32	17	6	2	6	7	5	5	2	2	1	2	0	6	1
	100.0	53.1	18.8	6.3	18.8	21.9	15.6	15.6	6.3	6.3	3.1	6.3	0.0	18.8	3.1
女性 (再掲) 85歳以上	60	30	11	12	7	11	3	3	4	11	4	1	2	6	6
	100.0	50.0	18.3	20.0	11.7	18.3	5.0	5.0	6.7	18.3	6.7	1.7	3.3	10.0	10.0

第2章 調査結果の詳細

今後、地域で参加したい活動（問28-3）別でみると、「体力面に不安がある」は「老人クラブ（ゆめクラブ）」や「地域の縁側など、身近な居場所の活動」などで全体より高くなっています。

【今後、地域で参加したい活動別（上段：人数、下段：%）】

		n=	体力面に不安がある	外出したい場所がない	感染症などが不安	自宅の周りに坂や段差が多く、外	出るのが負担に感じる	身体上の理由で外出が困難	交通費が高い	トイレが心配（失禁など）	人と会うのがわずらわしい	バス・電車などの乗り降りが困難	知り合いがいない	家族のケアを担っており代わって くれる家族がいない	付き添ってくれる人がいない	その他	無回答
市全体		420	141	117	79	53	50	44	41	36	35	33	16	13	74	33	
		100.0	33.6	27.9	18.8	12.6	11.9	10.5	9.8	8.6	8.3	7.9	3.8	3.1	17.6	7.9	
問28-3 今後、地域で参加したい活動はありますか	町内会・自治会活動	22	6	6	6	2	2	3	1	1	1	5	0	0	7	2	
		100.0	27.3	27.3	27.3	9.1	9.1	13.6	4.5	4.5	4.5	22.7	0.0	0.0	31.8	9.1	
	老人クラブ（ゆめクラブ）	15	8	3	5	0	5	1	1	0	2	3	0	2	3	1	
		100.0	53.3	20.0	33.3	0.0	33.3	6.7	6.7	0.0	13.3	20.0	0.0	13.3	20.0	6.7	
	文化・歴史・芸術などに関する活動	47	16	15	12	8	2	9	4	5	1	4	2	2	6	2	
		100.0	34.0	31.9	25.5	17.0	4.3	19.1	8.5	10.6	2.1	8.5	4.3	4.3	12.8	4.3	
	運動・スポーツ・健康づくりに関する活動	46	16	17	6	6	2	5	6	4	3	8	1	2	7	3	
		100.0	34.8	37.0	13.0	13.0	4.3	10.9	13.0	8.7	6.5	17.4	2.2	4.3	15.2	6.5	
	地域の縁側など、身近な居場所の活動	21	14	5	10	4	2	2	2	0	1	4	0	4	0	0	
		100.0	66.7	23.8	47.6	19.0	9.5	9.5	9.5	0.0	4.8	19.0	0.0	19.0	0.0	0.0	
	防災・防犯活動	12	5	6	2	3	0	3	1	0	1	1	0	0	2	1	
		100.0	41.7	50.0	16.7	25.0	0.0	25.0	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3	
	高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動	7	1	3	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	
		100.0	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	
	子育てへの支援などに関する活動	4	1	3	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	
	100.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0		
自然環境の保全に関する活動	22	5	9	5	5	0	2	2	5	1	0	0	1	6	1		
	100.0	22.7	40.9	22.7	22.7	0.0	9.1	9.1	22.7	4.5	0.0	0.0	4.5	27.3	4.5		
祭りなど地域文化活動	12	4	5	6	1	1	2	1	1	1	1	0	1	0	1		
	100.0	33.3	41.7	50.0	8.3	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3		
NPO（民間非営利組織）などの活動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
その他	46	9	17	5	8	5	4	6	6	3	1	0	0	12	2		
	100.0	19.6	37.0	10.9	17.4	10.9	8.7	13.0	13.0	6.5	2.2	0.0	0.0	26.1	4.3		

今後優先すべきと考える高齢者施策別（問50）でみると、「体力面に不安がある」は「高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制」や「一人暮らし高齢者の支援」などで全体より高くなっています。

【今後優先すべきと考える高齢者施策別（上段：人数、下段：%）】 1 / 2

		n =	ある 体力 面に 不安 が	外 出 し た い 場 所 が な い	安 感 染 症 な ど が 不	に 感 じ る や 段 差 が 多 く、 自 宅 の 周 り に 坂 や 出 る の が 負 担 外	身 体 上 の 理 由 で 外 出 が 困 難	交 通 費 が 高 い
市全体		420	141	117	79	53	50	44
		100.0	33.6	27.9	18.8	12.6	11.9	10.5
問50 今後優先すべきと考える高齢者施策	高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制	201	67	58	40	24	29	19
		100.0	33.3	28.9	19.9	11.9	14.4	9.5
	高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制	63	29	22	11	6	5	5
		100.0	46.0	34.9	17.5	9.5	7.9	7.9
	一人暮らし高齢者の支援	133	47	39	22	15	14	10
		100.0	35.3	29.3	16.5	11.3	10.5	7.5
	災害時の支援	136	42	43	30	22	16	17
		100.0	30.9	31.6	22.1	16.2	11.8	12.5
	24時間365日、緊急時に連絡できる体制	133	36	48	31	22	13	17
		100.0	27.1	36.1	23.3	16.5	9.8	12.8
	認知症高齢者やその家族に対する支援	94	28	27	19	8	14	12
		100.0	29.8	28.7	20.2	8.5	14.9	12.8
	高齢者に対する虐待防止についての対策	10	4	3	3	3	0	2
		100.0	40.0	30.0	30.0	30.0	0.0	20.0
	健康づくりや介護予防に関する事業	33	14	13	7	2	2	6
		100.0	42.4	39.4	21.2	6.1	6.1	18.2
	高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援	32	11	11	3	7	5	7
		100.0	34.4	34.4	9.4	21.9	15.6	21.9
	外出支援（バス・タクシーなどの移動手段の確保）	166	61	52	27	29	29	20
		100.0	36.7	31.3	16.3	17.5	17.5	12.0
	高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保	24	9	5	3	2	5	6
		100.0	37.5	20.8	12.5	8.3	20.8	25.0
	隣近所の助けあいやボランティア活動への支援	18	6	5	3	0	0	2
		100.0	33.3	27.8	16.7	0.0	0.0	11.1
	高齢者の働く場の確保	30	7	10	6	2	2	7
		100.0	23.3	33.3	20.0	6.7	6.7	23.3
	高齢者の権利（人権、財産など）を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備	41	18	15	10	5	6	4
		100.0	43.9	36.6	24.4	12.2	14.6	9.8
高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス（紙おむつの支給など）	60	29	16	11	11	13	9	
	100.0	48.3	26.7	18.3	18.3	21.7	15.0	
要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス（訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）など）の拡充	114	35	35	24	18	15	9	
	100.0	30.7	30.7	21.1	15.8	13.2	7.9	
要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）の整備	79	22	28	16	4	7	12	
	100.0	27.8	35.4	20.3	5.1	8.9	15.2	
デジタルデバインド対策（スマホ教室など）	19	6	8	5	3	2	7	
	100.0	31.6	42.1	26.3	15.8	10.5	36.8	
はり・きゅう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充	50	14	13	4	10	5	8	
	100.0	28.0	26.0	8.0	20.0	10.0	16.0	
特になし	25	4	7	7	2	4	0	
	100.0	16.0	28.0	28.0	8.0	16.0	0.0	
その他	3	0	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	

第2章 調査結果の詳細

【今後優先すべきと考える高齢者施策別（上段：人数、下段：%）】 2 / 2

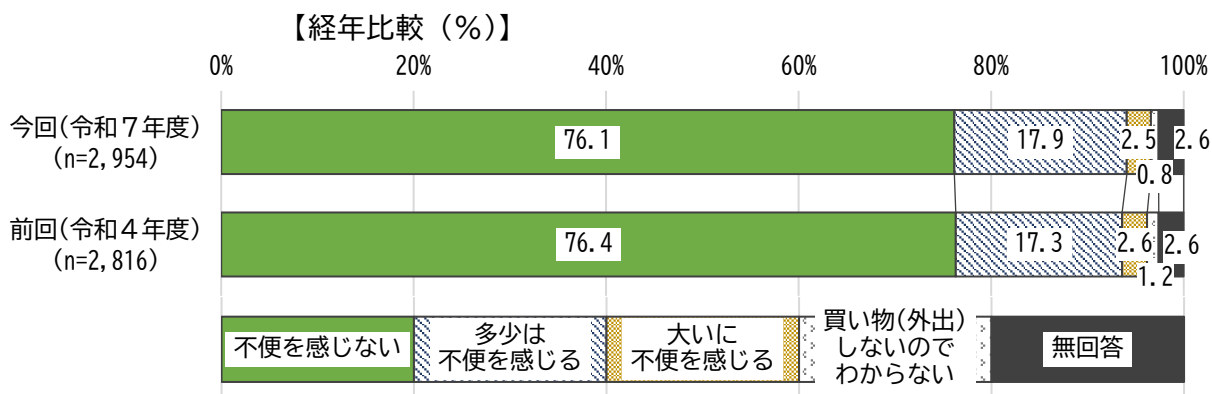
		n =	トイレが心配（失禁など）	人と会うのがわずらわしい	バス・電車などの乗り降りが困難	知り合いがいない	家族のケアを担っておられない家族がいない	付き添ってくれる人がいない	その他	無回答
市全体		420	41	36	35	33	16	13	74	33
		100.0	9.8	8.6	8.3	7.9	3.8	3.1	17.6	7.9
問50 今後優先すべきと考える高齢者施策	高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制	201	24	18	14	13	12	4	39	13
		100.0	11.9	9.0	7.0	6.5	6.0	2.0	19.4	6.5
	高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制	63	5	5	4	9	5	0	5	7
		100.0	7.9	7.9	6.3	14.3	7.9	0.0	7.9	11.1
	一人暮らし高齢者の支援	133	6	17	10	19	6	5	21	14
		100.0	4.5	12.8	7.5	14.3	4.5	3.8	15.8	10.5
	災害時の支援	136	13	16	14	10	7	4	23	10
		100.0	9.6	11.8	10.3	7.4	5.1	2.9	16.9	7.4
	24時間365日、緊急時に連絡できる体制	133	17	12	14	13	3	6	21	6
		100.0	12.8	9.0	10.5	9.8	2.3	4.5	15.8	4.5
	認知症高齢者やその家族に対する支援	94	11	11	9	5	4	1	13	9
		100.0	11.7	11.7	9.6	5.3	4.3	1.1	13.8	9.6
	高齢者に対する虐待防止についての対策	10	2	2	0	1	0	0	2	0
		100.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	健康づくりや介護予防に関する事業	33	7	2	2	4	0	0	9	3
		100.0	21.2	6.1	6.1	12.1	0.0	0.0	27.3	9.1
	高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援	32	3	2	2	2	1	2	5	3
		100.0	9.4	6.3	6.3	6.3	3.1	6.3	15.6	9.4
	外出支援（バス・タクシーなどの移動手段の確保）	166	16	16	20	12	9	7	35	5
		100.0	9.6	9.6	12.0	7.2	5.4	4.2	21.1	3.0
	高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保	24	3	0	3	4	1	2	3	4
		100.0	12.5	0.0	12.5	16.7	4.2	8.3	12.5	16.7
	隣近所の助けあいやボランティア活動への支援	18	1	2	0	2	1	0	4	1
		100.0	5.6	11.1	0.0	11.1	5.6	0.0	22.2	5.6
	高齢者の働く場の確保	30	5	4	1	4	0	1	4	3
		100.0	16.7	13.3	3.3	13.3	0.0	3.3	13.3	10.0
	高齢者の権利（人権、財産など）を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備	41	5	2	3	6	2	1	3	1
		100.0	12.2	4.9	7.3	14.6	4.9	2.4	7.3	2.4
高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス（紙おむつの支給など）	60	6	5	6	7	5	1	7	2	
	100.0	10.0	8.3	10.0	11.7	8.3	1.7	11.7	3.3	
要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス（訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）など）の拡充	114	14	6	10	7	9	5	20	5	
	100.0	12.3	5.3	8.8	6.1	7.9	4.4	17.5	4.4	
要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）の整備	79	5	9	7	7	4	2	21	2	
	100.0	6.3	11.4	8.9	8.9	5.1	2.5	26.6	2.5	
デジタルデバйд対策（スマホ教室など）	19	1	3	3	4	1	2	3	0	
	100.0	5.3	15.8	15.8	21.1	5.3	10.5	15.8	0.0	
はり・きゅう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充	50	7	5	8	5	1	3	7	6	
	100.0	14.0	10.0	16.0	10.0	2.0	6.0	14.0	12.0	
特になし	25	3	2	0	2	0	0	5	2	
	100.0	12.0	8.0	0.0	8.0	0.0	0.0	20.0	8.0	
その他	3	1	0	0	0	0	0	1	1	
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	

5. 買い物の状況について

(1) 買い物で不便に感じること

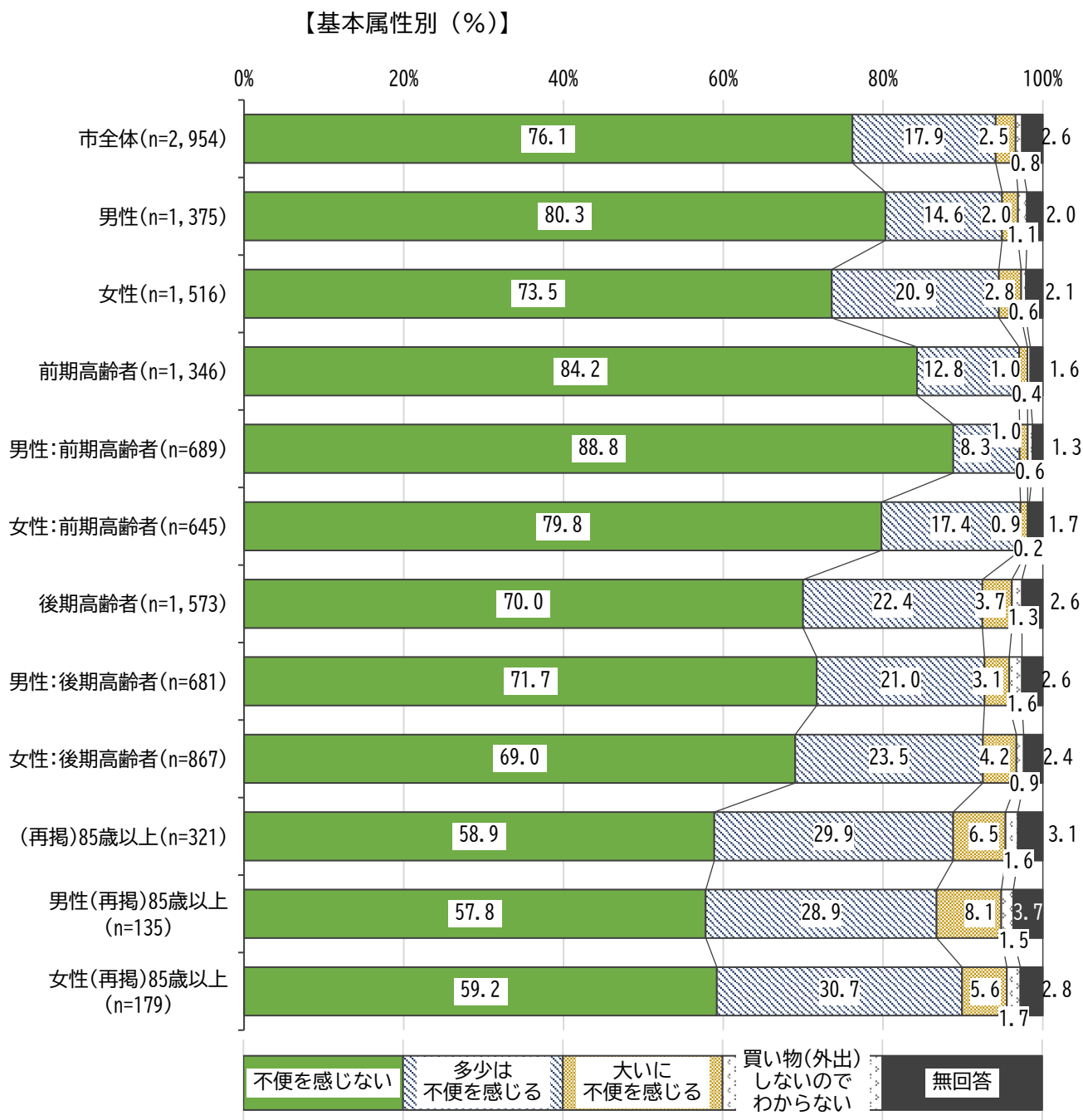
問 18 日ごろ、食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物で不便を感じることはありませんか。(1つに○)

ふだんの買い物で不便を感じる経験については、「不便を感じない」が76.1%に対し、「多少は不便を感じる」(17.9%)、「大いに不便を感じる」(2.5%)を合わせて、『不便を感じる』とする割合は20.4%となっています。

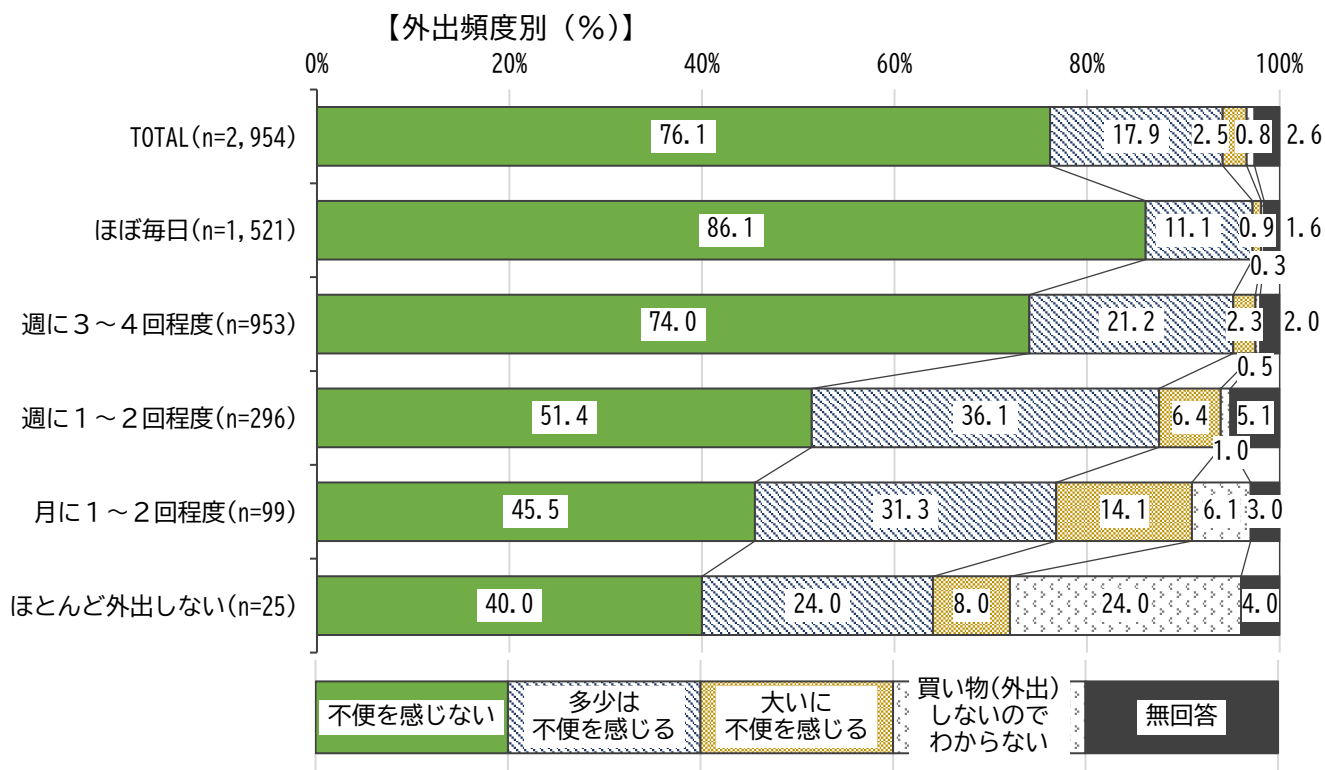


第2章 調査結果の詳細

年齢別で見ると、前期高齢者では「不便を感じない」、後期高齢者では「多少は不便を感じる」が全体の割合に対して多くなっています。

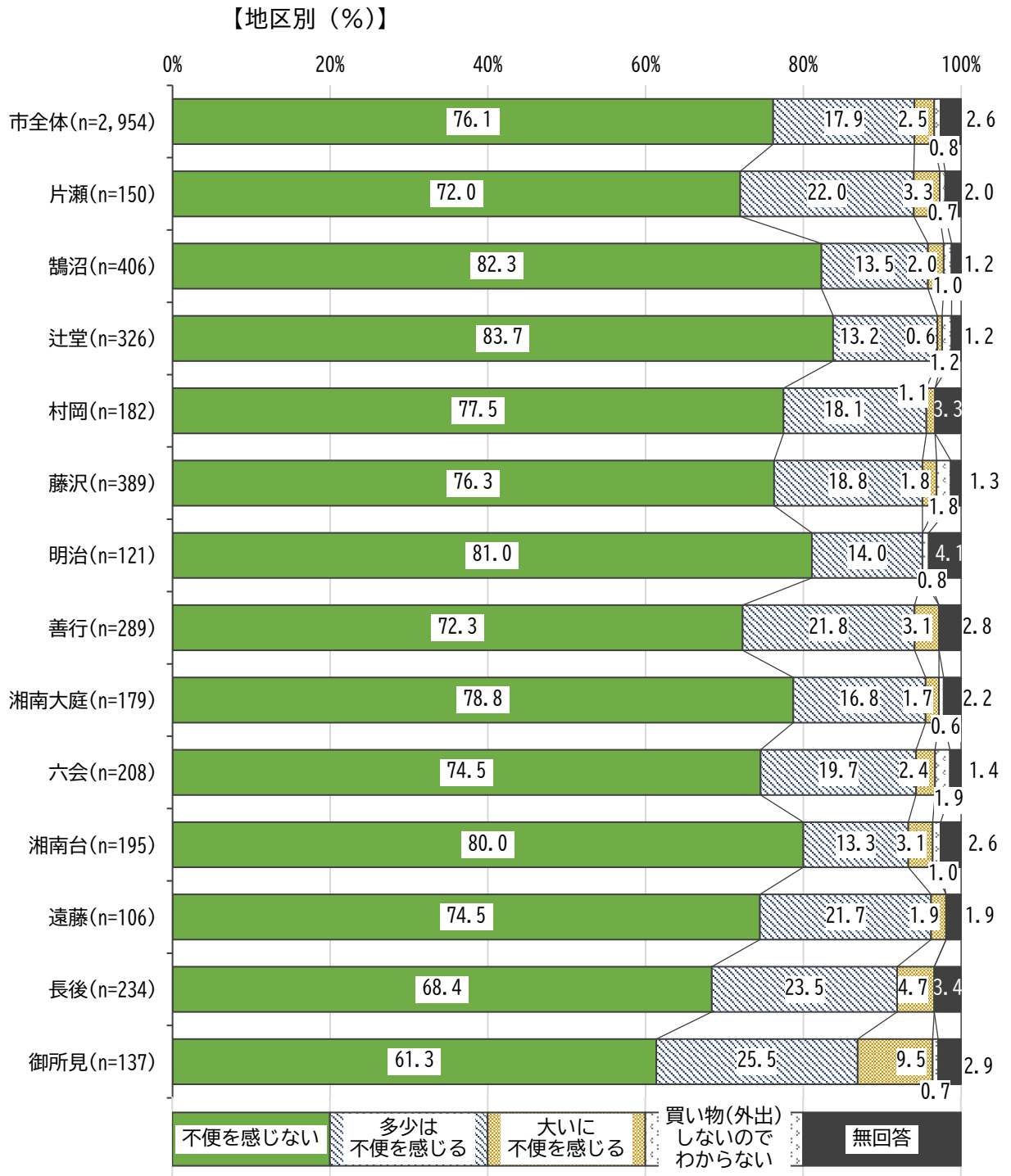


外出頻度別にみると、「ほぼ毎日（外出している）」方は「不便を感じない」が高くなっています。外出頻度が減るにつれ、『不便を感じる』が高くなる傾向にあります。



第2章 調査結果の詳細

地区別でみると、「不便を感じない」は、鵜沼、辻堂、村岡、藤沢、明治、湘南大庭、湘南台で全体より高くなっています。一方、「大いに不便を感じる」は片瀬、善行、湘南台、長後、御所見で全体より高くなっています。



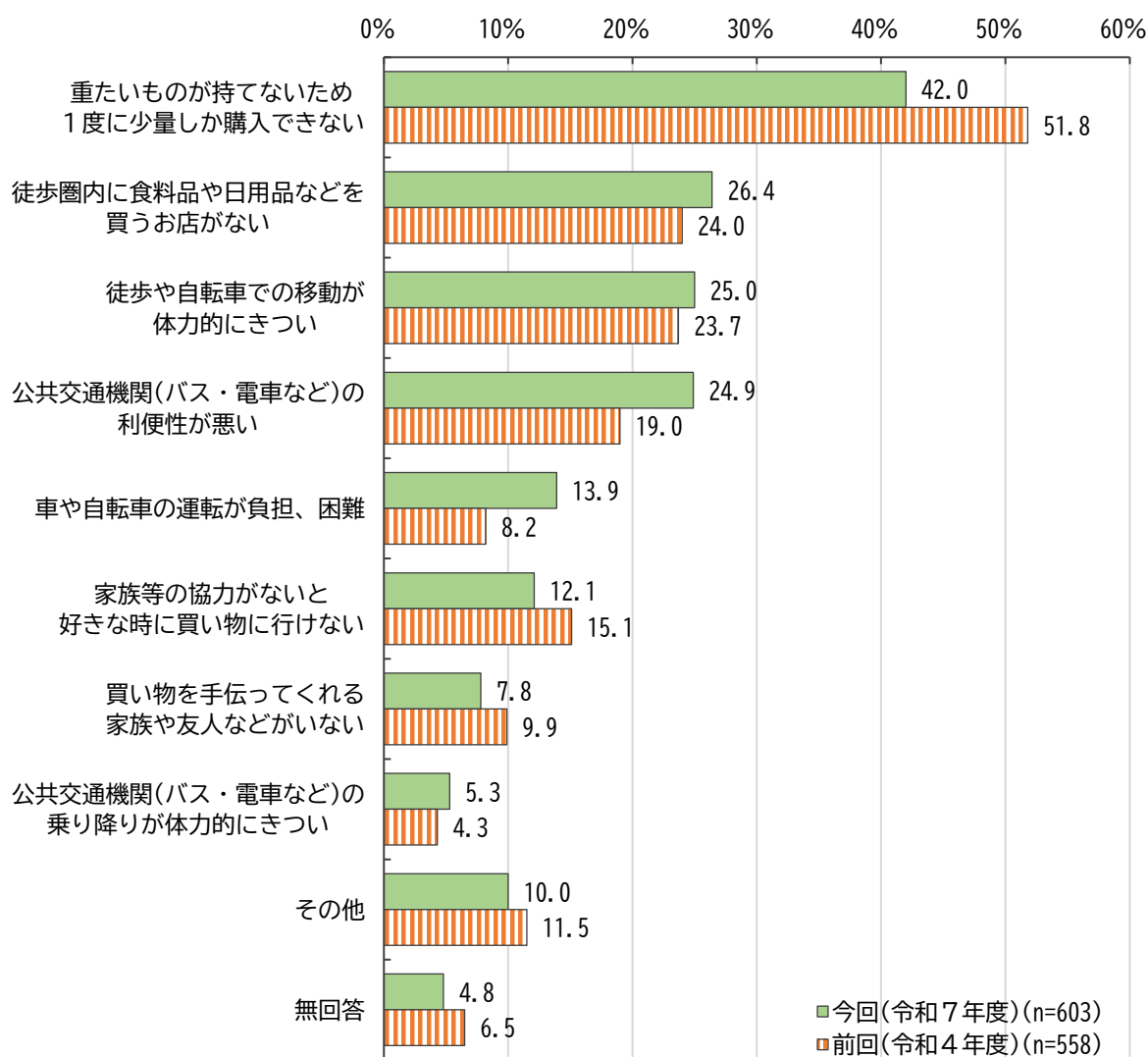
(2) 買い物で不便を感じる理由

問 18-1 《問 18 で「2. 多少は不便を感じる」、「3. 大いに不便を感じる」のいずれかを回答した方にうかがいます。》

その理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

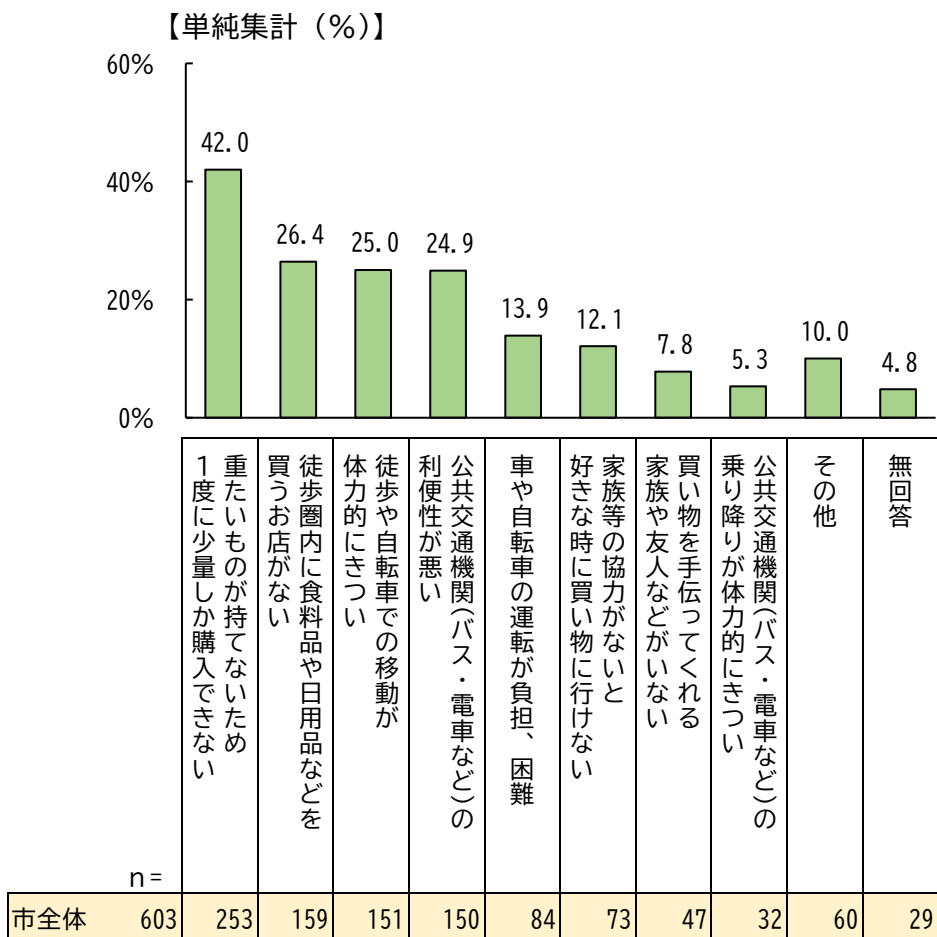
ふだん買い物で『不便を感じる』(603人、20.4%)理由については、「重たいものが持てないため1度に少量しか購入できない」が42.0%で最も高く、次いで「徒歩圏内に食料品や日用品などを買うお店がない」が26.4%、「徒歩や自転車での移動が体力的にきつい」が25.0%、「公共交通機関(バス・電車など)の利便性が悪い」が24.9%の順となっています。

【経年比較 (%)】



「その他」の主な内容：「一人生活で自転車で行く」、「イオン藤沢店が2026年1月末で閉店となるためその後は不便を感じるようになると思われる」

第2章 調査結果の詳細



性別で見ると、男性では「徒歩圏内に食料品や日用品などを買うお店がない」、「徒歩や自転車での移動が体力的にきつい」、「公共交通機関(バス・電車など)の利便性が悪い」、「車や自転車の運転が負担、困難」などが、女性では「重たいものが持てないため1度に少量しか購入できない」、「家族等の協力がないと好きな時に買い物に行けない」が全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

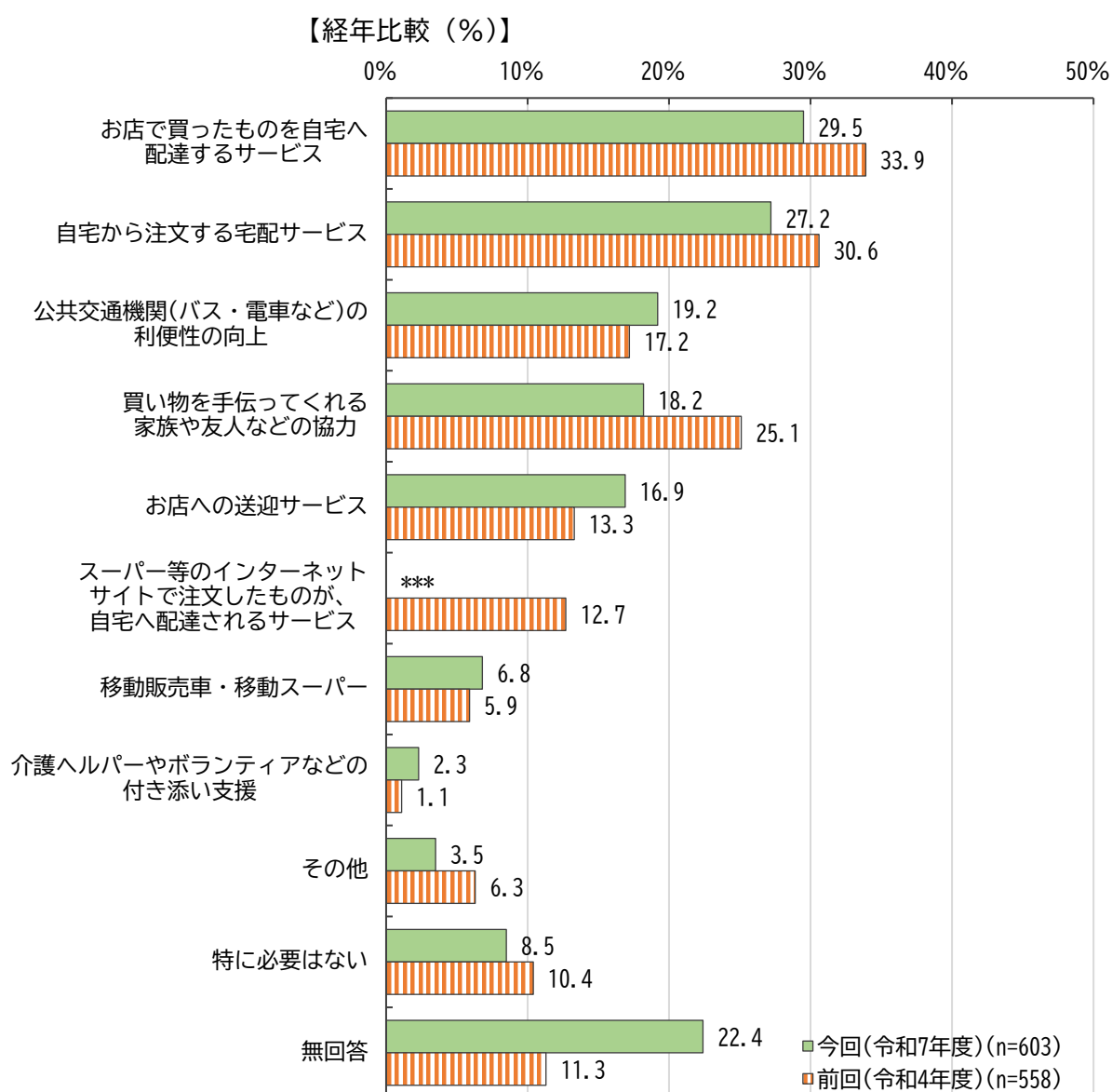
	n=	1度に少量しか購入できない	重たいものが持てないため	徒歩圏内に食料品や日用品などを買うお店がない	徒歩や自転車での移動が体力的にきつい	公共交通機関(バス・電車など)の利便性が悪い	車や自転車の運転が負担、困難	好きな時に買い物に行けない	家族等の協力がいない	買い物を手伝ってくれる家族や友人などがいない	公共交通機関(バス・電車など)の乗り降りが体力的にきつい	その他	無回答
市全体	603	253	159	151	150	84	73	47	32	60	29		
	100.0	42.0	26.4	25.0	24.9	13.9	12.1	7.8	5.3	10.0	4.8		
男性	229	72	71	64	60	33	23	21	14	27	8		
	100.0	31.4	31.0	27.9	26.2	14.4	10.0	9.2	6.1	11.8	3.5		
女性	360	177	87	83	85	49	50	25	18	31	18		
	100.0	49.2	24.2	23.1	23.6	13.6	13.9	6.9	5.0	8.6	5.0		
前期高齢者	186	78	49	39	47	24	14	7	6	25	6		
	100.0	41.9	26.3	21.0	25.3	12.9	7.5	3.8	3.2	13.4	3.2		
男性 前期高齢者	64	16	23	12	19	5	3	2	2	12	2		
	100.0	25.0	35.9	18.8	29.7	7.8	4.7	3.1	3.1	18.8	3.1		
女性 前期高齢者	118	62	26	25	27	19	11	4	4	11	3		
	100.0	52.5	22.0	21.2	22.9	16.1	9.3	3.4	3.4	9.3	2.5		
後期高齢者	411	172	109	111	103	60	59	40	26	35	21		
	100.0	41.8	26.5	27.0	25.1	14.6	14.4	9.7	6.3	8.5	5.1		
男性 後期高齢者	164	55	48	51	41	28	20	19	12	15	6		
	100.0	33.5	29.3	31.1	25.0	17.1	12.2	11.6	7.3	9.1	3.7		
女性 後期高齢者	240	114	60	58	58	30	39	21	14	20	15		
	100.0	47.5	25.0	24.2	24.2	12.5	16.3	8.8	5.8	8.3	6.3		
(再掲) 85歳以上	117	53	28	35	28	9	15	11	8	9	10		
	100.0	45.3	23.9	29.9	23.9	7.7	12.8	9.4	6.8	7.7	8.5		
男性 (再掲) 85歳以上	50	18	13	17	16	7	5	3	4	5	3		
	100.0	36.0	26.0	34.0	32.0	14.0	10.0	6.0	8.0	10.0	6.0		
女性 (再掲) 85歳以上	65	34	15	18	11	2	10	8	4	4	7		
	100.0	52.3	23.1	27.7	16.9	3.1	15.4	12.3	6.2	6.2	10.8		

第2章 調査結果の詳細

(3) 買い物で必要とする(希望する)支援やサービス

問 18-2 《問 18 で「2. 多少は不便を感じる」、「3. 大いに不便を感じる」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物をする時、必要とする(希望する)支援やサービスはありますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

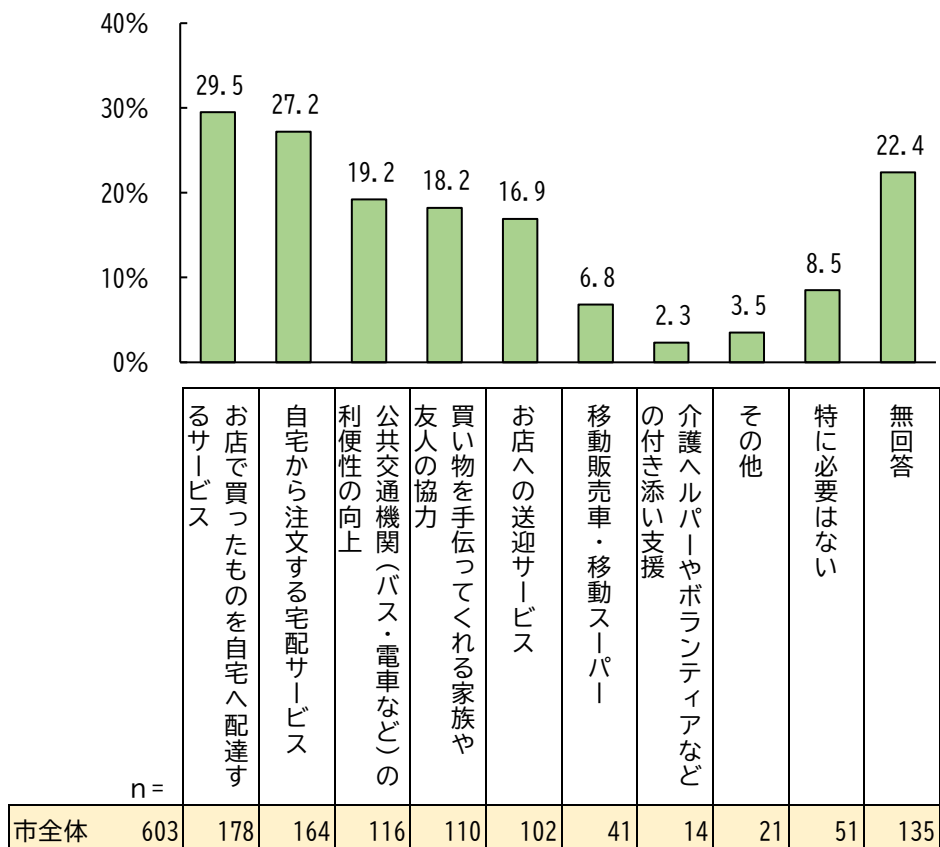
ふだん買い物で『不便を感じる』(603人、20.4%)方の支援、ニーズについては、「お店で買ったものを自宅へ配達するサービス」(29.5%)、「自宅から注文する宅配サービス」(27.2%)が約3割と高く、続いて「公共交通機関(バス・電車など)の利便性の向上」(19.2%)、「買い物を手伝ってくれる家族や友人などの協力」(18.2%)となっています。前回と比較すると、「公共交通機関(バス・電車など)の利便性の向上」、「お店への送迎サービス」、「移動販売車・移動スーパー」などの意見が増加しています。



※令和7年度は「スーパー等のインターネットサイトで注文したものが、自宅へ配達されるサービス」の選択肢がないため、***表記としている。

「その他」の主な内容：「免許を返納したので重い物は買えない。帰りはバス利用する」、「交通費が高い(江の電利用)」

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別で見ると、女性では「お店で買ったものを自宅へ配達するサービス」、「買い物を手伝ってくれる家族や友人などの協力」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、後期高齢者で「買い物を手伝ってくれる家族や友人などの協力」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

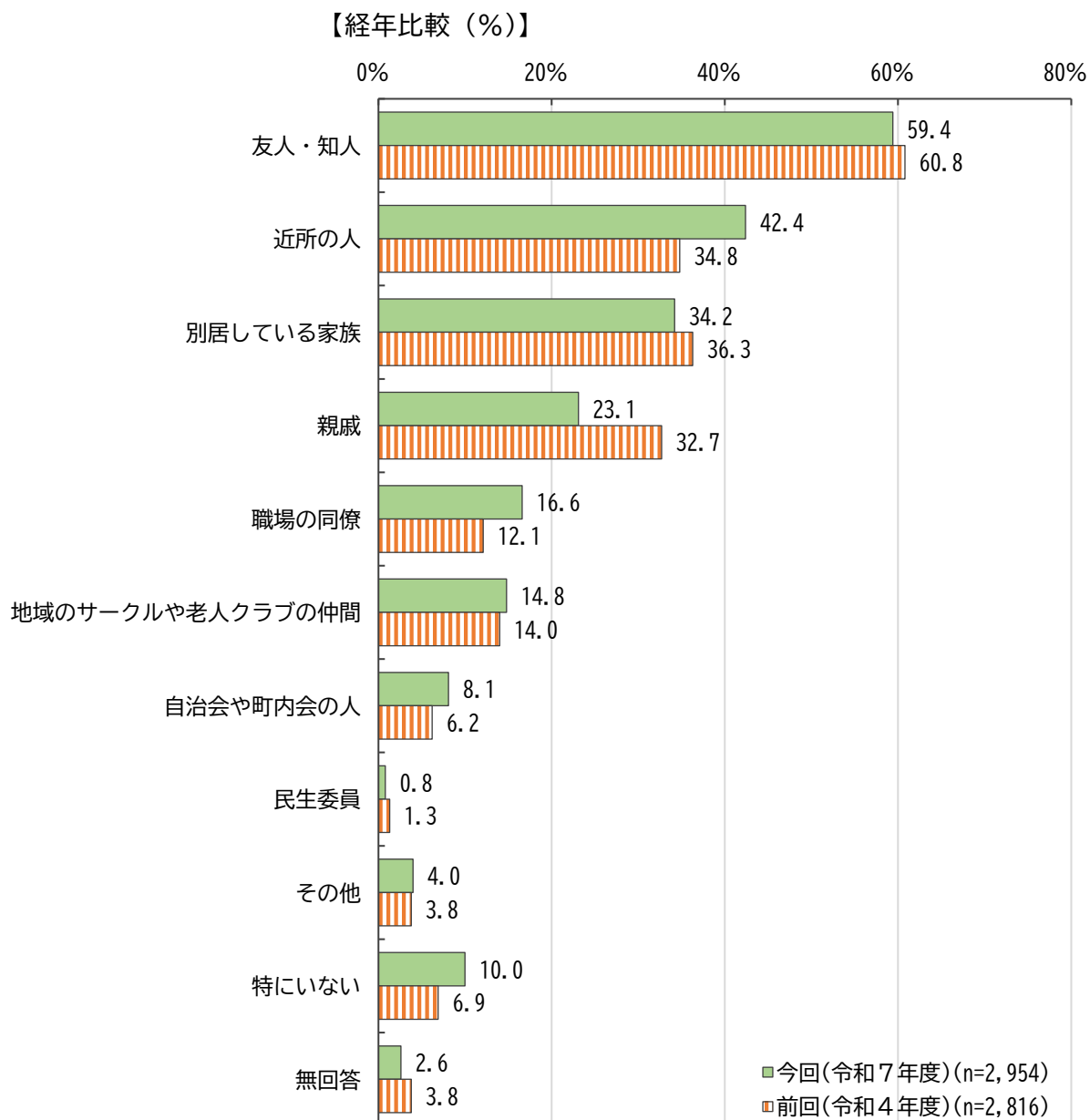
	n =	お店で買ったものを自宅へ配達するサービス	自宅から注文する宅配サービス	公共交通機関（バス・電車など）の利便性の向上	買い物を手伝ってくれる家族や友人の協力	お店への送迎サービス	移動販売車・移動スーパー	介護ヘルパーやボランティアなどの付き添い支援	その他	特に必要はない	無回答
市全体	603	178	164	116	110	102	41	14	21	51	135
	100.0	29.5	27.2	19.2	18.2	16.9	6.8	2.3	3.5	8.5	22.4
男性	229	62	64	51	34	38	18	9	12	26	46
	100.0	27.1	27.9	22.3	14.8	16.6	7.9	3.9	5.2	11.4	20.1
女性	360	114	99	62	74	61	20	5	9	21	87
	100.0	31.7	27.5	17.2	20.6	16.9	5.6	1.4	2.5	5.8	24.2
前期高齢者	186	69	58	38	19	29	16	3	7	12	38
	100.0	37.1	31.2	20.4	10.2	15.6	8.6	1.6	3.8	6.5	20.4
男性 前期高齢者	64	24	21	14	5	10	7	3	4	6	7
	100.0	37.5	32.8	21.9	7.8	15.6	10.9	4.7	6.3	9.4	10.9
女性 前期高齢者	118	45	36	23	14	18	9	0	3	5	30
	100.0	38.1	30.5	19.5	11.9	15.3	7.6	0.0	2.5	4.2	25.4
後期高齢者	411	108	106	77	90	71	25	11	13	37	96
	100.0	26.3	25.8	18.7	21.9	17.3	6.1	2.7	3.2	9.0	23.4
男性 後期高齢者	164	38	43	37	29	28	11	6	8	20	38
	100.0	23.2	26.2	22.6	17.7	17.1	6.7	3.7	4.9	12.2	23.2
女性 後期高齢者	240	69	63	38	59	42	11	5	5	16	57
	100.0	28.8	26.3	15.8	24.6	17.5	4.6	2.1	2.1	6.7	23.8
（再掲）85歳以上	117	25	33	17	26	17	7	3	2	11	30
	100.0	21.4	28.2	14.5	22.2	14.5	6.0	2.6	1.7	9.4	25.6
男性（再掲）85歳以上	50	7	13	11	8	8	3	1	2	9	12
	100.0	14.0	26.0	22.0	16.0	16.0	6.0	2.0	4.0	18.0	24.0
女性（再掲）85歳以上	65	18	20	6	17	9	3	2	0	2	18
	100.0	27.7	30.8	9.2	26.2	13.8	4.6	3.1	0.0	3.1	27.7

6. 周りの方とのコミュニケーションについて

(1) 同居の家族以外で付き合いや連絡を取り合う人の有無

問19 普段、同居の家族以外でどのような方とコミュニケーションをとっていますか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

同居家族以外との付き合いや連絡については、83.4%が『付き合いや連絡のやりとりがある』としており、そのうち「友人・知人」が59.4%で最も高く、次いで「近所の人」が42.4%、「別居している家族」が34.2%、「親戚」が23.1%の順となっています。

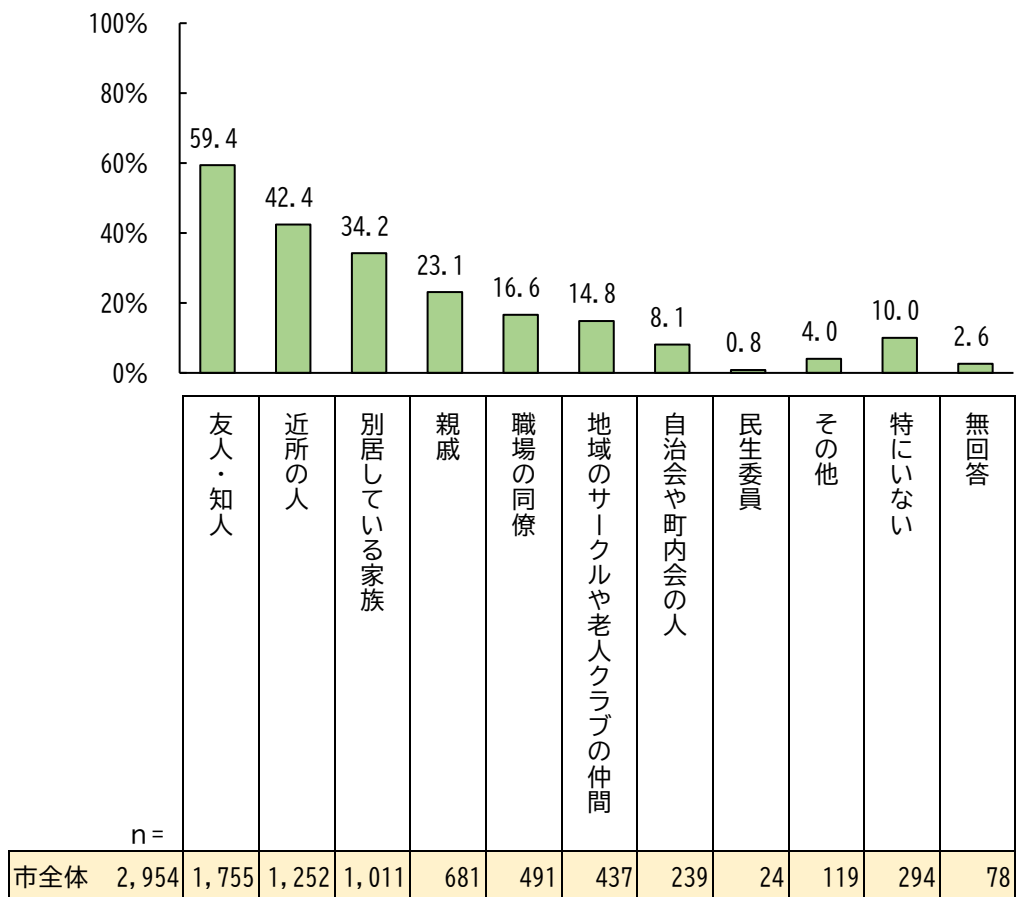


※令和7年度の選択肢「特にいない」は令和4年度の「つきあいはほとんど無い」から変更したものです。

「その他」の主な内容：「スポーツクラブ等」、「習い事の仲間」

第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別で見ると、男性では「職場の同僚」、「自治会や町内会の人」、女性では「友人・知人」、「近所の人」、「別居している家族」、「親戚」、「地域のサークルや老人クラブの仲間」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「友人・知人」、「別居している家族」、「職場の同僚」、後期高齢者では「近所の人」、「親戚」、「地域のサークルや老人クラブの仲間」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

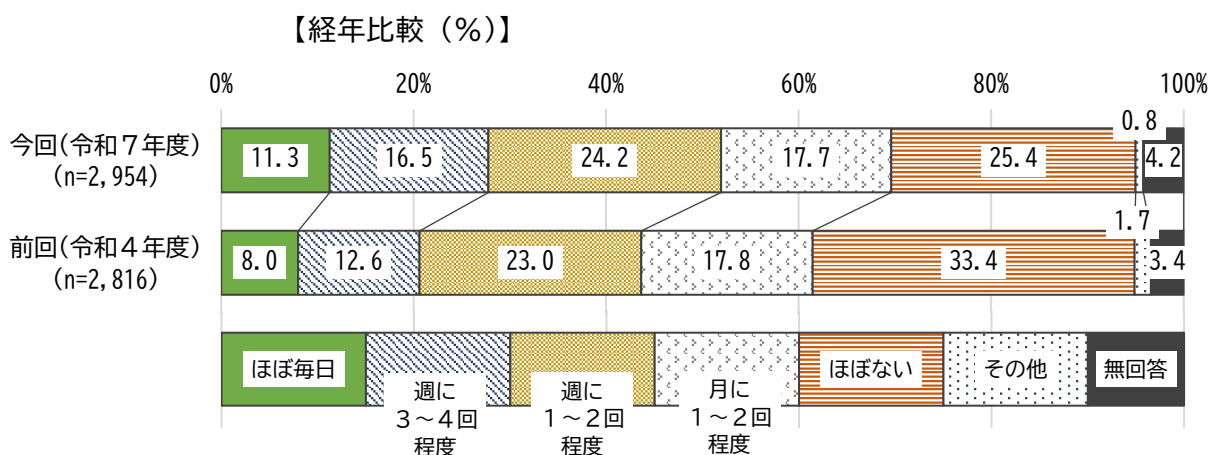
	n =	友人・知人	近所の人	別居している家族	親戚	職場の同僚	地域のサークルや老人クラブの仲間	自治会や町内会の人	民生委員	その他	特にない	無回答
市全体	2,954	1,755	1,252	1,011	681	491	437	239	24	119	294	78
	100.0	59.4	42.4	34.2	23.1	16.6	14.8	8.1	0.8	4.0	10.0	2.6
男性	1,375	723	497	389	279	292	162	147	13	55	191	27
	100.0	52.6	36.1	28.3	20.3	21.2	11.8	10.7	0.9	4.0	13.9	2.0
女性	1,516	1,005	738	613	394	194	269	88	11	64	93	33
	100.0	66.3	48.7	40.4	26.0	12.8	17.7	5.8	0.7	4.2	6.1	2.2
前期高齢者	1,346	854	485	477	300	390	152	80	0	54	110	21
	100.0	63.4	36.0	35.4	22.3	29.0	11.3	5.9	0.0	4.0	8.2	1.6
男性 前期高齢者	689	396	206	185	134	234	53	53	0	32	80	9
	100.0	57.5	29.9	26.9	19.4	34.0	7.7	7.7	0.0	4.6	11.6	1.3
女性 前期高齢者	645	452	275	289	164	154	97	26	0	22	27	10
	100.0	70.1	42.6	44.8	25.4	23.9	15.0	4.0	0.0	3.4	4.2	1.6
後期高齢者	1,573	893	759	530	379	100	284	156	24	65	179	40
	100.0	56.8	48.3	33.7	24.1	6.4	18.1	9.9	1.5	4.1	11.4	2.5
男性 後期高齢者	681	326	288	204	145	57	109	93	13	23	110	17
	100.0	47.9	42.3	30.0	21.3	8.4	16.0	13.7	1.9	3.4	16.2	2.5
女性 後期高齢者	867	552	461	322	230	40	172	60	11	42	65	23
	100.0	63.7	53.2	37.1	26.5	4.6	19.8	6.9	1.3	4.8	7.5	2.7
(再掲) 85歳以上	321	165	146	99	77	4	59	24	11	13	42	11
	100.0	51.4	45.5	30.8	24.0	1.2	18.4	7.5	3.4	4.0	13.1	3.4
男性 (再掲) 85歳以上	135	55	51	43	30	3	26	15	6	5	26	4
	100.0	40.7	37.8	31.9	22.2	2.2	19.3	11.1	4.4	3.7	19.3	3.0
女性 (再掲) 85歳以上	179	104	92	56	45	1	33	8	5	8	16	7
	100.0	58.1	51.4	31.3	25.1	0.6	18.4	4.5	2.8	4.5	8.9	3.9

第2章 調査結果の詳細

(2) 近隣や地域の方とコミュニケーションをとる機会

問 20 普段、近隣や地域の方とコミュニケーションをとる機会はどの程度ありますか。
(1つに○)

普段、近隣や地域の方とコミュニケーションをとる機会については、「週に1～2回程度」が24.2%で最も高く、次いで「月に1～2回程度」が17.7%、「週に3～4回程度」が16.5%の順となっています。一方、「(普段、近隣や地域の方とコミュニケーションをとる機会が) ほぼない」は25.4%と、およそ4人に1人となっています。

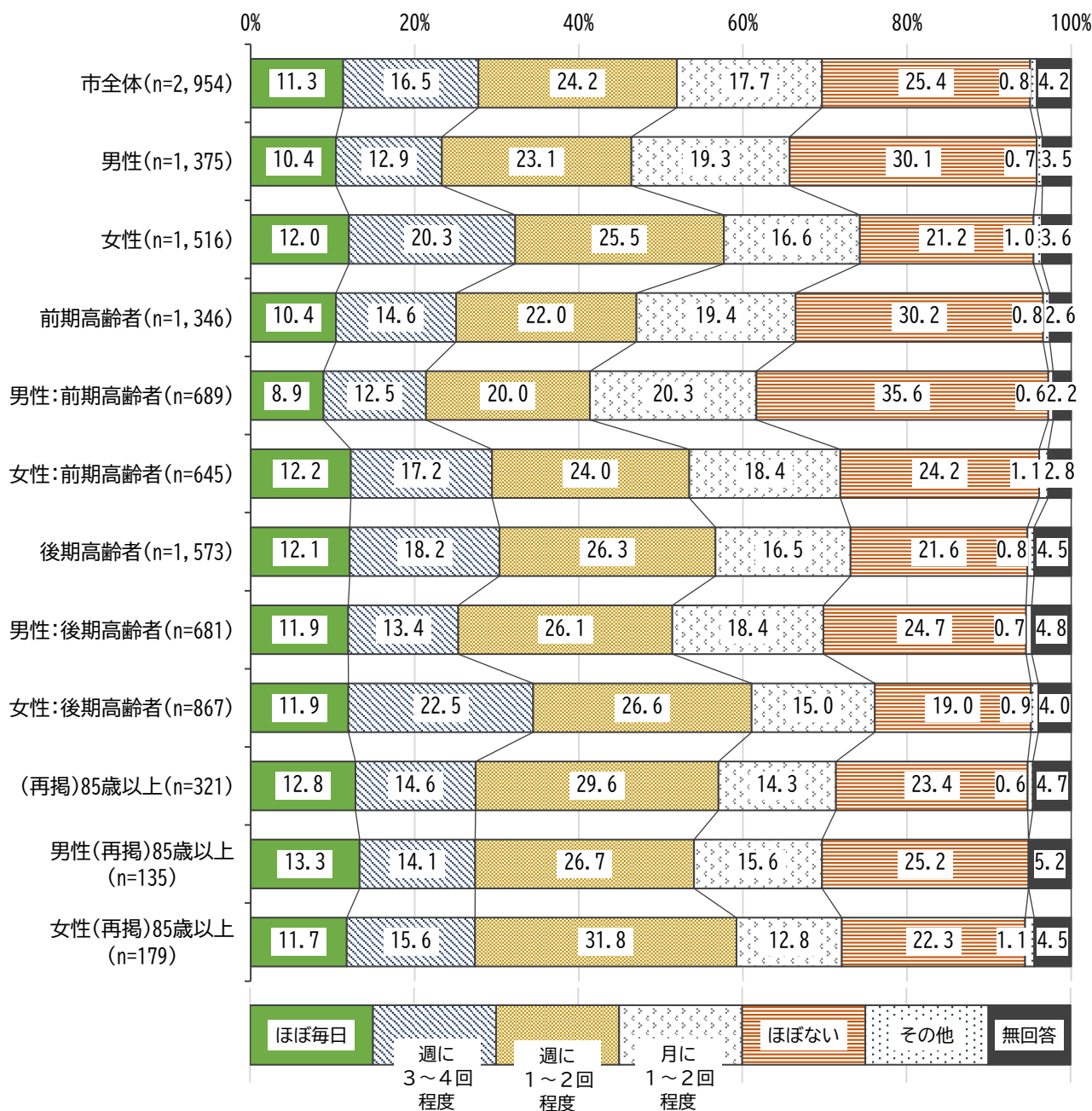


※令和4年度の設問は「普段、近隣や地域の方とお付き合いする機会はどの程度ありますか」。
令和7年度の選択肢「ほぼない」は令和4年度の「ほとんどない」から変更したもの。

「その他」の主な内容：「月に5～6回」、「年に2～3回」

性別で見ると、男性では「ほぼない」の割合が全体に対して高くなっています。
 年齢別で見ると、前期高齢者は「月に1～2回程度」、後期高齢者は「週に3～4回程度」、
 「週に1～2回程度」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別 (%)】

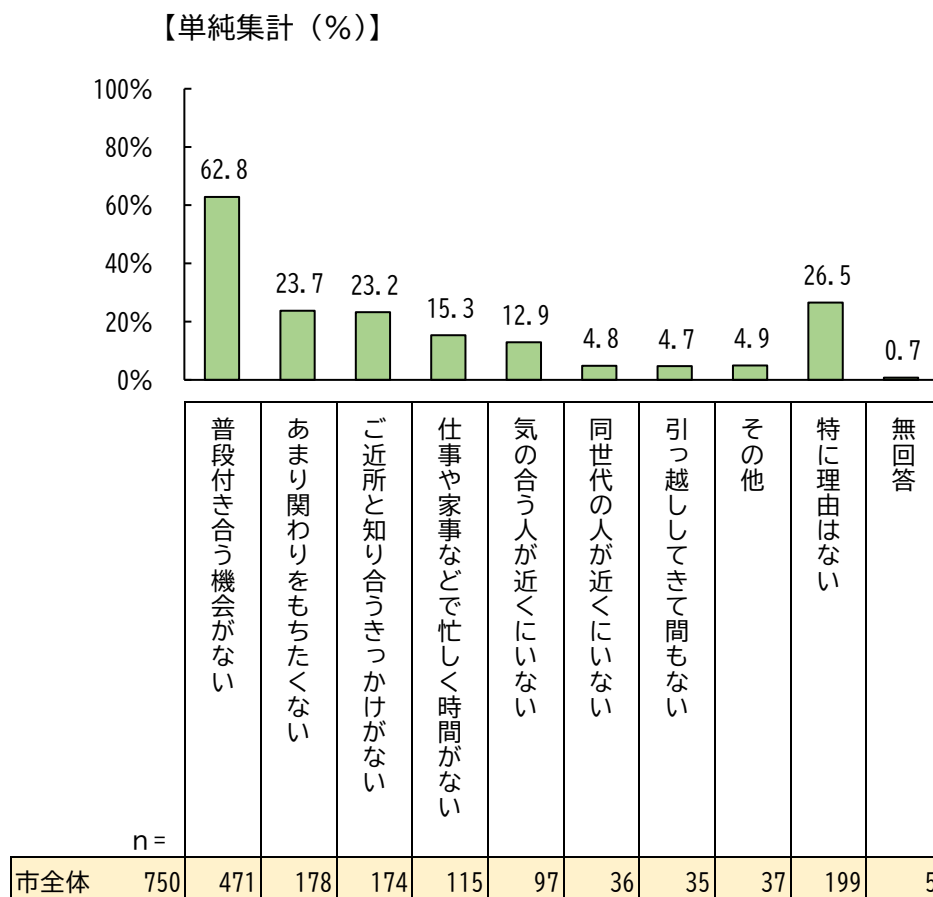


第2章 調査結果の詳細

(3) コミュニケーションをとる機会がない理由

問 20-1 《問 20 で「5. ほぼない」と回答した方にうかがいます。》
 コミュニケーションをとる機会が「ほぼない」理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

普段近隣や地域の方とコミュニケーションをとる機会が「5. ほぼない」方の理由については、「普段付き合う機会がない」が 62.8%で最も高く、次いで「あまり関わりをもちたくない」(23.7%)、「ご近所と知り合うきっかけがない」(23.2%)、がいずれも 20%台となっています。



「その他」の主な内容：「自治会が解散している為」、「挨拶はするが付き合うことはない」

年齢別で見ると、前期高齢者では「仕事や家事などで忙しく時間がない」の割合が全体に対して特に高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =										
	普段付き合う機会がない	あまり関わりをもちたくない	ご近所と知り合うきっかけがない	仕事や家事などで忙しく時間がない	気の合う人が近くにいない	同世代の人が近くにいない	引っ越ししてきて間もない	その他	特に理由はない	無回答	
市全体	750	471	178	174	115	97	36	35	37	199	5
	100.0	62.8	23.7	23.2	15.3	12.9	4.8	4.7	4.9	26.5	0.7
男性	414	272	99	94	54	55	12	14	13	110	2
	100.0	65.7	23.9	22.7	13.0	13.3	2.9	3.4	3.1	26.6	0.5
女性	321	191	77	76	60	39	24	21	24	84	1
	100.0	59.5	24.0	23.7	18.7	12.1	7.5	6.5	7.5	26.2	0.3
前期高齢者	406	263	100	98	95	54	18	19	20	82	1
	100.0	64.8	24.6	24.1	23.4	13.3	4.4	4.7	4.9	20.2	0.2
男性前期高齢者	245	161	64	60	46	32	8	6	8	50	0
	100.0	65.7	26.1	24.5	18.8	13.1	3.3	2.4	3.3	20.4	0.0
女性前期高齢者	156	99	35	37	49	21	10	13	12	31	0
	100.0	63.5	22.4	23.7	31.4	13.5	6.4	8.3	7.7	19.9	0.0
後期高齢者	339	206	78	74	20	42	18	15	17	116	3
	100.0	60.8	23.0	21.8	5.9	12.4	5.3	4.4	5.0	34.2	0.9
男性後期高齢者	168	111	35	33	8	22	4	7	5	60	2
	100.0	66.1	20.8	19.6	4.8	13.1	2.4	4.2	3.0	35.7	1.2
女性後期高齢者	165	92	42	39	11	18	14	8	12	53	1
	100.0	55.8	25.5	23.6	6.7	10.9	8.5	4.8	7.3	32.1	0.6
(再掲) 85歳以上	75	38	10	15	2	13	7	5	4	29	1
	100.0	50.7	13.3	20.0	2.7	17.3	9.3	6.7	5.3	38.7	1.3
男性(再掲) 85歳以上	34	22	6	6	1	5	1	3	2	10	1
	100.0	64.7	17.6	17.6	2.9	14.7	2.9	8.8	5.9	29.4	2.9
女性(再掲) 85歳以上	40	16	4	9	1	8	6	2	2	18	0
	100.0	40.0	10.0	22.5	2.5	20.0	15.0	5.0	5.0	45.0	0.0

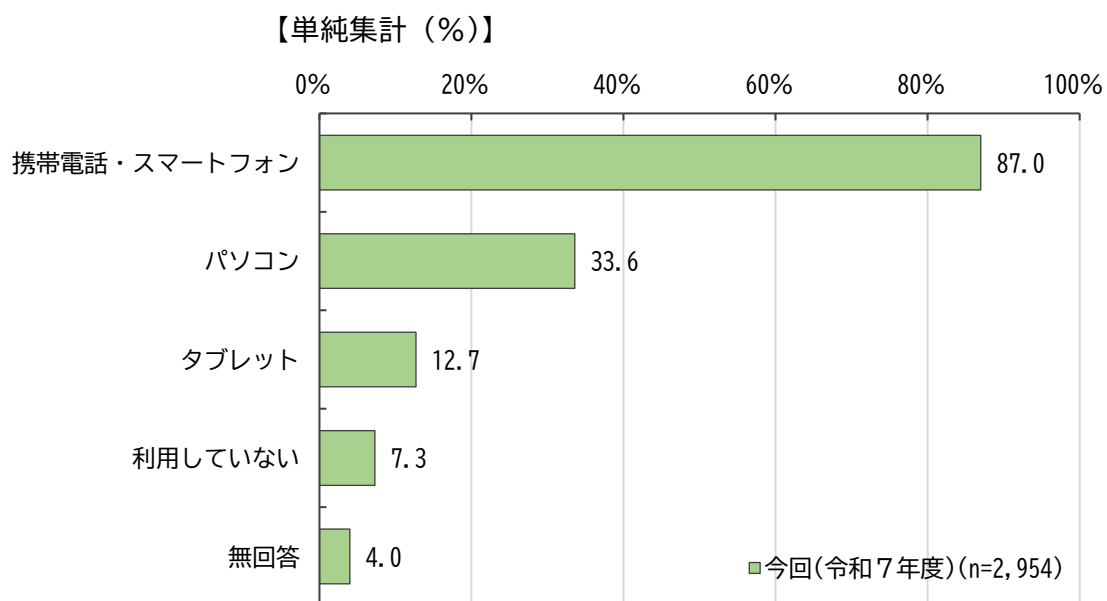
7. 情報通信機器・ICTの利用状況

(1) 情報通信機器の利用状況

問21 どのような情報通信機器を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

情報通信機器の利用状況については、「携帯電話・スマートフォン」が87.0%で最も高く、次いで「パソコン」が33.6%、「タブレット」が12.7%となっています。

一方で、「利用していない」は7.3%となっています。



性別でみると、男女とも「携帯電話・スマートフォン」は87.0%の方が回答していますが、「パソコン」は男性の方が32.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「携帯電話・スマートフォン」、「パソコン」、「タブレット」、後期高齢者では「利用していない」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：%）】

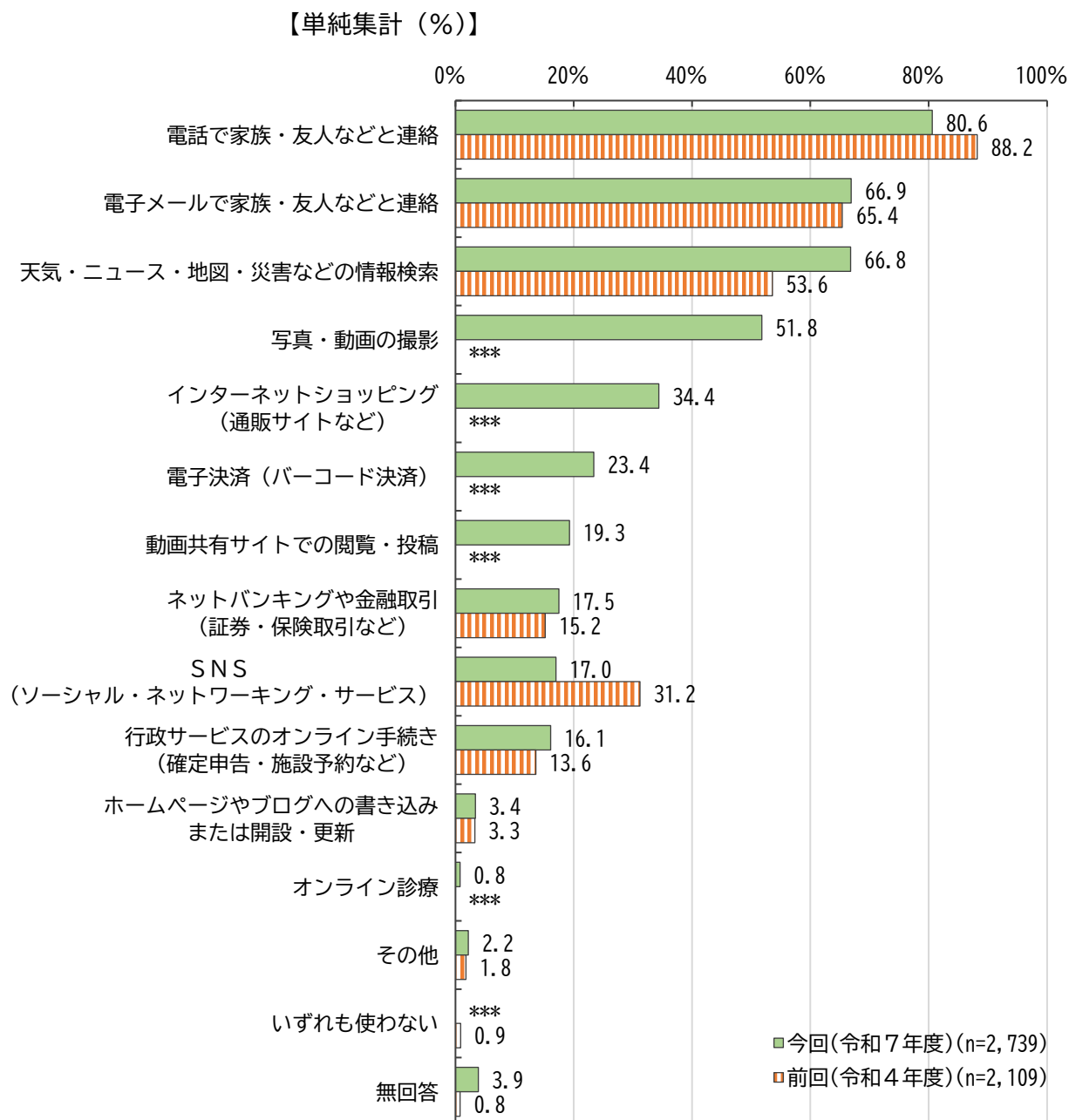
	n =	携帯電話・スマートフォン	パソコン	タブレット	利用していない	無回答
市全体	2,954	2,571	992	375	216	118
	100.0	87.0	33.6	12.7	7.3	4.0
男性	1375	1202	706	209	94	42
	100.0	87.4	51.3	15.2	6.8	3.1
女性	1516	1331	280	161	115	58
	100.0	87.8	18.5	10.6	7.6	3.8
前期高齢者	1,346	1,258	577	241	41	31
	100.0	93.5	42.9	17.9	3.0	2.3
男性 前期高齢者	689	643	406	141	22	13
	100.0	93.3	58.9	20.5	3.2	1.9
女性 前期高齢者	645	604	167	99	19	17
	100.0	93.6	25.9	15.3	2.9	2.6
後期高齢者	1,573	1,300	412	132	171	70
	100.0	82.6	26.2	8.4	10.9	4.5
男性 後期高齢者	681	556	297	68	71	29
	100.0	81.6	43.6	10.0	10.4	4.3
女性 後期高齢者	867	724	113	62	95	41
	100.0	83.5	13.0	7.2	11.0	4.7
(再掲) 85歳以上	321	233	54	14	63	17
	100.0	72.6	16.8	4.4	19.6	5.3
男性 (再掲) 85歳以上	135	90	48	9	29	8
	100.0	66.7	35.6	6.7	21.5	5.9
女性 (再掲) 85歳以上	179	137	6	5	33	9
	100.0	76.5	3.4	2.8	18.4	5.0

第2章 調査結果の詳細

問 21-1 《問 21 で「1. 携帯電話・スマートフォン」、「2. パソコン」、「3. タブレット」のいずれかを1つ以上選択の方に向かっています。》
 情報通信機器をどのようなことに利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

情報通信機器の利用目的については、「電話で家族・友人などと連絡」が 80.6%で最も高く、次いで「電子メールで家族・友人などと連絡」(66.9%)、「天気・ニュース・地図・災害などの情報検索」(66.8%)、「写真・動画の撮影」(51.8%)の順となっています。

経年比較でみると、「天気・ニュース・地図・災害などの情報検索」が 13.2 ポイント増加しています。



※令和4年度は「写真・動画の撮影」、「インターネットショッピング(通販サイトなど)」、「電子決済(バーコード決済)」、「動画共有サイトでの閲覧・投稿」、「オンライン診療」の選択肢が、令和7年度は「いずれも使わない」の選択肢がないため、***表記としている。

「その他」の主な内容：「詐欺電話以来通話だけ」、「Instagram」

性別で見ると、男性では「インターネットショッピング（通販サイトなど）」、「電子決済（バーコード決済）」、「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」、「ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引など）」など、女性では「電話で家族・友人などと連絡」、「写真・動画の撮影」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「電子メールで家族・友人などと連絡」、「インターネットショッピング（通販サイトなど）」、「電子決済（バーコード決済）」、「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」、「ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引など）」、「行政サービスのオンライン手続き（確定申告・施設予約など）」の割合が全体に対して高くなっています。

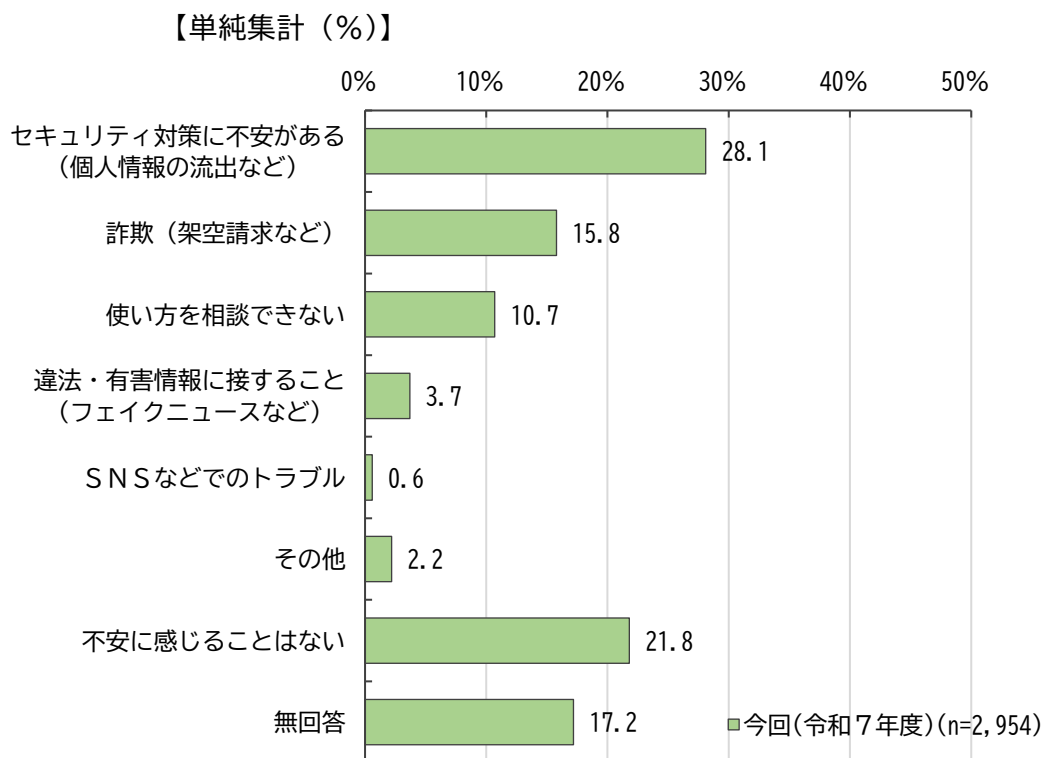
【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	電話で家族・友人などと連絡	電子メールで家族・友人などと連絡	天気・ニュース・地図・災害などの情報検索	写真・動画の撮影	インターネットショッピング（通販サイトなど）	電子決済（バーコード決済）	動画共有サイトでの閲覧・投稿	ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引など）	SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）	行政サービスのオンライン手続き（確定申告・施設予約など）	ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新	オンライン診療	その他	無回答
市全体	2,739	2,209	1,832	1,830	1,418	941	641	529	478	465	441	92	22	59	106
	100.0	80.6	66.9	66.8	51.8	34.4	23.4	19.3	17.5	17.0	16.1	3.4	0.8	2.2	3.9
男性	1,282	1,019	876	951	627	556	350	313	342	287	310	63	16	28	37
	100.0	79.5	68.3	74.2	48.9	43.4	27.3	24.4	26.7	22.4	24.2	4.9	1.2	2.2	2.9
女性	1,401	1,159	936	862	777	382	286	210	132	173	128	29	6	31	49
	100.0	82.7	66.8	61.5	55.5	27.3	20.4	15.0	9.4	12.3	9.1	2.1	0.4	2.2	3.5
前期高齢者	1,305	997	1,039	1,027	809	642	480	384	335	356	301	58	11	27	31
	100.0	76.4	79.6	78.7	62.0	49.2	36.8	29.4	25.7	27.3	23.1	4.4	0.8	2.1	2.4
男性 前期高齢者	667	504	515	548	381	370	264	223	233	216	201	34	7	11	15
	100.0	75.6	77.2	82.2	57.1	55.5	39.6	33.4	34.9	32.4	30.1	5.1	1.0	1.6	2.2
女性 前期高齢者	626	483	516	473	421	269	212	158	99	136	98	24	4	16	15
	100.0	77.2	82.4	75.6	67.3	43.0	33.9	25.2	15.8	21.7	15.7	3.8	0.6	2.6	2.4
後期高齢者	1,403	1,202	785	794	604	298	160	143	142	109	139	34	11	32	58
	100.0	85.7	56.0	56.6	43.1	21.2	11.4	10.2	10.1	7.8	9.9	2.4	0.8	2.3	4.1
男性 後期高齢者	611	513	359	400	246	185	86	90	108	71	108	29	9	17	22
	100.0	84.0	58.8	65.5	40.3	30.3	14.1	14.7	17.7	11.6	17.7	4.7	1.5	2.8	3.6
女性 後期高齢者	772	674	417	387	354	113	74	51	33	37	30	5	2	15	34
	100.0	87.3	54.0	50.1	45.9	14.6	9.6	6.6	4.3	4.8	3.9	0.6	0.3	1.9	4.4
（再掲）85歳以上	259	228	103	108	79	31	15	16	10	9	9	6	3	9	13
	100.0	88.0	39.8	41.7	30.5	12.0	5.8	6.2	3.9	3.5	3.5	2.3	1.2	3.5	5.0
男性（再掲）85歳以上	107	92	53	58	34	24	9	9	10	9	8	5	2	5	5
	100.0	86.0	49.5	54.2	31.8	22.4	8.4	8.4	9.3	8.4	7.5	4.7	1.9	4.7	4.7
女性（再掲）85歳以上	146	131	48	49	44	7	6	7	0	0	1	1	1	4	7
	100.0	89.7	32.9	33.6	30.1	4.8	4.1	4.8	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	2.7	4.8

第2章 調査結果の詳細

問 22 情報通信機器の利用にあたって不安に感じることはありますか。(1つに○)

情報通信機器の利用にあたって不安に感じることについては、セキュリティ対策に不安がある(個人情報の流出など)が28.1%で最も高く、次いで「詐欺(架空請求など)」(15.8%)、「使い方を相談できない」(10.7%)、「違法・有害情報に接すること(フェイクニュースなど)」(3.7%)、「SNSなどでのトラブル」(0.6%)の順となっています。



「その他」の主な内容：「何でもスマホになって不便」、「使いこなせていない」

性別で見ると、男性では「違法・有害情報に接すること（フェイクニュースなど）」、「不安に感じることはない」、女性では「セキュリティ対策に不安がある（個人情報の流出など）」、「使い方を相談できない」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「セキュリティ対策に不安がある（個人情報の流出など）」、「詐欺（架空請求など）」、「違法・有害情報に接すること（フェイクニュースなど）」、「SNSなどでのトラブル」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

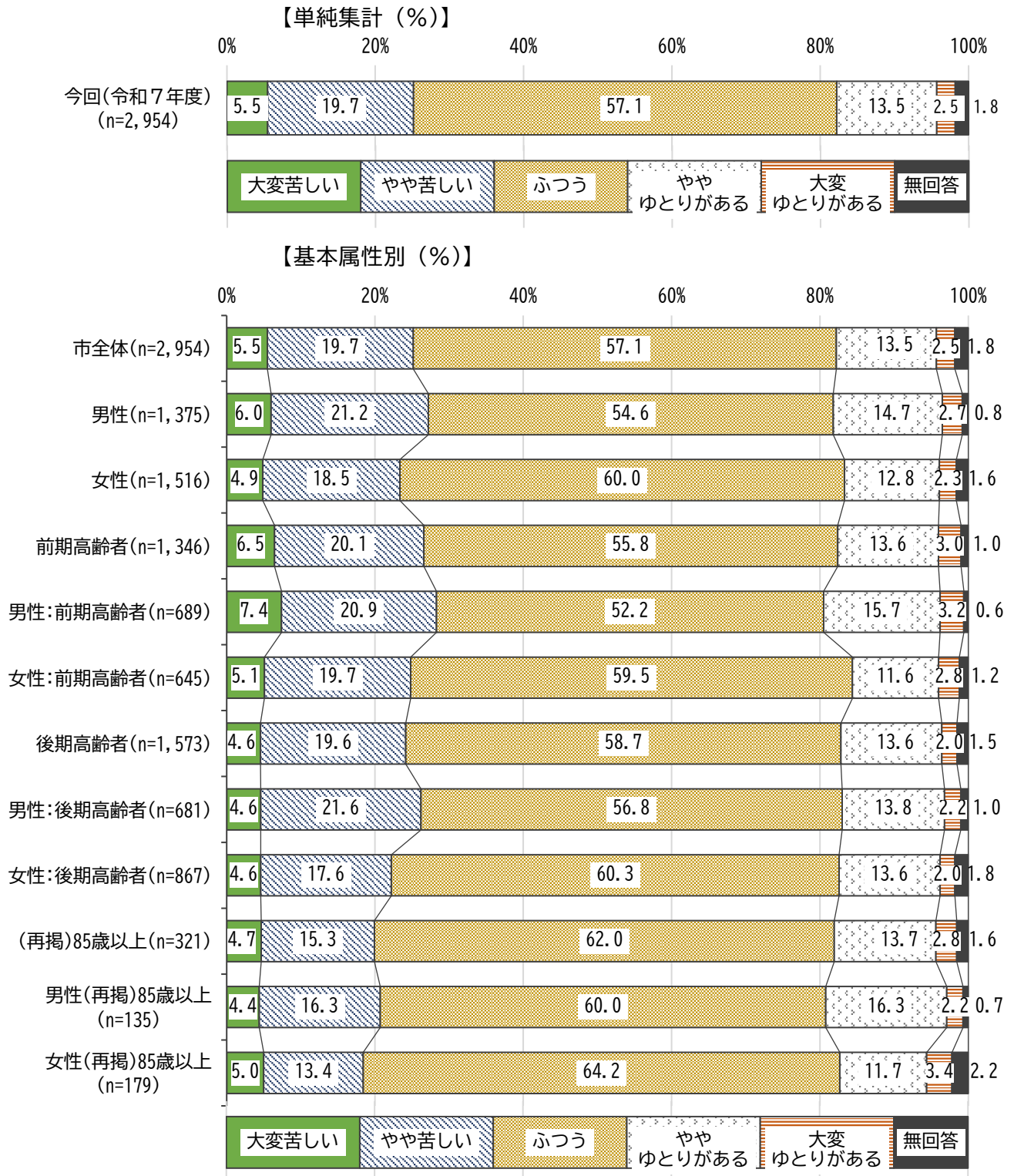
	n =	セキュリティ対策に不安がある (個人情報の流出など)	詐欺 (架空請求など)	使い方を相談できない	違法・有害情報に接すること(フェイクニュースなど)	SNSなどでのトラブル	その他	不安に感じることはない	無回答
市全体	2,954	830	466	316	108	18	66	643	507
	100.0	28.1	15.8	10.7	3.7	0.6	2.2	21.8	17.2
男性	1,375	378	217	136	57	7	31	359	190
	100.0	27.5	15.8	9.9	4.1	0.5	2.3	26.1	13.8
女性	1,516	444	241	171	51	11	34	274	290
	100.0	29.3	15.9	11.3	3.4	0.7	2.2	18.1	19.1
前期高齢者	1,346	460	233	125	52	10	23	280	163
	100.0	34.2	17.3	9.3	3.9	0.7	1.7	20.8	12.1
男性 前期高齢者	689	207	126	61	25	4	17	175	74
	100.0	30.0	18.3	8.9	3.6	0.6	2.5	25.4	10.7
女性 前期高齢者	645	252	103	63	27	6	6	104	84
	100.0	39.1	16.0	9.8	4.2	0.9	0.9	16.1	13.0
後期高齢者	1,573	365	230	188	56	8	43	358	325
	100.0	23.2	14.6	12.0	3.6	0.5	2.7	22.8	20.7
男性 後期高齢者	681	169	91	74	32	3	14	183	115
	100.0	24.8	13.4	10.9	4.7	0.4	2.1	26.9	16.9
女性 後期高齢者	867	191	138	108	24	5	28	168	205
	100.0	22.0	15.9	12.5	2.8	0.6	3.2	19.4	23.6
(再掲) 85歳以上	321	51	54	43	6	2	10	70	85
	100.0	15.9	16.8	13.4	1.9	0.6	3.1	21.8	26.5
男性 (再掲) 85歳以上	135	23	21	21	5	1	5	30	29
	100.0	17.0	15.6	15.6	3.7	0.7	3.7	22.2	21.5
女性 (再掲) 85歳以上	179	27	32	21	1	1	5	37	55
	100.0	15.1	17.9	11.7	0.6	0.6	2.8	20.7	30.7

8. 経済状況について

(1) 経済状況

問 23 現在の暮らしの状況をうかがいます。あなたの経済状況をどのように捉えていますか。(1つに○)

経済状況については、「ふつう」が 57.1%で最も高く、次いで「やや苦しい」(19.7%)、「ややゆとりがある」(13.5%)、「大変苦しい」(5.5%)、「大変ゆとりがある」(2.5%)となっています。

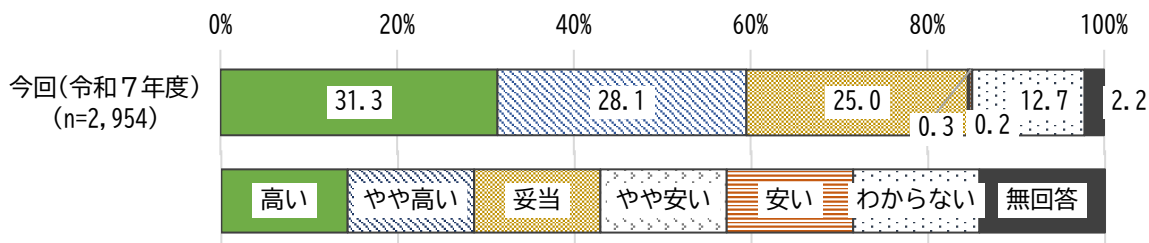


問 24 現在の暮らしの状況からみて、あなたが支払っている介護保険料額について、どのように思いますか。(1つに○)

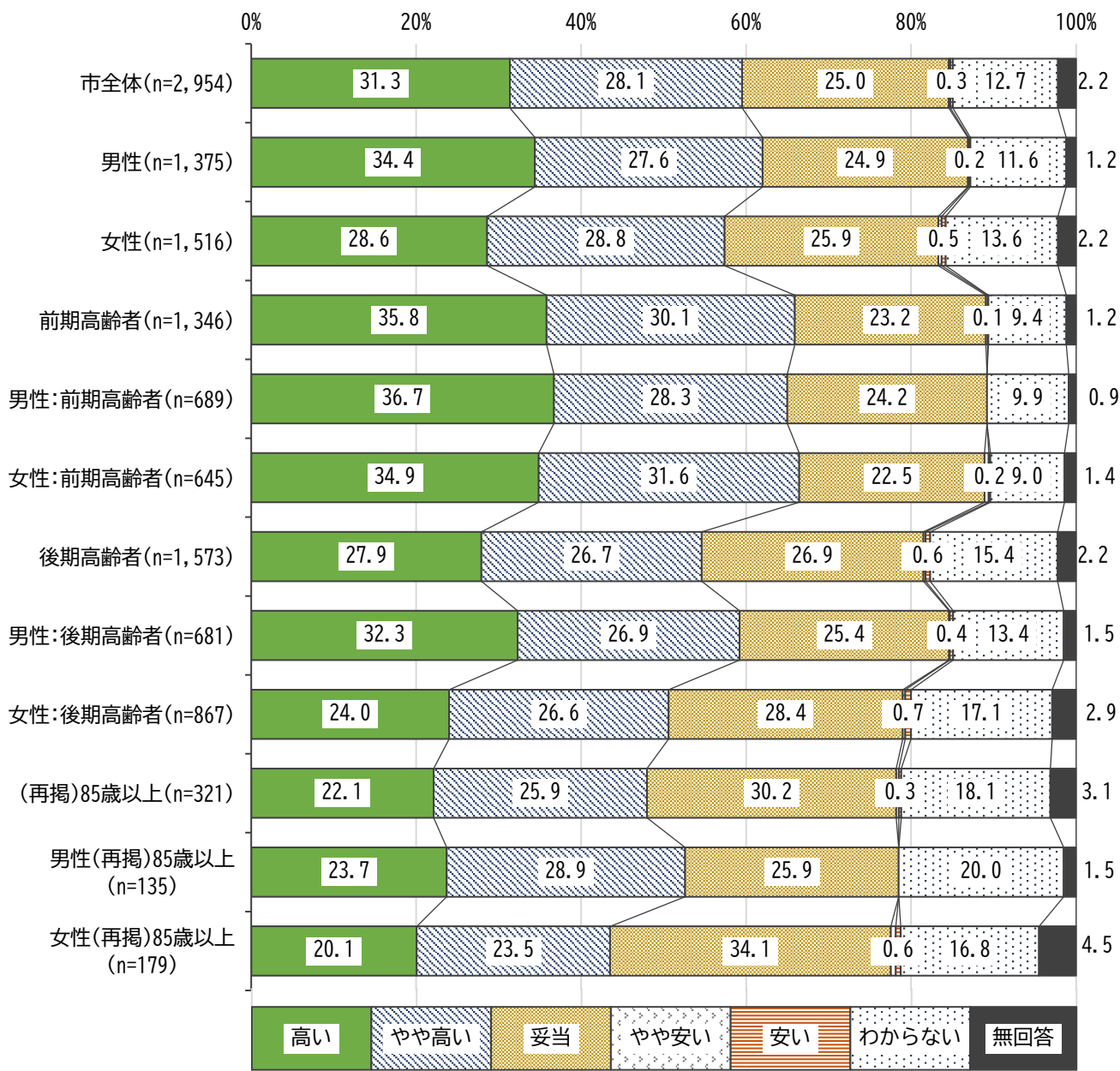
<参考> 保険料基準月額 藤沢市 6,300 円、神奈川県平均 6,340 円、全国平均 6,225 円

現在の暮らしの状況からみた介護保険料への負担感は、「高い」が 31.3%で最も高く、次いで「やや高い」(28.1%)、「妥当」(25.0%)、「わからない」(12.7%)となっています。

【単純集計 (%)】



【基本属性別 (%)】

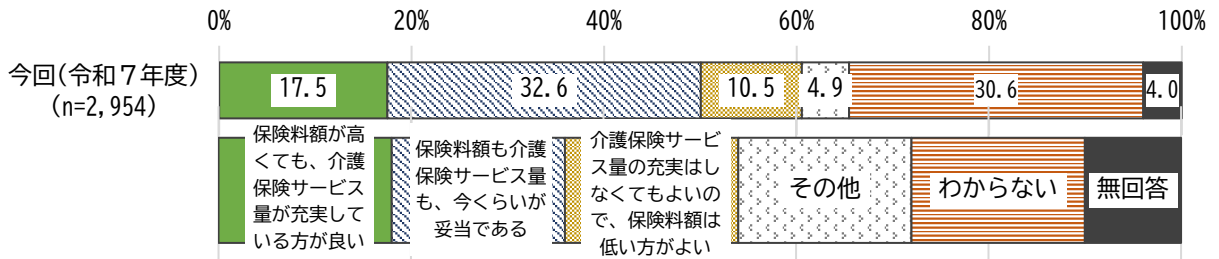


第2章 調査結果の詳細

問 25 介護保険サービスの財源は、その一部が保険料で賄われているため、介護保険施設等の整備によりサービス提供量が増えると保険料が高くなる仕組みになっています。今後の保険とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものをご回答ください。(1つに○)

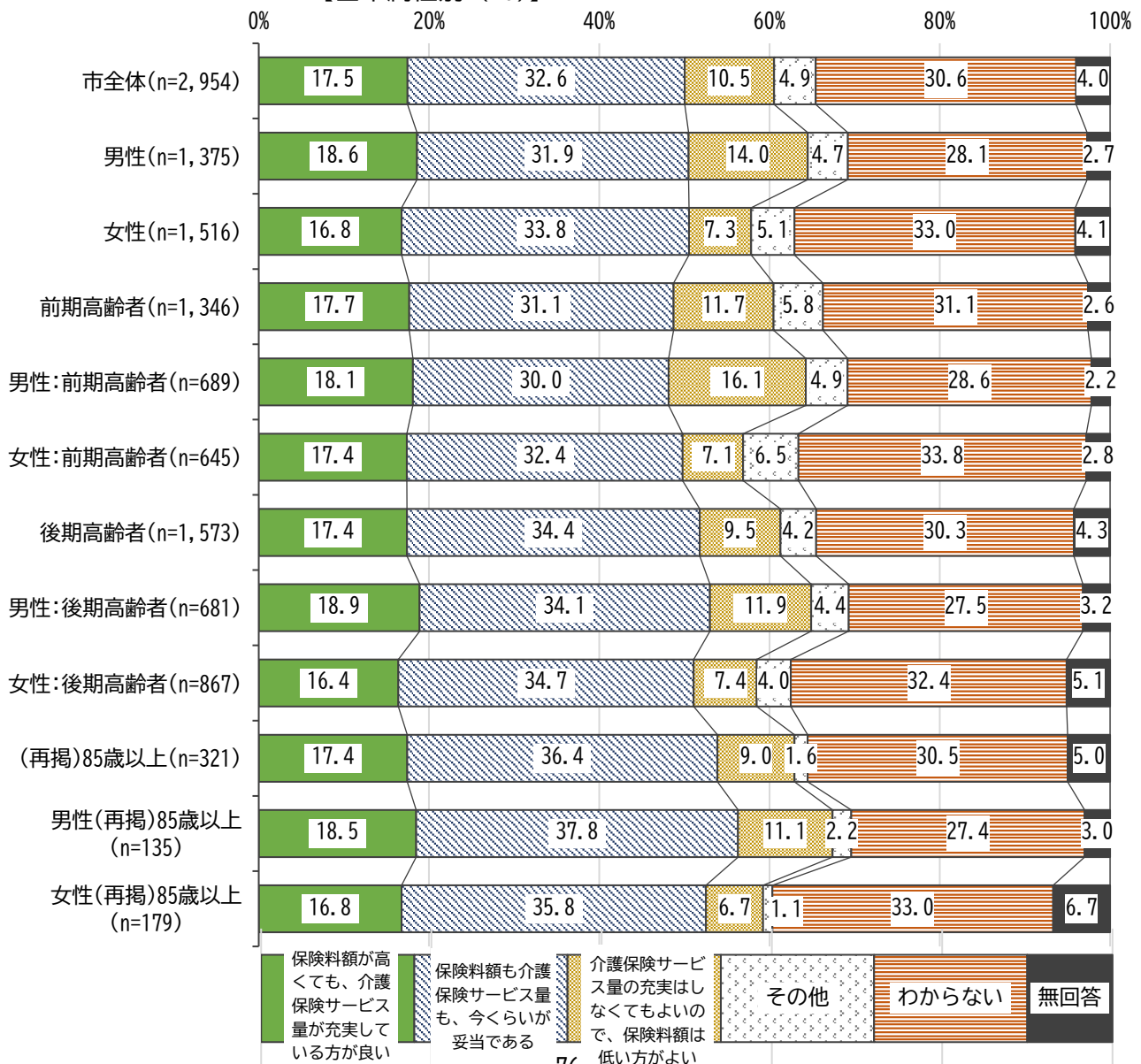
今後の保険とサービスのあり方については、「保険料額も介護保険サービス量も、今くらいが妥当である」が 32.6%で最も高く、次いで「わからない」(30.6%)、「保険料額が高くて、介護保険サービス量が充実している方が良い」(17.5%)、「介護保険サービス量の充実はしなくてもよいので、保険料額は低い方がよい」(10.5%)となっています。

【単純集計 (%)】



「その他」の主な内容：「サービスの低下は良くない」、「かなり高い」

【基本属性別 (%)】

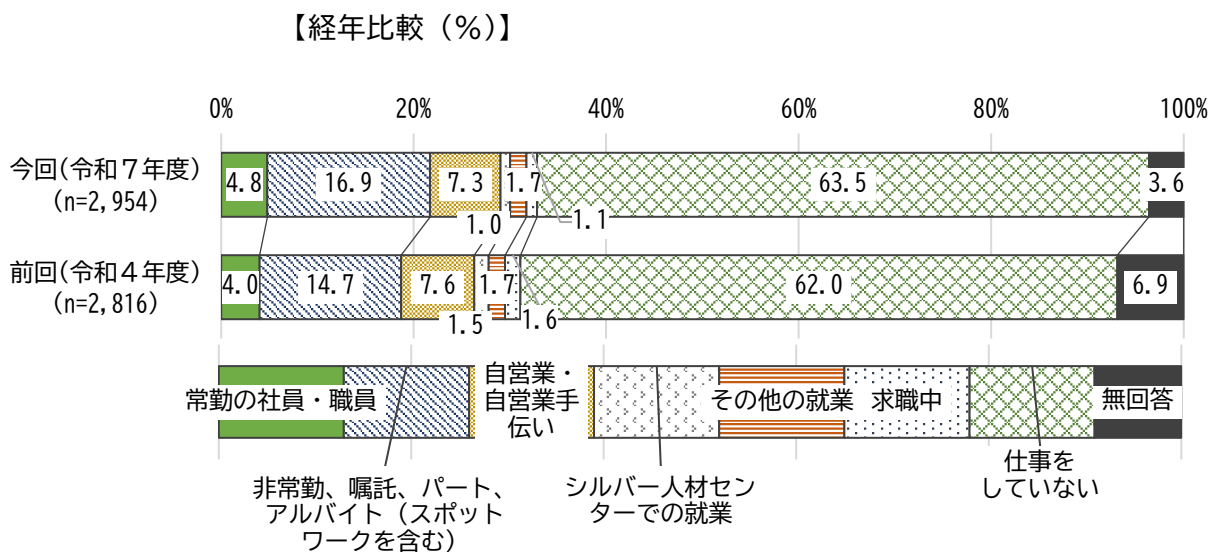


9. 就労の状況について

(1) 現在の就労状況

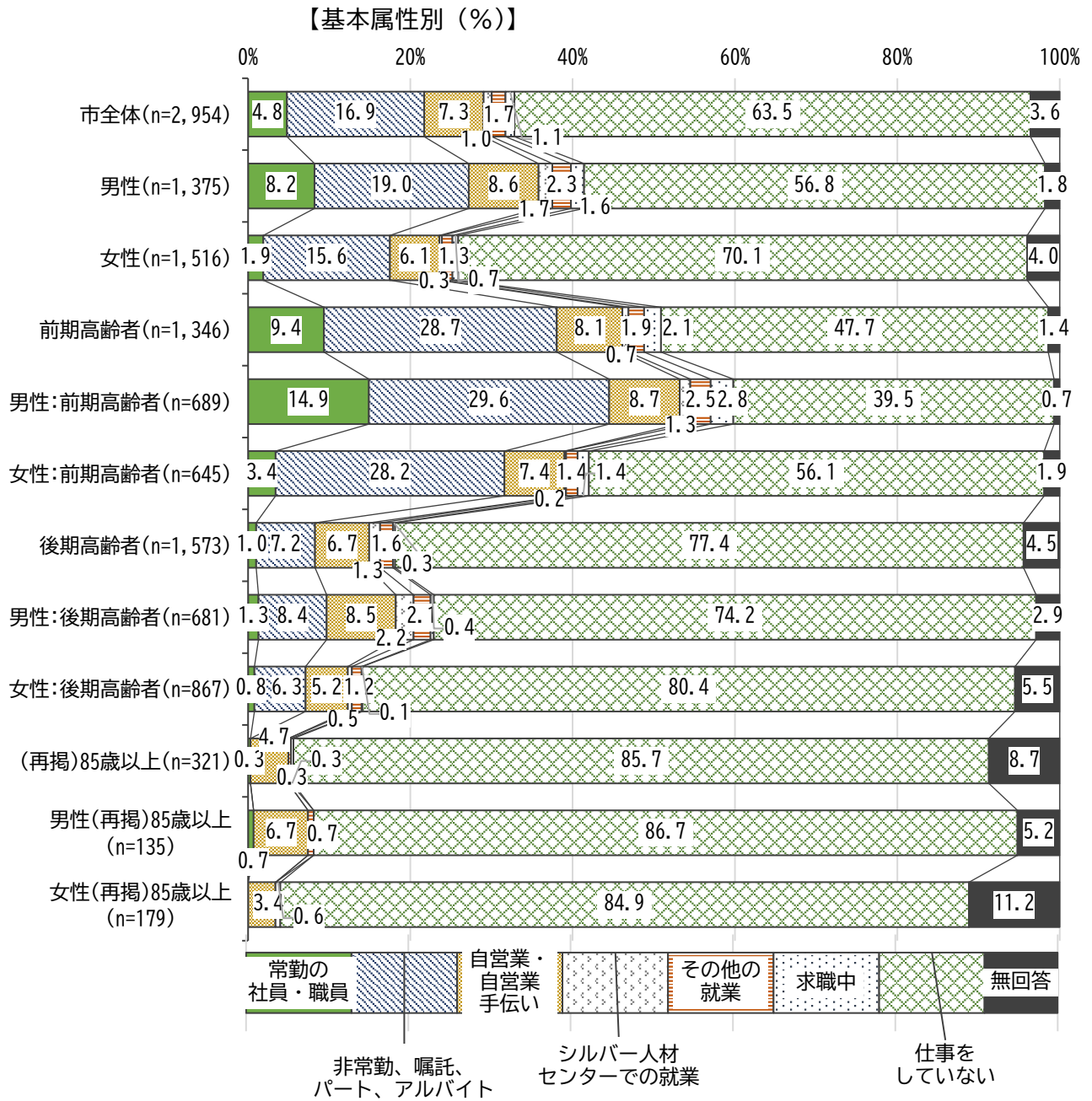
問 26 就労状況をうかがいます。(1つに○)

現在の就労状況については、31.8%が『仕事をしている』となっています。そのうち「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が16.9%で最も高く、「自営業・自営業手伝い」が7.3%、「常勤の社員・職員」が4.8%の順となっています。「求職中」は1.1%となっています。



※「その他の就業」の主な内容：「請負契約」、「観光ガイド」

第2章 調査結果の詳細



性別で見ると男性で、年齢別で見ると前期高齢者で就労している割合が高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：%）】

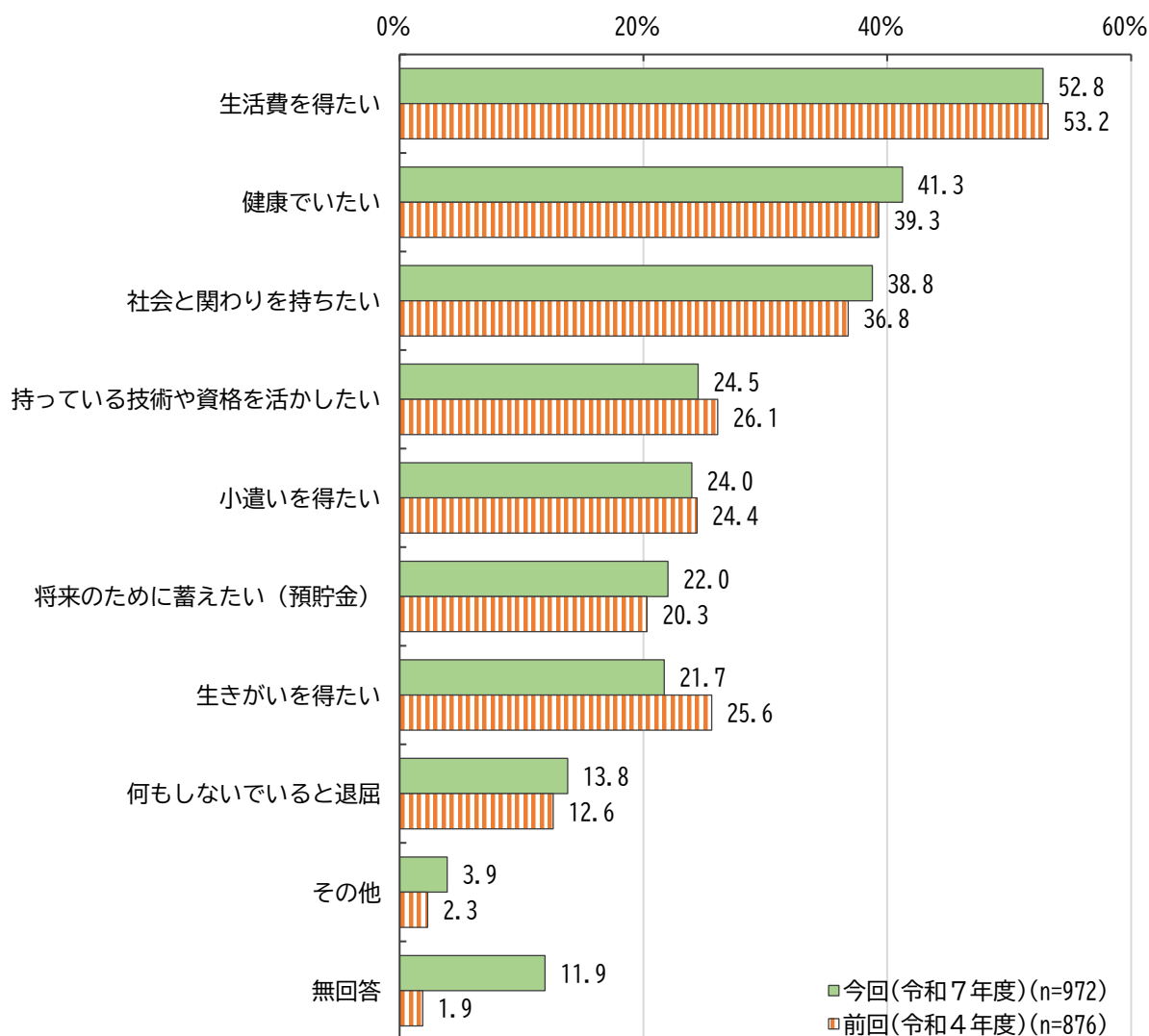
	n =	常勤の社員・職員	非常勤、嘱託、パート、アルバイト (スポットワークを含む)	自営業・自営業手伝い	シルバー人材センターでの就業	その他の就業	求職中	仕事をしていない	無回答
市全体	2,954	143	500	215	31	51	32	1,875	107
	100.0	4.8	16.9	7.3	1.0	1.7	1.1	63.5	3.6
男性	1,375	113	261	118	24	31	22	781	25
	100.0	8.2	19.0	8.6	1.7	2.3	1.6	56.8	1.8
女性	1,516	29	237	93	5	19	10	1,062	61
	100.0	1.9	15.6	6.1	0.3	1.3	0.7	70.1	4.0
前期高齢者	1,346	126	386	109	10	26	28	642	19
	100.0	9.4	28.7	8.1	0.7	1.9	2.1	47.7	1.4
男性 前期高齢者	689	103	204	60	9	17	19	272	5
	100.0	14.9	29.6	8.7	1.3	2.5	2.8	39.5	0.7
女性 前期高齢者	645	22	182	48	1	9	9	362	12
	100.0	3.4	28.2	7.4	0.2	1.4	1.4	56.1	1.9
後期高齢者	1,573	16	114	105	21	25	4	1,218	70
	100.0	1.0	7.2	6.7	1.3	1.6	0.3	77.4	4.5
男性 後期高齢者	681	9	57	58	15	14	3	505	20
	100.0	1.3	8.4	8.5	2.2	2.1	0.4	74.2	2.9
女性 後期高齢者	867	7	55	45	4	10	1	697	48
	100.0	0.8	6.3	5.2	0.5	1.2	0.1	80.4	5.5
(再掲) 85歳以上	321	1	0	15	0	1	1	275	28
	100.0	0.3	0.0	4.7	0.0	0.3	0.3	85.7	8.7
男性 (再掲) 85歳以上	135	1	0	9	0	1	0	117	7
	100.0	0.7	0.0	6.7	0.0	0.7	0.0	86.7	5.2
女性 (再掲) 85歳以上	179	0	0	6	0	0	1	152	20
	100.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.6	84.9	11.2

(2) 仕事をしている（または探している）理由

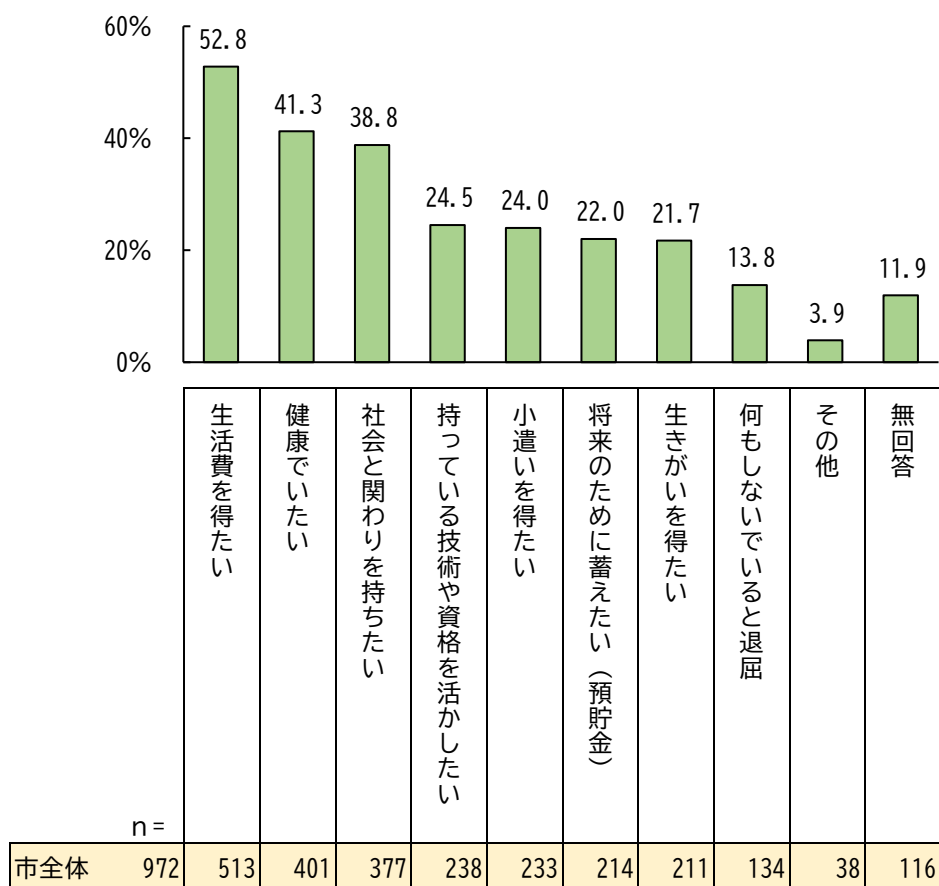
問 26-1 《問 26 で「1.常勤の社員・職員」、「2.非常勤、嘱託、パート、アルバイト（スポットワークを含む）」、「3.自営業・自営業手伝い」、「4.シルバー人材センターでの就業」、「5.その他の就業」、「6.求職中」のいずれかを回答した方にかがいます。》
 仕事をしている（または探している）理由は何ですか。
 （特にあてはまるもの3つまでに○）

仕事をしている（または探している）方（972人、32.9%）の仕事をしている（または探している）理由については、「生活費を得たい」が52.8%で最も高く、次いで「健康でいたい」が41.3%、「社会と関わりを持ちたい」が38.8%の順となっています。

【経年比較（%）】



【単純集計 (%)】



「その他」の主な内容：「後継者育成のため」、「会話をしたい」

第2章 調査結果の詳細

性別で見ると、男性では「生活費を得たい」、「健康でいたい」など、女性では「社会と関わりを持ちたい」、「生きがいを得たい」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「生活費を得たい」、「社会と関わりを持ちたい」、「持っている技術や資格を活かしたい」、「小遣いを得たい」など、後期高齢者では「健康でいたい」、「何もしていないでいると退屈」の割合が全体に対して高くなっています。

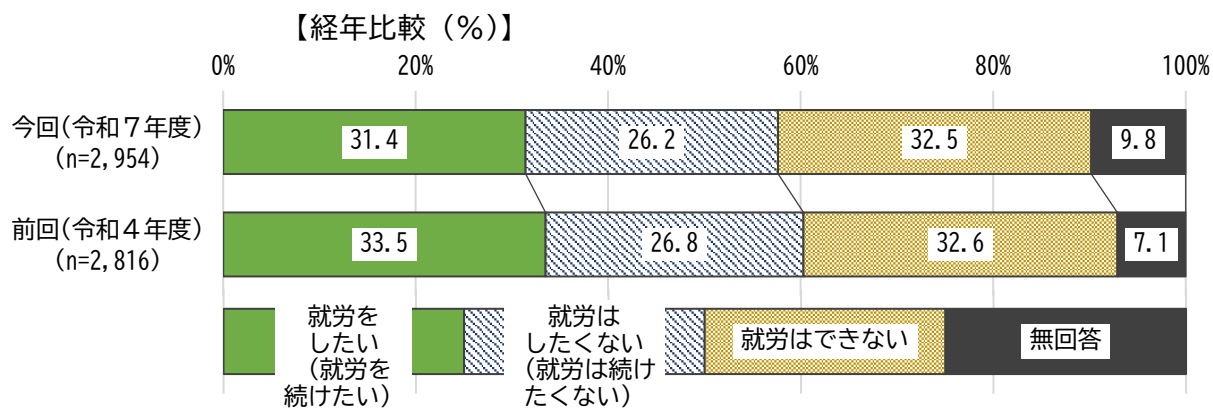
【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n=	生活費を得たい	健康でいたい	社会と関わりを持ちたい	持っている技術や資格を活かしたい	小遣いを得たい	将来のために蓄えたい（預貯金）	生きがいを得たい	何もしていないでいると退屈	その他	無回答
市全体	972	513	401	377	238	233	214	211	134	38	116
	100.0	52.8	41.3	38.8	24.5	24.0	22.0	21.7	13.8	3.9	11.9
男性	569	322	236	206	140	143	131	100	80	21	33
	100.0	56.6	41.5	36.2	24.6	25.1	23.0	17.6	14.1	3.7	5.8
女性	393	185	159	168	97	86	80	109	52	17	65
	100.0	47.1	40.5	42.7	24.7	21.9	20.4	27.7	13.2	4.3	16.5
前期高齢者	685	396	257	289	172	175	167	150	88	19	27
	100.0	57.8	37.5	42.2	25.1	25.5	24.4	21.9	12.8	2.8	3.9
男性前期高齢者	412	251	158	158	105	106	107	73	56	13	9
	100.0	60.9	38.3	38.3	25.5	25.7	26.0	17.7	13.6	3.2	2.2
女性前期高齢者	271	143	99	130	67	69	58	77	32	6	17
	100.0	52.8	36.5	48.0	24.7	25.5	21.4	28.4	11.8	2.2	6.3
後期高齢者	285	115	143	88	65	58	46	60	46	19	71
	100.0	40.4	50.2	30.9	22.8	20.4	16.1	21.1	16.1	6.7	24.9
男性後期高齢者	156	70	78	48	34	37	23	27	24	8	24
	100.0	44.9	50.0	30.8	21.8	23.7	14.7	17.3	15.4	5.1	15.4
女性後期高齢者	122	42	60	38	30	17	22	32	20	11	47
	100.0	34.4	49.2	31.1	24.6	13.9	18.0	26.2	16.4	9.0	38.5
（再掲）85歳以上	18	7	11	4	2	3	3	6	5	2	0
	100.0	38.9	61.1	22.2	11.1	16.7	16.7	33.3	27.8	11.1	0.0
男性（再掲）85歳以上	11	5	2	2	3	2	5	2	2	0	0
	100.0	45.5	18.2	18.2	27.3	18.2	45.5	18.2	18.2	0.0	0.0
女性（再掲）85歳以上	7	2	0	1	3	0	6	2	3	2	0
	101.0	28.6	0.0	14.3	42.9	0.0	85.7	28.6	42.9	28.6	0.0

(3) 今後の就労希望

問 27 今後、就労をしたい（就労を続けたい）と考えていますか。（1つに○）

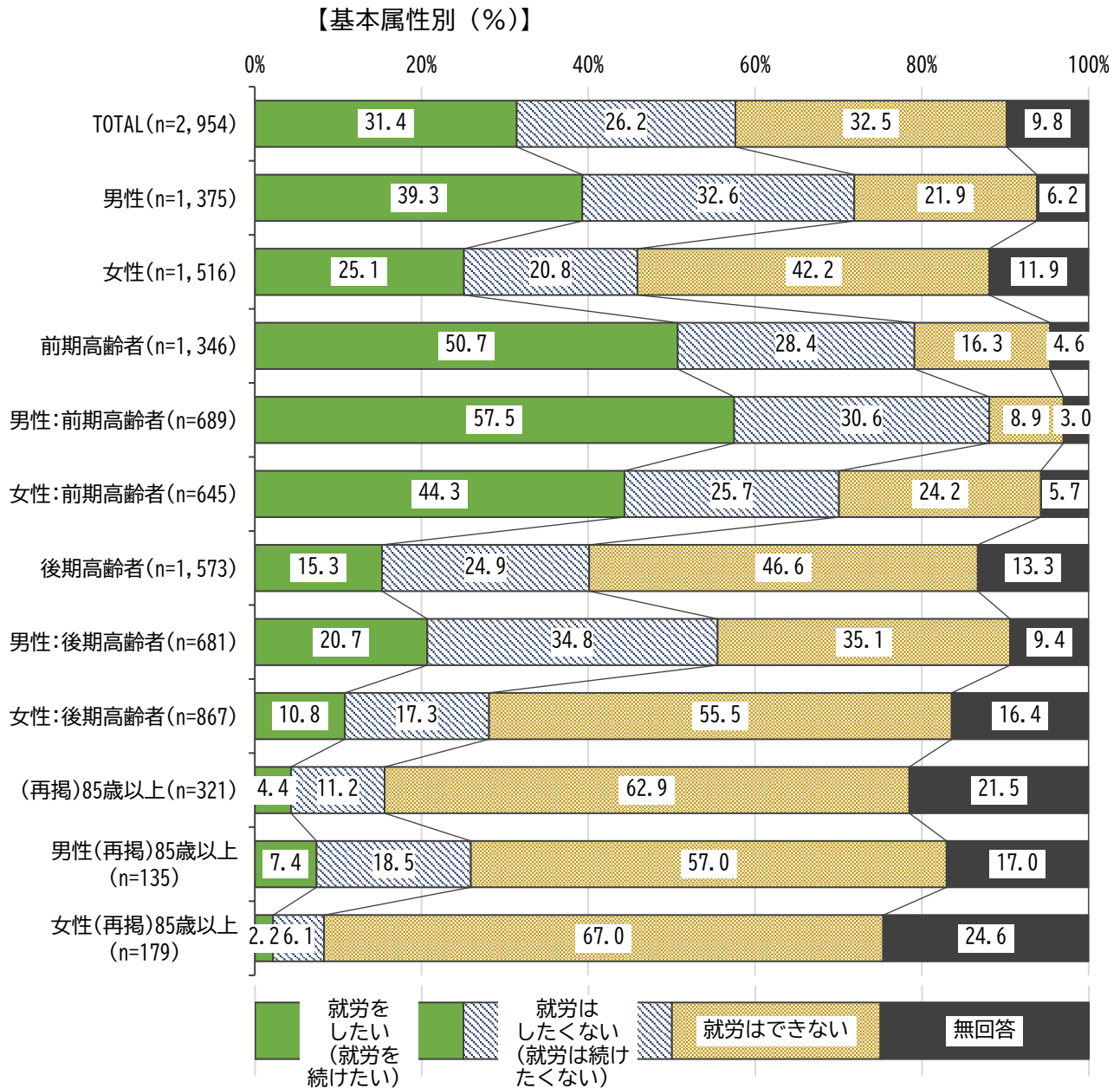
今後の就労希望（継続含め）については、「就労をしたい（就労を続けたい）」が 31.4%、「就労はしたくない（就労は続けたくない）」が 26.2%、「就労はできない」が 32.5%となっています。



第2章 調査結果の詳細

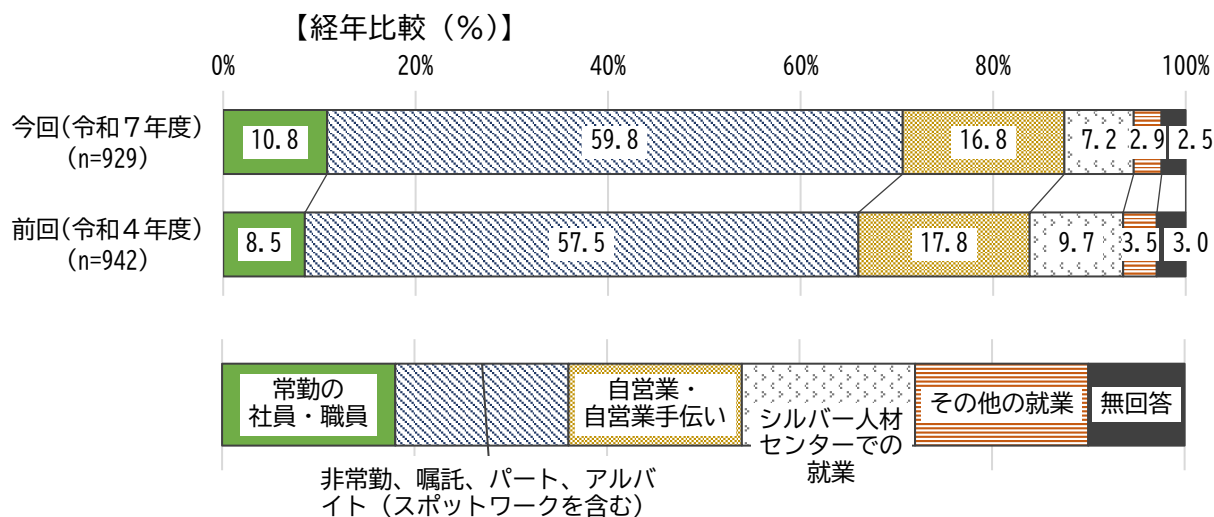
性別でみると、「就労はできない」と回答した割合は、男性が全体より低く、女性は全体より高くなっています。

年齢別でみると、「就労はできない」と回答した割合は、前期高齢者が全体より低く、後期高齢者は全体より高くなっています。



問 27-1 《問 27 で「1. 就労をしたい（就労を続けたい）」と回答した方にうかがいます。》
 今後、どのような形態で就労をしたいと考えますか。（1つに○）

今後就労を希望する方（929人、31.4%）の希望する就労形態については、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト（スポットワークを含む）」が59.8%で最も高く、次いで「自営業・自営業手伝い」が16.8%、「常勤の社員・職員」が10.8%の順となっています。



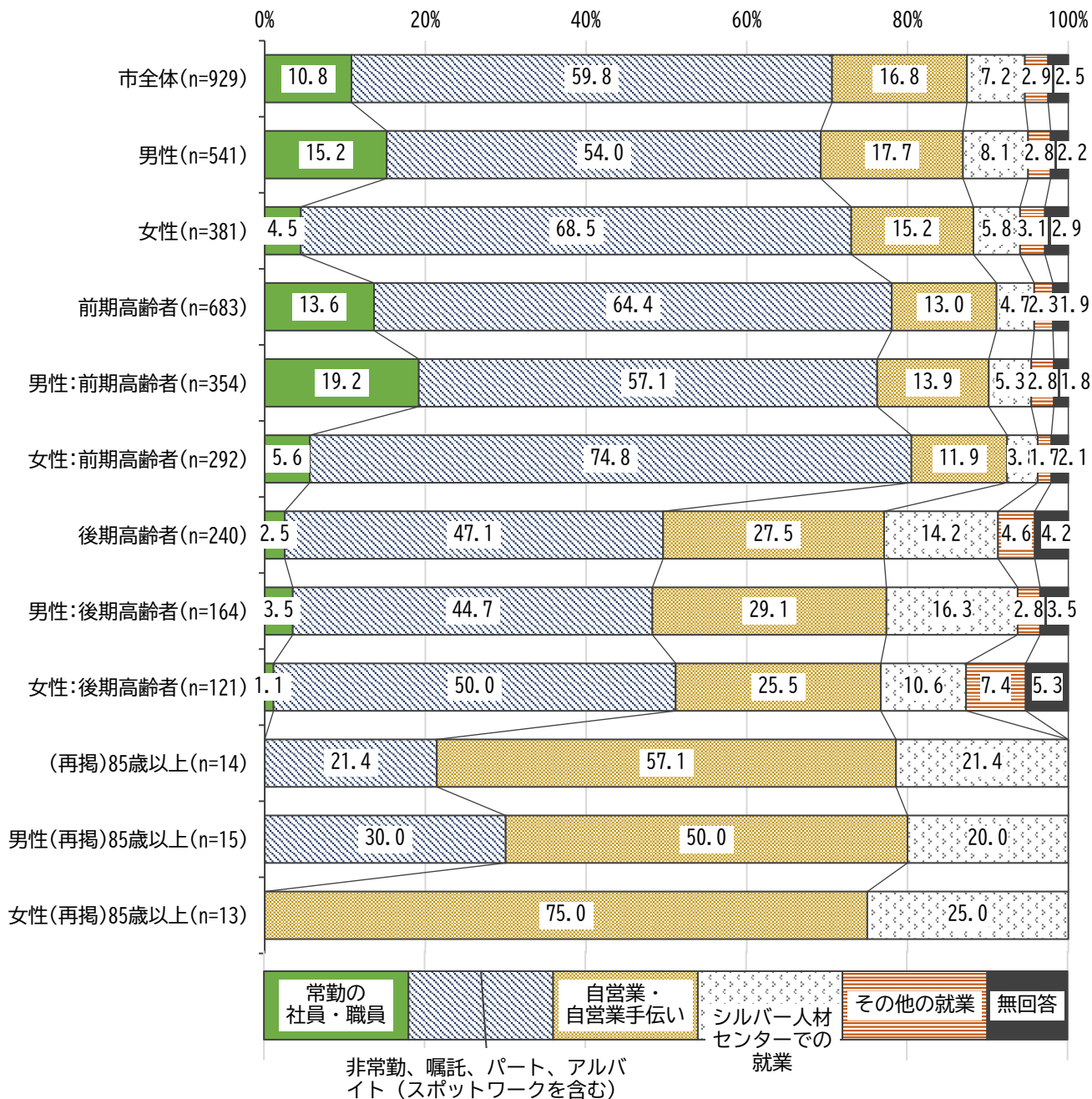
「その他の就業」の主な内容：「こだわりはなし」、「保有資格を生かしたい」

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性で「常勤の社員・職員」、女性で「非常勤、嘱託、パート、アルバイト（スポットワークを含む）」の割合が全体に対して高くなっています。

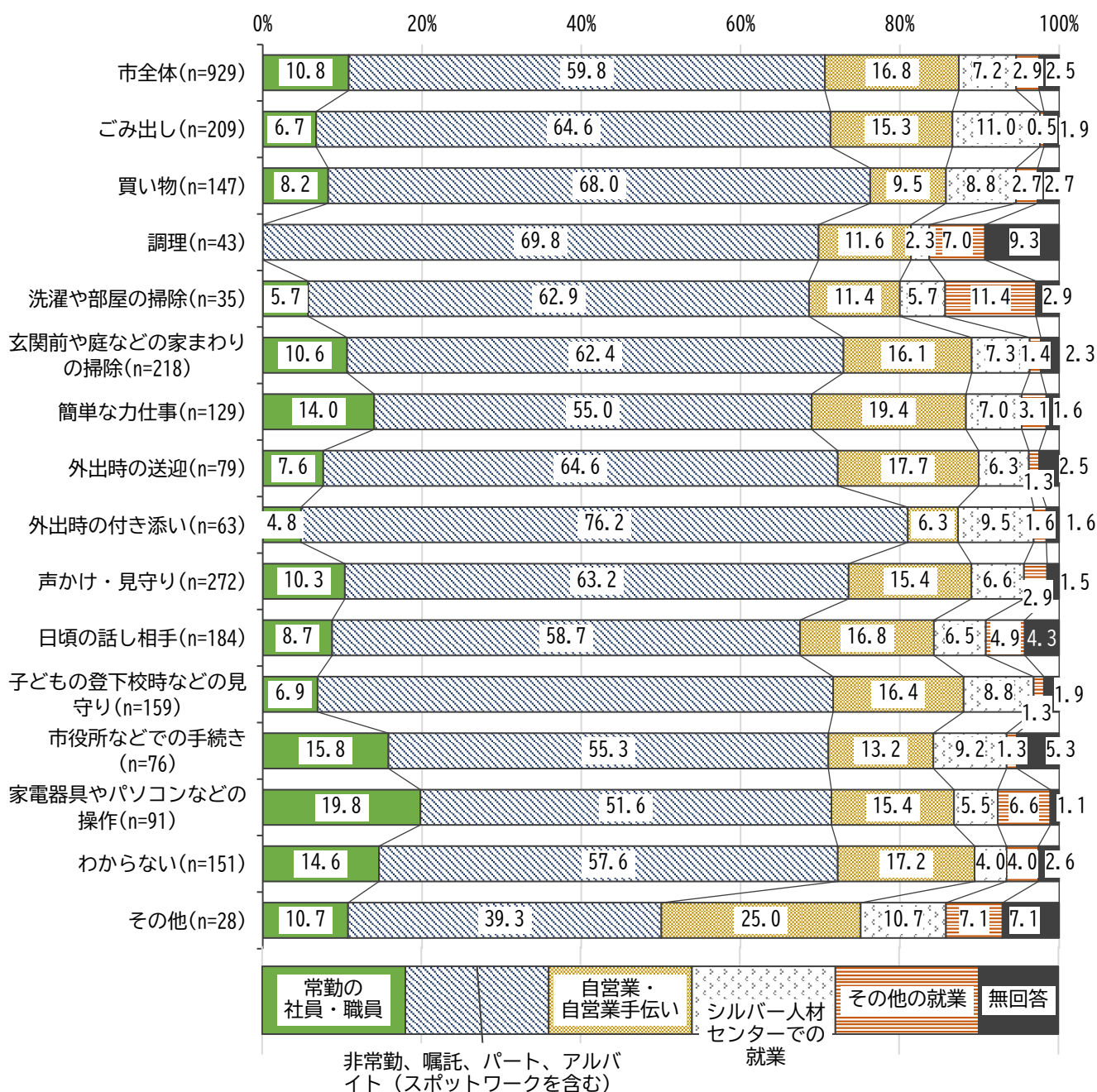
年齢別でみると、前期高齢者で「常勤の社員・職員」、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト（スポットワークを含む）」、後期高齢者で「自営業・自営業手伝い」、「シルバー人材センターでの就業」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別 (%)】



地域でできると思う手助け（問 30）別でみると、「シルバー人材センターでの就業」は「ごみ出し」、「買い物」、「外出時の付き添い」などで全体より高くなっています。

【地域でできると思う手助け別（％）】

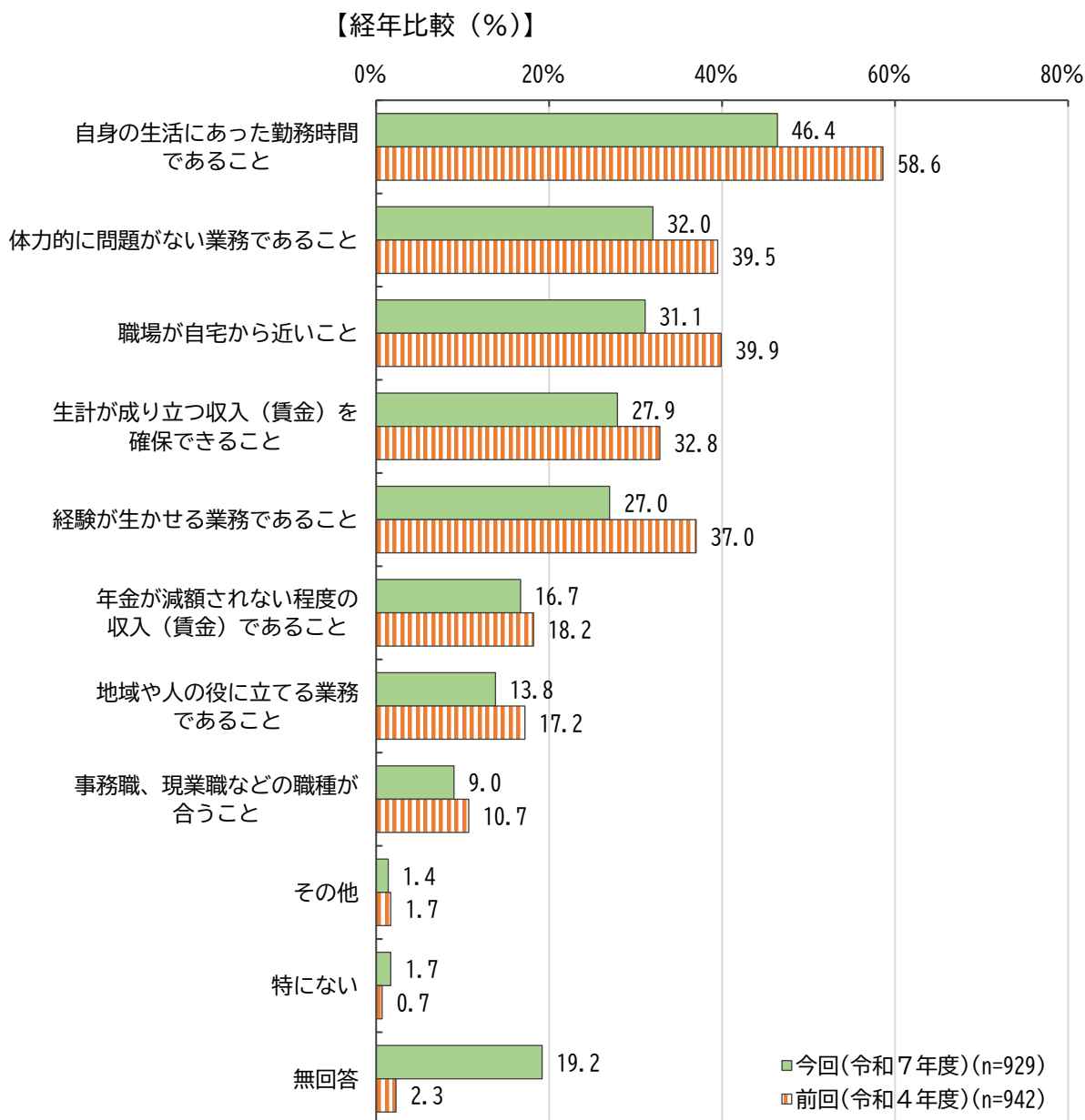


第2章 調査結果の詳細

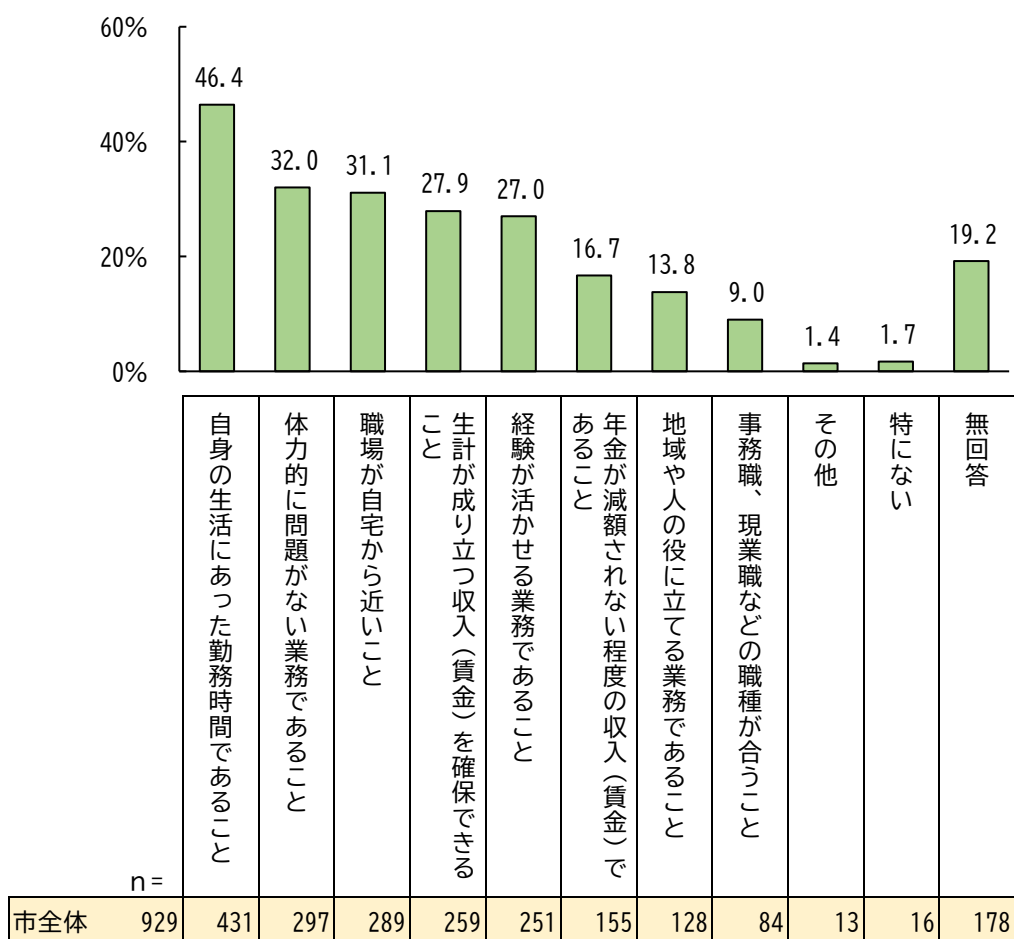
(4) 就労するうえで重視すること

問 27-2 《問 27 で「1. 就労をしたい(就労を続けたい)」と回答した方にうかがいます。》
就労するうえで、重視することは何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

今後就労を希望する方(929人、31.4%)の就労するうえで重視することについては、「自身の生活にあった勤務時間であること」が46.4%で最も高く、次いで「体力的に問題がない業務であること」が32.0%、「職場が自宅から近いこと」が31.1%、「生計が成り立つ収入(賃金)を確保できること」が27.9%、「経験が活かせる業務であること」が27.0%と続いています。



【単純集計 (%)】



「その他」の主な内容：「生きがいを得たい」、「仲間と接するのが楽しいから」

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「体力的に問題がない業務であること」、「生計が成り立つ収入（賃金）が確保できること」、「経験が活かせる業務であること」、「年金が減額されない程度の収入（賃金）であること」、「事務職、現業職などの職種が合うこと」、女性では「自身の生活にあった勤務時間であること」、「職場が自宅から近いこと」、「地域や人の役に立てる業務であること」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

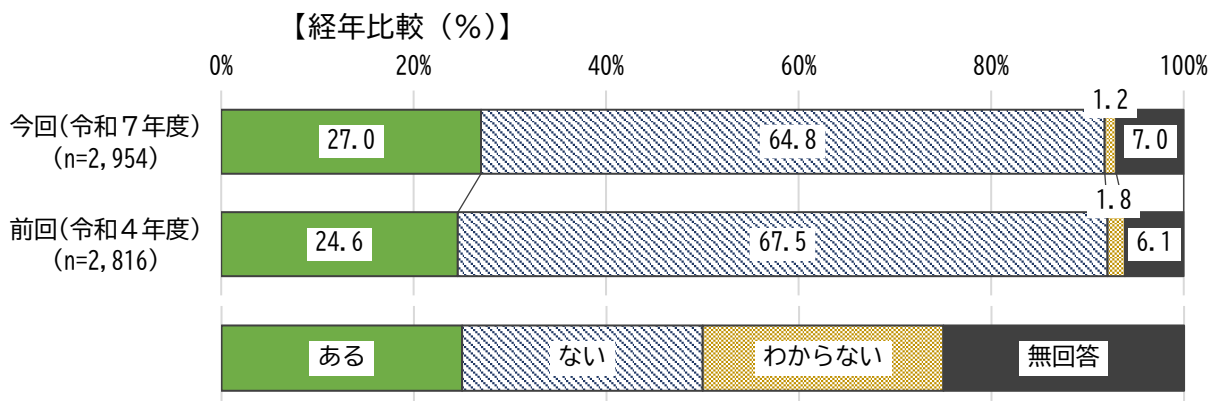
	n =	自身の生活にあった勤務時間であること	体力的に問題がない業務であること	職場が自宅から近いこと	生計が成り立つ収入（賃金）を確保できること	経験が活かせる業務であること	年金が減額されない程度の収入（賃金）であること	地域や人の役に立てる業務であること	事務職、現業職などの職種が合うこと	その他	特にない	無回答
市全体	929	431	297	289	259	251	155	128	84	13	16	178
	100.0	46.4	32.0	31.1	27.9	27.0	16.7	13.8	9.0	1.4	1.7	19.2
男性	541	243	182	152	165	169	94	70	59	6	11	91
	100.0	44.9	33.6	28.1	30.5	31.2	17.4	12.9	10.9	1.1	2.0	16.8
女性	381	186	114	135	89	79	60	58	25	7	5	86
	100.0	48.8	29.9	35.4	23.4	20.7	15.7	15.2	6.6	1.8	1.3	22.6
前期高齢者	683	339	212	225	208	201	107	86	77	7	9	122
	100.0	49.6	31.0	32.9	30.5	29.4	15.7	12.6	11.3	1.0	1.3	17.9
男性前期高齢者	396	189	136	117	134	136	63	47	54	3	6	57
	100.0	47.7	34.3	29.5	33.8	34.3	15.9	11.9	13.6	0.8	1.5	14.4
女性前期高齢者	286	149	76	107	73	65	44	39	23	4	3	65
	100.0	52.1	26.6	37.4	25.5	22.7	15.4	13.6	8.0	1.4	1.0	22.7
後期高齢者	240	91	83	63	48	50	47	40	7	6	7	54
	100.0	37.9	34.6	26.3	20.0	20.8	19.6	16.7	2.9	2.5	2.9	22.5
男性後期高齢者	141	54	45	34	29	33	30	22	5	3	5	32
	100.0	38.3	31.9	24.1	20.6	23.4	21.3	15.6	3.5	2.1	3.5	22.7
女性後期高齢者	94	36	37	28	16	14	16	18	2	3	2	21
	100.0	38.3	39.4	29.8	17.0	14.9	17.0	19.1	2.1	3.2	2.1	22.3
（再掲）85歳以上	14	3	4	2	2	2	2	1	0	0	0	7
	100.0	21.4	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	50.0
男性（再掲）85歳以上	10	2	3	2	1	2	2	0	0	0	0	5
	100.0	20.0	30.0	20.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
女性（再掲）85歳以上	4	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	100.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0

10. 地域で参加している活動について

(1) 地域で参加している活動の有無

問 28 現在、地域で参加している活動がありますか。(1つに○)

現在の地域活動への参加状況については、「(参加している活動が) ある」が 27.0%、「ない」が 64.8%となっています。

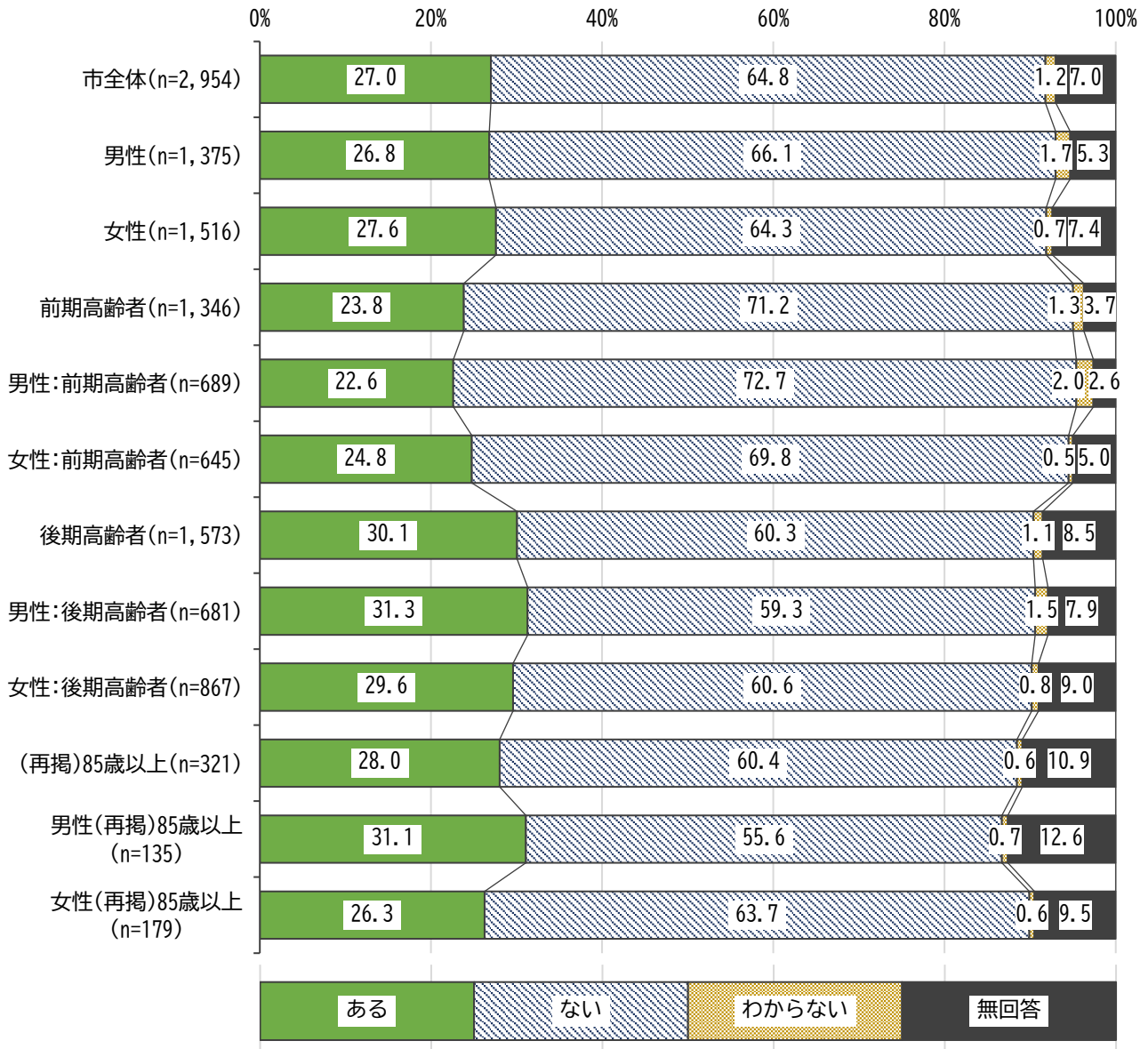


第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「ない」、女性では「ある」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、後期高齢者は「ある」の割合が前期高齢者より高くなっています。

【基本属性別 (%)】

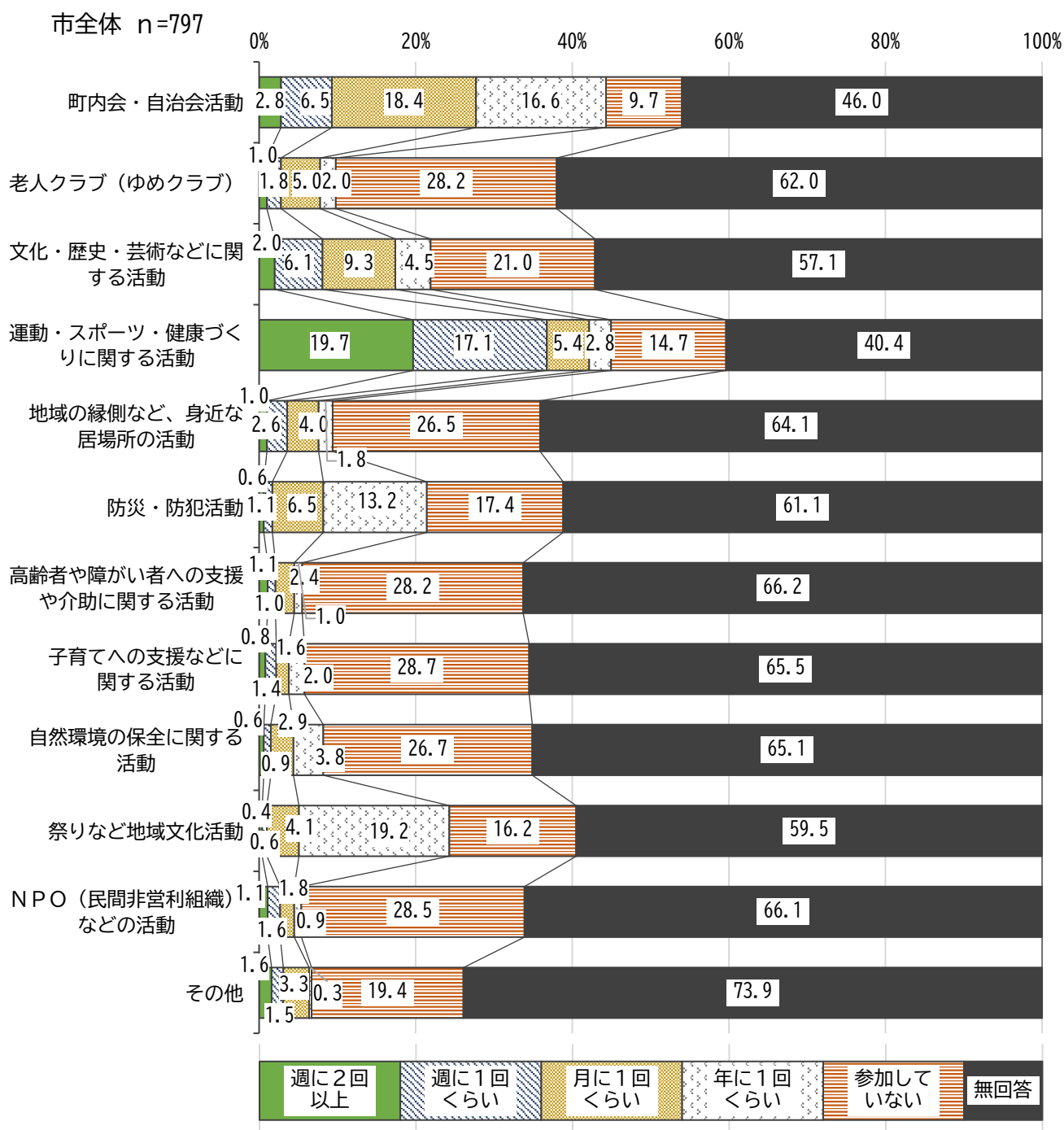


(2) 活動の参加状況

問 28-1 《問 28 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。》
 現在、地域で参加している活動の参加状況について、ご記入ください

現在、地域活動に参加している方（797 人、27.0%）のうち、各活動への参加状況を見ると、「運動・スポーツ・健康づくりに関する活動」が 45.0% で最も高く、次いで「町内会・自治会活動」（44.3%）、「祭りなど地域文化活動」（24.3%）となっています。このうち、「運動・スポーツ・健康づくりに関する活動」は、「週に2回以上」が 19.7% と他の活動に比べて高くなっています。

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【単純集計（上段：人数、下段：％）】

	n =	週に2回以上	週に1回くらい	月に1回くらい	年に1回くらい	参加していない	無回答	「参加していない」
町内会・自治会活動	797	22	52	147	132	77	367	353
	100.0	2.8	6.5	18.4	16.6	9.7	46.0	44.3
老人クラブ（ゆめクラブ）	797	8	14	40	16	225	494	78
	100.0	1.0	1.8	5.0	2.0	28.2	62.0	9.8
文化・歴史・芸術などに関する活動	797	16	49	74	36	167	455	175
	100.0	2.0	6.1	9.3	4.5	21.0	57.1	21.9
運動・スポーツ・健康づくりに関する活動	797	157	136	43	22	117	322	358
	100.0	19.7	17.1	5.4	2.8	14.7	40.4	45.0
地域の縁側など、身近な居場所の活動	797	8	21	32	14	211	511	75
	100.0	1.0	2.6	4.0	1.8	26.5	64.1	9.4
防災・防犯活動	797	5	9	52	105	139	487	171
	100.0	0.6	1.1	6.5	13.2	17.4	61.1	21.4
高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動	797	9	8	19	8	225	528	44
	100.0	1.1	1.0	2.4	1.0	28.2	66.2	5.5
子育てへの支援などに関する活動	797	6	11	13	16	229	522	46
	100.0	0.8	1.4	1.6	2.0	28.7	65.5	5.8
自然環境の保全に関する活動	797	5	7	23	30	213	519	65
	100.0	0.6	0.9	2.9	3.8	26.7	65.1	8.2
祭りなど地域文化活動	797	3	5	33	153	129	474	194
	100.0	0.4	0.6	4.1	19.2	16.2	59.5	24.3
NPO（民間非営利組織）などの活動	797	9	13	14	7	227	527	43
	100.0	1.1	1.6	1.8	0.9	28.5	66.1	5.4
その他	797	13	12	26	2	155	589	53
	100.0	1.6	1.5	3.3	0.3	19.4	73.9	6.7

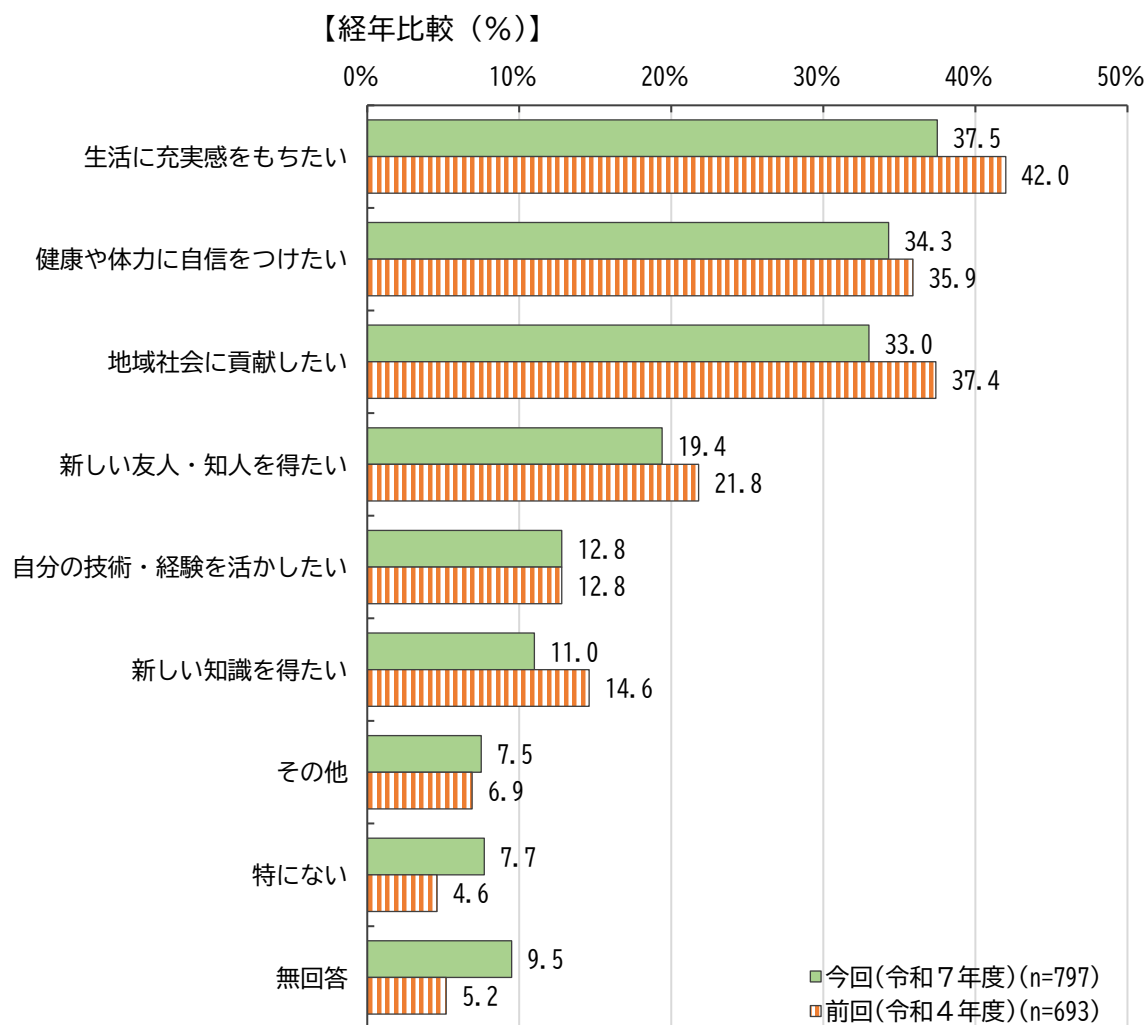
「その他」の主な内容：「観光ガイドボランティア」、「おやじの会」

(3) 地域の活動に参加した理由

問 28-2 《問 28 で「1.ある」と回答した方にうかがいます。》

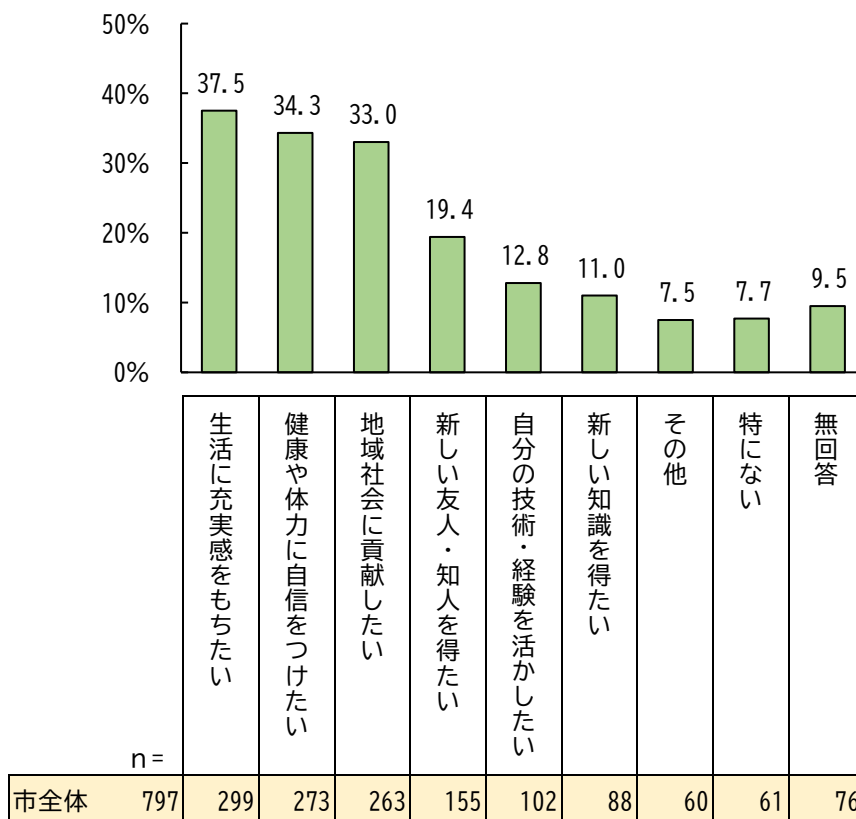
地域の活動に参加した理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

地域活動に参加した理由については、「生活に充実感をもちたい」が 37.5%で最も高く、次いで「健康や体力に自信をつけたい」(34.3%)、「地域社会に貢献したい」(33.0%)、がいずれも3割台となっています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



「その他」の主な内容：「家族との参加」、「今年が当番のため」

性別で見ると、男性では「地域社会に貢献したい」、「新しい友人・知人を得たい」、「自分の技術・経験を活かしたい」、女性では「生活に充実感をもちたい」、「健康や体力に自信をつけたい」、「新しい知識を得たい」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

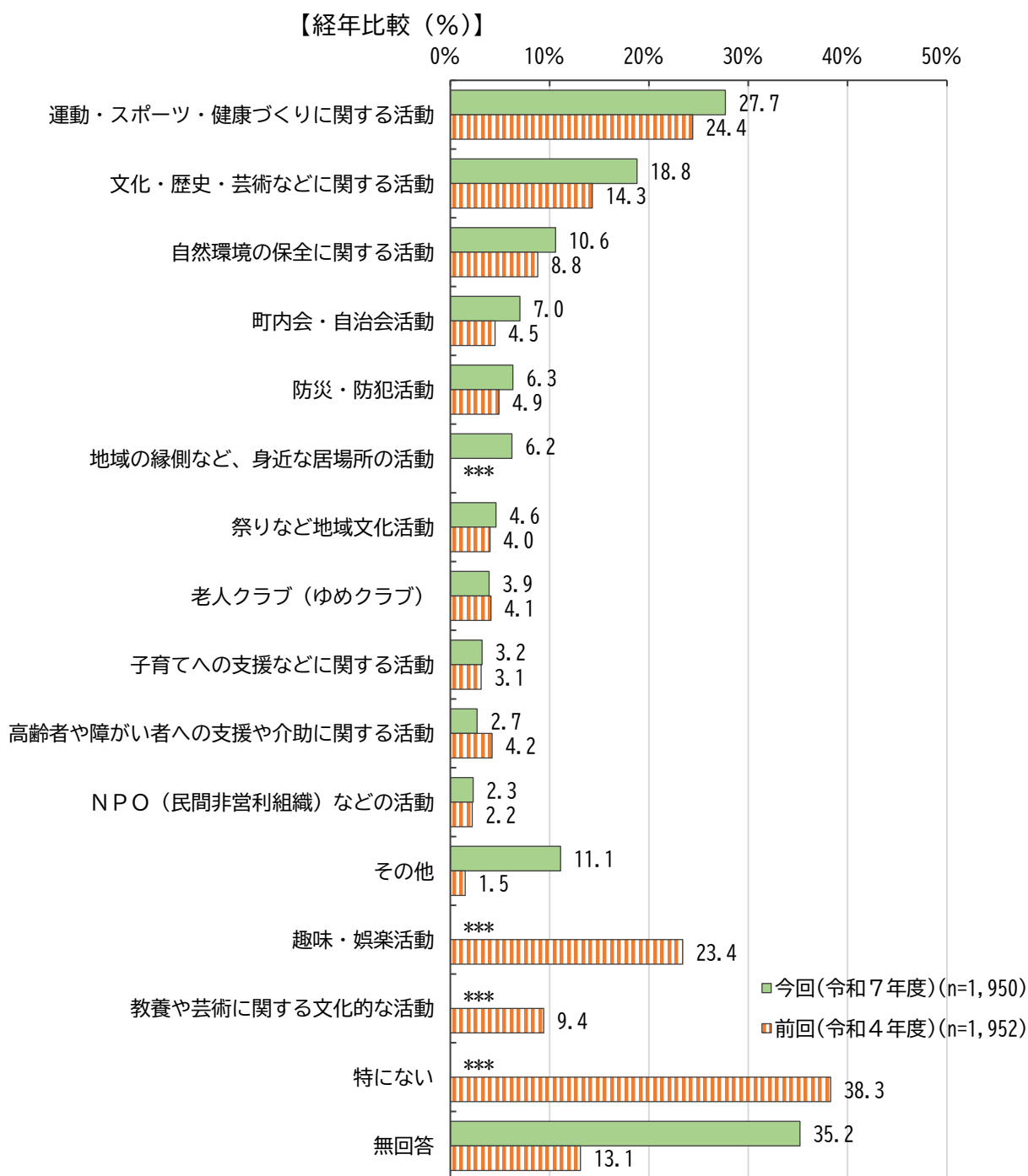
	n =	生活に充実感をもちたい	健康や体力に自信をつけたい	地域社会に貢献したい	新しい友人・知人を得たい	自分の技術・経験を活かしたい	新しい知識を得たい	その他	特にない	無回答
市全体	797	299	273	263	155	102	88	60	61	76
	100.0	37.5	34.3	33.0	19.4	12.8	11.0	7.5	7.7	9.5
男性	369	135	101	150	76	60	35	31	37	28
	100.0	36.6	27.4	40.7	20.6	16.3	9.5	8.4	10.0	7.6
女性	419	160	170	109	76	39	52	29	24	47
	100.0	38.2	40.6	26.0	18.1	9.3	12.4	6.9	5.7	11.2
前期高齢者	321	111	93	140	51	39	35	29	23	20
	100.0	34.6	29.0	43.6	15.9	12.1	10.9	9.0	7.2	6.2
男性前期高齢者	156	51	36	76	32	21	14	14	18	7
	100.0	32.7	23.1	48.7	20.5	13.5	9.0	9.0	11.5	4.5
女性前期高齢者	160	59	56	61	18	16	21	15	5	13
	100.0	36.9	35.0	38.1	11.3	10.0	13.1	9.4	3.1	8.1
後期高齢者	473	187	179	122	103	62	53	31	38	55
	100.0	39.5	37.8	25.8	21.8	13.1	11.2	6.6	8.0	11.6
男性後期高齢者	213	84	65	74	44	39	21	17	19	21
	100.0	39.4	30.5	34.7	20.7	18.3	9.9	8.0	8.9	9.9
女性後期高齢者	257	101	114	47	58	22	31	14	19	33
	100.0	39.3	44.4	18.3	22.6	8.6	12.1	5.4	7.4	12.8
(再掲) 85歳以上	90	32	38	16	18	11	9	3	5	16
	100.0	35.6	42.2	17.8	20.0	12.2	10.0	3.3	5.6	17.8
男性(再掲) 85歳以上	42	14	16	11	7	7	3	3	2	6
	100.0	33.3	38.1	26.2	16.7	16.7	7.1	7.1	4.8	14.3
女性(再掲) 85歳以上	47	17	22	4	10	4	6	0	3	10
	100.0	36.2	46.8	8.5	21.3	8.5	12.8	0.0	6.4	21.3

第2章 調査結果の詳細

(4) 今後、地域で参加したい活動

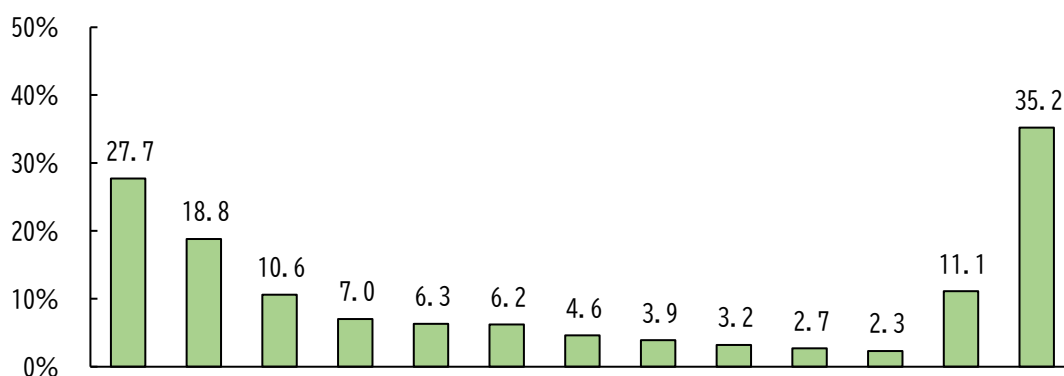
問 28-3 《問 28 で「2. ない」、「3. わからない」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 今後、地域で参加したい活動はありますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

地域で参加している活動が「ない」方と「わからない」方(1,950人、66.0%)の今後参加したい活動については、「運動・スポーツ・健康づくりに関する活動」が27.7%で最も高く、次いで「文化・歴史・芸術などに関する活動」が18.8%、「自然環境の保全に関する活動」が10.6%となっています。



※令和4年度は「地域の縁側など、身近な居場所の活動」の選択肢が、令和7年度は「趣味・娯楽活動」、「教養や芸術に関する文化的な活動」、「特にない」の選択肢がないため、***表記としている。

【単純集計、地域別 (%)】



	n=	活動	運動・スポーツ・健康づくりに関する活動	文化・歴史・芸術などに関する活動	自然環境の保全に関する活動	町内会・自治会活動	防災・防犯活動	地域の縁側など、身近な居場所の活動	祭りなど地域文化活動	老人クラブ（ゆめクラブ）	子育てへの支援などに関する活動	高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動	NPO（民間非営利組織）などの活動	その他	無回答
市全体	1,950		27.7	18.8	10.6	7.0	6.3	6.2	4.6	3.9	3.2	2.7	2.3	11.1	35.2
片瀬	89		34.8	23.6	14.6	4.5	10.1	6.7	5.6	5.6	7.9	4.5	1.1	11.2	25.8
鶴沼	296		30.7	22.3	11.8	7.4	4.4	4.4	3.4	4.1	3.7	3.4	4.1	8.8	33.8
辻堂	230		30.0	21.3	12.2	7.8	7.8	6.1	5.7	3.9	3.0	1.7	3.5	10.4	29.6
村岡	120		23.3	20.0	13.3	9.2	7.5	9.2	5.8	5.8	3.3	3.3	2.5	9.2	36.7
藤沢	254		29.5	20.9	11.4	8.7	6.7	3.9	6.7	3.9	3.1	2.4	1.6	9.8	35.8
明治	81		29.6	16.0	11.1	3.7	2.5	4.9	4.9	4.9	4.9	6.2	1.2	8.6	34.6
善行	196		28.1	17.9	9.2	5.6	6.1	3.6	3.6	2.6	0.5	3.1	1.5	13.8	34.7
湘南大庭	95		26.3	17.9	10.5	10.5	6.3	5.3	2.1	2.1	1.1	2.1	1.1	14.7	36.8
六会	133		29.3	13.5	10.5	6.0	6.0	13.5	3.8	5.3	4.5	2.3	3.0	13.5	31.6
湘南台	139		30.9	16.5	6.5	2.9	7.2	4.3	3.6	2.9	5.8	2.9	3.6	13.7	38.1
遠藤	67		28.4	22.4	14.9	7.5	7.5	7.5	4.5	3.0	1.5	3.0	3.0	3.0	35.8
長後	153		18.3	17.0	6.5	9.8	7.8	5.9	5.9	3.3	1.3	0.0	0.7	13.1	39.2
御所見	87		14.9	5.7	4.6	4.6	1.1	12.6	2.3	5.7	1.1	2.3	0.0	14.9	49.4

「その他」の主な内容：「金銭的に余裕がない」、「したいと思わない」

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「運動・スポーツ・健康づくりに関する活動」、「自然環境の保全に関する活動」、「町内会・自治会活動」、「防災・防犯活動」などが、女性では「文化・歴史・芸術などに関する活動」、「地域の縁側など、身近な居場所の活動」、「子育てへの支援などに関する活動」、「高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「運動・スポーツ・健康づくりに関する活動」、「文化・歴史・芸術などに関する活動」、「自然環境の保全に関する活動」、「防災・防犯活動」、「祭りなど地域文化活動」などの割合が全体に対して高くなっています。後期高齢者では「老人クラブ（ゆめクラブ）」が男女問わず全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

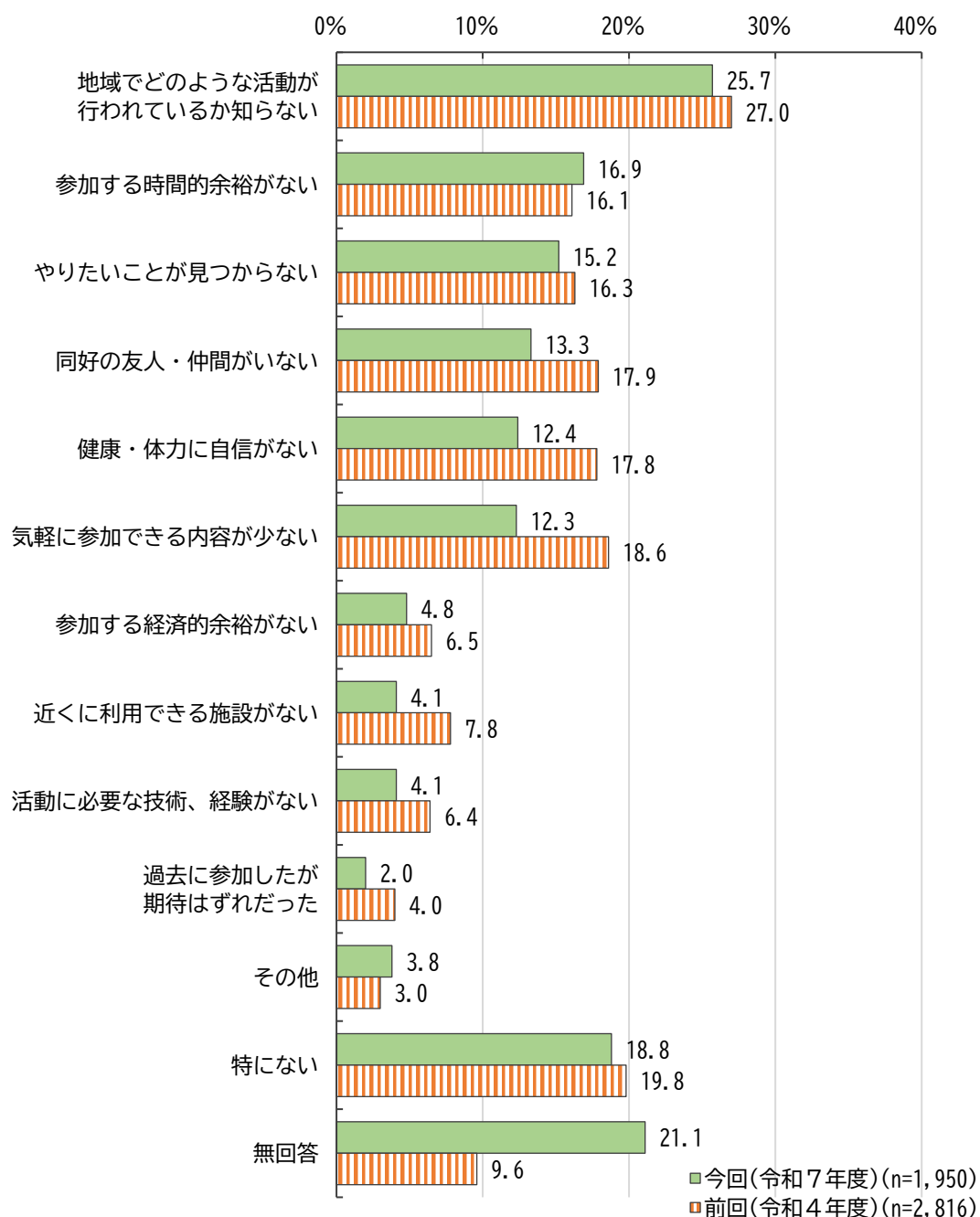
	n =	運動・スポーツ・健康づくりに関する活動	文化・歴史・芸術などに関する活動	自然環境の保全に関する活動	町内会・自治会活動	防災・防犯活動	地域の縁側など、身近な居場所の活動	祭りなど地域文化活動	老人クラブ（ゆめクラブ）	子育てへの支援などに関する活動	高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動	NPO（民間非営利組織）などの活動	その他	無回答
市全体	1,950	541	366	206	137	122	120	89	77	62	53	45	216	686
	100.0	27.7	18.8	10.6	7.0	6.3	6.2	4.6	3.9	3.2	2.7	2.3	11.1	35.2
男性	933	272	175	130	79	79	43	61	39	26	17	23	123	285
	100.0	29.2	18.8	13.9	8.5	8.5	4.6	6.5	4.2	2.8	1.8	2.5	13.2	30.5
女性	985	264	187	73	56	41	75	28	38	36	36	22	93	381
	100.0	26.8	19.0	7.4	5.7	4.2	7.6	2.8	3.9	3.7	3.7	2.2	9.4	38.7
前期高齢者	975	337	235	132	67	83	56	58	24	51	34	33	114	244
	100.0	34.6	24.1	13.5	6.9	8.5	5.7	5.9	2.5	5.2	3.5	3.4	11.7	25.0
男性前期高齢者	515	183	115	85	41	56	23	40	11	21	12	16	75	118
	100.0	35.5	22.3	16.5	8.0	10.9	4.5	7.8	2.1	4.1	2.3	3.1	14.6	22.9
女性前期高齢者	453	152	120	47	25	25	32	18	13	30	22	17	39	122
	100.0	33.6	26.5	10.4	5.5	5.5	7.1	4.0	2.9	6.6	4.9	3.8	8.6	26.9
後期高齢者	966	202	130	73	68	37	63	31	53	10	19	12	102	437
	100.0	20.9	13.5	7.6	7.0	3.8	6.5	3.2	5.5	1.0	2.0	1.2	10.6	45.2
男性後期高齢者	414	88	60	44	36	21	20	21	28	4	5	7	48	166
	100.0	21.3	14.5	10.6	8.7	5.1	4.8	5.1	6.8	1.0	1.2	1.7	11.6	40.1
女性後期高齢者	532	112	67	26	31	16	43	10	25	6	14	5	54	259
	100.0	21.1	12.6	4.9	5.8	3.0	8.1	1.9	4.7	1.1	2.6	0.9	10.2	48.7
（再掲）85歳以上	196	24	22	5	7	5	8	4	11	0	2	2	22	116
	100.0	12.2	11.2	2.6	3.6	2.6	4.1	2.0	5.6	0.0	1.0	1.0	11.2	59.2
男性（再掲）85歳以上	76	11	10	5	5	2	1	2	4	0	1	2	11	40
	100.0	14.5	13.2	6.6	6.6	2.6	1.3	2.6	5.3	0.0	1.3	2.6	14.5	52.6
女性（再掲）85歳以上	115	13	11	0	2	3	7	2	7	0	1	0	11	72
	100.0	11.3	9.6	0.0	1.7	2.6	6.1	1.7	6.1	0.0	0.9	0.0	9.6	62.6

(5) 地域の活動に参加する上で支障となることや問題点

問 28-4 《問 28 で「2. ない」、「3. わからない」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

地域で参加している活動が「ない」方と「わからない」方(1,950人、66.0%)の活動に参加する上で支障となることや問題点と感ずることについては、「地域でどのような活動が行われているか知らない」が25.7%で最も高く、次いで「参加する時間的余裕がない」が16.9%、「やりたいことが見つからない」が15.2%、「同好の友人・仲間がいない」が13.3%、「健康・体力に自信がない」が12.4%の順となっています。

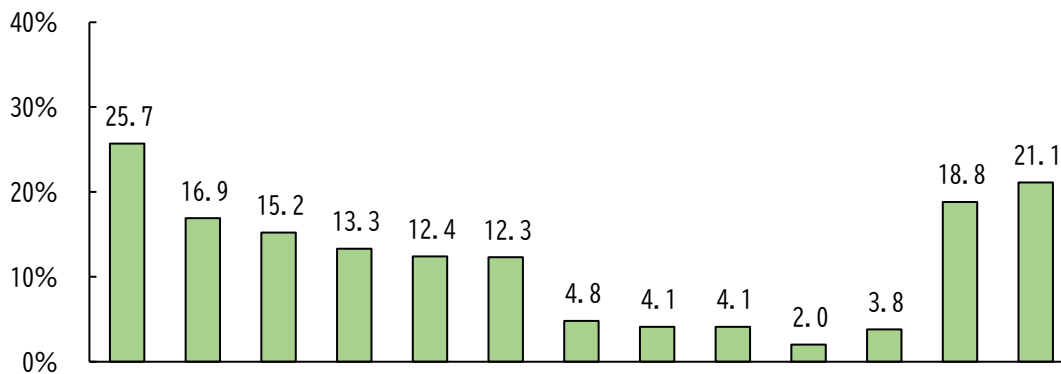
【経年比較 (%)】



※令和4年度は全員に質問しているため、n数が多くなっている。

第2章 調査結果の詳細

【単純集計、地域別 (%)】



n =	理由													
	地域でどのような活動が行われているか知らない	参加する時間的余裕がない	やりたいことが見つからない	同好の友人・仲間がいない	健康・体力に自信がない	気軽に参加できる内容が少ない	参加する経済的余裕がない	近くに利用できる施設がない	活動に必要な技術、経験がない	過去に参加したが期待はずれだった	その他	特になし	無回答	
市全体	1,950	501	329	94	239	79	296	259	80	241	39	366	75	412
片瀬	89	24.7	22.5	19.1	19.1	11.2	18.0	3.4	5.6	3.4	0.0	4.5	11.2	18.0
鵜沼	296	30.1	17.2	13.9	16.2	13.5	10.1	5.4	2.7	3.7	2.4	4.4	20.6	17.2
辻堂	230	30.9	16.1	17.0	13.9	10.4	13.9	3.5	5.2	7.0	2.6	3.9	15.2	18.7
村岡	120	27.5	17.5	15.8	12.5	11.7	15.0	2.5	4.2	2.5	2.5	5.8	15.8	25.8
藤沢	254	24.8	17.7	13.0	13.4	9.1	13.0	5.9	4.3	1.6	2.0	3.9	21.7	20.9
明治	81	19.8	18.5	7.4	11.1	13.6	13.6	7.4	1.2	8.6	0.0	2.5	24.7	21.0
善行	196	26.5	14.8	15.3	10.2	16.3	10.7	5.6	3.1	4.1	1.5	2.6	25.0	17.9
湘南大庭	95	20.0	12.6	15.8	13.7	11.6	14.7	4.2	4.2	4.2	2.1	4.2	25.3	21.1
六会	133	24.8	22.6	15.8	12.8	15.0	10.5	3.8	4.5	3.8	2.3	7.5	12.8	20.3
湘南台	139	25.2	16.5	15.8	14.4	11.5	11.5	5.0	4.3	5.0	2.2	2.2	19.4	20.9
遠藤	67	17.9	6.0	10.4	25.4	11.9	11.9	4.5	4.5	3.0	3.0	4.5	16.4	31.3
長後	153	24.2	19.6	18.3	3.9	13.1	10.5	4.6	5.2	3.3	1.3	2.0	15.7	26.8
御所見	87	19.5	12.6	19.5	12.6	12.6	9.2	5.7	4.6	4.6	3.4	2.3	16.1	27.6

「その他」の主な内容：「ボランティア活動はコロナ以後やめた」、「興味がわからない」

性別で見ると、男性では「地域でどのような活動が行われているか知らない」、「やりたいことが見つからない」、「同好の友人・仲間がいない」などが、女性では「参加する時間的余裕がない」、「健康・体力に自信がない」、「近くに利用できる施設がない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「地域でどのような活動が行われているか知らない」、「参加する時間的余裕がない」などが、後期高齢者では「健康・体力に自信がない」、「近くに利用できる施設がない」などの割合が全体に対して高くなっています。

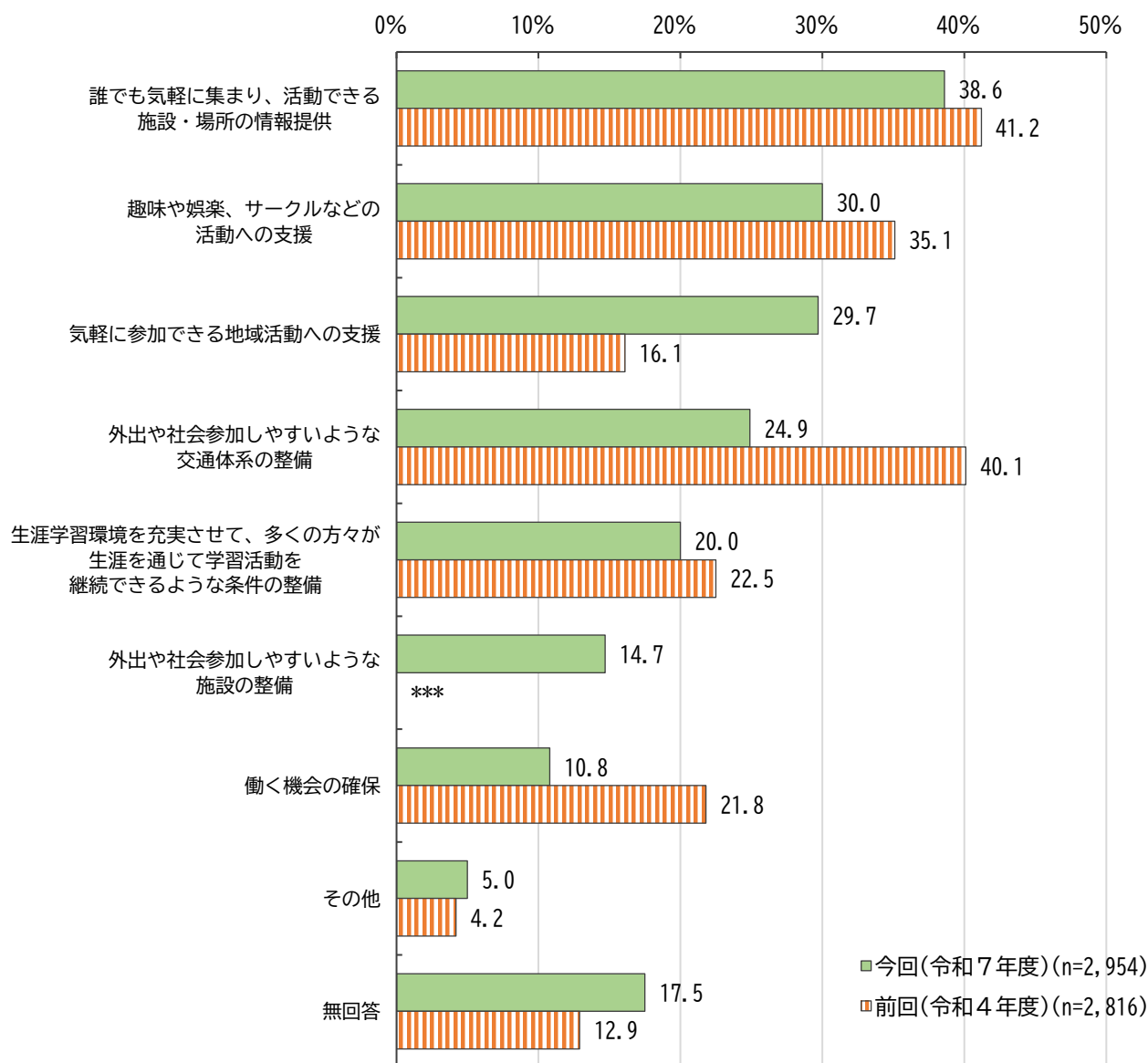
【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	地域でどのような活動が行われているか知らない	参加する時間的余裕がない	やりたいことが見つからない	同好の友人・仲間がいない	健康・体力に自信がない	気軽に参加できる内容が少ない	参加する経済的余裕がない	近くに利用できる施設がない	活動に必要な技術、経験がない	過去に参加したが期待はずれだった	その他	特になし	無回答
市全体	1,950	501	329	296	259	241	239	94	79	80	39	75	366	412
	100.0	25.7	16.9	15.2	13.3	12.4	12.3	4.8	4.1	4.1	2.0	3.8	18.8	21.1
男性	933	273	151	173	145	103	119	53	33	40	19	32	213	144
	100.0	29.3	16.2	18.5	15.5	11.0	12.8	5.7	3.5	4.3	2.0	3.4	22.8	15.4
女性	985	223	176	119	113	134	118	40	46	39	20	42	150	251
	100.0	22.6	17.9	12.1	11.5	13.6	12.0	4.1	4.7	4.0	2.0	4.3	15.2	25.5
前期高齢者	975	291	235	182	154	74	138	67	34	40	21	34	191	124
	100.0	29.8	24.1	18.7	15.8	7.6	14.2	6.9	3.5	4.1	2.2	3.5	19.6	12.7
男性 前期高齢者	515	168	115	114	89	31	75	44	14	21	9	19	124	44
	100.0	32.6	22.3	22.1	17.3	6.0	14.6	8.5	2.7	4.1	1.7	3.7	24.1	8.5
女性 前期高齢者	453	123	119	67	64	42	63	22	20	18	12	15	65	77
	100.0	27.2	26.3	14.8	14.1	9.3	13.9	4.9	4.4	4.0	2.6	3.3	14.3	17.0
後期高齢者	966	208	92	113	105	166	98	27	45	40	18	41	174	286
	100.0	21.5	9.5	11.7	10.9	17.2	10.1	2.8	4.7	4.1	1.9	4.2	18.0	29.6
男性 後期高齢者	414	104	35	59	56	72	43	9	19	19	10	13	88	99
	100.0	25.1	8.5	14.3	13.5	17.4	10.4	2.2	4.6	4.6	2.4	3.1	21.3	23.9
女性 後期高齢者	532	100	57	52	49	92	55	18	26	21	8	27	85	174
	100.0	18.8	10.7	9.8	9.2	17.3	10.3	3.4	4.9	3.9	1.5	5.1	16.0	32.7
(再掲) 85歳以上	196	36	7	21	14	47	15	5	9	5	3	6	33	72
	100.0	18.4	3.6	10.7	7.1	24.0	7.7	2.6	4.6	2.6	1.5	3.1	16.8	36.7
男性 (再掲) 85歳以上	76	17	4	12	6	20	5	2	2	3	2	2	16	21
	100.0	22.4	5.3	15.8	7.9	26.3	6.6	2.6	2.6	3.9	2.6	2.6	21.1	27.6
女性 (再掲) 85歳以上	115	18	3	9	8	26	10	3	7	2	1	4	16	49
	100.0	15.7	2.6	7.8	7.0	22.6	8.7	2.6	6.1	1.7	0.9	3.5	13.9	42.6

問 29 市が高齢者に対する生きがいづくり・社会参加に対する取り組みをすすめていくうえで、どのような支援が必要と考えますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

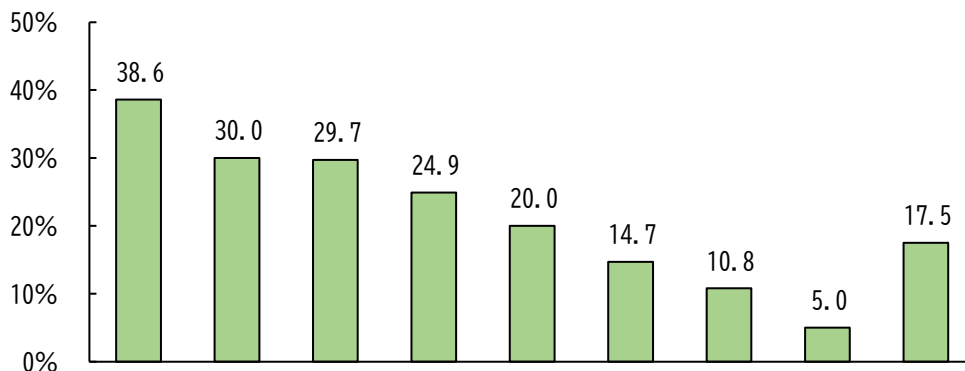
市の高齢者支援で必要と考えるものについては、「誰でも気軽に集まり、活動できる施設・場所の情報提供」が38.6%で最も高く、次いで「趣味や娯楽、サークルなどの活動への支援」が30.0%、「気軽に参加できる地域活動への支援」が29.7%、「外出や社会参加しやすいような交通体系の整備」が24.9%、「生涯学習環境を充実させて、多くの方々が生涯を通じて学習活動を継続できるような条件の整備」が20.0%の順となっています。

【経年比較 (%)】



※令和7年度選択肢「外出や社会参加しやすいような交通体系の整備」、「外出や社会参加しやすいような施設の整備」は、令和4年度は「高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善」と1つになっていたため、令和7年度の「外出や社会参加しやすいような施設の整備」を***表記としている。

【単純集計、地域別 (%)】



	n =	誰でも気軽に集まり、活動できる施設・場所の情報提供	趣味や娯楽、サークルなどの活動への支援	気軽に参加できる地域活動への支援	外出や社会参加しやすいような交通体系の整備	生涯学習環境を充実させて、多くの方々が生涯を通じて学習活動を継続できるような条件の整備	外出や社会参加しやすいような施設の整備	働く機会の確保	その他	無回答
市全体	2,954	1,139	886	877	736	590	434	319	147	518
片瀬	150	34.0	29.3	27.3	27.3	19.3	16.7	12.7	5.3	16.0
鵜沼	406	39.4	30.8	30.0	18.5	24.1	17.5	11.3	4.2	15.5
辻堂	326	41.4	31.9	31.3	26.1	21.5	17.5	11.0	3.7	13.8
村岡	182	38.5	28.6	29.1	26.9	26.9	18.1	8.2	4.9	17.0
藤沢	389	37.8	30.1	29.0	22.6	20.3	10.5	12.3	4.6	19.5
明治	121	36.4	37.2	23.1	27.3	21.5	17.4	13.2	7.4	16.5
善行	289	34.6	27.7	31.1	29.4	18.7	17.0	10.0	5.2	15.9
湘南大庭	179	38.5	30.7	33.0	30.7	22.3	16.2	10.6	3.4	14.5
六会	208	40.4	30.3	33.7	26.4	15.9	11.1	11.5	8.2	16.8
湘南台	195	41.0	30.3	31.3	19.5	17.9	10.8	9.7	6.7	17.4
遠藤	106	36.8	22.6	25.5	33.0	16.0	15.1	10.4	2.8	18.9
長後	234	44.0	32.5	30.8	25.2	17.9	14.5	12.4	4.3	15.4
御所見	137	39.4	28.5	25.5	27.0	11.7	9.5	5.1	7.3	27.7

「その他」の主な内容：「一人が気軽な人もけっこういる」、「活動リーダーの育成」

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「趣味や娯楽、サークルなどの活動への支援」、「気軽に参加できる地域活動への支援」、「外出や社会参加しやすいような施設の整備」、「働く機会の確保」が、女性では「誰でも気軽に集まり、活動できる施設・場所の情報提供」、「外出や社会参加しやすいような交通体系の整備」、「生涯学習環境を充実させて、多くの方々が生涯を通じて学習活動を継続できるような条件の整備」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「趣味や娯楽、サークルなどの活動への支援」、「気軽に参加できる地域活動への支援」などの割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

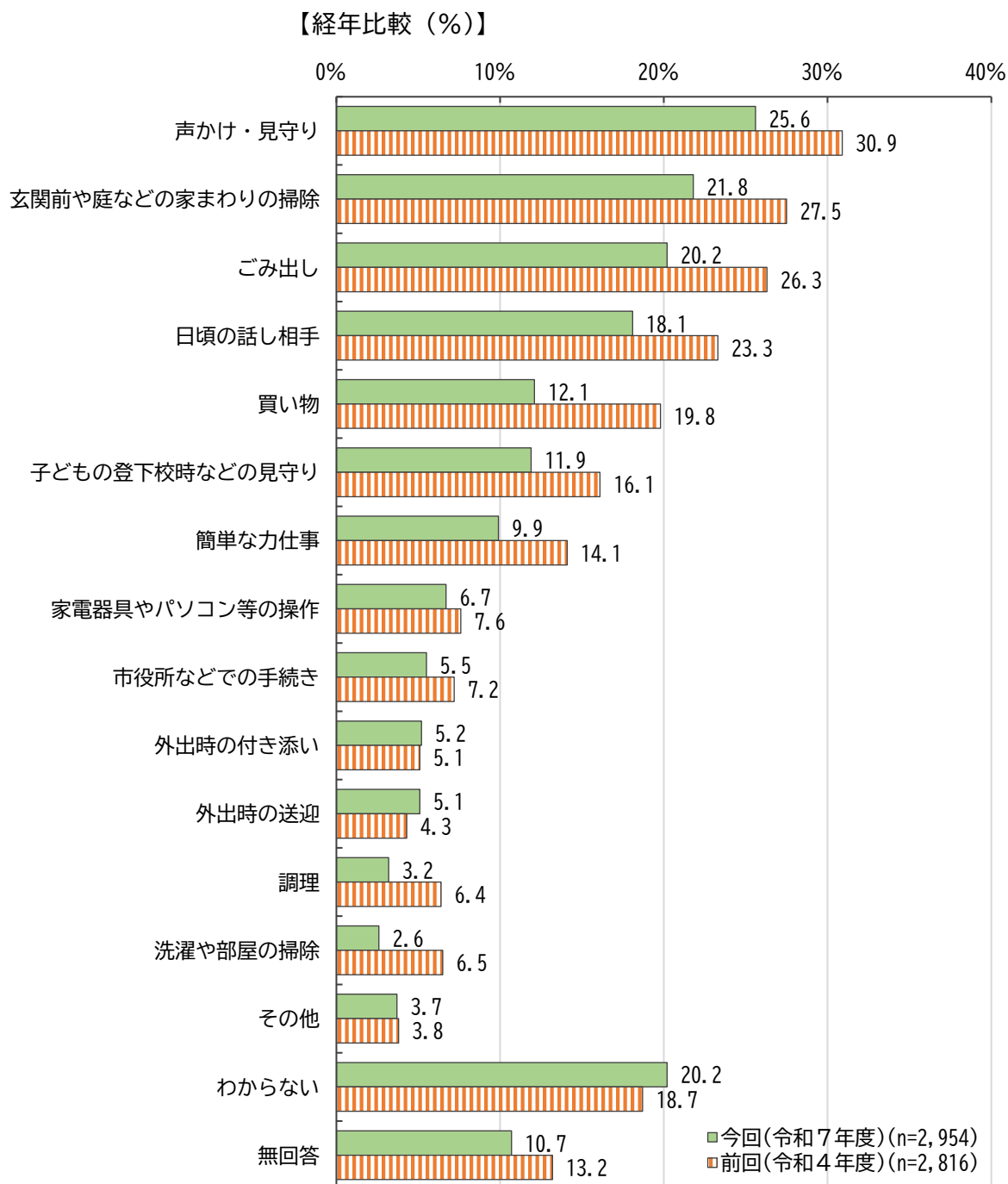
	n =	誰でも気軽に集まり、活動できる施設・場所の情報提供	趣味や娯楽、サークルなどの活動への支援	気軽に参加できる地域活動への支援	外出や社会参加しやすいような交通体系の整備	生涯学習環境を充実させて、多くの方々が生涯を通じて学習活動を継続できるような条件の整備	外出や社会参加しやすいような施設の整備	働く機会の確保	その他	無回答
市全体	2,954	1,139	886	877	736	590	434	319	147	518
	100.0	38.6	30.0	29.7	24.9	20.0	14.7	10.8	5.0	17.5
男性	1,375	520	447	429	298	261	235	184	80	215
	100.0	37.8	32.5	31.2	21.7	19.0	17.1	13.4	5.8	15.6
女性	1,516	608	431	439	429	322	194	134	66	265
	100.0	40.1	28.4	29.0	28.3	21.2	12.8	8.8	4.4	17.5
前期高齢者	1,346	510	426	447	365	323	226	252	77	138
	100.0	37.9	31.6	33.2	27.1	24.0	16.8	18.7	5.7	10.3
男性前期高齢者	689	255	231	235	152	152	129	145	46	69
	100.0	37.0	33.5	34.1	22.1	22.1	18.7	21.0	6.7	10.0
女性前期高齢者	645	251	193	209	209	168	94	107	31	65
	100.0	38.9	29.9	32.4	32.4	26.0	14.6	16.6	4.8	10.1
後期高齢者	1,573	624	456	425	370	265	206	64	70	356
	100.0	39.7	29.0	27.0	23.5	16.8	13.1	4.1	4.5	22.6
男性後期高齢者	681	264	214	193	146	108	106	36	34	145
	100.0	38.8	31.4	28.3	21.4	15.9	15.6	5.3	5.0	21.3
女性後期高齢者	867	355	238	229	219	153	99	27	35	199
	100.0	40.9	27.5	26.4	25.3	17.6	11.4	3.1	4.0	23.0
（再掲）85歳以上	321	112	79	67	72	54	42	5	14	93
	100.0	34.9	24.6	20.9	22.4	16.8	13.1	1.6	4.4	29.0
男性（再掲）85歳以上	135	43	31	22	27	24	25	1	7	42
	100.0	31.9	23.0	16.3	20.0	17.8	18.5	0.7	5.2	31.1
女性（再掲）85歳以上	179	67	47	44	44	29	17	4	6	48
	100.0	37.4	26.3	24.6	24.6	16.2	9.5	2.2	3.4	26.8

11. 普段の生活の中での不安や心配ごとについて

(1) 手助けできること

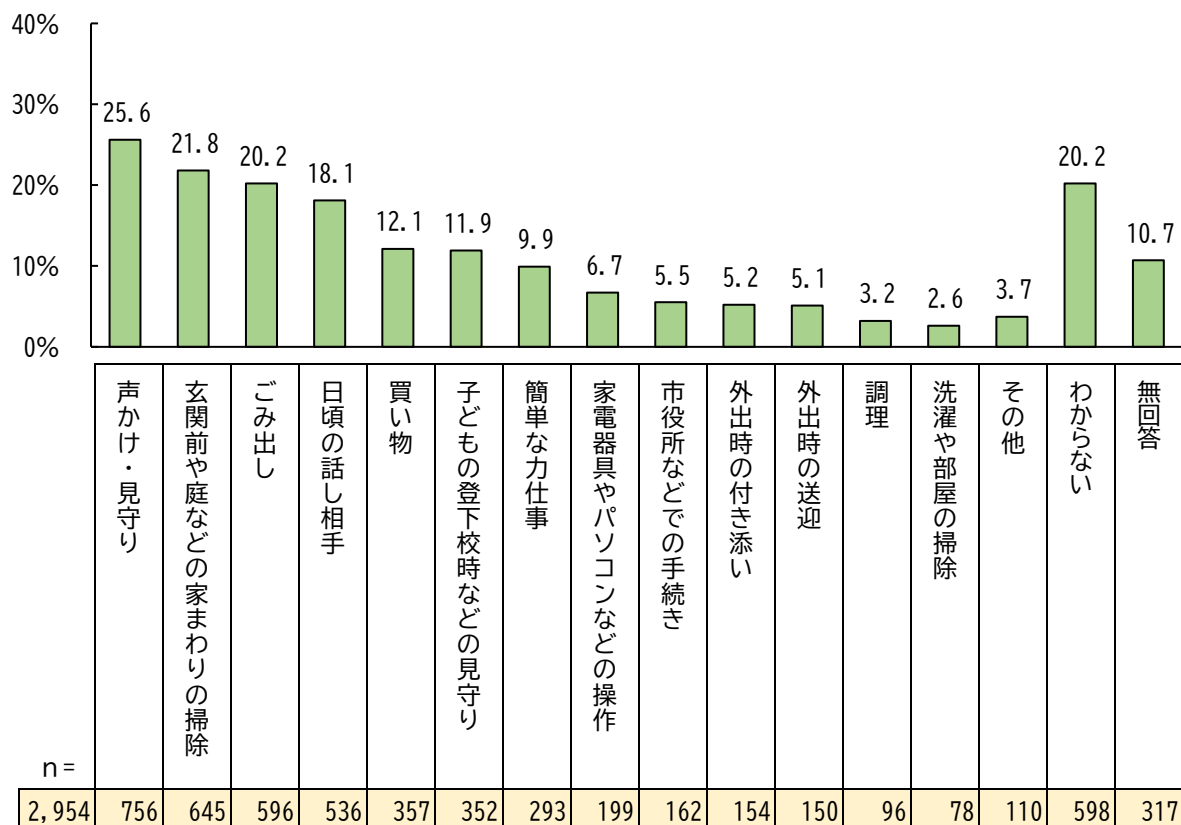
問 30 お住まいの地域で何か他の人の手助けをするとしたら、どのようなことなら可能だと思いますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

住まいの地域でできると思う手助けについては、「声かけ・見守り」が25.6%で最も高く、次いで「玄関前や庭などの家まわりの掃除」が21.8%、「ごみ出し」が20.2%、「日頃の話し相手」が18.1%、「買い物」が12.1%の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



「その他」の主な内容：「まだ仕事で、考えたことなし」、「今の時代コンプライアンスが優先なので、下手をすれば訴えられるのでは？」

性別でみると、男性では「玄関前や庭などの家まわりの掃除」、「ごみ出し」、「子どもの登下校時などの見守り」、「簡単な力仕事」、「家電機器やパソコンなどの操作」などが、女性では「声かけ・見守り」、「ごみ出し」、「日頃の話し相手」、「買い物」、「外出時の付き添い」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「声かけ・見守り」、「ごみ出し」、「買い物」などが、後期高齢者では「玄関前や庭などの家まわりの掃除」、「日頃の話し相手」、「調理」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

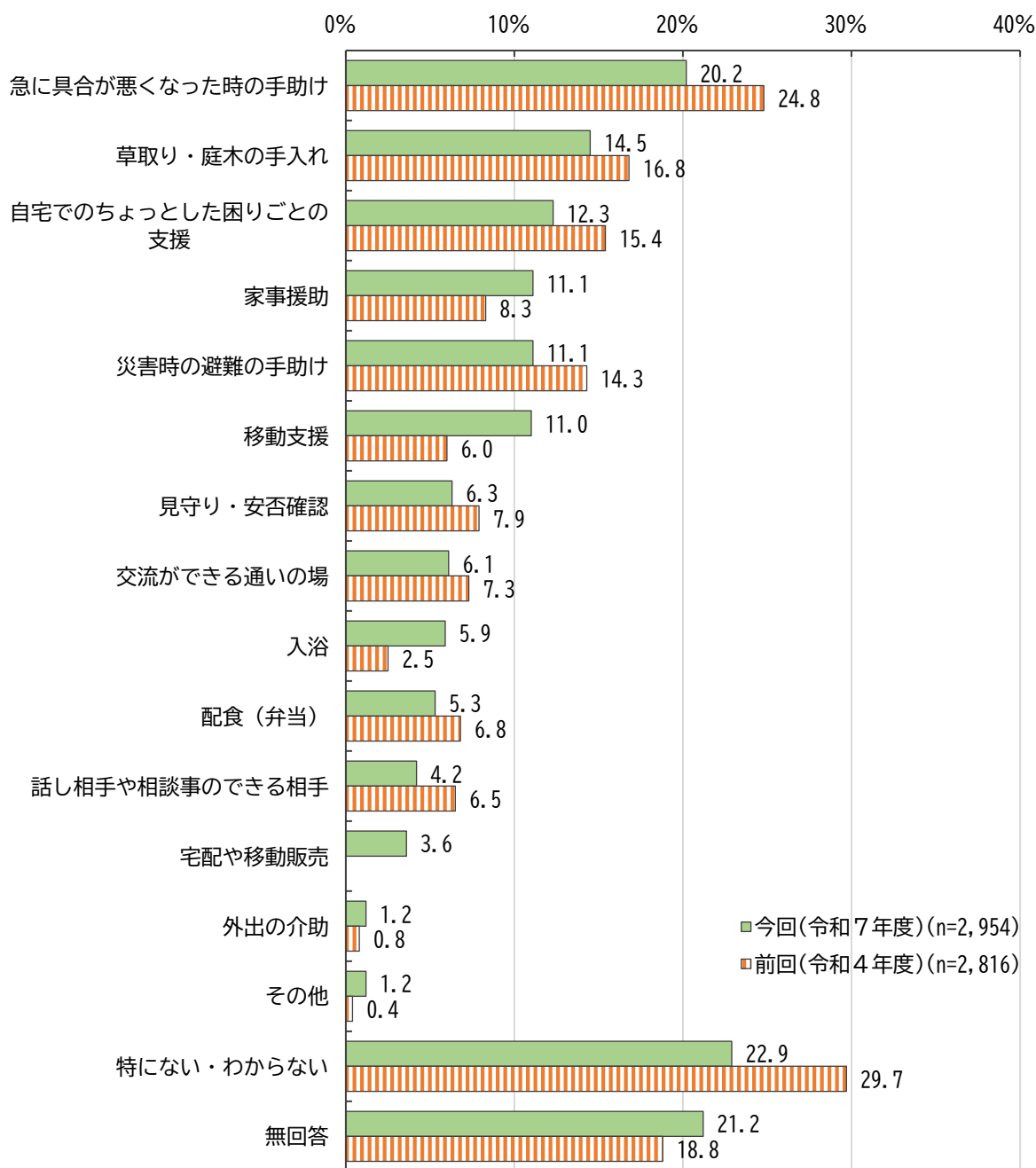
	n =	声かけ・見守り	玄関前や庭などの家まわりの掃除	ごみ出し	日頃の話し相手	買い物	子どもの登下校時などの見守り	簡単な力仕事	家電器具やパソコンなどの操作	市役所などでの手続き	外出時の付き添い	外出時の送迎	調理	洗濯や部屋の掃除	その他	わからない	無回答
市全体	2,954	756	645	596	536	357	352	293	199	162	154	150	96	78	110	598	317
	100.0	25.6	21.8	20.2	18.1	12.1	11.9	9.9	6.7	5.5	5.2	5.1	3.2	2.6	3.7	20.2	10.7
男性	1,375	309	326	281	169	139	210	245	172	79	60	104	27	28	53	288	108
	100.0	22.5	23.7	20.4	12.3	10.1	15.3	17.8	12.5	5.7	4.4	7.6	2.0	2.0	3.9	20.9	7.9
女性	1,516	434	313	310	361	217	139	46	26	81	92	43	69	49	56	296	184
	100.0	28.6	20.6	20.4	23.8	14.3	9.2	3.0	1.7	5.3	6.1	2.8	4.6	3.2	3.7	19.5	12.1
前期高齢者	1,346	378	287	301	218	208	209	162	123	89	84	91	42	46	36	277	68
	100.0	28.1	21.3	22.4	16.2	15.5	15.5	12.0	9.1	6.6	6.2	6.8	3.1	3.4	2.7	20.6	5.1
男性 前期高齢者	689	151	147	143	69	84	116	141	107	45	33	68	14	13	24	146	33
	100.0	21.9	21.3	20.8	10.0	12.2	16.8	20.5	15.5	6.5	4.8	9.9	2.0	1.9	3.5	21.2	4.8
女性 前期高齢者	645	224	138	157	148	123	92	21	15	43	51	21	28	32	12	129	32
	100.0	34.7	21.4	24.3	22.9	19.1	14.3	3.3	2.3	6.7	7.9	3.3	4.3	5.0	1.9	20.0	5.0
後期高齢者	1,573	369	353	290	316	148	141	129	76	73	68	59	53	32	73	317	232
	100.0	23.5	22.4	18.4	20.1	9.4	9.0	8.2	4.8	4.6	4.3	3.8	3.4	2.0	4.6	20.2	14.7
男性 後期高齢者	681	155	176	135	100	55	93	103	65	34	27	36	12	15	29	142	75
	100.0	22.8	25.8	19.8	14.7	8.1	13.7	15.1	9.5	5.0	4.0	5.3	1.8	2.2	4.3	20.9	11.0
女性 後期高齢者	867	208	174	152	213	93	47	25	11	38	40	22	41	17	44	166	151
	100.0	24.0	20.1	17.5	24.6	10.7	5.4	2.9	1.3	4.4	4.6	2.5	4.7	2.0	5.1	19.1	17.4
（再掲）85歳以上	321	55	61	44	55	14	14	21	9	14	12	8	6	7	20	68	81
	100.0	17.1	19.0	13.7	17.1	4.4	4.4	6.5	2.8	4.4	3.7	2.5	1.9	2.2	6.2	21.2	25.2
男性（再掲）85歳以上	135	21	34	23	23	7	9	14	7	4	5	3	0	4	5	32	28
	100.0	15.6	25.2	17.0	17.0	5.2	6.7	10.4	5.2	3.0	3.7	2.2	0.0	3.0	3.7	23.7	20.7
女性（再掲）85歳以上	179	31	26	19	30	7	5	7	2	10	6	5	6	3	15	35	51
	100.0	17.3	14.5	10.6	16.8	3.9	2.8	3.9	1.1	5.6	3.4	2.8	3.4	1.7	8.4	19.6	28.5

(2) 現在のお住まいで生活を続けていく上で、あれば助かる地域の手助け

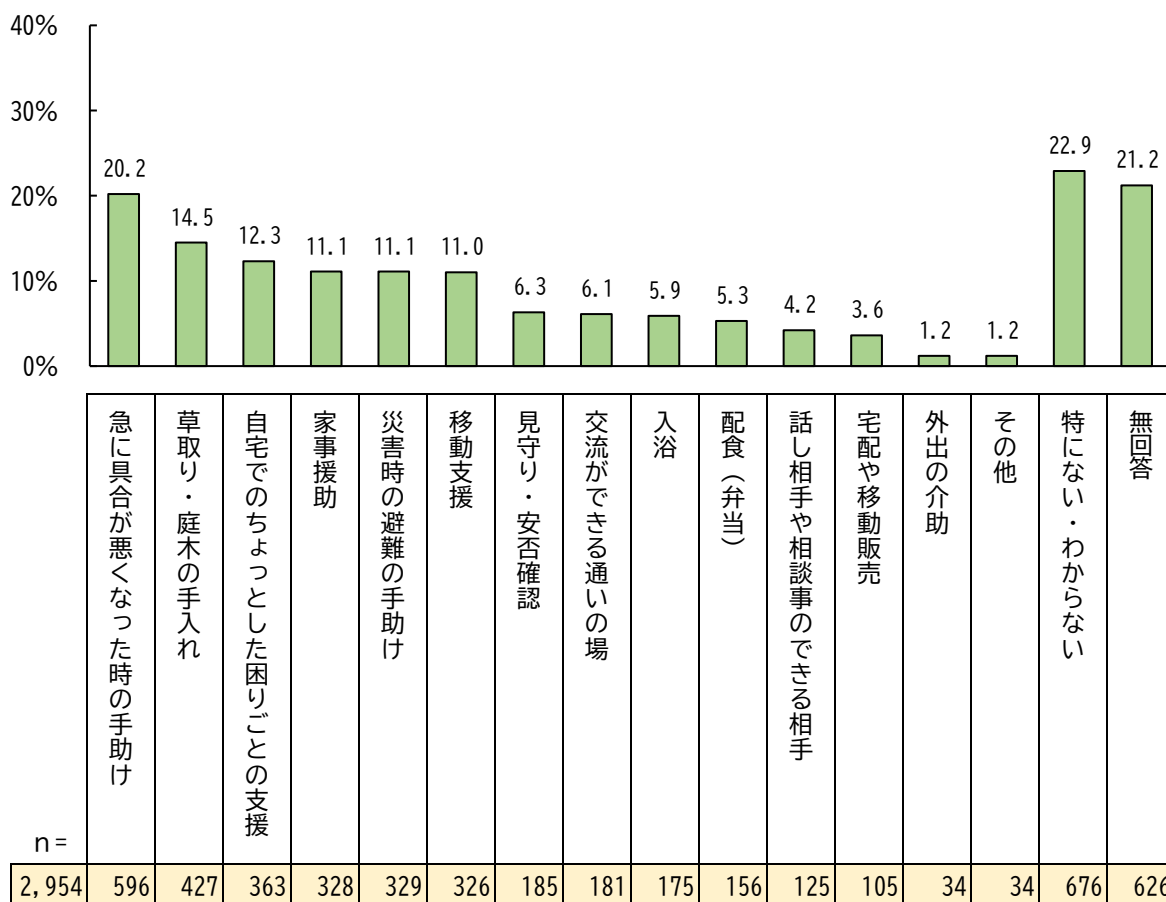
問 31 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域にどのような手助けがあれば助かると
 思いますか。「1. 家事援助」、「2. 移動支援」、「3. 入浴」と回答した方は、それぞ
 れの具体的内容にもお答えください。(特にあてはまるもの3つまでに○)

現在の住まいでの生活を継続する上で、地域にあると助かる「手助け」については、「急に
 具合が悪くなった時の手助け」が 20.2%で最も高く、次いで「草取り・庭木の手入れ」が
 14.5%、「自宅でのちょっとした困りごとの支援」が 12.3%、「家事援助」と「災害時の避難
 の手助け」が 11.1%、「移動支援」が 11.0%と続いています。前回調査と比較すると、とく
 に移動支援が 5.0%増加しています。

【経年比較 (%)】



【単純集計 (%)】



「その他」の主な内容：「家具の移動」、「スマホスキルアップ支援」

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「急に具合が悪くなった時の手助け」、「草取り・庭木の手入れ」、「見守り・安否確認」、「交流ができる通いの場」、「配食（弁当）」、「話し相手や相談事のできる相手」、女性では「自宅でのちょっとした困りごとの支援」、「家事援助」、「移動支援」、「入浴」、「外出の介助」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n=	急に具合が悪くなった時の手助け	草取り・庭木の手入れ	自宅でのちょっとした困りごとの支援	家事援助	災害時の避難の手助け	移動支援	見守り・安否確認	交流ができる通いの場	入浴	配食（弁当）	話し相手や相談事のできる相手	宅配や移動販売	外出の介助	その他	特にない・わからない	無回答
市全体	2,954	596	427	363	328	329	326	185	181	175	156	125	105	34	34	676	626
	100.0	20.2	14.5	12.3	11.1	11.1	11.0	6.3	6.1	5.9	5.3	4.2	3.6	1.2	1.2	22.9	21.2
男性	1,375	288	211	152	143	156	132	106	99	68	91	63	50	15	20	374	233
	100.0	20.9	15.3	11.1	10.4	11.3	9.6	7.7	7.2	4.9	6.6	4.6	3.6	1.1	1.5	27.2	16.9
女性	1,516	301	211	208	181	166	190	79	81	104	65	59	54	19	14	294	357
	100.0	19.9	13.9	13.7	11.9	10.9	12.5	5.2	5.3	6.9	4.3	3.9	3.6	1.3	0.9	19.4	23.5
前期高齢者	1,346	332	212	217	134	178	155	112	94	47	84	63	57	23	13	365	166
	100.0	24.7	15.8	16.1	10.0	13.2	11.5	8.3	7.0	3.5	6.2	4.7	4.2	1.7	1.0	27.1	12.3
男性 前期高齢者	689	162	113	89	63	87	63	64	55	20	51	32	26	13	8	221	73
	100.0	23.5	16.4	12.9	9.1	12.6	9.1	9.3	8.0	2.9	7.4	4.6	3.8	1.9	1.2	32.1	10.6
女性 前期高齢者	645	167	97	126	70	89	89	48	39	26	33	30	31	10	5	143	90
	100.0	25.9	15.0	19.5	10.9	13.8	13.8	7.4	6.0	4.0	5.1	4.7	4.8	1.6	0.8	22.2	14.0
後期高齢者	1,573	260	214	145	191	148	170	73	85	125	72	62	48	11	21	306	438
	100.0	16.5	13.6	9.2	12.1	9.4	10.8	4.6	5.4	7.9	4.6	3.9	3.1	0.7	1.3	19.5	27.8
男性 後期高齢者	681	125	98	62	78	69	69	42	43	48	40	31	24	2	12	152	159
	100.0	18.4	14.4	9.1	11.5	10.1	10.1	6.2	6.3	7.0	5.9	4.6	3.5	0.3	1.8	22.3	23.3
女性 後期高齢者	867	134	114	82	111	77	100	31	42	77	32	29	23	9	9	149	266
	100.0	15.5	13.1	9.5	12.8	8.9	11.5	3.6	4.8	8.9	3.7	3.3	2.7	1.0	1.0	17.2	30.7
（再掲） 85歳以上	321	48	35	25	43	32	37	13	15	30	11	11	8	3	7	46	114
	100.0	15.0	10.9	7.8	13.4	10.0	11.5	4.0	4.7	9.3	3.4	3.4	2.5	0.9	2.2	14.3	35.5
男性（再掲） 85歳以上	135	26	15	7	18	15	19	6	9	12	7	7	5	0	5	19	41
	100.0	19.3	11.1	5.2	13.3	11.1	14.1	4.4	6.7	8.9	5.2	5.2	3.7	0.0	3.7	14.1	30.4
女性（再掲） 85歳以上	179	22	20	18	23	17	18	7	6	18	4	4	3	3	2	26	69
	100.0	12.3	11.2	10.1	12.8	9.5	10.1	3.9	3.4	10.1	2.2	2.2	1.7	1.7	1.1	14.5	38.5

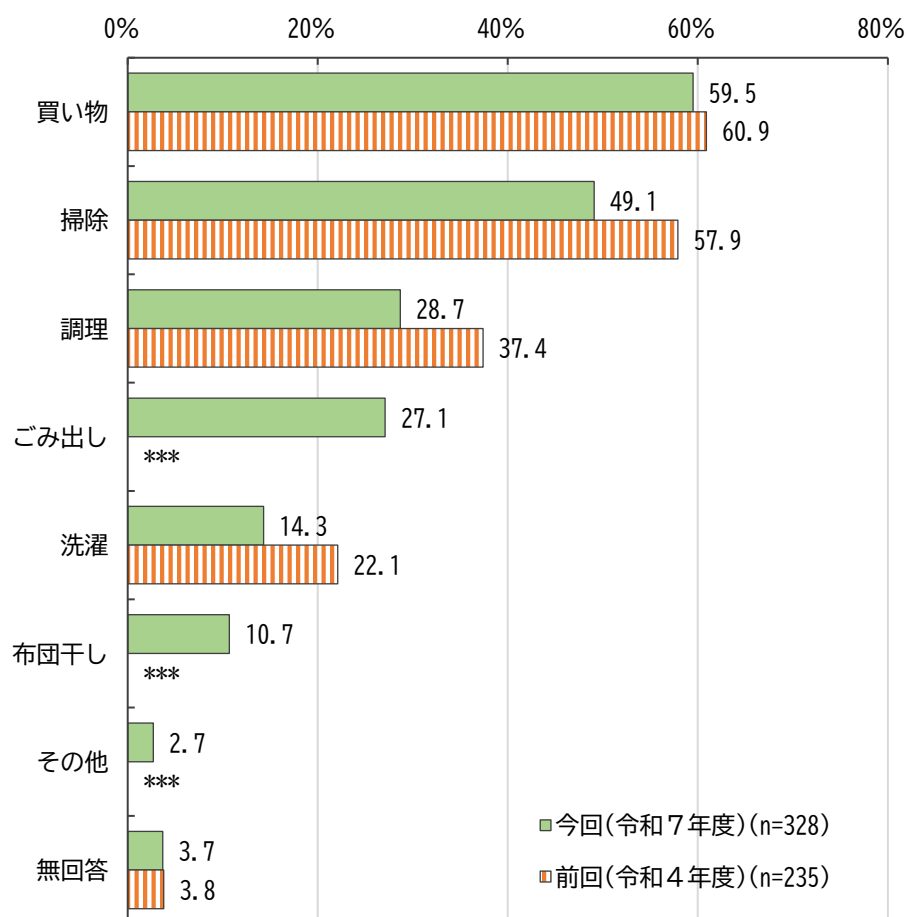
(3) 家事援助の具体的な内容

問 31-1 《問 31 で「1. 家事援助」と回答した方にうかがいます。》

具体的な援助内容は（特にあてはまるもの3つまでに○）

地域にあると助かる「手助け」のうち、「家事援助」と回答した（328人、11.1%）具体的な内訳は、「買い物」が59.5%と最も高く、次いで「掃除」が49.1%、「調理」が28.7%、「ごみ出し」が27.1%の順となっています。

【経年比較（%）】



※令和4年度は「ごみ出し」、「布団干し」、「その他」の選択肢がないため、***表記としている。

「その他」の主な内容：「重い物が持てない」、「庭の手入れ」

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男女ともに「買い物」が5割を超えています。そのほか、男性では「調理」、「ごみ出し」、「洗濯」、「布団干し」、女性では「掃除」、「ごみ出し」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「買い物」、「掃除」、「調理」、「洗濯」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	買 い 物	掃 除	調 理	ご み 出 し	洗 濯	布 団 干 し	そ の 他	無 回 答
市全体	328	195	161	94	89	47	35	9	12
	100.0	59.5	49.1	28.7	27.1	14.3	10.7	2.7	3.7
男性	143	82	69	51	39	24	17	4	3
	100.0	57.3	48.3	35.7	27.3	16.8	11.9	2.8	2.1
女性	181	111	89	42	50	22	16	5	9
	100.0	61.3	49.2	23.2	27.6	12.2	8.8	2.8	5.0
前期高齢者	134	88	75	50	36	23	16	2	4
	100.0	65.7	56.0	37.3	26.9	17.2	11.9	1.5	3.0
男性前期高齢者	63	39	36	27	14	15	11	0	1
	100.0	61.9	57.1	42.9	22.2	23.8	17.5	0.0	1.6
女性前期高齢者	70	49	38	23	22	8	4	2	3
	100.0	70.0	54.3	32.9	31.4	11.4	5.7	2.9	4.3
後期高齢者	191	104	85	42	51	24	18	7	8
	100.0	54.5	44.5	22.0	26.7	12.6	9.4	3.7	4.2
男性後期高齢者	78	41	32	23	23	9	6	4	2
	100.0	52.6	41.0	29.5	29.5	11.5	7.7	5.1	2.6
女性後期高齢者	111	62	51	19	28	14	12	3	6
	100.0	55.9	45.9	17.1	25.2	12.6	10.8	2.7	5.4
(再掲) 85歳以上	43	20	22	9	11	5	3	3	2
	100.0	46.5	51.2	20.9	25.6	11.6	7.0	7.0	4.7
男性(再掲) 85歳以上	18	10	6	6	4	1	1	2	1
	100.0	55.6	33.3	33.3	22.2	5.6	5.6	11.1	5.6
女性(再掲) 85歳以上	23	9	14	3	7	3	2	1	1
	100.0	39.1	60.9	13.0	30.4	13.0	8.7	4.3	4.3

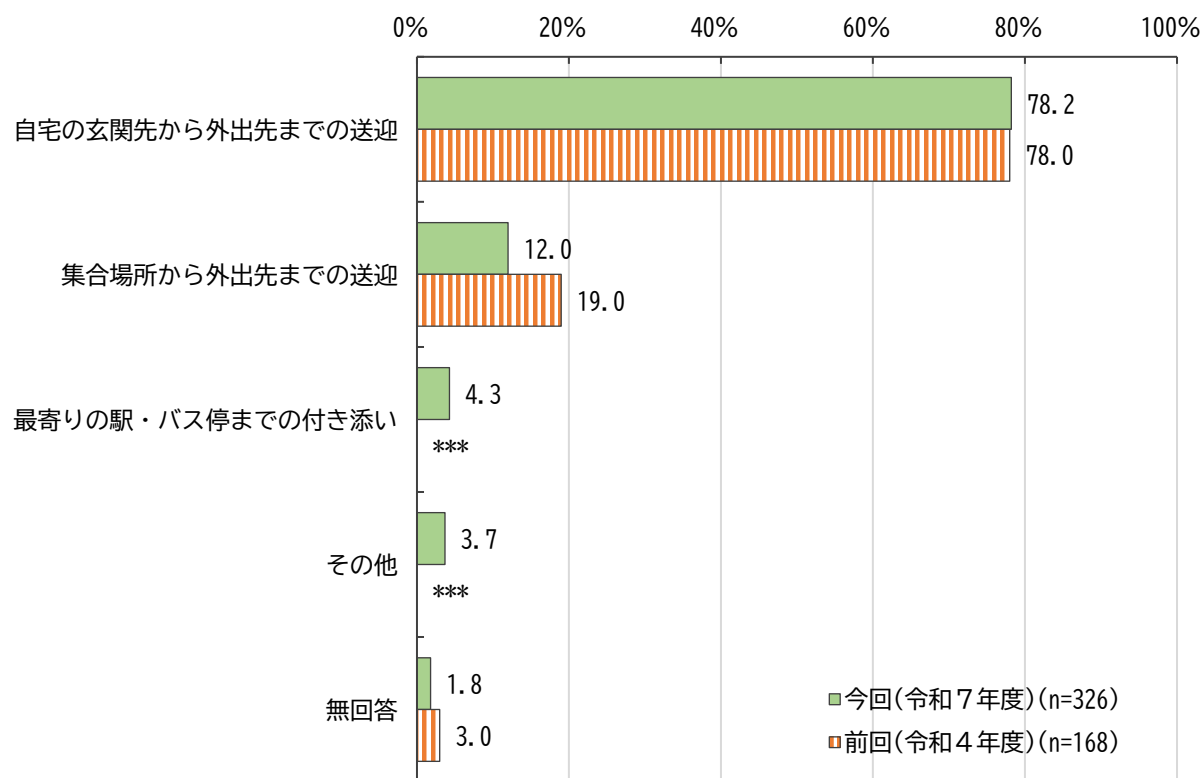
(4) 移動支援の具体的な内容

問 31-2 《問 31 で「2. 移動支援」と回答した方にうかがいます。》

具体的な援助内容は（○は1つ）

地域にあると助かる「手助け」のうち「移動支援」と回答した（326人、11.0%）具体的な内訳は、「自宅の玄関先から外出先までの送迎」が78.2%、「集合場所から外出先までの送迎」が12.0%となっています。

【経年比較（%）】



※令和4年度は「最寄りの駅・バス停までの付き添い」、「その他」の選択肢がないため、***表記としている。

「その他」の主な内容：「タクシー補助があると助かる。バス停駅まで遠い」、「駅迄のコミュニティバス」

第2章 調査結果の詳細

性別で見ると、男性では「最寄りの駅・バス停までの付き添い」、女性では「自宅の玄関先から外出先までの送迎」、「集合場所から外出先までの送迎」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「集合場所から外出先までの送迎」、「最寄りの駅・バス停までの付き添い」、後期高齢者では「自宅の玄関先から外出先までの送迎」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	自宅の玄関先から外出先までの送迎	集合場所から外出先までの送迎	最寄りの駅・バス停までの付き添い	その他	無回答
市全体	326	255	39	14	12	6
	100.0	78.2	12.0	4.3	3.7	1.8
男性	132	103	15	6	7	1
	100.0	78.0	11.4	4.5	5.3	0.8
女性	190	149	23	8	5	5
	100.0	78.4	12.1	4.2	2.6	2.6
前期高齢者	155	120	21	8	2	4
	100.0	77.4	13.5	5.2	1.3	2.6
男性前期高齢者	63	51	8	3	1	0
	100.0	81.0	12.7	4.8	1.6	0.0
女性前期高齢者	89	67	12	5	1	4
	100.0	75.3	13.5	5.6	1.1	4.5
後期高齢者	170	135	17	6	10	2
	100.0	79.4	10.0	3.5	5.9	1.2
性後期高齢者	69	52	7	3	6	1
	100.0	75.4	10.1	4.3	8.7	1.4
女性後期高齢者	100	82	10	3	4	1
	100.0	82.0	10.0	3.0	4.0	1.0
(再掲) 85歳以上	37	35	1	1	0	0
	100.0	94.6	2.7	2.7	0.0	0.0
男性(再掲) 85歳以上	19	18	1	0	0	0
	100.0	94.7	5.3	0.0	0.0	0.0
女性(再掲) 85歳以上	18	17	0	1	0	0
	100.0	94.4	0.0	5.6	0.0	0.0

(5) 入浴についての具体的な内容

問 31-3 《問 31 で「3.入浴」と回答した方にうかがいます。》

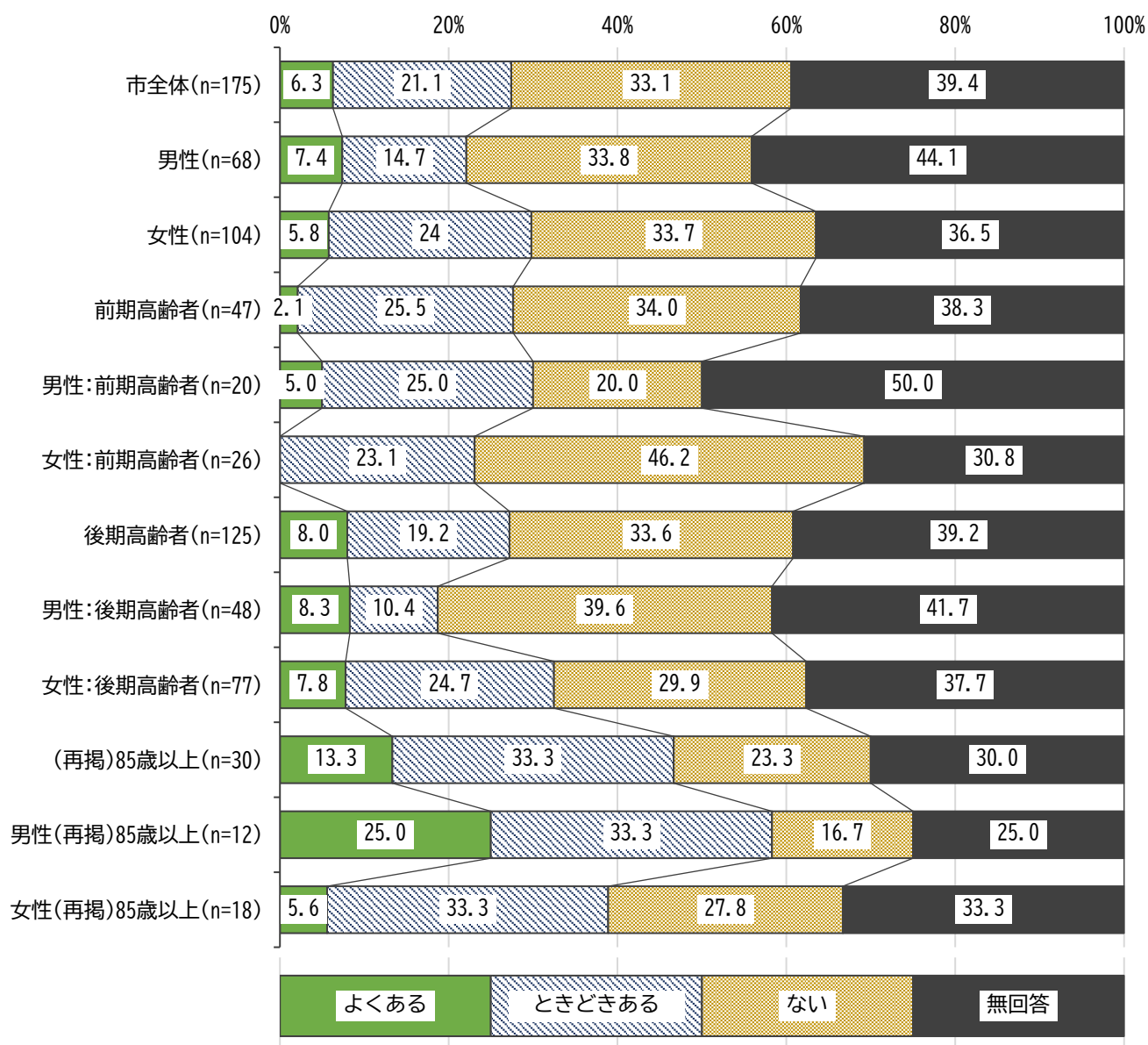
普段、入浴が「たいへん」、「おっくうである」と感じることはありますか。(○は1つ)

入浴がたいへん、おっくうとすることがあるかについては、「よくある」が 6.3%、「ときどきある」が 21.1%、「ない」が 33.1%となっています。

性別でみると、男性では「よくある」と「ない」、女性では「ときどきある」と「ない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「ときどきある」と「ない」、後期高齢者では「よくある」と「ない」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別 (%)】

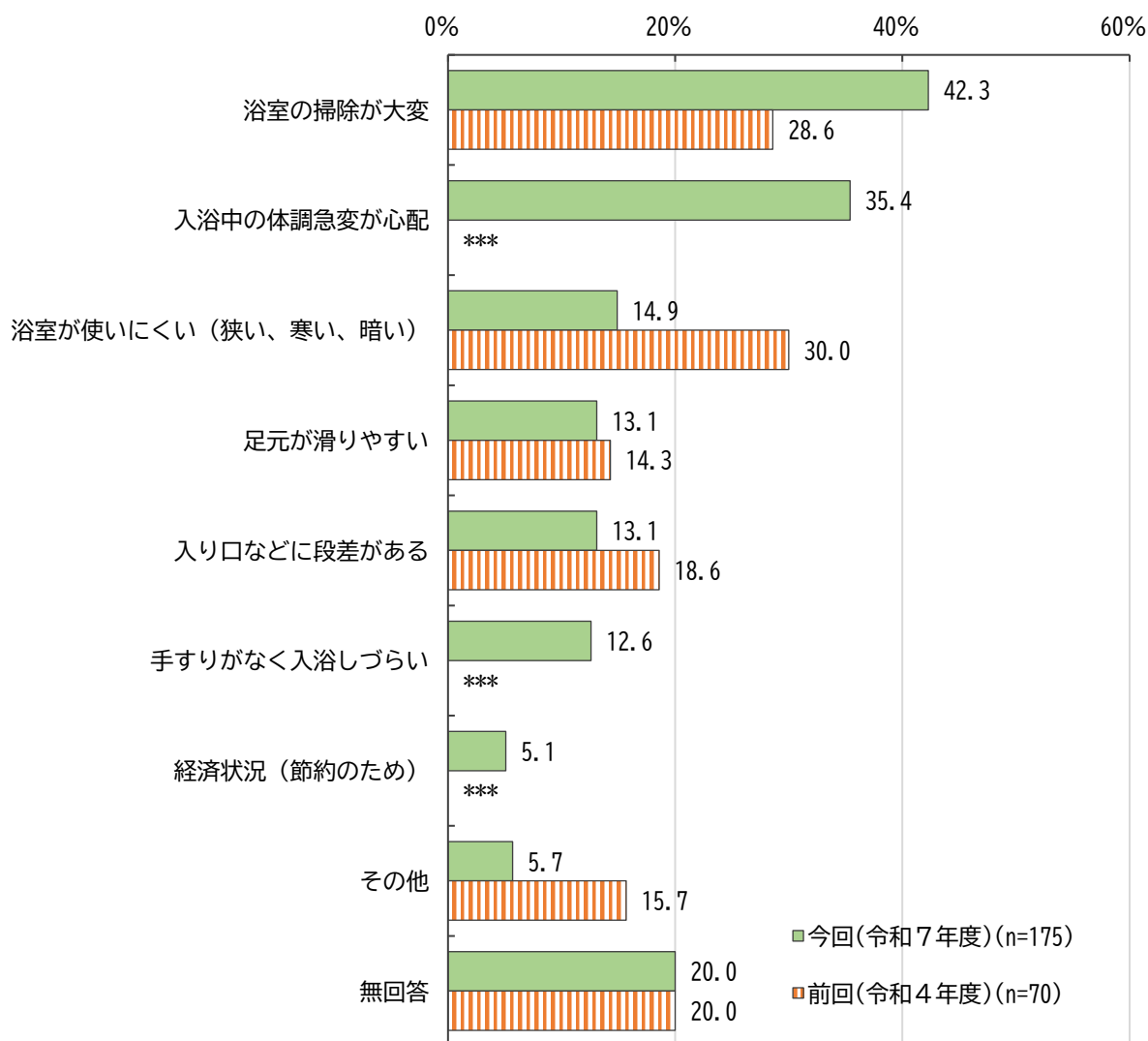


第2章 調査結果の詳細

問 31-4 《問 31 で「3.入浴」と回答した方にうかがいます。》
 入浴に際して、何か支障となっているものはありますか。
 (特にあてはまるもの3つまでに○)

入浴に際して支障になっているものについては、「浴室の掃除が大変」が 42.3%、「入浴中の体調急変が心配」が 35.4%などとなっています。

【経年比較 (%)】



※令和4年度は「入浴中の体調急変が心配」、「手すりがなく入浴しづらい」、「経済状況(節約のため)」の選択肢がないため、***表記としている。

性別で見ると、男性では「浴室が使いにくい(狭い、寒い、暗い)」、「足元が滑りやすい」、「入り口などに段差がある」、「手すりがなく入浴しづらい」、女性では「浴室の掃除が大変」、「入浴中の体調急変が心配」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「手すりがなく入浴しづらい」の割合が全体に対して高くなっています。後期高齢者では「浴室の掃除が大変」、「入浴中の体調急変が心配」、「浴室が使いにくい(狭い、寒い、暗い)」、「入り口などに段差がある」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	浴室の掃除が大変	入浴中の体調急変が心配	浴室が使いにくい(狭い、寒い、暗い)	足元が滑りやすい	入り口などに段差がある	手すりがなく入浴しづらい	経済状況(節約のため)	その他	無回答
市全体	175	74	62	26	23	23	22	9	10	35
	100.0	42.3	35.4	14.9	13.1	13.1	12.6	5.1	5.7	20.0
男性	68	25	18	11	14	12	11	6	5	13
	100.0	36.8	26.5	16.2	20.6	17.6	16.2	8.8	7.4	19.1
女性	104	49	41	15	8	11	10	3	5	22
	100.0	47.1	39.4	14.4	7.7	10.6	9.6	2.9	4.8	21.2
前期高齢者	47	19	13	7	6	6	9	7	3	9
	100.0	40.4	27.7	14.9	12.8	12.8	19.1	14.9	6.4	19.1
男性 前期高齢者	20	9	4	3	4	3	7	5	2	2
	100.0	45.0	20.0	15.0	20.0	15.0	35.0	25.0	10.0	10.0
女性 前期高齢者	26	10	8	4	2	3	1	2	1	7
	100.0	38.5	30.8	15.4	7.7	11.5	3.8	7.7	3.8	26.9
後期高齢者	125	54	47	19	16	17	13	2	7	26
	100.0	43.2	37.6	15.2	12.8	13.6	10.4	1.6	5.6	20.8
男性 後期高齢者	48	16	14	8	10	9	4	1	3	11
	100.0	33.3	29.2	16.7	20.8	18.8	8.3	2.1	6.3	22.9
女性 後期高齢者	77	38	33	11	6	8	9	1	4	15
	100.0	49.4	42.9	14.3	7.8	10.4	11.7	1.3	5.2	19.5
(再掲) 85歳以上	30	12	15	4	7	4	7	1	1	5
	100.0	40.0	50.0	13.3	23.3	13.3	23.3	3.3	3.3	16.7
男性 (再掲) 85歳以上	12	3	6	3	4	1	3	0	1	2
	100.0	25.0	50.0	25.0	33.3	8.3	25.0	0.0	8.3	16.7
女性 (再掲) 85歳以上	18	9	9	1	3	3	4	1	0	3
	100.0	50.0	50.0	5.6	16.7	16.7	22.2	5.6	0.0	16.7

「その他」の主な内容：「疲れる」、「湯殿が深い」

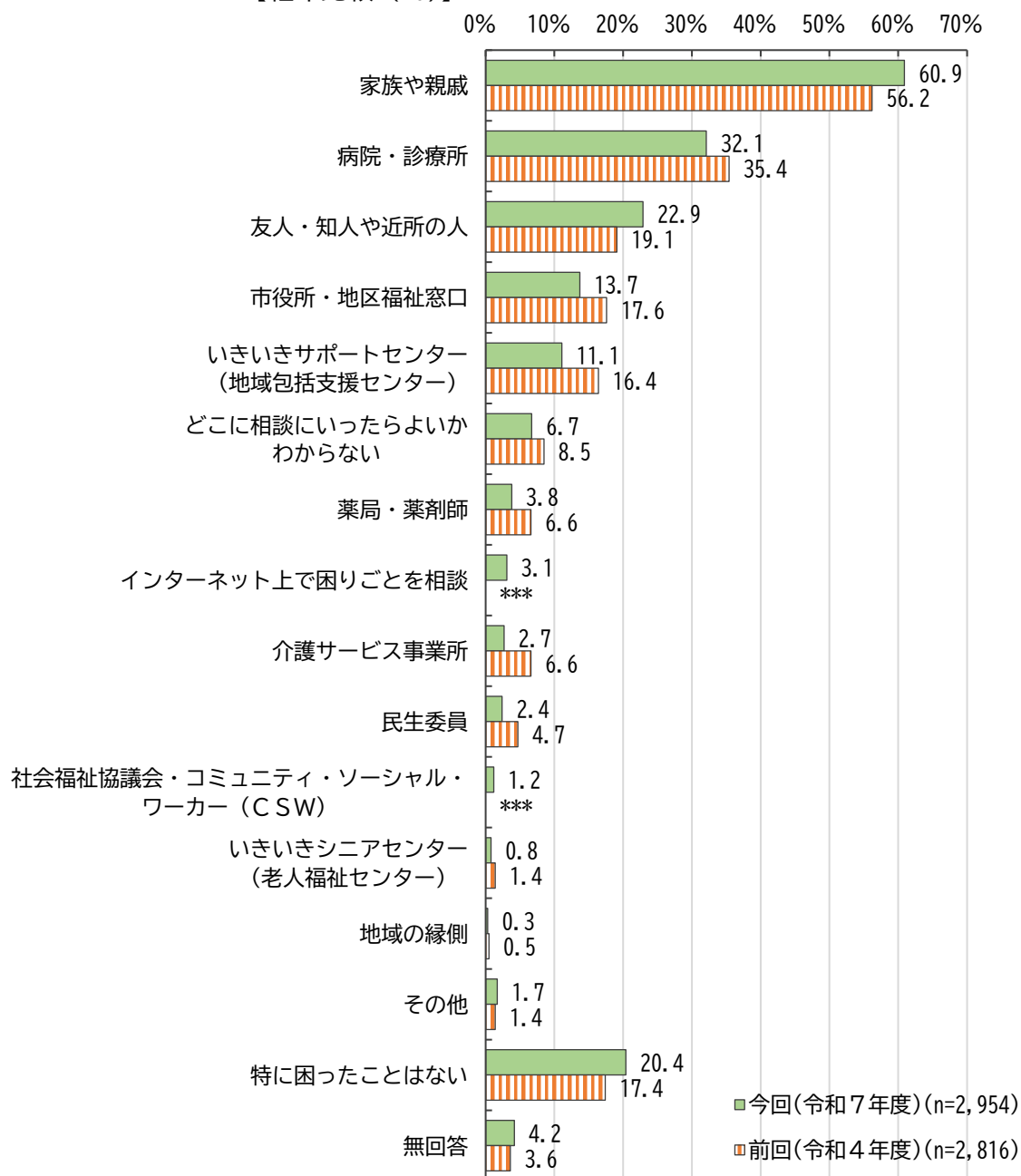
12. 相談先について

(1) 健康や福祉、介護のことなどで困った時の相談先

問 32 健康や福祉、介護のことなどで困った時は、どちらに相談していますか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

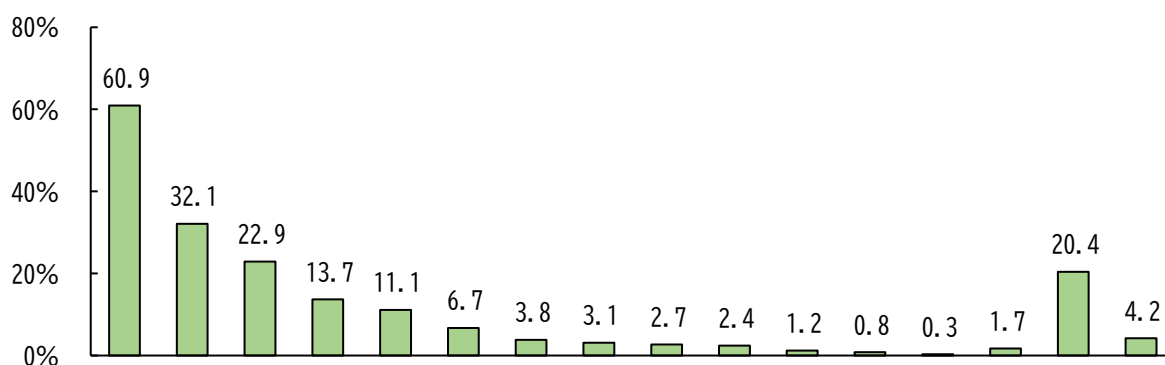
健康や福祉、介護のことなどで困った時の相談先については、「家族や親戚」が 60.9%で最も高く、次いで「病院・診療所」が 32.1%、「友人・知人や近所の人」が 22.9%となっています。また、「市役所・地区福祉窓口」が 13.7%、「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」が 11.1%と続いています。

【経年比較 (%)】



※令和4年度は「インターネット上で困りごとを相談」、「社会福祉協議会・コミュニティ・ソーシャル・ワーカー (CSW)」の選択肢がないため、***表記としている。

【単純集計 (%)】



	家族や親族	病院・診療所	友人・知人や近所の人	市役所・地区福祉窓口	いきいきサポートセンター(地域包括支援センター)	どこに相談にいったらよいかわからない	薬局・薬剤師	インターネット上で困りごとを相談	介護サービス事業所	民生委員	社会福祉協議会・コミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)	いきいきシニアセンター(老人福祉センター)	地域の縁側	その他	特に困ったことはない	無回答
n =	1,800	948	675	404	329	199	111	93	80	71	36	23	8	49	604	125
市全体	2,954															

「その他」の主な内容：「担当ケアマネージャー」、「ネット、AI」

第2章 調査結果の詳細

性別で見ると、男性では「病院・診療所」、「市役所・地区福祉窓口」、「どこに相談にいったらよいかわからない」などが、女性では「家族や親戚」、「友人・知人や近所の人」、「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「病院・診療所」、「友人・知人や近所の人」、「市役所・地区福祉窓口」、後期高齢者では「家族や親戚」、「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」などの割合が全体に対して高くなっています。

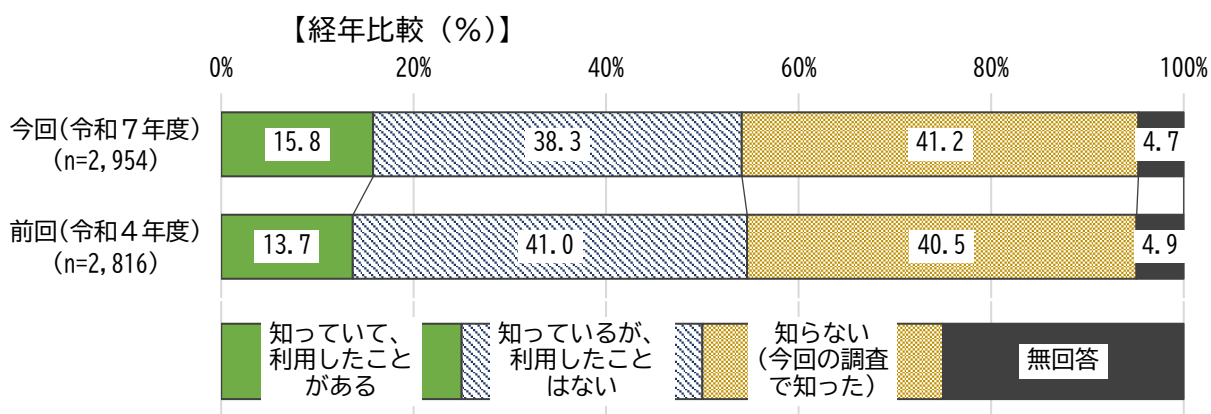
【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	家族や親族	病院・診療所	友人・知人や近所の人	市役所・地区福祉窓口	いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）	どこに相談にいったらよいかわからない	薬局・薬剤師	インターネット上で困りごとを相談	介護サービス事業所	民生委員	社会福祉協議会・コミュニティ・ソーシャル・ワーカー（CSW）	いきいきシニアセンター（老人福祉センター）	地域の縁側	その他	特に困ったことはない	無回答
市全体	2,954	1,800	948	675	404	329	199	111	93	80	71	36	23	8	49	604	125
	100.0	60.9	32.1	22.9	13.7	11.1	6.7	3.8	3.1	2.7	2.4	1.2	0.8	0.3	1.7	20.4	4.2
男性	1,375	793	493	263	206	120	95	53	61	33	30	17	6	6	21	309	48
	100.0	57.7	35.9	19.1	15.0	8.7	6.9	3.9	4.4	2.4	2.2	1.2	0.4	0.4	1.5	22.5	3.5
女性	1,516	974	437	404	194	205	99	55	32	45	41	19	17	2	27	288	57
	100.0	64.2	28.8	26.6	12.8	13.5	6.5	3.6	2.1	3.0	2.7	1.3	1.1	0.1	1.8	19.0	3.8
前期高齢者	1,346	788	438	353	216	133	85	52	67	33	18	20	8	1	19	298	24
	100.0	58.5	32.5	26.2	16.0	9.9	6.3	3.9	5.0	2.5	1.3	1.5	0.6	0.1	1.4	22.1	1.8
男性 前期高齢者	689	374	239	156	108	50	48	25	44	12	7	10	3	0	11	177	12
	100.0	54.3	34.7	22.6	15.7	7.3	7.0	3.6	6.4	1.7	1.0	1.5	0.4	0.0	1.6	25.7	1.7
女性 前期高齢者	645	405	195	192	107	82	36	26	23	19	11	10	5	1	8	121	10
	100.0	62.8	30.2	29.8	16.6	12.7	5.6	4.0	3.6	2.9	1.7	1.6	0.8	0.2	1.2	18.8	1.6
後期高齢者	1,573	999	502	320	188	194	112	57	26	47	52	16	15	6	30	302	84
	100.0	63.5	31.9	20.3	12.0	12.3	7.1	3.6	1.7	3.0	3.3	1.0	1.0	0.4	1.9	19.2	5.3
男性 後期高齢者	681	416	254	106	98	70	46	28	17	21	22	7	3	5	10	131	36
	100.0	61.1	37.3	15.6	14.4	10.3	6.8	4.1	2.5	3.1	3.2	1.0	0.4	0.7	1.5	19.2	5.3
女性 後期高齢者	867	567	241	212	87	123	62	29	9	26	30	9	12	1	19	165	47
	100.0	65.4	27.8	24.5	10.0	14.2	7.2	3.3	1.0	3.0	3.5	1.0	1.4	0.1	2.2	19.0	5.4
（再掲）85歳以上	321	226	102	56	28	43	18	15	3	12	17	1	4	0	9	42	27
	100.0	70.4	31.8	17.4	8.7	13.4	5.6	4.7	0.9	3.7	5.3	0.3	1.2	0.0	2.8	13.1	8.4
男性（再掲）85歳以上	135	84	43	16	14	15	7	4	3	9	6	0	0	0	5	17	16
	100.0	62.2	31.9	11.9	10.4	11.1	5.2	3.0	2.2	6.7	4.4	0.0	0.0	0.0	3.7	12.6	11.9
女性（再掲）85歳以上	179	135	57	39	13	28	9	11	0	3	11	1	4	0	3	24	11
	100.0	75.4	31.8	21.8	7.3	15.6	5.0	6.1	0.0	1.7	6.1	0.6	2.2	0.0	1.7	13.4	6.1

(2) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）の認知度

問 33 市内 19 か所に設置しているいきいきサポートセンター（地域包括支援センター）※2
をご存じですか。（1つに○）

「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」の認知状況については、「知っている、利用したことがある」（15.8%）、「知っているが、利用したことはない」（38.3%）を合わせて、半数を超える 54.1%が『知っている』となっています。一方、「知らない(今回の調査で知った)」が 41.2%となっています。



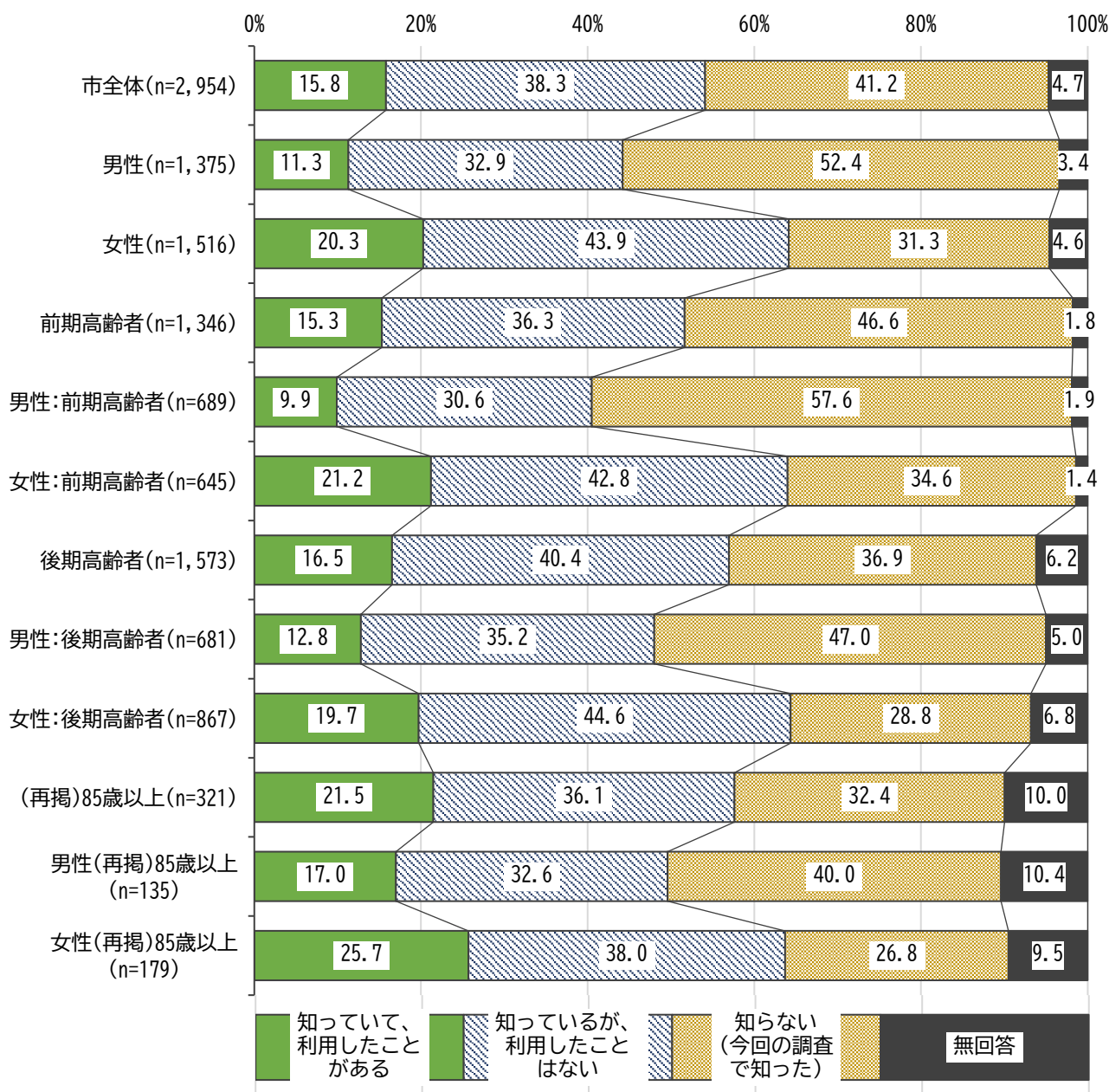
※2 いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）は、住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、様々な方面から高齢者の方を支える機関です。主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師などが配置されており、高齢者の日常生活に関する相談を受けるとともに、必要な保健福祉サービスの利用調整など、地域の関係機関と連携し、安心して暮らせるための支援を行っています。

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「知らない(今回の調査で知った)」、女性では「知っている、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「知らない(今回の調査で知った)」、後期高齢者では「知っている、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別 (%)】



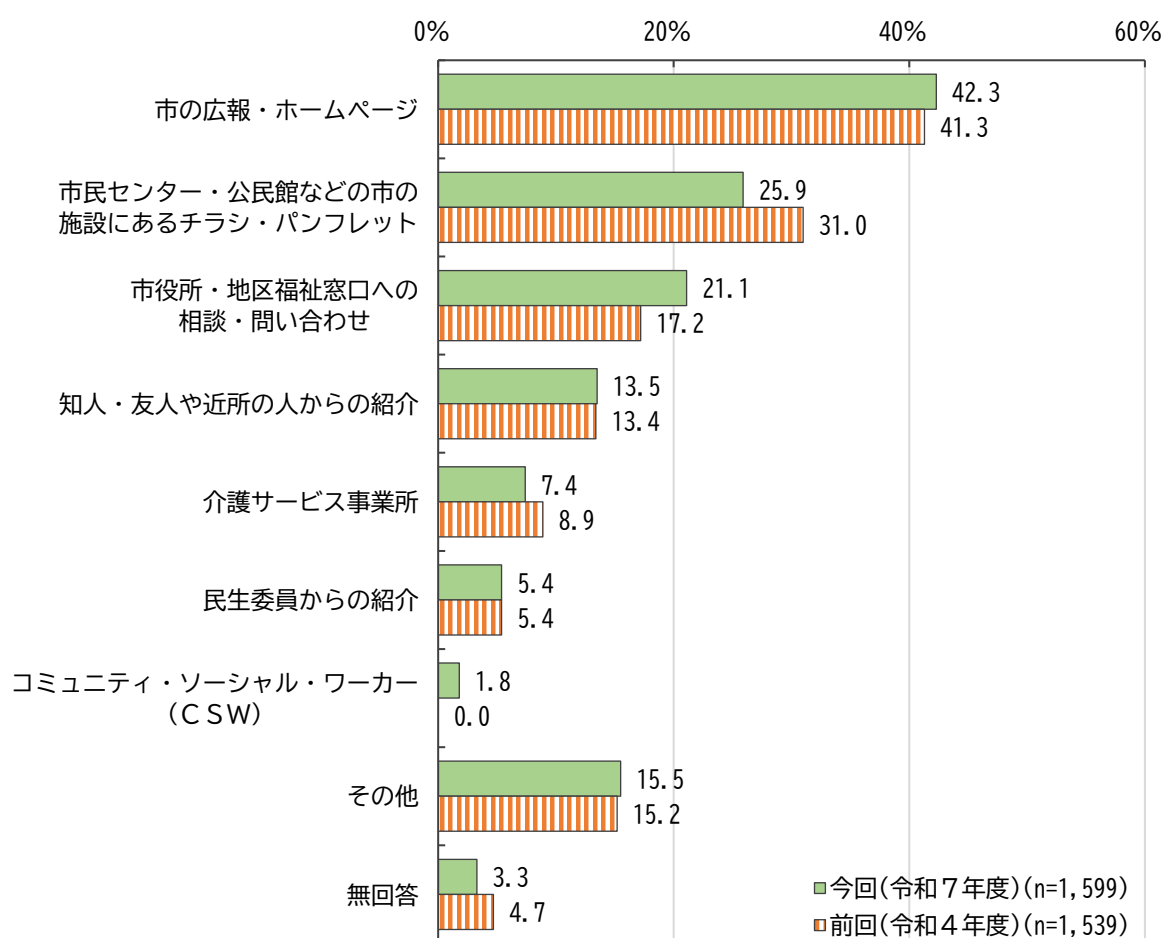
(3) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）を知ったきっかけ

問 33-1 《問 33 で「1. 知っていて、利用したことがある」、「2. 知っているが、利用したことはない」のいずれかを回答した方にうかがいます。》

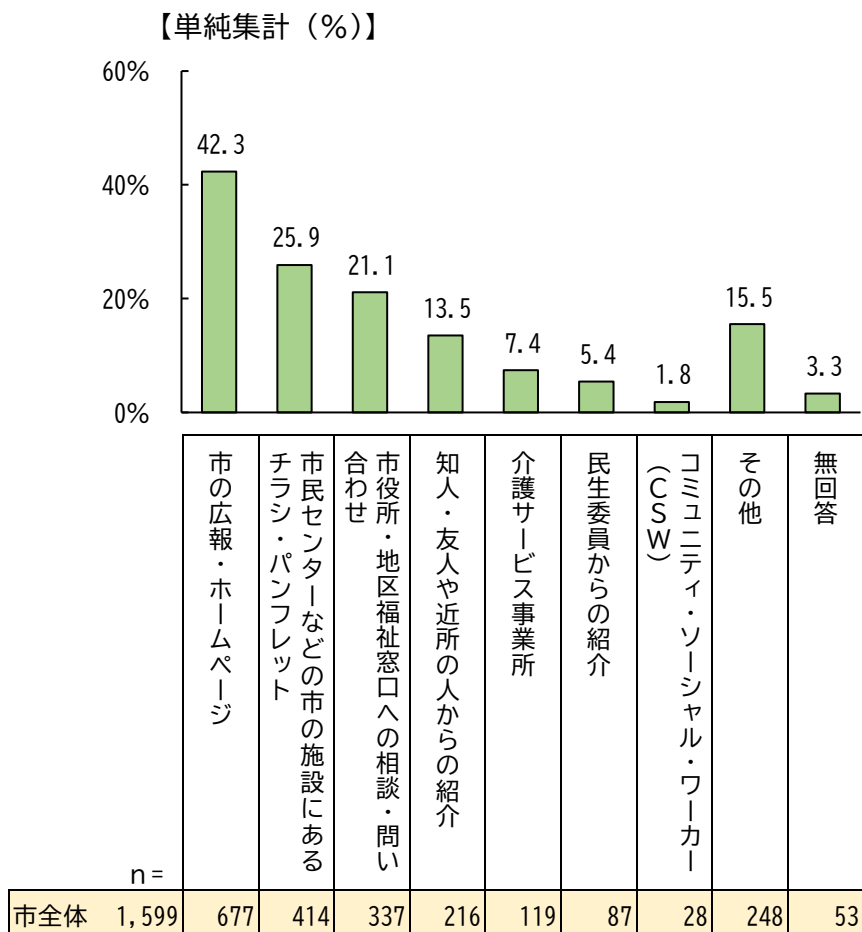
いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）を何で知りましたか。（特にあてはまるもの3つまでに○）

いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）を知っている方（1,599人、54.1%）が、知ったきっかけについては、「市の広報・ホームページ」（42.3%）、「市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット」（25.9%）、「市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ」（21.1%）までが2割台となっています。次いで、「知人・友人や近所の人からの紹介」が13.5%、「介護サービス事業所」が7.4%となっています。

【経年比較（%）】



第2章 調査結果の詳細



「その他」の主な内容：「かかりつけ医」、「バス停の近くで見かけた事がある」

性別で見ると、男性では「市の広報・ホームページ」、「市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット」の割合が全体に対して高くなっています。女性では「知人・友人や近所の人からの紹介」、「介護サービス事業所」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ」、「介護サービス事業所」の割合が全体に対して高くなっています。

後期高齢者では「市の広報・ホームページ」、「市民センターなどの市の施設にあるチラシ・パンフレット」などの割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =									
	市の広報・ホームページ	市民センターなどの市の施設にあるチラシ・パンフレット	市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ	知人・友人や近所の人からの紹介	介護サービス事業所	民生委員からの紹介	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)	その他	無回答	
市全体	1,599	677	414	337	216	119	87	28	248	53
	100.0	42.3	25.9	21.1	13.5	7.4	5.4	1.8	15.5	3.3
男性	608	304	168	136	66	38	35	14	89	17
	100.0	50.0	27.6	22.4	10.9	6.3	5.8	2.3	14.6	2.8
女性	973	363	240	197	147	81	52	14	159	34
	100.0	37.3	24.7	20.2	15.1	8.3	5.3	1.4	16.3	3.5
前期高齢者	695	288	165	151	67	64	18	12	127	14
	100.0	41.4	23.7	21.7	9.6	9.2	2.6	1.7	18.3	2.0
男性前期高齢者	279	139	64	57	19	19	10	4	52	7
	100.0	49.8	22.9	20.4	6.8	6.8	3.6	1.4	18.6	2.5
女性前期高齢者	413	148	100	92	48	45	8	8	75	7
	100.0	35.8	24.2	22.3	11.6	10.9	1.9	1.9	18.2	1.7
後期高齢者	896	384	247	183	148	55	67	16	121	38
	100.0	42.9	27.6	20.4	16.5	6.1	7.5	1.8	13.5	4.2
男性後期高齢者	327	164	104	77	46	19	24	10	37	10
	100.0	50.2	31.8	23.5	14.1	5.8	7.3	3.1	11.3	3.1
女性後期高齢者	558	214	139	105	99	36	43	6	84	27
	100.0	38.4	24.9	18.8	17.7	6.5	7.7	1.1	15.1	4.8
(再掲) 85歳以上	185	75	42	40	40	10	18	1	24	7
	100.0	40.5	22.7	21.6	21.6	5.4	9.7	0.5	13.0	3.8
男性(再掲) 85歳以上	67	28	11	15	19	4	5	0	9	2
	100.0	41.8	16.4	22.4	28.4	6.0	7.5	0.0	13.4	3.0
女性(再掲) 85歳以上	114	46	30	24	19	6	13	1	15	4
	100.0	40.4	26.3	21.1	16.7	5.3	11.4	0.9	13.2	3.5

13. 認知症について

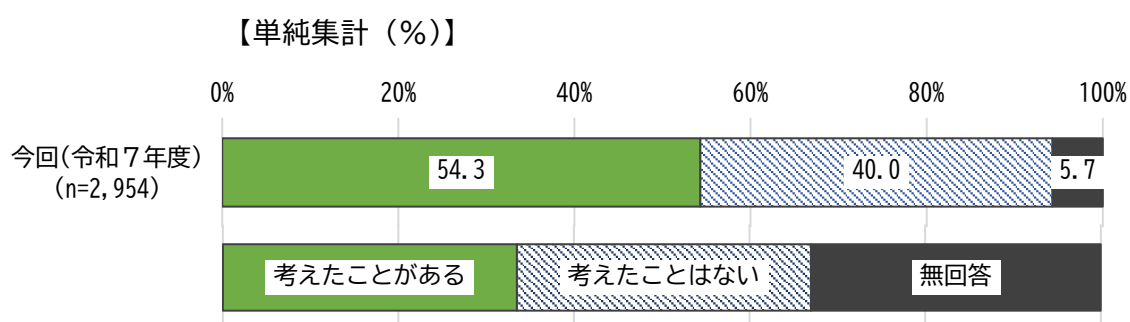
(1) 認知症に対する意識

問 34 今までに、自分が認知症になった時どうしたらよいか、考えたことはありますか。(1つに○)

認知症になった時どうしたらよいか考えたことがあるかについては、「考えたことがある」が54.3%、「考えたことはない」が40.0%となっています。

性別で見ると、男性では「考えたことがある」が41.5%、女性では67.0%となっています。

性別・年齢別で見ると、前期高齢者・後期高齢者のいずれも「考えたことがある」の割合は女性が高くなっています。



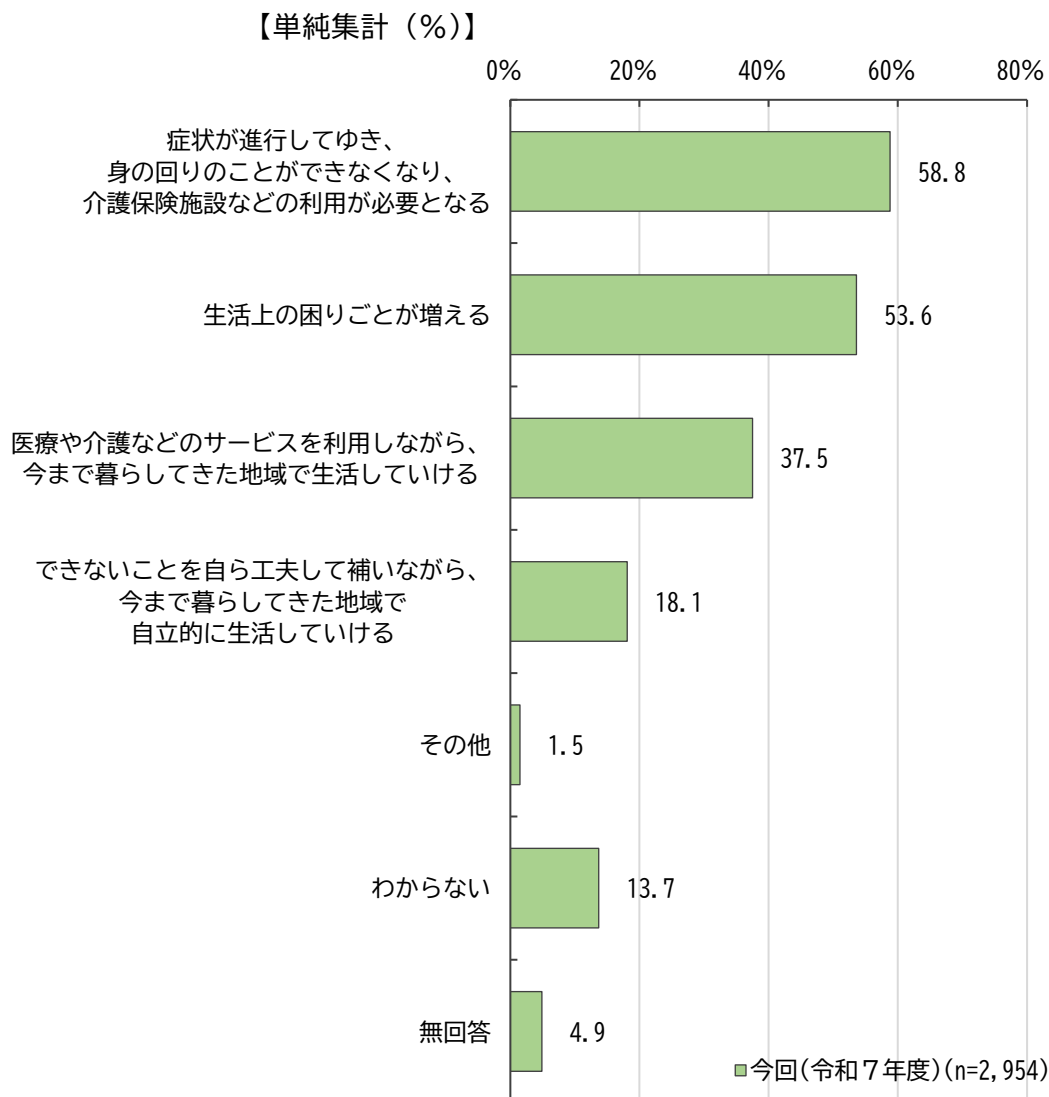
【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	考えたことがある	考えたことはない	無回答
市全体	2,954	1,603	1,183	168
	100.0	54.3	40.0	5.7
男性	1,375	570	748	57
	100.0	41.5	54.4	4.1
女性	1,516	1,015	413	88
	100.0	67.0	27.2	5.8
前期高齢者	1,346	733	573	40
	100.0	54.5	42.6	3.0
男性前期高齢者	689	281	392	16
	100.0	40.8	56.9	2.3
女性前期高齢者	645	445	177	23
	100.0	69.0	27.4	3.6
後期高齢者	1,573	861	601	111
	100.0	54.7	38.2	7.1
男性後期高齢者	681	287	354	40
	100.0	42.1	52.0	5.9
女性後期高齢者	867	567	235	65
	100.0	65.4	27.1	7.5
（再掲）85歳以上	321	159	132	30
	100.0	49.5	41.1	9.3
男性（再掲）85歳以上	135	51	72	12
	100.0	37.8	53.3	8.9
女性（再掲）85歳以上	179	106	56	17
	100.0	59.2	31.3	9.5

第2章 調査結果の詳細

問 35 現在、認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

認知症に対してどのようなイメージを持っているかについては、「症状が進行してゆき、身の回りのことができなくなり、介護保険施設などの利用が必要となる」が58.8%で最も高く、次いで「生活上の困りごとが増える」が53.6%、「医療や介護などのサービスを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が37.5%となっています。



「その他」の主な内容：「家族・身内の助け、公の支援があれば生活が出来る」、「認知症になった人の世話をする人が大変になる」

性別・年齢別で見ると、男女いずれの年代においても「症状が進行してゆき身の回りことができなくなり、介護保険施設などの利用が必要となる」の回答割合が最も高く、次いで「生活上の困りごとが増える」となっています。

後期高齢者は、前期高齢者と比較して「医療や介護などのサービスを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」、「できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で自立的に生活していける」の割合が高くなっています。

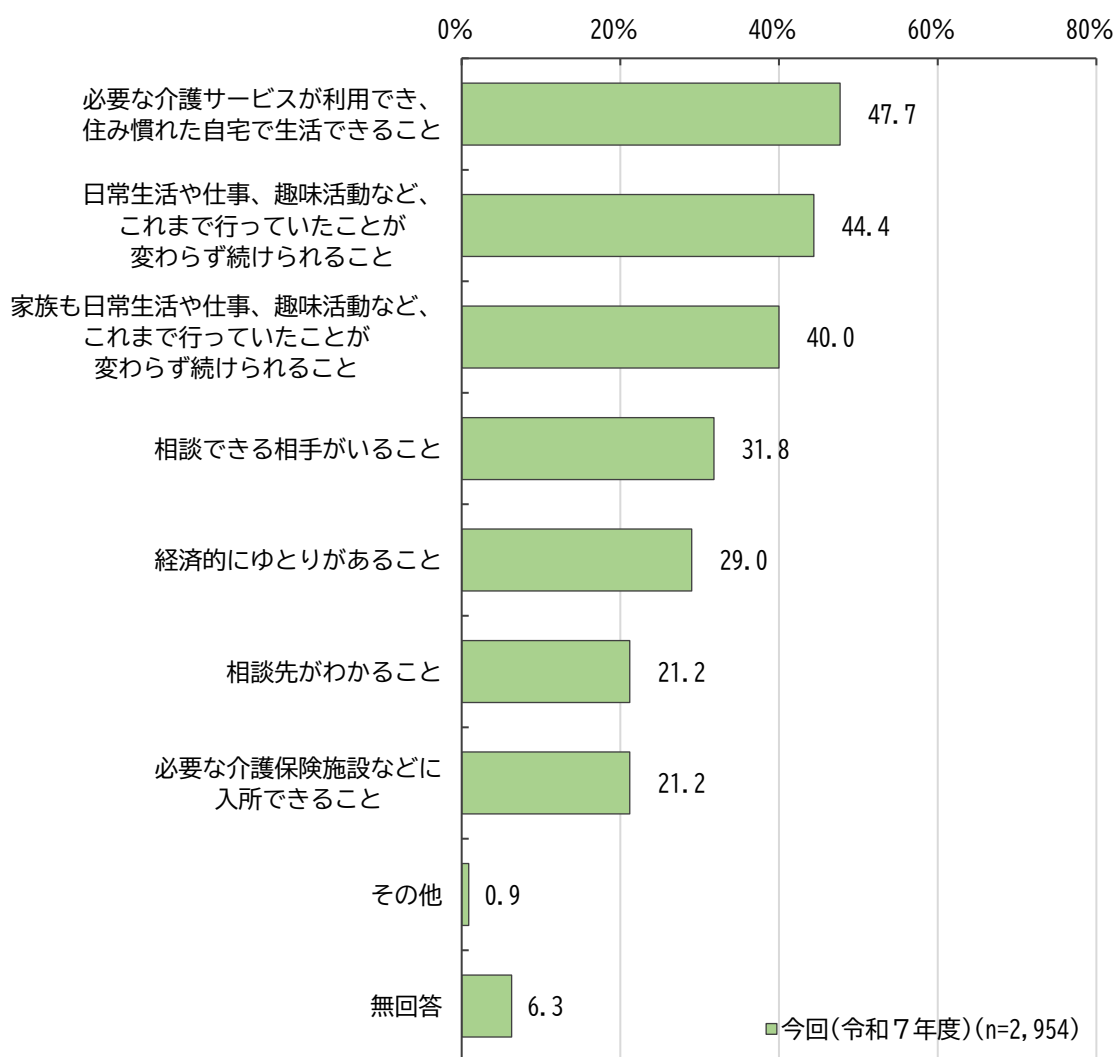
【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	症状が進行してゆき、身の回りのことができなくなり、介護保険施設などの利用が必要となる	生活上の困りごとが増える	医療や介護などのサービスを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける	できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で自立的に生活していける	その他	わからない	無回答
市全体	2,954	1,737	1,583	1,107	536	43	404	146
	100.0	58.8	53.6	37.5	18.1	1.5	13.7	4.9
男性	1,375	781	717	431	236	22	234	59
	100.0	56.8	52.1	31.3	17.2	1.6	17.0	4.3
女性	1,516	936	845	664	292	21	160	61
	100.0	61.7	55.7	43.8	19.3	1.4	10.6	4.0
前期高齢者	1,346	866	782	472	205	23	156	25
	100.0	64.3	58.1	35.1	15.2	1.7	11.6	1.9
男性前期高齢者	689	418	384	200	107	13	115	10
	100.0	60.7	55.7	29.0	15.5	1.9	16.7	1.5
女性前期高齢者	645	441	390	268	96	10	41	12
	100.0	68.4	60.5	41.6	14.9	1.6	6.4	1.9
後期高齢者	1,573	863	791	630	327	20	244	102
	100.0	54.9	50.3	40.1	20.8	1.3	15.5	6.5
男性後期高齢者	681	360	330	230	128	9	119	48
	100.0	52.9	48.5	33.8	18.8	1.3	17.5	7.0
女性後期高齢者	867	493	453	394	195	11	118	49
	100.0	56.9	52.2	45.4	22.5	1.3	13.6	5.7
（再掲）85歳以上	321	154	138	127	65	4	62	26
	100.0	48.0	43.0	39.6	20.2	1.2	19.3	8.1
男性（再掲）85歳以上	135	65	60	48	21	3	26	12
	100.0	48.1	44.4	35.6	15.6	2.2	19.3	8.9
女性（再掲）85歳以上	179	85	75	76	42	1	34	14
	100.0	47.5	41.9	42.5	23.5	0.6	19.0	7.8

問 36 「新しい認知症観」※3に基づき、認知症になっても住み慣れた地域で「希望」を持って暮らすには何が重要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

認知症になっても住み慣れた地域で「希望」を持って暮らすために必要なことについては、「必要な介護サービスが利用でき、住み慣れた自宅で生活できること」が47.7%で最も高く、次いで「日常生活や仕事、趣味活動など、これまで行っていたことが変わらず続けられること」が44.4%、「家族も日常生活や仕事、趣味活動など、これまで行っていたことが変わらず続けられること」が40.0%、「相談できる相手がいること」が31.8%、「経済的にゆとりがあること」が29.0%の順となっています。

【単純集計 (%)】



※3 「新しい認知症観」とは、認知症になっても個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができるという考え方です。

「その他」の主な内容:「周囲の者が認知症についての理解を深める」、「サポートの人材(公的、民間両方の人材)」

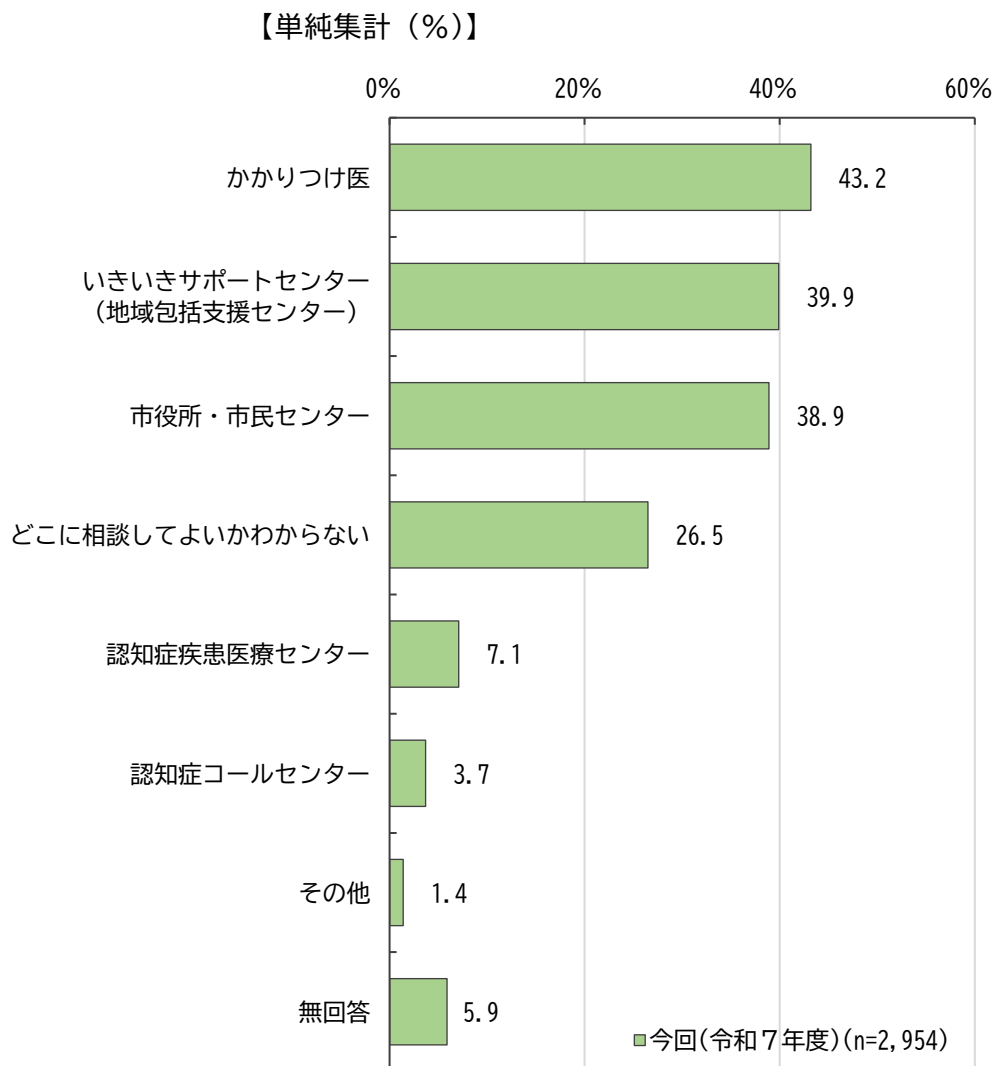
性別で見ると、男性では「日常生活や仕事、趣味活動など、これまで行っていたことが変わらず続けられること」が48.8%、次いで「必要な介護サービスが利用でき、住み慣れた自宅で生活できること」が43.5%となっており、女性では「必要な介護サービスが利用でき、住み慣れた自宅で生活できること」が52.9%、次いで「日常生活や仕事、趣味活動など、これまで行っていたことが変わらず続けられること」が41.3%となっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	必要な介護サービスが利用でき、住み慣れた自宅で生活できること	日常生活や仕事、趣味活動など、これまで行っていたことが変わらず続けられること	家族も日常生活や仕事、趣味活動など、これまで行っていたことが変わらず続けられること	相談できる相手がいること	経済的にゆとりがあること	相談先がわかること	必要な介護保険施設などに入所できること	その他	無回答
市全体	2,954	1,409	1,311	1,182	938	856	627	626	27	186
	100.0	47.7	44.4	40.0	31.8	29.0	21.2	21.2	0.9	6.3
男性	1,375	598	671	573	370	396	271	275	13	83
	100.0	43.5	48.8	41.7	26.9	28.8	19.7	20.0	0.9	6.0
女性	1,516	802	626	598	557	451	348	341	14	75
	100.0	52.9	41.3	39.4	36.7	29.7	23.0	22.5	0.9	4.9
前期高齢者	1,346	620	614	554	433	457	306	290	15	43
	100.0	46.1	45.6	41.2	32.2	34.0	22.7	21.5	1.1	3.2
男性前期高齢者	689	285	346	293	192	234	138	130	9	23
	100.0	41.4	50.2	42.5	27.9	34.0	20.0	18.9	1.3	3.3
女性前期高齢者	645	332	264	259	237	218	166	158	6	17
	100.0	51.5	40.9	40.2	36.7	33.8	25.7	24.5	0.9	2.6
後期高齢者	1,573	785	691	622	503	395	317	327	12	123
	100.0	49.9	43.9	39.5	32.0	25.1	20.2	20.8	0.8	7.8
男性後期高齢者	681	313	323	279	177	161	132	142	4	59
	100.0	46.0	47.4	41.0	26.0	23.6	19.4	20.9	0.6	8.7
女性後期高齢者	867	468	361	337	319	232	181	181	8	58
	100.0	54.0	41.6	38.9	36.8	26.8	20.9	20.9	0.9	6.7
（再掲）85歳以上	321	137	140	135	108	75	56	64	4	35
	100.0	42.7	43.6	42.1	33.6	23.4	17.4	19.9	1.2	10.9
男性（再掲）85歳以上	135	51	66	60	36	28	27	29	3	14
	100.0	37.8	48.9	44.4	26.7	20.7	20.0	21.5	2.2	10.4
女性（再掲）85歳以上	179	84	71	73	69	46	29	34	1	20
	100.0	46.9	39.7	40.8	38.5	25.7	16.2	19.0	0.6	11.2

問 37 認知症に関する相談窓口として、知っているものを選択してください。(あてはまるものすべてに○)

認知症に関する相談窓口として、知っているものについては、「かかりつけ医」が 43.2%で最も高く、次いで「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」(39.9%)、「市役所・市民センター」(38.9%)となっています。一方で「どこに相談してよいかわからない」も 26.5%となっています。



「その他」の主な内容：「老人ホーム内のコンシェルジュ」、「藤沢市ガイドブックを置いている。必要な時連絡する」

性別で見ると、男性では「かかりつけ医」が40.2%、次いで「市役所・市民センター」が35.4%、「どこに相談してよいかわからない」が33.7%、「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」が29.7%となっており、女性では「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」が50.3%、次いで「かかりつけ医」が46.9%、「市役所・市民センター」が43.0%となっています。

性別・年齢別で見ると、前期高齢者・後期高齢者いずれも男性は「かかりつけ医」、女性では「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」の割合が最も高くなっています。

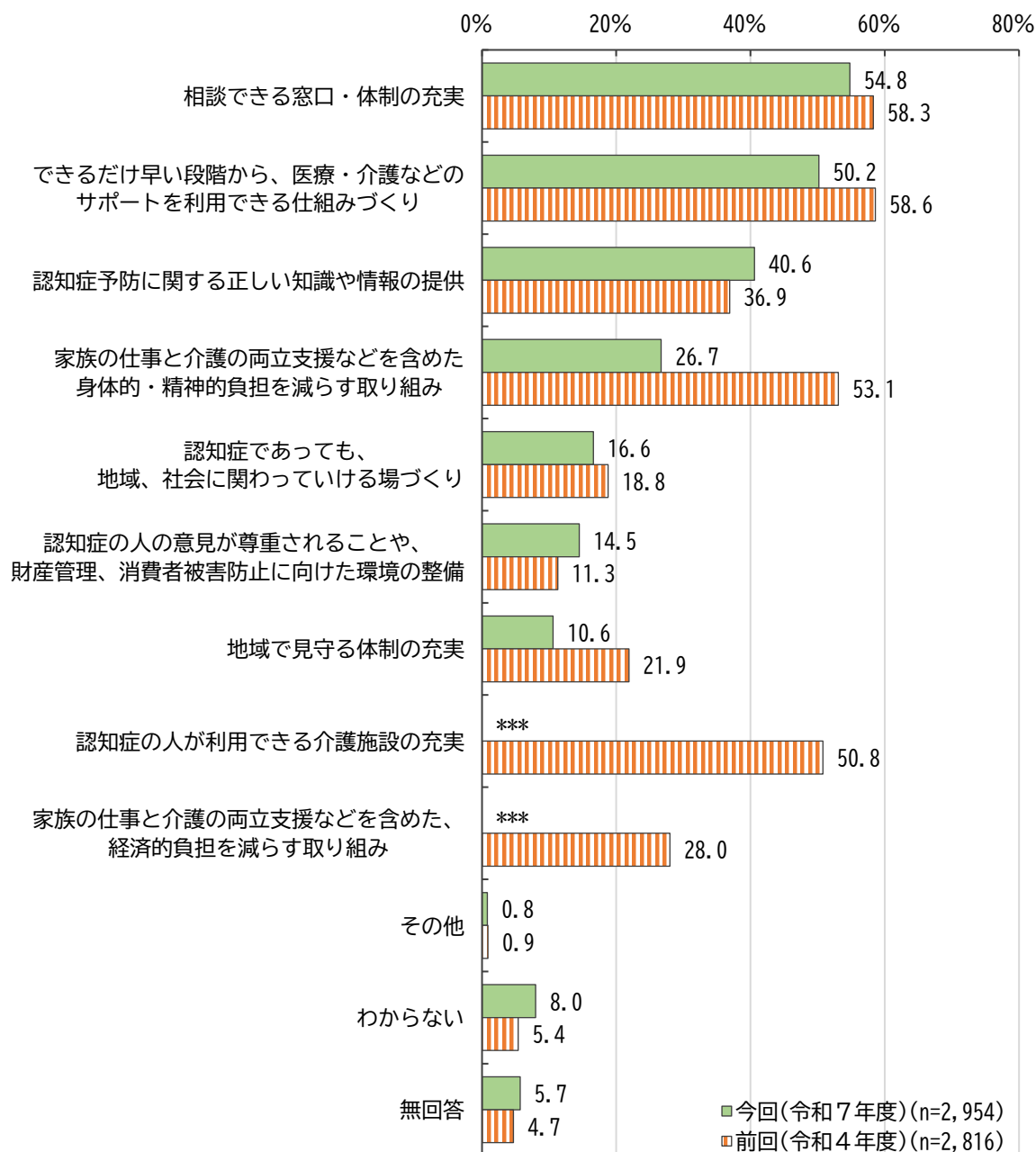
【基本属性別（上段：人数、下段：%）】

	n =	かかりつけ医	いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）	市役所・市民センター	どこに相談してよいかわからない	認知症疾患医療センター	認知症コールセンター	その他	無回答
市全体	2,954	1,276	1,179	1,149	784	211	110	40	173
	100.0	43.2	39.9	38.9	26.5	7.1	3.7	1.4	5.9
男性	1,375	553	409	487	464	72	41	18	71
	100.0	40.2	29.7	35.4	33.7	5.2	3.0	1.3	5.2
女性	1,516	711	763	652	306	136	69	22	77
	100.0	46.9	50.3	43.0	20.2	9.0	4.6	1.5	5.1
前期高齢者	1,346	562	528	565	400	87	48	15	36
	100.0	41.8	39.2	42.0	29.7	6.5	3.6	1.1	2.7
男性 前期高齢者	689	271	198	257	251	30	16	7	13
	100.0	39.3	28.7	37.3	36.4	4.4	2.3	1.0	1.9
女性 前期高齢者	645	287	329	305	146	57	32	8	21
	100.0	44.5	51.0	47.3	22.6	8.8	5.0	1.2	3.3
後期高齢者	1,573	708	647	578	379	122	61	25	118
	100.0	45.0	41.1	36.7	24.1	7.8	3.9	1.6	7.5
男性 後期高齢者	681	280	211	229	212	42	24	11	57
	100.0	41.1	31.0	33.6	31.1	6.2	3.5	1.6	8.4
女性 後期高齢者	867	422	432	345	159	77	37	14	56
	100.0	48.7	49.8	39.8	18.3	8.9	4.3	1.6	6.5
（再掲）85歳以上	321	140	126	103	69	22	16	6	34
	100.0	43.6	39.3	32.1	21.5	6.9	5.0	1.9	10.6
男性（再掲）85歳以上	135	58	43	40	37	12	5	4	14
	100.0	43.0	31.9	29.6	27.4	8.9	3.7	3.0	10.4
女性（再掲）85歳以上	179	79	81	61	31	9	11	2	19
	100.0	44.1	45.3	34.1	17.3	5.0	6.1	1.1	10.6

問 38 認知症施策を進めるうえで、今後充実してほしいことは何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

認知症施策を進めるうえで、今後充実してほしいことについては、「相談できる窓口・体制の充実」が54.8%で最も高く、次いで「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が50.2%、「認知症予防に関する正しい知識や情報の提供」が40.6%、「家族の仕事と介護の両立支援などを含めた身体的・精神的負担を減らす取り組み」が26.7%の順となっています。

【経年比較 (%)】



※令和7年度は「認知症の人が利用できる介護施設の充実」、「家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み」の選択肢がないため、***表記としている。

性別でみると、男性では「相談できる窓口・体制の充実」、女性では「相談できる窓口・体制の充実」、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」、「認知症予防に関する正しい知識や情報の提供」、「家族の仕事と介護の両立支援などを含めた身体的・精神的負担を減らす取り組み」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「相談できる窓口・体制の充実」、「家族の仕事と介護の両立支援などを含めた身体的・精神的負担を減らす取り組み」など、後期高齢者では「認知症予防に関する正しい知識や情報の提供」、「認知症であっても、地域、社会に関わっていける場づくり」、「地域で見守る体制の充実」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	相談できる窓口・体制の充実	できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり	認知症予防に関する正しい知識や情報の提供	家族の仕事と介護の両立支援などを含めた身体的・精神的負担を減らす取り組み	認知症であっても、地域、社会に関わっていける場づくり	認知症の人の意見が尊重されることや、財産管理、消費者被害防止に向けた環境の整備	地域で見守る体制の充実	その他	わからない	無回答
市全体	2,954	1,620	1,484	1,199	790	490	429	313	24	235	169
	100.0	54.8	50.2	40.6	26.7	16.6	14.5	10.6	0.8	8.0	5.7
男性	1,375	759	688	529	348	208	186	146	10	140	64
	100.0	55.2	50.0	38.5	25.3	15.1	13.5	10.6	0.7	10.2	4.7
女性	1,516	843	777	658	438	280	241	164	14	86	80
	100.0	55.6	51.3	43.4	28.9	18.5	15.9	10.8	0.9	5.7	5.3
前期高齢者	1,346	754	704	541	426	223	220	128	10	102	30
	100.0	56.0	52.3	40.2	31.6	16.6	16.3	9.5	0.7	7.6	2.2
男性前期高齢者	689	382	356	256	198	113	97	76	5	68	12
	100.0	55.4	51.7	37.2	28.7	16.4	14.1	11.0	0.7	9.9	1.7
女性前期高齢者	645	367	343	282	225	110	123	52	5	32	14
	100.0	56.9	53.2	43.7	34.9	17.1	19.1	8.1	0.8	5.0	2.2
後期高齢者	1,573	860	773	655	362	263	208	181	14	127	121
	100.0	54.7	49.1	41.6	23.0	16.7	13.2	11.5	0.9	8.1	7.7
男性後期高齢者	681	375	329	273	150	93	88	70	5	71	51
	100.0	55.1	48.3	40.1	22.0	13.7	12.9	10.3	0.7	10.4	7.5
女性後期高齢者	867	475	433	376	212	168	118	110	9	53	66
	100.0	54.8	49.9	43.4	24.5	19.4	13.6	12.7	1.0	6.1	7.6
(再掲) 85歳以上	321	173	142	114	58	38	39	42	4	33	34
	100.0	53.9	44.2	35.5	18.1	11.8	12.1	13.1	1.2	10.3	10.6
男性(再掲) 85歳以上	135	68	66	48	24	11	13	15	3	17	14
	100.0	50.4	48.9	35.6	17.8	8.1	9.6	11.1	2.2	12.6	10.4
女性(再掲) 85歳以上	179	99	72	64	34	26	25	26	1	16	20
	100.0	55.3	40.2	35.8	19.0	14.5	14.0	14.5	0.6	8.9	11.2

「その他」の主な内容：「サポート人材」、「認知症に関しての知識を幅広い年代へ提供する」

14. ケアラー支援について

(1) 家族などの介護の状況

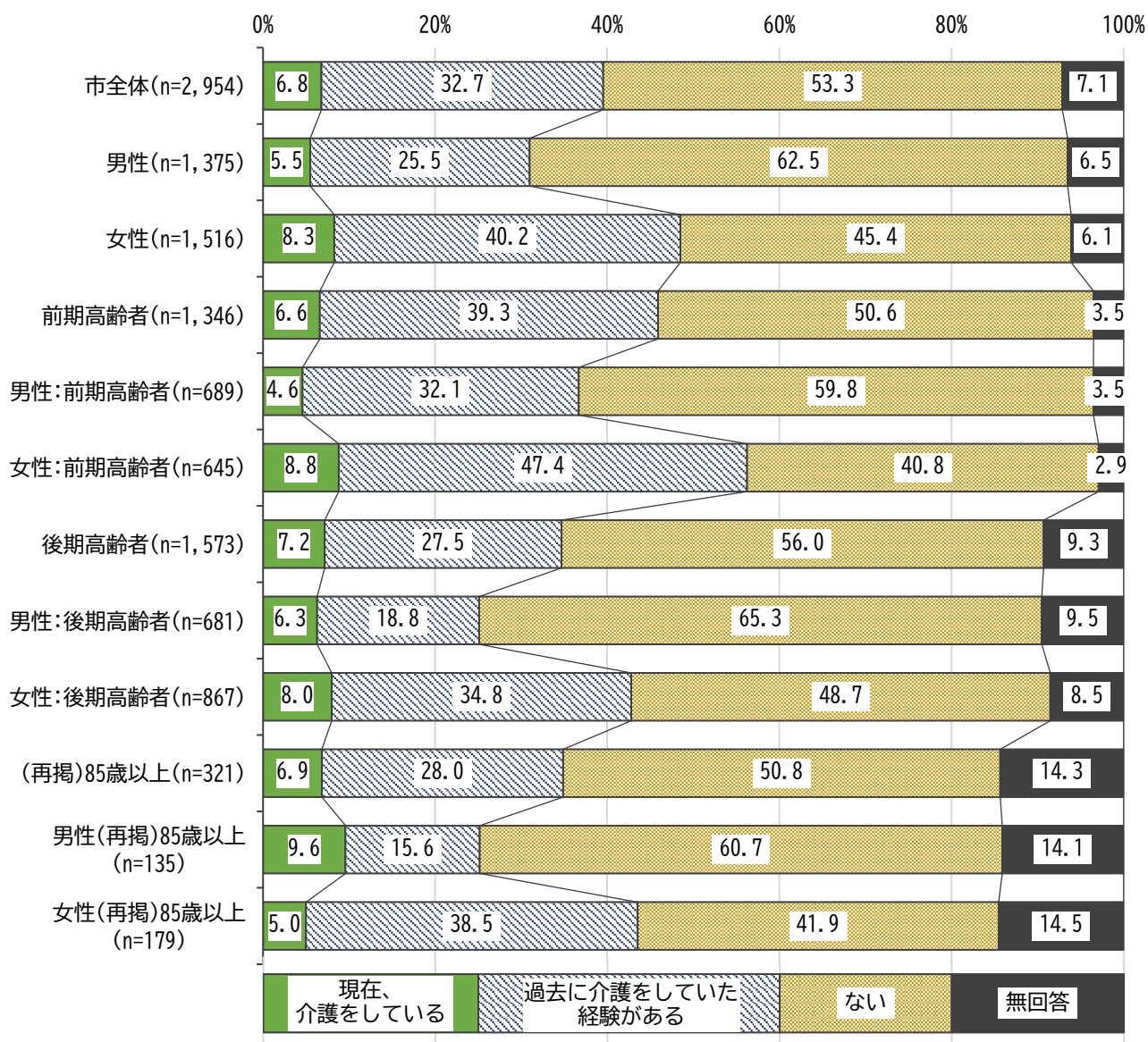
問 39 あなたは、家族などの介護をしていますか。または家族などの介護をした経験がありますか。(1つに○)

家族などの介護の状況については、「ない」が 53.3%で最も高く、次いで「過去に介護をしていた経験がある」が 32.7%、「現在、介護をしている」が 6.8%となっています。

性別でみると、「過去に介護をしていた経験がある」は男性 25.5%に対して女性 40.2%と 14.7 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「過去に介護をしていた経験がある」は前期高齢者が後期高齢者より高くなっており、男女別と掛け合わせてみても同様の傾向となっています。

【基本属性別 (%)】

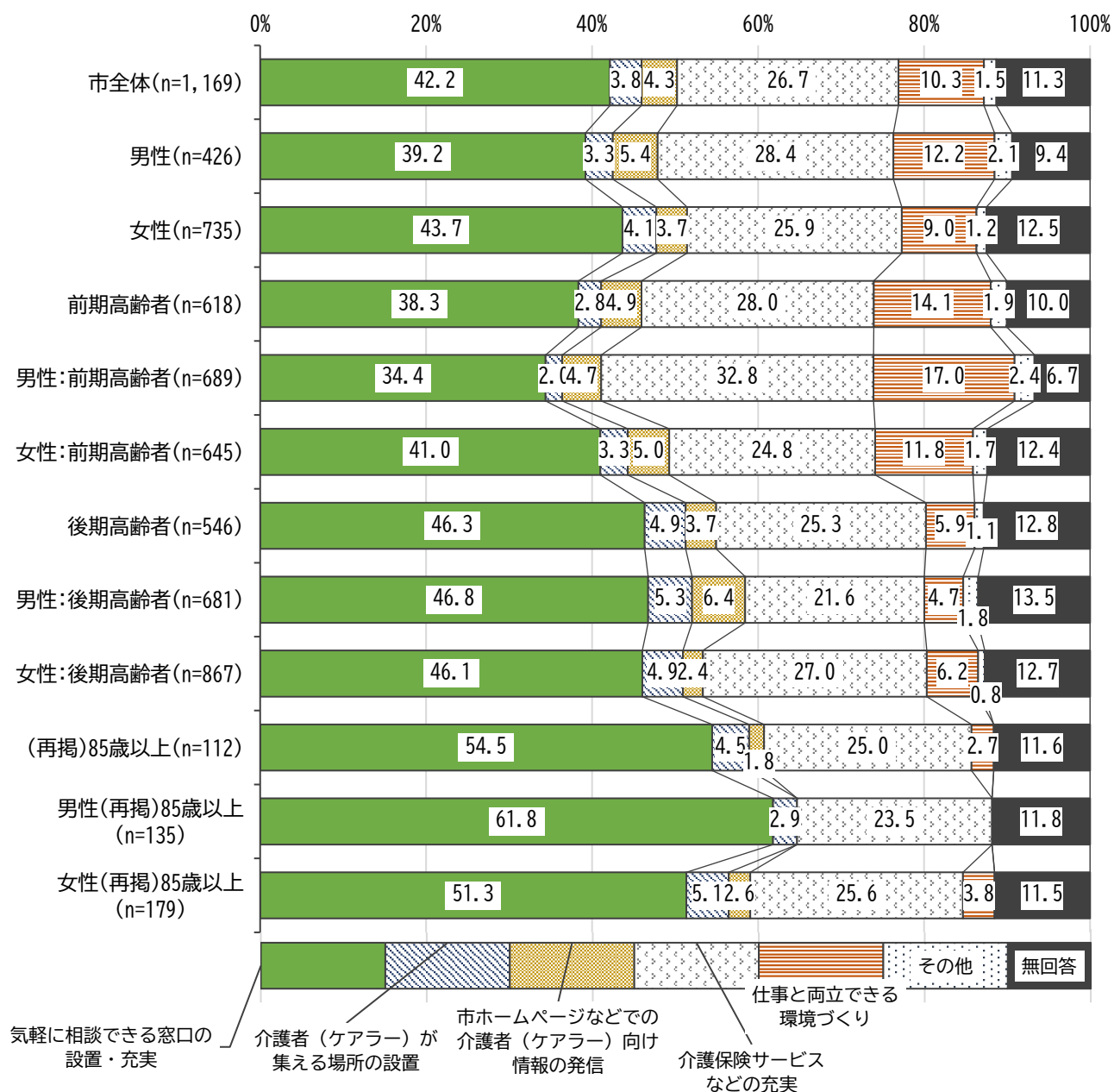


問 39-1 <<問 39 で「1. 現在、介護をしている」、「2. 過去に介護をしていた経験がある」のいずれかを回答された方にうかがいます。>>
 介護者（ケアラー）への支援として、どのような支援があればよいと思いますか。
 （1つに○）

性別で見ると、「気軽に相談できる窓口の設置・充実」の割合は、男性より女性の方が高くなっています。

年齢別で見ると、「仕事と両立できる環境づくり」の割合は、後期高齢者より前期高齢者の方が高くなっています。男性の後期高齢者は「気軽に相談できる窓口の設置・充実」の割合が高く、とくに男性の85歳以上については61.8%となっています。

【基本属性別（%）】



「その他」の主な内容：「介護はされる側よりする側（ケアラー）のサポートが必要です。ケアラーの苦しみは誰もわからない」、「ケアしないでよい日をつくること」

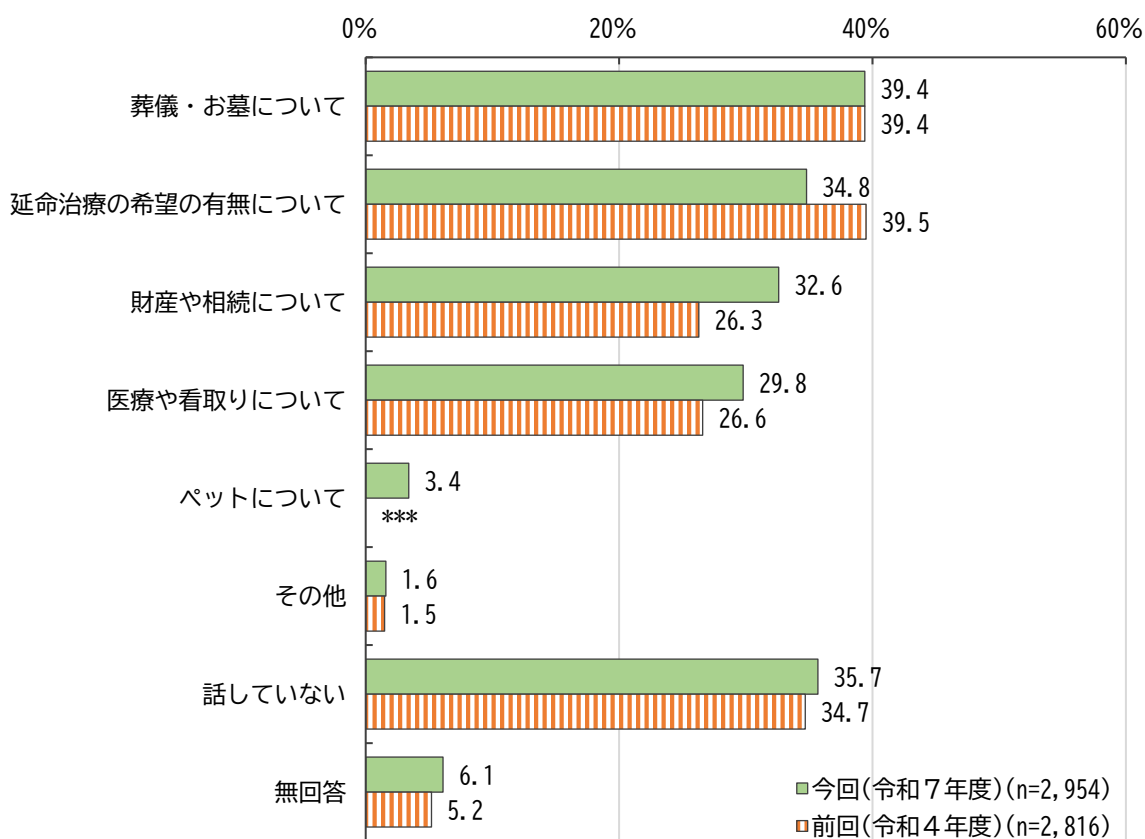
15. 人生最期のとき（終活）について

（1）人生最期のとき（終活）について家族との共有状況

問 40 あなたの人生最期のとき（終活）について、次のうち信頼できる人と話すことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

人生最期のとき（終活）について信頼できる人と話していることは、「葬儀・お墓について」が39.4%で最も高く、次いで、「延命治療の希望の有無について」が34.8%、「財産や相続について」が32.6%、「医療や看取りについて」が29.8%の順となっています。また、「話していない」と「無回答」を除いた「信頼できる人と話していることがある」割合は58.2%となっています。

【経年比較（%）】



※令和4年度は「ペットについて」の選択肢がないため、***表記としている。

性別でみると、「話していない」を除くすべての項目において、女性は男性より高くなっています。

年齢別でみると、「ペットについて」と「話していない」を除くすべての項目において、後期高齢者は前期高齢者より高くなっています。

男女別と掛け合わせてみると、前期高齢者の「延命治療の希望の有無について」は、男性は23.1%に対して女性44.3%と、女性が21.2ポイント高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：%）】

	n =	葬儀・お墓について	延命治療の希望の有無について	財産や相続について	医療や看取り（みとり）について	ペットについて	その他	話していない	無回答
市全体	2,954	1,164	1,029	964	880	100	48	1054	181
	100.0	39.4	34.8	32.6	29.8	3.4	1.6	35.7	6.1
男性	1,375	469	353	436	359	43	17	596	70
	100.0	34.1	25.7	31.7	26.1	3.1	1.2	43.3	5.1
女性	1,516	679	660	516	508	54	31	445	87
	100.0	44.8	43.5	34.0	33.5	3.6	2.0	29.4	5.7
前期高齢者	1,346	531	449	432	391	58	12	551	32
	100.0	39.5	33.4	32.1	29.0	4.3	0.9	40.9	2.4
男性 前期高齢者	689	223	159	203	163	23	5	339	15
	100.0	32.4	23.1	29.5	23.7	3.3	0.7	49.2	2.2
女性 前期高齢者	645	306	286	227	224	34	7	208	14
	100.0	47.4	44.3	35.2	34.7	5.3	1.1	32.2	2.2
後期高齢者	1,573	628	572	525	484	41	36	497	130
	100.0	39.9	36.4	33.4	30.8	2.6	2.3	31.6	8.3
男性 後期高齢者	681	245	192	232	195	20	12	255	54
	100.0	36.0	28.2	34.1	28.6	2.9	1.8	37.4	7.9
女性 後期高齢者	867	373	372	287	283	20	24	237	72
	100.0	43.0	42.9	33.1	32.6	2.3	2.8	27.3	8.3
（再掲）85歳以上	321	127	120	112	105	5	12	92	36
	100.0	39.6	37.4	34.9	32.7	1.6	3.7	28.7	11.2
男性（再掲）85歳以上	135	46	35	46	38	2	7	51	16
	100.0	34.1	25.9	34.1	28.1	1.5	5.2	37.8	11.9
女性（再掲）85歳以上	179	79	82	64	65	3	5	40	20
	100.0	44.1	45.8	35.8	36.3	1.7	2.8	22.3	11.2

「その他」の主な内容：「NPO法人と生前契約をしている（私のみ）」、「終活ノートに記録中」

第2章 調査結果の詳細

(2) あなたの人生最期を迎えたい場所

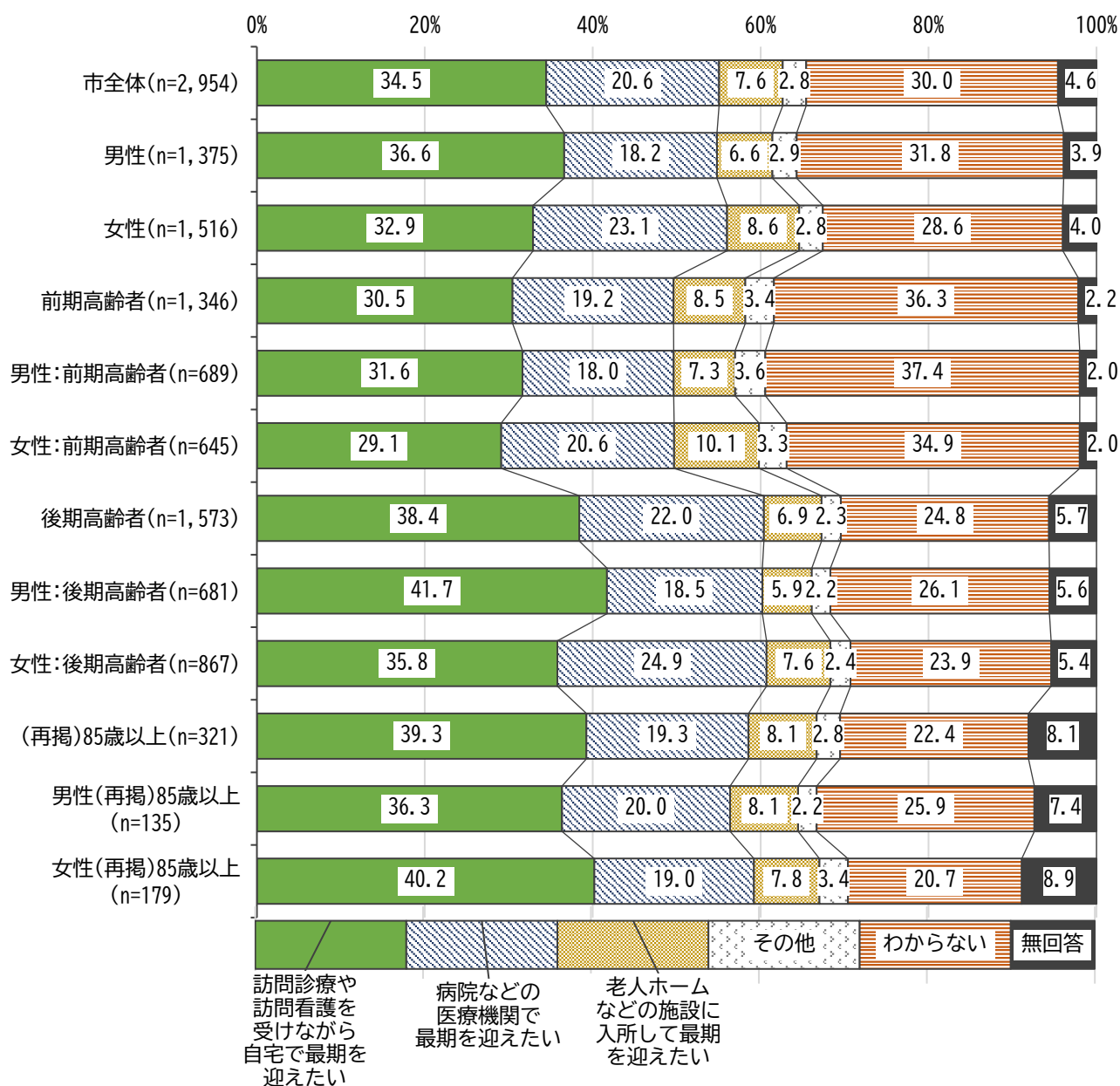
問 41 あなたの人生最期のときをどこで迎えたいですか。(1つに○)

人生の最期を迎えたい場所では、「訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で最期を迎えたい」が34.5%で最も高く、次いで、「病院など医療機関で最期を迎えたい」が20.6%、「老人ホームなどの施設に入所して最期を迎えたい」が7.6%となっています。また、30.0%が「わからない」と回答しています。

性別でみると、男性では「訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で最期を迎えたい」、女性では「病院などの医療機関で最期を迎えたい」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「わからない」、後期高齢者では「訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で最期を迎えたい」、「病院などの医療機関で最期を迎えたい」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別 (%)】



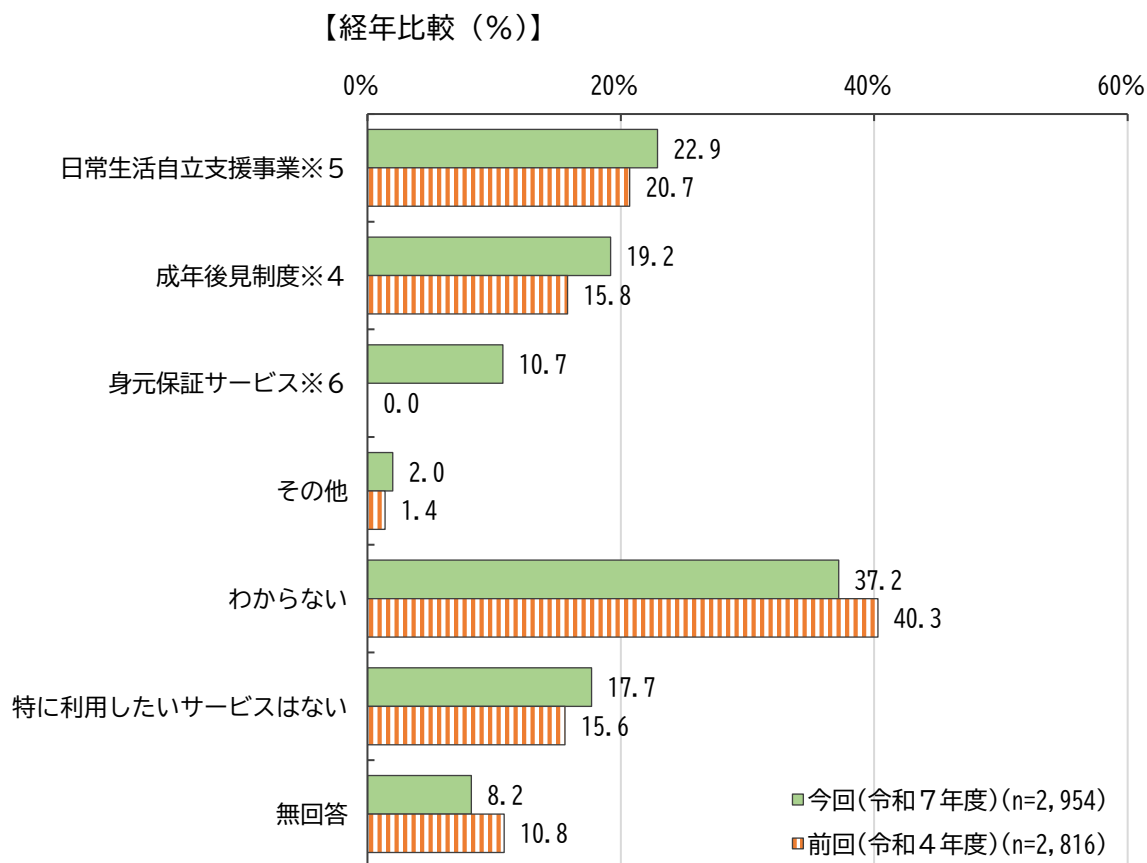
「その他」の主な内容: 「ケースバイケース、状況による」、「ふるさとの実家」

16. 権利擁護について

(1) 判断能力が不安になったときに利用したい支援やサービス

問 42 今後、認知症など、判断能力が不安になり何らかの支援が必要になった時、利用したい支援やサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

今後、認知症など、判断能力が不安になり何らかの支援が必要になった時、利用したいサービスについては、「日常生活自立支援事業※5」が22.9%で最も高く、次いで「成年後見制度※4」が19.2%となっています。一方、「わからない」が37.2%となっています。



※令和4年度は「身元保証サービス」の選択肢がないため、***表記としている。

※4 成年後見制度とは、認知症などの理由により判断能力が不十分な方の財産の管理、入院や施設への入所などの生活に関する契約などを、成年後見人が代理して行う制度です。なお、成年後見制度には、家庭裁判所に申し立てることにより成年後見人を選任する法定後見制度と、まだ判断能力が十分なうちに、あらかじめ後見人を決めておく任意後見制度があります。

※5 日常生活自立支援事業とは、高齢者などが安心して自立した生活が送れるように、預貯金の引き出しなどの金銭管理や福祉サービスの利用手続き、重要書類等の管理などについて、本人と社会福祉協議会との契約により行われる事業です。

※6 身元保証サービスとは、入院や入所する際に、身元保証人の役割を代行するサービスです。

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「日常生活自立支援事業」、「成年後見制度」、「わからない」が、女性では「日常生活自立支援事業」、「特に利用したいサービスはない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「日常生活自立支援事業」、「成年後見制度」、「身元保証サービス」、「わからない」が、後期高齢者では「特に利用したいサービスはない」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	日常生活自立支援事業	成年後見制度	身元保証サービス	その他	わからない	特に利用したいサービスはない	無回答
市全体	2,954	677	566	315	58	1,100	523	243
	100.0	22.9	19.2	10.7	2.0	37.2	17.7	8.2
男性	1,375	322	284	181	19	562	233	61
	100.0	23.4	20.7	13.2	1.4	40.9	16.9	4.4
女性	1,516	348	278	130	39	519	281	157
	100.0	23.0	18.3	8.6	2.6	34.2	18.5	10.4
前期高齢者	1,346	360	312	197	21	521	214	40
	100.0	26.7	23.2	14.6	1.6	38.7	15.9	3.0
男性前期高齢者	689	180	163	119	8	288	100	13
	100.0	26.1	23.7	17.3	1.2	41.8	14.5	1.9
女性前期高齢者	645	176	147	77	13	229	114	24
	100.0	27.3	22.8	11.9	2.0	35.5	17.7	3.7
後期高齢者	1,573	312	249	113	37	574	306	185
	100.0	19.8	15.8	7.2	2.4	36.5	19.5	11.8
男性後期高齢者	681	140	118	60	11	273	133	48
	100.0	20.6	17.3	8.8	1.6	40.1	19.5	7.0
女性後期高齢者	867	171	130	53	26	289	167	132
	100.0	19.7	15.0	6.1	3.0	33.3	19.3	15.2
（再掲）85歳以上	321	70	38	22	13	109	63	48
	100.0	21.8	11.8	6.9	4.0	34.0	19.6	15.0
男性（再掲）85歳以上	135	28	16	11	6	51	22	15
	100.0	20.7	11.9	8.1	4.4	37.8	16.3	11.1
女性（再掲）85歳以上	179	42	22	11	7	54	38	33
	100.0	23.5	12.3	6.1	3.9	30.2	21.2	18.4

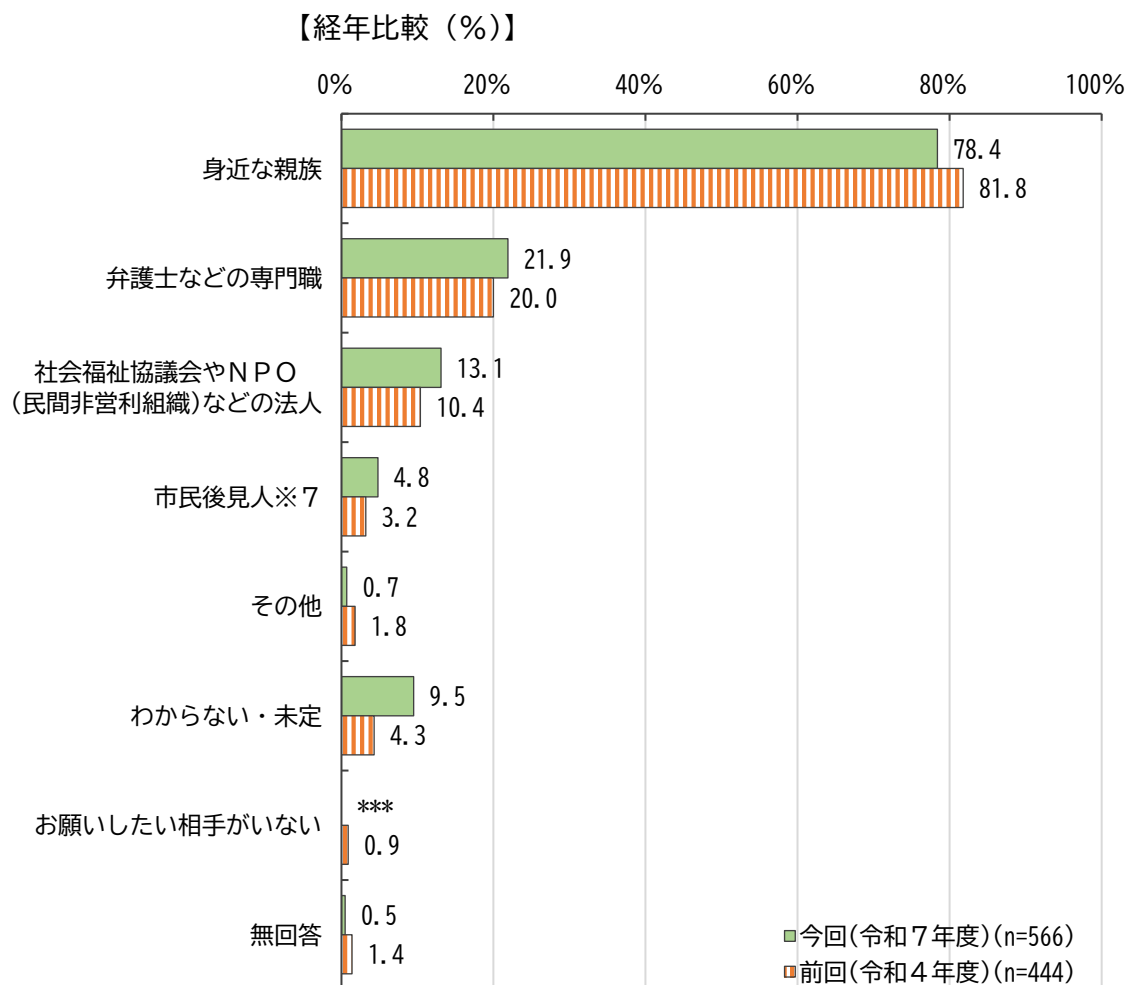
「その他」の主な内容：「家族信託契約」、「安否確認、認知症予防のためのアプリ」

(2) 成年後見人の希望

問 42-1 《問 42 で「1. 成年後見制度」と回答した方にうかがいます。》

成年後見制度を利用する場合、どなたに成年後見人をお願いしたいですか。
(特にあてはまるもの2つまでに○)

成年後見制度の利用希望者（566 人、19.2%）について、制度利用の際に成年後見人を依頼したいのは、「身近な親族」が 78.4%で最も高く、次いで「弁護士などの専門職」が 21.9%、「社会福祉協議会やNPO(民間非営利組織)などの法人」が 13.1%、「市民後見人※7」が 4.8%の順となっています。



※令和7年度は「お願いしたい相手がない」の選択肢がないため、***表記としている。

※7 市民後見人とは、事前に自治体などが行う養成研修を修了した同じ地域に住む市民で、家庭裁判所に選任された成年後見人のことです。

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「弁護士などの専門職」、「社会福祉協議会やNPO（民間非営利組織）などの法人」、「市民後見人」が、女性では「身近な親族」、「わからない・未定」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「弁護士などの専門職」、「社会福祉協議会やNPO（民間非営利組織）などの法人」が、後期高齢者では「身近な親族」、「市民後見人」、「わからない・未定」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

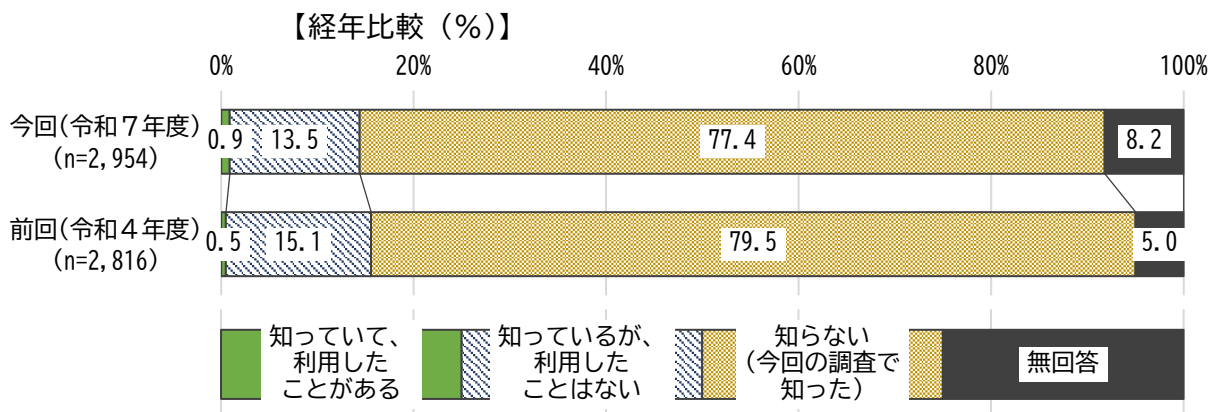
	n =	身近な親族	弁護士などの専門職	社会福祉協議会やNPO（民間非営利組織）などの法人	市民後見人	その他	わからない・未定	無回答
市全体	566	444	124	74	27	4	54	3
	100.0	78.4	21.9	13.1	4.8	0.7	9.5	0.5
男性	284	214	83	44	18	1	26	1
	100.0	75.4	29.2	15.5	6.3	0.4	9.2	0.4
女性	278	228	39	29	9	3	27	2
	100.0	82.0	14.0	10.4	3.2	1.1	9.7	0.7
前期高齢者	312	237	76	42	14	2	29	1
	100.0	76.0	24.4	13.5	4.5	0.6	9.3	0.3
男性 前期高齢者	163	120	48	29	9	0	14	1
	100.0	73.6	29.4	17.8	5.5	0.0	8.6	0.6
女性 前期高齢者	147	117	27	13	5	2	14	0
	100.0	79.6	18.4	8.8	3.4	1.4	9.5	0.0
後期高齢者	249	204	46	31	13	2	24	2
	100.0	81.9	18.5	12.4	5.2	0.8	9.6	0.8
男性 後期高齢者	118	93	33	15	9	1	12	0
	100.0	78.8	28.0	12.7	7.6	0.8	10.2	0.0
女性 後期高齢者	130	110	12	16	4	1	12	2
	100.0	84.6	9.2	12.3	3.1	0.8	9.2	1.5
(再掲) 85歳以上	38	31	7	8	2	0	1	1
	100.0	81.6	18.4	21.1	5.3	0.0	2.6	2.6
男性 (再掲) 85歳以上	16	14	3	3	1	0	0	0
	100.0	87.5	18.8	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0
女性 (再掲) 85歳以上	22	17	4	5	1	0	1	1
	100.0	77.3	18.2	22.7	4.5	0.0	4.5	4.5

「その他」の主な内容：「親しい友人」

(3) 「ふじさわ あんしんセンター」の認知度

問 43 成年後見制度や権利擁護に関する相談支援機関である「ふじさわ あんしんセンター※8」をご存じですか。(1つに○)

ふじさわあんしんセンターの認知状況については、「知っている、利用したことがある」(0.9%)、「知っているが、利用したことはない」(13.5%)を合わせて、『知っている』が14.4%となっています。一方、「知らない(今回の調査で知った)」は77.4%となっています。

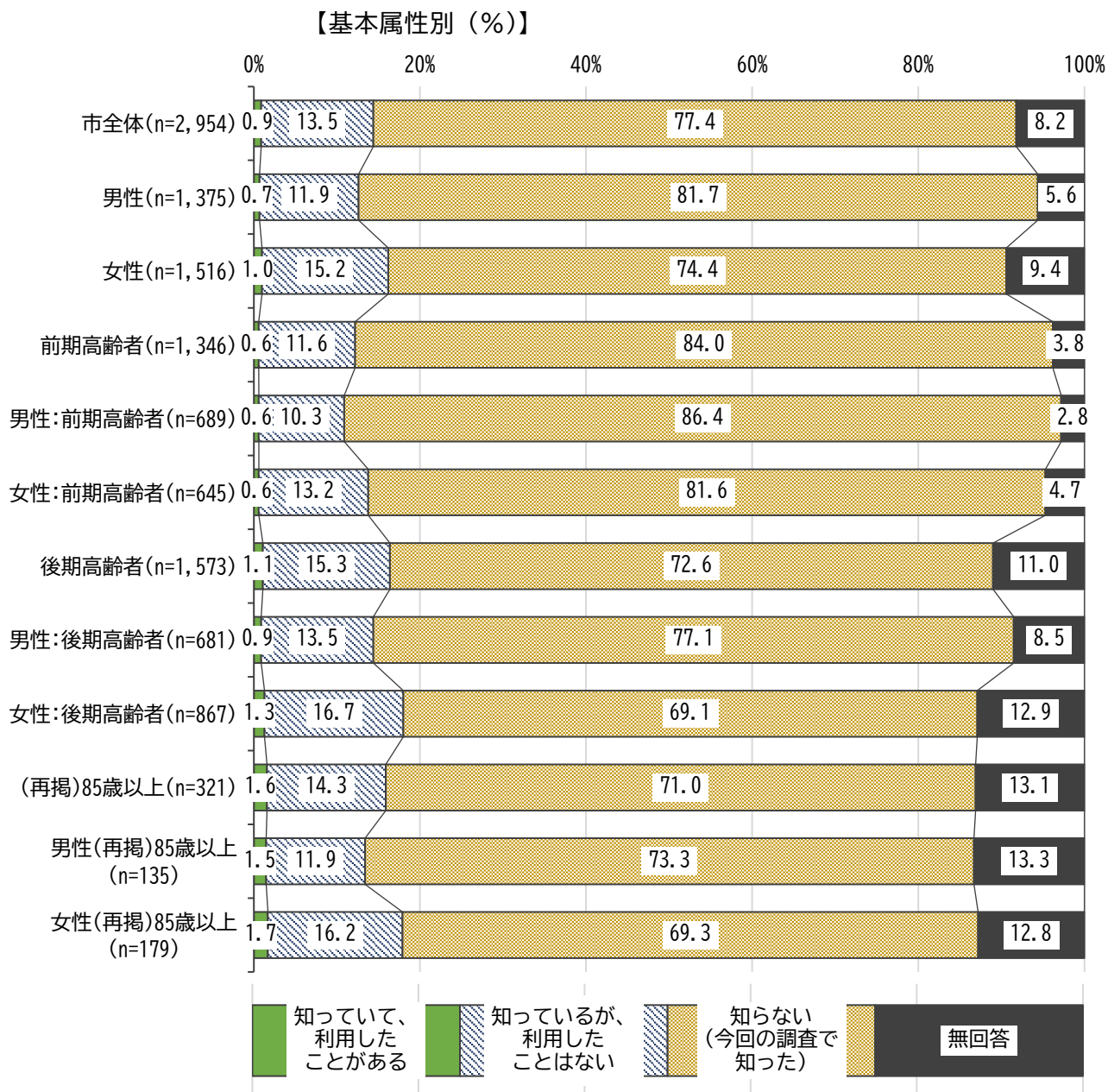


※8 ふじさわ あんしんセンターは、藤沢市社会福祉協議会が運営する、高齢者や障がい者の方などの成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用など、総合的な権利擁護に関する相談機関です。電話や窓口、訪問などによる相談のほか、毎月4回(第1～4水曜日)、弁護士、行政書士、司法書士、社会福祉士、税理士などによる専門相談も行っています。

第2章 調査結果の詳細

性別で見ると、男性では「知らない(今回の調査で知った)」、女性では「知っている、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「知らない(今回の調査で知った)」、後期高齢者では「知っている、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

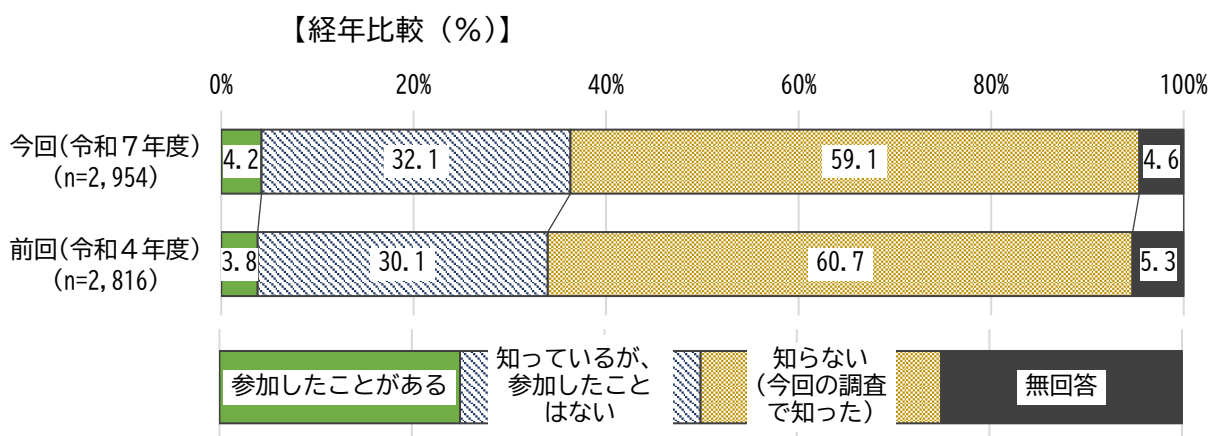


17. 介護予防事業について

(1) 介護予防実施の場の参加経験

問 44 市で実施している介護予防に関する講演会・講座や地域での住民主体の介護予防実施の場に参加したことがありますか。(1つに○)

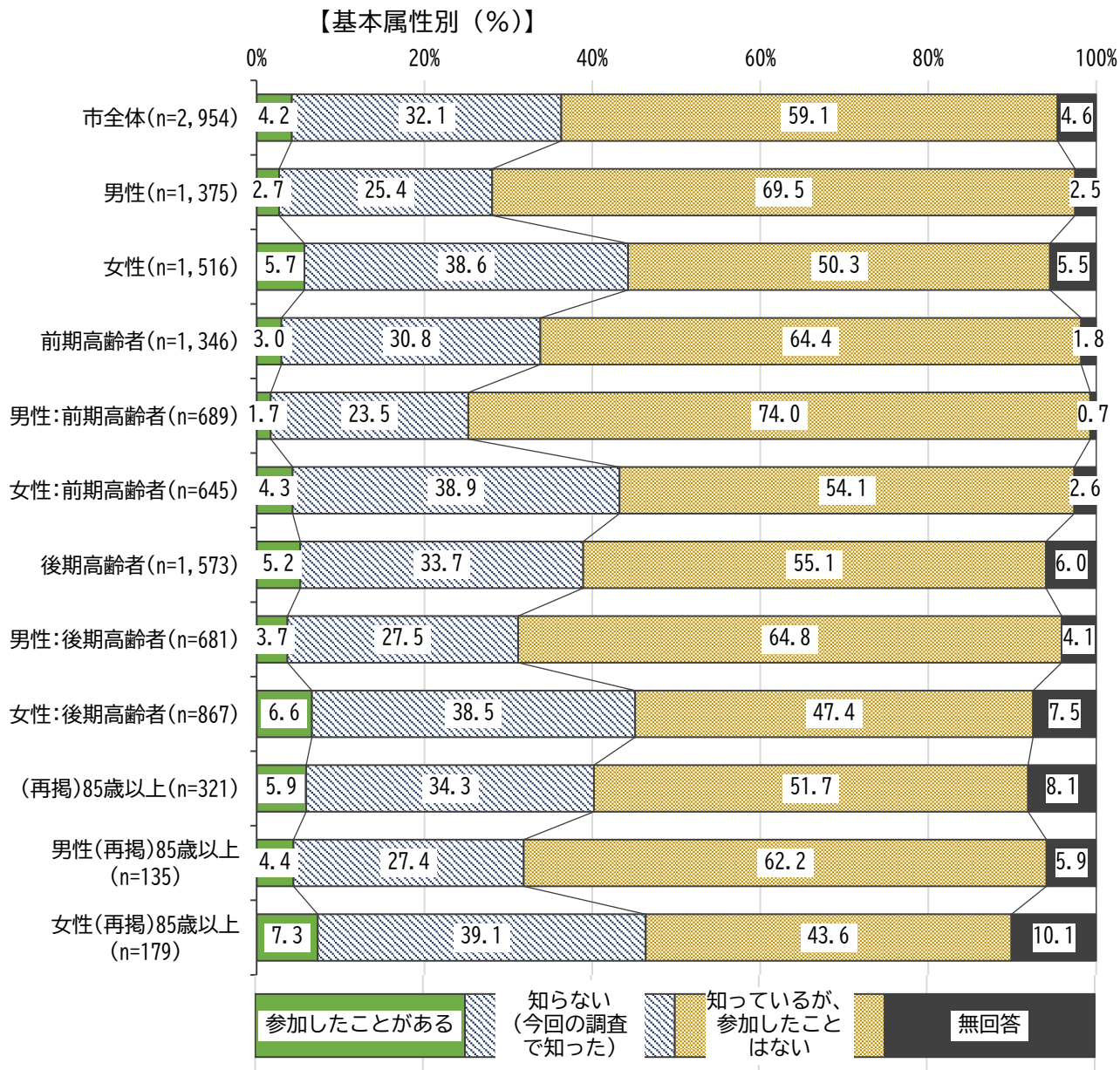
市で実施している介護予防に関する講演会・講座や地域での住民主体の介護予防実施の場への参加については、「参加したことがある」が4.2%、「知っているが、参加したことはない」が32.1%となっています。一方、「知らない(今回の調査で知った)」は59.1%となっています。



第2章 調査結果の詳細

性別で見ると、男性では「知らない(今回の調査で知った)」、女性では「知っているが、参加したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

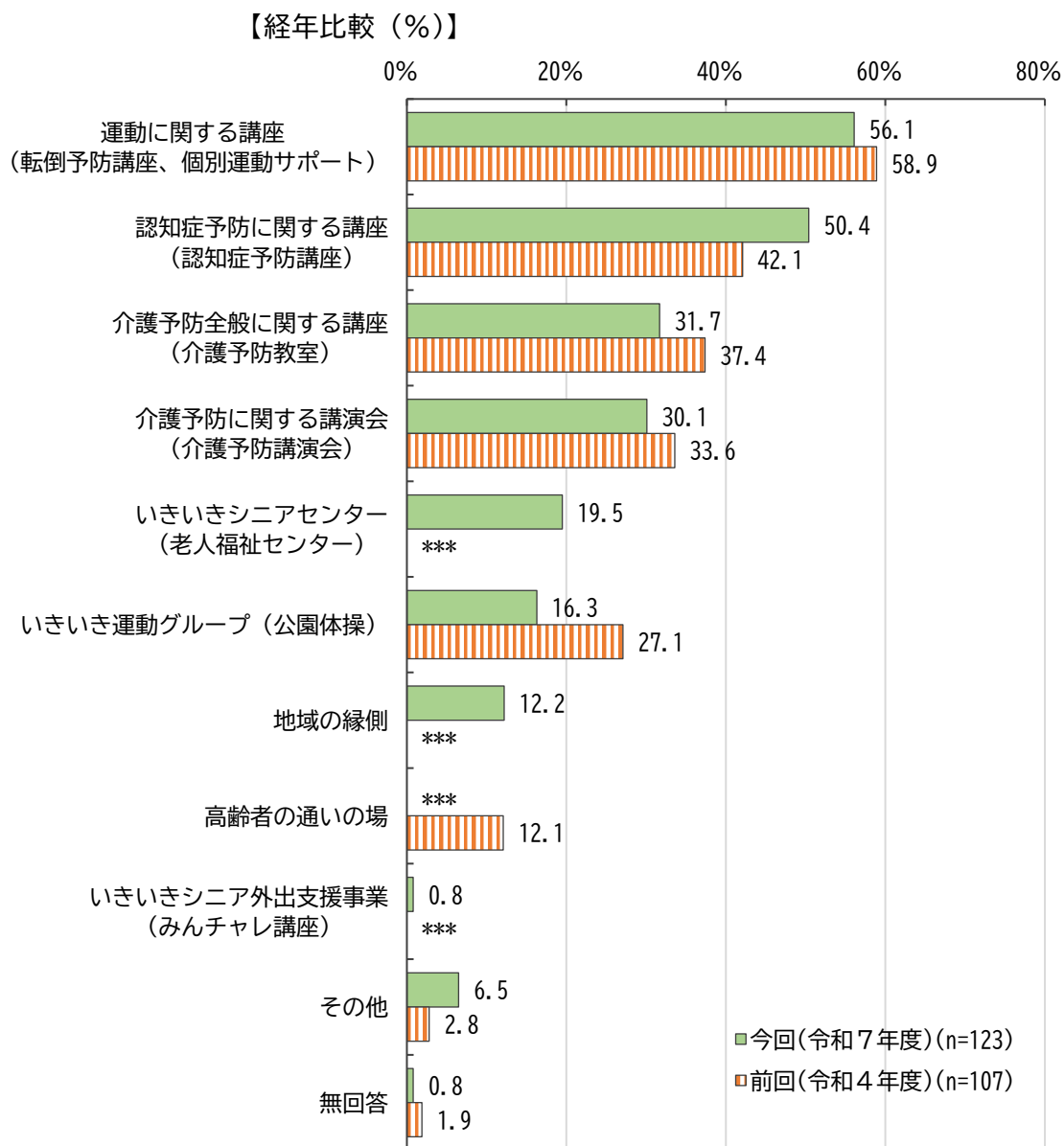
年齢別で見ると、前期高齢者では「知らない(今回の調査で知った)」、後期高齢者では「参加したことがある」、「知っているが、参加したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。



(2) 参加したことがある介護予防に関する講座や講演会、事業

問 44-1 《問 44 で「1. 参加したことがある」と回答した方にうかがいます。》
 次のうち、参加したことがある講座や講演会、事業は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

介護予防に関する事業に参加したことがある方で、参加した講座や講演会は「運動に関する講座(転倒予防講座)」が56.1%で最も高く、次いで「認知症予防に関する講座(認知症予防講座)」が50.4%、「介護予防全般に関する講座(介護予防教室)」が31.7%、「介護予防に関する講演会(介護予防講演会)」が30.1%の順で3割を超えています。



※令和4年度は「いきいきシニアセンター(老人福祉センター)」、「地域の縁側」、「いきいきシニア外出支援事業(みんチャレ講座)」の選択肢が、令和7年度は「高齢者の通いの場」の選択肢がないため、***表記としている。

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「介護予防に関する講演会（介護予防講演会）」、「いきいき運動グループ（公園体操）」など、女性では「運動に関する講座（転倒予防講座、個別運動サポート）」、「認知症予防に関する講座（認知症予防講座）」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「介護予防に関する講演会（介護予防講演会）」、「いきいき運動グループ（公園体操）」、後期高齢者では「運動に関する講座（転倒予防講座、個別運動サポート）」、「認知症予防に関する講座（認知症予防講座）」、「介護予防全般に関する講座（介護予防教室）」などの割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

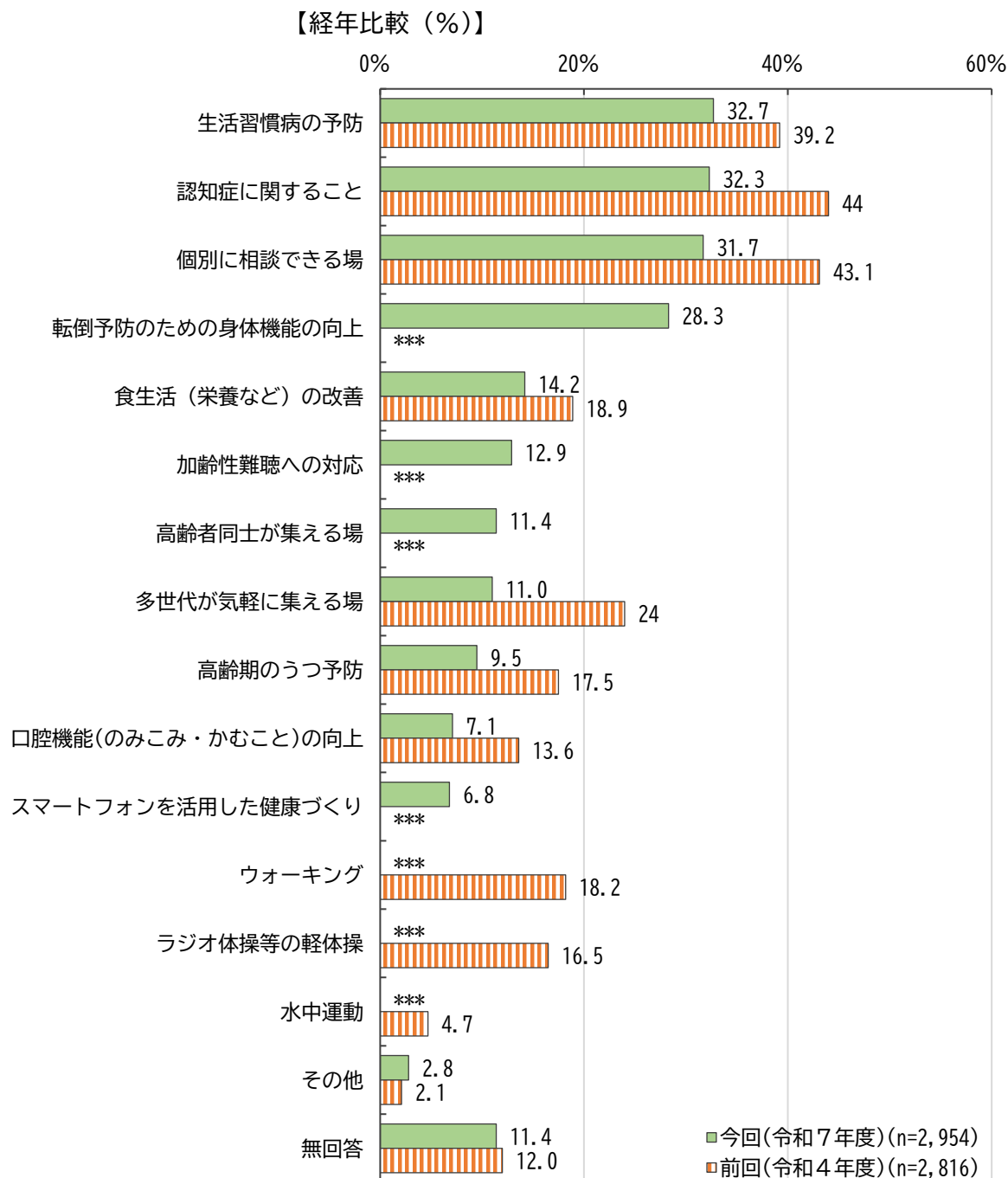
	n =	運動に関する講座 （転倒予防講座、個別運動サポート）	認知症予防に関する講座 （認知症予防講座）	介護予防全般に関する講座 （介護予防教室）	介護予防に関する講演会 （介護予防講演会）	いきいきシニアセンター （老人福祉センター）	いきいき運動グループ （公園体操）	地域の縁側	いきいきシニア外出支援事業 （みんチャレ講座）	その他	無回答
市全体	123	69	62	39	37	24	20	15	1	8	1
	100.0	56.1	50.4	31.7	30.1	19.5	16.3	12.2	0.8	6.5	0.8
男性	37	17	17	10	12	4	9	4	1	3	0
	100.0	45.9	45.9	27.0	32.4	10.8	24.3	10.8	2.7	8.1	0.0
女性	86	52	45	29	25	20	11	11	0	5	1
	100.0	60.5	52.3	33.7	29.1	23.3	12.8	12.8	0.0	5.8	1.2
前期高齢者	40	21	19	15	16	6	9	8	0	2	0
	100.0	52.5	47.5	37.5	40.0	15.0	22.5	20.0	0.0	5.0	0.0
男性 前期高齢者	12	5	5	2	6	0	3	1	0	1	0
	100.0	41.7	41.7	16.7	50.0	0.0	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0
女性 前期高齢者	28	16	14	13	10	6	6	7	0	1	0
	100.0	57.1	50.0	46.4	35.7	21.4	21.4	25.0	0.0	3.6	0.0
後期高齢者	82	47	43	24	20	18	10	7	1	6	1
	100.0	57.3	52.4	29.3	24.4	22.0	12.2	8.5	1.2	7.3	1.2
男性 後期高齢者	25	12	12	8	6	4	6	3	1	2	0
	100.0	48.0	48.0	32.0	24.0	16.0	24.0	12.0	4.0	8.0	0.0
女性 後期高齢者	57	35	31	16	14	14	4	4	0	4	1
	100.0	61.4	54.4	28.1	24.6	24.6	7.0	7.0	0.0	7.0	1.8
（再掲）85歳以上	19	10	10	6	4	1	0	1	0	2	1
	100.0	52.6	52.6	31.6	21.1	5.3	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3
男性（再掲）85歳以上	6	3	2	2	2	0	0	0	0	1	0
	100.0	50.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
女性（再掲）85歳以上	13	7	8	4	2	1	0	1	0	1	1
	100.0	53.8	61.5	30.8	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7

「その他」の主な内容：「誤えん性肺炎予防教室」、「認知症に関する講座」

(3) 介護予防・フレイル予防に関して、力を入れてほしいこと

問 45 介護予防・フレイル予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは、「生活習慣病の予防」が 32.7%と最も高く、次いで「認知症に関すること」32.3%、「個別に相談できる場」31.7%の順となっています。



※令和4年度と令和7年度でいずれか一方の年度にのみある選択肢は、ない方の年度を***表記としている。

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「生活習慣病の予防」、「認知症に関すること」、「個別に相談できる場」などが、女性では「転倒予防のための身体機能の向上」、「食生活（栄養など）の改善」、「加齢性難聴への対応」、「高齢者同士が集える場」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「生活習慣病の予防」、「認知症に関すること」、「個別に相談できる場」などが、後期高齢者では「転倒予防のための身体機能の向上」、「食生活（栄養など）の改善」、「加齢性難聴への対応」、「高齢者同士が集える場」などの割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

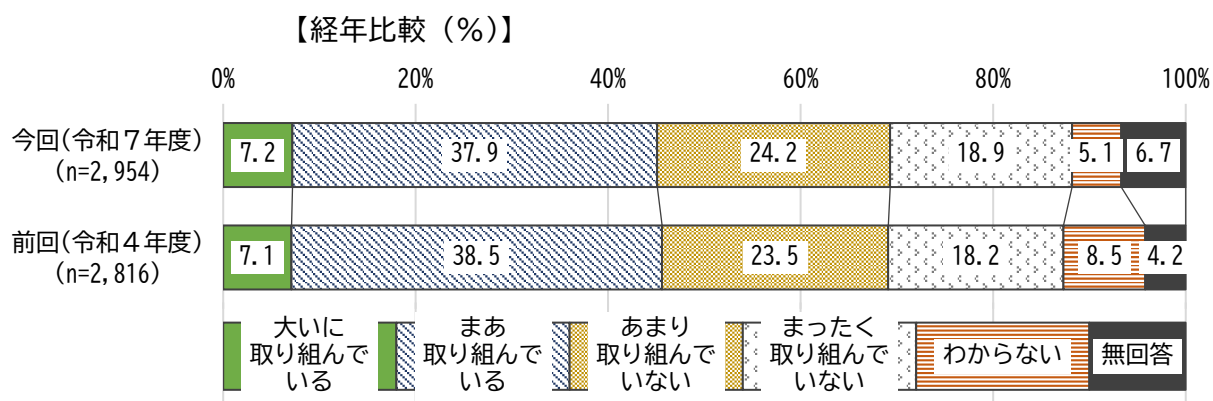
	n =	生活習慣病の予防	認知症に関すること	個別に相談できる場	転倒予防のための身体機能の向上	食生活（栄養など）の改善	加齢性難聴への対応	高齢者同士が集える場	多世代が気軽に集える場	高齢期のうつ予防	口腔機能の向上	スマートフォンを活用した健康づくり	その他	無回答
市全体	2,954	966	954	937	835	419	382	338	325	280	209	201	84	338
	100.0	32.7	32.3	31.7	28.3	14.2	12.9	11.4	11.0	9.5	7.1	6.8	2.8	11.4
男性	1,375	508	500	465	309	191	175	131	140	129	100	96	46	122
	100.0	36.9	36.4	33.8	22.5	13.9	12.7	9.5	10.2	9.4	7.3	7.0	3.3	8.9
女性	1,516	443	445	461	513	221	200	204	180	149	103	104	37	190
	100.0	29.2	29.4	30.4	33.8	14.6	13.2	13.5	11.9	9.8	6.8	6.9	2.4	12.5
前期高齢者	1,346	449	453	515	362	183	144	139	166	138	107	128	45	87
	100.0	33.4	33.7	38.3	26.9	13.6	10.7	10.3	12.3	10.3	7.9	9.5	3.3	6.5
男性 前期高齢者	689	254	257	264	132	93	69	67	79	74	52	65	30	39
	100.0	36.9	37.3	38.3	19.2	13.5	10.0	9.7	11.5	10.7	7.5	9.4	4.4	5.7
女性 前期高齢者	645	190	194	248	227	88	74	71	86	63	53	63	15	47
	100.0	29.5	30.1	38.4	35.2	13.6	11.5	11.0	13.3	9.8	8.2	9.8	2.3	7.3
後期高齢者	1,573	512	496	418	464	231	237	199	156	140	100	71	39	231
	100.0	32.5	31.5	26.6	29.5	14.7	15.1	12.7	9.9	8.9	6.4	4.5	2.5	14.7
男性 後期高齢者	681	253	241	200	174	95	105	64	61	53	46	31	16	83
	100.0	37.2	35.4	29.4	25.6	14.0	15.4	9.4	9.0	7.8	6.8	4.6	2.3	12.2
女性 後期高齢者	867	252	250	213	284	132	126	133	92	86	50	40	22	142
	100.0	29.1	28.8	24.6	32.8	15.2	14.5	15.3	10.6	9.9	5.8	4.6	2.5	16.4
(再掲) 85歳以上	321	99	92	72	95	52	63	51	26	22	21	7	9	58
	100.0	30.8	28.7	22.4	29.6	16.2	19.6	15.9	8.1	6.9	6.5	2.2	2.8	18.1
男性 (再掲) 85歳以上	135	48	37	38	33	25	22	12	11	8	7	6	4	23
	100.0	35.6	27.4	28.1	24.4	18.5	16.3	8.9	8.1	5.9	5.2	4.4	3.0	17.0
女性 (再掲) 85歳以上	179	49	54	33	61	26	39	38	12	14	13	1	5	33
	100.0	27.4	30.2	18.4	34.1	14.5	21.8	21.2	6.7	7.8	7.3	0.6	2.8	18.4

「その他」の主な内容：「人にされる事では無く、自分自身がやる事だと思う」、「加齢による心身の変化を本人が認識・受容するための啓発活動」

(4) 普段の介護予防の取り組み状況

問 46 普段、介護予防にどのくらい取り組んでいますか。(1つに○)

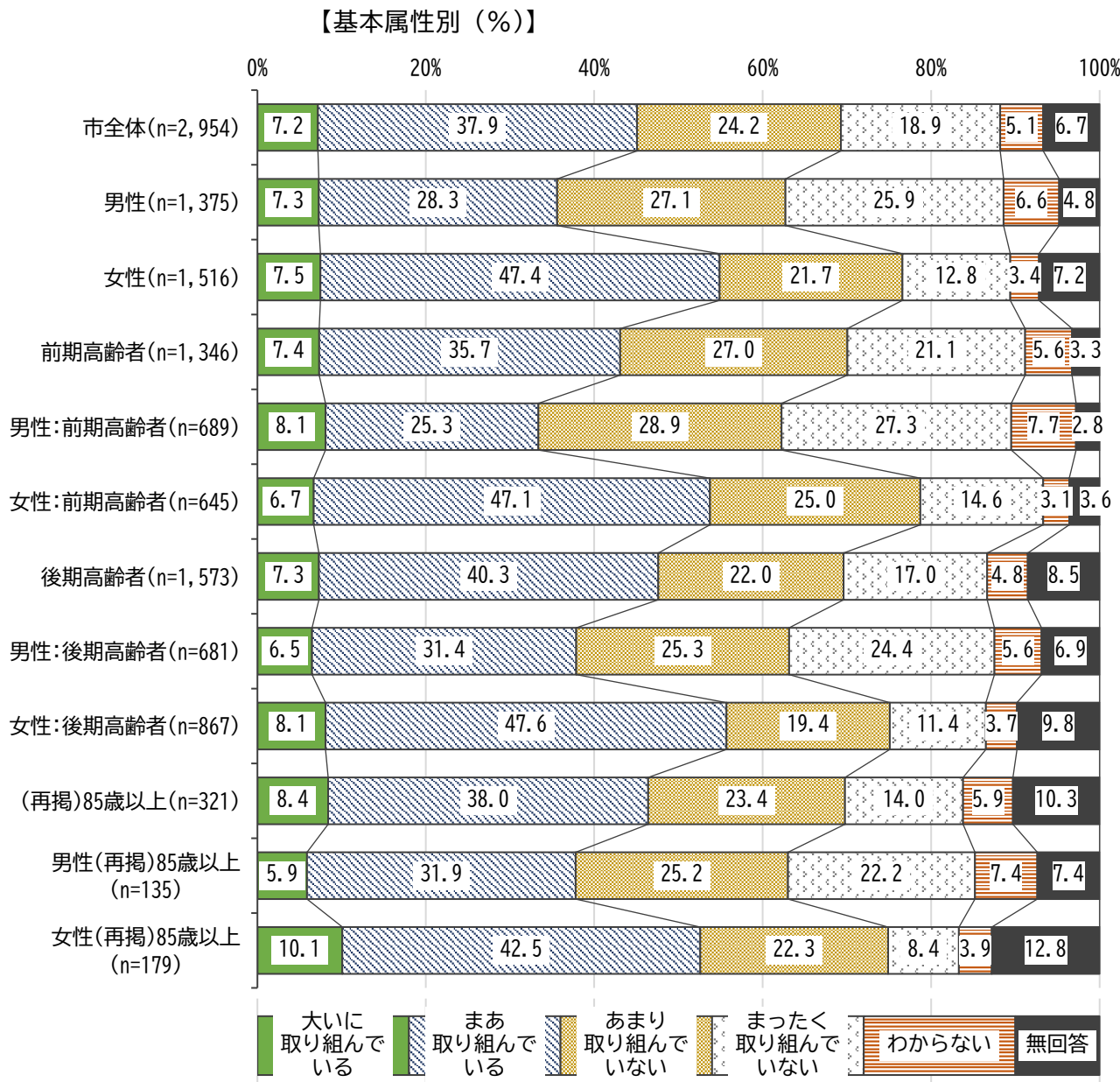
普段の介護予防の取り組み状況は、「大いに取り組んでいる」が 7.2%、「まあ取り組んでいる」が 37.9%、「あまり取り組んでいない」が 24.2%、「まったく取り組んでいない」が 18.9% となっています。「大いに取り組んでいる」、「まあ取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』が 45.1%、「あまり取り組んでいない」と「まったく取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』が 43.1% となっています。



第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「あまり取り組んでいない」と「まったく取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』、女性では「大いに取り組んでいる」、「まあ取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』の割合が全体に対して高くなっています。

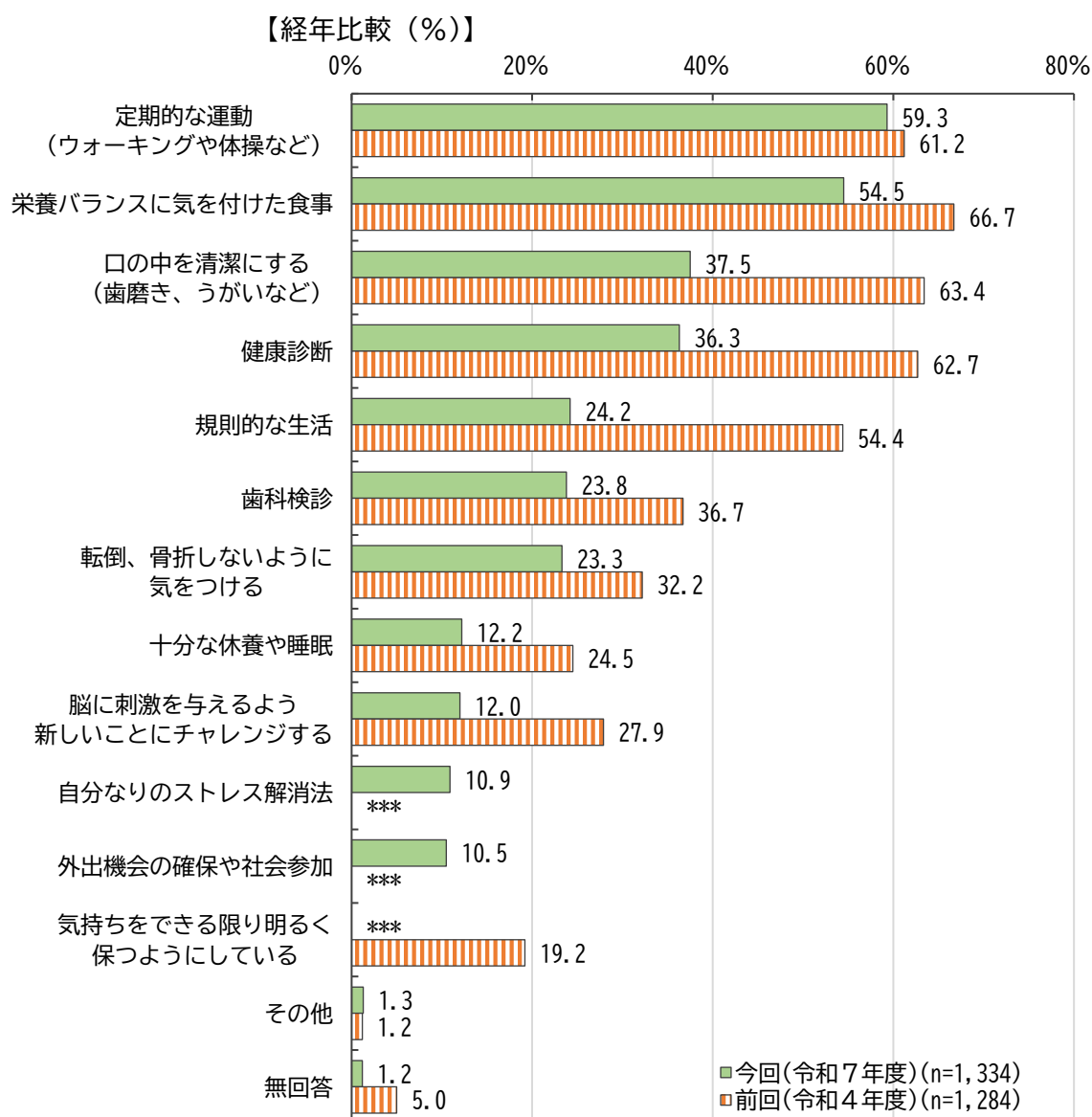
年齢別でみると、前期高齢者で『取り組んでいない』、後期高齢者で『取り組んでいる』の割合が全体に対して高くなっています。



(5) 介護予防の具体的な取り組み

問 46-1 《問 46 で「1. 大いに取り組んでいる」、「2. まあ取り組んでいる」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 普段、介護予防としてどのようなことに取り組んでいますか。
 (特にあてはまるもの3つまでに○)

介護予防に取り組んでいる方の具体的な取り組みは、「定期的な運動(ウォーキングや体操など)」が59.3%、次いで「栄養バランスに気を付けた食事」が54.5%、「口の中を清潔にする(歯磨き、うがいなど)」37.5%、「健康診断」が36.3%、「規則的な生活」が24.2%の順となっています。



※令和4年度は(特にあてはまるもの5つまでに○)のため、選択肢の割合に乖離が見られる。

※令和4年度は「自分なりのストレス解消法」、「外出機会の確保や社会参加」の選択肢が、令和7年度は「気持ちをできる限り明るく保つようにしている」の選択肢がないため、それぞれ***表記としている。

第2章 調査結果の詳細

性別で見ると、男性では「定期的な運動（ウォーキングや体操など）」、「健康診断」、「規則的な生活」などが、女性では「栄養バランスに気を付けた食事」、「口の中を清潔にする（歯磨き、うがいなど）」、「歯科健診」、「転倒、骨折しないように気をつける」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者で「定期的な運動（ウォーキングや体操など）」、「規則的な生活」、「歯科健診」などが、後期高齢者では「栄養バランスに気を付けた食事」、「口の中を清潔にする（歯磨き、うがいなど）」、「健康診断」、「転倒、骨折しないように気をつける」、「十分な休養や睡眠」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	定期的な運動 （ウォーキングや 体操など）	栄養 バランス に気を付けた食事	口の中を清潔にする （歯磨き、 うがいなど）	健康 診断	規則 的な生活	歯 科健診	転倒、 骨折 しない ように 気を つ ける	十 分な 休養 や 睡 眠	脳に 刺激 を 与 え る よ う 新 し い こ と に チャ レ ン ジ す る	自 分 な り の ス ト レ ス 解 消 法	外 出 機 会 の 確 保 や 社 会 参 加	そ の 他	無 回 答
市全体	1,334	791	727	500	484	323	317	311	163	160	145	140	17	16
	100.0	59.3	54.5	37.5	36.3	24.2	23.8	23.3	12.2	12.0	10.9	10.5	1.3	1.2
男性	489	344	230	170	214	129	100	53	56	61	46	58	7	3
	100.0	70.3	47.0	34.8	43.8	26.4	20.4	10.8	11.5	12.5	9.4	11.9	1.4	0.6
女性	832	441	490	326	267	190	213	255	103	98	98	80	10	13
	100.0	53.0	58.9	39.2	32.1	22.8	25.6	30.6	12.4	11.8	11.8	9.6	1.2	1.6
前期高齢者	580	376	302	206	205	151	147	95	60	76	71	73	10	5
	100.0	64.8	52.1	35.5	35.3	26.0	25.3	16.4	10.3	13.1	12.2	12.6	1.7	0.9
男性 前期高齢者	230	173	112	75	90	65	41	17	25	29	22	33	4	0
	100.0	75.2	48.7	32.6	39.1	28.3	17.8	7.4	10.9	12.6	9.6	14.3	1.7	0.0
女性 前期高齢者	347	201	189	131	114	84	105	77	35	46	49	39	6	5
	100.0	57.9	54.5	37.8	32.9	24.2	30.3	22.2	10.1	13.3	14.1	11.2	1.7	1.4
後期高齢者	749	413	422	291	278	172	170	214	102	84	74	67	7	10
	100.0	55.1	56.3	38.9	37.1	23.0	22.7	28.6	13.6	11.2	9.9	8.9	0.9	1.3
男性 後期高齢者	258	171	118	95	124	64	59	36	31	32	24	25	3	2
	100.0	66.3	45.7	36.8	48.1	24.8	22.9	14.0	12.0	12.4	9.3	9.7	1.2	0.8
女性 後期高齢者	483	238	300	193	152	106	108	178	68	52	49	41	4	8
	100.0	49.3	62.1	40.0	31.5	21.9	22.4	36.9	14.1	10.8	10.1	8.5	0.8	1.7
（再掲）85歳以上	149	73	93	63	44	50	33	55	25	18	15	13	1	2
	100.0	49.0	62.4	42.3	29.5	33.6	22.1	36.9	16.8	12.1	10.1	8.7	0.7	1.3
男性（再掲）85歳以上	51	28	27	18	19	19	9	11	6	8	4	7	0	1
	100.0	54.9	52.9	35.3	37.3	37.3	17.6	21.6	11.8	15.7	7.8	13.7	0.0	2.0
女性（再掲）85歳以上	94	43	63	44	25	29	23	44	17	10	11	5	1	1
	100.0	45.7	67.0	46.8	26.6	30.9	24.5	46.8	18.1	10.6	11.7	5.3	1.1	1.1

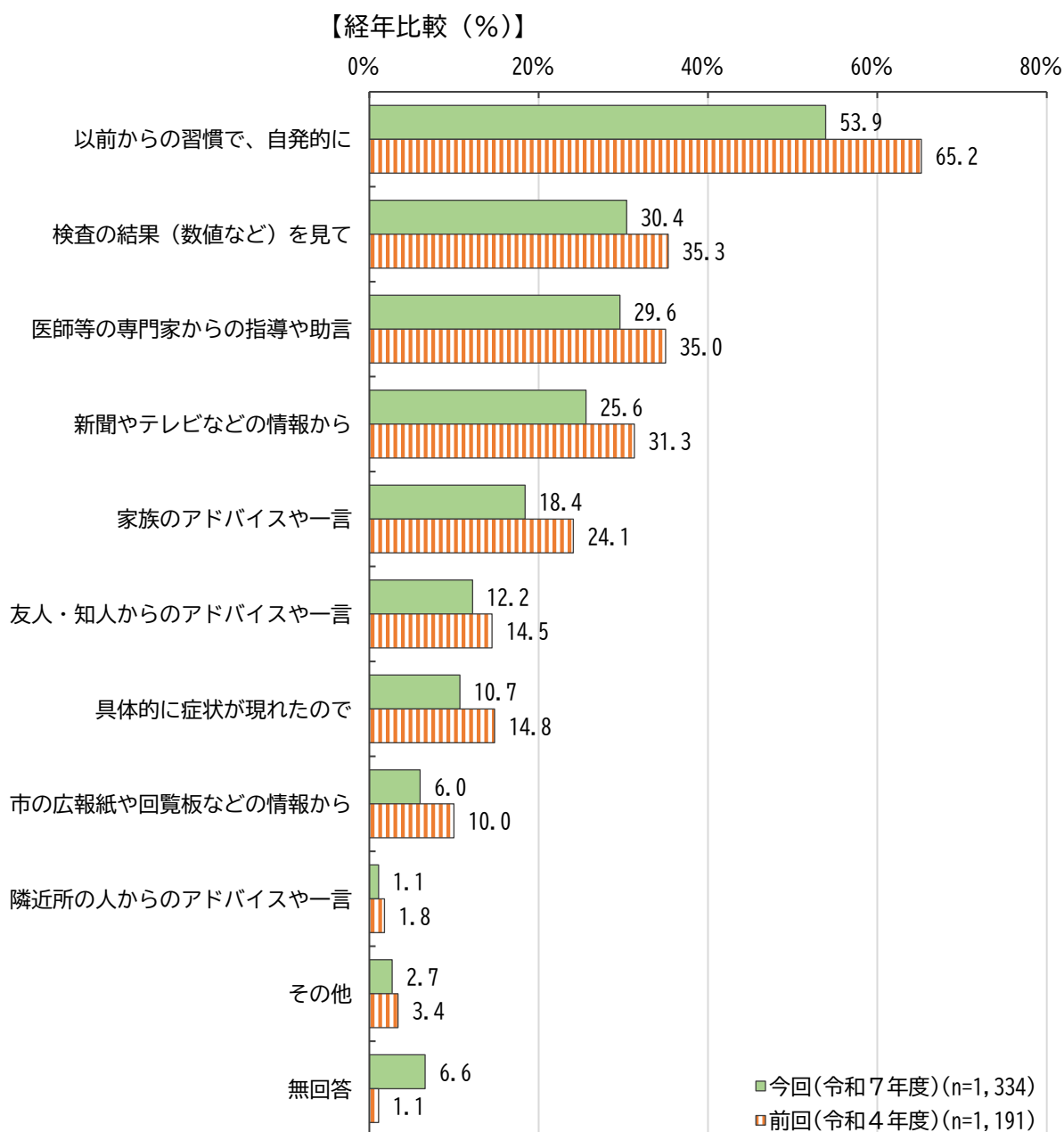
「その他」の主な内容：「家族以外の人との会話」、「一応全部やっているつもりですが…」

(6) 介護予防に取り組むことになった主なきっかけ

問 46-2 《問 46 で「1. 大いに取り組んでいる」、「2. まあ取り組んでいる」のいずれかを回答した方にうかがいます。》

取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

介護予防に取り組むことになった主なきっかけは、「以前からの習慣で、自発的に」が 53.9%と最も高く、次いで「検査の結果（数値など）を見て」が 30.4%、「医師等の専門家からの指導や助言」が 29.6%、「新聞やテレビなどの情報から」が 25.6%の順となっています。



※令和4年度は（特にあてはまるもの5つまでに○）のため、選択肢の割合に乖離が見られる。

第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「検査の結果（数値など）を見て」、「医師等の専門家からの指導や助言」、「家族のアドバイスや一言」などが、女性では「以前からの習慣で、自発的に」、「新聞やテレビなどのマスコミの情報から」、「友人・知人からのアドバイスや一言」、「具体的に症状が現れたので」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者で「具体的に症状が現れたので」、後期高齢者では「医師等の専門家からの指導や助言」、「新聞やテレビなどの情報から」、「家族のアドバイスや一言」、「友人・知人からのアドバイスや一言」、「市の広報紙や回覧板などの情報から」、「隣近所の人からのアドバイスや一言」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	以前からの習慣で、自発的に	検査の結果（数値など）を見て	医師等の専門家からの指導や助言	新聞やテレビなどの情報から	家族のアドバイスや一言	友人・知人からのアドバイスや一言	具体的に症状が現れたので	市の広報紙や回覧板などの情報から	隣近所の人からのアドバイスや一言	その他	無回答
市全体	1,334	719	406	395	342	245	163	143	80	15	36	88
	100.0	53.9	30.4	29.6	25.6	18.4	12.2	10.7	6.0	1.1	2.7	6.6
男性	489	245	170	173	106	132	49	46	27	7	8	34
	100.0	50.1	34.8	35.4	21.7	27.0	10.0	9.4	5.5	1.4	1.6	7.0
女性	832	468	233	217	233	110	112	97	52	8	28	53
	100.0	56.3	28.0	26.1	28.0	13.2	13.5	11.7	6.3	1.0	3.4	6.4
前期高齢者	580	306	162	169	131	94	55	72	23	5	22	36
	100.0	52.8	27.9	29.1	22.6	16.2	9.5	12.4	4.0	0.9	3.8	6.2
男性 前期高齢者	230	127	66	73	47	47	16	20	8	3	7	16
	100.0	55.2	28.7	31.7	20.4	20.4	7.0	8.7	3.5	1.3	3.0	7.0
女性 前期高齢者	347	178	96	93	83	46	38	52	15	2	15	20
	100.0	51.3	27.7	26.8	23.9	13.3	11.0	15.0	4.3	0.6	4.3	5.8
後期高齢者	749	411	242	225	208	150	108	71	55	10	14	51
	100.0	54.9	32.3	30.0	27.8	20.0	14.4	9.5	7.3	1.3	1.9	6.8
男性 後期高齢者	258	118	104	100	59	85	33	26	19	4	1	17
	100.0	45.7	40.3	38.8	22.9	32.9	12.8	10.1	7.4	1.6	0.4	6.6
女性 後期高齢者	483	289	136	123	149	63	74	45	36	6	13	33
	100.0	59.8	28.2	25.5	30.8	13.0	15.3	9.3	7.5	1.2	2.7	6.8
(再掲) 85歳以上	149	82	41	51	42	38	21	15	13	4	2	9
	100.0	55.0	27.5	34.2	28.2	25.5	14.1	10.1	8.7	2.7	1.3	6.0
男性 (再掲) 85歳以上	51	21	13	20	7	22	8	6	4	2	0	7
	100.0	41.2	25.5	39.2	13.7	43.1	15.7	11.8	7.8	3.9	0.0	13.7
女性 (再掲) 85歳以上	94	58	28	31	35	15	13	9	9	2	2	2
	100.0	61.7	29.8	33.0	37.2	16.0	13.8	9.6	9.6	2.1	2.1	2.1

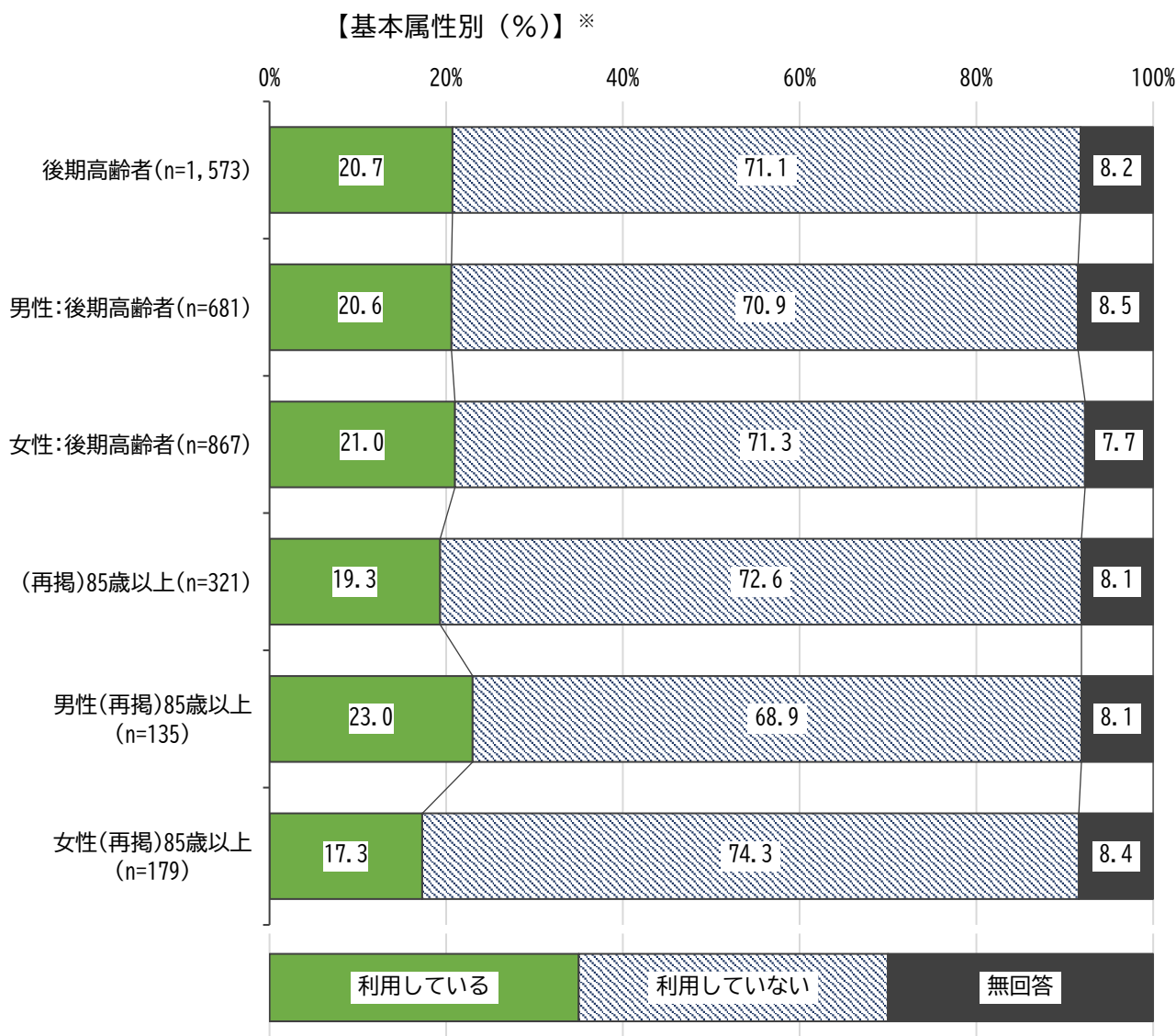
「その他」の主な内容：「一人暮らしになった為」、「以前、転倒、骨折した事がある為」

18. 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用助成、ふれあい入浴事業について

(1) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用状況

問 47 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券※⁹を利用されていますか。(1つに○)

高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用状況は、男性の85歳以上では、「利用している」が23.0%で、女性の85歳以上と比べて5.7ポイント高くなっています。



※本事業は対象者が75歳以上のため、後期高齢者と85歳以上のみ掲載している。

※⁹ 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券とは、市内在住の75歳以上の方を対象に、高齢者の健康増進と介護予防のきっかけづくりのために交付している利用券で、市内指定のはり・きゅう・マッサージ施設約140施設で利用できます。

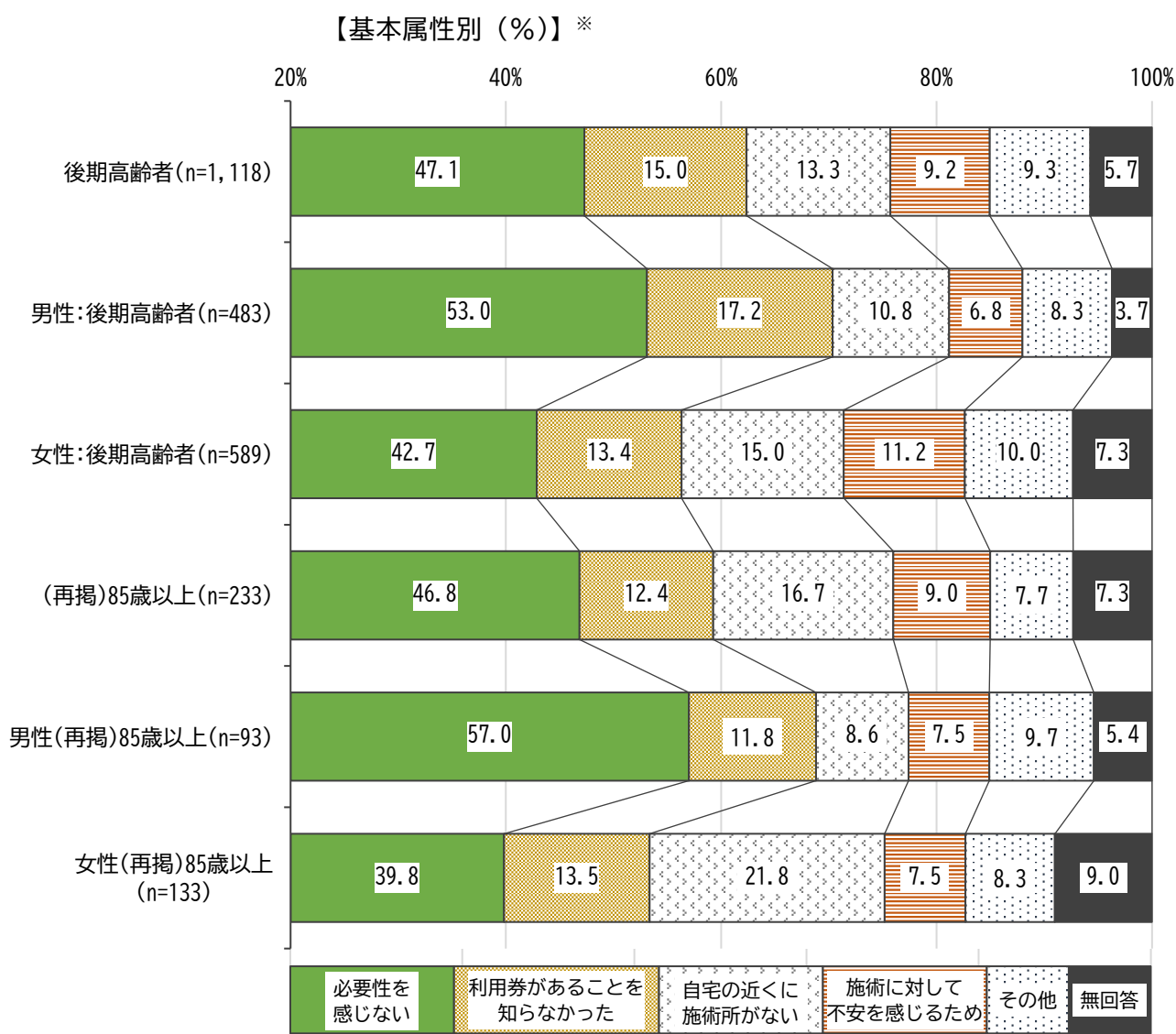
第2章 調査結果の詳細

(2) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券を利用していない理由

問 47-1 《問 47 で「2. 利用していない」と回答した方にかがいます。》
 利用していない理由は何ですか。(1つに〇)

高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券を利用していない理由は、後期高齢者では「必要性を感じない」が47.1%、「利用券があることを知らなかった」が15.0%、「自宅の近くに施術所がない」13.3%の順となっています。

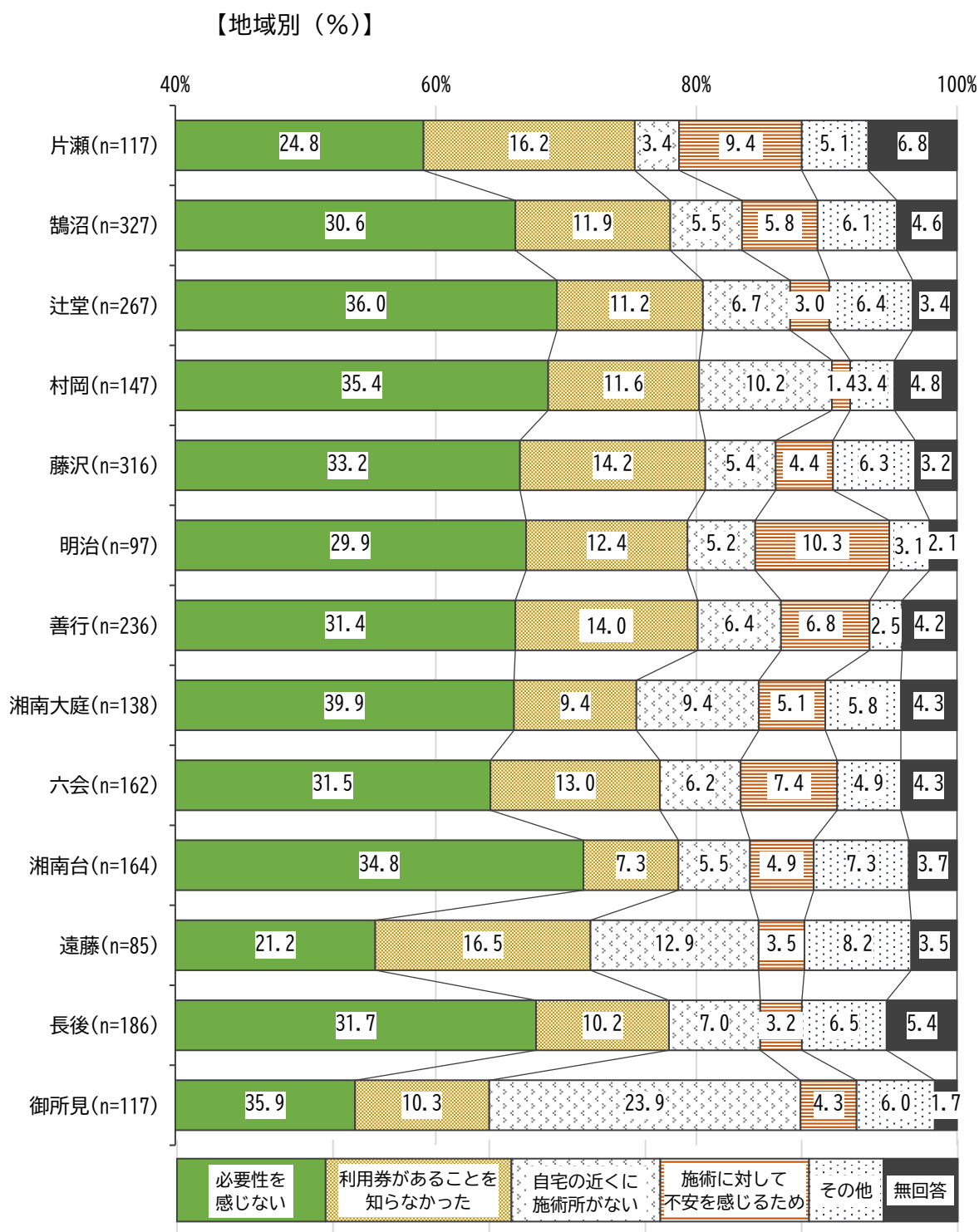
性別でみると、男性の後期高齢者は「必要性を感じない」、「利用券があることを知らなかった」が、女性の後期高齢者は「自宅の近くに施術所がない」、「施術に対して不安を感じるため」が全体の割合に対して高くなっています。



※本事業は対象者が75歳以上のため、調査時の選択肢「助成対象外(75歳未満)」は除外した20%始まりのグラフとし、結果も後期高齢者と85歳以上のみ掲載している。

「その他」の主な内容：「かかりつけの鍼灸院がある」、「定期的な運動をしている」

地域別でみると、いずれも「必要性を感じない」が最も高くなっています。一方で、「利用券があることを知らなかった」が全体より高くなっている地域は、片瀬、藤沢、明治、善行、六会、遠藤となっています。



※本事業は対象者が75歳以上のため、調査時の選択肢「助成対象外(75歳未満)」は除外した40%始まりのグラフとしている

第2章 調査結果の詳細

今後優先すべきと考える高齢者施策別（問50）でみると、「必要性を感じない」方は「高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保」や「隣近所の助けあいやボランティア活動への支援で、「利用券があることを知らなかった」方は「はり・きゅう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充」で割合が特に高くなっています。

【今後優先すべきと考える高齢者施策別（上段：人数、下段：％）】

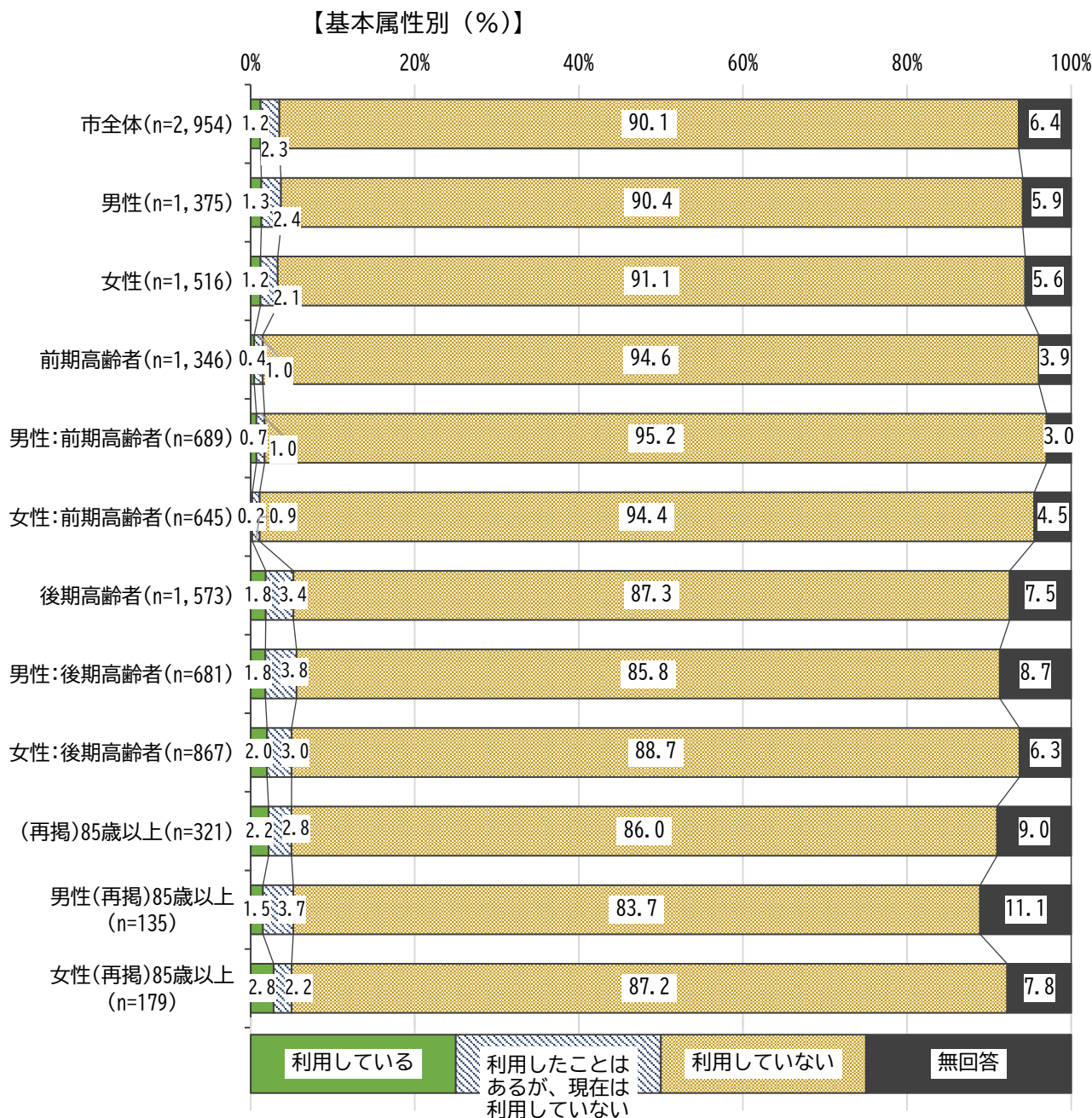
		n=	い 必要 性を 感じ な	た と 利用 券が ある こ	術 所が ない に 施	安 施 術に 対し て不 安を 感じ るた め	そ の 他	無 回 答	助 成 対 象 外 (75 歳 未 満)
市全体		2,368	769	287	177	122	131	97	785
		100.0	32.5	12.1	7.5	5.2	5.5	4.1	33.2
問 50 今 後 優 先 す べ き と 考 え る 高 齢 者 施 策	高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制	1,152	360	153	90	61	56	40	392
		100.0	31.3	13.3	7.8	5.3	4.9	3.5	34.0
	高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制	374	123	55	35	16	11	18	116
		100.0	32.9	14.7	9.4	4.3	2.9	4.8	31.0
	一人暮らし高齢者の支援	992	336	121	65	43	41	39	347
		100.0	33.9	12.2	6.6	4.3	4.1	3.9	35.0
	災害時の支援	729	243	93	45	29	32	23	264
		100.0	33.3	12.8	6.2	4.0	4.4	3.2	36.2
	24時間365日、緊急時に連絡できる体制	751	215	93	55	39	37	21	291
		100.0	28.6	12.4	7.3	5.2	4.9	2.8	38.7
	認知症高齢者やその家族に対する支援	558	173	56	41	33	30	18	207
		100.0	31.0	10.0	7.3	5.9	5.4	3.2	37.1
	高齢者に対する虐待防止についての対策	40	11	7	1	1	4	1	15
		100.0	27.5	17.5	2.5	2.5	10.0	2.5	37.5
	健康づくりや介護予防に関する事業	344	116	38	24	17	15	8	126
		100.0	33.7	11.0	7.0	4.9	4.4	2.3	36.6
	高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援	249	81	29	25	11	10	7	86
		100.0	32.5	11.6	10.0	4.4	4.0	2.8	34.5
	外出支援（バス・タクシーなどの移動手段の確保）	874	254	104	77	58	55	36	290
		100.0	29.1	11.9	8.8	6.6	6.3	4.1	33.2
高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保	121	47	11	8	6	7	6	36	
	100.0	38.8	9.1	6.6	5.0	5.8	5.0	29.8	
隣近所の助けあいやボランティア活動への支援	97	47	8	5	6	4	7	20	
	100.0	48.5	8.2	5.2	6.2	4.1	7.2	20.6	
高齢者の働く場の確保	274	68	33	10	6	7	5	145	
	100.0	24.8	12.0	3.6	2.2	2.6	1.8	52.9	
高齢者の権利（人権、財産など）を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備	193	62	22	11	13	10	8	67	
	100.0	32.1	11.4	5.7	6.7	5.2	4.1	34.7	
高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス（紙おむつの支給など）	316	106	33	30	19	17	17	94	
	100.0	33.5	10.4	9.5	6.0	5.4	5.4	29.7	
要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス（訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）など）の拡充	713	229	66	52	45	43	22	256	
	100.0	32.1	9.3	7.3	6.3	6.0	3.1	35.9	
要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）の整備	509	157	57	31	34	33	14	183	
	100.0	30.8	11.2	6.1	6.7	6.5	2.8	36.0	
デジタルデバイス対策（スマホ教室など）	171	48	15	17	7	8	13	63	
	100.0	28.1	8.8	9.9	4.1	4.7	7.6	36.8	
はり・きゅう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充	172	17	33	12	5	11	8	86	
	100.0	9.9	19.2	7.0	2.9	6.4	4.7	50.0	
特になし	123	52	15	8	1	11	8	28	
	100.0	42.3	12.2	6.5	0.8	8.9	6.5	22.8	
その他	35	8	8	1	2	5	5	6	
	100.0	22.9	22.9	2.9	5.7	14.3	14.3	17.1	

(3) ふれあい入浴事業の利用状況

問 48 ふれあい入浴事業※10を利用されていますか。(1つに○)

ふれあい入浴事業の利用状況は、「利用していない」が90.1%、「利用したことはあるが、現在は利用していない」が2.3%、「利用している」が1.2%となっています。

年齢別で見ると、後期高齢者では「利用している」が全体の割合に対して多くなっています。



※10 ふれあい入浴事業とは、市内2か所の公衆浴場で入浴料金が割引になるサービスです。

(4) ふれあい入浴事業を利用しない理由

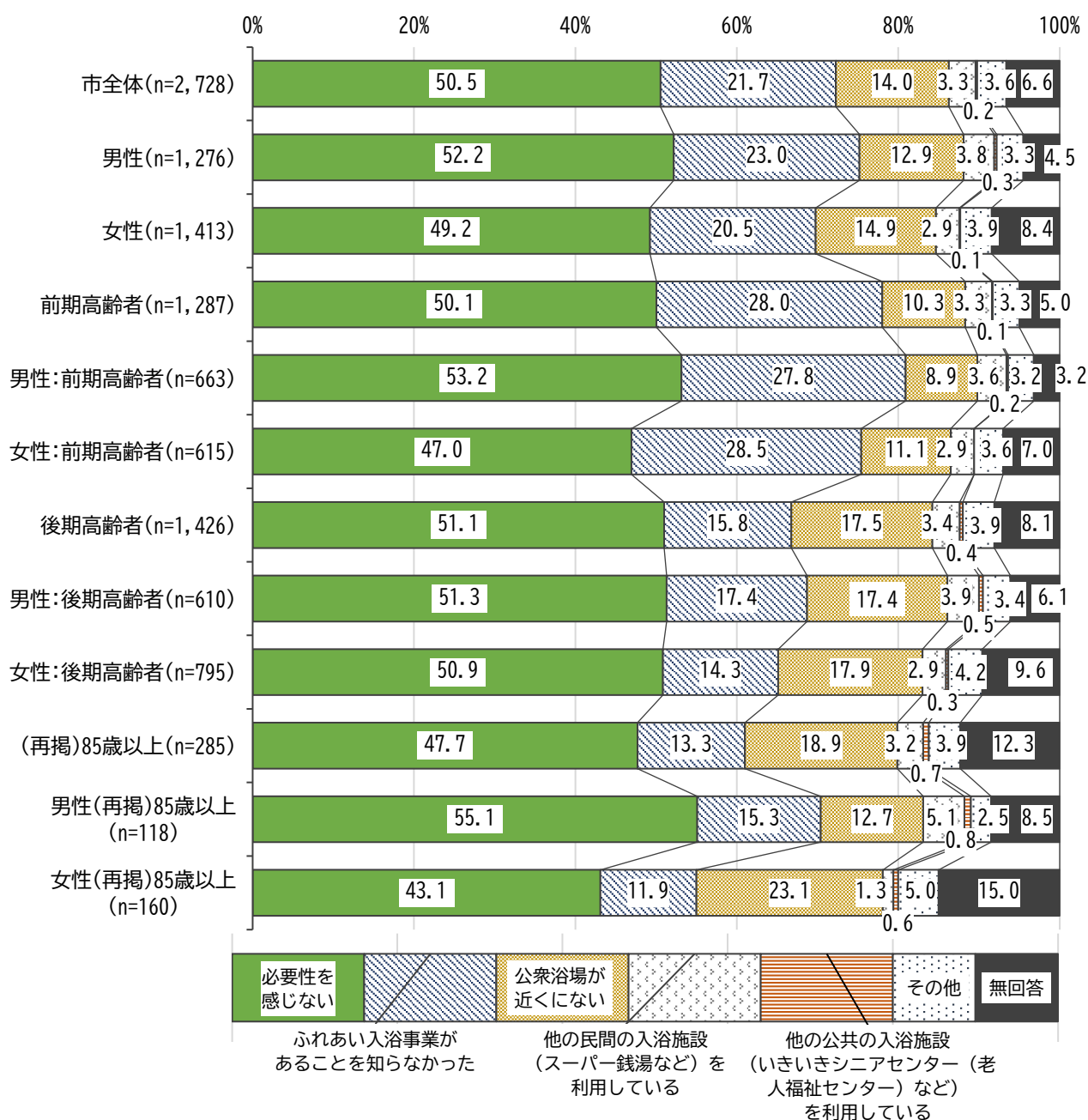
問 48-1 《問 48 で「2. 利用したことはあるが、現在は利用していない」、「3. 利用していない」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 利用していない、または利用しなくなった理由は何ですか。(1つに○)

ふれあい入浴事業を利用していない理由は、「必要性を感じない」方が 50.5%と最も高く、次いで「ふれあい入浴事業があることを知らなかった」方が 21.7%、「公衆浴場が近くにない」が 14.0%、の順となっています。

性別で見ると、男性では「必要性を感じない」、「ふれあい入浴事業があることを知らなかった」などが、女性では「公衆浴場が近くにない」が全体の割合に対して高くなっています。

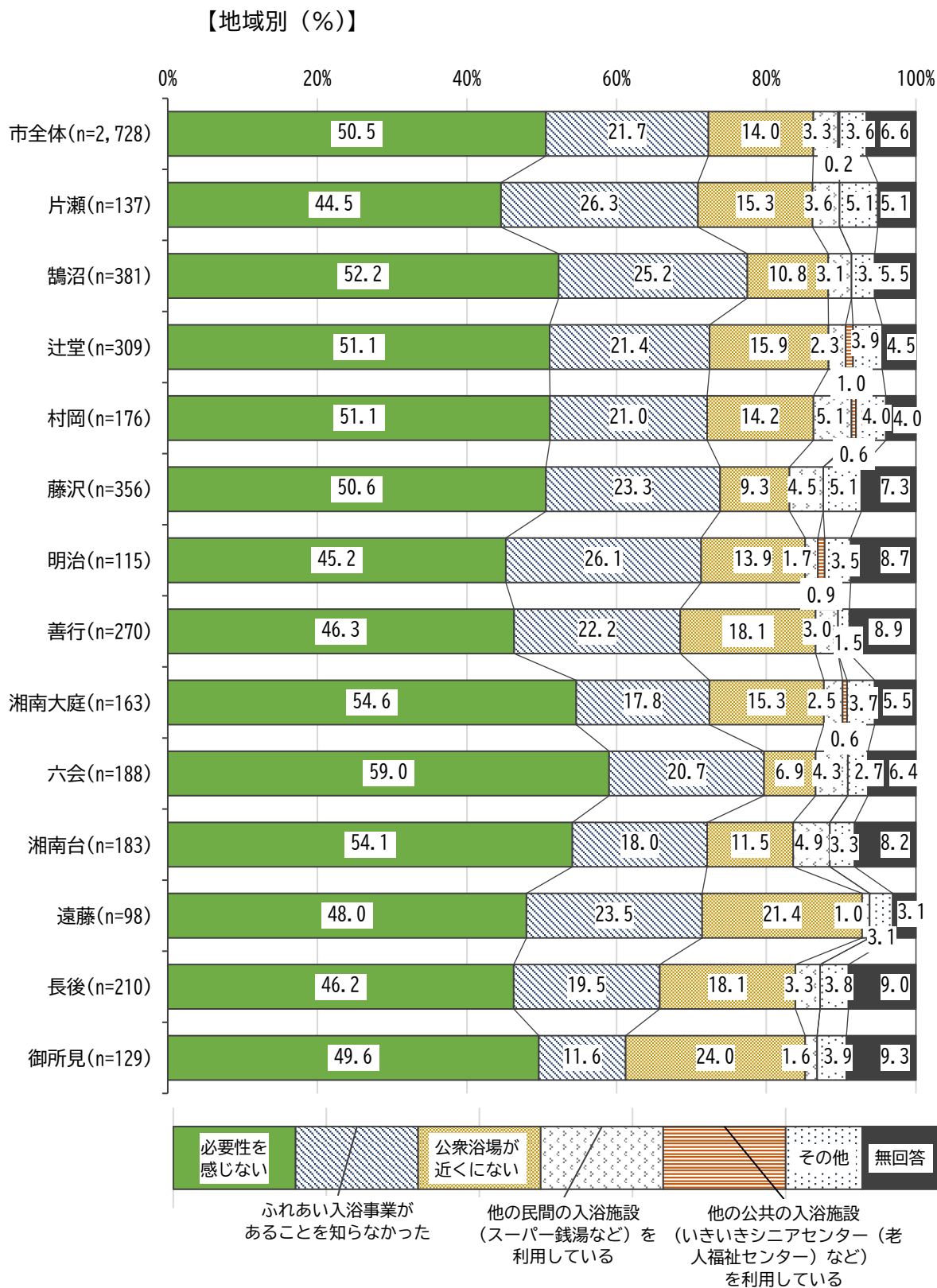
年齢別で見ると、「ふれあい入浴事業があることを知らなかった」は前期高齢者で特に高くなっています。

【基本属性別 (%)】



「その他」の主な内容：「スポーツジムや自宅で」、「コロナ感染が怖かった」

地域別でみると、いずれも「必要性を感じない」が最も高くなっています。一方で、「ふれあい入浴事業があることを知らなかった」が全体より高くなっている地域は、片瀬、鶴沼、藤沢、明治、善行、遠藤となっています。また、「公衆浴場が近くにない」が全体より高くなっている地域は、片瀬、辻堂、村岡、善行、湘南大庭、遠藤、長後、御所見となっています。



第2章 調査結果の詳細

今後優先すべきと考える高齢者施策別（問50）でみると、「必要性を感じない」方は「災害時の支援」と「24時間365日、緊急時に連絡できる体制」で、「ふれあい入浴事業があることを知らなかった」方は「高齢者に対する虐待防止についての対策」や「はり・きゅう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充」などで全体より高くなっています。

【今後優先すべきと考える高齢者施策別（上段：人数、下段：％）】

	n =	い 必要 性 を 感 じ な い	知 業 ふ れ あ い 入 浴 を 事 務 が あ る こ と を 事 務 し な か つ た	に 公 衆 浴 場 が 近 く な い	施 設 （ ス ー パ ー バ ー を 利 用 し て い る 湯 な ど ） を 利 用 し て い る	他 の 民 間 の 入 浴 施 設 （ ス ー パ ー バ ー を 利 用 し て い る ）	セ ン タ ー （ 老 人 福 祉 セ ン タ ー ） な ど を 利 用 し て い る	設 （ い き い き シ ニ ア ） な ど を 利 用 し て い る	他 の 公 共 の 入 浴 施 設 （ い き い き シ ニ ア ） な ど を 利 用 し て い る	そ の 他	無 回 答
市全体	2,728	1,377	592	383	91	6	98	181			
	100.0	50.5	21.7	14.0	3.3	0.2	3.6	6.6			
問50 今後優先すべきと考える高齢者施策	高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制	1,302	641	304	193	40	1	38	85		
		100.0	49.2	23.3	14.8	3.1	0.1	2.9	6.5		
	高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制	432	212	98	68	11	0	18	25		
		100.0	49.1	22.7	15.7	2.5	0.0	4.2	5.8		
	一人暮らし高齢者の支援	1,122	566	264	156	40	1	31	64		
		100.0	50.4	23.5	13.9	3.6	0.1	2.8	5.7		
	災害時の支援	844	442	169	120	25	1	23	64		
		100.0	52.4	20.0	14.2	3.0	0.1	2.7	7.6		
	24時間365日、緊急時に連絡できる体制	864	448	199	112	29	0	32	44		
		100.0	51.9	23.0	13.0	3.4	0.0	3.7	5.1		
	認知症高齢者やその家族に対する支援	632	301	156	93	26	0	23	33		
		100.0	47.6	24.7	14.7	4.1	0.0	3.6	5.2		
	高齢者に対する虐待防止についての対策	46	16	13	11	1	0	0	5		
		100.0	34.8	28.3	23.9	2.2	0.0	0.0	10.9		
	健康づくりや介護予防に関する事業	395	184	106	59	16	2	10	18		
		100.0	46.6	26.8	14.9	4.1	0.5	2.5	4.6		
	高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援	296	136	72	50	16	1	7	14		
		100.0	45.9	24.3	16.9	5.4	0.3	2.4	4.7		
	外出支援（バス・タクシーなどの移動手段の確保）	1,020	501	212	165	34	1	42	65		
		100.0	49.1	20.8	16.2	3.3	0.1	4.1	6.4		
	高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保	139	60	28	27	5	2	9	8		
		100.0	43.2	20.1	19.4	3.6	1.4	6.5	5.8		
	隣近所の助けあいやボランティア活動への支援	109	42	26	23	8	0	4	6		
		100.0	38.5	23.9	21.1	7.3	0.0	3.7	5.5		
	高齢者の働く場の確保	297	147	71	39	14	1	9	16		
		100.0	49.5	23.9	13.1	4.7	0.3	3.0	5.4		
	高齢者の権利（人権、財産など）を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備	212	99	60	20	12	1	11	9		
		100.0	46.7	28.3	9.4	5.7	0.5	5.2	4.2		
高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス（紙おむつの支給など）	375	182	76	60	14	0	16	27			
	100.0	48.5	20.3	16.0	3.7	0.0	4.3	7.2			
要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス（訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）など）の拡充	850	417	185	142	38	2	24	42			
	100.0	49.1	21.8	16.7	4.5	0.2	2.8	4.9			
要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）の整備	587	291	137	92	28	0	15	24			
	100.0	49.6	23.3	15.7	4.8	0.0	2.6	4.1			
デジタルデバイド対策（スマホ教室など）	198	88	49	31	9	0	6	15			
	100.0	44.4	24.7	15.7	4.5	0.0	3.0	7.6			
はり・きゅう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充	282	86	86	43	19	0	21	27			
	100.0	30.5	30.5	15.2	6.7	0.0	7.4	9.6			
特になし	133	95	9	5	1	1	9	13			
	100.0	71.4	6.8	3.8	0.8	0.8	6.8	9.8			
その他	42	20	8	6	1	1	2	4			
	100.0	47.6	19.0	14.3	2.4	2.4	4.8	9.5			

19. いきいきシニアセンター（老人福祉センター）について

(1) いきいきシニアセンター（老人福祉センター）の利用状況

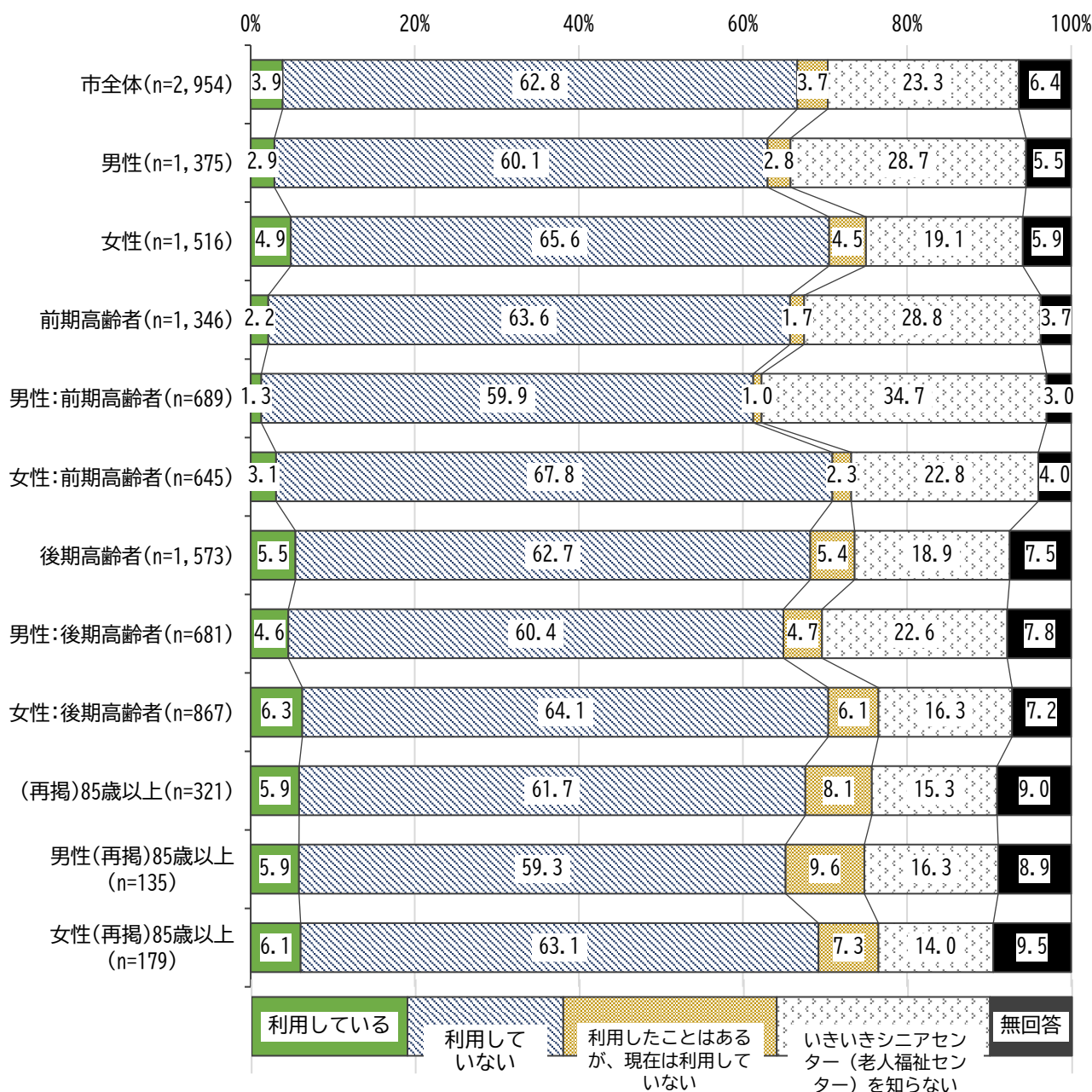
問 49 いきいきシニアセンター（老人福祉センター）を利用されていますか。（1つに○）

いきいきシニアセンター（老人福祉センター）の利用状況は、「利用していない」、「利用したことはあるが、現在は利用していない」、「いきいきシニアセンターを知らない」を合わせて89.8%となっています。

性別でみると、男性は「いきいきシニアセンター（老人福祉センター）を知らない」の割合が全体に対して高く、女性は逆に低いことから、女性の認知度が高いと考えられます。

年齢別でみると、前期高齢者で「利用していない」、「いきいきシニアセンター（老人福祉センター）を知らない」、後期高齢者で「利用している」、「利用したことはあるが、現在は利用していない」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（%）】

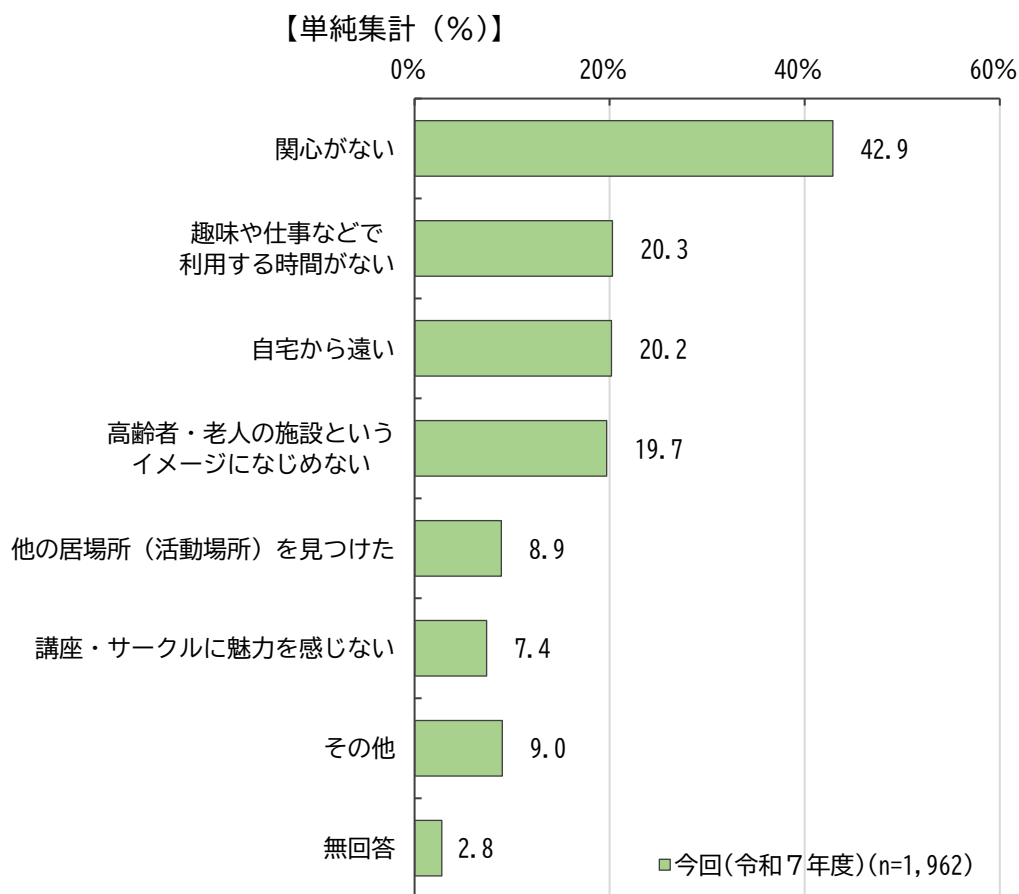


第2章 調査結果の詳細

(2) いきいきシニアセンター（老人福祉センター）を利用していない理由

問 49-1 《問 49 で「2. 利用していない」、「3. 利用したことはあるが、現在は利用していない」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
利用していない、または利用しなくなった理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

いきいきシニアセンター（老人福祉センター）を利用していない理由は、「関心がない」が42.9%と最も高く、次いで「趣味や仕事などで利用する時間がない」が20.3%、「自宅から遠い」が20.2%、「高齢者・老人の施設というイメージになじめない」が19.7%、「他の場所を見つけた」が8.9%となっています。



「その他」の主な内容：「行った時の体調が不安」、「要介護の配偶者がいるので利用できない」

性別で見ると、男性では「関心がない」、「高齢者・老人の施設というイメージになじめない」が、女性は「趣味や仕事などで利用する時間がない」、「自宅から遠い」、「他の居場所（活動場所）を見つけた」が全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	関心がない	趣味や仕事などで利用する時間がない	自宅から遠い	高齢者・老人の施設というイメージになじめない	他の居場所（活動場所）を見つけた	講座・サークルに魅力を感じない	その他	無回答
市全体	1,962	841	398	397	387	175	145	176	54
	100.0	42.9	20.3	20.2	19.7	8.9	7.4	9.0	2.8
男性	866	448	171	120	182	59	70	65	15
	100.0	51.7	19.7	13.9	21.0	6.8	8.1	7.5	1.7
女性	1,063	380	220	274	195	115	74	108	35
	100.0	35.7	20.7	25.8	18.3	10.8	7.0	10.2	3.3
前期高齢者	879	430	231	112	184	62	63	67	16
	100.0	48.9	26.3	12.7	20.9	7.1	7.2	7.6	1.8
男性 前期高齢者	420	252	101	31	75	15	25	26	4
	100.0	60.0	24.0	7.4	17.9	3.6	6.0	6.2	1.0
女性 前期高齢者	452	177	128	80	106	46	38	39	11
	100.0	39.2	28.3	17.7	23.5	10.2	8.4	8.6	2.4
後期高齢者	1,072	406	165	283	199	113	82	109	38
	100.0	37.9	15.4	26.4	18.6	10.5	7.6	10.2	3.5
男性 後期高齢者	443	194	70	88	107	44	45	39	11
	100.0	43.8	15.8	19.9	24.2	9.9	10.2	8.8	2.5
女性 後期高齢者	609	202	91	194	88	69	36	69	24
	100.0	33.2	14.9	31.9	14.4	11.3	5.9	11.3	3.9
(再掲) 85歳以上	224	83	19	64	32	18	21	30	13
	100.0	37.1	8.5	28.6	14.3	8.0	9.4	13.4	5.8
男性 (再掲) 85歳以上	93	41	12	22	17	10	12	11	2
	100.0	44.1	12.9	23.7	18.3	10.8	12.9	11.8	2.2
女性 (再掲) 85歳以上	126	39	7	42	14	8	8	18	10
	100.0	31.0	5.6	33.3	11.1	6.3	6.3	14.3	7.9

第2章 調査結果の詳細

地域別でみると、いずれも「関心がない」が最も高くなっています。また、「他の居場所（活動場所）を見つけた」が全体より高くなっている地域は、片瀬、鵜沼、善行、湘南大庭、湘南台となっています。

【地域別（上段：人数、下段：％）】

	n =	関心がない	趣味や仕事などで利用する時間がない	自宅から遠い	高齢者・老人の施設というイメージに なじめない	他の居場所（活動場所）を見つけた	講座・サークルに魅力を感じない	その他	無回答
市全体	1,962	841	398	397	387	175	145	176	54
	100.0	42.9	20.3	20.2	19.7	8.9	7.4	9.0	2.8
片瀬	89	41	13	16	19	8	8	13	1
	100.0	46.1	14.6	18.0	21.3	9.0	9.0	14.6	1.1
鵜沼	253	100	60	34	53	24	21	28	8
	100.0	39.5	23.7	13.4	20.9	9.5	8.3	11.1	3.2
辻堂	214	97	42	29	45	18	14	13	11
	100.0	45.3	19.6	13.6	21.0	8.4	6.5	6.1	5.1
村岡	124	53	24	29	26	10	12	10	2
	100.0	42.7	19.4	23.4	21.0	8.1	9.7	8.1	1.6
藤沢	256	113	60	56	48	14	13	25	5
	100.0	44.1	23.4	21.9	18.8	5.5	5.1	9.8	2.0
明治	84	32	14	21	20	7	10	10	2
	100.0	38.1	16.7	25.0	23.8	8.3	11.9	11.9	2.4
善行	201	91	42	41	37	19	15	10	5
	100.0	45.3	20.9	20.4	18.4	9.5	7.5	5.0	2.5
湘南大庭	124	57	19	31	30	17	16	9	2
	100.0	46.0	15.3	25.0	24.2	13.7	12.9	7.3	1.6
六会	140	59	32	27	22	12	5	20	7
	100.0	42.1	22.9	19.3	15.7	8.6	3.6	14.3	5.0
湘南台	134	48	27	36	28	21	7	12	5
	100.0	35.8	20.1	26.9	20.9	15.7	5.2	9.0	3.7
遠藤	69	35	11	20	16	5	7	2	1
	100.0	50.7	15.9	29.0	23.2	7.2	10.1	2.9	1.4
長後	160	62	32	33	30	13	15	12	2
	100.0	38.8	20.0	20.6	18.8	8.1	9.4	7.5	1.3
御所見	104	49	21	23	9	7	2	11	3
	100.0	47.1	20.2	22.1	8.7	6.7	1.9	10.6	2.9

地域で参加している活動の状況別（問28-1）で見ると、「関心がない」方のうち、約半数は「地域で参加している活動がない」と回答しています。

【地域で参加している活動の状況別（上段：人数、下段：%）】 1 / 4

		n =	関心がない	趣味や仕事などで利用する時間がない	自宅から遠い	高齢者・老人の施設というイメージになじめない	他の居場所（活動場所）を見つけた	講座・サークルに魅力を感じない	その他	無回答
市全体		1,962	841	398	397	387	175	145	176	54
		100.0	42.9	20.3	20.2	19.7	8.9	7.4	9.0	2.8
1. 町内会・自治会活動	週に2回以上	16	4	3	5	2	4	3	0	0
		100.0	25.0	18.8	31.3	12.5	25.0	18.8	0.0	0.0
	週に1回くらい	32	13	5	5	5	5	4	3	1
		100.0	40.6	15.6	15.6	15.6	15.6	12.5	9.4	3.1
	月に1回くらい	101	36	32	22	17	8	8	8	1
		100.0	35.6	31.7	21.8	16.8	7.9	7.9	7.9	1.0
年に1回くらい	96	32	27	28	25	16	6	10	0	
	100.0	33.3	28.1	29.2	26.0	16.7	6.3	10.4	0.0	
参加していない	50	16	12	10	10	11	4	4	0	
	100.0	32.0	24.0	20.0	20.0	22.0	8.0	8.0	0.0	
2. 老人クラブ（ゆめクラブ）	週に2回以上	2	0	0	1	0	0	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	週に1回くらい	10	1	2	5	2	1	3	1	0
		100.0	10.0	20.0	50.0	20.0	10.0	30.0	10.0	0.0
	月に1回くらい	25	2	5	9	2	9	1	3	0
		100.0	8.0	20.0	36.0	8.0	36.0	4.0	12.0	0.0
年に1回くらい	11	4	3	5	2	3	1	1	0	
	100.0	36.4	27.3	45.5	18.2	27.3	9.1	9.1	0.0	
参加していない	167	59	42	34	43	28	16	14	1	
	100.0	35.3	25.1	20.4	25.7	16.8	9.6	8.4	0.6	
3. 文化・歴史・芸術などに関する活動	週に2回以上	12	3	1	4	1	2	1	2	0
		100.0	25.0	8.3	33.3	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0
	週に1回くらい	30	3	10	10	9	7	3	3	0
		100.0	10.0	33.3	33.3	30.0	23.3	10.0	10.0	0.0
	月に1回くらい	46	10	15	9	12	13	3	5	0
		100.0	21.7	32.6	19.6	26.1	28.3	6.5	10.9	0.0
年に1回くらい	27	9	6	7	7	5	2	2	0	
	100.0	33.3	22.2	25.9	25.9	18.5	7.4	7.4	0.0	
参加していない	124	48	29	27	33	17	11	11	1	
	100.0	38.7	23.4	21.8	26.6	13.7	8.9	8.9	0.8	

【地域で参加している活動の状況別（上段：人数、下段：%）】 2 / 4

		n =	関心がない	趣味や仕事などで利用する時間がない	自宅から遠い	高齢者・老人の施設というイメージになじめない	他の居場所（活動場所）を見つけた	講座・サークルに魅力を感じない	その他	無回答
市全体		1,962	841	398	397	387	175	145	176	54
		100.0	42.9	20.3	20.2	19.7	8.9	7.4	9.0	2.8
4. 運動・スポーツ・健康づくりに関する活動	週に2回以上	104	31	21	28	18	29	8	8	1
		100.0	29.8	20.2	26.9	17.3	27.9	7.7	7.7	1.0
	週に1回くらい	96	18	19	32	26	20	6	10	2
		100.0	18.8	19.8	33.3	27.1	20.8	6.3	10.4	2.1
	月に1回くらい	30	12	9	8	5	7	4	3	0
		100.0	40.0	30.0	26.7	16.7	23.3	13.3	10.0	0.0
年に1回くらい	13	7	4	1	4	3	1	1	0	
	100.0	53.8	30.8	7.7	30.8	23.1	7.7	7.7	0.0	
参加していない	85	32	26	16	17	8	7	9	1	
	100.0	37.6	30.6	18.8	20.0	9.4	8.2	10.6	1.2	
5. 地域の縁側など、身近な居場所の活動	週に2回以上	6	2	1	1	4	3	2	0	0
		100.0	33.3	16.7	16.7	66.7	50.0	33.3	0.0	0.0
	週に1回くらい	16	3	4	4	2	5	2	3	0
		100.0	18.8	25.0	25.0	12.5	31.3	12.5	18.8	0.0
	月に1回くらい	18	6	5	5	0	4	2	1	0
		100.0	33.3	27.8	27.8	0.0	22.2	11.1	5.6	0.0
年に1回くらい	8	4	6	1	3	1	0	0	0	
	100.0	50.0	75.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	
参加していない	153	52	36	37	37	24	14	12	1	
	100.0	34.0	23.5	24.2	24.2	15.7	9.2	7.8	0.7	
6. 防災・防犯活動	週に2回以上	4	2	0	1	0	0	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	週に1回くらい	7	3	0	2	2	0	1	2	0
		100.0	42.9	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0
	月に1回くらい	33	9	11	8	10	3	2	4	0
		100.0	27.3	33.3	24.2	30.3	9.1	6.1	12.1	0.0
年に1回くらい	80	28	25	20	22	16	5	4	0	
	100.0	35.0	31.3	25.0	27.5	20.0	6.3	5.0	0.0	
参加していない	95	33	23	21	20	17	9	7	1	
	100.0	34.7	24.2	22.1	21.1	17.9	9.5	7.4	1.1	

【地域で参加している活動の状況別（上段：人数、下段：％）】 3 / 4

		n =	関心がない	趣味や仕事などで利用する時間がない	自宅から遠い	高齢者・老人の施設というイメージになじめない	他の居場所（活動場所）を見つけた	講座・サークルに魅力を感じない	その他	無回答
市全体		1,962	841	398	397	387	175	145	176	54
		100.0	42.9	20.3	20.2	19.7	8.9	7.4	9.0	2.8
7. 高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動	週に2回以上	4	0	1	2	2	0	2	1	0
		100.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	週に1回くらい	8	2	3	4	1	3	0	0	0
		100.0	25.0	37.5	50.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	月に1回くらい	11	6	3	2	2	2	1	1	0
		100.0	54.5	27.3	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0
年に1回くらい	7	2	2	3	2	0	1	1	0	
	100.0	28.6	28.6	42.9	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	
参加していない	163	57	40	35	39	28	16	13	1	
	100.0	35.0	24.5	21.5	23.9	17.2	9.8	8.0	0.6	
8. 子育てへの支援などに関する活動	週に2回以上	3	1	2	0	1	1	0	0	0
		100.0	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	週に1回くらい	11	3	6	2	2	2	2	1	0
		100.0	27.3	54.5	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	0.0
	月に1回くらい	10	2	3	4	1	4	0	0	0
		100.0	20.0	30.0	40.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0
年に1回くらい	15	6	4	4	2	2	1	2	0	
	100.0	40.0	26.7	26.7	13.3	13.3	6.7	13.3	0.0	
参加していない	162	56	39	37	40	26	15	13	1	
	100.0	34.6	24.1	22.8	24.7	16.0	9.3	8.0	0.6	
9. 自然環境の保全に関する活動	週に2回以上	4	3	1	1	1	0	0	1	0
		100.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	週に1回くらい	5	2	2	1	1	0	0	0	0
		100.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	月に1回くらい	12	6	4	3	3	2	0	1	0
		100.0	50.0	33.3	25.0	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0
年に1回くらい	20	5	8	3	5	5	1	2	0	
	100.0	25.0	40.0	15.0	25.0	25.0	5.0	10.0	0.0	
参加していない	157	52	37	38	37	26	16	14	1	
	100.0	33.1	23.6	24.2	23.6	16.6	10.2	8.9	0.6	

【地域で参加している活動の状況別（上段：人数、下段：%）】 4 / 4

		n =	関心がない	趣味や仕事などで利用する時間がない	自宅から遠い	高齢者・老人の施設というイメージになじめない	他の居場所（活動場所）を見つけた	講座・サークルに魅力を感じない	その他	無回答
市全体		1,962	841	398	397	387	175	145	176	54
		100.0	42.9	20.3	20.2	19.7	8.9	7.4	9.0	2.8
10. 祭りなど地域文化活動	週に2回以上	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	週に1回くらい	5	1	2	0	1	2	0	0	1
		100.0	20.0	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0
	月に1回くらい	24	9	11	5	4	1	2	0	0
		100.0	37.5	45.8	20.8	16.7	4.2	8.3	0.0	0.0
年に1回くらい	112	34	28	29	28	25	6	12	0	
	100.0	30.4	25.0	25.9	25.0	22.3	5.4	10.7	0.0	
参加していない	87	30	20	20	20	12	10	8	1	
	100.0	34.5	23.0	23.0	23.0	13.8	11.5	9.2	1.1	
11. NPO（民間非営利組織）などの活動	週に2回以上	6	1	2	1	2	1	2	1	0
		100.0	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0
	週に1回くらい	8	1	1	4	0	4	0	0	1
		100.0	12.5	12.5	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	12.5
	月に1回くらい	10	0	5	2	1	4	2	0	0
		100.0	0.0	50.0	20.0	10.0	40.0	20.0	0.0	0.0
年に1回くらい	5	1	1	0	2	0	0	1	0	
	100.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
参加していない	166	62	38	38	41	26	15	14	1	
	100.0	37.3	22.9	22.9	24.7	15.7	9.0	8.4	0.6	
12. その他	週に2回以上	9	6	1	2	2	0	2	0	0
		100.0	66.7	11.1	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0
	週に1回くらい	8	2	0	2	2	1	1	0	0
		100.0	25.0	0.0	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	月に1回くらい	19	5	5	5	4	4	2	3	0
		100.0	26.3	26.3	26.3	21.1	21.1	10.5	15.8	0.0
年に1回くらい	2	1	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
参加していない	111	40	30	15	23	17	10	10	1	
	100.0	36.0	27.0	13.5	20.7	15.3	9.0	9.0	0.9	
地域で参加している活動がない		1,280	636	243	228	240	68	88	107	40
		100.0	49.7	19.0	17.8	18.8	5.3	6.9	8.4	3.1
わからない		20	4	5	4	7	2	1	3	0
		100.0	20.0	25.0	20.0	35.0	10.0	5.0	15.0	0.0

今後優先すべきと考える高齢者施策別（問50）でみると、「関心がない」方は「災害時の支援」、「認知症高齢者やその家族に対する支援」、「特にない」で全体より高くなっています。また、「趣味や仕事などで利用する時間がない」方は「高齢者に対する虐待防止についての対策」や「高齢者の働く場の確保」で特に全体より高くなっています。

【今後優先すべきと考える高齢者施策別（上段：人数、下段：%）】 1 / 2

		n=	関心がない	がで趣自宅ジ設高 ない利用味家から宅と する時間や仕事など ない	宅から遠い	設というイメ じにない じというイメ 高 齢者・老人の施
市全体		1,962	841	398	397	387
		100.0	42.9	20.3	20.2	19.7
問50 今後優先すべきと考える 高齢者施策	高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制	946	405	196	182	206
		100.0	42.8	20.7	19.2	21.8
	高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制	309	127	70	74	66
		100.0	41.1	22.7	23.9	21.4
	一人暮らし高齢者の支援	793	338	184	159	179
		100.0	42.6	23.2	20.1	22.6
	災害時の支援	630	276	123	129	133
		100.0	43.8	19.5	20.5	21.1
	24時間365日、緊急時に連絡できる体制	612	256	140	126	148
		100.0	41.8	22.9	20.6	24.2
	認知症高齢者やその家族に対する支援	461	204	97	94	96
		100.0	44.3	21.0	20.4	20.8
	高齢者に対する虐待防止についての対策	35	10	15	4	6
		100.0	28.6	42.9	11.4	17.1
	健康づくりや介護予防に関する事業	284	99	68	64	53
		100.0	34.9	23.9	22.5	18.7
	高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援	202	49	59	58	45
		100.0	24.3	29.2	28.7	22.3
	外出支援（バス・タクシーなどの移動手段の確保）	741	293	161	188	160
		100.0	39.5	21.7	25.4	21.6
	高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保	100	39	21	23	29
		100.0	39.0	21.0	23.0	29.0
	隣近所の助けあいやボランティア活動への支援	83	18	22	23	17
		100.0	21.7	26.5	27.7	20.5
	高齢者の働く場の確保	213	87	85	36	40
		100.0	40.8	39.9	16.9	18.8
高齢者の権利（人権、財産など）を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備	146	57	31	33	28	
	100.0	39.0	21.2	22.6	19.2	
高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス（紙おむつの支給など）	270	111	54	60	60	
	100.0	41.1	20.0	22.2	22.2	
要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス（訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）など）の拡充	610	244	135	145	127	
	100.0	40.0	22.1	23.8	20.8	
要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）の整備	428	178	89	92	96	
	100.0	41.6	20.8	21.5	22.4	
デジタルデバйд対策（スマホ教室など）	134	36	32	32	39	
	100.0	26.9	23.9	23.9	29.1	
はり・きゅう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充	217	71	40	54	45	
	100.0	32.7	18.4	24.9	20.7	
特にない	99	71	10	9	11	
	100.0	71.7	10.1	9.1	11.1	
その他	29	10	5	5	5	
	100.0	34.5	17.2	17.2	17.2	

【今後優先すべきと考える高齢者施策別（上段：人数、下段：%）】 2 / 2

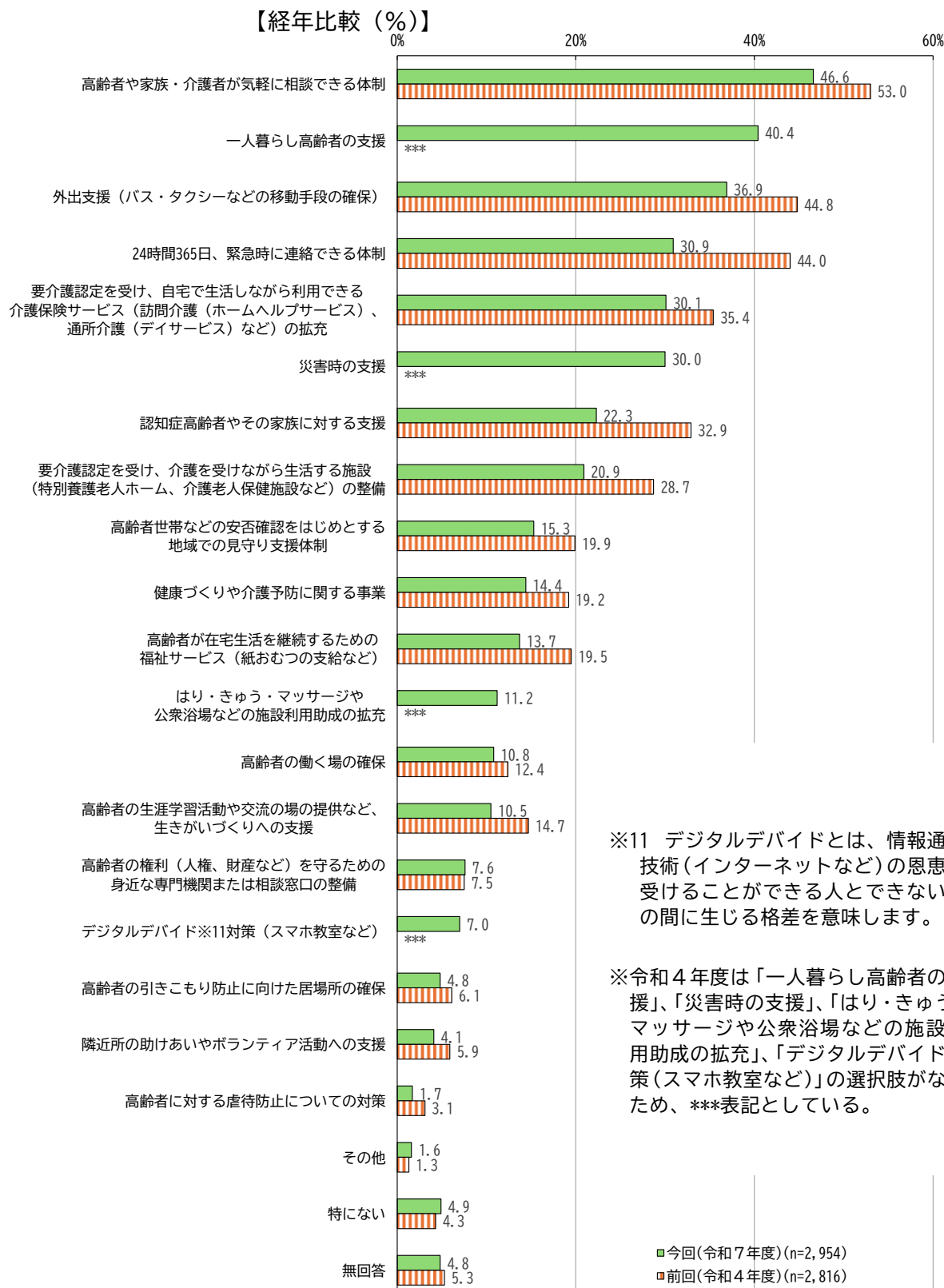
		n =	他の居場所（活動場所）を見つけた	講座・サークルに魅力を感じない	その他	無回答
市全体		1,962	175	145	176	54
		100.0	8.9	7.4	9.0	2.8
問50 今後優先すべきと考える高齢者施策	高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制	946	78	74	78	14
		100.0	8.2	7.8	8.2	1.5
	高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制	309	21	19	24	5
		100.0	6.8	6.1	7.8	1.6
	一人暮らし高齢者の支援	793	67	64	75	11
		100.0	8.4	8.1	9.5	1.4
	災害時の支援	630	59	46	56	15
		100.0	9.4	7.3	8.9	2.4
	24時間365日、緊急時に連絡できる体制	612	51	45	52	10
		100.0	8.3	7.4	8.5	1.6
	認知症高齢者やその家族に対する支援	461	49	38	44	7
		100.0	10.6	8.2	9.5	1.5
	高齢者に対する虐待防止についての対策	35	4	3	5	0
		100.0	11.4	8.6	14.3	0.0
	健康づくりや介護予防に関する事業	284	29	23	35	4
		100.0	10.2	8.1	12.3	1.4
	高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援	202	24	26	23	5
		100.0	11.9	12.9	11.4	2.5
	外出支援（バス・タクシーなどの移動手手段の確保）	741	78	66	66	15
		100.0	10.5	8.9	8.9	2.0
	高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保	100	12	7	8	3
		100.0	12.0	7.0	8.0	3.0
	隣近所の助けあいやボランティア活動への支援	83	11	9	12	3
	100.0	13.3	10.8	14.5	3.6	
高齢者の働く場の確保	213	17	22	18	2	
	100.0	8.0	10.3	8.5	0.9	
高齢者の権利（人権、財産など）を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備	146	19	16	13	2	
	100.0	13.0	11.0	8.9	1.4	
高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス（紙おむつの支給など）	270	22	17	22	2	
	100.0	8.1	6.3	8.1	0.7	
要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス（訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）など）の拡充	610	74	50	53	10	
	100.0	12.1	8.2	8.7	1.6	
要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）の整備	428	45	41	49	6	
	100.0	10.5	9.6	11.4	1.4	
デジタルバйд対策（スマホ教室など）	134	19	16	14	1	
	100.0	14.2	11.9	10.4	0.7	
はり・きゅう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充	217	24	22	24	4	
	100.0	11.1	10.1	11.1	1.8	
特になし	99	2	6	8	5	
	100.0	2.0	6.1	8.1	5.1	
その他	29	0	3	8	0	
	100.0	0.0	10.3	27.6	0.0	

20. 高齢者に対する施策(サービスや事業など)について

(1) 今後優先すべき施策(サービスや事業など)

問 50 今後、高齢者に対する施策は、どのような事業などを優先的に進めていく必要があると考えますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

優先的に進めていく必要があると考える施策は、「高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制」が46.6%と最も多く、次いで「一人暮らし高齢者の支援」が40.4%となっています。



第2章 調査結果の詳細

性別でみると、男性では「高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制」、「一人暮らし高齢者の支援」、「認知症高齢者やその家族に対する支援」、などが、女性では「外出支援（バス・タクシーなどの移動手段の確保）」、「24時間365日、緊急時に連絡できる体制」などが全体の割合に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者で「高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制」などが、後期高齢者で「外出支援（バス・タクシーなどの移動手段の確保）」などが全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：%）】 1 / 2

	n =	高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制	一人暮らし高齢者の支援	外出支援（バス・タクシーなどの移動手段の確保）	24時間365日、緊急時に連絡できる体制	要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス（訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）など）の拡充	災害時の支援	認知症高齢者やその家族に対する支援	要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）の整備	高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制	健康づくりや介護予防に関する事業	高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス（紙おむつの支給など）
市全体	2,954	1,377	1,192	1,090	914	890	885	660	617	453	424	404
	100.0	46.6	40.4	36.9	30.9	30.1	30.0	22.3	20.9	15.3	14.4	13.7
男性	1,375	673	606	458	426	372	410	359	258	237	226	166
	100.0	48.9	44.1	33.3	31.0	27.1	29.8	26.1	18.8	17.2	16.4	12.1
女性	1,516	689	573	614	476	509	463	293	354	211	192	235
	100.0	45.4	37.8	40.5	31.4	33.6	30.5	19.3	23.4	13.9	12.7	15.5
前期高齢者	1,346	668	598	476	476	385	426	331	286	220	226	158
	100.0	49.6	44.4	35.4	35.4	28.6	31.6	24.6	21.2	16.3	16.8	11.7
男性 前期高齢者	689	338	322	203	239	171	222	183	134	129	128	70
	100.0	49.1	46.7	29.5	34.7	24.8	32.2	26.6	19.4	18.7	18.6	10.2
女性 前期高齢者	645	326	275	271	234	212	200	145	151	90	97	85
	100.0	50.5	42.6	42.0	36.3	32.9	31.0	22.5	23.4	14.0	15.0	13.2
後期高齢者	1,573	702	587	610	435	503	455	327	328	229	195	246
	100.0	44.6	37.3	38.8	27.7	32.0	28.9	20.8	20.9	14.6	12.4	15.6
男性 後期高齢者	681	333	283	255	186	201	186	176	123	105	98	96
	100.0	48.9	41.6	37.4	27.3	29.5	27.3	25.8	18.1	15.4	14.4	14.1
女性 後期高齢者	867	363	297	342	240	297	263	148	202	120	93	150
	100.0	41.9	34.3	39.4	27.7	34.3	30.3	17.1	23.3	13.8	10.7	17.3
（再掲）85歳以上	321	147	110	112	87	96	93	57	54	44	38	45
	100.0	45.8	34.3	34.9	27.1	29.9	29.0	17.8	16.8	13.7	11.8	14.0
男性（再掲）85歳以上	135	70	49	47	30	42	41	33	24	18	25	18
	100.0	51.9	36.3	34.8	22.2	31.1	30.4	24.4	17.8	13.3	18.5	13.3
女性（再掲）85歳以上	179	75	61	61	53	51	52	24	29	23	12	27
	100.0	41.9	34.1	34.1	29.6	28.5	29.1	13.4	16.2	12.8	6.7	15.1

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】 2 / 2

	n =	成の拡充 はり・きゆう・マッサ ージや公衆浴場などの 施設利用助	高齢者の働く場の確 保	高齢者の生涯学習活 動や交流の場の提供 など、生きがいづく りへの支援	高齢者の権利（人権、 財産など）を守るた めの身近な専門機 関または相談窓口の 整備	デジタルデバイス対策 （スマホ教室など）	高齢者の引きこもり 防止に向けた居場所 の確保	隣近所の助けあいや ボランティア活動へ の支援	高齢者に対する虐待 防止についての対策	その他	特 に な い	無 回 答
市全体	2,954	331	320	310	225	207	143	121	51	46	146	142
	100.0	11.2	10.8	10.5	7.6	7.0	4.8	4.1	1.7	1.6	4.9	4.8
男性	1,375	162	182	118	126	79	63	61	23	25	83	41
	100.0	11.8	13.2	8.6	9.2	5.7	4.6	4.4	1.7	1.8	6.0	3.0
女性	1,516	164	137	189	95	127	77	57	27	20	57	80
	100.0	10.8	9.0	12.5	6.3	8.4	5.1	3.8	1.8	1.3	3.8	5.3
前期高齢者	1,346	128	230	148	104	99	67	43	30	16	55	23
	100.0	9.5	17.1	11.0	7.7	7.4	5.0	3.2	2.2	1.2	4.1	1.7
男性 前期高齢者	689	67	130	65	63	38	28	22	11	11	38	11
	100.0	9.7	18.9	9.4	9.1	5.5	4.1	3.2	1.6	1.6	5.5	1.6
女性 前期高齢者	645	59	100	82	40	61	38	19	18	5	16	10
	100.0	9.1	15.5	12.7	6.2	9.5	5.9	2.9	2.8	0.8	2.5	1.6
後期高齢者	1,573	201	88	160	119	108	75	76	21	30	88	102
	100.0	12.8	5.6	10.2	7.6	6.9	4.8	4.8	1.3	1.9	5.6	6.5
男性 後期高齢者	681	94	51	53	62	41	35	38	12	14	44	30
	100.0	13.8	7.5	7.8	9.1	6.0	5.1	5.6	1.8	2.1	6.5	4.4
女性 後期高齢者	867	105	36	106	55	66	38	38	9	15	41	69
	100.0	12.1	4.2	12.2	6.3	7.6	4.4	4.4	1.0	1.7	4.7	8.0
（再掲）85歳以上	321	39	14	36	18	25	20	14	4	8	22	29
	100.0	12.1	4.4	11.2	5.6	7.8	6.2	4.4	1.2	2.5	6.9	9.0
男性（再掲）85歳以上	135	26	9	13	9	11	7	6	3	3	10	7
	100.0	19.3	6.7	9.6	6.7	8.1	5.2	4.4	2.2	2.2	7.4	5.2
女性（再掲）85歳以上	179	13	5	22	8	13	12	8	1	5	12	21
	100.0	7.3	2.8	12.3	4.5	7.3	6.7	4.5	0.6	2.8	6.7	11.7

「その他」の主な内容：「防犯上カメラの設置が必要」、「バスや電車のパス券」

第2章 調査結果の詳細

地域別でみると、「高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制」は明治と長後で、「外出支援（バス・タクシーなどの移動手手段の確保）」は御所見で、特に全体より高くなっています。

健康状態（問6）別でみると、「健康だと思わない」方は、「高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制」と「災害時の支援」が特に全体より高くなっています。

【地域別、健康状態別（%）】 1 / 2

		n =	高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制	一人暮らし高齢者の支援	外出支援（バス・タクシーなどの移動手手段の確保）	24時間365日、緊急時に連絡できる体制	要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス（訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）など）の拡充	災害時の支援	認知症高齢者やその家族に対する支援	要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）の整備	高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制	健康づくりや介護予防に関する事業	高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス（紙おむつの支給など）
市全体		2,954	46.6	40.4	36.9	30.9	30.1	30.0	22.3	20.9	15.3	14.4	13.7
地域別	片瀬	150	49.3	42.0	40.7	30.7	30.7	31.3	24.0	24.7	9.3	14.7	12.0
	鵠沼	406	44.3	39.9	30.8	29.8	31.3	30.3	20.9	17.2	18.7	14.8	15.0
	辻堂	326	47.5	39.0	38.3	29.4	32.5	29.4	21.5	23.6	16.6	11.7	14.4
	村岡	182	42.9	34.6	40.7	29.7	30.2	31.9	24.2	17.6	15.4	15.9	17.0
	藤沢	389	45.2	40.9	35.5	29.8	26.2	29.6	18.8	19.8	13.6	14.4	12.9
	明治	121	54.5	41.3	38.8	30.6	35.5	27.3	32.2	26.4	11.6	20.7	12.4
	善行	289	47.4	43.6	39.1	34.3	28.0	37.0	21.1	18.0	17.6	14.9	15.6
	湘南大庭	179	48.6	42.5	39.1	32.4	27.9	29.1	25.7	22.9	18.4	17.9	12.3
	六会	208	41.3	40.4	38.5	31.3	26.9	27.4	23.1	25.0	16.8	12.5	13.9
	湘南台	195	47.2	43.1	29.2	34.9	32.3	25.1	21.5	21.0	13.3	16.4	13.8
	遠藤	106	47.2	40.6	41.5	34.0	32.1	26.4	23.6	24.5	13.2	15.1	15.1
	長後	234	52.1	41.9	38.9	32.1	34.6	31.2	26.1	18.4	14.5	11.5	9.4
御所見	137	49.6	38.0	44.5	31.4	32.1	32.8	19.7	26.3	15.3	12.4	15.3	
健康状態別	健康だと思う	901	47.2	40.2	36.0	30.3	29.4	30.1	23.4	18.6	16.1	18.3	12.8
	どちらかといえば健康だと思う	1,378	45.8	41.6	38.0	32.1	31.5	29.2	22.6	22.6	14.2	13.2	13.0
	あまり健康だとは思わない	517	48.7	39.3	36.2	31.7	30.0	32.1	20.9	20.9	17.4	12.6	16.8
	健康だと思わない	104	52.9	35.6	37.5	25.0	26.0	35.6	20.2	20.2	14.4	6.7	17.3

【地域別、健康状態別 (%)】 2 / 2

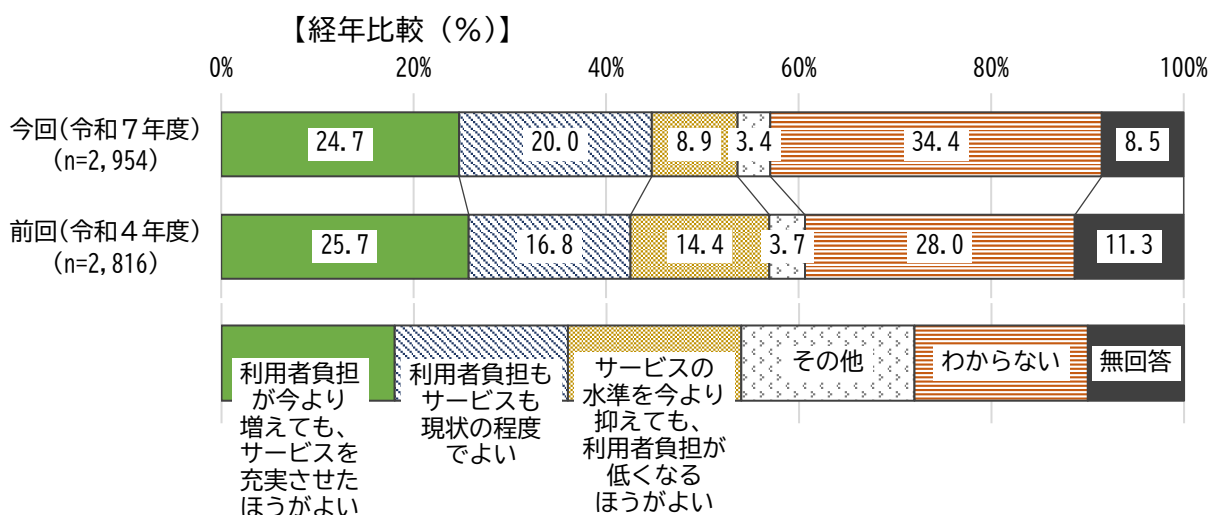
		n =	はり・きゆう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充	高齢者の働く場の確保	高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援	高齢者の権利(人権、財産など)を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備	デジタルバйд対策(スマホ教室など)	高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保	隣近所の助けあいやボランティア活動への支援	高齢者に対する虐待防止についての対策	その他	特になし	無回答
市全体		2,954	11.2	10.8	10.5	7.6	7.0	4.8	4.1	1.7	1.6	4.9	4.8
地域別	片瀬	150	12.7	12.0	7.3	6.7	4.0	5.3	3.3	0.0	3.3	4.7	2.7
	鶴沼	406	11.3	11.3	13.3	8.1	10.8	5.9	3.2	1.5	1.5	6.2	3.4
	辻堂	326	9.5	9.2	10.4	6.7	5.8	5.5	4.6	2.1	1.2	4.0	4.0
	村岡	182	9.3	8.8	12.6	7.1	7.1	4.4	4.4	1.6	0.5	7.1	3.8
	藤沢	389	13.4	11.1	12.6	10.3	7.2	4.6	5.7	1.5	2.3	5.1	5.4
	明治	121	8.3	9.9	6.6	5.8	7.4	5.0	4.1	0.0	1.7	4.1	4.1
	善行	289	10.0	9.7	9.0	7.6	6.9	3.5	3.8	2.4	0.7	5.9	2.4
	湘南大庭	179	13.4	12.3	10.1	6.7	4.5	5.6	3.9	1.1	1.7	1.7	5.0
	六会	208	14.4	15.4	10.1	8.2	6.7	3.8	3.8	1.9	0.5	4.8	4.3
	湘南台	195	8.2	9.7	13.3	8.7	10.3	3.1	3.1	1.0	1.5	6.7	4.1
	遠藤	106	17.0	13.2	7.5	4.7	1.9	4.7	4.7	1.9	0.9	2.8	5.7
	長後	234	12.0	12.4	8.5	7.3	7.3	6.4	3.8	3.0	3.0	3.8	4.7
	御所見	137	7.3	6.6	8.0	6.6	4.4	5.1	4.4	3.6	1.5	5.1	5.8
健康状態別	健康だと思う	901	11.8	12.9	12.7	6.8	6.0	4.9	3.7	2.0	1.1	5.8	2.7
	どちらかといえば健康だと思う	1,378	11.0	11.0	9.7	7.8	7.8	5.0	4.1	1.6	2.1	4.2	4.6
	あまり健康だとは思わない	517	11.2	8.1	10.1	8.9	7.0	3.9	5.4	1.7	1.2	5.4	5.2
	健康だと思わない	104	11.5	7.7	8.7	7.7	8.7	6.7	2.9	1.0	0.0	3.8	9.6

第2章 調査結果の詳細

(2) 高齢者に対するサービスの利用者負担

問 51 問 50 にあるようなサービスを利用するにあたって、一定の利用者負担を支払うことについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

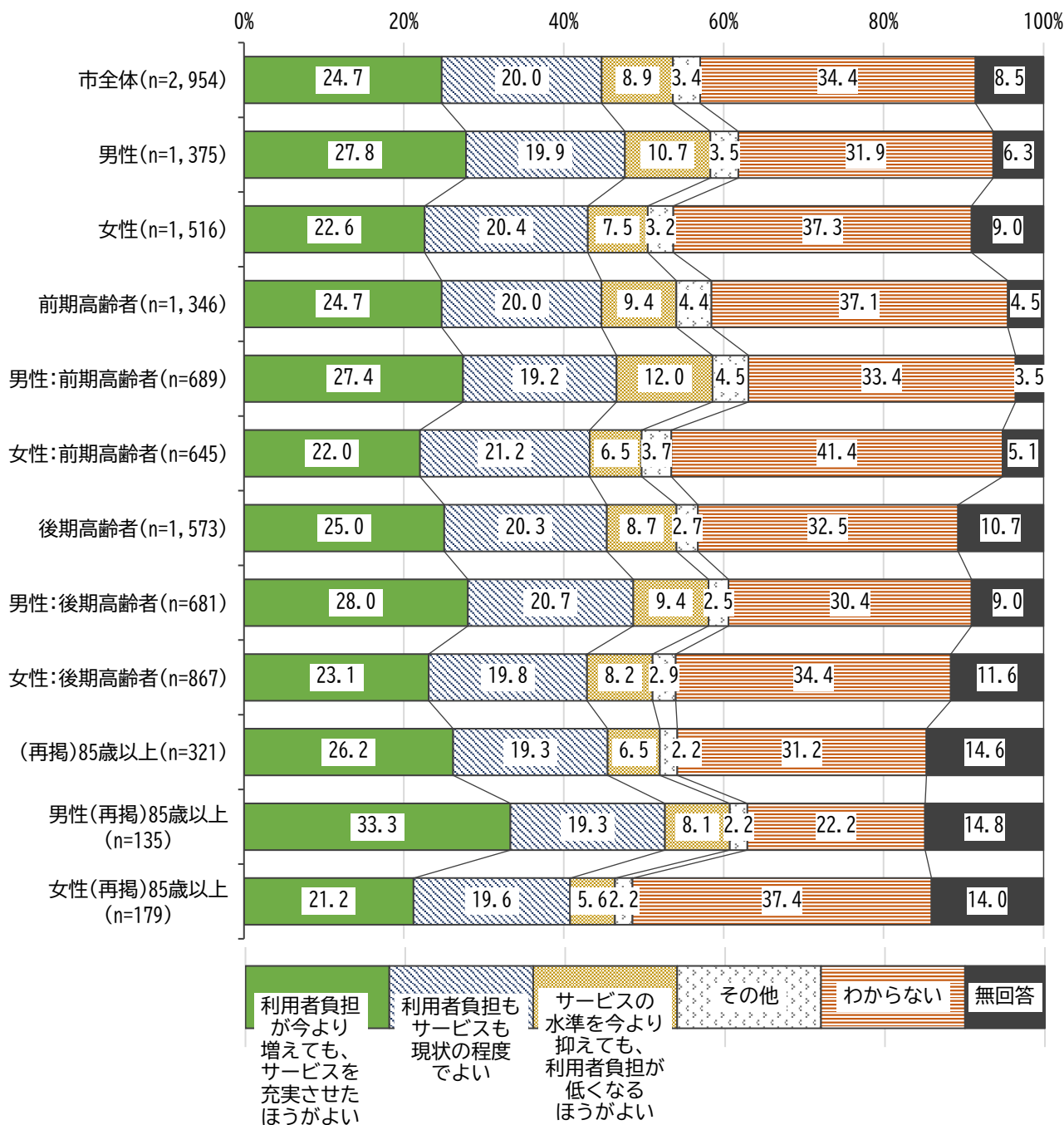
高齢者サービスの利用者負担については、「利用者負担が今より増えても、サービスを充実させたほうがよい」が24.7%、「利用者負担もサービスも現状の程度でよい」が20.0%、「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担が低くなるほうがよい」が8.9%となっています。一方で、「わからない」は34.4%となっています。



「その他」の主な内容：「利用者負担が増えると困る高齢者が多いと思う。しかしサービスは充実させる必要がある」

性別で見ると、男性では「利用者負担が今より増えても、サービスを充実させたほうがよい」が全体の割合に対して高く、女性は「利用者負担もサービスも現状の程度でよい」が全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別 (%)】

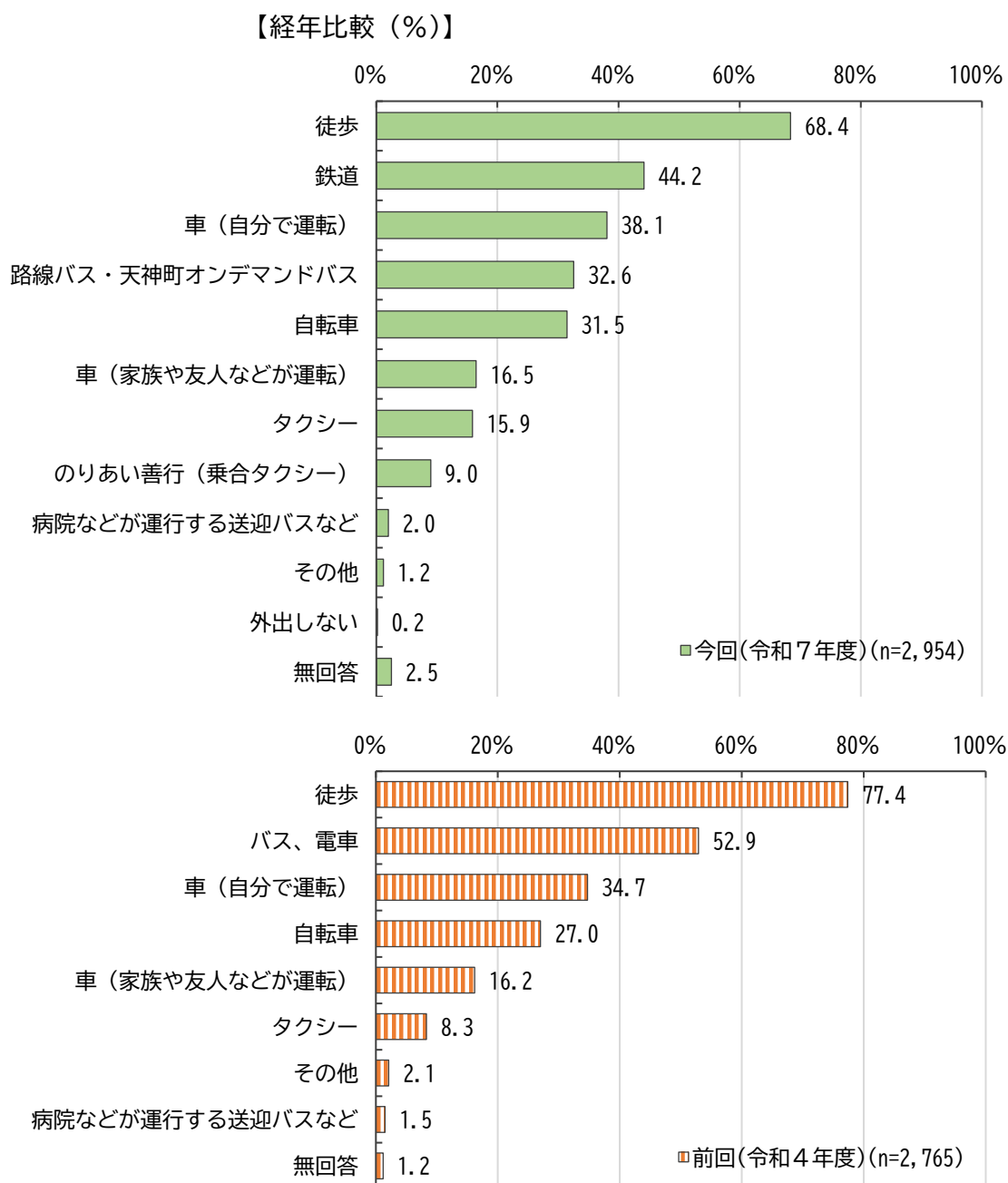


21. 移動について

(1) 外出の際の移動手段

問 52 外出の際の主な移動手段は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

外出の際の主な移動手段については、「徒歩」が68.4%で最も高く、次いで「鉄道」が44.2%、「車（自分で運転）」が38.1%、「路線バス・天神町オンデマンドバス」が32.6%、「自転車」が31.5%の順となっています。



性別で見ると、男性では「徒歩」、「鉄道」、「車（自分で運転）」などが、女性では「徒歩」、「路線バス・天神町オンデマンドバス」、「車（家族や友人などが運転）」などの割合が全体より高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「徒歩」、「鉄道」、「車（自分で運転）」、「自転車」などが、後期高齢者では「路線バス・天神町オンデマンドバス」、「車（家族や友人などが運転）」、「タクシー」などが全体より高くなっています。なかでも85歳以上では「路線バス・天神町オンデマンドバス」、「車（家族や友人などが運転）」、「タクシー」の割合が特に高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	徒歩	鉄道	車 （自分で運転）	路線バス・天神町オンデマンドバス	自転車	車 （家族や友人などが運転）	タクシー	のりあい善行（乗合タクシー）	病院などが運行する送迎バスなど	その他	外出しない	無回答
市全体	2,954	2,020	1,305	1,125	963	930	486	470	266	59	35	6	74
	100.0	68.4	44.2	38.1	32.6	31.5	16.5	15.9	9.0	2.0	1.2	0.2	2.5
男性	1,375	948	621	741	399	487	126	193	128	15	16	2	21
	100.0	68.9	45.2	53.9	29.0	35.4	9.2	14.0	9.3	1.1	1.2	0.1	1.5
女性	1,516	1,043	666	369	553	431	357	268	135	43	19	4	33
	100.0	68.8	43.9	24.3	36.5	28.4	23.5	17.7	8.9	2.8	1.3	0.3	2.2
前期高齢者	1,346	957	674	659	390	436	196	171	122	13	17	2	13
	100.0	71.1	50.1	49.0	29.0	32.4	14.6	12.7	9.1	1.0	1.3	0.1	1.0
男性 前期高齢者	689	482	339	419	161	229	49	84	60	5	11	1	5
	100.0	70.0	49.2	60.8	23.4	33.2	7.1	12.2	8.7	0.7	1.6	0.1	0.7
女性 前期高齢者	645	467	331	234	226	205	147	86	61	8	6	1	6
	100.0	72.4	51.3	36.3	35.0	31.8	22.8	13.3	9.5	1.2	0.9	0.2	0.9
後期高齢者	1,573	1,049	623	460	569	489	288	296	144	45	18	4	46
	100.0	66.7	39.6	29.2	36.2	31.1	18.3	18.8	9.2	2.9	1.1	0.3	2.9
男性 後期高齢者	681	462	280	320	237	256	76	109	68	10	5	1	16
	100.0	67.8	41.1	47.0	34.8	37.6	11.2	16.0	10.0	1.5	0.7	0.1	2.3
女性 後期高齢者	867	573	334	134	326	226	210	181	74	35	13	3	27
	100.0	66.1	38.5	15.5	37.6	26.1	24.2	20.9	8.5	4.0	1.5	0.3	3.1
（再掲）85歳以上	321	222	116	37	124	74	68	77	24	7	7	2	14
	100.0	69.2	36.1	11.5	38.6	23.1	21.2	24.0	7.5	2.2	2.2	0.6	4.4
男性（再掲）85歳以上	135	101	57	33	59	53	17	30	17	2	1	0	4
	100.0	74.8	42.2	24.4	43.7	39.3	12.6	22.2	12.6	1.5	0.7	0.0	3.0
女性（再掲）85歳以上	179	117	57	2	63	19	51	45	7	5	6	2	9
	100.0	65.4	31.8	1.1	35.2	10.6	28.5	25.1	3.9	2.8	3.4	1.1	5.0

「その他」の主な内容：「オートバイ」、「モノレール」

第2章 調査結果の詳細

地域別でみると、「徒歩」が全体より低い地域は、善行、六会、遠藤、長後、御所見となっています。

健康状態（問6）別でみると、健康だと思わない方は、「路線バス・天神町オンデマンドバス」、「車（家族や友人などが運転）」、「タクシー」、「のりあい善行（乗合タクシー）」、「病院などが運行する送迎バスなど」が全体より高くなっています。

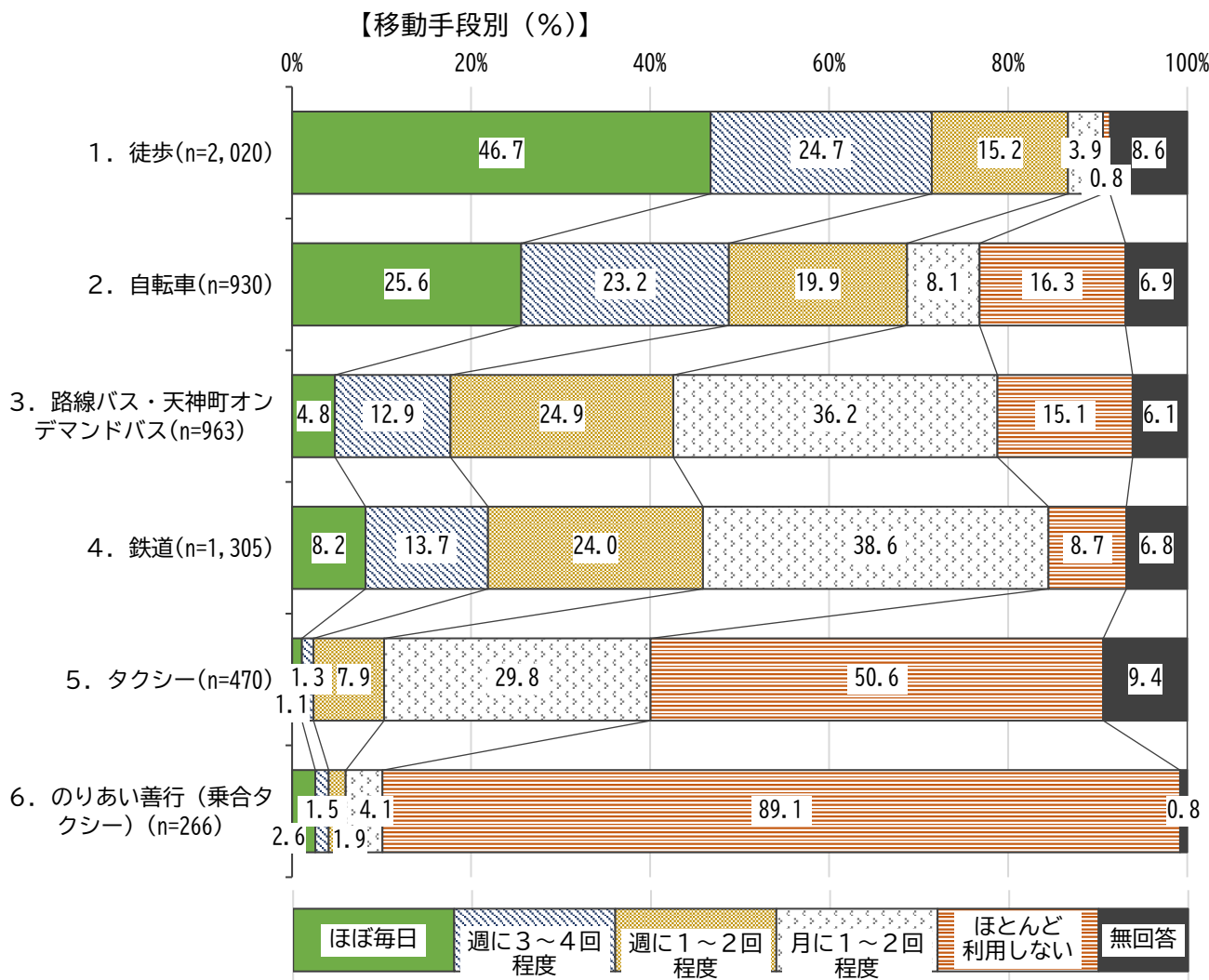
【地域別、健康状態別（％）】

		n =	徒歩	鉄道	車 (自分で運転)	路線バス・天神町オンデマンドバス	自転車	車 (家族や友人などが運転)	タクシー	のりあい善行 (乗合タクシー)	病院などが運行する送迎バスなど	その他	外出しない	無回答
市全体		2,954	68.4	44.2	38.1	32.6	31.5	16.5	15.9	9.0	2.0	1.2	0.2	2.5
地域別	片瀬	150	68.7	52.0	38.7	37.3	32.0	13.3	17.3	10.0	2.0	2.0	0.0	1.3
	鶴沼	406	75.4	50.7	31.0	24.1	45.3	15.5	17.7	9.9	0.5	0.7	0.2	1.2
	辻堂	326	74.8	43.6	38.7	36.5	47.2	13.2	22.1	12.0	3.1	1.5	0.3	1.2
	村岡	182	68.7	31.3	39.6	51.1	28.6	17.0	16.5	5.5	1.1	0.5	0.5	1.1
	藤沢	389	73.8	45.0	27.0	35.0	26.2	13.6	16.5	8.0	1.0	1.8	0.0	2.8
	明治	121	70.2	51.2	35.5	38.8	42.1	14.9	19.8	14.0	0.8	1.7	0.0	1.7
	善行	289	65.4	55.7	43.3	33.2	20.4	13.8	15.6	10.4	1.0	1.7	0.0	1.0
	湘南大庭	179	69.3	35.2	36.9	51.4	26.8	22.3	13.4	7.3	1.7	0.6	0.0	3.4
	六会	208	63.0	44.7	50.0	22.6	24.5	19.7	13.5	7.7	1.4	1.0	0.0	2.4
	湘南台	195	79.5	54.9	34.9	23.6	25.1	17.9	12.8	8.7	4.6	0.5	0.0	1.0
	遠藤	106	51.9	27.4	56.6	40.6	25.5	17.0	17.9	11.3	4.7	0.9	0.0	1.9
	長後	234	64.1	42.7	44.9	14.1	31.6	20.1	11.1	6.8	1.7	0.9	0.9	2.6
御所見	137	40.9	19.0	47.4	38.7	19.0	26.3	8.8	7.3	5.8	1.5	0.7	4.4	
健康状態別	健康だと思う	901	73.1	48.6	44.7	33.1	34.7	14.2	13.4	8.8	1.4	1.1	0.1	1.1
	どちらかといえば健康だと思う	1,378	70.3	44.8	36.2	33.5	32.1	16.9	16.2	8.7	1.5	1.1	0.4	1.7
	あまり健康だとは思わない	517	61.3	40.6	36.9	31.7	27.1	17.0	18.2	10.4	3.7	1.9	0.0	3.3
	健康だと思わない	104	49.0	30.8	25.0	32.7	22.1	30.8	25.0	10.6	4.8	0.0	0.0	5.8

(2) 移動手段の利用頻度

問 52 「1」～「6」のいずれかを回答した方は、その利用頻度にもお答えください。
 (それぞれあてはまるもの1つに○)

移動手段別の利用頻度については、「ほぼ毎日」が最も高かったのは「徒歩」(46.7%)で、次いで「自転車」(25.6%)、「鉄道」(8.2%)、「路線バス・天神町オンデマンドバス」(4.8%)の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

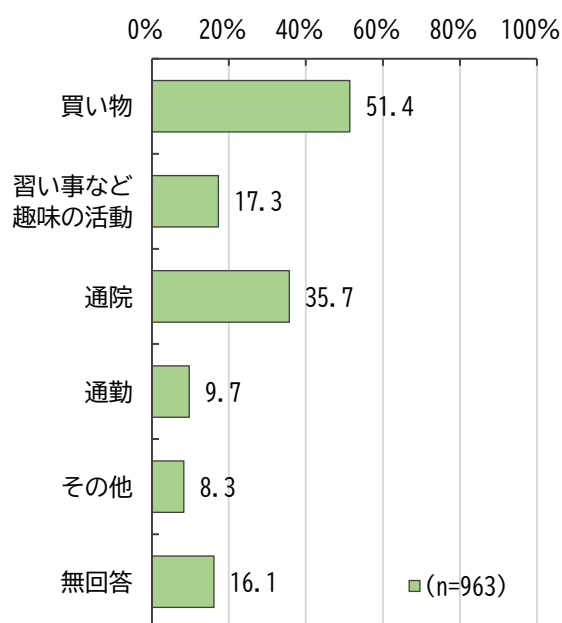
(3) 移動手段別の外出の目的

問 52-1 《問 52 で「3. 路線バス・天神町オンデマンドバス」、「4. 鉄道」、
「5. タクシー」、「6. のりあい善行（乗合タクシー）」と回答した方にうかがいます。》
外出の目的は何ですか。（特にあてはまるもの2つまでに○）

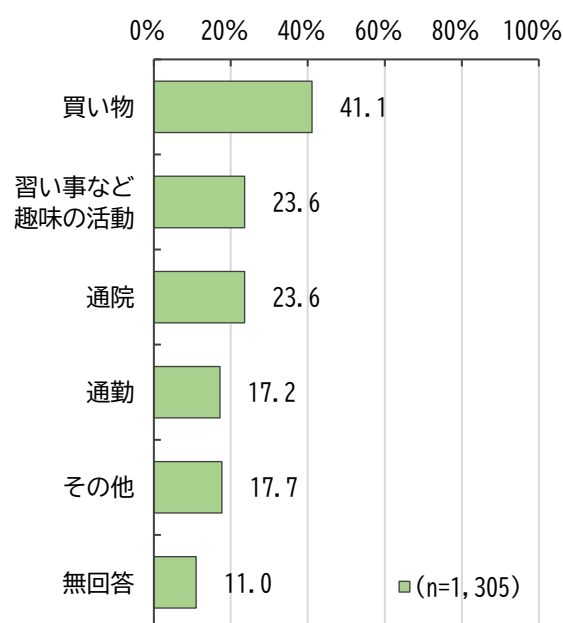
移動手段別の外出の目的については、「3. 路線バス・天神町オンデマンドバス」、「4. 鉄道」は「買い物」が最も高く、「5. タクシー」は「通院」が最も高くなっています。

「通院」でみると、「3. 路線バス・天神町オンデマンドバス」は35.7%、「4. 鉄道」は23.6%となっています。

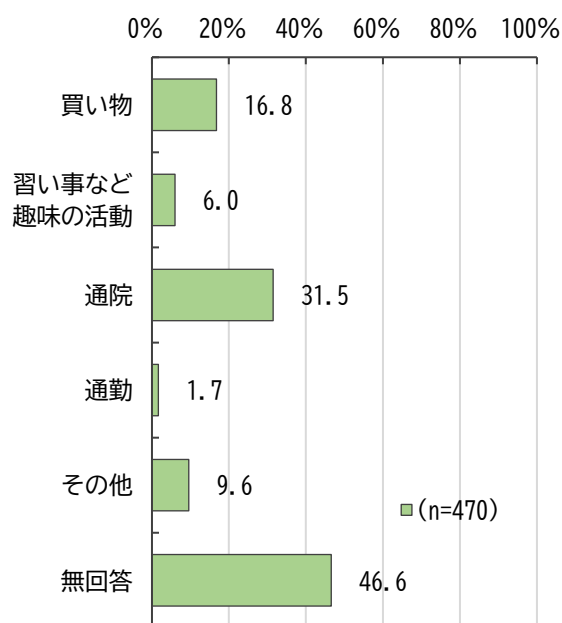
【3. 路線バス・天神町オンデマンドバス (%)】



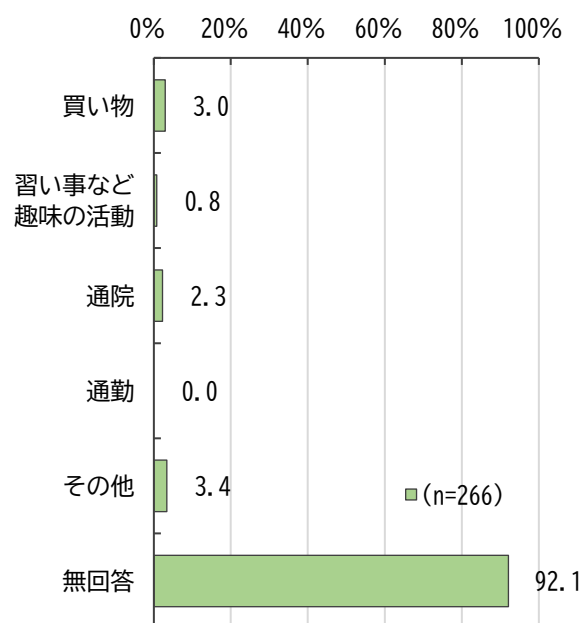
【4. 鉄道 (%)】



【5. タクシー (%)】



【6. のりあい善行（乗合タクシー） (%)】



「その他」の主な内容：「観光」、「親戚や友人と会う」、「お墓参り」、「お見舞い」

(4) バスに乗る時間帯

《問 52 で「3. 路線バス・天神町オンデマンドバス」と回答した方にうかがいます。》

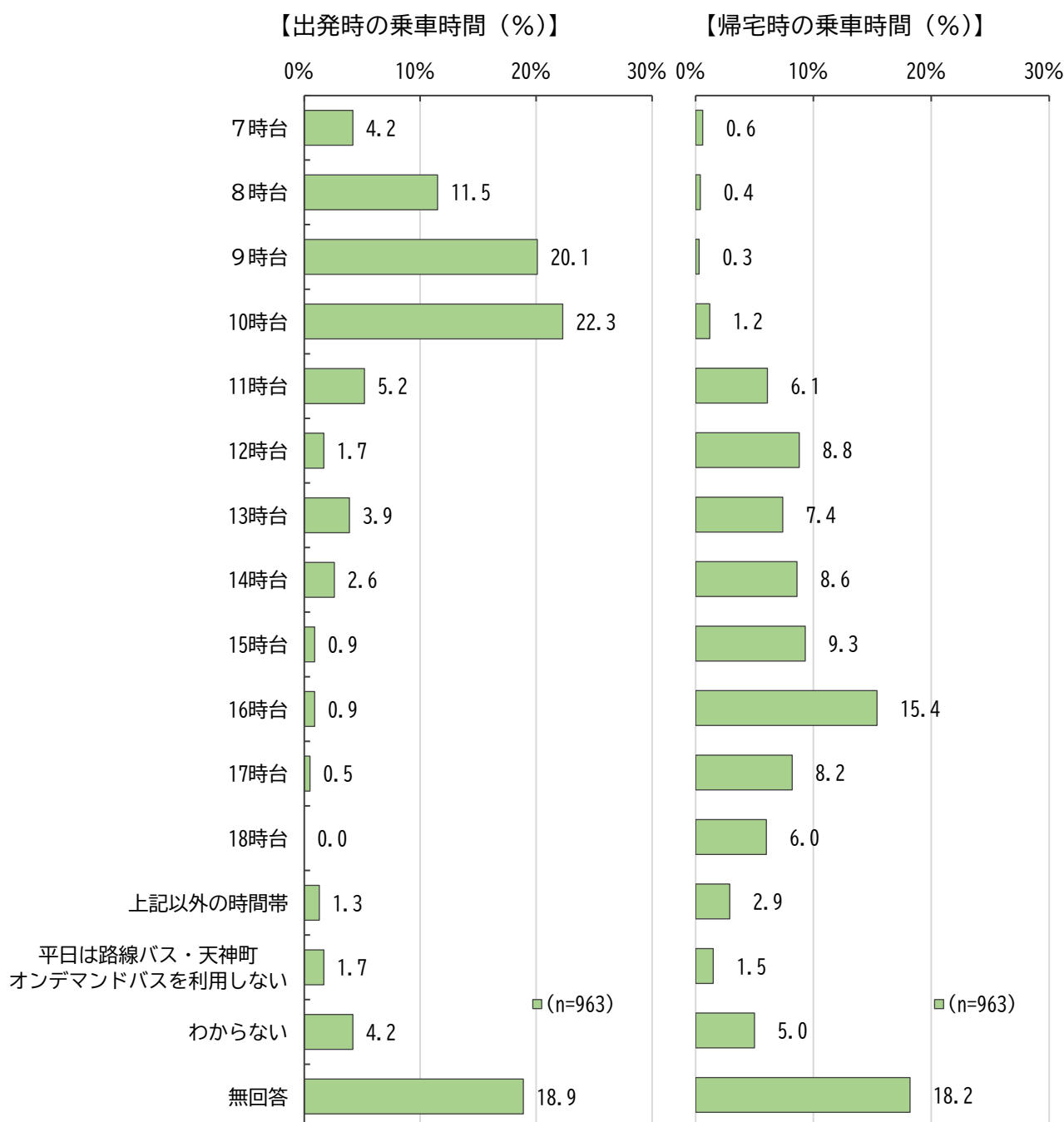
問 52-2 平日に利用する場合、出発時の乗車時間で最も多い時間帯はいつですか。

問 52-3 平日に利用する場合、帰宅時の乗車時間で最も多い時間帯はいつですか。

(いずれも1つに○)

路線バス・天神町オンデマンドバスを利用している方(963名、32.6%)の利用時間帯については、出発時は「10時台」、「9時台」、「8時台」の順に、帰宅時は「16時台」、「15時台」、「12時台」の順になっています。

一方で「平日は路線バス・天神町オンデマンドバスを利用しない」と答えた方もみられません。

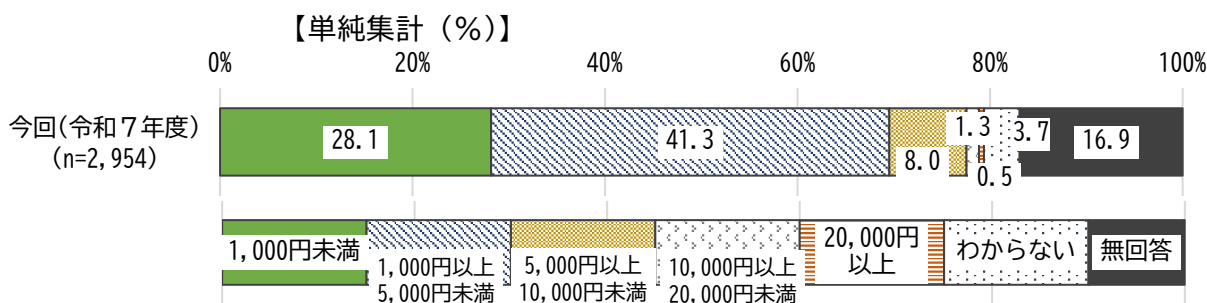


第2章 調査結果の詳細

(5) 路線バスの運賃負担

《問 52 で「3. 路線バス・天神町オンデマンドバス」と回答した方にうかがいます。》
問 52-4 1か月あたりの路線バスの運賃は、いくら負担していますか。(1つに○)

1か月あたりの路線バスの運賃負担額については、「1,000円以上 5,000円未満」が41.3%で最も高く、次いで「1,000円未満」が28.1%、「5,000円以上 10,000円未満」が8.0%、「10,000円以上 20,000円未満」が1.3%となっています。



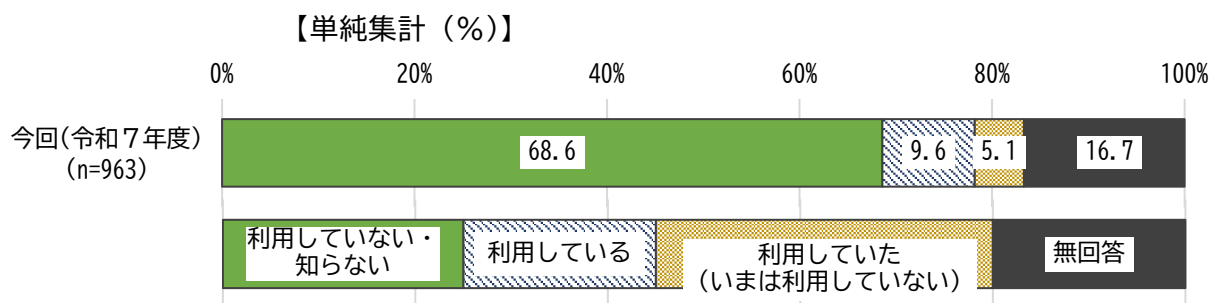
性別でみると、男性では「1,000円未満」、「10,000円以上 20,000円未満」が、女性では「1,000円以上 5,000円未満」、「5,000円以上 10,000円未満」が全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別 (上段：人数、下段：%)】

	n =	1,000円未満	1,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上	わからない	無回答
市全体	963	271	398	77	13	5	36	163
	100.0	28.1	41.3	8.0	1.3	0.5	3.7	16.9
男性	399	116	153	30	8	1	13	78
	100.0	29.1	38.3	7.5	2.0	0.3	3.3	19.5
女性	553	152	239	46	5	4	23	84
	100.0	27.5	43.2	8.3	0.9	0.7	4.2	15.2
前期高齢者	390	120	138	34	7	2	15	74
	100.0	30.8	35.4	8.7	1.8	0.5	3.8	19.0
男性 前期高齢者	161	51	47	15	7	1	6	34
	100.0	31.7	29.2	9.3	4.3	0.6	3.7	21.1
女性 前期高齢者	226	67	90	19	0	1	9	40
	100.0	29.6	39.8	8.4	0.0	0.4	4.0	17.7
後期高齢者	569	151	258	42	6	3	21	88
	100.0	26.5	45.3	7.4	1.1	0.5	3.7	15.5
男性 後期高齢者	237	65	106	15	1	0	7	43
	100.0	27.4	44.7	6.3	0.4	0.0	3.0	18.1
女性 後期高齢者	326	85	148	27	5	3	14	44
	100.0	26.1	45.4	8.3	1.5	0.9	4.3	13.5
(再掲) 85歳以上	124	39	50	8	2	3	8	14
	100.0	31.5	40.3	6.5	1.6	2.4	6.5	11.3
男性 (再掲) 85歳以上	59	21	23	3	1	0	3	8
	100.0	35.6	39.0	5.1	1.7	0.0	5.1	13.6
女性 (再掲) 85歳以上	63	18	25	5	1	3	5	6
	100.0	28.6	39.7	7.9	1.6	4.8	7.9	9.5

《問 52 で「3. 路線バス・天神町オンデマンドバス」と回答した方にうかがいます。》
 問 52-5 バス会社が販売している「かなちゃんパス」「かなちゃん手形」「オレンジワンコインパス」などの割引パスを利用していますか。(1つに○)

バスの割引パスを利用しているかについては、「利用していない・知らない」が 68.6%で最も高く、次いで「利用している」が 9.6%、「利用していた (いまは利用していない)」が 5.1%となっています。



性別でみると、男性では「利用していない・知らない」が、女性では「利用している」、「利用していた (いまは利用していない)」が全体の割合に対して高くなっています。

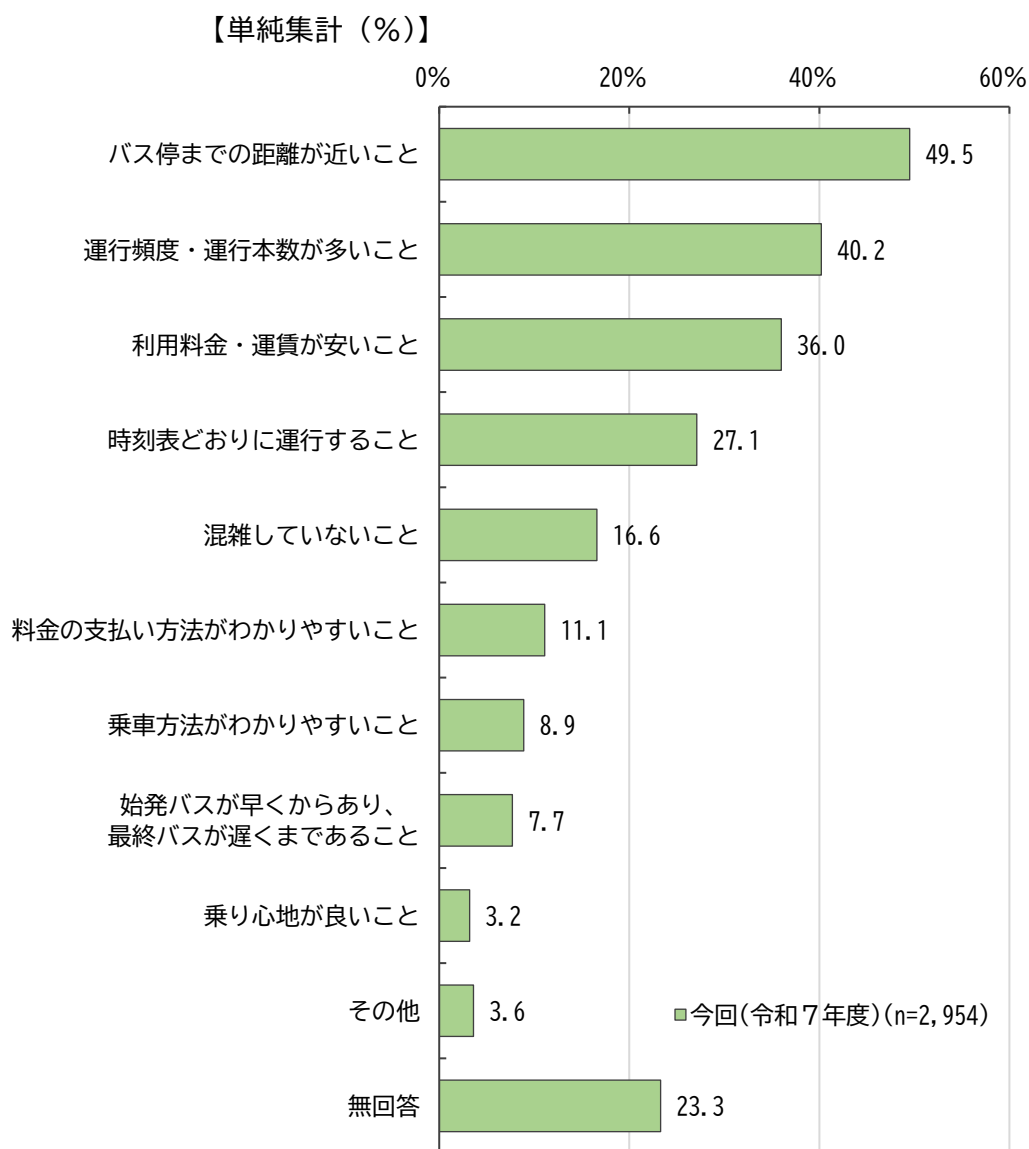
【基本属性別 (上段：人数、下段：%)】

	n =	知らない・利用していない	利用している	利用していた (いまは利用していない)	無回答
市全体	963	661	92	49	161
	100.0	68.6	9.6	5.1	16.7
男性	399	278	29	13	79
	100.0	69.7	7.3	3.3	19.8
女性	553	376	63	35	79
	100.0	68.0	11.4	6.3	14.3
前期高齢者	390	288	20	10	72
	100.0	73.8	5.1	2.6	18.5
男性 前期高齢者	161	115	7	4	35
	100.0	71.4	4.3	2.5	21.7
女性 前期高齢者	226	171	13	6	36
	100.0	75.7	5.8	2.7	15.9
後期高齢者	569	371	72	39	87
	100.0	65.2	12.7	6.9	15.3
男性 後期高齢者	237	163	22	9	43
	100.0	68.8	9.3	3.8	18.1
女性 後期高齢者	326	204	50	29	43
	100.0	62.6	15.3	8.9	13.2
(再掲) 85歳以上	124	81	15	13	15
	100.0	65.3	12.1	10.5	12.1
男性 (再掲) 85歳以上	59	40	5	5	9
	100.0	67.8	8.5	8.5	15.3
女性 (再掲) 85歳以上	63	40	10	7	6
	100.0	63.5	15.9	11.1	9.5

(6) 路線バスを利用して外出するために重要視する項目

問 53 路線バスを利用して外出するために重要視する項目は何ですか。
(特にあてはまるもの4つまでに○)

路線バスを利用して外出するために重要視する項目については、「バス停までの距離が近いこと」が49.5%で最も高く、次いで「運行頻度・運行本数が多いこと」が40.2%、「利用料金・運賃が安いこと」が36.0%、「時刻表どおりに運行すること」が27.1%となっています。



「その他」の主な内容：「割引パスの再考、価格が高過ぎ」、「乗車、降車がしやすいこと」

性別で見ると、男性では「運行頻度・運行本数が多いこと」、「利用料金・運賃が安いこと」、「時刻表どおりに運行すること」などが全体の割合に対して多くなっています。女性では「バス停までの距離が近いこと」、「料金の支払い方法がわかりやすいこと」、「乗車方法がわかりやすいこと」が全体の割合に対して多くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「バス停までの距離が近いこと」、「運行頻度・運行本数が多いこと」、「利用料金・運賃が安いこと」などが、後期高齢者では「料金の支払い方法がわかりやすいこと」、「乗車方法がわかりやすいこと」などの割合が全体より高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	バス停までの距離が近いこと	運行頻度・運行本数が多いこと	利用料金・運賃が安いこと	時刻表どおりに運行すること	混雑していないこと	料金の支払い方法がわかりやすいこと	乗車方法がわかりやすいこと	始発バスが早くからあり、最終バスが遅くまであること	乗り心地が良いこと	その他	無回答
市全体	2,954	1,461	1,188	1,062	802	489	327	264	227	95	105	688
	100.0	49.5	40.2	36.0	27.1	16.6	11.1	8.9	7.7	3.2	3.6	23.3
男性	1,375	647	623	563	388	234	138	112	137	39	59	268
	100.0	47.1	45.3	40.9	28.2	17.0	10.0	8.1	10.0	2.8	4.3	19.5
女性	1,516	799	552	489	408	251	184	150	88	54	45	382
	100.0	52.7	36.4	32.3	26.9	16.6	12.1	9.9	5.8	3.6	3.0	25.2
前期高齢者	1,346	708	642	575	408	249	139	109	133	45	42	213
	100.0	52.6	47.7	42.7	30.3	18.5	10.3	8.1	9.9	3.3	3.1	15.8
男性 前期高齢者	689	336	350	317	206	133	70	56	86	23	23	94
	100.0	48.8	50.8	46.0	29.9	19.3	10.2	8.1	12.5	3.3	3.3	13.6
女性 前期高齢者	645	367	289	256	202	116	66	51	46	22	18	115
	100.0	56.9	44.8	39.7	31.3	18.0	10.2	7.9	7.1	3.4	2.8	17.8
後期高齢者	1,573	749	542	484	393	236	188	154	93	49	63	447
	100.0	47.6	34.5	30.8	25.0	15.0	12.0	9.8	5.9	3.1	4.0	28.4
男性 後期高齢者	681	310	272	245	182	100	68	56	50	16	36	171
	100.0	45.5	39.9	36.0	26.7	14.7	10.0	8.2	7.3	2.3	5.3	25.1
女性 後期高齢者	867	432	262	232	206	134	118	98	42	32	27	264
	100.0	49.8	30.2	26.8	23.8	15.5	13.6	11.3	4.8	3.7	3.1	30.4
(再掲) 85歳以上	321	158	92	86	71	43	47	49	18	11	8	103
	100.0	49.2	28.7	26.8	22.1	13.4	14.6	15.3	5.6	3.4	2.5	32.1
男性 (再掲) 85歳以上	135	64	50	39	35	17	15	14	11	5	4	43
	100.0	47.4	37.0	28.9	25.9	12.6	11.1	10.4	8.1	3.7	3.0	31.9
女性 (再掲) 85歳以上	179	91	39	43	34	26	32	35	7	6	4	57
	100.0	50.8	21.8	24.0	19.0	14.5	17.9	19.6	3.9	3.4	2.2	31.8

第2章 調査結果の詳細

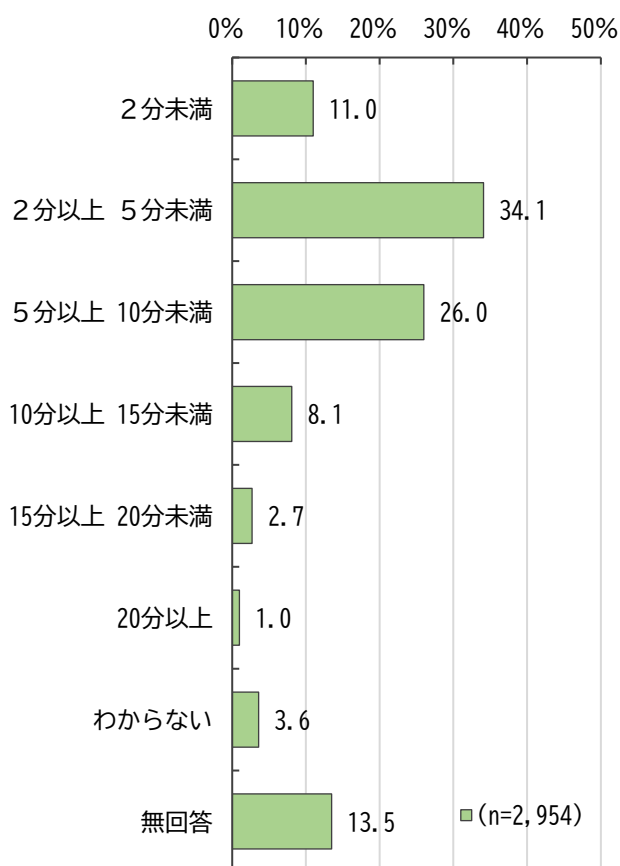
(7) 徒歩での移動時間

問 54 自宅の最寄りのバス停までは、徒歩でどのくらいの時間がかかりますか。
 問 55 自宅の最寄りの駅までは、徒歩でどのくらいの時間がかかりますか。
 (いずれも1つに○)

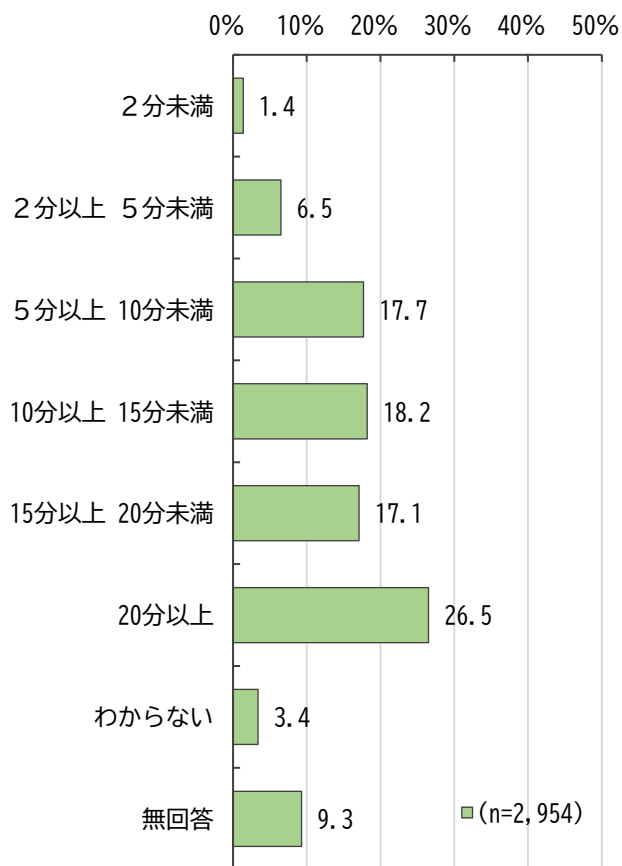
自宅の最寄りのバス停までの徒歩での移動時間は、「2分以上 5分未満」「5分以上 10分未満」「2分未満」「10分以上 15分未満」の順になっています。

自宅の最寄りの駅までの徒歩での移動時間は、「20分以上」「10分以上 15分未満」「5分以上 10分未満」「15分以上 20分未満」の順になっています。

【最寄りのバス停まで (%)】



【最寄りの駅まで (%)】



「自宅の最寄りのバス停まで」を地域別で見ると、すべての地域で「2分以上 5分未満」、
「5分以上 10分未満」が上位3つの中に入っています。

【最寄りのバス停まで・地域別（上段：人数、下段：％）】

	n =	2分未満	2分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 15分未満	15分以上 20分未満	20分以上	わからない	無回答	
		市全体	2,954	324	1,008	767	240	80	29	106
		100.0	11.0	34.1	26.0	8.1	2.7	1.0	3.6	13.5
片瀬	150	22	51	39	9	2	1	5	21	
		100.0	14.7	34.0	26.0	6.0	1.3	0.7	3.3	14.0
鵜沼	406	51	105	95	27	18	8	33	69	
		100.0	12.6	25.9	23.4	6.7	4.4	2.0	8.1	17.0
辻堂	326	24	116	102	40	7	0	6	31	
		100.0	7.4	35.6	31.3	12.3	2.1	0.0	1.8	9.5
村岡	182	23	81	51	14	5	1	0	7	
		100.0	12.6	44.5	28.0	7.7	2.7	0.5	0.0	3.8
藤沢	389	53	161	91	27	7	1	7	42	
		100.0	13.6	41.4	23.4	6.9	1.8	0.3	1.8	10.8
明治	121	13	46	45	3	2	0	1	11	
		100.0	10.7	38.0	37.2	2.5	1.7	0.0	0.8	9.1
善行	289	38	115	79	20	6	3	4	24	
		100.0	13.1	39.8	27.3	6.9	2.1	1.0	1.4	8.3
湘南大庭	179	20	80	51	11	1	0	0	16	
		100.0	11.2	44.7	28.5	6.1	0.6	0.0	0.0	8.9
六会	208	26	48	50	20	7	2	12	43	
		100.0	12.5	23.1	24.0	9.6	3.4	1.0	5.8	20.7
湘南台	195	13	49	53	23	8	2	13	34	
		100.0	6.7	25.1	27.2	11.8	4.1	1.0	6.7	17.4
遠藤	106	9	53	31	5	0	0	0	8	
		100.0	8.5	50.0	29.2	4.7	0.0	0.0	0.0	7.5
長後	234	13	47	40	28	14	7	24	61	
		100.0	5.6	20.1	17.1	12.0	6.0	3.0	10.3	26.1
御所見	137	17	50	36	13	3	4	0	14	
		100.0	12.4	36.5	26.3	9.5	2.2	2.9	0.0	10.2

第2章 調査結果の詳細

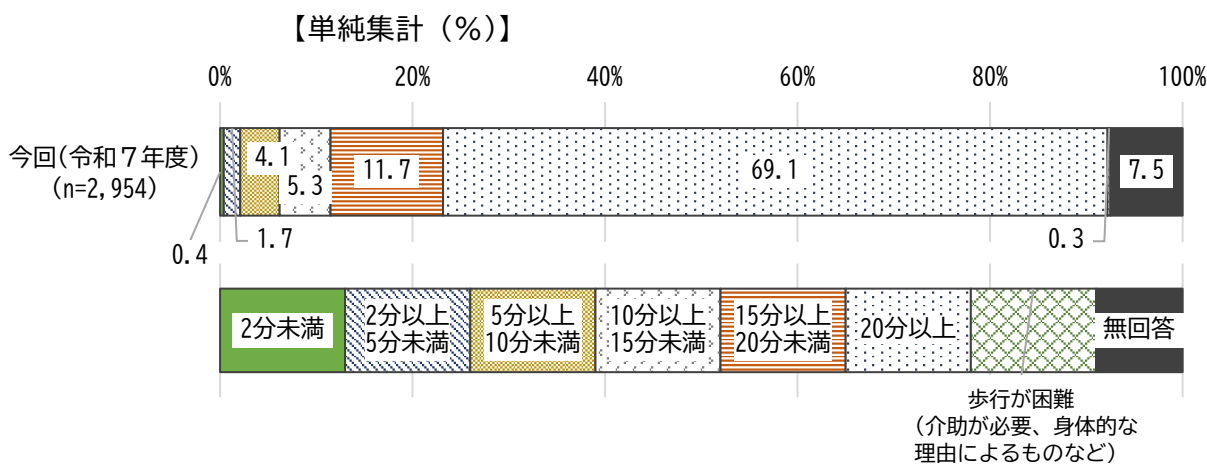
「自宅の最寄りの駅まで」を地域別で見ると、市全体では、「20分以上」の回答が最も高く26.5%となっています。「20分以上」の回答が30.0%以上の地域は、辻堂、村岡、湘南大庭、遠藤、御所見となっています。

【最寄りの駅まで・地域別（上段：人数、下段：％）】

	n =	2分未満	2分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 15分未満	15分以上 20分未満	20分以上	わからない	無回答
		市全体	2,954	40	193	522	537	506	782
	100.0	1.4	6.5	17.7	18.2	17.1	26.5	3.4	9.3
片瀬	150	10	29	51	23	9	11	2	15
	100.0	6.7	19.3	34.0	15.3	6.0	7.3	1.3	10.0
鵜沼	406	12	51	167	93	35	15	4	29
	100.0	3.0	12.6	41.1	22.9	8.6	3.7	1.0	7.1
辻堂	326	2	10	32	59	88	111	7	17
	100.0	0.6	3.1	9.8	18.1	27.0	34.0	2.1	5.2
村岡	182	1	0	5	16	38	108	4	10
	100.0	0.5	0.0	2.7	8.8	20.9	59.3	2.2	5.5
藤沢	389	3	28	81	81	70	93	5	28
	100.0	0.8	7.2	20.8	20.8	18.0	23.9	1.3	7.2
明治	121	1	5	17	30	32	28	1	7
	100.0	0.8	4.1	14.0	24.8	26.4	23.1	0.8	5.8
善行	289	1	11	43	80	99	40	1	14
	100.0	0.3	3.8	14.9	27.7	34.3	13.8	0.3	4.8
湘南大庭	179	0	2	1	2	3	126	23	22
	100.0	0.0	1.1	0.6	1.1	1.7	70.4	12.8	12.3
六会	208	4	8	33	44	30	57	9	23
	100.0	1.9	3.8	15.9	21.2	14.4	27.4	4.3	11.1
湘南台	195	2	17	60	55	26	18	2	15
	100.0	1.0	8.7	30.8	28.2	13.3	9.2	1.0	7.7
遠藤	106	0	5	1	0	5	73	11	11
	100.0	0.0	4.7	0.9	0.0	4.7	68.9	10.4	10.4
長後	234	3	20	31	50	63	34	1	32
	100.0	1.3	8.5	13.2	21.4	26.9	14.5	0.4	13.7
御所見	137	1	3	0	3	4	65	29	32
	100.0	0.7	2.2	0.0	2.2	2.9	47.4	21.2	23.4

問 56 あなたが休まず歩ける時間は、どのくらいですか。(1つに○)

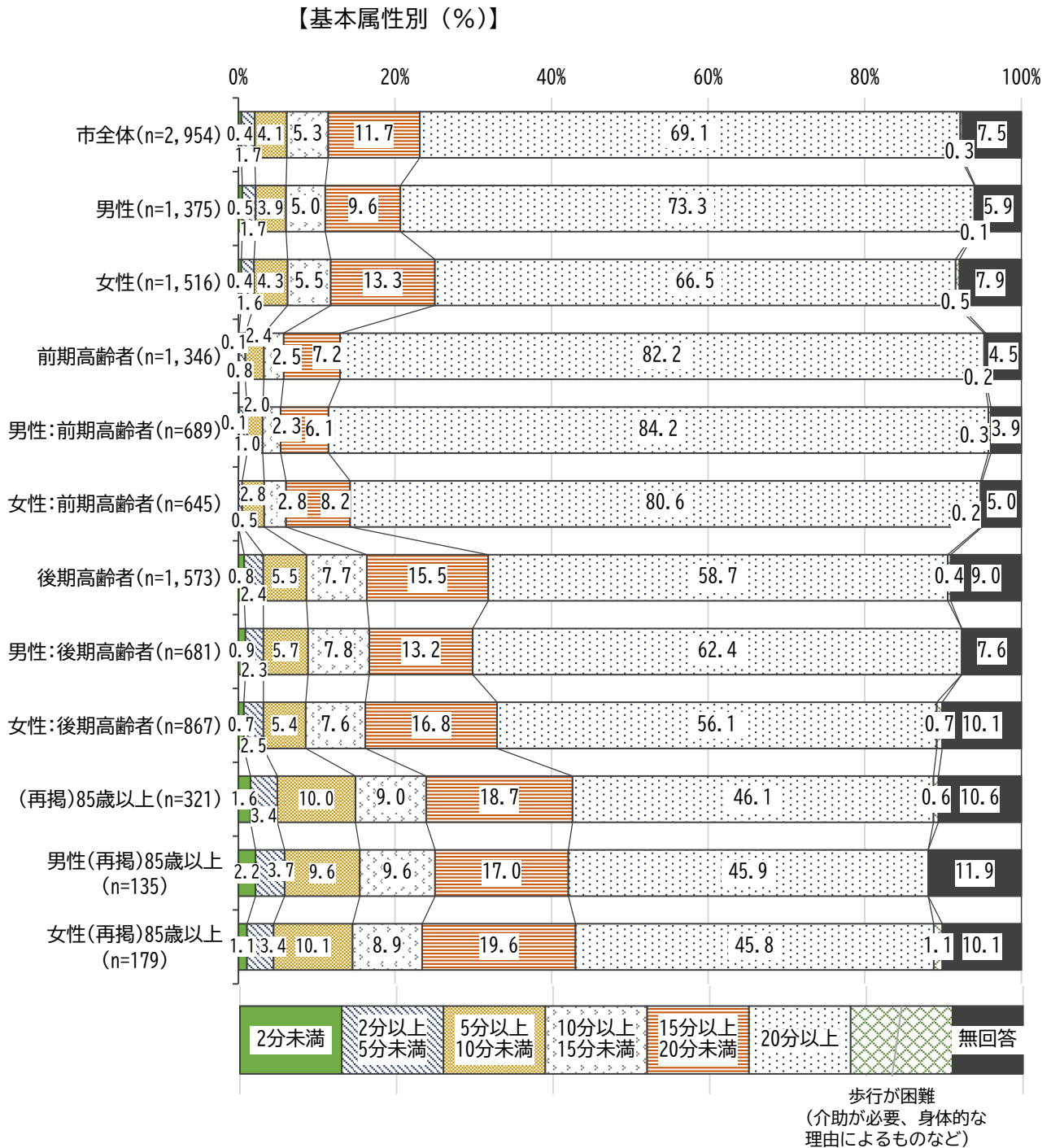
休まず歩ける時間については、「20分以上」が69.1%で最も高く、次いで「15分以上20分未満」が11.7%、「10分以上15分未満」が5.3%、「5分以上10分未満」が4.1%となっています。また、「歩行が困難(介助が必要、身体的な理由によるものなど)」は0.3%となっています。



第2章 調査結果の詳細

性別で見ると、男性では「20分以上」が、女性では「15分以上 20分未満」が全体の割合に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「20分以上」が、後期高齢者では「5分以上 10分未満」、「10分以上 15分未満」、「15分以上 20分未満」が全体の割合に対して高くなっています。



地域別でみると、市全体では、「20分以上」が最も高く69.1%となっています。「20分以上」の回答が70.0%以上の地域は、片瀬、鵜沼、辻堂、村岡、藤沢、善行となっています。

【地域別（上段：人数、下段：％）】

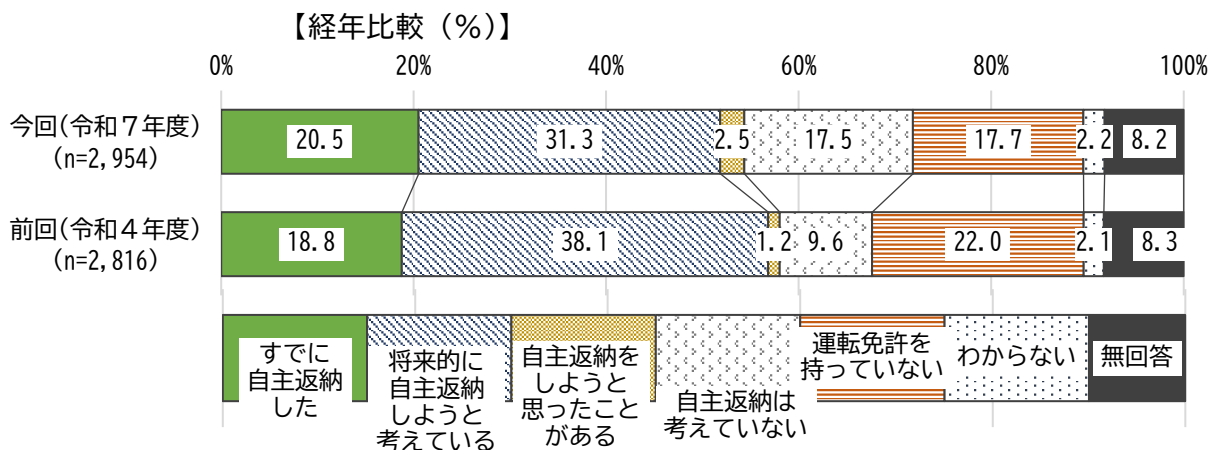
	n =	2分未満	2分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 15分未満	15分以上 20分未満	20分以上	歩行が困難（介助が必要、身体的な理由によるものなど）	無回答
市全体	2,954	13	50	120	156	345	2,040	9	221
	100.0	0.4	1.7	4.1	5.3	11.7	69.1	0.3	7.5
片瀬	150	0	0	5	5	10	115	0	15
	100.0	0.0	0.0	3.3	3.3	6.7	76.7	0.0	10.0
鵜沼	406	3	4	15	14	44	298	3	25
	100.0	0.7	1.0	3.7	3.4	10.8	73.4	0.7	6.2
辻堂	326	0	4	12	14	41	236	0	19
	100.0	0.0	1.2	3.7	4.3	12.6	72.4	0.0	5.8
村岡	182	2	3	9	10	19	129	0	10
	100.0	1.1	1.6	4.9	5.5	10.4	70.9	0.0	5.5
藤沢	389	1	4	16	20	35	286	0	27
	100.0	0.3	1.0	4.1	5.1	9.0	73.5	0.0	6.9
明治	121	0	2	9	8	17	81	0	4
	100.0	0.0	1.7	7.4	6.6	14.0	66.9	0.0	3.3
善行	289	2	7	14	20	32	203	1	10
	100.0	0.7	2.4	4.8	6.9	11.1	70.2	0.3	3.5
湘南大庭	179	0	3	8	8	23	122	0	15
	100.0	0.0	1.7	4.5	4.5	12.8	68.2	0.0	8.4
六会	208	2	8	3	7	37	129	0	22
	100.0	1.0	3.8	1.4	3.4	17.8	62.0	0.0	10.6
湘南台	195	2	4	6	16	23	132	1	11
	100.0	1.0	2.1	3.1	8.2	11.8	67.7	0.5	5.6
遠藤	106	0	3	6	10	16	63	0	8
	100.0	0.0	2.8	5.7	9.4	15.1	59.4	0.0	7.5
長後	234	0	4	10	11	28	154	2	25
	100.0	0.0	1.7	4.3	4.7	12.0	65.8	0.9	10.7
御所見	137	1	2	7	12	17	85	2	11
	100.0	0.7	1.5	5.1	8.8	12.4	62.0	1.5	8.0

第2章 調査結果の詳細

(8) 運転免許証の自主返納

問 57 運転免許証の自主返納について、どのようにお考えですか。(1つに○)

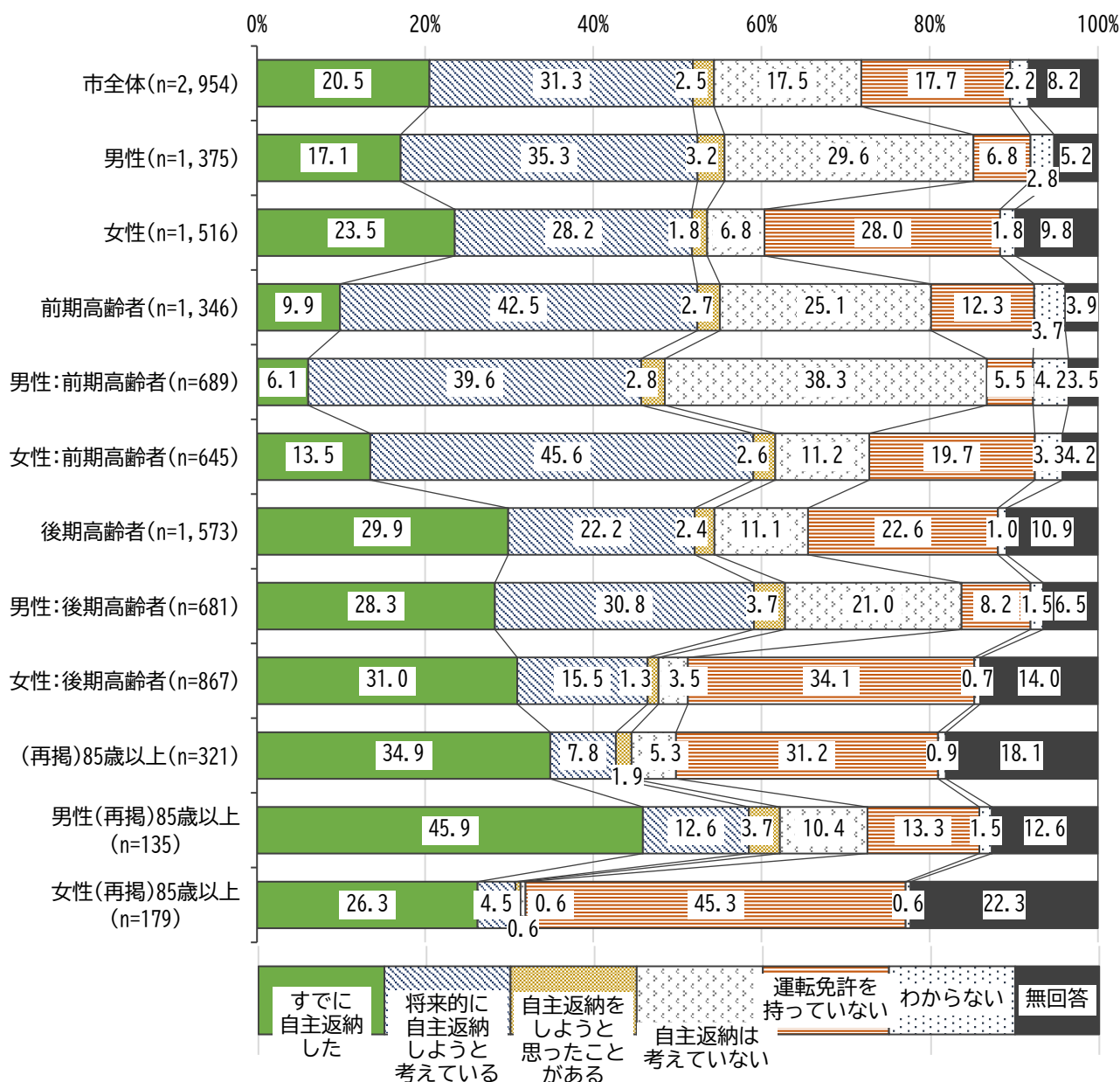
運転免許証の自主返納については、「将来的に自主返納しようと考えている」が 31.3%で最も高く、次いで「すでに自主返納した」が 20.5%、「運転免許を持っていない」が 17.7%、「自主返納は考えていない」が 17.5%、「自主返納をしようと思ったことがある」が 2.5%となっています。



性別で見ると、男性では「将来的に自主返納しようと考えている」、「自主返納をしようと思ったことがある」、「自主返納は考えていない」が、女性では「すでに自主返納した」、「運転免許を持っていない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「将来的に自主返納しようと考えている」、「自主返納をしようと思ったことがある」、「自主返納は考えていない」が、後期高齢者では「すでに自主返納した」、「運転免許を持っていない」が全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別 (%)】

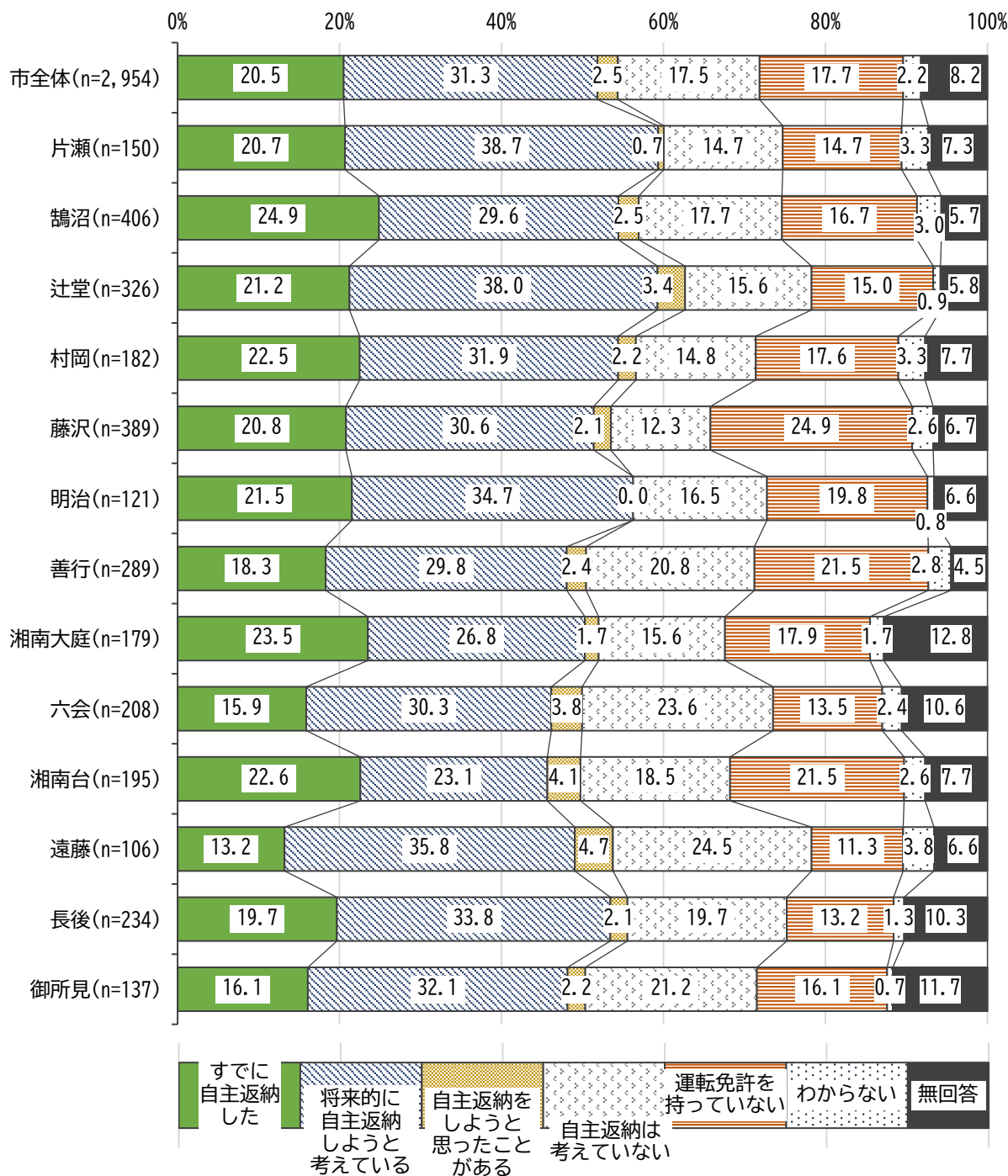


第2章 調査結果の詳細

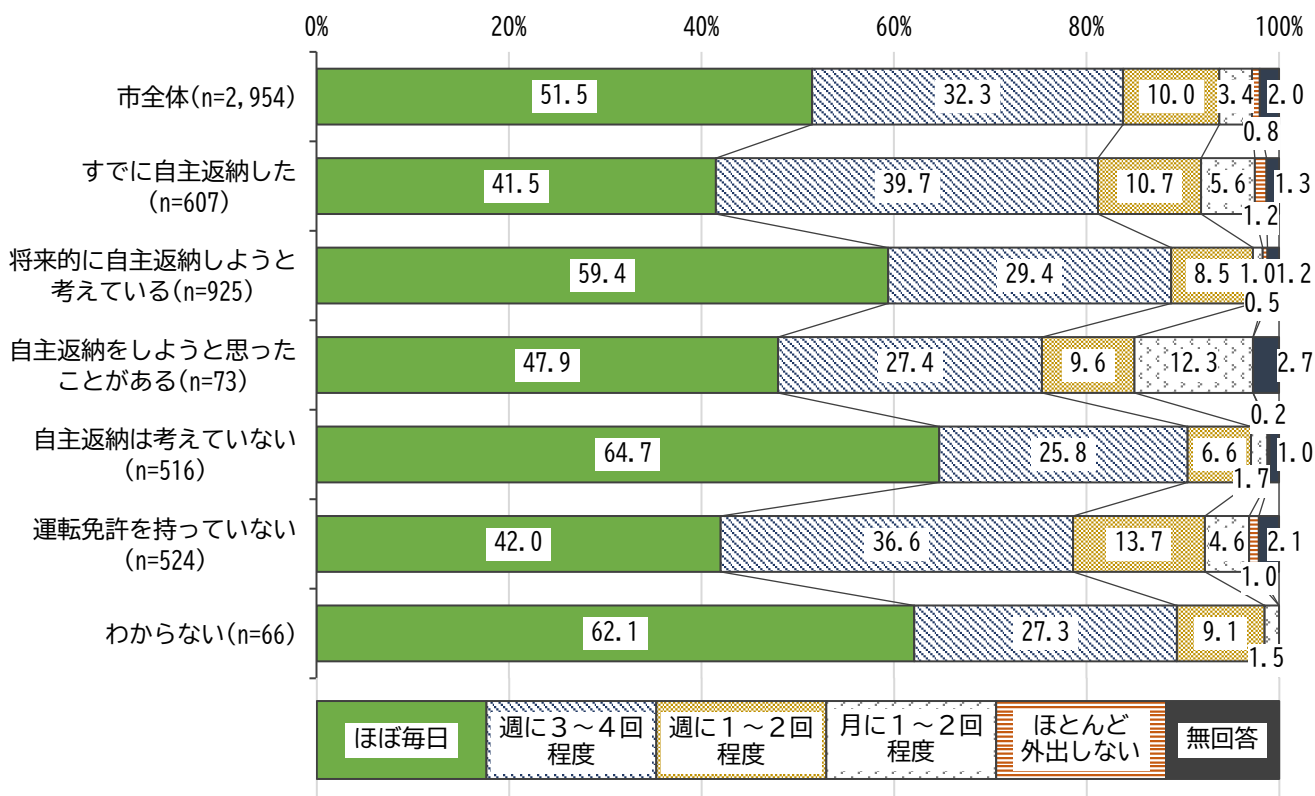
地域別で見ると、鶴沼と湘南大庭では「すでに自主返納した」が他の地域に比べて高く、ほか、片瀬、辻堂、村岡、藤沢、明治、湘南台で20%台となっています。

片瀬、辻堂、村岡、明治、遠藤、長後、御所見では「将来的に自主返納しようと考えている」が市全体より高くなっています。

【地域別 (%)】



【外出頻度別 (%)】



【移動手段別 (上段：人数、下段：%)】

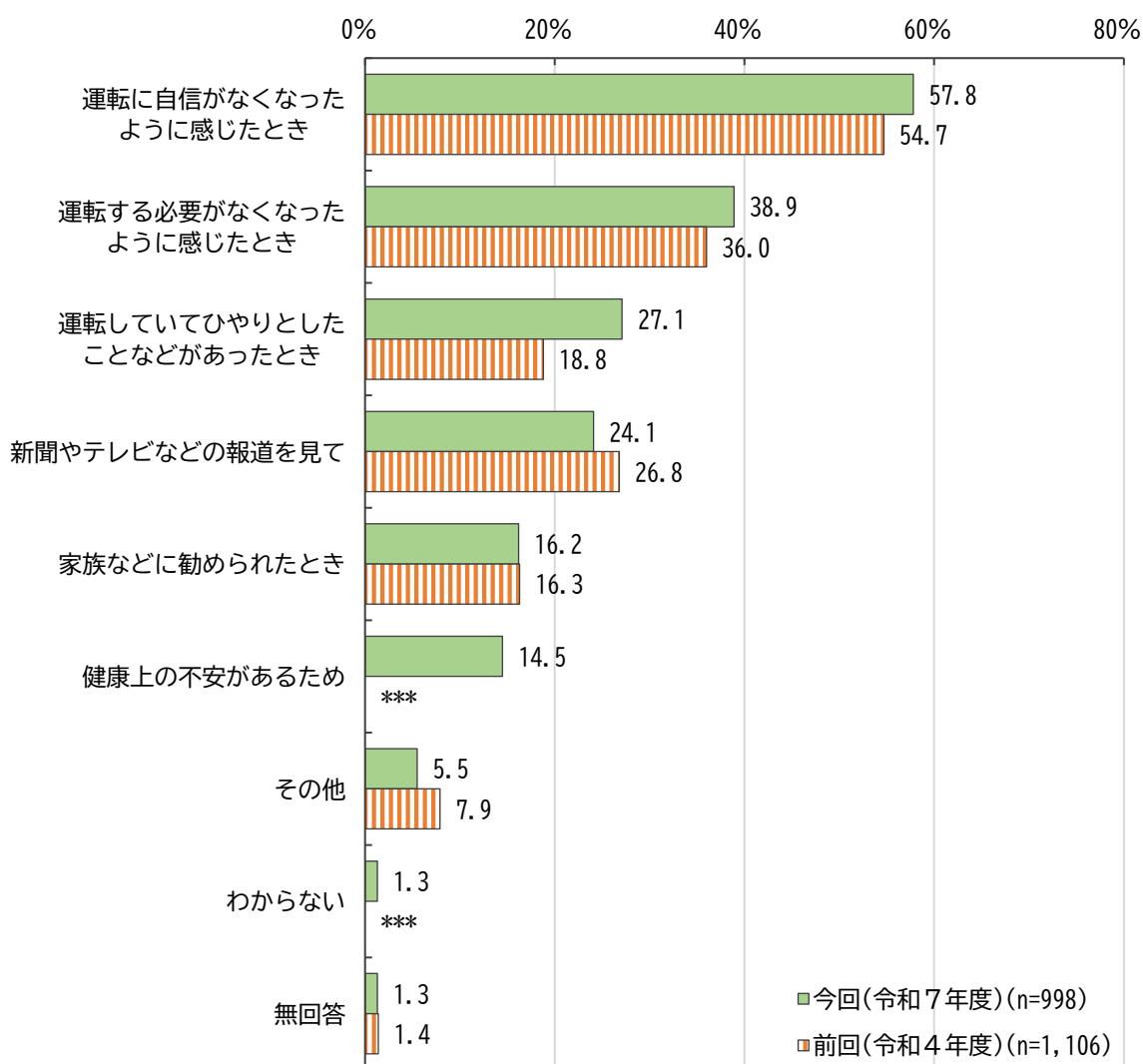
	n=	徒歩	鉄道	車 (自分で運転)	路線バス・天神町オンデマンドバス	自転車	車 (家族や友人などが運転)	タクシー	のりあい善行 (乗合タクシー)	病院などが運行する送迎バスなど	その他	外出しない	
市全体	2,954	2,020	1,305	1,125	963	930	486	470	266	59	35	6	
		100.0	68.4	44.2	38.1	32.6	31.5	16.5	15.9	9.0	2.0	1.2	0.2
すでに自主返納した	607	480	304	3	269	216	127	150	55	19	7	0	
		20.5	79.1	50.1	0.5	44.3	35.6	20.9	24.7	9.1	3.1	1.2	0.0
将来的に自主返納しようと考えている	925	630	419	593	274	288	125	113	96	12	6	0	
		31.3	68.1	45.3	64.1	29.6	31.1	13.5	12.2	10.4	1.3	0.6	0.0
自主返納をしようと思ったことがある	73	49	25	45	19	29	9	9	7	1	1	0	
		2.5	67.1	34.2	61.6	26.0	39.7	12.3	12.3	9.6	1.4	1.4	0.0
自主返納は考えていない	516	286	198	413	86	138	52	44	32	4	13	0	
		17.5	55.4	38.4	80.0	16.7	26.7	10.1	8.5	6.2	0.8	2.5	0.0
運転免許を持っていない	524	396	255	0	234	170	120	113	54	18	5	5	
		17.7	75.6	48.7	0.0	44.7	32.4	22.9	21.6	10.3	3.4	1.0	1.0
わからない	66	55	33	27	19	29	12	6	6	0	2	0	
		2.2	83.3	50.0	40.9	28.8	43.9	18.2	9.1	9.1	0.0	3.0	0.0

(9) 自主返納を考えた理由

問 57-1 《問 57 で「2. 将来的に自主返納しようと考えている」、「3. 自主返納をしようと思ったことがある」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 自主返納をしようと思ったのは、どのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)

「将来的に自主返納しようと考えている」、「自主返納をしようと思ったことがある」と回答した方(998人、33.8%)が自主返納を考えた理由については、「運転に自信がなくなったように感じたとき」(57.8%)が5割を超え、次いで「運転する必要がなくなったように感じたとき」(38.9%)、「運転していてひやりとしたことなどがあったとき」(27.1%)、「新聞やテレビなどの報道を見て」(24.1%)、「家族などに勧められたとき」(16.2%)、「健康上の不安があるため」(14.5%)と続いています。

【経年比較 (%)】



※令和4年度は「健康上の不安があるため」、「わからない」の選択肢がないため、***表記としている。

性別でみると、男性では「運転に自信がなくなったとき」、「運転していてひやりとしたことなどがあったとき」など、女性では「運転する必要がなくなったように感じたとき」、「新聞やテレビなどの報道を見て」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別でみると、前期高齢者では「運転する必要がなくなったように感じたとき」、「新聞やテレビなどの報道を見て」が、後期高齢者では「運転に自信がなくなったとき」、「運転していてひやりとしたことなどがあったとき」などの割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	運転に自信がなくなったとき	運転する必要がなくなったように感じたとき	運転していてひやりとしたことなどがあったとき	新聞やテレビなどの報道を見て	家族などに勧められたとき	健康上の不安があるため	その他	わからない	無回答
市全体	998	577	388	270	241	162	145	55	13	13
	100.0	57.8	38.9	27.1	24.1	16.2	14.5	5.5	1.3	1.3
男性	529	324	199	160	116	99	98	22	8	6
	100.0	61.2	37.6	30.2	21.9	18.7	18.5	4.2	1.5	1.1
女性	456	246	182	110	123	61	43	32	5	5
	100.0	53.9	39.9	24.1	27.0	13.4	9.4	7.0	1.1	1.1
前期高齢者	608	348	249	160	152	65	76	38	8	4
	100.0	57.2	41.0	26.3	25.0	10.7	12.5	6.3	1.3	0.7
男性 前期高齢者	292	171	115	80	68	33	46	15	7	2
	100.0	58.6	39.4	27.4	23.3	11.3	15.8	5.1	2.4	0.7
女性 前期高齢者	311	173	131	80	83	32	27	23	1	1
	100.0	55.6	42.1	25.7	26.7	10.3	8.7	7.4	0.3	0.3
後期高齢者	386	227	138	109	89	97	68	17	5	9
	100.0	58.8	35.8	28.2	23.1	25.1	17.6	4.4	1.3	2.3
男性 後期高齢者	235	151	84	79	48	66	52	7	1	4
	100.0	64.3	35.7	33.6	20.4	28.1	22.1	3.0	0.4	1.7
女性 後期高齢者	145	73	51	30	40	29	16	9	4	4
	100.0	50.3	35.2	20.7	27.6	20.0	11.0	6.2	2.8	2.8
(再掲) 85歳以上	31	13	11	12	11	8	7	3	0	0
	100.0	41.9	35.5	38.7	35.5	25.8	22.6	9.7	0.0	0.0
男性 (再掲) 85歳以上	22	10	9	8	8	5	6	1	0	0
	100.0	45.5	40.9	36.4	36.4	22.7	27.3	4.5	0.0	0.0
女性 (再掲) 85歳以上	9	3	2	4	3	3	1	2	0	0
	100.0	33.3	22.2	44.4	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0

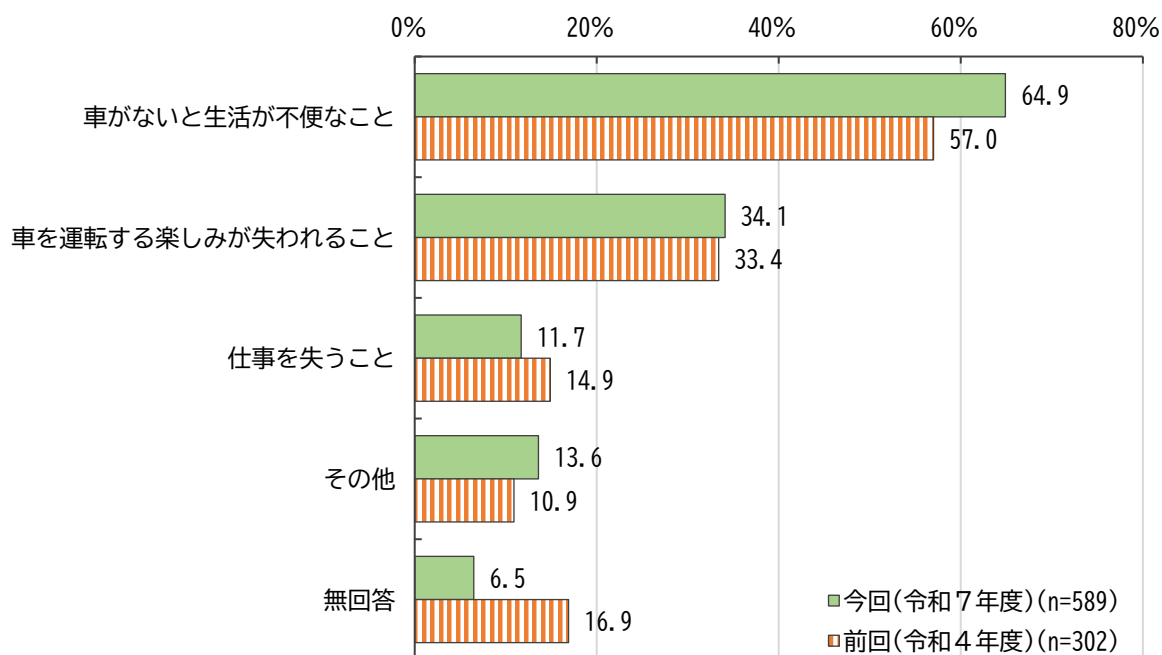
「その他」の主な内容：「マイナンバーカードを取得して」、「もともとパーパードライバーだった」

(10) 自主返納をためらう理由

問 57-2 《問 57 で「3. 自主返納をしようと思ったことがある」、「4. 自主返納は考えていない」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 自主返納をためらう理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自主返納をしようと思ったことがある」、「自主返納は考えていない」と回答した方（589人、20.0%）の、自主返納をためらう理由については、「車がないと生活が不便なこと」が64.9%で最も高く、6割を超えています。次いで「車を運転する楽しみが失われること」が34.1%、「仕事を失うこと」が11.7%となっています。

【経年比較 (%)】



性別で見ると、男性では「車を運転する楽しみが失われること」、「仕事を失うこと」が、女性では「車がないと生活が不便なこと」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別で見ると、前期高齢者では「車を運転する楽しみが失われること」、「仕事を失うこと」が、後期高齢者では「車がないと生活が不便なこと」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（上段：人数、下段：％）】

	n =	車がないと生活が不便なこと	車を運転する楽しみが失われること	仕事を失うこと	その他	無回答
市全体	589	382	201	69	80	38
	100.0	64.9	34.1	11.7	13.6	6.5
男性	451	291	171	58	58	23
	100.0	64.5	37.9	12.9	12.9	5.1
女性	131	86	29	11	21	14
	100.0	65.6	22.1	8.4	16.0	10.7
前期高齢者	374	227	128	49	54	25
	100.0	60.7	34.2	13.1	14.4	6.7
男性 前期高齢者	283	165	110	40	40	15
	100.0	58.3	38.9	14.1	14.1	5.3
女性 前期高齢者	89	61	18	9	13	10
	100.0	68.5	20.2	10.1	14.6	11.2
後期高齢者	212	152	72	20	26	13
	100.0	71.7	34.0	9.4	12.3	6.1
男性 後期高齢者	168	126	61	18	18	8
	100.0	75.0	36.3	10.7	10.7	4.8
女性 後期高齢者	41	24	11	2	8	4
	100.0	58.5	26.8	4.9	19.5	9.8
(再掲) 85歳以上	23	18	6	1	1	2
	100.0	78.3	26.1	4.3	4.3	8.7
男性 (再掲) 85歳以上	19	16	6	1	1	0
	100.0	84.2	31.6	5.3	5.3	0.0
女性 (再掲) 85歳以上	2	1	0	0	0	1
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

「その他」の主な内容：「まだ問題ないと思う」、「自主的に返納する理由がない」

22. 今後の高齢者保健福祉施策に対するご意見

★ 今後の高齢者保健福祉施策に対して、ご意見があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にご記入ください。

自由記入には、676 人の回答がありました。項目別では、「高齢者保健福祉施策について」が 117 件で最も多く、次いで「移動手段の整備や交通費補助について」（102 件）、「アンケートについて」（85 件）、「サービス・生活支援について」（73 件）と続いています。

項目	件数※
高齢者保健福祉施策について	117
移動手段の整備や交通費補助について	102
アンケートについて	85
サービス・生活支援について	73
介護保険制度等について	50
行政に対する期待・要望について	48
広報・PRについて	44
介護予防・健康づくりについて	31
相談体制について	31
施設整備について	30
将来の不安や安心した暮らしについて	30
認知症について	16
終活について	15
街づくりについて	15
医療体制について	9
デジタルについて	9
独居高齢者について	8
就労について	6
自治会・町内会・民生委員について	5
住まいについて	4
その他	57

※複数分野に及ぶ意見については、それぞれの項目に分類して集計しているため人数と件数は異なります。

次のページより、原文を一部修正して掲載しております。

【高齢者保健福祉施策について】

- 今現在 75 才ですが、あまり高齢者保健福祉政策に関心がありませんでした。今後少し興味を持って取りこんでいきたいと今回思いました。よろしくお願いします。
- 介護される人も介護する人も、長く生きていくことに喜びと楽しみを感じられる政策や施策であってほしい。
- 移動に係る支援、施設利用（風呂、プール等）に係る支援、民間企業への啓蒙（スーパーや店舗でシニアデイ等の設定）をする事で街ぐるみで推進する事。なかなか良いアイデアは思い付きませんが宜しくお願い致します。
- 今の自分と 20 年後、30 年近い未来がなかなか思いうかべられない。未来の自分のシミュレーションを描く講習会が、多分有るような気がするが、参加してみたい。
- 高齢者が気軽に集まって話が出来、屋内施設や公園がほしい。
- これから私達団塊世代が 80 代へと突入し、ますます高齢者が増えて行くのにあわせ、保健福祉施策をより充実させていって頂きたく希望します！！
- 高齢者に対する施策いろいろありがとうございます。これからも元気で明るく過ごせたらと思います。
- 年金が少ないので、いろいろな支援が有ると助かります。
- 楽しい老後になるよう福祉のネットワークを拡大されるよう宜しくお願い致します。
- 高齢者が少しでも長く健康で生活が出来る取り組みを多く進めていてもらいたい。
- 一人暮らしの者が自宅で死ぬるインフラの整備、充実をお願いしたい
- 全般的な支援を、個人負担は、或る程度必要（最低を設ける）
- 人と話す機会がほとんどなく 1 週間誰とも話さない時もあります。これではいけないと思外出しますが、行くのはスーパー 子供男の子 2 人おりますが 2 人共遠方に住んでおり頼りになりません。近くにおしゃべり出来る所がほしいです。
- 藤沢市に妹を頼り引っ越して来て 6 年になります。その前に住んでいた所と違い、本当に市政の行き届いているのに驚いています。ありがとうございます。
- 高齢者対策は多岐にわたり費用もかかるため大変だと思いますが、絶対に必要なことですからよろしくお願いします
- 高齢者イコール衰えた人と決めつけないで下さい。バリバリ動ける高齢者もたくさんいるのに生活費で精一杯の為、好きな事、やりたい事にお金がかげられません。気分が落ち込んでいきます。元気な高齢者が元気を維持をする為の応援がほしいです。
- 長年の間、藤沢市に住みながら、今回のアンケート調査を頂き、地域の活動の内容がよく分かりました。藤沢駅や藤沢市役所が遠いからではないと思いますが特に高齢者に対する保健、福祉、介護認知症など高齢者に関する各種の計画を知り内心安心しました。老人クラブや自治会活動に参加させてもらい、今後の生活を豊かに過ごしていきたいと思います。
- 将来にわたって年金のみで生活ができるように健康福祉施策を行っていただきたいです。
- 利用する人としれない（出来ない）人、不公平を感じる。
- 高齢者対応（支援）窓口がワンストップとなるように。公園美化活動に参加しているが、飲料水（お茶）・ゴミ袋・手袋などの助成をお願いしたい。防犯パトロール（自治会）を行っているが、飲料水（茶）の支給。藤沢市が大好きなので“福祉の藤沢”と誇れるようにお願い致します。
- 今まで元気に生活できてこれたのも福祉施策のおかげと喜んで居ります。大切に利用させていただきたいと思って居ります。

第2章 調査結果の詳細

- 高齢者に対して細かなご配慮頂きありがとうございます。自分なりに日々努力をして人様にご迷惑を掛けないように過してまいります。
- 高齢者に対してもっときめ細かい対応をして下さい。
- 年はとりたくない。時間のすぎるのが早いこと！！高齢者に対しての目線本当にありがたく感じます。
- 福祉施策に係わる NPO（法人）は仕事の努力というものが感じられない状況をよく目にする。企画での参加は時間だけこなし、参加者の意志は無視して無意味な時間浪費、個人情報だけを集めるだけの場、老人、障害者に対しての尊意もない。法人、NPO（民間非営利組織）はろくな人間でないと思う。藤沢市の老人福祉施設はすばらしいとは思いますが、今の高齢者は元気です。余る体力、気力を他のために利用すべきです。施設で遊ばせてばかりでなく、社会参加、例：路上の清掃、草とりゴミ拾いなど…。老人を一ヶ所に集めてしまうのは良くない日常を起こしている。人間関係、男女間のトラブルが起きるのです。何かの役に立っている事、自尊心にうったえる事が必要で大切な気がする。体力をもて余し遊んでいる老人はろくなことを考えない。死ぬまで動き、働き、生き甲斐を感じられる人生であって欲しい。自由をはきちがわない倫理感を育ててほしい。
- 効果の上がっている施策が知りたいです。現在ふつうに暮らせているので、何が必要なのか実感がなく、よくわからない。
- そろそろ近づいたわが人生の終焉。これまで長年にわたり生活した様々な体験から体得した知識、そうした資料や書籍に囲まれて人生をゆっくり振り返り何事もなく静かに去りたいと漠然と考えます。しかし終焉を迎えるということは、これまで生きてきた痕跡や財産の処置や相続に至るまで整理する責任もある。どのように生前に手当てするか、これも実に気が重いことである。できるだけ周囲に迷惑や負担をかけないでなし得るか、どのように支援を受けて進めるべきかなど。また、歳を経て体力が次第に衰え、先々への健康の不安が見えてくると、いま健康面の手当として何をすべきか常に頭をよぎる。特に高齢者の保健・福祉に関する施策はどうあるべきかというこのアンケートの設問は、終末の介護や看護を市の施策の中にどう取り込んでゆくかという課題であり、実現されれば素晴らしい。そして実現すればぜひお世話にもなりたい。今回のアンケートの設問のひとつひとつに印を付けることがいかに困難であるか、その重さをかみしめ何度も目を通した。又自分自身に設問に答えるだけの知識や考えが不足していることを恥じた次第。悩みを抱える高齢者にとって活力を生むような明るい施策が実現することを願ってやみません。
- こんな風に高齢者のことを考えてより良い介護、よりよい生活を送るためにどのようにしたら、高齢者により寄り添うことができるのかと考えて下さり感謝致します。実際に認知症になったらどう思うか？ということは、なっていない時点では本当のところわかりません。
- 障害者の送迎をしている者（健康の為）です。高齢に伴ない体もいつまでも健康を保てるか心配です。高齢者（特に1人ぐらし）話し相手とか、歩けないので買物等で困っている方とかのケアは各センターでどのくらいわかっているのでしょうか？特に緊急時にどうしたら良いのか？心配です。近くにお友達がいてもすぐかけつけることが多いと思います。移動支援をふだんから使っていないとむずかしいこともあるのではないのでしょうか。市の方での対応の仕方をどのように対処するのでしょうか！急に倒れて亡くなった場合（金もない時）どうすればよいのか？
- 人手の足りない介護施設で、高齢者がそうじ、洗たく、お茶入れ、配膳、下膳 etc、働ける環境の整備はできないですか。ポイント等導入し、将来介護が必要になった時に使用できるようなものを考えてはどうでしょう（将来の為のNISAのようなものです）。
- 高齢者が楽しく暮して行ける様をお願いしたい
- 今までの高齢者のようにひとくりにするべきではないと思う。健康で収入がそこそこにある高

齢者にはそれなりの負担をしてもらう必要があるような気がする。これから超高齢化社会に突入するので、ある程度今までのようにはいかないのではないかな？

- 介護する人（家族）が休める体制作り。
- 今の高齢者の意識は皆さんが思っている以上に高いと思われます。高齢者を対象とせず一人の人間、自分自身としての要求をみたすように問題を考え、高次元をめざして問題を高い所に置いて考えて下さい。
- いろいろの点で感謝しております。これからも宜しくお願い致します。
- 高齢者の住まいの確保 低所得の高齢者が入居を断られないための住宅支援、見守機能付住宅、同機能機器の貸与、貸出しがあれば非常に助かるのではないかな。
- 5年？前ぐらいには老人が利用出来る割引券や、クーポンがあったが、それもなくなった。市に対しては老人の扱いに対してどんどん悪くなっていくイメージがある。市長も何だか動きが良くわからない。高い税金を払っているのだからもっと老人福祉を充実させてほしい、とつくづく思う。
- 福祉施策に対して、しらないのでわからない。それにもともと方向音痴なのであまり出てありません。
- 超高齢化社会が進む中で、いろいろな環境の1人1人に施策をていねいにする事はなかなか大変なことです。いつかは自分もそうなることもあるので、キメ細かい対応をしていただくと助かります。また高齢者は、自立できるよう、努力する姿勢も大切で、少しでも迷惑をかけないように、健康面に気をつけたいと思います。
- 夫がここ8年ほど要介護3で、老々介護の身です。身近な事から言えば、コロナ禍以前からケアマネさんは一切来ません。それでもお金もらってるんですね、この人…。私のがんになったこの夏、電話で伝えましたが、「また電話して、行きます」と言ったきり、です。地域包括センターも、たまにはアンケートを利用者にとればどうでしょうか。ケアマネ、事業者（所）、訪看、ヘルパーを信じすぎているように見受けられます。現在の夫の訪看さんはよい方ですが、医療・福祉職の人たちに無責任な人が多いです。前の訪看はインフルエンザ・ワクチンを打たず、夫にうつして個室代 15 万円こっちは自腹です。自分がうつした事を黙って、また訪問を続けようとしていました。市役所はいちいち知らない（わからない）でしょうが、事業所を教育、指導できる権限はないのですか。民間に丸投げしているとしか思えません。老人から金を取ろうと転職して来た事業者が目につきます。数年余、ずっと同じ思いです。夫の事で介護の件はこりているので、なるべく介護保険を使わないように生きたい、と考えています。（そうもゆかないでしょうが…。）
- 現在は少子高齢社会で、介護を必要とする世代の増加は驚く程です。介護の充実を図るより、介護予防、高齢者の自立、介護を必要としない生活様式の施策が必要と考えます。現在の高齢者の介護は行き過ぎと考えます。
- コロナ等がおさまってきたら、気楽に集まれる機会が欲しいです。
- 藤沢市の保健福祉は充実しているように思います。今のところ日常生活は一人で行うことが出来るので時々子や孫と会うことで、必要な事を済ませて生活していますが犯罪被害者のため、自己証明と事件解明のため情報開示文書を綴ることで狙われる命を守りライフワークとして執筆の仕事をしている現状です。余所者の私もこの地にて 10 年生きて…この地の人達の穏やかな親切さに救われるものがあり…日々自我の精神で変りなく生きていられる事に感謝しながら懸命に生きて…様々な問題が起こっても静かに見守ってくれている心を感じながら…
- 怪我や病気で料理など出来なくなった場合、すぐ対応して頂ける所があるといいと思います。ケアマネの、担当している人数が多いのではないかなと思います。月1回定期的な訪問も来ていない所もあるようです。アンケートを取って、良くして頂ける事は、ありがたいことです。期待しています。

第2章 調査結果の詳細

- 今後、1人暮らしの人口が増えるものと思料されるので、その支援体制の充実を図って頂きたい。
- 現在は当事者ではありませんが、藤沢市は良くやっていると思います。
- 健康で生き生き生活している高齢者は沢山いますが一方で介護や障害で介助が必要な方も多くいます！話やすさなら同年代の方が良いので年代別で交流できる施策を考えてみたら如何でしょうか。
- 70歳になったばかりでまだ健康なので、高齢者の保健や福祉に関して必要性を感じてなく、知らなかったり分からないことが多かったです。
- 理論ではなく、実態をよく把握して（職員は自身の親や親族によく話を聞いて実態把握する）施策を構築する。
- 高齢者保健福祉施策について考えたことがなく、特にありません。
- ウェルビーイングへの取り組み
- 生きがいを個々に考えられるよう、支援してほしい。
- 利用し易い環境づくり
- 全ての高齢者が生き甲斐を感じられるような施策を実施して欲しい
- 藤沢市など基礎自治体レベルの高齢者施策は財政的という重い課題もあるなか頑張って取り組みが進められていると思う。日本全体で人口、特に若年層の減少が深刻な問題となっているなかで20年30年先を見据えた社会に資する高齢者施策の充実を考えて欲しい。
- 高齢になっても自律性、自主性を失わない姿を維持した高齢者作りの仕組み、支援にご尽力下さい。よろしくお願いします。
- 高齢者が外出する機会を多く作って下さい。集まっておしゃべりする、入浴するなど、“今日の用事”として外出したい人は多いと思う。気軽に集まれる場所づくりをお願いしたい。高齢になるに従い通う方法が制限されます。徒歩けん内に1ヶ所あればベスト。無理なら巡回バスなどあればいい。今やすらぎ荘が2年位でなくなるようだが、大庭・善行地区の高齢者がこぶし荘やなぎさ荘に参加出来るようなバスルートを追加検討して頂きたいです。私は今自立してますが、今後いずれ独居となり足が弱ってきた時、話し相手や見守り体制の充実を希望します。一日誰とも話せないのは増々孤独感が強くなります。
- 私は高齢者福祉のボランティアに携わっています。しかし今ボランティアをする側の高齢化と人数減少がすすみ、なかなか思うように活動できない状況になりつつあります。行政が行うことと、ボランティアの体制をうまく連携していくことはできないでしょうか。また一方ではスポーツのサークルに入っていてそこでは元気な70代80代の人たちがたくさんいます。高齢化社会がすすむ中でいかに自分の努力で健康寿命を保っていくかということが大切になると思います。
- 有難いことに、日頃の健康や生活に不自由や不便を感じる事がなく暮らしているため、藤沢市の高齢者に対する各種施策については見聞きすることが殆ど有りませんでした。また、今は困り感が無い事から、高齢者に対しどのような施策が必要なのか分からない事も多いです。良く言われている事ですが、介護対象者にならないよう健康な生活が送れる支援が大切だと思います。そして実際に介護など必要な状況になっている人に対しては、どのような支援が必要なのか研究されていると思います。個々に抱える問題は多岐に渡ると思いますが、きめ細かな対応をお願いしたいです。
- 少子化、未婚化がこれ以上進んだら、福祉の拡充はほぼ無理という不都合な真実の共有が必要である。今回のアンケートでは“要望”の把握が目的と思われるがサービスにかかる負担とセットで行うなどもあるのではないかと。地域毎、年齢毎、世帯毎のニーズを把握した上で、「公」としてできることの限界を示しても良いのではないかと。自助としての夫婦での支え合い、子の見守りや

相談などがまだある現状と、そのどれもが急速に失われる近未来の両面から対策を考える時に来ている。老々介護あつての現状、遠方にも子がいる、事の価値を次世代に伝え、結婚支援、子育て支援こそ拡充すべきではないか。

- 今後増えるであろう高齢化と認知症施策について、家族や地域で見守ることは、家族の負担や人手不足もあり限界があると思われる。少子化に伴う学校の統廃合で空いた教室（学校）を活用した生活支援を充実してほしい。新たな箱ものは必要としてない。今あるものを活用したりノバージョン施策が必要とされている。人にも環境にもやさしい施策をお願いしたい。
- 子供食堂は良く聞きますが、老人が集まって昼食が食べれて勝手にお茶が飲めて（お茶菓子持って来ても良い置いて行っても良い）おしゃべりが出来る場所週1回 500円～800円位で食べれて（出せる人は1,000円でも）11時位～14時頃迄居られて片づけやサービス等は出来る人は、好きに手伝って皆で参加と言う形 場所 1つ通りを入った平地の空き家を借りて家の中は好きに改築して良いですよ。家賃は、いいですよ？庭の草取りや植木の枝落とし位は自分達でやって料理好きの人は、作って持って来ても良い 料理つけ物が出来る人は美味しいと言われる事に喜びを感じる人も居ます。（私がそうですから）
- 私には60才になる精神障害の娘が居ります。長生きをするつもりですが限度があります。どうか娘がしあわせな最後が迎えられますように福祉施策を御願い申し上げます。
- 周辺地域でもシニア世代の方が多くなっており、将来的に医療・介護・生活支援などの拡充、皆が安心して生活できる環境づくりを希望します。
- 高齢化社会に向けてあらゆる角度からのサービスを向上させて下さい。高齢者が出来るだけ長く自立した生活を過ごせるよう、細かい要望を掬い取って下さい。藤沢市は子育てしやすい市と聞いています。高齢者にとっても優しい住みやすい市であって欲しいです。宜しく申し上げます。
- 市役所で介護する方々の会に参加した事がありますが、具体的に何が必要か例えばおむつはどのような商品が良いとか、手当はどうすれば本人も介護者にも楽か等の事は聞くことは出来ませんでした。次からは行かなくなりました。
- 施設や訪問サービスに関わるヘルパーの労働環境の見直しを。介護者減少は、老後生活維持に直結すると思われます。
- 近所の高齢者との、付き合いが、デイサービスに行ったりしているため、なくなりつつある。いつでも、ある場所に行けば、茶飲み話しが出来る場所が、今後益々必要と感じる。問題は、その運営をどのように行うかだが？
- 同居する家族がいるのであまり不安が無いが、高齢者二人きり、一人きりの場合は大変な事だと思うので、公共の支援を充実させ、藤沢に住んで良かったと思える体制を作って下さる事をお願い致します。
- 藤沢市は高齢者福祉は他市又は自分の田舎と比べると大変充実した施策と成っていると常に感じていますが…。自分的に言えば我ままと思いますが出来れば「高齢者おこまり専用ダイヤル」を設けていただければと…。何々コールセンターといろいろ有りますがまずは「高齢者おこまり…」にかければそれぞれのなやみ事別にコールセンターにつなぐと言う…。高齢者はそれ一つのダイヤルをメモにておけば安心出来るかと思いますが…。逆の手数がかかるかもですが！！宜しくです。
- 高齢者支援課のみなさま 日々の高齢者支援のためのお仕事ありがとうございます。高齢者が安心安全に暮らせるようよろしくお願いします。世の中がスマホ、パソコン使用があたりまえとなっていますが、電話対応、現金使用、対面対人の相談対応もできるような対策をとっていただけたらと思います。車がなくてもおでかけできる交通手段の確保や買い物の配送など、簡単な手続きで行えるよう希望します。あらゆる手続きでの事務処理の簡素化もお願いします。

第2章 調査結果の詳細

- 少し前にも事件がありますが、老老介護には限界があるので介護する人、される人にも負担がでてきて一日でも早く、行政の方々にたよってほしいと思います。義父の介護をしていた時、ケアマネージャーの方が保険証を玄関のポストに返却されたり、人の話しは聞いてもらえず、ケアプランなどもディサービスの方に預け訪問などいっさいない状態の方もいました統括にも相談させて頂いた事もありました。その時に言ったのですが、ケアマネージャの教育もしてほしいと思いました。
- 藤沢市は老人に対してもう少し良く考えていただきたい。
- 高齢者に対する施策（サービスや事業等）という、やはり予算的なことが重要だと思う。しかし、基本的なことは人間に対する人間の思いやりやリスペクトのような心的領域のことだと考える。たとえば、現在、人口減少を問題にして、出産費用とか児童手当等々の費用（お金を配る）を考えているようだが、一番重要なことは、“子供を好きなのか”ということだと考える。いくらお金があっても、人間が子供、赤ちゃんのような（人間）を愛しているかどうかで、出生率は変わると思う。同じように高齢者のサービスも「ふじさわ」（ふ）だんから（慈）愛の心で（さ）わやかに（分）かち合うという、心を言葉として市民活動を盛り上げて欲しい。期待しています！
- 親の介護をしていた時より、現在行政がずい分改善されていると感じます。年寄りが益々増え、私もその中の1人ですが、他面において自立したいと心掛けて生活していますが、年々出来ることが減って来ると思います。外に出るのが面倒とも聞きます。やはり交流が必要なんでしょうね。
- だんだん高齢になりますと気持ちも弱くなり心細くなると思います。どうかやさしくわかりやすく親切にみちびいていただきたい。よろしくお願い致します。
- これからは益々一人住いの高齢者が増加します。この高齢者と地区民生委員とを繋ぐ携帯電話を用意したいと思います。埼玉県のある町では高齢者と地区民生委員が24時間連絡を取り合えるとの事です。すでに携帯電話を持っている人はそれをセットすれば良い。もし持たない高齢者が居るのであれば持たせるための行政の資金援助をお願いしたい。たとえば具体的には連絡ボタンを入力するとか、また民生委員の電話番号を「よく使う項目」に入力する。高齢者の見守りの強化を是非お願いします。
- 高齢者のサークル活動…屋外活動（ウォーキング等）、屋内活動（公民館内活動）があるが、健康寿命がのび定年が伸びて参加高齢者が少なく、各団体の維持に困難が来ていると思う。行政のバックアップがあれば有難い。
- 65歳になって日が浅く、介護サービスや保険料のことが実感がなく、よくわかっていないと思います。誰もが低料金で高サービスが良いに決っています。このアンケートを活用して、より良い高齢者福祉サービスになってほしいです。どんどんサービスを受けられる年齢が上がっているのが気になります。65歳になったばかりの、この年代は10年先にどんな介護を受けられるのか？と思いました。
- 市民が市役所や包括センターに心配事を話しに行ったら、実際に動いて欲しい。友人が近くの独居老者がごみ出しすることすら大変なので役所とセンターに行ったが、いずれも本人か家族からの申し出が無いと動けないと言われたとのこと。その老人は、歩けないからと自分で車を運転して移動している。歩けない足で、万一の時に急ブレーキを踏めるものか？自分の行動が及ぼすリスクを的確に判断しているか？遠くにいる家族や若い頃のことばかりが頭に残っている老人に頼る福祉施策はポイントがずれているとしか思えない。
- 役所は高齢者保健福祉施策について、積極的で無いと考えている。
- 千葉県の生涯大学校やその卒業生で構成されているシルバー大学院のような、元気な高齢者の知的好奇心を満たせるような施策を期待します。
- 高齢者は特に、経済力や体力等の差が開いていると思う。本当に困っている方々に、手厚い行政

の支援が届くよう、創意工夫をお願いしたい。

- 身近な場所で身近な世代と交流出来る施策、若者との世代間交流、行政無線の活用、環境整備 古い団地の改善(エレベーター設置)
- 自分は難聴者です。補聴器を付けてますが(価格 10 万円以下の品、市の補助金で購入片側のみ)私は両方付けないとよく聞こえないので、人と会話する時にどうしても大きな声になってしまう。市の広報によく載ってる地域での講座や講演会に行ってみたいと思っても、手話も知らない難聴者の自分は片側だけの補聴器では良く聴こえず、参加を諦めています。スライド(字幕)があれば行きたい。
- 高齢になると認知不足が多くなり、対応、利用方法を具体的に進めるようにして欲しいです。
- 市では色々対策をしていることはよく分かってます。しかしいつも私はその対策と対策のすき間にはまってしまふなと思います。そういうすき間にはまってしまふ人々もいることを知っていただきたい。たまには、すき間にはまった人々も救っていただけたらいいのと思います。引っ越し(もう6年になる)てからは知り合いもいないので孤立していると言っていると思います。民生委員に相談しても何の力にもなってもらえなかったです。
- 狭心症の一人暮らしなので、見守りの仕組みに関心があります。有料の仕組みはありますが、公共の制度では出来ないでしょうか、またどんなつまらないと思われるような悩み事でも気軽に相談できる窓口が欲しいと思います。
- 市の皆さまの日々の取り組みに感謝しております。高齢者保健福祉については自分自身の実感はまだあまりなく、今後必要と思われるものがよくわかりません。ただ、介護が必要になった際には、家族への負担が軽減されるような支援や相談場所をさらに充実してほしいと思っております。よろしく願いいたします。
- 一人暮らしの為、なるべく介護を受けずに長く暮せるようなノウハウを医者や介護関係者が老人に教えるようなモノ(講座や病院や介護関連施設等)があればいいな。とは思います。あるかもしれませんが…
- 民間の高齢者施設も入居しやすいようにしてほしい。
- 問 15 に関係しますが、高齢者が借りられる賃貸住宅制度を作してほしい。特に、複数人で住むことができるシェアハウスの形態があると、良いと考えています。保証人が必要ならば、自治体が代わりとなる制度を作ってください。
- 高齢を理由に外に出られない方が増えています。もう少し、“外”に出られる施策がないか日々考えています。(自分だけでなく、近所の方々対象とした“何か、ないか…!”です。)
「施設等もっと利用しやすくするには…?’を考える時ではないでしょうか?
- 最近感じる事が、わが地域周辺には、高齢者向け施設が次々と建設され、まるで、居酒屋チェーンの様に増えてる様子!…これは、利用者が増えてる施策なのか!?営利目的なのか?分からないが、これは公共機関の補助も以って進めているのか?分からないが、本当の実情が知りたいところです。個人的か法人団体の考えなのか?そう言った物にも、もし、公の機関からの出費があるのなら、介護保険料の高騰にもつながるかと思うが、抑制策は行っているのか?検討を願いたいところです。
- この施策には幅広く多様なニーズがあり、プライオリティー付けるのに苦心され、このアンケートが主要手段と理解。
- 近くの市役所の出張所の中に気軽に入れるカフェのような場所、シニアカフェスペースがあれば嬉しいです。100 円位で利用出来れば自販機があれば良いのかな。最近若い人に遠慮してしまいコミュニケーションが出来ない。高齢者どうしなら気がらくです。一日誰とも口をきかない日が多いです。スーパーやカフェで、ありがとうやコーヒーお願いしますぐらい。友人への電話は

第2章 調査結果の詳細

御主人に遠慮してかけません。一人で毎日チェーン店のカフェに行きますが、年金と貯金とりくずしには値上げもきびしいです。コロナの時に東京から（目黒区）引越して体力もなくなりました。

- 出かける機会が多くなるように趣味や運動の場が多くなることを望みます。
- 民生委員の方からお誘いを受ける敬老の日の集まりの内容が、昭和の時代のままで、内容に違和感を覚えました。参加型の部分があったり、幼稚園児さんのお歌をきくのではなく、一緒に遊べるものがあったり、工夫が必要ではないか？横浜は一流の方のジャズ演奏であったり、現代を生きている高齢者の実態に合ったものに転換してみてもどうか、内容検討時、当事者がメンバーに入ることもいいのでは。高齢者といっても幅がありどの辺の状態を対象にしているのか…よくわかりません。“テーマ”があっても新鮮なのでは…。
- 現行の「成年後見制度」は後見人の選定等厳しい面がある。もっと利用しやすい制度への改訂を希望します。
- 成年後見人制度の見直し、現状では、夫婦の場合など、生計を、長い間共にしてきたのも関わらず、財産は、本人の介護費用目的以外では、全く使えない。共に暮らした配偶者などの必要な生活費などにも、使える様に出来ないのか？持ち家を売却しても、本人の介護費以外にも、配偶者も生活費ぐらいは、使える様にしてもらいたい。そうでなければ、住む家も無く、これからは、どうすればいいかという事になる。この問題を抱えている人は、かなりいるのでは…
- 死ぬことは死ぬとき考えれば良いという心構えでやっている。「天は自ら助くる者を助く」気持でやっているの、行政はその気持ちを考慮して施策を考えてほしい。消極的な気持でアンケートに回答することは差し控えた。
- 高齢者がいまより、社会に対して貢献できる場所がふえるようにお願いします。
- シニアセンターに行くバスはいつもガラガラでもったいないと思います。センターの中でも上下関係があったり、機嫌とりしてたり、感じが良くない。センターに行く人は元気なのだから、無料バスはいらんと思う。
- 最近の藤沢市は若い人には良いが老人にやさしくないとの事です。(実感) 老人にもやさしくなれる様頑張ってください。(昨今の物高で年金生活者は大変です。医療保険（介護保険）の値上げは年令ではなく、所得で考えて下さい。これ以上値上しないで下さい。)
- 当地区では高齢者のひとり住まいや、家族が身体の不自由な方も多いので、保健や福祉以上に災害時対応をもう少しキメ細かく支援して欲しい。避難場所が遠く、身体の不自由な方や車等の移動手段を持っていない方にとってはどのように避難場所迄行ったらいいのか分からない状況である。町内会での対応には限界があるので、市が地区の状況に応じた災害時対策をもう一、二歩入り込んだ取組をして欲しい。
- 「ふれ合い」事業に関しては、地域差があって不公平に感じる。タクシー券などのように公平に利用出来るものの方が良いと思う。
- 高齢者保健福祉施策に関しては良いと思いますが、背景には少ない年金などが問題視される中、自己負担は急増し物価高も止まらない。認知や健康維持を歌うのなら、それに見合う動きがあれば、おのずと皆さん目を向けるのではないのでしょうか？高齢者＝低所得と言うところに目を向けてもらい、福祉のサポートをお願いしたい。
- 行政サービスは、お店等の“サービス”とは違う（当たり前だが）。生きるのに必須のこと、努力でどうにもならないこと（これも当然ながら人によって全く違う）を最優先にして頂きたい。“おしなべて公平・平等”は、特に福祉においてはかえって税金のムダ遣いになる。“公正”を旨として（公平より難しい、が、望ましい）施策を進めて頂くよう要望する。
- とに角、80歳を前にして、「医療保険」「介護保険」は使っていない為、（健康であるのは親に感謝

すべきだが) 全ての施設は使えない現状です。先日も、ヨガをやっている人に、紹介され、Telしたら、いきなり「ヘルパーさんは誰ですか」と問われ、「いません」と答えると、「ではダメです。」と無病な人にとっては、例え、80歳であろうと、何も恩恵は受けられない 運命なのでしょうか。

- 高齢者の保健福祉施策として是非取り組んでいただきたいこと。遺産整理・遺言書・葬式・成年後見人について、行政として、専門の課を設置して、対応していただきたい。空き家問題、孤独死という問題の解決もつながっていると思う。高齢者が住みやすい市には、若者も増えてくると思う。
- 在宅で介護ヘルパーさんの手を借りてでもなんとか生活を維持できる高齢者を増やすためには、ケアマネージャーさんやヘルパーさんの給料（手取り）を上げ、仕事の大変さに見合うようにすることが一番かなと思います。施設の職員さんもそうですが、大変な仕事の割に受け取れるものが少ないように思います。担い手の人数が増えれば心に余裕ができて、マイナス面が減少していくのではと思いました。また介護サービスを受けたいと切実に思った時にすぐに対応できる人数を確保できるのではないかなと思いました。これはすべて税金ですが、多少の値上げは仕方ないかなと思います。
- 高齢者世帯に個別に近況の確認など連絡してもらえたら助かります。
- ヘルパーの質がピンキリである。ヘルパーを育てていく姿勢がないままに人手不足になっている。充実してきていることはわかるが、人気のあるものは抽選になっているので定期的に利用できない。利用したい時にすぐに対応できる柔軟性が欲しい
- 自分が高齢化の問題は、誰にも過去に経験の無い未知の問題であり行政のような多数の高齢者と接したノウハウを市民に提供することは非常に有効な施策ではないかと考えております。
- 又、数より質（クオリティ）が大事なので、人材育成や施設の人気投票をするなど、全体の質が上がっていくことを望みます。施設がたくさんできても、評判が悪かったり、中身（機能）やスタッフのレベルが低かったら使いたくないので、ソフトの充実をはかって欲しい。よろしくをお願いします。
- 広く浅い施策より、本当に必要な人に十分な支援が行く事が望ましい。
- 若者や児童との交流場、行事がほしい。

【移動手段の整備や交通費補助について】

- バスの料金はどの様にきめているのか？ところにより高い処と安い場合がある（神奈中バス）。藤沢は高齢者の割引はないのでしょうか。他の市はいろいろとある様ですが…。高齢者が多いのになぜ割引がないのでしょうか…？割引きバスの事はこの調査で初めてした。
- バス代の補助金出してもらいたいです。
- 藤沢市は高齢者に対するサービスがマッサージ券3枚だけというのはあまりにも悲しいです。タクシーの補助券などがあれば、と思います。
- 外出時のバス代（テキキ）が一定で1年間安く使えるようにしてほしい（所得に応じて）。
- 大庭地区より辻堂地区の病院2軒通っているが往復バス代が940円かかる。月に2～3回利用の為、以前神奈中バス調べたが通勤バス並の価格で少ない回数が安くなる訳では無い為、利用しなかった。横浜や都内に住む友人達に聞くと市営地下鉄・市バス・都営線や都バス等無料との事。藤沢も無料にとは言わないが、バス代だけでも半額位にならないだろうか。Suicaに子供料金や老人料金用と利用できるとバス利用増えると思う。
- 家族の車にたよらず外出したいこともあります。辻堂・湘南台方面に行くだけでもバス代が往復600円もかかります。横浜の友達は電車・バスの料金が安いと聞きます（100円とか無料とか）。

第2章 調査結果の詳細

藤沢市ももっと交通への支援があったらなあ～と思います。よろしくお願い致します。

- 要望：東京や横浜のように「はり、きゅう」だけでなく「市内バス券」もえらべるようにして下さい！
- 生活用品の移動販売等、通院のタクシー代補助等、食と足きめこまかく御検討下さる様お願いいたします。
- 電車・バスの利用券は（東京都の様に）無料券の拡大を図って欲しい。高齢者の社会に参加する機会増すと思うから。多くのいろんな人との交流機会が認知予防にもなると考えるから。
- 長後地区は5・6年かけのりあいタクシーの件で運動しましたが、なかなか利用する人が少なくためでした。今になってバス停まで歩くことが大変になったと声がきこえてきましたが、残念ながら年金と共に他界する方が…。これから私達の年金ではなかなか思うように進めることが出来ません。自分は未だバイクで介護の仕事をさせて頂いて居ますが、もう近いうちに出来なくなる事と心配してます。バスの割引等のサービス等は考えて頂いているのでしょうか。心配していません（自治会の方々皆）。又何かの時はご相談させて下さい。よろしくお願い致します。
- バス運賃援助サービスがあると有り難いです。目的地まで往復すると800円以上かかりますので、生活費にしめる割合が大きいです。
- 財政上の事はおいといてですが、外出する機会を増やす為には身近なバス等の利用が手軽になるよう、運賃の割引きがあると、色々な所に外出できると思います。
- バス券無料券ほしいです。（80才以上）
- 横浜や東京の友人はバス・電車等の年間フリーパス（有料）を使って外に出かけている 藤沢市にもそれがあったら行動範囲が広がると思う。お金がないのはつらい
- 藤沢市も東京都のようにバスの定期券を、発行して欲しいです。（年令によって一部負担しても）
- 交通系シニアパスポートがあればより外出度が増す。
- 報道では、高齢者の免許証の返納を進めるニュースを良く見ますが、それに反してバスの運行が本当に少なくなりました。ますます外出が厳しくなりました。現在は車のみ外出しております。
- 買い物、病院などに行くバスが減便にならないようにしてほしいです。（84才女性）
- 近くにスーパーもバス停もないので商店街と住宅地域をまわる巡回バスがあるととても助かります。それによって外出の機会もふえると思います。又、病院などに行く折、タクシー券の補助があると助かります。いろいろとお考え頂き有難う御座居ます。今後ともよろしくお願い致します。
- バスが近くまで来てほしい。
- 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券一択ではなく「かなちゃんパス」「かなちゃん手形」などへ補助なる利用券の発行して欲しい。
- 認知症の介護をしていますが、病院へ通う時歩行も困難なのですが雨ふりの時はタクシーを使うと往復3千円はかかります。認知症には、タクシー代の援助はないのでしょうか？どこに聞いたらわかりません
- 乗物でバスばかりではなく鉄道の乗物の事も考えてほしいです。横浜、東京方面は鉄道です。
- バスで出かける事が多く、「オレンジワンコインパス」を利用していますが、半年で6,300円と高く、さらに100円を毎回使うので市から、1,000円ぐらいとか補助してくれると、もっと行動範囲が広がり楽しみが増すと思います。宜しく申し上げます。
- だんだん利用しているバスの運行本数が少なくなっているのが心配です。
- 「かなちゃんパス」は最初1万円払って、バスに乗るたびに100円支払うと聞いています。毎日の様に使う人にとっては経済的だと思いますが、週に1～2度しか使わない人にとっては、高い

と思うし、不公平な気がします。タクシーの割引があれば気軽にタクシーに乗れると思います。横浜市では高齢者はバス・地下鉄が無料だと聞いています。「かなちゃんパス」は何歳以上か知りませんが、予算的に下の年齢をもっと上げてはと思います。

- 老人の足として「かなちゃん手形」を利用させて頂いてます。今まで1年間10,800円が来年6月からは5万円以上になります。とても購入できる額ではなく困っております。どうか藤沢市が老人パスのようなものを発行して下さることを願っております。
- 市内巡回バスなどがあるとよいです（小型バスで大型スーパーまで行けるなど）
- バスの無料化を実現して欲しい。
- 今現在は車で行動していますが、数年で返納するつもりです。その為行動範囲がせばまるので、タクシー、バス等の援助があったら良いと思っています。
- 藤沢市も“コミュニティバス”を運行してもらいたいです。
- 運転免許証を返納した時に、タクシー券をいただけるなどのメリットがあってほしい
- 高齢者にバス、タクシーの無料券を希望します。
- バス無料乗車券支給してほしい。
- 近くにスーパーがなく買物夫がホームに入って毎日見舞に行くと交通費バス電車1ヶ月1万円かかるためかなちゃんパスの補助を検討を出来ればと願います。
- 12月でかなちゃん手形が終了になり病院、買物などに利用している人には生活に負担になります。どうか利用出来るように検討してくださいお願い致します。
- 老人の移動は思っていたより大変です。今まで移動は自家用車ばかりであったので、これを使用しないで移動することの難度は極めて高い。オンデマンドオートビークル（乗合）とフレキシブルネットワーク（携帯電話）が出来ればと願っています。
- 自分自身が介護しているのでいつもバタバタと買物等をしている バスの利用がほんとうにありがたいと思っています。
- 高齢者が元気に楽しく暮らしていくために、交通手段の充実が大切と思います。人手不足で大変と思いますが、駅から遠いところにお住いの方も外出しやすいよう、タクシー券の配布やのりあいバスがあるとよいと思います。
- ①バスの料金が安く乗れる様なパスの事を知りたい。②江の電にも同様なパスがあると良い。
- 高齢者のために市内バスの無料パス等の配布を検討していただきたい。
- 国道134号沿い、鵜沼海岸を通るバスを運行してほしい（なぎさ荘まで遠すぎるので）。
- お世話になります。問52について、月1～2回程度の外出ですが、定期的ではありませんので時間は不規則です。
- かなちゃん手形を購入時に補助をお願いしたい。
- バス、電車駅周辺のバリアフリーの充実を 歩行者優先のまちづくり
- 高齢者のタクシー利用券を母をみている時に市から出していただきました。よちよち歩きの母を公園等でよく訓練させてあげたり、医者通いに使用させていただきました。母は現金で払うよりも、その券を送られてくるのを楽しみにしていました。私達の老人々数も増加していますが、1人3枚でもいいので出していただくと楽しみが増えると思います。（整形外科に行きますと、リハビリをする老人が目立ちます。リハビリ券でもいいと思います）
- すまいるバスなどお金出してももう少し多く！なぎさ号からやすらぎなどいろいろな老人バスののりかえなどできるとよい（むりかな？）。まだのったことはないけど！市の施設から施設への移動。たとえば江の島←→なぎさ荘か←→市民病院←→石名坂プール

第2章 調査結果の詳細

- 神奈中バスのかなちゃん手形が来年6月でなくなります。高齢者が外出しやすいような交通費補助金制度のご検討を強く希望します。
- 本人 82 才主人 83 才 1 ヶ月に 8 ヶ所通院してます。現在は主人の車で手を借ります。眼科（片目視力ナシ）、耳鼻科（慢性中鼻炎）週 2 回、整形外科（腰椎圧迫骨折、側わん症）足のしびれ、心臓血管外科、循環器内科（動脈瘤 55mm）、消化器内科（逆流性食道炎）、膠原病科（現在はおちついてますが、プレトニステロイド 45 年間飲んでます）、泌尿器科（ペサコリン）、皮膚科（外反母趾からつめの変形）。主人が行かれない時は息子に仕事を休んでもらいますが、どうにかならないでしょうか？
- カナチャン手形を復活して欲しい。バスが高くなると出掛ける回数がへる。80 才以上とか年齢を上げたらどうか。これはぜひ今の市長さんをお願いしたい。医療費が上ってカナチャンも無くなってしまったら家にこもる老人が多くなると思います。老人のバス券の様な物を是非考えていただきたいと市長さんをお願いしたいです。
- 運転免許証は有るが、外出するには主に公共交通機関（神奈中バス）を利用している。高齢になると外出が億劫になり家に籠りがちになってしまう。私は、買い物や趣味の行事のための外出は極力歩行のために、車ではなく公共交通機関を利用している。これは「かなちゃん手形」の制度変更によって、来年度から、私の利用形態だと月二千円程度現状より負担が増えてしまう。このことから、高齢者にとって（特に収入が年金のみの者）外出や社会参加しやすい状況が遠のいてしまう。健康や生きがいにとって外出は重要なこと。横浜市は高齢者の公共交通機関の利用について、相当の助成をしている。藤沢市は寂しい限り。従って、意見要望としては、高齢者が外出や社会参加をしやすくするために、公共交通機関の利用補助を要望します。
- 私の住んでいる地域はバス停まで歩いて 20 分はかかります。なのでバスは利用しません。買物も病院も車です。あと 10 年もすれば買物も病院も不自由になるでしょう。福祉バスを考えると言われて 20 年たちました。もう市は信用していません。すぐおとなりは寒川町です。そちらの福祉バスは近くまで来ています。寒川町は末端までバスを運用しているのに。住んでいる場所は目久尻川の橋を越えた宮原です。農業推進地域とやらで、家は建てられない、人口も増えない。20 数軒の集落はいつも見捨てられています。橋より越えた 20 数軒の年老いていく人達はどうでも良いんですね。買物はネットでもできます。でも病院はそうはいきません。1 日に数本で良いんです。駅までのバスを、宮原耕地へ運用して下さい。これが最後の願いです。まあ少数意見はどうでも良いんでしょうね。
- 最寄の駅は善行駅ですが、住居近くに善行行きはありません。藤沢駅しかバス停が無いです。ほとんど平日 1 時間に 1 本になり、とても不便です。足も悪くなり急な坂道を降りて歩いて善行まで買い物にはいけません。善行駅にもバスで行ければ便利になります。
- 現在は自分で出かけることが出来ますが、今後車での移動ができなくなった場合通院や買物等に困るので、補助があると助かります。
- バスの値段
- バス無料になってほしいです。
- 高齢者や運転免許証を自主返納した人に、移動手段として無料で乗り降りできるバスのパスを発行してほしいです。
- バスが 1 時間に 2 本位あると助かります。終バスが早いのでこまります。
- 家からバス停まで歩いては無理なので、もう少し近くまでののり合いバス？などがあれば助かります。
- マッサージ券はいらないので高額なバス券か電車券がほしい。
- 今、現在は車の運転も出来まして買物も行けませんが来年は分かりませんので小型バス等がこまめ

のバス停等検討していただけたら助かると思います。毎日でなくても。

- バスの出発時間お昼の本数が少ない。のりあい善行 善行台（乗場クラブ）の方になぜないの？バス会社の割引パスの申し込み方法はどこに行けばいいの。
- 長後地区はスーパーなど少なく買い物に不便。バスもないので市のバスを運行してほしい。
- 免許を返納すると、買物や特に医者通いが大変になります。引地川の中村橋あたりで、湘南台方面への乗合タクシー等があると助かります。
- 横浜市では、老人のバスや地下鉄のパスを発行しています。それにより、商業施設などへ出かけている高齢者が多くいます。立場のイトーヨーカドーなどは、パスがなかったら、つぶれているかもしれません。高齢者がフードコートなどで、安い食事を食べて、何人かでおしゃべりしています。藤沢市は、ないなーと思っています。
- 出かける際の交通手段を1番に考えてほしい
- 外出が多いので横浜市のように「敬老パス」を、出して頂けると大変うれしいです。お願いします。
- 病院で診療時間を指定されることが多い。タクシーを利用せざるを得ない時など、とくに雨天の時など予約できないことも多々ある。事情は各々あるから仕方ないだろうが、何回も続けて利用せざるを得ない場合利用料金が高額になる。その事情によっては、タクシー料金の補助制度も検討してほしい。
- 今は車、自転車、徒歩が移動手段として大きいです。バスを利用したいときもありますが、バスを手軽に利用できるように、バス代を安くするサービス券（のような物）を出していただきたいです。横浜市の方は市の制度で利用していると知り合いから聞いています。以前からそう思っていましたので、今回のアンケートが良い機会でした。よろしくお願いします。
- 元気なら、どんどん外出したいと思ってます。交通ヒがもう少し、安く利用できると、いいと思います。（特にバス代金が高い）
- 外出の機会が減り、買物散歩（30分）の為しか外に出ません。バス等、又体操ヨガ等安く利用できると嬉しいです。
- バス利用券があれば、嬉しいです。
- 江の電、小田急の交通費の割引きがあると良い。タクシーの割引きがあると良い。
- コミュニティーバスを見た事がないです。他の町では良くみえますけど。あると良いのにとと思うことが多々あります。
- 私個人としてはマッサージ券をもらうよりも外出がしやすくなるコミュニティーバスの運行或いは横浜が行なっているような交通パス補助が良いのですが。大型商業施設をめぐるバス運行等で外出する年寄が多少でも多くなるのではないのでしょうか
- もし予算上可能ならば利用者が限定されると思われる施設（謂ゆる箱物）の拡充よりも幅広く利用されると思われる交通機関利用時の優遇措置を考えたほうがベターと思われる
- 太平台経由辻堂駅行きのバスの本数を増やして欲しい。現在、日中に1本しかない。
- 東京都バスのように、県内、近隣市内の無料バスカードを発行してもらえれば、老人の行動範囲も広がるのではないかと。交通費がかかりすぎに感じます。
- まだ健康なので、健康寿命を延ばすことを重視しています。その為に外出の支援をして頂ければありがたいです。かなちゃん手形が無くなったのは残念でした。
- 市営地下鉄、小田急線、神奈中バス、県内利用を無料もしくは半額にしてほしい。移動コストを下げられれば、散歩の範囲が広がります。また、県内の博物館、神社仏閣入館料、スポーツ観戦チケット料の優待があれば、なお、良し。高齢者が外出しないのは公共機関の運賃が高いから。

第2章 調査結果の詳細

- 移動のタクシー券バス乗車券無料配付
- 公共交通機関であるバスを活用できるように対策を講じてほしい。江ノ電バス、神奈中バスの敬老パスなど市で負担する。
- 元気に活動出来るように、東京都のように、バスのシルバーパスの発行などを検討してほしい。
- アンケート設問に、路線バスに関することがあったが、神奈中のかなちゃん手形？が3か月で15,000円だったと思いますが、市の援助でせめて10,000円位になればありがたいです。
- 医療へのアクセスのしやすさ、タクシー料金への補助
- 常日頃高齢者の事をいろいろ考えて下さり本当に有難く感謝しております。この機会に希望として書かせて頂きますと、個人的に私は交通不便の処に住んでおり、どこへ行くにもまずバスを使い駅へ向いますので、現在頂いているマッサージ券だけではなく、外のサービス券（私の場合は交通券？等）のどちらかを選べるようにして頂ければ大変有難く思っております。お手数も費用も今より大変で予算上かなうかどうかはわかりませんが…勝手な希望であります。どうぞ今後共々よろしくお願い申し上げます。
- 1, 運転免許の返納に対して、公共交通機関（バス、タクシー等）の割引券などの配布があれば、免許返納のキッカケになると思う。2, はり、灸の利用券のサービスを配布されているが、このサービスだけでなく、健康維持のために、ジムの利用券も配布してほしい。（以前は、上記、2項目が実在していたとのことなので、再開してほしい。）
- 高齢者の世帯になり、将来買い物、通院車での移動（免許返納）ができなくなった時がとても不安です。バスの便数も減り、そういった対策を取って頂きたいです。コミュニティバスの回路を増やしてほしいと、願っています。
- 高齢者病院通い時等、タクシー利用が多くなります。半額迄とは申しませんが2/3の乗車代となるチケットなり証明書発行希望します。
- 主人の介護の経験から一言。（死亡しました）二階でベッド生活をしていて、歩行、階段の登り降りに不安があり徳洲会病院、市民病院の通院の時は、介護タクシーを利用していました。ベッドでの起き上り、階段の補助、玄関で車椅子に移動し、タクシーで病院まで、家族の手をわずらわせることなく安心して行けました。でも1回に¥5,000-円かかります。行って帰って来て¥1万円は高いです。介護タクシーも少ないです。何か公的な手段とかがあると助かります。※介護保険は、利用していませんでした。
- 私は外出時は自転車が多いのですが、不安もあるので天候により、電車、バスを利用します。バスで利用出来る補助があればと思います。
- バスのサービス券が発行されているとしたら（？）（以前母の頃はありましたが今はわかりません）交通カード（パスモなど）との連携ができていますかどうか？
- 市民病院へ行くのにタクシーの予約が中々とれない事が多い。出来るだけ近間のタクシーの予約がとれる事願っております。タクシーの数が少なくなったからでしょうか？電車で行くのもきついです。一年いや段々とおとろえて行くのがわかりしんどくなりました。まだ1人で自分の事が出来る事幸せでありがたなあーと思ってます。
- オンデマンドバスの実現
- 路線バス（神奈中）の最近の運航本数減少が気に掛かる。特に、夜になると極端に本数が少ない。（これこそ、タクシー券でカバー出来ると良い）
- 接極的に出歩く為にも足になる交通の便。長後地区にもコミュニティバスの導入を。
- バス便が減便され、藤沢駅迄行きにくくなり、タクシーも呼んでも来てくれず困っている人がいます。コミュニティバスや乗り合いタクシーにつき検討の必要ありと思います。

- [交通パスポート] 病院への移動がタクシー（片道1,000円くらいですが）になったことがあり経済的に困っていた場合、半分でも援助があったらと考えました。
- 歩行に不便はないのですが、今後足が弱くなったら路線バスの本数が少なくなっていたら困ります。
- 湘南大庭地区はバスしか足がないので割引利用の出来る交通支援があると行動範囲が広がるのでは？
- バスの本数が減るのは、社会的問題で、市の力で何とかなるものではないでしょう。歩ける時間より、速度がどの程度なのかの方が大事ではないでしょうか。（若い人と比べて、同年代の人と比べてなどの設問が必要）
- 今の所バス利用はないです。

【アンケートについて】

- 高齢者、言葉はきらい。アンケートに選ばれた事に対して複雑です。
- アンケートの問いの数が多すぎると思う。
- 毎日の生活を一人で過ごしていて、更に若いお弟子さんと接し、毎日予定通りを過ごしている私でもこの調査は疲れました。高齢者一人では理解、回答は大変だと感じました。
- 年寄りには質問が多すぎて疲れた
- このアンケートは高齢者が答えるには内容が多すぎる。一人では最後まで答えられない人が多いのではないかと工夫した方が良く思う。
- アンケートの送付ありがとうございます。私のまず健康に生活できている現状から、内容を読みましたが、今後参考にしたいことなどたいへんためになりました。公的支援を受けるべく一歩をふみ出すむずかしさなどを思いましたが、いろいろな情報にきちんと理解を深めていきたいと考えています。ありがとうございます。
- この様な調査が役立つのか疑問である。
- アンケート内容の項目が充実しているので、回答にまよってしまったが、良いと思われま
- 現在 65 才で腰痛や物忘れはありますが一人暮らしでも自立できていて高齢者保健福祉にそれほど関心もせず高齢者ということにも実感が少なく、調査にお役に立てなかったと思います。只これから先の不安は沢山あります。10年後のアンケート調査があれば要望、意見しっかり、記入します。すみません 参加させて頂きありがとうございました いろいろ勉強になりました。お仕事お疲れ様です。
- このアンケートが役にたてたら幸です
- 多くの方の状態や希望を知るために必要なこととは思いますが、設問が多すぎ！そして今の状態により必要と思う事項がかなり違うのではないかと思います。
- この様なアンケートの作成時間かけてのお仕事だと思います。ぜひ有効に活用して下さい。
- アンケートがきらいなのです。
- 高齢者にはこのアンケートはとっても大変でした。
- ページ数が多すぎて結構負担に感じました。
- これだけ細かいアンケートを実施しておいて、その結果がきちんと分析・評価されて公表されるのだろうか？選択項目も果たしてこれで良いのだろうかと思う設問もある。それぞれの項目を設定した理由を広報なりで公表し、それに伴う分析評価はこうであると結論づけ、今後のどのような行政施策に利用するのか具体的に示してほしい。できないなら、このアンケートは単なる市

第2章 調査結果の詳細

税の無駄使いですよ！！

- アンケート長い！！住まいの地域1～13 まである内どれが自分の地区かよく分からず封筒のラベルは廃棄してしまった
- アンケート調査について ①今後も進めてほしい ②大変、感謝しています
- “よりよい計画を”という情熱は強く感じ感謝しますが、20 ページに及ぶアンケートは量的に多すぎると感じました。(60代の私でも)
- 設問が多すぎて途中でやめようかと思った。もう少し設問数をへらしてほしい。
- アンケート回答をサポートした息子の意見です(息子が以下を記載)。アンケート項目が多すぎて高齢の母には負担になる(私がやってもとても時間がかかりました)。行政が行うアンケートなので市への要望などを書いてほしいことは分かるが、日常生活の中でそれほど市に要望がなく、「わからない」という答えが多くなってしまう。
- アンケートがとても見づらく、分かりにくかった。もっと見やすく、分かりやすい書面または書式にしてほしい。
- 今現在は健康で、住込みの仕事をしていて週に一度自宅に帰って来るサイクルで働いている為、今回のアンケートにはうまく答えていないと思います。
- この調査に心から感謝いたします。高齢者が加齢に伴う疾患で直面するあらゆる困難の解決に役立てば幸いです。一刻も早い解決を心より願っております。神のご加護がありますように。
- 私は今86才で1月に87才になります。認知症にはなっていないがアンケートは文書も長くて読んでも頭に入らなくて大変でした。目も悪いし眼科に行ってるのでとにかくつかれました。65才～70才はすぐ書けるでしょうけど。私はこのアンケートは大変だと思います。読むのに理解出来ない所もあって、ほんとうは出さないつもりでしたが、ハガキが来たので何とか頑張って書きました。1人暮ししています。子供達は近くにいないのでとにかく疲れしました。2日～3日時間がかかりました。大変でした。
- 提出が遅くなり申し訳ありませんでした。今回のアンケートには正直時間がかかりました。いつかは訪れる介護生活ですが、まだ実感としてとらえることができない思いと、すぐそこまできているのではないかという思い…。気の重くなる質問に時間がかかりました。
- 今回のアンケートによって、知らない事が多くありました。高齢になって他人に聞く事などがなぜか出来なくなって来ます！（こんな事も知らない、分からないとか）家族がいても話せないとか、友人が言ってました。今はまだ何とか生活を出来ていますが、不安や心配事があった時は、問い合わせ聞いて見たいと思いました。大変なお仕事だと思いますが、皆様も身体に気をつけて今後も高齢者の為によろしくお願い致します。
- 設問の仕方が理解しにくい点がありました。
- 65歳以上と75歳以上では体力に相当な違いがあり、従って考え方にも違いが生まれるので、アンケートは65歳以上、75歳以上と分けて実施した方がよいかと思います。
- 高齢者のアンケートとしてはP24は多すぎる。集中度が続かない。3回に分けて書いた。
- 以前の他のアンケートが来たが、web で回答しても送信できず、何度も行っても送信できなくて結局郵送にした。きちんとしたアプリで入力送信できるようにして欲しい。回答したものを保存もできず、何度も入力して大変迷惑せんばんであった。人の時間や手間を何とっているのか、大迷惑である。また引越して来てすぐにアンケートが送付されたが、片付けで忙しい時に、まだ藤沢市の状態がわからない時にアンケートをさせるなど不見識だと思った。今回も同居の女を亡くし、片付けや手続きで忙しい時にアンケートは迷惑である。年をとると目の疲労が強いのに、文章を読んだり書いたりするのはとても疲れるのです。対面で聞きとりならともかく、利用され

るかどうかあやしいのに色々選ばせたりするのもポーズだけで、本当の配慮があるとは思えない。そのような心がけの者たちが本当に弱った人々を助けられるのだろうか？？？？ポストが少なく寒い時にポストに投かんするのも大変なのです。

- 市政に必要なアンケートなのだろうが、ボリュームあり過ぎて回答に要する時間が30分以上かかっている。高齢者にとっては体力的負担が大きく、もう少し的を絞ってアンケートを採ってほしい。
- このアンケート記入時点での答えであって1ヶ月後、1年後はどうなっているやら…
- 今のところ困っていることがないので具体的な事が考えられず、アンケートの答えがお役に立ったか分かりませんでした。
- アンケートを書きながら、年齢に関係なく日常の生活に気をつけていくきっかけになりました。
- 今回のアンケートにより施策を知らなかった事を痛感。今後は市や地域の情報に耳を傾け、また、65才以上の人に個人的にもその情報を送付も希望します。今回のアンケートの内容を今後の資料として再確認したいので、再度アンケートを頂く事ができればお願いしたいです。
- 家族はまだ介護保険受けていませんが、このアンケート記入させて頂き、藤沢市に住ませて頂き何事もなく生活させて頂く事に幸せです。生活予防、フレイル予防、食生活、健康づくり、勉強になりました。ありがとうございました。
- (1) 私自身は、今、健康であるので、介護について、あまり関心はなかったが、こうしたアンケートで意識改革となった。やはり、夫婦が共に心身とも健常である事が大事。(2) 他の人と比べて会合(仲間)が多いが、こうした仲間内との会合は楽しいし、若さも保てるように感じている。(特に、小中高での昔の仲間)(3) 会合に関しては、昼の会合にしている。夜は、足元も不安である。東京での会合は極力さけて地元での会合を心掛けている。
- 二度と無作為な抽出をされないことを願って止みません。
- この度のアンケートを高齢者保健福祉に藤沢らしく活用されます様願ってやみません。テレビ等での他県他市のいきいきした高齢者の暮しを拝見し羨ましく「藤沢にはないなあ」と残念に思うことも多々あります。自分で行動しようと今ジム(スポーツ)へ通っています。決して安くはありません。しかし必要経費だと思い捻出しています。御蔭で毎日の外出もおっくうでなくなりました。
- 設問数が多過ぎ、後半の解答が雑になってしまいます。残念！！
- アンケートの内容が多い…。もっと簡単にしてください。
- いつもお世話になっております。アンケートをどの様に市政施策に活用されるのか、また、実現とされる具体的な、施策内容が市民にわかりやすく届くことを願っております。
- 高齢ですが足は動きます。耳は補聴器使ってます。この程度では介護保険の適用からはずれてしまい残念です。この頃日や時間を間違えたりその他おかしい事ばかりしてしまいます。それで、デイサービスに行こうと思い申請しました。今回のアンケートの事で市のやってる事業が少し分かりました。出かけないのが悪いのです。色々あるのでこれからは利用します。ありがとうございました。
- ほぼほぼ健康で、フルタイムで働いているのでアンケート内容にピンときません。もう数年たてば身近に感じるかも…。
- 1人になって4年目。段々とたいへんになりつつ現在、年に2度、娘が2・3ヶ月来てくれるので、頑張ってます。余り良く答えならない様でした。12月になってしまいあわてて記入しました。
- 返送が遅くなりお許し下さい。アンケートの回答に迷ってしまう設問もあり時間がかかってしまいました。

第2章 調査結果の詳細

- アンケートの質問が長すぎる。
- こういうめんどくさいアンケートはやめて！！
- アンケートの質問が多すぎる
- このアンケートですが先に進むと前の回答に関する質問が載っている場合がありますが前の回答など真剣に記憶していないので忘れてしまいますよ。【あなたは何々と答えました】とか【前の質問は何々でした】などの項目が末尾にプラスされていると良いのに。そもそも 80 代 90 代の方に前の質問を覚えていられるという方が無理難題だと思います。それは 20 代 30 代の方に 5 問前の質問に関してどうだったかという質問をするのと同じです、設問が不親切。
- 質問が多過ぎる似たようなしつもんが
- 少し質問の数が多すぎるように思います。
- このアンケートの回答途中で、何%回答済みかを分かるような表示するのが望ましい
- 高齢者とひとくりにされるアンケートに疑問を感じます。
- 本アンケートが長い
- 高齢者本人よりも、介護する人に聞いたほうが良いアンケート項目も多くないですか？
- 印刷物のフォントを大きくしてほしい、このアンケートも同じです。タブレットを拡大すると設問が 1 行に収まりません。
- アンケートの設問が多くて回答が大変でした。
- 回答に迷うものが多かった。質問の多さに困惑した。
- 高齢者に対するアンケートにしては、設問が多すぎると感じた。
- 本アンケートはとても充実していますが、設問数が余りにも多く、高齢者が回答するには、かなりハードです。
- アンケート数が多すぎる。後半、適当な回答になってしまった。作成側、配慮不足が感じられる。
- 65 歳以上を対象にしたアンケートにしては、設問の数が多すぎると感じます。
- アンケートの内容が、かなり充実していて良かったと思います。ただ 65 才以上の方無作為に、となっていました、ある程度年令で分けて人数が年令で片寄らないようにしてあれば良いのですが、市の福祉施策に関して、あまり利用する機会もなく知らない事ばかりなので勉強になりました。
- まだ元気に働いておりますが、市がこのようなアンケートを実施して高齢者福祉の充実を図って下さる事は本当にありがたく思います。税金は多方面に分配して有効に使わねばなりません、皆が老いてゆくのですから、ぜひアンケートを高齢者福祉のより良い方向に活かして頂けましたらと望みます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- このようなアンケートは初めてでも大切と考えます。これからも市、行政の大切さは身にしみて考えているため市民のニーズに答えて欲しいと思います。よろしくお願いします。
- 市民の意見を聞くことは良いと思うが実行されないのであればムダだと全市民が思っていると思う。
- 設問数の割には全体的に質問趣旨がかなり曖昧でありこれでは「保健福祉に関して」に対して分析が大変なのではないかと思われる。
- 御苦労様です。アンケート内容が少し多く、つかれました。再度記入させて頂きますが市のプールを利用しています。以前のようにクーポン券があると大変助かります。お願い致します。
- 今回のアンケートでたくさんの事を知りました（介護、認知症になった時の支援のこと）。高齢者は、きゅう、マッサージ利用券、地元で使える商品券にしてもらえたらありがたいです。

- 高齢者の割合が増加しつつある現在、介護の実態なども含めて状況を把握し、施策に活かすことは重要です。今次、調査を含め、この分野の施策検討にご尽力いただいた事に感謝申し上げます。既に各種の対応施設&サポート体制も存在してありますが求めるところは心のこもった（心の通い合う）対応と思います。ご苦勞されている方々に感謝しつつも、尚一層のご対応ご尽力に期待しております。有難うございます。
- 「地域」を自治会・町内会程度の範囲に限定し、“地域で、住み慣れた場所で暮らすのが一番幸せ”という価値観を前提に（押しつけて）回答を求められていることに、いささか違和感を覚える。なのでページが進むにつれてついつい疑問や不満を書きつらねてしまった。
- 高齢者施策で、知らない事ばかりなので質問の内容が理解できない項目が多かった。藤沢市の施策の要点を紹介して貰えば答え易かったように思う。
- どうか役に立ててください。
- お世話になっております。改めて色々考える機会になりましたし、知る事も出来ました。ありがとうございました。今後共宜しくお願いいたします。
- ユーザ番号をどこに書いてわからない。指定なし
- 肺炎にかかり入院治療で遅れました。期限を過ぎていますが、よろしくお願い致します。
- わがままはいえませんが、ひっこしでバタバタしておそくなりました
- 今回のことで考えさせられました。
- アンケートを定期的に行って、福祉施策に反映してほしい。
- 今回健康・福祉・介護についての市の取り組みを知ることができて良かったです。
- このアンケートは質問項目が多すぎるので、解答するのに苦勞しました。もう少し簡単なアンケートにしたほうがいいと思います。
- 今回のアンケートによって自分や家族の事を考えるきっかけになりました。また、広く意見を聞いてこれからの施策を考えてくださる市の取り組みに感謝いたします。
- 市長から返信がないので、5年間、くすぶっていたが、やっと思いの丈を言うことが出来、スッキリしました。

【サービス・生活支援について】

- 高齢になってもできるだけ自宅で過ごしたいので、公的な支援サービスを充実していただきたい。保険料が多少上がっても、やむを得ない。
- 高齢者支援の一つに図書室の借りたい本を自宅に届けて頂けるシステムがあれば助かります。現在は、自分で車の運転をしておりますが、87歳で終わりにしようと思っております（事故をしないうちに…）が足が悪く、不便を感じている現在。遠藤、御所見公民館のサークルにも各々週一回車で通っている事で20年近く参加出来ております。又、遠藤図書室には大変お世話になっておりますので、70歳過ぎてから（退職後）読書の量も増えている現状（一番の楽しみは読書となっています）、6冊までの予約もいつも一杯。移動図書室が家の近くまで来てくれると最高ですが…。出来るだけ自分で出来る方法を考えて生活していく努力をしていくつもりですが、年々出来ない事が増えております。以前、ボランティアの方（2人組で活動）をお願いしましたら、その方達もほぼ70歳台とかで「重い物、高い所はダメ」と言われ、私と余り変わらず依頼出来ませんでした。もう少し若いボランティアさんに。
- 介護経験がありました。介護されるがわよりも、する者の話をケアマネさん、入浴サービスの人達に話を聞いてもらって助かりました。意見ではありませんが、感謝しております。
- 介護にかかる費用をもっと補助してほしい。→訪問看護やマッサージ、お風呂やデイサービスな

第2章 調査結果の詳細

ど、ほか使い捨て手袋やオムツ、用品レンタルなど数え切れないほどの費用がかかります。在宅介護を推すならば家ででのケアにかかる費用をもっとサポートして下さい。

- 先日初めて「しゃぶ葉」に入りました。シニアサービス割引きがあり、ほんの少しの割引きでも少しうれしく感じました。世の中高齢社会、そんな少しのサービスがたくさん見かけられたらうれしいです。バスに乗っても同じ値段、調べたら毎日のように乗る人だけ安くなるシステム？たまに乗る人にも少しサービスを！コインランドリーやホテル、普段利用しない場所をこの数ヶ月で体験しています。この連休でホテル代一泊二日は2人で¥47,000 取られます。食事もおまかせ。市内のホテルは市民割引き欲しいです。欲しかったです。助けて欲しかったです。ステキな高齢者、弱者に優しい市であって欲しいです！
- 働かないと生きていけないような「年金」これに尽きる。老人が心配なく余生を送れるよう、経済的なバックアップこそ必要だと思う。
- 主人がデーサービスを利用していますが家族が外出したい時に（そうぎ、法事など）週にきめられの日以外にはなかなか見ていただけない
- マッサージ券をふやしてほしい。タクシー券でもよし！
- 高齢者はり・きゅう・マッサージ券は今年度から 75 才以上になってしまいました、70 才以上に戻して欲しいです。
- 人によっては身体にさわられることをよしとしない人もいます。そして足が弱くなる程出掛けてまで、マッサージを受けたいと考える人はそれだけで健康と言えます。又自宅に訪ねられるのをいやがる人もおります。私共は共に（主人は施設）86 才になりますが一度もこのサービスを受けたことがありません。何故何年もの間何らかのサービスと選択出来る様にして下さらなかったのでしょうか？市の介護の仕組みは充分感謝しております。今の世に有難い位の対応です。マッサージ券は私共には不用なサービスでした。私の希望は年に3回でもいいです。タクシー券にして下さい。
- 生活上困難が増えて来ている。1. お米の買いもの時（重いよー！） 2. 散歩が多すぎると足がつる！寝むれないほど… 3. 宅配サービスの活用 高齢者用があればいいね！（配送料補助など） 4. シニアサービス→草とり、見守り 5. 縁側制度はとてもいい 6. 元気な年寄りの活用もいい 生産性のあるボランティア
- 資源ごみ（ダンボール等）も自宅で収集して欲しい。
- ますます高齢化が進む中で老人が集まる機会がだんだんなくなります。今までわきあいあい楽しい集りがありましたが 2026 年4月以降なくなります。なんとかして下さい。高倉七ツ木の里です。皆がショックで立ち上げられません。お願いします。
- はり、きゅう、マッサージ利用券、入浴サービス割引券は必要なのでしょうか。利用されている方は多いのでしょうか。介護に費用がかかるとよく聞くのでそちらに使った方が良くと思います。
- あるいていかれるところにスーパーがあると助かります。すわるところがあると助かります。友達同志でお茶をして話をするとところが欲しい。
- 近くにスーパーがないので困ってます。年よりばかりですので皆さんほんとうに労働しております。
- 私は子なしの夫婦二人ぐらしです。ですので高齢者はいつかはひとり暮らしになることを前提にした制度やサービスの設計を希望します。
- 市が運営する「身元保証サービス」があれば良いと思う。
- マッサージ利用券支給が 70 才から 75 才に引きあげられて残念です。利用券枚数も3枚に減らされて主人がとてもガッカリしています。後、主人は過敏性ぼうこうと夜間頻尿、前立腺肥大で尿漏れパッドが手放せず、少しでも補助があれば有る難い事と、男性トイレに汚物入れの容器を設

置してほしいです。

- 今の所、健康面で特に困っていることはなく、認知症や介護施設について深く考えたことはありません。ただ高齢者となり、時に腰痛やひざ関節症で整形外科へ通うことがあります。市の高齢者のきゅう・マッサージ等の利用券はありがたいと思っています。
- 御苦労様です。主人が介護でお世話になりましたデイサービスで来てみればと言われ「事業主サイト」で参加させて頂いています。友人達に聞いても賛否両論です。足（ひざ）が悪いので支援はとれると思うのですが…今1人で生活出来てますので…。
- 80才以上の1人暮らしの方には、月1回程度安否確認の意味で電話、又は訪問等の確認制度があると心強いです。
- まだ福祉施策や介護サービスを受けたことがないのでわかりません。
- 今までマッサージ券を利用した事ありません。必要としないからです。私のような方も多いと思います。サービスはマッサージ券だけでなく、タクシー・バスの利用に使えるのも作っていただきたいです。いくつかの中から選べる様にしてほしいです。マッサージのみというのは納得いきません！
- 以前、プール利用券のサービスがあったが、再開して貰いたい。
- 昨年からマッサージ券が届きませんが！！
- 年金生活で物価が毎月の様になって行くため食べる事だけでも大変です。もし介護が必要になってもお金がなくサービスの利用出来なくなるのではと思います。（皆さんがそうではないかもしれませんが…）
- 高齢者サービスについて。施設利用券は今のほりきゅうマッサージ 公衆浴場の券などは利用しづらいと良く話してます。できたら他にも利用出来る様な物があると嬉しいと思います。宜しくお願いします。
- 12～3年前に雪が続いて降った時に雪かきをして腰を痛めた為、13の管理が出来なく成り困って居ます。敷地外の部分も有。一度確認して戴けると助かります。
- 近所の独り住まいの高齢者は毎週一回、馴染の青果店と鮮魚店に夫々欲しい食材を注文し、それをまとめて青果店が配達の上代金を回収しています。このサービスが命綱となっていると、高齢者は感謝していました。徒歩で遠く迄行けない人達が買い物難民にならないよう、地元の小売店がネットワークを作ってサポートすることは非常に有効だと思われるのでこうした仕組みを検討頂き度く。
- マッサージ券がもう少し枚数がほしいかな。
- 市営墓地に樹木葬地を、早く販売をお願い致します。
- 有料でも利用しやすい、魅力的なサービスを希望します。
- 分かりやすいサービスをして下さい。
- サービス提供が自宅から最寄りを受けられる事が第一。
- 元気で裕福な高齢者からは、有料でのサービス料をもっと増やして良いと思います。
- ペットと生活しており、散歩や精神面で大きな助けになっている。しかし高齢になると自分が先に死んでしまうかもしれないので飼えない。実際飼い主が亡くなって行き場を失うペットも多いと聞く。自分が死んでもペットをケアしてくれる体制があれば死ぬまで豊かな生活が送れると思う。
- 高齢者の心身状態や価値観等は個人差が大きい。従ってサービスの内容は一律年齢だけでは判断できないことも多い。高齢者自身が、満足したサービスを受けるには、各高齢者自身の考えを十分確認する必要があるように感じます。

第2章 調査結果の詳細

- 八部公園内浴場補助券の復活
- 経験上より公的機関の高齢者施設の内容の向上。施設高齢者とその家族の目線を大切にすべき。施設、施設スタッフの都合ではなく。市がちゃんともっとちゃんとチェック、管理すべき。公立で安いからとサービスが高齢者の人権を無視するようなことがあってはならない。
- 利用者に寄り添ってくれる温かみのあるサービスを希望します
- 健康面でも精神面でも健常者と変わらない、保健福祉を必要としない高齢者の方々のためにプラスとなるようなサービスの提供もあって良いと考える。
- 高齢者はり、きゅう利用券より市民プールの補助券を復活してほしい。路線バスの補助券がほしい。
- 問 50 19. 知らない高齢者の方が多いのでは？問 52 3. 天神町オンデマンドバスとは？
- 何度も書きましたが、マッサージ券を以前のようなプールなどに使える券に戻してほしい。横浜市のようなバスの券を作ってほしい
- 高齢者用に体育館（ジム）利用料金補助（無料あるいは大幅割博）をお願いします。
- スポーツジム、八部、なぎさ荘、有料老人ホームなど大浴場の利用が安く利用できるような施策でありがたいです。（ハリ、マッサージ補助より心身ともに安心して毎日利用でき、掃除・水光熱費にメリットがあるので喜ばれると思います。毎日出かけて健康寿命も延びそうです）是非よろしくをお願いします。
- ちょっとした事、例えば電球の取りかえなど業者に頼みたい時、信用できるかわかりません。市で登録した業者の方なら安心なのですが、そういう制度は無いのでしょうか？
- はり・きゅう・マッサージ券の増額。市民の家や、地域住民相互が集まれる場所の新設。市民の家がもっと簡単に使えるようにしてほしい。公園にトイレ設備が必要。
- 高齢者はり・きゅう・マッサージ欄でも書いたが、これは本当に不要です。市長に手紙を出す時に20~30人程にインタビューした時、70%の人が「不用」と答えていた。中にはマッサージを利用した人、曰く逆に悪くなってしまった」と。明らかに癒着である。こういう人（利用する人）は、お金を払って、施術してほしい。
- 現行の高齢者保健福祉施策で、必要でないと思うもの。高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券（理由1）高齢になると骨粗鬆症や、腰椎椎間板ヘルニアや滑症などの骨の衰えによりマッサージなどの施術を医師に止められるケースが多い。肉体的に施術を受けられない人がいるサービスを行うのは、不平等につながるのではないかと思う。（理由2）1回の施術で1枚の利用券しかできず、30分しか施術を受けられない。通常の1時間コースにすると個人負担をしなくてはならない。1回につき1枚の利用券しか、使えないというのは、治療院へ何回も通院させるための手段なのかとつい勘ぐってしまう。
- 交通、施設等のシニア割引がもっと増えればと思う。
- 高齢者のことをいろいろ考えて下さり有難たいです。6、7割の人が介護保険を受けてないとのことですが、80才を越えると出来ないことが増え助けてもらえたらと思うことが増えます。「樋口恵子」さんが80才を過ぎたら食事作りを卒業してもいいのではと行ってましたが食事作りは民間で宅配とかありますが子供に給食があるように高齢者に配慮した食事が公的に供給できたらいいなと思います。「樋口さん」は東京で地区からの食事の配達がとても助かるとのこと費用は全て払います。希望者のみ。資源ゴミの収集場所が遠くダンボールとか衣類とか大変です。大型ゴミは家から運んでもらえ有難いです。
- 私はまだ人の手助けを必要とすることは、力仕事位しかありませんが、92才の母はテレビのリモコンのまちがった所を押して映らなくなったり、エアコンの切り換えができなかったり、ゴミの分別やふとん干しができなくなったりします。日常生活のちょっとした事を手助けしてくれる制度

があったら良いと思います。でないと老人の一人暮らしは無理です。でなければ自宅のように暮らせる集合住宅（老人ホームでなく）があったら良いと思います。

- 公衆浴場の助成を是非継続してほしい（六会）。
- マッサージ利用券や入浴事業は必要な方へのみ支援し、75才以上とか年令で判断しなくて良いのではないのでしょうか？（OTC薬と同じ）
- 買い物難民支援
- 一人暮らしで急に病になったときの買物等がたのめること（親類がいても、共働きの人が多いので）。
- ハリ・きゅう・マッサージ利用は固定せず、どこでも使えるようにしていただきたい。
- 老人サービスに関する東京、横浜との格差を無くして欲しい。
- 自宅の片付等は市の方で無料で対応してほしいです。
- はり、マッサージ券を多くして欲しい。
- 手芸など手先を使う習い事のサークルがあったらいいです。
- いろいろおとくな情報をまとめて教えて下さい。
- ちなみに個人として はり きゅう、マッサージは利用していません。
- サポートセンターの相談員さんからは、介護中（自宅）のおむつ代などあとで戻るとの事でした。が入院中のおむつ代ストマー代他などいっさいもどりませんでした。
- 学習、趣味などの講習会
- 2年程前階段で転倒、30分程動けない状態となった。其後何とか布団まで移動も寝込んでしまい翌日ご近所様に頼み医者に連れて行って頂いた。この様な時の為、スマホ（SMS）で安否連絡毎日連絡受けて下さる場（システム）が欲しい。■方から毎日安否の様子Telは今のところ煩しく思う。前ページにも書きましたが家事手伝い（重い物の移動等）無償でなく、代金負担の時々助けて頂くシステム（グループ）があれば安心致します。
- 皆、それぞれだと思いますが、はり・きゅうマッサージは、利用した事はありません。
- 春に送られてくる健康診断のチケット、女性の乳ガン・子宮ガンが1年おきになってしまったのが残念です。元にもどし、毎年できるように希望します。マッサージのチケットも70才以上に上げて頂けたらありがたいです。
- マッサージ券増額にしてほしい！
- はり、きゅう、マッサージ、ふれあい入浴について、実際に、どの程度の利用者がいるのでしょうか。事業者への助成の意味もあるのでしょうか。
- ずい分前ですけど銭湯に行った時年齢より若く見えたのか「地元の人ですか、ここは地元の人だけです」と言われました 身分証明するカード銭湯用のありますか？

【介護保険制度等について】

- 現在1人で生活している訳ではないので今後の生活に実感が湧かないが、何かあった時の事は家族で話はしております。最後の時は高齢者保健福祉に委ねる事になると思います。実際私も義母・主人を介護してきましたが、最後は介護保険を利用し大変助かりました。
- 今後の介護保険料はあげないでほしい。それでもなくても少額の年金から天引きされると苦しい
- 介護保険の申請に2～3ヶ月とは時間がかかりすぎ。まだ元気な内は申請しないので、必要になってから申請して3ヶ月待ちとは長すぎる。せめて一ヶ月位で申請が下る様をお願いしたい。
- 主人は、元気でいましたが、R5. 5月、87才で死亡しました。入院したのは半月でした。介護保険等、ほとんど、利用しませんでした。これも、幸のひとつでしょう。ありがとうございました。

第2章 調査結果の詳細

- 介護ヒが高すぎる。国民年金で入所出来るようにすべきだ。民間介護はもうけすぎ
- 介護保険料率削減の方策を考えて頂きたい。例えば近隣市町村との事業の合併による規模の利益の追求など。
- 支援や介護を受けたくても経済的に無理な老人弱者がたくさんいます。介護保険とは何かと考えてしまいます。高齢者が多く支援の大変さは理解しますが必ずみんな老人になるのですからより良い政策や対策を望みます。
- 生活保護を受けているので保険料の事とかは分かりません。
- 介護保険料額が安くなる方がよい。
- 今まで考えてきた事が無かったので内容がよくわかっていません。これから必要な事について知っていき、いろいろ考え利用出来るといいなとは思っています。でも利用に際して負担が大きければ私には利用不可能です。
- 障害者+非常勤ですが、高い介護保険料を支払ってます。何とかしてほしい。65才になったらひどい現実。
- 介護保険料が高負担となっております。
- なぜ後期高齢医療保険料と介護保険料がこんなに高いのですか？介護保険料は介護の仕事をしている人にはポイント制度を創設して保険料を割引制度の利用など工夫しないと介護をする人工が減る一方と思慮しますがイカニ？！！
- 私は、70代後半の女性です。私の社会保険料（介護保険料・後期高齢者保険料）・住民税等と収める税金が大きいです。私の生活収入は年金のみのため、昨今の異常な物価高騰によって生活が厳しくなってきました。このような現状の中、これ以上の社会保険料等の値上げに反対です。また、これに伴い、高齢者の医療費負担増についても検討されていますが、現役時代には、医療費はほとんど使わずに頑張って働いてきました。自分自身が原役を退いて高齢になってみて感じることは、身体のいろんなところに故障が生じ、医療機関にかかることが多くなってきました。今般、社会保険料の見直しの中で、高齢者の医療費負担増の見直しが再度行なわれるとなれば、ますます生活が苦しくなります。私は、高齢者の医療費負担増については、断固として反対します。
- 介護保険料、後期高齢者保険料が高すぎる。利用者の負担を上げ、保険料を下げしてほしい。
- ご近所の高齢者が「介護保険はもっと使わないと損だ！」と言っていた！こんな考え方が介護保険制度を崩壊させると思います♪
- 本当に必要としている人程高額な出費となる理不尽な制度と思います。90や100歳を過ぎてまで、人により高額な税金、介護保険料、介護費用を負担しなければならない、日本人の多くが長生きしたくないという統計が出る事に納得します。現在100歳を超えた要介護者とお会いする度に、長生きなんてするものではないと呟いております。
- 介護保険でできることを増やして欲しい。
- 高齢者は、すべてに個人差が大きく年齢だけでくくるのは難しい。ありがたいことに、現在は年齢を意識する事無く生活出来ている。(が老いは突然やってくるか?)介護保険料一みんなで助け合。国の施策かもしれないが好きではない。必要な人は、自己責任で不公平が無いように。
- ヘルパーが夜間もフォローしてくれるヘルパーさんの数を増やして欲しい。その為には時間給を高くしてあげる事が求められると思う。
- 私は現在、介護のお世話にはなっていませんが、ニュースを見るたび、訪問ヘルパーさんが不足しているという事、自宅で生活したいと思っている利用者さんに、十分に関わる事の出来ない事を、現実を思い、国にぜひ介護報酬を上げて頂く事を切に望みます。
- 主人が介護5の寝たきりです。ケアマネ、看護師、理学士 etc の協力で自宅におだやかに過ごし

ています。感謝しております。この人達の福祉の給料を上げて下さい。やりがいのある仕事です。ボランティアではありません。この人達も生活があるのです。

- 良い制度設計をお願いします
- 介護認定依頼をしてから、審査に来るまでの日数がかかりすぎる。
- 免許返納：バス停、駅までが少々遠い。バス停をふやし乗り易い体制が欲しい。
- 寝たきりの介護人に対する今以上の支援する必要な事は介護1から5までの介護者に寄ってそれぞれ支援方法を変える事が「経済的負担」重要と思います。
- 高齢者とひとまとめにすると、個人差がすごくあると思います。すべての人に等しい福祉というのは難しいと思います。現在、健康で元気に過ごしていますが、先のことは分かりません。介護等が必要になったとき、スムーズにサービスが受けられるようなシステム作りをお願いします。
- 将来、介護を受けなければ、生活が難しくなった場合、家族だけに負担をかけるのは大変です。介護施設に入所した方が良いでしょう。しかし、年金生活高額の年金が支払いされている方、預金がかなりある方は、月20万以上の支払いは入所できますが、そうでない方は入所できません。また、一人で生活されている方は自宅で困難の中、生活していくので孤独死もあり、私も考えてしまいます。現在近所の方に何かお願いするも昔と違いおつきあいもなくなってきた時代ですので、お願いできません。介護認定もきびしいので、利用したくてもできない状態です。
- いまだ要介護となっていないが、病いを得て介護が必要となって時のかけこみ寺というか案内人を広く知りたいです。介護レベルと見合ったサービスの案内や提供を受けるにしろ、もう少しレベルの高い介護も出来る等、より良い生活のQOLを行えるお知らせも欲しい。もどかしく思えるかもしれませんが、介護となった時に、親族にも、バシッとと言える暖かい心持ちの方がめぐりあえていらっしやると良いなあと今の時点では思います。実際には、全く介護、なんやら…と思い、先に向けての徳を積めていません。残念ながら。
- 年金生活者です。現在はほぼ健康、多少の老化による身体的な支障はありますが、在宅生活（2人）を維持できています。私の友人・知人の中には足腰の不自由を抱えている人達もおり、医者に介護認定を受け生活の支障を補ってもらおうかと「いきいきサポートセンター」にお願いし、面談の結果、介護サービスを受けられることになったのですが、なかなかすぐには受けられませんでした。半年近く待ったようです。こういう例は少なくないと聞きました。
- 主人の介護を自宅で行っていますが、現行のサービスで満足しています。ケアマネジャー、デイサービスの職員、訪問医療の皆様親切に接して下さいまして、ありがたいと思っております。今のサービスがなかったら、介護する私はパニックになっていたと思います。子供達の協力もあり今は満足しております。現行の制度が長く続きます事、心より願っております。ありがとうございます。
- 介護保険制度について良く理解していなかったのがサービスを利用してみてやっと分かった。分かってきたのが現実です。医療保険と介護保険の違いなど、もう少し楽に知る手段があれば利用しやすいのにとと思います。
- 介護保険料が膨らむのは好ましくない。藤沢市としての取り組みであれば、どの地域に暮らしているように不公平感の発生しないサービス提供がされるべきである。
- 介護施設で12年位働いていますが、入居者と介護施設と合っていない方が多い様に思いました。グループホームや、少規模多機能の周知、特養の充実 本人に収入が有るのに特養に入居している事を多々見られている。有料老人ホームに収入的に入居出来ない方が特養に入れていないと思う。働く人の収入が低くて、やりがいの有る仕事なのになかなか人が集まらない。母子家庭の人が安心して働ける様に住居と保育園等、有る施設が出来ると良いと思う。
- 介護保険料は年金から天引きされ、やや高いと感じます。団塊の世代の下の世代としては、実際

第2章 調査結果の詳細

に自分に介護が必要となった時に十分な介護が受けられるのかという不安もあります。

- 今のところあまり施策サービスを利用する事は無いので特に要望はありませんが、昨今の医療介護の状況はかなり厳しいものだと聞きます。費用や人材等、行政にも限界があるでしょうが、現在の施策サービスの質を落とすことなく取り組んで貰えたらと希望します。
- 高齢化社会の時代まずは介護予防が大事だと思います。今介護保険を利用する必要がないから言えるのかも知れませんが、利用しない人にとっては保険料が高く感じます。実際介護を使い始めたら高くなるのはある意味仕方ないと思います。使う方と使わない方とのバランスをもう少し見直して欲しいと思います。
- 本当に必要な人に介護のお金が使われているのか疑問を持つことがある。現場の方は懸命にやっておられるのは承知しているが、情報弱者に届きづらいのでは？いつもありがとうございます。
- 1. 過剰な家屋改造などへの介護保険からの費用支出を抑制する。2. 介護サービスの内容をリスト化して公知にし、各サービスの利用者数も公表する。3. 要求した者だけが得をしない制度とする。
- 母、義母と介護を経験しました。介護度認定に時間がかかった事、イザ入所という時は経局空いている施設に入るしかないなど感じました。
- サービスの充実のために料金を上げるのではなく、国の社会保障費の支出割合を多くして欲しい。軍事に使うお金があるなら社会保障にまわすべき。父は目が悪いので娘(義娘)が代筆しました。
- 両親の介護ではたいへんよくしていただいたので介護関係のさらに充実をねがいます。
- 藤沢市に転居して4年目です。今のところ必要としていないので、わかりませんが、説明会があると参加したいです。介護を受けたい時戸惑いそうです。よろしく願いいたします。
- 『負担とサービスのバランス』サービスは必要としている人に平等に提供されるべき。その負担は経済レベル、特にキャッシュフローでの余裕に応じて保険料やサービス料金の負担を、現状より更にキツイ傾斜にするべき。
- 介護ヘルパーが短時間しか依頼出来なく、やってもらえる事が厳しいほど少ない。介護保険料が高くなる一方で、ヘルパーさんにおねがいする仕事が中途半端に感じる。
- 辻堂には要支援1～2、要介護2までの人が利用できる場所がない。
- 私事ですが、実際にあった事実です。介護認定の会議を早く行ってほしい。介護認定、障害者認定など。(死亡した家人の話です。)入院中の医師より介護認定が日頃から遅いからと、医師が早く書類を提出する様に用意してくれ市に提出したにもかかわらず、(介護保険何も使えなかった)介護5の認定が出たのは、1ヶ半後(入院)の死後でした。82才迄保険(高かった)をかけましたのに、何も受けられませんでした。
- 私は現在1人暮らしです。86才です。要支援認定の申請をしてもなかなか認定されません。認定された方は、ご家族が本人には答えさせず、家族が「こんなに物忘れが酷いとか！」審査員の方、ホームドクター等に訴え認定を受けている例を良く聞きます。平等ではない様に感じております。
- 年金の範囲内で入所できる介護施設を知っておきたい
- 介護施設に入居するに当たり待機期間が無くなる様にして欲しい。

【行政に対する期待・要望について】

- 道路の歩道側にあたる部分を歩きやすくしてほしい。変にガードレールなどあっても内側が歩きにくい。カートを押してもすんなり歩けるようにして。
- 両親が横浜市に住んでおりますが、藤沢市の方が何に関しても手厚くわかりやすいとつくづく感じており、感謝申し上げます。

- 少子高齢化問題は、喫緊の課題であると思っています。私も含めて、(私は 80 才) 死という未知の世界に否が応でも、突入する訳で、私も不安がいっぱいです!! 国や行政が、大きな間口の専門的知識と経験をもった高齢者対応組織を官民が一体となって作ることが、市民の安心、をできるものと思います。藤沢市が全国、いや世界に先がけて、作るべきと思いますが…。よろしくお願いいたします
- 現在、民間アパート(2階)に在住中ですが要介護(5)者の移動で階段が大変です。(安全面、サポート面)市営団地などでエレベータのあるところが増えしてほしいです。また申込条件などももう少し柔軟性があれば受入れ可能となり、今後の対策対応に期待しています。
- 役所意識が高すぎて、相談やサービス内容を的確に説明出来る人が少ない。市としてのサービス一覧表などが無い様でたらいまわし。他の行政現場を見て欲しい!!
- 財源を大切に有効活用をお願いします。
- 高齢者より若年者対策が重要
- 何歳になっても、「自分が社会の一員である」と思えるように、小さなことでも、他の人のために何かできたり、自分がそれまでやってきたことが何かの形で生かされたり。そういう「生きがい」を大切にしたいと思っていますし、それが可能な場所や場面が増えることを期待します。遅くなりまして申し訳ございません。
- 書類、仕組みの簡略化
- 健康保険、税金が高過ぎる、少ない年金から取りすぎ、生活保護の方が医療費も家賃も見てくるので不公平!
- 自分で自宅で生活できる期間を延ばすことが最も大切と考えています。ただ、セーフティーネットの充実を期待しています。
- このアンケートでいろいろ要望等が出ていると思いますが、多い要望はスピード感をもって実現に努力をお願いしたい。
- 定年後は一人静かに勉強と執筆に生きる決めてるので、あまり行政や自治会等がしつこく関わってほしくない。大人の個人の自由が侵されているのは困る。ともかくあまり関わらないで欲しい。
- 市のHPでAIで問い合わせ、確認出来る様にしていきたいと思います
- 年をとってから湘南台に引越して来たので、ここは子育てが充実していて、私がやりたいものがあったり、数回で終わってしまうので参加する事が出来ず、以前住んでいた横浜市で参加させていただいております。リハビリを兼ねて電車、バスを利用して楽しんでおります。病院のかかりつけ医を言われておりますが、受付人数が決まっています大事な時に利用する事が出来ていなく、別の病院探しをしています。通院(以前より)は横浜市の病院へかかっています。なので藤沢市の歯科検診は受けておりません。
- トイレが未だに水洗ではなく、汲み取りが来ています。近所に高齢者が多く、下水掃除も負担になっています。水洗トイレと下水道の整備をお願いしたいです。近所にコンビニもスーパーもなく、バスの本数も少ないため日常の買い物が大変不便です。御所見中学校付近にコンビニとスーパーを誘致してほしいです。高齢者が通院する際にタクシー割引があると助かります。
- 箱モノの建設無用。金のかかることはイヤだ。バスの割引(or 無料)パスが欲しい。JR 高い。何とかならんか。

第2章 調査結果の詳細

- 私は、福祉以外の要望になってしまいますが。藤沢市民になってまだ一年たちません。今は藤沢市が近隣の市町村合併からやっと落ちつき、この数年で観光にも力を入れてきた事がわかってきました。「江の島・鎌倉」は全国的に有名ですが、これは一つの町、市であると思っていた方が多かった様です。鎌倉市、茅ヶ崎市と二大市は有名なのに何故藤沢市は出てこなかったのでしょうか。江の島＝藤沢市をもっとアピールして、藤沢は子育てに住み良い町、シニアにとっても永住の地であり、子育て世代にとっては素晴らしい観光地であり宿場町・歴史ある土地、正月恒例の箱根駅伝の通過する道筋にもあたる等々、ぜひぜひ全国的に多方面でアピールできる市であることを願っています。高齢者保健福祉外の事ですみません。
- 藤沢市役所は低所得者向けの手当てを何か行っているのでしょうか？他の市町村では色々聞いていますが藤沢市からは何も聞こえてこない。来年はこのままでは生活が出来なくなる状態です。
- 市内13地区に市民センター（公民館）が設置、各種証明等に係る職員、そして、地域を担当する職員も配置かと、しかしながら職員数が不足なのか、彼ら（地域担当）の存在は、一部の人々、各種設置組織の役員には対応できるが、個々の多数の住民には全く、見えない。おそらく各種事務局の仕事に忙殺されているのかと。市では、各種設置の組織に期待していると思われませんが、組織を担う人々も高齢、このアンケートでも、地域に期待が寄せられているよう。先日、市民センターに行きましたが、ほとんど全ての職員は、ただ下を向き、パソコン？に向きあっているよう。明るさがありませんでした。財政、きびしいとは思いますが、センターに人員配置、地域住民に向きあえる職員の配置を期待したい。
- 村岡新駅や藤沢駅ホーム再配置に市税をしこたま使うより、高齢者保健福祉に使った方が世のため人のためになるのでは？あと引地川親水公園の駐車場を有料にするようですが、散歩で来ている年寄りには免除できるシステムにした方がいいと思いますが如何？
- 問29に関してですが歴史、文化他色々な講座が近い場所で聴講出来るようになれば嬉しいです。参加人数が増えるように、「楽しい〇〇」の感じで…。
- 光化学スモッグ注意報が広報のスピーカーで知らされますが高齢者のみでなく子供にも影響があるので毎日濃度数値を表示して外出の目安にしたい。非メタン炭化水素、一酸化炭素、等ハザードンで表示。
- 社会的インフラをもっとちゃんとして頂戴！（市道など…）市民窓口での対応
- 今後高齢者の数はますます増え、係員の対応も大変になると思われま。が、年寄りには必ずしも全員が知能・知識など後退しているわけではないので、市の係員の居丈高なもの言いなど気をつけて欲しい。（窓口での不愉快な経験（2回）がトラウマになっているので）
- 年収に応じた税金の負担を減らして欲しい。また子育て支援に片寄らず無年金、所得の低い世帯、子供が高齢な親を支えている（特に子1人、親1人）給付などで支えて欲しい。私が病気になったとき、子供が仕事を休まざるを得ない。相談窓口連絡しづらい。
- 長後市民センターの出張所的な施設を小田急長後駅東側に設けて欲しいです。日常的には図書室を良く利用していますが、高齢になると現在の長後市民センターへ行くのが億劫になってきます。住んでいる地域により公共施設の利便性に不公平感を感じざるをえません。出張所的な施設では、体験教室や趣味・サークル活動の場の提供、そして市民図書への予約本の借し出し返却等が出来ると嬉しいです。
- 羽鳥3丁目の粗大ゴミ（ダンボール&古着）は羽鳥中近くがステーションなのですが、今でも自転車で運んでいます。同年代や戸建てが多い地域で股関節が不自由な人もいます。今は自転車に乗っていますが、いつれ乗らなくなったらどうやって運ぼうかと考えるこの頃です。歩いて運べるステーションをふやしてほしいです。
- 前頁でも書きましたが、市民センター内の図書室の椅子席を増やして欲しいです。間隔を空け皆

が使える様に。

- 市の制度を利用することに制約が多い。わかりにくい。時間がかかる。市役所が混んでいる。行きたいと思う施設が少ない。
- 高齢化がますます進行する昨今の中、市当局の政策や対応は大変なことと思います。市民の声を受け止めつつ、中期的な見通しを持ち、住みよい町をめざしがんばって下さい。保険料はやはり高いです。計算式は毎年もらいますが、医療費3割というのは負担感を強く持ちます。せめて、せめて2割にして欲しいといつも願っているのです。11/18（水）
- 市役所の介護保険課の窓口に行った折のことです。高齢の男性の方が、困っていることがあってたずねてきているにもかかわらず、窓口の方は、困っていることが、どのくらい大変かについてほとんどきかず、手続きについて、たていたに水のように説明されていました。全く関係のない私が、となりで耳にしているのも悲しくなるくらいでした。素人の私たちのだれがきいても大変な手続きがありそうだなと思うしかないような話で、それをきいた、その高齢者の方は、申し込まないと答えられ、その方はそうですかと答えていらっしゃいました。その高齢者の方は、ボケているふうではなく、ゆっくり順序よく話して、ここは、手助けできるから、まずは申し込みだけはしていきましょうと話してあげれば、実際困っていることがあるのだから、できたのではないのでしょうか。ものすごくご多忙と想像しますが、その人の毎日の生きている生活があることを忘れずに年寄り、若い人に迷惑をかけたくなって、ギリギリまでがまんしています。親切と合理的と次につなげていける対応をしていただきたいと思いました。いつかだれもが年寄りになります。ほとんどの市民は、いろいろな手続きは、人生のはじめてのことばかりです。ご理解の上、よろしくおねがいします。
- 最近体力が落ちてきて少し考えたいと思う。身近かな事ですが近くに「宮の下公園」があるが、盆地状の公園で大変展望がよいのですが、高齢者に利用しにくい様に思う。例えば公園の中に入りづらい。まわりの柵からながめている人が見受ける。又、公園の中に入るのに急坂階段、柵が有り入りづらい。公園の目的を再度考えて高齢者も使えるもので有ってほしい
- 一般の人、特に高校生、自転車でベルを鳴らさず横をすり抜けていく。高齢者は、よろける。自転車の教育を実際の路上でやる等、車の運転免許のように、するとよいと思う。
- 近所の公園の落葉樹の落ち葉の処理が毎年大変だが、近所も高齢化しており、公園がいこいより負担になっている。落葉樹を常緑樹に変えるか他に移すか伐採してほしい。高齢者には落ち葉の処理のための腰をまげたり、かがんだりも大変である。公園は四方八方に近所中に落ち葉をまきちらすため。
- 【ゴミ出し】ダンボールが出しにくいです（場所が遠い、重いなどで）町内会でのシステムもいろいろだと思いますが、数ヶ月に1回とか自宅前になどどうでしょうか
- 駅近くに住んでいるが最近家の敷地内や前の道路にゴミをすてる人が多い（プラゴミ、ペットボトル、タバコの吸い殻など）駅にゴミ箱がないためだと思われる。
- 70 才になる前までは年に1度の老人検診を受けガンやら狭心症等を、発見してもらい今に致つてますが、約7年程前から血液サラサラの薬（エフイェント）等を毎日飲んで居ります。これといって生活に困る様な事は無いのですが、最近足が弱くなり（元々生れつき片足が小児マヒ（軽度）もあり左右の足はかなり太さは半分、長さは2cm程ちがいます。良い方の足がネン座等をするとほとんど寝たきり状態になってしまいます。最近、知人が身障者の資格を持っていたのでホームに特養に入所出来たとの事。私みたいに痛くない時は歩ける位の者は資格はもらえないのでしょうか？又、もらうにはどこへ行けば良いのか解りません。77才
- 少子化時代、仕方ないのかもしれませんが、高齢者に対しての配慮が年々削られている感がします。せめて私達が楽しく暮していけるような福祉だけは削らないでいただきたい。みなさんいず

第2章 調査結果の詳細

れは高齢者になります。自分の事として考えていただきたい。切に願います！！

- 困った時に、まず相談出来る部署（又は窓口）をひとつ明確にしてほしい。（病院で言えば総合診療科）そこから内容によって各専門部署を紹介してほしい。困った時の110番のようなわかりやすい部署がほしい。但しタライ廻しは避けてほしい。このエントリー部署をトップとし、各専門部署が有機的につながった組織ができれば市民は助かります。
- 税金が高い（市民税等）
- 引地川沿の遊歩道公園の橋の近くにベンチを置いてほしい。鵜沼海岸からの帰り道に休みたい。日陰もほしい。鵜沼海岸5丁目信号両側（駅側、辻堂側）の道が逆し危険！！以前にも伝えたことがありますが、道路買収の予算がないとのことでした。交通量が非常に多いのに歩道がない。鵜沼海岸5丁目信号交差点駅側の三角スペースに（私有地でなかったら）ベンチがほしい。空地が少しあります。
- 後見人の指定：配偶者等を指定しても、どちらが先に認知症や死亡になるかわからない。その様になったとき改めて指定をしたいが、すでに自分が契約能力がなくなっていると指定の手続が面倒。ということを含めて、後見人指定制度の周知をたのみたい。
- 藤沢市の場合は過去の私の経験では、副市長等は所管部門は決まっているが所管部署に対し何をするのが不詳のようであり、結局「君臨すれども、仕事せず＝偉そうな立場だが、実質的には何もしない存在のようであります。」そんな背景から、先の防災安全部長が「自分が理解していれば良いのであり、住民の理解などどうでも良い」などと公言してしまっております。彼はその後定年で退職してしまいましたが、この発言につき副市長からの補足説明や同部長の考え方の市としての補正がなされたと言う話は聞いておりません。「市長」が市の最高責任者であります。市長は選挙で選ばれた「政治家」であり、市政の問題は市職員から任命された副市長が実質的な責任者であるという市の運営の基本認識が欠落しているように感じられます。こんな市政の状況を企画政策部長等はどうに認識しているのだろうか？改善されることを望みます。以上
- 鵜沼海岸の市民センターを建て替える話がある様だが、どうせ建て替えるなら津波避難タワービルも兼ねた高層の建て物にしてほしい。関東大震災では湘洋中学の3階建ての校舎の屋上に登らなくては助からなかったと云うのだから、3階建－4階建くらいの物を建ててほしい。地域的に高層の物を建てられない話をされているのは知っているが、今はその様な事を云っている場合ではないのではないか！！
- 公園がたくさんあるので高齢者の利用できる運動機能のあるものを設置して、日光浴や散歩を楽しむように、戸外へ誘導するような公園にしてほしい。
- 本鵜沼駅近くのセンターでは、奥で催し物をしているらしいと聞いたことがありますが、道路側から見ると事務作業をしている様子しか分かりません。もし何かをしているのならその楽しい様子が分かり、つい入ってみたいくなるような、レイアウトの工夫があれば良いのに、と思います。
- 役所に行っても職員達の「やる気の無さ」は目に余る。（多分何処でも一緒だと思うが）きれい事を並べているだけだと思っている。自治体に期待は無い。

【広報・PRについて】

- 「高齢者の保健・福祉」に関するアンケートで知らない事が諸講ありました。何をしようとしているのかもっとアピールしてほしい。家から出ない人などにも通信してほしい。
- 頭を働かせ、学ぶ意欲が増すような機会・場がもっと必要と思います。そのための広報の充実を。
- 現在私は妻と子供2人（成人、未婚）と同居していて、全員健康なのであまり実感がわきません。私は秋葉台体育館内のトレーニングルームに定期的に行き、又全員ウォーキングをほぼ毎日行なっています。私は特養で宿直の仕事しているのでいろいろ考えてはいますが、具体的な考えには

なっていません。今後の事を家族全員で話し合い、決めていかなければとは思っています。20年位前になりますが、母親の介護をしていましたが、藤沢市のサービスについてはケアマネージャーからの情報がたいへん役に立ちました。ただ、ケアマネージャーの方の経験と知識によって差があるように感じます。「こういう手続きをするとこんな支援が受けられます」という情報をいろいろ教えていただきましたが、藤沢市から受けられる支援の一覧があればと思います。

- 回答中に気が付いたこと。広報にこのアンケートに関する利用内容について時々でも良いから記載して欲しい。どうも80代に利用出来る内容の記載が少ない気がする。
- 今後、福祉や介護等が必要になってくると思うので情報はしっかり入手したいと思いました。
- 介護に関する情報やサービス、介護保険の申請の仕方、サービスの受け方、健康に関する事など介護新聞的なものを毎月発行して自宅ポストに届けてくれるサービスがあるともっと勉強になるのでお願いしたいです（すでにあっただらすみません）
- 健康、福祉、介護などで色々支援されていると思いますが、認知症コールセンター、ふじさわあんしんセンター、ふれあい入浴事業等は知りませんでした。何らかの方法でもう少し周知されてはどうでしょうか。
- 令和7年11月26日 藤沢市の高齢者保健福祉施策についての意見 小生は今83才・妻80才の二人暮らしですが、幸いどうにか自立の生活で過ごしております。公共の支援制度のお世話になるのは今後の衰えの状況によるものと考えております。今回のアンケートに接し、市の高齢者健康・福祉制度についてこの歳になるまで殆どその詳細を知らないことが分かりました。市は高齢者（高齢者の衰えには個人差がある）に対してどの様に市の制度につき啓蒙活動をしているのだろうか？このような問題は、必要になった時に急に対応すれば良いということではなく、各高齢者が健常のときに公共の支援制度を理解した上で将来の個人としての対応策を考えるべきものと考えられます。「高齢者のための安心べんり帳」「あなたと歩む介護保険」などが交付されているが、一読するに制度そのものを抽出したものであり記述に漏れはないかもしれないが詳細すぎて業務マニュアル的になり一般市民には取り付きにくい文書となってしまっている。出来ればイラスト等を駆使して制度の概要につき網羅周知する内容に徹し手続きなどについては窓口への委託事項としても良いのではと考えられます。
- さまざまな制度や設備があっても情報の入手ができないと意味がない。周知の方法が大切だと思う。
- 藤沢市の広報に色々、講座などの募集が載っているが、たいがい人数制限があり（少人数）前もって応募しなくてはならないのがめんどろでやめてしまう。市民センターで色々サークル活動が行なわれている様だが、どの様なサークル活動がいつ行なわれているのかよくわからない。一覧表で何のサークル活動がいつ行なわれているのかわかるようにしてもらえれば、私も何か参加してみたいと思う。
- 高齢者保健福祉サービスについて、現在ある全容が解りません。何らかの方法で全容がつかめるにはどうしたらよいか？御説明公開などあれば参加したいと思います。
- 広報ふじさわ（紙）に関して。高齢者に関するあらゆる情報が1目で分かる（あちこち見ずに）専用のコーナーを設け、そこを見さえすれば済むようになれば簡単で、知らなかった…などが無くなるのではないかと思う次第ですが、如何でしょうか。
- 当市は大変福祉も充実され、住み易さを感じています。が、私共高齢者は色々情報が入って来ても右から左へとすぐ忘れてしまい、いざという時にそれを利用出来ない事が有ります。そこで、いざと言う時のため読みやすい1冊の参考書？のような、いつも手元においておけるものがあったら…大変心強いのでは…と思います。
- シニア人材センターでの講習会に出席して感じたことは事業内容の説明不足を考えてもっと充実した内容として取り組める様に市が広げるべきだと思います。説明会も夜間に行なうとか。

第2章 調査結果の詳細

- 情報は積極的に収集しようと思いました。
- 今まで関心もご縁もありませんでしたがこれからはお世話になることも多々あると思います。施策の具体的内容を知らせて戴きたいと思います。
- 制度の案内等は直接、郵便や訪問等により対話形式でやっていただくと理解しやすい。
- もっとサービスの宣伝をして欲しい。
- 高齢者に対して優しい市政を望む。例えば給付金や誰もがわかりやすい情報など
- 高齢者が今までやってなかった事を始めたり、新しいことを理解して判断するのは難しいと思います。家族がいない人はどうにもなりません、家族がいる人は高齢の親がこれから使いそうなサービスの知識が得られる機会を作ってあげてください。
- 色々な情報を色々な手段でもっと沢山情報を出して欲しい
- 様々なサービスがあるのなら分かりやすくしてほしい。知らない人が多いはず。
- 市制のデジタル化は進めるべきだが、分かりやすさを第一に願いたい。
- 利用可能な施設など高齢者向けの情報があまり届かなく、知らないことが多いので、情報をまとめた資料などを年に一度郵送で送ってもらえるなどのサービスがあると嬉しい。
- 藤沢市にどのようなサービスがあるか全く知らない、このアンケートを通してこんなサービスもあるのかと知った。今後全ての藤沢市が行うサービスについて、体系的に全体像が見えるようなホームページを紹介してほしい。
- 藤沢市が行っている高齢者福祉施策について、アピール力が小さく、何をしているか？何をしたいか？が伝わって来ない。
- ケアラーとかわざわざ使わずに、わかりやすい日本語があればそれを使うべきでしょう。
- 老人になった人の意見だけでなく、いずれ老人になる人に真剣に考えさせることが大切だと思う。考えるための情報を正しく伝え、考えたことを共有する取り組みも必要かと。
- 本市での高齢者支援施策に関して、情報を必要としている人がその情報にたどりつけるのかという利用者視点での配慮が欠如していると感じることがしばしばある。たとえば「いきいき長寿プランふじさわ」は市の高齢者支援の情報を統合的に得るために重要な情報源であり、私も参照しているが、藤沢市のホームページで「いきいき長寿プランふじさわ」になかなかたどりつくことができない。トップページや高齢者支援課のページにこの文書へのリンクがないのはおろか、検索欄に「いきいき長寿プランふじさわ」と入力しても「明確な情報が見つけれなかった」と表示される。この文書の正式名称である「高齢者保健福祉施策」と入力しないと検索できないのだが、正式名称を知っている高齢者・支援者がいったい何人いるだろうか。本件だけにとどまらず、利用者視点での情報到達性に対して広範に再確認が必要に感じる。
- 大きな災害に対して市としての具体的に細かい説明がときどきあると安心します。
- 今まで、自分はあまり、老後の事を深く考えて無かったが、年と共に考える事になり不安が少し有る、今後とも、福祉活動へのPRを宜しく願います。
- 各施設の利用条件、資格、費用などの解り安い案内書などの整理・配布。
- 問 32 の健康、福祉、介護で困った時どちらに相談するか？健康の状態では（5）（6）（7）（8）は介護保険の認定を受けてから利用出来るものではないですか知らない事ばかりです。
- 高齢者が出来る運動の種類は何があるか団体に出来る物、個人的に参加出来る種類があるか、地域に合った方法、場所は何を行っているか、何が自分で参加出来る物があるか、知りたいです。参加したいですね。元気でいたいですね。

- 藤沢市政の中で高齢者に対しての制度が良くわからない。福祉、介護、自治会等その他色々ある中ででの対応が今一わかりません。
- 私達は徐々に気づけば高齢者になり気づけば医療介護をいや応なしに受けざるを得ない年になります。必要な対処を常にそなえる様に、そなえあればうれしいなしその時どうする、問い合わせ先を調べる事が大事かも知れない。
- 福祉内容の告知が余りなされていないと感じる。
- 老人福祉センターってどんなことをされているのですか。藤沢市のラインホームページのメニューにはのっていないようですが…。
- 福祉サービスの内容を理解できるような冊子配布 以上、費用がかかりますが、なんとか工夫していただけたらうれしいです。
- もっと気軽に福祉設備が利用できるよう、このようなアンケートを配布されたように案内していただけたら、どのようなものが利用できるのかわかりますし、それと費用についてもどのくらいかかるのか補助していただけるのかを教えてください。
- 市のHPなどいくら充実させても、老人はそれを見ることはない。何がどこにあって、何をどこでやるか。これをする時はどこへ行けばいいか等々について、衆知させるにはどうすればいいか。もっと考えてもらいたい。「市のたより」など、画一的で不親切。もっと読ませる努力をして下さい。紙情報でいいので。
- 市で行っているサービスを具体的にわかりやすく教えてください。
- 老人の活動の場やし、どこにどのような活動があるか情報発信してほしい。少ないと思う(現在)。
- 数年前まで 20 年以上親の介護をしていました。自身の老後に大きな不安を感じながら日々介護に追われ睡眠時間もなく心身正常な状態でいられなかったので自分から情報集収する心と時間の余裕はありませんでした。今後どんな環境の高齢者にも福祉情報が得られる様に常に繰り返し、もっと情報のアピールをして PR してほしい。広報の Web & ペーパーはもちろん他のお知らせの郵送時に福祉情報も一緒に郵送する事も出来れば助かります。目につく様にもして頂きたい。高齢者は視力も記憶力も衰えるので

【介護予防・健康づくりについて】

- ご苦労さまです。今のところ普通に生活しております。介護予防に気を付けて、家族に負担を掛けないよう過ごして行きたいと思います。
- 健康一番、日常の自分ペースを守る。よく動くよく運転をする。毎日1時間インドアゴルフ。土曜、祝日は宅配デリバリー一日3回食事、量、時間守る。家内の食事ご飯も少な目。健康食、月曜～金曜日は自営業、資金繰り等に多少の心配事、神経使うことあり。恵まれた環境より多少苦労あり。これが自分の為にはプラスに働く、毎年市の成人病検診にても問題なく健康です。生活リズムを守り 82 歳に挑戦する。
- 高齢者が多くなるにつれて少しでもご迷惑をかけないよう、自分で努力しています。(食事、医療、運動など) でもいつかお世話にならなければならないと考えると、気が重いです。そんな日がこないように、出来るだけ頑張ります。
- 体力維持ができるような運動の場(教室等)が身近な所があればいいと思います。体力の衰えにより外出がままならないという人が多いと思うので、遠い所ではなく近くにあれば気楽に行けるのではないかと思います。
- 介護や認知症予防は自己で管理し気をつける事
- 週一回でも良いので簡単な運動が近くの公園等であると良いなあと思っています。

第2章 調査結果の詳細

- 今はまだ幸いなことに体に不自由な所はなく自由に動けますが、これから 70 代に入るので、自分でも気を付けて過ごしていきたいと思います。市の関係者の方々にも頑張って頂いていると思います。少し足が（身体のどこかが）悪くても、気軽に参加できる集える場所が増えたら良いと思います。
- 年金生活にて日々苦勞している。健康維持の為近くの市の施設で運動をしているが、近年まで発行されていた利用券が廃止され、自費で利用している。市民の健康を願うなら、豪華な箱物より市民の為の施策を願いたい。病気になる前の対策に力を注ぐべき。
- 身体、歯科の健診はありますが、眼科も定期健診があると良いと思います。私のまわりの方々は私も含め元気で、全くではないものの医者にあまりかかりません。高い保険料を払っているのに…良いことではあるのですが、そんなに病気の方が多いのかと思います。いずれ保険にはお世話になるのか…くやしけれど頑張って元気でいようと思います。予防医療に力を入れてほしい。
- 介護予防に日々努めています。家族に迷惑をかけるだけでなく医療費や介護サービスに公費の負担をかけたくないからです。「カーブス」に毎日通っていますが藤沢市も小田原市のように補助をしてくれたら良いのと思います。予防にお金をかけるほうがずっと安くすみませ
- 高齢者のフレイルを少なくする事は、高齢者だけではなく社会に（家族にも）おいても、この先重要な事と思います。
- 高齢者健康維持の為に、パークゴルフ場の設置を希望します。
- なぎさ荘でするサーキット運動を鵜沼市民センターでもしてほしい。
- 可能な限り、健康年齢を伸ばすことと思います。
- 今後高齢者が増えていく中で、在宅介護は人的資源の上からも厳しいと思います。介護の必要のない健康状態を保てるような施策と、介護が必要になった場合に入れる施設の充実が必要と思います。
- 今後、地域の方々との交流の場を広め、自立生活の継続を願いますが、その状況に応じての支援、介護体制と施設の充実、認知症予防対策にも力を入れていただきたいです。また「いきいきシニアセンター」行きのマイクロバスの運行、さらに 75 才以上になったら「はり、きゅう、マッサージ利用券」にてマッサージに行きたいです。宜しくお願い致します。
- 今年7月に市の健康づくり課よりフレイルリスクの対策として訪問を受けました。それから4回にわたり栄養指導を頂き毎日の食生活の考考になり、食事に気配り出来ました。その後転倒予防講座を受け、毎日少しずつストレッチをして気を付けながら歩行する様になりました。栄養士の方をはじめ係りの方々に「ありがとうございました」とお伝えしたいです。
- 高齢者保健福祉を利用しなくても長生きできるプログラム（未病とならない方法、食事内容方法、運動設備と内容等）を充実してもらいたい。
- 健康で頑張っている高齢者（あるいはグループ）への若干の金銭的支援（レクレーションなど）。元気でいれば、結果的に介護費用が軽減できる。地域での清掃などの一括的なボランティア活動の指導（弁当代くらい負担して）。
- 健康の定義があいまいである。人間ドックなどで何ら異常がない事を確認できて、初めて健康かどうかわかるのではないのでしょうか。（受診の有無、治療の有無等の項目必要）又、市の健診は項目が不十分です。（エコー検査、聴力、眼底など）その為、私自身は人間ドック、脳ドックなどを利用。このアンケートの必要性を余り感じません。何に利用され、反映されるのか不明です。紙でのアンケートは無駄だと思う。ネット利用した方が、答えるのも楽だし、費用も安くすむのでは。
- 介護サービスを受けずに生活できるように運動や食事に注意していきたいので、市民センター等で行う体操等、参加してみたいと思っています。

- 最近、中国に旅行に行って来ました。とても感動したのは、公園に筋力維持やバランス感覚を養うための遊具のようなものが設置されて誰でも利用することができます。日本も高齢社会になりどの公園でも子供むけの遊具だけでなく、巾広く人々が健康意識がもてるような設備、環境があったらと思いました。別の点ですが高齢者は健康であれば時間があります。きっと若い頃学びたいと思っても学ぶ時間がなかったものも多々あると思います。例えば、言語、スポーツ、料理、手芸等、基本から学べる充実したカリキュラム。市の補助により金銭の負担が小さければやってみたいという方がおられると思います。さらに入浴サービスですがスーパー銭湯も利用できると良いと思います。
- 藤沢市の国保特定健診の項目に、認知機能検査や骨密度検査など、フレイル予防のための検査を加えてほしいです。75才以上の高齢者になると、認知機能のおとろえや骨折がひじょうに不安です。後期高齢者にやさしい藤沢市であってほしいです。
- 健康の為、閉じ籠もり防止の為店の活性化 81歳男子、夫婦で朝5時起き散歩(60分)しています。約7000歩何んだかんだで毎日1万歩越。すこぶる元気です。痛いところなし、30年続いています。散歩をより奨めて下さい。
- 福祉サービスをうけるまでの予防的な講習会
- 民間のスポーツ施設やカルチャーセンターなどを利用しつつ、公的な施策を併用した健康づくり・介護予防も有りだと思えます。
- 介護予防の取り組みを身近で(市民の家等)積極的に行ってほしい。(週1回位)元気で最後まで過ごしたいと思っているのでよろしくお願いします。
- 今の高齢者は健康者が多いので、不健康になった時のイメージが湧かないので、70歳、75歳、80歳等定期的な時期のアドバイスを相談できる機会を作ってほしい。
- 健康で運動出来る者の行事が長後には無い様に感じます。フレイル予防に巾広い場を作って欲しいです
- 健康を保つため努力して体操教室などしている健気な高齢グループに会費など割り引き制度があったらうれしいです。何とか介護保険のお世話になることを先延ばし出来るようにと皆願っています。
- 保健福祉の利用できることは最も大切なことと思いますが、高齢者は頼るだけでなく、健康維持の努力ができるような取り組み方法などを学べる身近な場所があったらいいのでは。

【相談体制について】

- 高齢者関連全般の相談、申請等窓口の充実(一元化)促進。〇〇〇センター、〇〇〇サービス、〇〇〇協議会等色々あるが、全体像が見えにくい。必要とするサービス、支援を個別に調べる以前に、全般的に対応する窓口(まずここに連絡してみる)の設置の見える化を!
- 介護サービスや介護施設への入所が必要となった際の相談窓口、連絡先を知りたい。そして家族とも共有しておきたい。
- 東京都に住む実弟(70才・年金生活の収入が少なく私が生活支援をしていますが、私も後期高齢者であり、これ以上の支援は無理です。)東京都に社会的な支援相談を申し入れましたが、本人でなければ応じられないとのこと困っています。先日も入院費・生活費の支援をいたしました。藤沢市の方でこうした困り事の相談について応じて頂けると幸いです。
- 今は2人の生活ですが、いずれ1人になった相談できる窓口を知りたい
- ひとり暮らしの為、夜中などに体調が悪くなったりした時不安を感じる。その様な時に相談出来る所がわからないので知りたい。このアンケートでいきいきサポートセンターを知ったので良か

第2章 調査結果の詳細

った。

- 現在は自分の足で行動が出来てますが年々、用事のスピードが遅く、一番は体力の低下と思っております。早い段階での市への相談窓口を利用したいと思っております
- スマホとか持っていない 90 歳代の高齢者です。からだの一寸したことで心配になることがあります。気軽にきいてもらえたりアドバイスうけれる窓口があったらと思います。熱が出て心配な時は内科に行きますが医院はいろいろな患者さんがいるし、待合室で診療を待つのも疲れます。
- こまった時まずは〇〇〇（どこ）へ相談したら良いかわからない
- 相談しやすい環境。手を貸してくれるのはありがたいですが、同時に耳を貸していただける、うれしいです。
- まだ高齢者の自覚がたりませんが、将来自分が1人暮らしになった時の事を考えると、急に身体が具合悪くなった時に頼れる人が全くないのが気がかりです。そんな時に、誰でも電話できる場所があればありがたいです。
- 現在自分が必要としていませんが、その都度相談出来れば良いと思っています。
- 今は自分自身で何でもできる。しかし、ある日突然体が動かなくなる事が予想される。その時、他者の支援が必要となる。その時まず相談する窓口をしっかりと把握しておきたい。
- 高齢者保健福祉にかかわる組織・機関・窓口などが多く複雑に感じます。全体のフロー（フロー図）、部分の詳細フロー（フロー図）を作成していただければありがたいと思います。（わかりやすくなる）
- 高齢者の困った事に相談にのってくれる窓口を一本化してほしい。そこで健康については△△へ、認知症については〇〇へ、地域活動をしたい人は××へ、介護については□□へという様に紹介してほしい。テーマによって窓口が色々あるのは年寄りにとってもわかりにくいものです。（高齢者何でも相談 110 番）
- いきいきサポートセンターの窓口は大きく広げられています。しかし、相談後のフォローについては十分ではないと思います。相談した事はきちんと記録され、引き継ぎされているのかについては不信感を持っています。ただその相談時受け付けてくれも、何も解決には結びつかない、解決できなくても、その後の経過観察は続けてほしいと思います。市民としては、相談時大きなハードルを感じながらも、伝えているはずですので。相談数も多く、対応人員も少ないのは十分に理解していますが、「たいへんですね。」と言われたままでは、やっぱり自分たちで考えていくしかないのかと思います。
- まだ高齢者と言っても元気で歩けるのでやろうと思えば今はできるがそれができなくなったときに相談できるところをまずは知りたい。本当に親身になって相談できるところです。たらい回しのようなところはいらない。
- 施策がたくさんあるので、窓口はシンプルでわかりやすいのが良いです
- 近所に気軽に相談できる場所（人）が居て欲しい。
- 気軽に相談できる体制個々に臨機応変に対応できる柔軟性。
- 高齢者保健福祉施策に対して 医師による誤診 二カ所の病院で無関係の薬を処方されて4ヶ月主人は入院。薬の副作用で幻覚おかしいと思いかかりつけ医に相談し現在訪問リハビリ等利用して日常生活に戻りつつあります。誤診では？と思った時の相談窓口を設置して頂けると有難いです。確かにかかりつけ医が一番なのですが、その前の時点の相談が出来れば。関係の無い事で申し訳ありませんが、宜しくお願い致します。
- 本人や家族が相談したら親切親身になって接して欲しい。
- 気軽に相談できるしくみがあること

- まだ危機感をもってませんが、間違いなく近い将来に我が身に降りかかる、避けることのできない問題と認識はしています。その時に最初に行くべき（相談できる機関等）情報をわかりやすく展開していただくと有難いです。
- 私は、今 77 才になる後数ヶ月で 78 才です。体力も気力も日々弱くなって行く自分を感じております。一つ 1 ばんの悩みは、娘の事です。今は社会的にサービスを全く受けていません。市の全く何も分からない何度も相談に行ったけど職員は何も動いてもらえませんでした。統括の一言で全て闇に葬るてしまう。とてもおそろしく 1 歩も前に進み娘を導く事も出来なく親子二人娘は、家から出る事もなく苦しい思いを二人でしています。社会法人との癒着、税金を投入されているのにと苦しい思いをしています。良く調べて下さい。娘は手帳は、障害（B）です。22 年通所してちりました。法人との癒着なものでもない
- どんなことでも気軽に相談できる（含む電話）窓口があると安心です。
- ひとり暮らしになりました（夫が 5 年前に他界）体調への不安（特に夜中）救急車を呼ぶ必要もなく（自己判断ですが）誰にも相談できないことが、負担です。夜中に Tel ができるところがあればと思いました。
- 要望仮称『高齢者相談総合案内窓口の設置』相談事がどこの機関が受付窓口になっているのか、高齢者にはわかりずらく躊躇してそのままにしてしまう。解決の一助として、相談受付窓口を一箇所にして、諸困りごとの対象受付機関窓口へ振り分けて案内してあげる。（高齢者困り事相談安心窓口）
- 今の所概ね元気なので余り考えていません。しかし、突然介護される身になるのではとも考えます。この様な人はまずどこに連絡をとったら良いのかが（動けない場合もあるのでスマホですぐ連絡がつながる所）わかりません。必要性が出て、初めて知っていくことなのかも知れません。
- 通常は自立生活を出来て居ても、ケガ、病気の時のみ（短期でも）いきいきサポートセンターにたよらせて頂ければ助かります。出来るだけ地域で自立生活を送りたいと願ってます。
- 何かあった時の連絡窓口又は相談窓口がどこにあるのか分らず困っています。例えば支役所の窓口で聞けばその先の相談が出来るようなシステムがあれば安心出来るかと思えます。
- 80、90 才になり施設まで行くのが大変になるのであまり外出できなくなった人・介護保険を使っていない人（病気になってなくても）にもなにか声かけとか困ってることを相談できる人がいたら嬉しいです。

【施設整備について】

- 市の高齢者市施設を安く入れるようにして下さい
- 現在、やすらぎ荘のお風呂を利用しております。なくなってしまううわさを聞き、残念に思います。広々として浴室たっぷりの湯、まるで温泉気分、なじみの方との語り、楽しいひと時を過ごすことが出来て、大好きです。担当者の方々も親切でうれしいです。片道 20 分位かかりますが、いい運動になりいつまでも続いてほしいと願うばかりです。プールも近くにあり週に 1～2 回の水中ウォーキングに利用しています。坂の多い町でしんどい所ではありますが、体力作りにはよい町だと感謝しているこの頃です。
- 今後高齢者の一人暮らしが増える事から、身体等が不自由になる前に入居できる居住施設が増える事を望みたい。
- 家庭内での介護問題解消の為に、そして、人生の最後を楽しく送れる最近その数も多くなってきている、住居型から介護型そして看取りまで出来る、高級老人ホームをお手頃な価格で入所できる施設の建設推進を望みます。

第2章 調査結果の詳細

- 老人施設の充実。駅に近い場所。
- 歩けなくなったとき、病気がなくても衣食住のできる安い施設ホームがほしいです。
- 今の所、自立していて福祉施設など利用の必要はありませんが、何時利用するようになるかわかりませんが、健康に恵まれていて、病院へ通院もしていません。利用が必要になった時は、どうぞ、よろしくお願いいたします。
- 市営の介護施設を増やしてほしい。
- こぶし荘は、なくさないで下さい
- 近くに無料で使用できる高齢者施設があると良いですね！
- 子どもに学校があるように、高齢者にも学校のような所があるといいと思います。ホスピスホームやホスピス型住宅などの充実してほしい。
- 私は今迄健康に恵まれて 90 才迄働いていたので、福祉の事には考えていませんでした。娘が一人居りますが、娘も老人の仲間入りをする年令でその上私よりいろいろ病気がちで、私の方が気を使っている状態ですので、私は年金で入所できる施設があれば老後はその様にしたいと考えて居ります。今現在はまわりに老人が居ても施設に行っていて、私はいつも家の中で一人でいます。年寄が自由に出入り出来る場所が近くにあれば良いなと思っています。
- ホスピス型住宅を藤沢市で運営してほしい
- 高齢者介護施設について、介護度に応じた施設の充実を望む。
- 介護施設の拡充と入所費用の公費援助を願いたい。民間のデイサービスは小規模施設が多いと思われる。民間であるからむずかしいかもしれませんが、統合して施設の充実をはかったらと思います。利用時間を長くしてほしいと思います。
- 高齢者向けのジムがあっても自由に行ける所があるといいですね。2次元バーコードから回答していたら途中で切れてしまいました。ダブルかもしれません。
- 勝手なお願いです。「ちょこっと湘南台」は我が家から遠いことといつも開いているとは限らないので利用したことがありません。「高倉市民の家」などで地域包括支援センターの方が中心となって定期的にお話し会や体動かし会やお茶飲み会など開いてくれるとありがたいと思っています。こぶし荘も遠いので利用する機会少ないです。
- 経済的な負担が少ない入居施設をお願いしたいです。
- 今後とも、施策充実に向け取り組んでいただくようお願いいたします。
- 自立出来ない高齢者を家族が介護するのは困難と思う。特養等の入所介護施設の充実を希望。
- 福祉施設が必要になった時希望の施設に入れる様にしたい。
- 要介護の認定を受けなくても利用できる運動（軽い）高齢者用施設があるとよいと思う。
- 自宅近くには福祉施設がありません。近くに老人センターがあれば嬉しいです。横浜市のように高齢者の交通費無料があると嬉しいです。
- なぎさ荘がなくなることが不安です。アクアを利用するようになって整骨院に通う必要がなくなって、医療費削減にも貢献できたとし、自分の気持ちも前向きになり外出にはなぎさ号で気軽に行けるようになりました。なぎさ号もなくなったら、家に閉じこもりがちで不健康な生活になるのかと心配です。また、独居の人は入浴時に倒れたとき発見してもらえるようにとなぎさ荘に通っています。なぎさ荘がなくなるときには、八部プールに、高齢者が一般の人にもまねながらの利用ではない何か対策を考えてもらって、高齢者も安心して入浴とアクアができるように要望します。
- 個人的な事で申し訳ありませんが、鶴沼のなぎさ荘のプールを脚手術後のリハビリの為に利用しています。将来的に閉鎖という事を聞いていますが近辺高齢者が多い上通所が遠くなることに不

安を感じています。体力的にも遠くに通うのは無理なので無くさないでほしいです

- 地域の老人クラブや講座が有っても遠すぎて通いきれません。もっと駅周辺にそのような所を作るか、市役所の中で活動出来る場所を作って下されば幸いです。老人は身体を動かす事が健康寿命につながると思えます。
- 夫がなくなるまでは、なぎさ荘に週に一度通ってましたが、バスなぎさ号の時間と、始まる時間が合わず、今は全く行けない状態です。(行くのが負担になって来ました。)なぎさ荘の近くの人達は、たくさんいらしてましたが、離てる人達は少なかったです。もう少し近くに生涯学習活動や交流の場があればと常に思っています。
- 【特養施設など】いざという時でも施設が充実していると気持ちのゆとりがもてます。施設の建設の充実をのぞみます。
- いざという時に入所できる施設
- 公立施設の「特養」の増設

【将来の不安や安心した暮らしについて】

- 今 68 歳、高齢者という自覚がありません。いつ自分が福祉のお世話になるかと思うと少し不安でもあります。自分から情報を吸収していく必要性を感じました。
- 高齢者介護などたくさん言葉がありますが私共はどのように生活していいやら今は現状維持していますが低所得の為に将来不安です。
- 病院、スーパーなどが近くにありません。バス停も駅も遠くて将来、本当にこまります。
- 60 歳時に民生委員の方に来訪していただいたが、それが唯一の出来事で、それ以降は音さた無し。60 歳から 14 年独居老人の扱いはそんなものでしょうか？2018 年に難病が見つかり 10 年後に車イスと医師からは言われており、いろいろと不安でいっぱいです。近所に辻堂東サポートセンターがあるが、行ったこともセンターの方に来てもらったこともない。私に存在感がないのでしょうか？
- 自分自身に不安、希望があっても、交流の場が遠かったり、体調が急に悪くなるなど不安で行動できないと考えてしまう。
- 高齢者の食生活について施設の実態調査をしてほしい。金額に見合う内容であるか、栄養面など不安です。
- 日頃、介護保険等納めているので、老後の生活が安心して行けるよう、もっと明るい未来生活が個々に思えるようにして欲しい。将来の心配が日々気になる生活をなくし、明るく見渡せるように元気づけて、1人1人がにこやかになる社会を希望します。
- 老老介護問題の解決方法を知りたい。介護を担当している肉親に負担がかからない様な自宅介護のあり方を教えて下さい。自分自身もトイレに自分で歩いて行けなくなったら施設に入所しないと自宅では生活不可能なのかしらとある程度、自宅生活の限介を己で線をひいている自分がいます。これは正解でしょうか。自分に合う入所施設を選択するのがむずかしそう、その基準はありますか。入所しても施設費用がどの位か寿命もあります不安だらけです。不安解消の講座を計画して下さい。乱筆乱文にてすいません。
- 不安に感じているが具体的な事はまだ考へていない。いざという時、家族との相談になると思います。
- 介護はやさしいものではありません。主人の親と同居して一人で介護をし(60才まで)それから私の親、今は足がおぼつかない主人を見守っている。地方からこの地に来た人は夫の親どころか自分の親も介護していない人が多い、介護は本当につらい、つらいと思いながら自分もこの高齢

第2章 調査結果の詳細

者になった。ようやくとことん自分で介護しなくてもいいんだと思うようになった。そして私は夫がいても一人が好き、どこまでも一人でいいんだと思って生きたい、娘がそばに来てくれたから少し安心したのかな。

- 頼れる人がいない 倒れたときや急病時にたすけを呼べない 身元保証人になってくれる人がいない入院・施設入所するときなど 入院・施設に入った時の金銭管理 死後の始末 弁護士などにたのむと高い 不安な毎日を過しています これらを解決する方法を教えてください 湘南台包括支援センターに行きましたが無いと言われました
- 自分も後期高齢者へなろうとしています。腰痛もちでありながら、交通誘導員として勤務していますが、70になって年に体に不具合を感じ、病院へ通う回数が増えてきました。死を迎えることには不安ありませんが、むしろ周囲に迷惑かけたくないという思いがあります。田舎に兄弟いますが、一人物なのでさあ、弱っていく自分をどのようにしようかと考える日々です。
- 20年以上前ですが、主人が足の病気になる介護付き特別有料ホームに行きましたが、手のかかる方は少人数しか取れませんとの事で空いた部屋もありながらだめで、ヘルパーさん達に朝・夕来て頂き家で最後まで1人で見て来ましたが…。私がこれから1年1年すぎて年令的にどうなるのか不安でいますので、多くの方が入所出来る福祉の場所を望む。
- 現在、身体が動き、車輛を使用した仕事もしているので、未だ認知等について現実感が有りません。が体調を壊した時の事を考えると不安を感じます。
- 今現在、不自由不便さが無い状態であるが、今後高齢となった場合必ず直面する事であるので、心配事や不安な気持ちは多いにあります。1人にならない様に地域社会の役割が重要であると考えます。
- 現在は何とか一人暮らし出来ていますが、いつ健康を害するか歩けなくなったら…など不安の毎日ですが、先のことはわからないと割り切り、唯介護など福祉を信じ心穏やかに日々を楽しく暮らすようにしています。
- 藤沢でも最も高齢化が高いライフタウン。まだバスの便も良く助かってはいますが、自分の身体が不自由になって買い物、病院に行く事が出来なくなったら不安でしかたがありません！介護タクシーの値段も高く、ビックリです。
- この暮らしやすい「藤沢」が好きです。その理由を考えてみました。(順不同)(1) おおらかでゆとりのある人が多い。(2) 都市のサイズがちょうどいい。(3) ほぼ何でも手に入る。銀行も多い。(4) 安全(5) 知的レベルも高い。(6) 市を中心としていろいろな取り組みに積極的。etc. こんな藤沢にずっと住めて幸せです。介護が必要になっても安心して過ごせそうな気がします。よろしくお願いします。
- 安心して暮らせる様に勤めてほしい。
- 安心して暮らせる藤沢市でありたい。
- 現在生活はぎりぎり自分でできていますが、むずかしくなる事が近い将来くるであろうと思っていますが、自分がどの様になるのか？不安があります。
- 我が家の家族構が原因で起こりうる諸問題を提起したいと思います。夫(77才)1年前から帯状疱疹→現在神経痛 すべり症(半年前から)妻(75才)骨関節痛(軽い)脊椎管狭窄症(軽い)息子(50才)20才から精神障害発痛、3才に医師が発達障害と認定自閉症スペクトラム、ADHD、聴覚過敏、チック。ここ、2年で特に父親の身体の具合が悪くなり、息子の将来への不安が強くなっている。高齢者保健福祉施設と精神障害者福祉施設との横の連携が必要。災害時一避難所での生活一息子は特に聴覚過敏がひどく他人との避難生活は困難
- 人権が守られ、誰もが安心して老後を暮らせる社会であってほしい。老人が世の中にとって有益でない存在として思われる社会は、若い人、子供にとっても生きにくい世界に違いないと思うから。

- 高齢者になると、人に頼りがちになるのではと思います。私も仲間入りするのですが、頼れる人、施設などが分かりやすかったら安心できるかなと思います。
- 高齢になると身体の衰え、認知機能の障害、生活困窮、孤独といった不安ばかりが先立ってしまうのは残念。最後まで希望を失わず、前向きに生きてゆけるための社会保障の充実は全ての年代の幸福度にも大きく影響する。教育により温かい目が増えて欲しい。施設などハード面の充実も必要だが、人との繋がりが何より生きる力になる。
- 2027年迄に金融、国の財政、貨幣経済のグレートリセットが起きたその後の、藤沢市の生活保護制度が維持出来るかが心配。
- アンケートに記入しながら…。今日現在は健康で、自転車に乗り（ママチャリです）市役所にも行ったりしていますが、近い将来の日々を考えると気が重くなります。町会を通して配付される市の広報紙を楽しみにしている日々です。特別養護老人ホームのような入所施設の拡充が近い将来必要性が増すと考えます。（市民が市内にある施設で生活できる事）遠い昔、老人施設に関係していた事もあり思いもたしてはいますが…。遅くなり申し訳ありません。
- 目下体の動きに関し普段の生活に支障をきたすような不自由は感じない 勿論 10年前に比べ格段に劣化してきたことは自認 齢をとるにつれて徐々に影が薄れ透明人間となって舞台から退場できれば良いが実際は病気怪我などが引き金となりカタストロフィに陥るのが現実突然明日我が身に異変が… 覚悟はしているが何も対策していない自分です アンケートで大分勉強になりました
- 養護施設等で働く人の給料が昇給できるように、公共の施設を増やしてほしい。
- この地区⇔藤沢駅（往復バス代 480）かかる為、バス車中は全く混雑しない。家の中に引きこもっている姿が想像できる。その内に病気になるのでは…と危惧しています。

【認知症について】

- 新しい認知症観について、初期の段階なら可能だが、中期以降に入ると、なかなかむずかしいのでは、このところ、認知症介護によって、痛ましい事件が増えていますが1人暮らし、老老介護、高齢親子での1対1の介護など一般の高齢者の介護に比べ、心身共に非常に過酷です。そのような状況の人を、いかに早く、見つけ出すことができるのかを、考えるのは重要ではないかと思えます。そしてサポートにつなげる。成年後見制度は、現実的ではない。主に親子間での財産・管理が、問題となっているようですが、同一世帯で、生計を立てている夫婦がお互いの預貯金などを引き出せなくなるような制度では、生活が成り立たなくなると思えます。
- 本人は重度のアルツハイマー型認知症で回答出来ないので少しだけの記入（家族）となりました。今年何もわからなくなり小規模多機能の使用開始しました。認知症になって1～2年は家でひとりで自由に住ごさせて来ました。帰宅した時は家の中のかたづけが大変でしたが、本人には無理にデイサービスに行かなくても良かったと思ってます。近所の助けには迷子の時はたすかりました。ご近所さんの助けはほしいと思います。家族としては迷わくかけてすみませんという気持ちもありますが。
- 私自身は健康で自立した生活をしてはいますが、隣家に住む一人ぐらしの従妹が認知症でデイサービス、短期入所、訪問看護等のサービスを利用しています（要介護3）。朝と夜の食事、洗濯、通院同伴等の介護をしています。早朝と夕～夜のサポートの制度があるといいと思っています。
- 現在、主人が認知症でグループホームに入所中です。費用が一ヶ月 30万少々かかり年金だけでは足りなく子供達2人に毎月援助してもらっています。この先いつまで続くのか経済的に非常に不安です。せめて「おむつ代」だけでも補助していただけると助かるのですが、生活もきりつめているのですが今後の生活が心配です。

第2章 調査結果の詳細

- 介護予防を心がけ、仕事をして、自立生活を送っているが家族（子供達又はその家族）に負担をかけたくないので認知症になって自立した生活が送れなくなったら、公共の施設又は地域包括ケアセンターに本人が相談できる場を提供して頂きたい。自分の人生は（最後）地域の介護のプロに頼みたい。自分の人生は自分で決めたい。宜しくお願い致します。
- 認知症や要介護状態になることに対し、老化であるということを誰もが理解し認め合う社会を作っていてほしいと思っています。
- 認知症について福祉等又はそういう方にお会いした事がないので自分はあまり良くわからない？これからは講座や講演会などに出席したいと考えています。（介護等を含めて…）今後共ご指導の程よろしくお願い申し上げます。いつかお世話になる時がくるでしょう。その時はよろしくお願い致します。
- 介護をされている方にも言いたいのですが、身内の方が認知症でなくても日頃から困りの方とコミュニケーションをとり身内のはじなど思わずにしてほしい。認知症を身内の方はみとめたくないと思うし、認知症の方も自分の事もわからなくなり、わからない事を人に合わせて会話するので困りの方々にはわからないと思うけど日頃から見ている少の変化もわかると思います。何事においても声に出さないとだめだと思えます。行政の方々もたいへんでしょうけど少しの声も聞いてほしいとおもいます
- 認知症対策
- 『認知症の予防・抑制へ取レン』全ての施策は認知症の予防・抑制へ取レンすべき。ひいては、健康寿命の延長→福祉予算、介護、医療費削減へ。『啓蒙活動の継続』認知症の予防・抑制には生きがい、社会参画、家族を含めた人間関係が3本柱とされている。このことの啓蒙を高年齢者予備軍へも含めてあらゆる機会をとらえてしつこく継続することを提言します。付言：本アンケートへの協力が認知症予防効果、深謀遠慮に敬服
- 問 50－（3）一人暮らし高齢者の支援…特に一人暮らし高齢者は、話し相手がなくて認知症になる可能性が高くなると思えますので、特に問 50－（9）はできるだけ早く実現してほしい。
- 特に問 36 認知症観については全部が必要な事のようにも感じられました。
- 未だ介護の必要な年齢ではないけれど、今後遺伝的にも認知症の可能性あるので、認知症予防のレクチャーを受けてみたいです。
- 父母たちの晩年をふりかえりますと、多少認知機能がおちてきても日常の身辺処理や家事は案外こなせていたように思います。しかし、生活費や財産の管理、各種手続き、通院や入院の対応など知的作業を伴うものは難しく、その都度子ども（自分）が代行する形でした。このような子どもや家族が担っている役割を、公的機関でも担っていただくと安心して年を重ねられそうです。
- 夫の認知症が進まぬ様気持を強くもてる様心して過ごしたいと思えます。
- 認知症と口腔ケアの関連が大きいようなのでそれを広めて頂き、予防することも大切だと思えます。

【終活について】

- 高齢に伴い動けなくなる。その時になれば子どもの世話が必要になるが、昔のように子どもの支援が必要ですが、老々介護からやらないとならない。余裕がないと新聞ニュースのような事も出てくる。共倒れにならないように気を付けている。健康に注意し、お互いに思いやりをもって頑張っている。病院の世話にならない、元気に動けるよう努め、福祉施策にならずコロリと余生を過ごせるようにと思っている。
- 今回のアンケート目的とは別となりますが、合葬納骨壇の増枠を強く希望します。藤沢市の優れたシステムだと感じていますが、現状枠は少なすぎる（満枠）のでは？私のような後継者のいない高齢者にとっては希望を持って生きることとは別に重要なことです。現状、応募機会を待って

いますが「空き」が出る気配が無く、終活に希望が持てる枠を強くお願いします。

- 横須賀市の終活登録の様な、電話1本かけるだけでできる申請（手軽に登録できる）方法を、藤沢市でも是非おねがいしたいです。民間の終活支援は、不必要なサービスが多く費用も高くなります。自分の死後、迷惑が多岐に及ばない様に生前にきちんとしておきたいと考えています。信頼できる公共（藤沢市）での登録管理を実現して下さい。宜しくおねがい致します。
- 終活したいがお金も無いので出来ない。逆にゴミばかり溜まってしまいます。一人では大きい物はこべないので、そのような手伝いをしてもらえれば助かります。
- 家族構成別に最後を見据えた平均的準備の内容と必要な大まかな金額を示した資料が欲しい。（終活について）
- 現在は健康に生活できているので深く考えていないが将来の事を考えてみると、元気な時に自分の進む道を決めておく仕組があると安心できる。こまっから相談では気力・体力など衰えていて自分の希望が正しく伝わるか不安に思う。元気なときに将来の事を決めておきたい。
- あえて、高齢者にかぎってのことではなくすべての人が今住んでいるところで安心して人生をおえることができることが大事なことだと考え同封しました。ぜひ主旨をおくみとり下さり少しでも前へ進めて下さい。よろしくお願いします。
- 一人暮らしになった場合の将来が不安です。横須賀市の様な高齢者（単身）への公的支援制度の創設を望みます。（特に死後の事務に関する事）
- 60年前、50年後の世界について作文を書く理科の授業がありました。原稿用紙を真黒に塗りつぶした者がいたと聞いたことがある。皆明るい未来を抽いたが、今5年先が見えているだろうか、終活を急ぎ自らにピリオドを打つことが出来るかその手伝いを行政にゆだねお願いすることは甘えなのかもしれない。皆様の御苦勞に感謝します。頑張ってください。「感謝の言葉」
- 横須賀市で取扱っている「終活登録」の施策を藤沢市でも支援してほしい。有償でも構わない。民間業者でも取扱い例は知っているが、トラブル事例も多く聞くので、今一つ相談に行く事に戸惑う。
- 意見要望という少し外れてしまうかもしれませんが、個人的な事情も含めて高齢者施策についての気持ちを伝えさせていただきます。私は現在79才です。84才の夫は現在高齢者療養院に入院していて、自宅に帰って来ることはもうありません。子供がいませんので元気なうちから先々のことを話し合ってきました。「どちらか先に逝って一人残った時は家を処分して高齢者施設に入る」というのがお互いの間の取り決めでした。ほぼ間違いなく夫を先に見送った後、私が残ることとなります。その時に自分は夫との約束の“高齢者施設に入所”ということは今のところ望んではいません。“長期の入院入所等で経済的にそれほどのゆとりがない”というのが主な理由ですがそれ以上に自分は今の地域環境や住まいでの生活をできれば全うしたいという気持ちが強くあります。今はまだ介護保険のお世話になることはありませんが、今後もし出来る限り自立してこの土地、この住まいで人生を全うできたらと希っています。因ケに自分に関してはNPO法人の生前契約を済ませています。
- 終身サポート事業（公、民間）についても知りたい。
- 自分の死後の手続きなどもどこかに委託できないものかと考えています。公的機関ならばとても安心できます。また過剰な医療は不用です。たとえば75歳以上になると、老人ケアセンターなどで医療・福祉・介護を一括してプランニングしてサポートするシステムができるとよいと考えています。本人まじえてプランニングしていく中で、人生会議もできて行くのではと思います。どれも厚労省管轄なので何とか新制度を整えてもらえないかと願っています。藤沢市に住んで44年になります。とても住みやすく市のサービスも親切でこの先もずっと住み続けたいと願っています。

第2章 調査結果の詳細

- 自分自身の最後については、家族（息子と娘たち）に託したいが、先の話になるので見通せない。三人とも現在は市外で生活しており、転勤なども考えられるため、藤沢市に戻かどうかも予測がつかない。
- 高齢者終身サポート事業に市もかかわってもらいたい。

【街づくりについて】

- 高齢者が安心して快適に生活できる街づくりに現在以上取り組んでもらいたい
- 高齢者のみならず多世代が住みやすい街づくりをお願いします。
- 主旨から外れるかもしれないが、世間で言われている高齢者をターゲットにした犯罪を防止するためには、住宅地に防犯カメラを設置すべきだと思う。各戸で個人が設置すべきという考え方もあるがエリア防犯を進めるためには電信柱等利用したらどうか。
- 高齢者が増えていく時代藤沢市に住んでいく私としては住みごこちの良い街であってほしいです。
- 高齢者の安全を考えるならば、ポコポコの歩道整備を早急にすべき。草はぼうぼうでひどい状態だ。雑草のせいで歩道のヒビ割れがひどい！！つまり転倒したら高齢者はそれでおしまいですよ。歩道整備をないがしろにする藤沢市…ケガしたら訴えますよ！！
- 美術館、コンサートホール、図書館増設して欲しいです。藤沢には文化的な物が少ないです。その他は満足して暮しています。
- 江の電鵜沼駅のまわりには店（小さくてもスーパーの様な）がないので歩いての買物に不便です。店が出来ればいいと思っています。
- 明治地区、辻堂地には施策、サービスが少なすぎると思う。図書館、お茶を飲、食事ができる所がほしい。出歩いていて、ひと休みしたくても休む場所がないしベンチなど、水を飲む場所さえない。公衆電話も、簡単なものがほしい。公園とトイレも増やしてほしい。羽鳥山などを利用した、歩きコースがほしい。1人でも歩けるコースがほしい。（お金のかかるぜいたくなものでなくてもいいのです。）
- 近在にスーパーの店舗がないので不便である。
- 私は南仲通り付近に住んでますがお願いがあります。さいか屋前より信号までの道路敷レンガ（？）はまあいいのですが信号を渡りダイエーの方へ行くと石畳みの道路でデコボコし足が悪くキャスター（歩行介助）などを使って歩行してますが車輪がスムーズに動けなく疲れ外出がおっくうになります。石畳みの道路をさいか屋前の様な敷レンガ（石）車輪がスムーズに動ける様な道に（今の石畳の石は方々でかけてます）してもらいたいです。1区画にベンチが1つあればと願望してます（長く歩けないので休み、休み買物に行ってます）
- 現在 87 才で駅近くのスーパー等で買物を一日おきに自転車で行っています。元気ですが、人間はだれでもいづれ動けなくなると思うのでその時どうしようかいつも考えています。車椅子にのった方は、ほとんどの方が下を向いてつらそうにしています。私は好きな色の青等の自動車椅子を使って楽しくのりたと思っています。しかし現在の藤沢市の歩道は坂が多く、道幅もせまく、とても安全とは言えません。（現実には、十字路交差点で車椅子の方がころんでいるのを見ました）いつときも早く、道路の幅を広げ段差がない工事をして頂きたくお願い致します。ちなみに13年前に私は藤沢市に移転してきましたが前の住所の東大和市（東京都）は、今から15年前には、駅からの道が、2倍の幅に変わり車椅子も安全になりました。
- 湘南ライフタウンから藤沢駅北口までバスで1時間近くかかる理由は、白旗交差点の渋滞です。以前にオンブズマンにも提案した湘南高校前から白旗交差点までを2車線に工事し渋滞を解消して欲しいです。

- 市民会館を早く建て直し、芸術面での楽しみをふやしてほしい。鎌倉、茅ヶ崎は芸術館が立派です。
- 藤沢駅、南側の開発、東海道線の駅前にふさわしい魅力的な場所にしてほしい。藤沢駅近に、大型デパートがあると良い。(横浜高島屋位、買物、文化的(ギャラリー)など、見るだけでも行きたくなる様な店。)散歩にもなる。近隣の市からの集客にもなる。(今は小田急も、サイカヤも、ルミネも魅力なし)南口、北口の商店街も楽しくない。鎌倉芸術館の様な音楽、美術のギャラリーなどの施設が新しく出来ると良い。
- 徒歩圏の(1~5分)スーパー、コンビニ

【医療体制について】

- 街に私のような高齢者が増えてまいりました。その対応に医療関係者もスーパーにも御苦労をおかけしております。益々人材が必要になります。その育成に…よろしくお願い致します。やさしく声をかけて下さる方、手を差しのべて下さる方、いつも感謝です。
- 訪問診療を充実化し、病院に通院する機会を減らすことで、高齢者の負担をなくし、充実した生活を強化して欲しい。⇒訪問診療に強化した病院が少ないことが現状と思える。⇒家族の意見
- 高度の医療を提供する市民病院の使用ですが、町のクリニックの紹介状がないと受付てくれません。町のクリニックにお願いすることが難しい。これを何とかして頂きたい。何のための市民病院なのか分からない。
- 出来る事は、出来るだけ自分でやるので自宅で死にたいです。看取り医の制度を確立して欲しいです。
- 延命だけを考えない高齢者医療も考えてほしい。
- 70歳以上の脳、循環器、がん健診の充実
- 自宅で最後を迎えたいので訪問看護の充実
- 自宅で最期を迎えるため、医療が食事その他のあらゆるサービスを充実させてほしい。
- コロナ以降、クリニック(とくに内科)が予約制となり急な体調不良などに対応してくれる医療体制が希薄になった気がします

【デジタルについて】

- 自分も高齢者になり、保健福祉がありがたく考えております。若い方々の負担増に心苦しく思っています。しかしあまりにもマスコミなどの報道が高齢者がジャマ者のように報道しているように思えます。それに自分の勉強不足はもちろんありますが、あくまで自身の見解ではありますが、パソコン・タブレット・スマートフォン等ついていけない事も多々あります。特にスマートフォン等は「トリセツ」もなく、コンビニに行けばPayPay、ファミレスに行けばタブレットで注文。自分としてはなんとなく生き苦しい世の中になってます。福祉施策にはあまり関係ありませんが、今以上にできれば講座等を開設して、聞いて恥ずかしい、聞けなかった事を勉強させていただければと思います。
- 最近はスーパーはセルフレジ、外食はタッチパネルでの注文です。私は大丈夫ですが、主人は以前は病院の帰りや買い物あと1人でお昼は外で食べて来ていました。ところが近頃はどこもタッチパネルでの注文で慣れないためどうしていいかわらず、まちがって押してしまったりの失敗もあり外食は1人ではほとんどしません。ファミレス、回転寿司、牛丼など、このように高齢者は今まであたりまえに行っていたお店も足が遠のいています。タッチパネルを使いこなせないため行動範囲も狭くなり、楽しみも少なくなっています。もっと老人にやさしい心づかいのある、以前のように注文できるお店があればと願っております。

第2章 調査結果の詳細

- 情報を手軽に入手できるひと(インターネットなど)と出来ない人の差が出来るべきではないとおもう。基本的な知識がないと調べたり聞いたり出来ない。相談することが出来る機関を周知することも大切だとおもいます。地域包括支援センターを知らない人がいます。
- デジタル化が、急速に進む一方で、高齢者は中々、ついていけない事、たとえば、一人でランチに行きたいと思っても、お店により注文しかたがちがうので、躊躇してしまう。友と一緒にの時は、大丈夫ですが、1人でも行きたい時がある。デジタル化に慣れなく困ることが多い。
- スマホに精通しないと時代に取り残され、金銭的及び時間的に大きな不利益が生じる
- 地域や市民センター市民の家の使用予約が複雑で時間がかかり過ぎる。
- デジタルデバイド対策(防犯、防災、人との交流)
- スマホ教室に通いたいです。スマホ教室をもっと多く開いて頂きたいです。
- 最近不安になるのは、この先すべてが、スマホなどで、予約、買い物、お金の清算、支払いが行われるようになることが不安です。デジタルデバイドという言葉がこのアンケートではじめて知りましたが、知っている人は助かって、知らない人は恩恵を受けることのできないような情報の片寄りがこれからの私にとって問題になりそうです。

【独居高齢者について】

- 一人ぐらしの対応に努力して欲しい
- 高齢者が孤独を感じるような方法、日々の生活が楽しいと思えるような取り組みがあったらいいのでは。近所での声かけも大切かな。
- 孤独老人対策をもっと充実させて欲しい。
- 独居老人対策
- 今後、一層独居老人への配慮があると嬉しいです。
- 一人暮らしの方の声掛けは必要だと思う
- 一番心配なことはひとり暮らしと言うことです。今は元気にはしていますが、何かあった時に誰に連絡をしたら良いか、横浜と埼玉には姉と妹が居ますが仕事をしているので急なことは言えません。今まであまり考えてなかったことが、仕事をやめて何もしていないから色々と考えてしまいます。今元気があるうちに高齢者福祉のことをもう少し知りたいと思いました。
- 身内のいない独居で生活困きゆうの方は誰にも相談せず節約のため外出や買い物をひかえていると思います。体調が思わしくなくても受診せず、ぎりぎりまでがまんして救急搬送されても、身元引き受け人がいなかったり支払いを気にして、入院せず、自宅に戻ることにしたりすると思います。行政は、本人から相談にくるのを待つのではなく行政のほうから、積極的にどこにどんな独居の方がいるのかその人には、身内の方がいるのか、いないのか、支援を必要としているのか、いないのか、かかわって行ってほしいと思います。

【就労について】

- 老人も簡単な流れ作業みたいな仕事があればよいと思う。少しの給料でも受けられるのはうれしいと思う。
- 現在はまだ収入もあり、年金とあわせて生活できていますが、年金だけではとても無理です。高齢者がもっと広く働ける場所を増やしてほしいと思います。ホームに入所したくても、高いのでムリです 体力もおとろえてきますし不安です
- 現在介護職の仕事で生計しています。母子家庭でしたので国民年金が現在1月25,000円程です。生活保護時や未納時等もあり現状金額です。28年勤務した所は個人企業の為、社会保険ではなか

ったので今に至っています。介護福祉士の資格がある為、現在職についていますが、今後の事を考えると不安はあります。子供達が近くに居る為、最終的には援助してもらえとは思いますが、働く力が存在する間は職についていたいと思うのでやはり高齢者でも職につける環境を広げてもらいたいです。多少でも収入につながれば色々な部分で活力になります。

- 現在電気工事職人として現場に出ています。若い時の60~70%位しか動けないですが、必要とされている間は、働こうと思っています。今の所体も特に不都合な所は、ありません。(高血圧で月1回は通院)
- 高齢者でも働きたい人はいます。パートやアルバイトの求人を探しても、年齢の制限があり応募できないことが多いと思います。制限をなくすようにはできないものかと思います。
- 高齢者を支えられる側ではなく、意欲的に取り組ませるため、就労、ボランティア活動等を具体的に提示する。実際にはむずかしいですよ。

【自治会・町内会・民生委員について】

- 自治会に入っていない。引っ越しをしてきた二年前にちらっと防災マップを見たが、何々自治会と書いてあったような気がする。自治会に入っていない私達はどこへ？ペットはいっしょに行ける？
- !! 高齢者だけの自治会の有り方について!! 地域の自治会の役員を引き受けて長年(20年)やっていますが世代交代が出来なくて!! 存続の危機が危ぶまれています…?何か良い方法があれば。役員を引き受ける人がいない。自治会に入会しない世帯が増えている。自治会館が無い。他にも問題が有ると思われませんが、若い世帯は自治会はいらないとか、会費が高いとか(年2,500円)
- これから労働力人口が減少するので、市も施策に頭をかかえることと思います。単身世帯や高齢夫婦、身寄のない高齢者など福祉関係者だけでは目が届かなくなるのではないのでしょうか。そこでたとえば、藤沢市独自に(仮称)子ども民生委員活動(制度)をつくって、高齢者訪問などをしてみたらどうでしょう。試行的に学校のモデルを指定し、中2とか中1とかを対象にやってみるとか(あくまで思いつきなのですが)。
- 現在民生委員、児童委員をしているため未だ大丈夫かな?良く書くのがわからずすいません。
- 一人暮らしになると、自治会や町内に入らない人が増えてきますが(何らかの活動が負担になる)、そういう人たちにこそ、活動が負担にならないように、入っていただけるよう加入促進を行っていただきたい。

【住まいについて】

- 高齢者が保証人いなくても住める場所(アパート)などを紹介してほしい
- 1人暮らしの高齢者の公営住宅を増やしてほしい。
- 空き家実家の始末に補助金と不当な請求のない事業者を紹介してほしい。迷いから処分へ一歩踏み出すきっかけになる。権利擁護支援サービスについては、法定後見制度と任意後見制度しか知りませんでした。この機会にその他を知り、特に身元保証サービスとふじさわあんしんセンターを知りとても安心出来ました
- 我家は70才の主人と69才の私と36才の長男の3人家族です。今は賃貸マンションに暮していますが、市営住宅に入居を希望していますが、入居できないようです。長男がネックのようですが、長男は適応障害で、ずっと薬を飲んでいますが。今はおちついていますが、調子が悪くなると働きに行けなくなります。今は派遣社員という立場で働いています。できれば、来年中に引越したいのですが、どこにどうやって相談したら良いのでしょうか。

第2章 調査結果の詳細

【その他】

- 毎日一万歩以上歩いていますので余り認知症など考えたことはありませんので、余り良い答えが出来ませんでした。
- 安楽死制度の検討！！と情報公開！！
- 働いているが年金が減額されてしまう為、週5日→週4日に少なくした。疑問だらけです。2026年62万以上は減額？
- 歩行力は遅くなったが、出来るかぎりスーパーにも行き季節の野菜、果物も楽しみ、台所で調理することを楽しむ日々でありたいです。私の希望です。
- いつ迄も元気でいたいと思いますが、こればかりは今後、わからないので自分で努力して、頑張っ生活しています。近所に娘、孫、友人がいて助けてくれています。
- まだ高齢者という自覚があまり無いのでこれを期にいろいろ考えていこうと思います。
- まだ介護を受けたことないのでなるべく自分で出来ることはやって行きたいと思います。主人と2人で受けることがあるようになったらお世話になります
- 若者の未来を大切にしたい。
- 私も来年いよいよ80代をむかえ、人生100年と言われていますが、何と言っても元気に過ごしていかなければなりません！！気軽に福祉施設等に毎日、皆と顔をあわせて安く利用（食事とか）できれば十分です。
- 73歳の独り身の老人だが、週に2回ほど買い物行きこの物価高で家計簿など意味がないではないかとニュースで言っているしかし書いてしまう、これ意地かね 次に調理しよーワンパターンの食事それまではいいが、食器洗いが一番空しさを感じる。手伝いロボット有ったらいいなオシマイ
- 特にありませんが、今思いつくことはありません。
- 以上、宜しくお願い申し上げます。
- “車両はありますが、病院他はタクシーで行きます”
- 今でもあるのかもしれませんが生きていく上でたのしくなる様なお笑い（落語）、人を楽しくさせるプロの様な明るい人が教える講座、出来れば食品添加物が多くふくまれる食物より、自然のものを老人にも食べてもらえることを望みます。ありがとうございました。
- 色々あるけれど…高齢者となった今、何か要望があると働く世代への負担になるのかな？と心が重い
- 辻堂地区特に自分の居住する辻堂団地では、余り健康的にも経済的にも困ったりしている人は居ないので特に有りません。
- 最近やすらぎ荘を利用しています。桜の木々に囲まれてとてもリラックスできます。来春の桜の開花を楽しみにしている者です。
- 2022年10月31日、ペースメーカー挿入し障がい者等医療証を受けてます。週3日介護職で勤務してます。1ヶ月の年金9万程で生活苦のため、年齢的にパワハラ的な事も有り働きやすい職場とはいえません。
- この書類が届き記入しながら、ふと13年前に亡くなった両親の事を思い出しました。実際に包括支援センターや施設との交渉は姉でしたが、当時、特別養護老人ホームへの入居（二人一緒）がむずかしく苦勞していたのを覚えています。いろいろな方々に助けていただき入居することが出来、快適に過ごし全世を全うしました。自分のこととなると未だ決めかねることがありますが、対処していきたいと思います。

- 問3. お住いの地域。封筒には、遠藤地区となっているが、石川6丁目は六会地区と認識しています。
- 今後益々高齢者の増加の中で自立をうながすことが大事。何でもサポートではマンパワーが不足又、税金を当てにすることは、お互いつらいものがある自分、自立、が生活の中でとても幸せなことを折りにふれアピールして行くことは全体必要自分の為、社会の為にもお互いの尊重、本人の為へと誘導することは欠かせない。少しでも長く自立していれる様努力したいと考えています。
- 年をとってみないと分からない現実に抗って未知の加齢にむかっています。平穩無事を祈って毎日感謝を忘れず笑って楽しく一日一日大切に生きていたいと思っています。77才 2025年11月27日。11月25日夕刊朝日新聞に魅力度ランク気にしてる？という記事が一面に神奈川県が4位に。有り難かったです。
- 自身も含め、高齢者が増えてきます。今後共、よろしくをお願いします。
- 時間を得たらパナソニックショップ湘南藤沢パナカフェを訪問したいと思っています。歩いて10分で行けます。
- 今は、まだ自分で出来るから先の事は、まだわかりません。いつれ、お世話になる時が来ると思っています。がんばります今は
- よき納税者として、人生を全うするまで尊重してほしい。…幸いにも今のところ、支援を受けることはほとんどありませんが、支援を必要な方は多数存在します。そのための税金の拠出は、可能な限り行いたいと思います。「出せるものが出す」ということですね！
- 自由業で今まで通り仕事しているため、高齢者としての実感がないので、今回の調査にお役に立てたか心配です。
- 後期高齢者の抜本的医療費改革として、「安楽死の条件緩和」を希望します。ご自分の安楽死に関し、生前に本人希望・意思を確認することを前提に実施してはどうか。本人・家族の幸せと医療費の大幅な削減になると思う。例えば、①回復見込み無し寝たきり病②激しい苦痛が長期継続する病③延命治療の為に高額な医療費が必要な病などが対象。
- 増える高齢者に優しい世の中であって欲しい。
- 特にありません。藤沢市は高齢者が暮らしやすい街だと思います。
- 未だ高齢者という自覚が少なく、自分で出来る意識を持っていないと余計に早く惚けるという恐れがある。
- 真剣に考えたことがなくて。
- 県、市のレベルでなく、国が防衛費を削って福祉にまわせば、解決するのにね！
- 気軽に見学出来る。
- 現在老障介護中。40年ほど子どもの介護を続けていて自分の事には意識が向きません。夫を亡くし私ひとりになり体力面で自信がなくなりました。ゆっくりレスパイトしたいです。最終的に最期は有料老人ホーム入居だと思います。(義母は年金で賄える施設を探した結果、縁もゆかりもない2時間も掛かる場所へ行きました。) 藤沢市には富裕層しか入れない施設ばかりです。親族や友人がいる藤沢市で最期を迎えるのが私の夢です。
- ①83才にて歯が“ダメ”になり、それまで保険で直しておりました。今回直したら歯全体が“ダメ”になり、バネが使用出来なくなり前は、1万円以下で直せましたが今回は保険が使えない歯になり、50万円かかりました。(内、消ヒ税、5万円かかった)ので、大変お金がかかりました(年金9万円なので~)、今の用な時は消ヒ税はすくない年金者には、消ヒ税は取らなくする事は出来ないでしょうか？(5万円は大変に厳しかったです~)(でも今は良かんて食べれています) 国も考えてもらいたく思いました。(今まで保険で直してました)ので~(50万円は大変で

第2章 調査結果の詳細

した)娘達に借ました。②バスの利用についてですが、藤沢市は横浜市と“ちがい”利用パスが良くないと思っています。神奈中に聞いた所、“かなちゃんパスは“3ヶ月で1万5,000円とのことです、すこし高すぎるのでは。自分達は利用できなく思いました。マッサージ券はあまり利用しないので、そのかわりにバス利用券を作ってもらいたく思ます。藤沢駅まで往復600円かかります。(2人なので1,200円です)バスの利用券を考えて下さい。お願いします。(82才女房・84才の私)です。

- 市民になって十数年立ちますけど、地元のごことは、よくわかりません。今も自分は元気なほうなのでパートで働いています。東京方面から来た人は地元の人とギャップを感じます。地元の知り合いもいません。地元の人達とコミュニケーションとるのは難しと、思っています。60、65、70歳5歳きざみ、3歳きざみで集まることあるのでしょうか？
- 20年近く前になりますか？思い起こせば「住民基本台帳カード」なるものを作りましたよね。一度も使った憶えがないうちに使用期限がきて、その後はどうするという話もないまま忘れられた様な気がします。今回の「マイナンバーカード」は最初から任意ということでしたので、作りませんでした。高齢ですので、諸々の決まりごとに対応するのも難しく、個人情報の流れなど考えると、これで良かったと思っています。今迄の健康保険のように期限毎に役所から送られてくるので、充分生活できていますので…今回、資格確認書を送っていただき、今迄通り通院が来ています。ありがとうございました。
- 高齢者保健福祉の件ではないのですが、インフルエンザ、コロナ今も患者が多くなっています。病院(開業医含む)はキチンと高熱、咳等の患者は他の患者さんと別に対応してますが、薬局へ薬とりに行くと皆一緒の場所で待ってます。高齢者の私にとってはとても心配な事です。
- 今の生活は身体全て充実していて幸です。今後10年は90才迄健康に気を付けて車の運転等、自立した生活をしたと思っています。
- 「人間の尊厳」私も人様を大事に思いたいですし、人様からも大事に思われたいです。
- 有難いことにまだ介護支援を受ける状況ではなく、地域の皆様との地域活動は体操、グランドゴルフなども楽しめ、又写真教室にも通える状況にあり感謝しております。人との出会うチャンスがあることが我々には元気のもとと思います。これからも励ましあいながら、いざとなれば声をかけあいながら助け合っていきたいと思っています。今回のアンケート：様々考えさせられるアンケートでした。解答が難しいところもあり、指示通りでないところもあるかと思ひます。失礼いたしました。ちょっともりだくさんで苦勞しました。
- 藤沢市役所 福祉部 高齢者支援課 御中「2025年度高齢者の保健・福祉に関するアンケート」を受領いたしました。補足として下記について追記させていただきます。高齢者として確かに不便・不都合を感じる事が多々ございますが、どこに、どなたに、このようなことをお伝えし、ご理解及び対策をお願いできるのかわからずにおりました。1.交通機関に関する不都合・不便：江ノ電を利用いたしておりますが、住民の足であった江ノ電が今では観光客のためのものになってしまったように感じます。特にお盆、GW、年末年始などは混雑が激しく、買い物に行くときも不便を感じております。真夏の猛暑の中でも藤沢駅の外にまでつながる長い列での順番待ちでは買った食材の腐敗(冷凍品などが溶けるなど)、思い荷物を立ったまま並んで順番待ちをする、乗れたとしても座れない、降りるときも大声で「降ります」と叫んでもどいてくれないなど、困り果てる事が多々ございます。住民優先車両などをお願いをしてみました。「鎌倉駅で試験的にやっている、その結果を見てから藤沢駅でも実施検討」との返事しかありません。江ノ電はすでに「回数券」を廃止しています。本数も減り、年金暮らしとしては残念でしかありません。バスは、というところにも運賃が高くなりすぎています(神奈中バスとの比較ですが)。シニアパスや回数券の再開をご検討いただければと思います。2.買い物に関する不都合・不便：車もありませんし、自転車もありませんので、スーパーでの買い物もバスや電車を使わなければ難しいで

す（私は頑張って歩きますが、姉は電車に乗るので苦労をしております）。大型スーパーなどでの「配達料」をもう少しお安くしていただければ非常に助かります。3. 自転車のマナーの悪さ：歩行者感覚で自転車に乗られる方が多すぎます。道路のコーナーミラーなどは一切見ないで歩行者がいるのに飛び出します。歩行者優先というルールは一切守っておられません。横断歩道でも車が赤信号で止まっているのに自転車は平気で信号無視をして、車の陰から飛び出し、数回引かれそうになりました。また他のご高齢者は後ろからあたかも「その退け、自転車の邪魔だ」と言わんばかりにチリンチリンとベルを鳴らしてすれすれのところを通ります。一般の方でもご自分のお身体の幅をご理解されておられないようで、突き出た肘や膝がぶつかることも多々ございます。ご高齢者であろうが、子供が乗っているなど関係なく「歩道・遊歩道」は歩行者優先をお願いしたいです。暗くなってもライトをつけない子供の自転車も危険ですし、子供を高齢者はヘルメット着用をお願いではあくまでも「お願い」なのでいうことを聞かない方々が多いです。またスマホの「ながら自転車」もいまだに多いです。親がやっているから子供もやっています。危険です。警察もきりがいいから、人材不足などの理由でマナーを守っていない方々に注意することは無理に近いかと思いますが「危ないですよ！」を一般人が言っても無視か「危くない！」と言いつけられるだけです。これも高齢者にとっては非常に危険なのでなんとか改善方法を見つけていただければと思います。4. ゴミ・町内会の回覧が来ました、インバウンドの人たちのゴミに関するご協力をいただくためのポスターを募集している、と。インバウンドの方々にゴミを持ったまま観光をさせるのですか？電車にのって持って帰れをいうのでしょうか。確かにコロナの時から駅、公園などからゴミ箱が消えました。それにゴミ袋が有料化してから家庭ごみを町のゴミ箱に捨てる方々も増えました。街中にゴミ箱が無いと不便な思いをする観光客（国内からも含めて）が多いと思いますし、ポイ捨てされると腹立たしく思います。家庭ごみを捨てた場合の罰則をつけて、しばらくは監視するなど家庭ごみの持ち込みを防止し、観光客用にゴミ箱を復帰させるのはいかがでしょうか。費用は民泊、観光客からの収益が多いところにご負担いただく等ご検討いただくのはいかがでしょうか。単に「ゴミを捨てないで」といったポスターでは分けわからずご協力いただきにくいのではと思います。長くダラダラとなってしまいましたが、このような機会を有難うございました。

- 宮原にイスラム教モスクが建設され、教徒が徒党を組み、治安がおびやかされて高齢者が被害に遭うことがないように地域環境の維持に目を向けて頂きたい。高齢者のみならず児童・若い女性らが目の前で性被害に合うような地域だけにはなって欲しくありません。安心して高齢者福祉施設も使えなくなります。“巨大イスラム教モスク建設”の差し止め！！を希望します。藤沢市内にモスクは要りません。
- 娘夫婦が親を心配して実家に顔を見せようと自家用車で寄ってきてくれてありがたいと思っております。しかし家の前にちょっと車を止めておいて家の中で話したり、時には昼食をしていたりすると町内をまわっている駐車違反パトロールの車に捉えられたり、捉え損ねられたり何度もそういう目に合いました。子供が親の家に来ていろいろ心配してくれているので違反金をとったりしないで何時間までは0.Kとかもう少し緩やかにしてもらえませんか？せっかく子供が老親を見舞っているのに水の泡です。届けると0.Kとか何か方法はないものかお伺い致します。
- 各種の情報を知れば福祉に対して行政の頑張りがよくわかってきました。ただそれらを利用するにはお金のかかることで、出来るかぎり自力で生涯をとじたいと努力しています。
- 高市に総理が変わって政府も行政もなにかと年寄りに金銭的負担をさせる傾向があるのは許せない。対処療法しか考えておらず短絡的だ。国や地域の生産性を上げ日本人の質を高める根本的な政策を考えるべき。
- お陰様で日常生活は今の所普通に過ごせると思い感謝しております。両親の介護が長く大変ではありましたが、経済的には恵まれている方だったと思っており、精神的な部分が大変でした。姉

第2章 調査結果の詳細

等、身内に相談出来た事がとても助かりました。話を親身に聞いてもらえ、助言してくれる人がいる事は介護する人にとってはとても大事なことと思います。

- 老人が役に立つよう、乳幼小児の育ちにつきそえるように。
- 老人だが、老人あつかいは不要
- まわりも高齢者が多くなり、少しみかけないと気になりますが、まずは健康で食事・運動に心がけています。1月31日イオンがなくなり買物難民になるだけが心配です。78才
- 医療費。自己負担額を上げないでほしい。
- 7月に足の手術をしました。病院に通うのに何か支援があるかと市民センターに聞きに行きましたがなし、タクシーで通院してました。又買物も行かれなくて、友達にお願いしていましたが何かサポートしてもらえましたか？
- 家のテレビは私だけ字幕で何年も見てます。最近の歌謡曲は知らない。デジタルデバイトは出来ない。機器を持ってないパソコン、スマホ。手話を習いたいと思っているがビデオが映るテレビを購入したくても配線が複雑すぎて、これは家内がジェコムを契約したため NHK の BS は当時見ないと言った為、別に付いていた機器を取りはずしたか変な機器を付けたか良くわからない。誰か年よりで詳しい人で親切な人が居たら紹介して欲しい。材料費は勿論出しますが奇抜な人が見つかりませんか？
- 万人にほしいのは、バス代（私の住んでる所は、かな中バスは走ってない為、「かなちゃんパス」「かなちゃん手形」は使えません。江ノ電バスしか走ってない為、先日、『1日乗り放題 700円』とこのを知って、乗った時、運転士にその旨、伝えると、バスの中では、売っていない！ですと。どこで買えというのか。その場で買えないとなると、どう買えば？心がないとはこういうこと。
- 保健福祉とは違うかも。ですが、現在の町会の在り方も考える時期に来ているように思います。広報の配布、回覧物等この先負担になる心配がありの為。
- PPK（ピンピンコロリ）と言われるように病んで永生きはしたくないと皆思っております。病んだらまわりに迷惑をかけないように、早く幕を引きたいと皆願っております。その判断ができなくなってしまうと悲劇です。

第3章 調査票

2025年度高齢者の保健・福祉に関するアンケート

《アンケートご協力についてのお願い》

日頃から、本市の市政運営にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、本市では、高齢者やそのご家族の方々が地域の中で安心して暮らし続けていくことができるよう「いきいき長寿プランふじさわ2026～藤沢市高齢者保健福祉計画・第9期藤沢市介護保険事業計画・藤沢市認知症施策推進計画～」に基づき、各種の施策を行っております。

このたび、この計画の見直しにあたり、皆さまのご意見や共通する課題などを把握させていただきたく、65歳以上の方を対象に「高齢者の保健・福祉に関するアンケート」を実施する運びとなりました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は高齢者施策推進や計画策定等に利用させていただきます。

お手数をおかけして大変恐縮ではございますが、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年(令和7年)11月

藤沢市長 鈴木 恒夫

《アンケートご記入にあたってのお願い》

- このアンケートは、10月1日現在、藤沢市内にお住まいの介護保険制度の要介護・要支援の認定を受けていない65歳以上の方のうち、無作為に抽出した4,000人の方にお送りしています。

※アンケートが届いた時点で、介護保険制度の要介護・要支援認定を申請中の方は、下記に印をして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ご投函ください。(以下のアンケートの回答は不要です。)

介護保険の要介護・要支援認定を申請中

- お答えの○印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例)①・2・3
「その他」を選択された場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 原則、現時点での状況を、宛名のご本人がお答えください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**12月12日(金)まで**にご返送ください。よろしくお願いいたします。

《この調査に関するお問い合わせ先》

藤沢市役所 福祉部 高齢者支援課

電話：0466-50-3571 (直通) FAX：0466-50-8412

【はじめに】

*宛名のご本人（以下、「ご本人」といいます。）についてうかがいます。ご家族などご本人以外の方が記入される場合にも、特に指定のない限り、ご本人についてご回答ください。

【宛名のご本人様について、おたずねします。】

問1 性別をお答えください。（1つに○）

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他または答えたくない |
|-------|-------|-----------------|

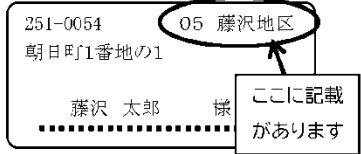
問2 年齢は何歳ですか。（2025年（令和7年）11月1日現在の満年齢）（1つに○）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 2. 70～74歳 | 3. 75～79歳 |
| 4. 80～84歳 | 5. 85～89歳 | 6. 90～94歳 |
| 7. 95～99歳 | 8. 100歳以上 | |

問3 お住まいの地域をお答えください。（1つに○）

- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 片瀬 | 2. 鶴沼 | 3. 辻堂 | 4. 村岡 |
| 5. 藤沢 | 6. 明治 | 7. 善行 | 8. 湘南大庭 |
| 9. 六会 | 10. 湘南台 | 11. 遠藤 | 12. 長後 |
| 13. 御所見 | | | |

※ お住まいの地域がお分かりにならない方は、このアンケートが入っていた封筒のラベルの右上にある記載をご確認いただき、ご回答ください。



問4 家族構成をお答えください。（1つに○）

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. ひとり暮らし →問5へ | |
| 2. 配偶者のみ(二人暮らし) | 3. 二世帯同居 |
| 4. 三世帯同居 | 5. 兄弟姉妹 |
| 6. その他() | |

→問4-1 《問4で「2」～「6」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
日中、ご自宅などで一人になることはありますか。（1つに○）

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

→問4-2 《問4で「2」～「6」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
同居のご家族の中に、次のような方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 介護を必要とする人 | 2. 看病を必要とする人 |
| 3. 障がいのある人 | 4. ひきこもり状態にある人 |
| 5. 1～4に該当する人はいない | |

問5 市が実施している高齢者に対する施策(サービスや事業など)に関する情報をどのような方法で入手していますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 広報ふじさわ (紙媒体) | 2. 市公式ホームページ |
| 3. 市公式以外のホームページ | 4. 市公式 LINE |
| 5. 市役所・地区福祉窓口 | 6. 家族や親族 |
| 7. 知人・友人や近所の人 | 8. 民生委員 |
| 9. 町内会・自治会の回覧 | 10. 社会福祉協議会 (地区社会福祉協議会) |
| 11. いきいきサポートセンター (地域包括支援センター) | |
| 12. いきいきシニアセンター (老人福祉センター) | |
| 13. 病院・診療所 | 14. 介護サービス事業所 |
| 15. 地域の縁側 | 16. 特に入手していない |
| 17. その他 (|) |

【健康状態について、おたずねします。】

問6 あなたの心身の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 健康だと思う | 2. どちらかといえば健康だと思う |
| 3. あまり健康だとは思わない | 4. 健康だと思わない |

→問6-1 《問6で「3」、「4」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 どのような心身の不調を感じることはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 循環器の不調 | 2. 呼吸器の不調 |
| 3. 胃腸の不調 | 4. 血圧の値に不安がある |
| 5. 血糖値の値に不安がある | 6. 視力に不安がある |
| 7. 聴力に不安がある | 8. 物忘れに不安がある |
| 9. その他 (|) |

問7 治療や健康について相談する、かかりつけの医師、歯科医師、薬局がありますか。(それぞれ1つに○)

ア. かかりつけ医	1. ある	2. ない
イ. かかりつけ歯科医	1. ある	2. ない
ウ. かかりつけ薬局	1. ある	2. ない

問8 「フレイル」※1という言葉を知っていますか。(1つに○)

※1 フレイルとは、高齢になり、筋力の低下、活動の低下、認知機能の低下、精神活動の低下など、要介護状態に近づくおそれのある虚弱の状態のことです。

- | |
|--------------------------|
| 1. 知っていた |
| 2. 聞いたことはあるが内容は知らなかった |
| 3. 知らなかった (今回の調査で初めて知った) |

問9 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 何でもかんで食べることができる |
| 2. 歯や歯ぐき、かみ合わせなど気になる部分があり、かみにくいことがある |
| 3. ほとんどかめない |

問10 この1年間に転んだことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|------------|-------|
| 1. ある(屋内で) | 2. ある(屋外で) | 3. ない |
|------------|------------|-------|

問11 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【お住まいの状況について、おたずねします。】

問12 どのような住宅にお住まいですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1. 持ち家の一戸建 | 2. 持ち家の共同住宅(分譲マンションなど) |
| 3. 市営・県営の賃貸住宅 | 4. 公社・URの賃貸住宅 |
| 5. 民間の賃貸住宅(アパート、借家、賃貸マンションなど) | |
| 6. 社宅・官舎・公舎など | |
| 7. 福祉施設(養護老人ホームや有料老人ホームなど) | |
| 8. その他 () | |

問13 現在のお住まいについて、困っていることはありますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 住宅が古くなったりいたんだりしている |
| 2. 庭の手入れが大変である |
| 3. 段差があったり、ろうかや階段に手すりになかったりして危険である |
| 4. エレベーターの設置がなく、階段での上り下りが大変である |
| 5. トイレや浴室が使いにくい |
| 6. 住宅が広すぎて管理が大変である |
| 7. 家賃や住宅維持費などの経済的負担が大きい |
| 8. 特にない |
| 9. その他 () |

問14 介護保険制度の要介護認定を受けた場合の生活について、どのような希望をお持ちですか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 介護サービスを利用しながら自宅で生活したい |
| 2. 介護サービスを利用せず、家族の介護を受けながら自宅で生活したい |
| 3. 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)でサービスを受けながら生活したい |
| 4. 有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替え介護サービスを利用しながら生活したい |
| 5. わからない |
| 6. その他 () |

【買い物状況について、おたずねします。】

問18 日ごろ、食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物で不便を感じることはありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 不便を感じない | 3. 大いに不便を感じる |
| 2. 多少は不便を感じる | 4. 買い物(外出)しないのでわからない |

→問18-1 《問18で「2」、「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
その理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. 徒歩圏内に食料品や日用品などを買うお店がない | 5. 徒歩や自転車での移動が体力的にきつい |
| 2. 公共交通機関(バス・電車など)の利便性が悪い | 6. 重たいものが持てないため1度に少量しか購入できない |
| 3. 公共交通機関(バス・電車など)の乗り降りが体力的にきつい | 7. 家族などの協力がないと好きな時に買い物に行けない |
| 4. 車や自転車の運転が負担、困難 | 8. 買い物を手伝ってくれる家族や友人などがいない |
| 9. その他 () | |

→問18-2 《問18で「2」、「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物をする時、必要とする(希望する)支援やサービスはありますか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 自宅から注文する宅配サービス | 5. 買い物を手伝ってくれる家族や友人の協力 |
| 2. お店で買ったものを自宅へ配達するサービス | 6. 介護ヘルパーやボランティアなどの付き添い支援 |
| 3. お店への送迎サービス | 7. 公共交通機関(バス・電車など)の利便性の向上 |
| 4. 移動販売車・移動スーパー | 8. 特に必要はない |
| 9. その他 () | |

【周りの方とのコミュニケーションについて、おたずねします。】

問19 普段、同居の家族以外でどのような方とコミュニケーションをとっていますか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 近所の人 | 2. 友人・知人 |
| 3. 地域のサークルや老人クラブの仲間 | 4. 親戚 |
| 5. 職場の同僚 | 6. 別居している家族 |
| 7. 自治会や町内会の人 | 8. 民生委員 |
| 9. 特にいない | 10. その他 () |

問20 普段、近隣や地域の方とコミュニケーションをとる機会はどの程度ありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に1～2回程度 | 4. 月に1～2回程度 |
| 5. ほぼない | 6. その他() |

問20-1 《問20で「5」と回答した方にうかがいます。》コミュニケーションをとる機会が「ほぼない」理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 普段付き合う機会がない | 2. あまり関わりをもちたくない |
| 3. 気の合う人が近くにいない | 4. ご近所と知り合うきっかけがない |
| 5. 仕事や家事などで忙しく時間がない | 6. 引っ越ししてきて間もない |
| 7. 同世代の人が近くにいない | 8. 特に理由はない |
| 9. その他() | |

【情報通信機器・ICTの利用状況についておたずねします。】

問21 どのような情報通信機器を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 携帯電話・スマートフォン | 2. パソコン |
| 3. タブレット | 4. 利用していない |

問21-1 《問21で「1」～「3」のいずれかを1つ以上選択の方にうかがいます。》情報通信機器をどのようなことに利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 電話で家族・友人などと連絡 |
| 2. 電子メールで家族・友人などと連絡 |
| 3. インターネットショッピング(通販サイトなど) |
| 4. 電子決済(バーコード決済) |
| 5. SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス) |
| 6. ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新 |
| 7. ネットバンキングや金融取引(証券・保険取引など) |
| 8. 行政サービスのオンライン手続き(確定申告・施設予約など) |
| 9. 天気・ニュース・地図・災害などの情報検索 |
| 10. 動画共有サイトでの閲覧・投稿 |
| 11. 写真・動画の撮影 |
| 12. オンライン診療 |
| 13. その他() |

問22 情報通信機器の利用にあたって不安に感じることはありますか。(1つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 使い方を相談できない |
| 2. セキュリティ対策に不安がある(個人情報の流出など) |
| 3. SNSなどでのトラブル |
| 4. 違法・有害情報に接すること(フェイクニュースなど) |
| 5. 詐欺(架空請求など) |
| 6. 不安に感じることはない |
| 7. その他() |

【経済状況について、おたずねします。】

問23 現在の暮らしの状況をうかがいます。あなたの経済状況をどのように捉えていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい |
| 3. ふつう | 4. ややゆとりがある |
| 5. 大変ゆとりがある | |

問24 現在の暮らしの状況からみて、あなたが支払っている介護保険料額について、どのように思いますか。(1つに○)

<参考> 保険料基準月額 藤沢市6,300円、神奈川県平均6,340円、全国平均6,225円

- | | |
|-------|----------|
| 1. 高い | 2. やや高い |
| 3. 妥当 | 4. やや安い |
| 5. 安い | 6. わからない |

問25 介護保険サービスの財源は、その一部が保険料で賄われているため、介護保険施設等の整備によりサービス提供量が増えると保険料が高くなる仕組みになっています。今後の保険とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものをご回答ください。(1つに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 保険料額が高くても、介護保険サービス量が充実している方が良い |
| 2. 保険料額も介護保険サービス量も、今くらいが妥当である |
| 3. 介護保険サービス量の充実はしなくてもよいので、保険料額は低い方がよい |
| 4. わからない |
| 5. その他 () |

【就労の状況について、おたずねします。】

問26 就労状況をうかがいます。(1つに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 常勤の社員・職員 |
| 2. 非常勤、嘱託、パート、アルバイト (スポットワークを含む) |
| 3. 自営業・自営業手伝い |
| 4. シルバー人材センターでの就業 |
| 5. その他の就業 () |
| 6. 求職中 |
| 7. 仕事をしていない |

問26-1 《問26で「1」～「6」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 仕事をしている (または探している) 理由は何ですか。
 (特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 生活費を得たい | 2. 小遣いを得たい |
| 3. 将来のために蓄えたい (預貯金) | 4. 生きがいを得たい |
| 5. 持っている技術や資格を活かしたい | 6. 健康でいたい |
| 7. 社会と関わりを持ちたい | 8. 何もしていないと退屈 |
| 9. その他 () | |

【地域で参加している活動について、おたずねします。】

問28 現在、地域で参加している活動がありますか。(1つに○)

1. ある 2. ない 3. わからない

次ページの間28-3、問28-4へ

→問28-1 《問28で「1」と回答した方にうかがいます。》

現在、地域で参加している活動の参加状況について、ご記入ください

「1」～「12」まで、それぞれあてはまる番号に○をおつけください。 (「その他」がない場合は、回答いただかなくて結構です。)	週に2回以上	週に1回くらい	月に1回くらい	年に1回くらい	参加していない
1. 町内会・自治会活動	1	2	3	4	5
2. 老人クラブ(ゆめクラブ)	1	2	3	4	5
3. 文化・歴史・芸術などに関する活動	1	2	3	4	5
4. 運動・スポーツ・健康づくりに関する活動	1	2	3	4	5
5. 地域の縁側など、身近な居場所の活動	1	2	3	4	5
6. 防災・防犯活動	1	2	3	4	5
7. 高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動	1	2	3	4	5
8. 子育てへの支援などに関する活動	1	2	3	4	5
9. 自然環境の保全に関する活動	1	2	3	4	5
10. 祭りなど地域文化活動	1	2	3	4	5
11. NPO(民間非営利組織)などの活動	1	2	3	4	5
12. その他()	1	2	3	4	5

→問28-2 《問28で「1」と回答した方にうかがいます。》

地域の活動に参加した理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

1. 生活に充実感をもちたい
 2. 自分の技術・経験を活かしたい
 3. 新しい友人・知人を得たい
 4. 健康や体力に自信をつけたい
 5. 地域社会に貢献したい
 6. 新しい知識を得たい
 7. 特にな
 8. その他()

問28-1と問28-2に回答した方は、次ページの間29へお進みください。

問28-3 《問28で「2」、「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 今後、地域で参加したい活動はありますか。
 (特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 町内会・自治会活動
2. 老人クラブ（ゆめクラブ）
3. 文化・歴史・芸術などに関する活動
4. 運動・スポーツ・健康づくりに関する活動
5. 地域の縁側など、身近な居場所の活動
6. 防災・防犯活動
7. 高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動
8. 子育てへの支援などに関する活動
9. 自然環境の保全に関する活動
10. 祭りなど地域文化活動
11. NPO（民間非営利組織）などの活動
12. その他（ |) |
|---|---|

問28-4 《問28で「2」、「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 地域でどのような活動が行われているか知らない
2. 参加する時間的余裕がない
3. 参加する経済的余裕がない
4. 気軽に参加できる内容が少ない
5. 近くに利用できる施設がない
6. やりたいことが見つからない
7. 同好の友人・仲間がない
8. 活動に必要な技術、経験がない
9. 健康・体力に自信がない
10. 過去に参加したが期待はずれだった
11. 特にな
12. その他（ |) |
|--|---|

問29 市が高齢者に対する生きがいづくり・社会参加に対する取り組みをすすめていくうえで、どのような支援が必要と考えますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 趣味や娯楽、サークルなどの活動への支援
2. 気軽に参加できる地域活動への支援
3. 誰でも気軽に集まり、活動できる施設・場所の情報提供
4. 働く機会の確保
5. 外出や社会参加しやすいような交通体系の整備
6. 外出や社会参加しやすいような施設の整備
7. 生涯学習環境を充実させて、多くの方々が生涯を通じて学習活動を継続できるような条件の整備
8. その他（ |) |
|--|---|

【普段の生活の中での不安や心配ごとについて、おたずねします。】

問30 お住まいの地域で何か他の人の手助けをするとしたら、どのようなことなら可能だと思いますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. ごみ出し | 2. 買い物 |
| 3. 調理 | 4. 洗濯や部屋の掃除 |
| 5. 玄関前や庭などの家まわりの掃除 | 6. 簡単な力仕事 |
| 7. 外出時の送迎 | 8. 外出時の付き添い |
| 9. 声かけ・見守り | 10. 日頃の話し相手 |
| 11. 子どもの登下校時などの見守り | 12. 市役所などでの手続き |
| 13. 家電器具やパソコンなどの操作 | 14. わからない |
| 15. その他 () | |

問31 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域にどのような手助けがあれば助かると思いますか。「1. 家事援助」、「2. 移動支援」、「3. 入浴」と回答した方は、それぞれの具体的な内容にもお答えください。(特にあてはまるもの3つまでに○)

<p>1. 家事援助</p> <p>2. 移動支援</p> <p>3. 入浴</p> <p>4. 配食(弁当)</p> <p>5. 宅配や移動販売</p> <p>6. 草取り・庭木の手入れ</p> <p>7. 自宅でのちょっとした困りごとの支援</p> <p>8. 外出の介助</p> <p>9. 交流ができる通いの場</p> <p>10. 話し相手や相談事のできる相手</p> <p>11. 見守り・安否確認</p> <p>12. 急に具合が悪くなった時の手助け</p> <p>13. 災害時の避難の手助け</p> <p>14. 特にない・わからない</p> <p>15. その他 ()</p>	<p>→「1. 家事援助」と回答した方のみ</p> <p>問31-1 具体的な援助内容は (特にあてはまるもの3つまでに○)</p> <p>1. 買い物 2. 調理</p> <p>3. 洗濯 4. 掃除</p> <p>5. ごみ出し 6. 布団干し</p> <p>7. その他 ()</p>								
	<p>→「2. 移動支援」と回答した方のみ</p> <p>問31-2 具体的な援助内容は (1つに○)</p> <p>1. 自宅の玄関先から外出先までの送迎</p> <p>2. 集合場所から外出先までの送迎</p> <p>3. 最寄りの駅・バス停までの付き添い</p> <p>4. その他 ()</p>								
	<p>→「3. 入浴」と回答した方のみ 問31-3 普段、入浴が「たいへん」、「おっくうである」と感じることはありますか。(1つに○)</p> <p>1. よくある 2. ときどきある 3. ない</p>								
<p>問31-4 入浴に際して、何か支障となっているものはありますか。 (特にあてはまるもの3つまでに○)</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 足元が滑りやすい</td> <td>2. 入り口などに段差がある</td> </tr> <tr> <td>3. 手すりがなく入浴しづらい</td> <td>4. 浴室が使いにくい(狭い、寒い、暗い)</td> </tr> <tr> <td>5. 浴室の掃除が大変</td> <td>6. 入浴中の体調急変が心配</td> </tr> <tr> <td>7. 経済状況(節約のため)</td> <td>8. その他 ()</td> </tr> </table>		1. 足元が滑りやすい	2. 入り口などに段差がある	3. 手すりがなく入浴しづらい	4. 浴室が使いにくい(狭い、寒い、暗い)	5. 浴室の掃除が大変	6. 入浴中の体調急変が心配	7. 経済状況(節約のため)	8. その他 ()
1. 足元が滑りやすい	2. 入り口などに段差がある								
3. 手すりがなく入浴しづらい	4. 浴室が使いにくい(狭い、寒い、暗い)								
5. 浴室の掃除が大変	6. 入浴中の体調急変が心配								
7. 経済状況(節約のため)	8. その他 ()								

【相談先について、おたずねします。】

問32 健康や福祉、介護のことなどで困った時は、どちらに相談していますか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

1. 家族や親族
2. 友人・知人や近所の人
3. 民生委員
4. 市役所・地区福祉窓口
5. いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）
6. 社会福祉協議会・コミュニティ・ソーシャル・ワーカー（CSW）
7. 介護サービス事業所
8. いきいきシニアセンター（老人福祉センター）
9. 地域の縁側
10. インターネット上で困りごとを相談
11. 病院・診療所
12. 薬局・薬剤師
13. どこに相談にいったらよいかわからない
14. 特に困ったことはない
15. その他（)

問33 市内19か所に設置しているいきいきサポートセンター（地域包括支援センター）※2
をご存じですか。（1つに○）

1. 知っていて、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない(今回の調査で知った)

※2 いきいきサポートセンター(地域包括支援センター)は、住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、様々な方面から高齢者の方を支える機関です。主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師などが配置されており、高齢者の日常生活に関する相談を受けるとともに、必要な保健福祉サービスの利用調整など、地域の関係機関と連携し、安心して暮らせるための支援を行っています。

→問33-1 《問33で「1」、「2」のいずれかを回答した方にうかがいます。》

いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）を何で知りましたか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

1. 市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ
2. 市の広報・ホームページ
3. 市民センターなどの市の施設にあるチラシ・パンフレット
4. 民生委員からの紹介
5. 知人・友人や近所の人からの紹介
6. 介護サービス事業所
7. コミュニティ・ソーシャル・ワーカー（CSW）
8. その他（)

【認知症について、おたずねします。】

問34 今までに、自分が認知症になった時どうしたらよいか、考えたことはありますか。
(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 考えたことがある | 2. 考えたことはない |
|-------------|-------------|

問35 現在、認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。

(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | |
|---|
| 1. できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で自立的に生活していける |
| 2. 医療や介護などのサービスを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける |
| 3. 生活上の困りごとが増える |
| 4. 症状が進行してゆき、身の回りのことができなくなり、介護保険施設などの利用が必要となる |
| 5. わからない |
| 6. その他 () |

問36 「新しい認知症観」※3に基づき、認知症になっても住み慣れた地域で「希望」を持って暮らすには何が必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | |
|--|
| 1. 日常生活や仕事、趣味活動など、これまで行っていたことが変わらず続けられること |
| 2. 家族も日常生活や仕事、趣味活動など、これまで行っていたことが変わらず続けられること |
| 3. 相談先がわかること |
| 4. 相談できる相手がいること |
| 5. 経済的にゆとりがあること |
| 6. 必要な介護サービスが利用でき、住み慣れた自宅で生活できること |
| 7. 必要な介護保険施設などに入所できること |
| 8. その他 () |

※3「新しい認知症観」とは、認知症になってからも個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができるという考え方で

す。

問37 認知症に関する相談窓口として、知っているものを選択してください。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 市役所・市民センター |
| 2. いきいきサポートセンター（地域包括支援センター） |
| 3. かかりつけ医 |
| 4. 認知症疾患医療センター |
| 5. 認知症コールセンター |
| 6. どこに相談してよいかわからない |
| 7. その他 () |

問38 認知症施策を進めるうえで、今後充実してほしいことは何ですか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

1. 相談できる窓口・体制の充実
2. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
3. 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた身体的・精神的負担を減らす取り組み
4. 地域で見守る体制の充実
5. 認知症であっても、地域、社会に関わっていける場づくり
6. 認知症の人の意見が尊重されることや、財産管理、消費者被害防止に向けた環境の整備
7. 認知症予防に関する正しい知識や情報の提供
8. わからない
9. その他 ()

【ケアラー支援について、おたずねします。】

問39 あなたは、家族などの介護をしていますか。または家族などの介護をした経験がありますか。(1つに○)

1. 現在、介護をしている 2. 過去に介護をしていた経験がある 3. ない

▶問39-1 <<問39で「1」、「2」のいずれかを回答された方にうかがいます。>>

介護者(ケアラー)への支援として、どのような支援があればよいと思いますか。
(1つに○)

1. 気軽に相談できる窓口の設置・充実
2. 介護者(ケアラー)が集える場所の設置
3. 市ホームページなどでの介護者(ケアラー)向け情報の発信
4. 介護保険サービスなどの充実
5. 仕事と両立できる環境づくり
6. その他 ()

【人生最期のとき(終活)について、おたずねします。】

問40 あなたの人生最期のとき(終活)について、次のうち信頼できる人と話すことができますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 医療や看取り(みとり)について | 2. 財産や相続について |
| 3. 葬儀・お墓について | 4. 延命治療の希望の有無について |
| 5. ペットについて | 6. 話していない |
| 7. その他 () | |

問41 あなたの人生最期のときをどこで迎えたいですか。(1つに○)

1. 訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で最期を迎えたい
2. 病院などの医療機関で最期を迎えたい
3. 老人ホームなどの施設に入所して最期を迎えたい
4. わからない 5. その他 ()

【権利擁護について、おたずねします。】

問42 今後、認知症など、判断能力が不安になり何らかの支援が必要になった時、利用したい支援やサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 成年後見制度 ^{※4} | 2. 日常生活自立支援事業 ^{※5} |
| 3. 身元保証サービス ^{※6} | 4. わからない |
| 5. 特に利用したいサービスはない | 6. その他 () |

※4 成年後見制度とは、認知症などの理由により判断能力が不十分な方の財産の管理、入院や施設への入所などの生活に関する契約などを、成年後見人が代理して行う制度です。なお、成年後見制度には、家庭裁判所に申し立てることにより成年後見人を選任する法定後見制度と、まだ判断能力が十分なうちに、あらかじめ後見人を決めておく任意後見制度があります。

※5 日常生活自立支援事業とは、高齢者などが安心して自立した生活を送れるように、預貯金の引き出しなどの金銭管理や福祉サービスの利用手続き、重要書類等の管理などについて、本人と社会福祉協議会との契約により行われる事業です。

※6 身元保証サービスとは、入院や入所する際に、身元保証人の役割を代行するサービスです。

→問42-1 《問42で「1」と回答した方にかがいます。》

成年後見制度を利用する場合、どなたに成年後見人をお願いしたいですか。
(特にあてはまるもの2つまでに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 身近な親族 |
| 2. 弁護士などの専門職 |
| 3. 社会福祉協議会やNPO(民間非営利組織)などの法人 |
| 4. 市民後見人 ^{※7} |
| 5. わからない・未定 |
| 6. その他 () |

※7 市民後見人とは、事前に自治体などが行う養成研修を修了した同じ地域に住む市民で、家庭裁判所に選任された成年後見人のことです。

問43 成年後見制度や権利擁護に関する相談支援機関である「ふじさわ あんしんセンター^{※8}」をご存じですか。(1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 知っていて、利用したことがある |
| 2. 知っているが、利用したことはない |
| 3. 知らない(今回の調査で知った) |

※8 ふじさわ あんしんセンターとは、藤沢市社会福祉協議会が運営する、高齢者や障がい者の方などの成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用など、総合的な権利擁護に関する相談機関です。電話や窓口、訪問などによる相談のほか、毎月4回(第1～4水曜日)、弁護士、行政書士、司法書士、社会福祉士、税理士などによる専門相談も行っています。

【介護予防事業について、おたずねします。】

問44 市で実施している介護予防に関する講演会・講座や地域での住民主体の介護予防実施の場に参加したことがありますか。(1つに○)

- 1. 参加したことがある
- 2. 知っているが、参加したことはない
- 3. 知らない(今回の調査で知った)

→問44-1 《問44で「1」と回答した方にうかがいます。》
次のうち、参加したことのある講座や講演会、事業は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 運動に関する講座(転倒予防講座、個別運動サポート)
- 2. 認知症予防に関する講座(認知症予防講座)
- 3. 介護予防全般に関する講座(介護予防教室)
- 4. 介護予防に関する講演会(介護予防講演会)
- 5. 地域の縁側
- 6. いきいき運動グループ(公園体操)
- 7. いきいきシニア外出支援事業(みんなチャレ講座)
- 8. いきいきシニアセンター(老人福祉センター)
- 9. その他()

問45 介護予防・フレイル予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

- 1. 生活習慣病の予防
- 2. 転倒予防のための身体機能の向上
- 3. 食生活(栄養など)の改善
- 4. 口腔機能の向上
- 5. 認知症に関すること
- 6. 高齢期のうつ予防
- 7. 加齢性難聴への対応
- 8. 多世代が気軽に集える場
- 9. 高齢者同士が集える場
- 10. 個別に相談できる場
- 11. スマートフォンを活用した健康づくり
- 12. その他()

問46 普段、介護予防にどのくらい取り組んでいますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 大いに取り組んでいる | 2. まあ取り組んでいる |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. まったく取り組んでいない |
| 5. わからない | |

→問46-1 《問46で「1」、「2」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 普段、介護予防としてどのようなことに取り組んでいますか。
 (特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 栄養バランスに気を付けた食事 | |
| 2. 口の中を清潔にする(歯磨き、うがいなど) | |
| 3. 定期的な運動(ウォーキングや体操など) | |
| 4. 規則的な生活 | |
| 5. 脳に刺激を与えるよう新しいことにチャレンジする | |
| 6. 健康診断 | 7. 歯科検診 |
| 8. 外出機会の確保や社会参加 | 9. 自分なりのストレス解消法 |
| 10. 十分な休養や睡眠 | 11. 転倒、骨折しないように気をつける |
| 12. その他() | |

→問46-2 《問46で「1」、「2」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。
 (特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 家族のアドバイスや一言 | 2. 友人・知人からのアドバイスや一言 |
| 3. 隣近所の人からのアドバイスや一言 | 4. 市の広報紙や回覧板などの情報から |
| 5. 医師等の専門家からの指導や助言 | 6. 具体的に症状が現れたので |
| 7. 検査の結果(数値など)を見て | 8. 新聞やテレビなどの情報から |
| 9. 以前からの習慣で、自発的に | 10. その他() |

【高齢者はり・きゅう・マッサージ利用助成、ふれあい入浴事業について、おたずねします】

問47 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券^{※9}を利用されていますか。(1つに○)

- | |
|------------|
| 1. 利用している |
| 2. 利用していない |

※9 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券とは、市内在住の75歳以上の方を対象に、高齢者の健康増進と介護予防のきっかけづくりのために交付している利用券で、市内指定のはり・きゅう・マッサージ施設約140施設で利用できます。

→問47-1 《問47で「2」と回答した方にうかがいます。》
 利用していない理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 自宅の近くに施術所がない | 2. 利用券があることを知らなかった |
| 3. 必要性を感じない | 4. 施術に対して不安を感じるため |
| 5. 助成対象外(75歳未満) | 6. その他() |

問48 ふれあい入浴事業^{※10}を利用されていますか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 利用している
2. 利用したことはあるが、現在は利用していない
3. 利用していない |
|---|

※10 ふれあい入浴事業とは、市内2か所の公衆浴場で入浴料金が割引になるサービスです。

→問48-1 《問48で「2」、「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 利用していない、または利用しなくなった理由は何ですか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 公衆浴場が近くにない
2. ふれあい入浴事業があることを知らなかった
3. 他の公共の入浴施設(いきいきシニアセンター(老人福祉センター)など)を利用している
4. 他の民間の入浴施設(スーパー銭湯など)を利用している
5. 必要性を感じない
6. その他() |
|---|

【いきいきシニアセンター(老人福祉センター)について、おたずねします。】

問49 いきいきシニアセンター(老人福祉センター)を利用されていますか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 利用している
2. 利用していない
3. 利用したことはあるが、現在は利用していない
4. いきいきシニアセンター(老人福祉センター)を知らない |
|--|

→問49-1 《問49で「2」、「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
 利用していない、または利用しなくなった理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 趣味や仕事などで利用する時間がない
2. 高齢者・老人の施設というイメージになじめない
3. 他の居場所(活動場所)を見つけた
4. 講座・サークルに魅力を感じない
5. 自宅から遠い
6. 関心がない
7. その他() |
|--|

【高齢者に対する施策(サービスや事業など)について、おたずねします。】

問50 今後、高齢者に対する施策は、どのような事業などを優先的に進めていく必要があると考えますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

1. 高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制
2. 高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制
3. 一人暮らし高齢者の支援
4. 災害時の支援
5. 24時間365日、緊急時に連絡できる体制
6. 認知症高齢者やその家族に対する支援
7. 高齢者に対する虐待防止についての対策
8. 健康づくりや介護予防に関する事業
9. 高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援
10. 外出支援(バス・タクシーなどの移動手段の確保)
11. 高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保
12. 隣近所の助けあいやボランティア活動への支援
13. 高齢者の働く場の確保
14. 高齢者の権利(人権、財産など)を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備
15. 高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス(紙おむつの支給など)
16. 要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス(訪問介護(ホームヘルプサービス)、通所介護(デイサービス)など)の拡充
17. 要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など)の整備
18. デジタルデバイド^{※11}対策(スマホ教室など)
19. はり・きゆう・マッサージや公衆浴場などの施設利用助成の拡充
20. 特にない
21. その他()

※11 デジタルデバイドとは、情報通信技術(インターネットなど)の恩恵を受けることができる人とできない人の間に生じる格差を意味します。

問51 問50にあるようなサービスを利用するにあたって、一定の利用者負担を支払うことについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

1. 利用者負担が今より増えても、サービスを充実させたほうがよい
2. 利用者負担もサービスも現状の程度でよい
3. サービスの水準を今より抑えても、利用者負担が低くなるほうがよい
4. わからない
5. その他()

【移動について、おたずねします。】

問52 外出の際の主な移動手段は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)
 「1」～「6」のいずれかを回答した方は、その利用頻度にもお答えください。
 (利用頻度は、それぞれあてはまるもの1つに○)

	ほぼ毎日	程度 週に3 ～ 4回	程度 週に1 ～ 2回	程度 月に1 ～ 2回	ほとんど 利用しない
1. 徒歩	1	2	3	4	5
2. 自転車	1	2	3	4	5
3. 路線バス・天神町オンデマンドバス	1	2	3	4	5
4. 鉄道	1	2	3	4	5
5. タクシー	1	2	3	4	5
6. のりあい善行(乗合タクシー)	1	2	3	4	5
7. 車(自分で運転)					
8. 車(家族や友人などが運転)					
9. 病院などが運行する送迎バスなど					
10. 外出しない					
11. その他()					

→問52-1 《問52で「3」～「6」と回答した方にうかがいます。》
 外出の目的は何ですか。(特にあてはまるもの2つまでに○)

3. 路線バス・天神町オンデマンドバス	
1. 買い物	2. 習い事など趣味の活動
3. 通院	4. 通勤
5. その他()	
4. 鉄道	
1. 買い物	2. 習い事など趣味の活動
3. 通院	4. 通勤
5. その他()	
5. タクシー	
1. 買い物	2. 習い事など趣味の活動
3. 通院	4. 通勤
5. その他()	
6. のりあい善行(乗合タクシー)	
1. 買い物	2. 習い事など趣味の活動
3. 通院	4. 通勤
5. その他()	

《問52で「3」と回答した方にうかがいます。》

問52-2 平日に利用する場合、出発時の乗車時間で最も多い時間帯はいつですか。
(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------------------------|----------|
| 1. 7時台 | 2. 8時台 | 3. 9時台 |
| 4. 10時台 | 5. 11時台 | 6. 12時台 |
| 7. 13時台 | 8. 14時台 | 9. 15時台 |
| 10. 16時台 | 11. 17時台 | 12. 18時台 |
| 13. 上記以外の時間帯 | 14. 平日は路線バス・天神町オンデマンドバスを利用しない | |
| 15. わからない | | |

問52-3 平日に利用する場合、帰宅時の乗車時間で最も多い時間帯はいつですか。
(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------------------------|----------|
| 1. 7時台 | 2. 8時台 | 3. 9時台 |
| 4. 10時台 | 5. 11時台 | 6. 12時台 |
| 7. 13時台 | 8. 14時台 | 9. 15時台 |
| 10. 16時台 | 11. 17時台 | 12. 18時台 |
| 13. 上記以外の時間帯 | 14. 平日は路線バス・天神町オンデマンドバスを利用しない | |
| 15. わからない | | |

問52-4 1か月あたりの路線バスの運賃は、いくら負担していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 1,000円未満 | 2. 1,000円以上 5,000円未満 |
| 3. 5,000円以上 10,000円未満 | 4. 10,000円以上 20,000円未満 |
| 5. 20,000円以上 | 6. わからない |

問52-5 バス会社が販売している「かなちゃんパス」「かなちゃん手形」「オレンジワンコインパス」などの割引パスを利用していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 利用していない・知らない | 2. 利用している |
| 3. 利用していた(いまは利用していない) | |

問53 路線バスを利用して外出するために重要視する項目は何ですか。
(特にあてはまるもの4つまでに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 利用料金・運賃が安いこと | 2. バス停までの距離が近いこと |
| 3. 運行頻度・運行本数が多いこと | |
| 4. 始発バスが早くからあり、最終バスが遅くまでであること | |
| 5. 時刻表どおりに運行すること | 6. 混雑していないこと |
| 7. 乗車方法がわかりやすいこと | 8. 料金の支払い方法がわかりやすいこと |
| 9. 乗り心地が良いこと | |
| 10. その他 () | |

問54 自宅の最寄りのバス停までは、徒歩でどのくらいの時間がかかりますか。(1つに○)

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 2分未満 | 2. 2分以上 5分未満 | 3. 5分以上 10分未満 |
| 4. 10分以上 15分未満 | 5. 15分以上 20分未満 | 6. 20分以上 |
| 7. わからない | | |

問55 自宅の最寄りの駅までは、徒歩でどのくらいの時間がかかりますか。(1つに○)

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 2分未満 | 2. 2分以上 5分未満 | 3. 5分以上 10分未満 |
| 4. 10分以上 15分未満 | 5. 15分以上 20分未満 | 6. 20分以上 |
| 7. わからない | | |

問56 あなたが休まず歩ける時間は、どのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|-------------------------------|----------------|---------------|
| 1. 2分未満 | 2. 2分以上 5分未満 | 3. 5分以上 10分未満 |
| 4. 10分以上 15分未満 | 5. 15分以上 20分未満 | 6. 20分以上 |
| 7. 歩行が困難(介助が必要、身体的な理由によるものなど) | | |

問57 運転免許証の自主返納について、どのようにお考えですか。(1つに○)

- | |
|----------------------|
| 1. すでに自主返納した |
| 2. 将来的に自主返納しようと考えている |
| 3. 自主返納をしようと思ったことがある |
| 4. 自主返納は考えていない |
| 5. 運転免許を持っていない |
| 6. わからない |

→問57-1 《問57で「2」、「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
自主返納をしようと思ったのは、どのようなときですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 運転する必要がなくなったように感じたとき |
| 2. 家族などに勧められたとき |
| 3. 新聞やテレビなどの報道を見て |
| 4. 運転に自信がなくなったとき |
| 5. 運転していてひやりとしたことなどがあつたとき |
| 6. 健康上の不安があるため |
| 7. わからない |
| 8. その他 () |

→問57-2 《問57で「3」、「4」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
自主返納をためらう理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 車がないと生活が不便なこと | 2. 車を運転する楽しみが失われること |
| 3. 仕事を失うこと | 4. その他 () |

藤沢市
高齢者の保健・福祉に関する
調査報告書

発行 2026年（令和8年）3月
藤沢市 福祉部 高齢者支援課

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL 0466-25-1111 FAX 0466-50-8412